HITACHI
Inspire the Next

2024.4 ~ 2024.9

研修サービスガイド







COURSE

- 日立製品(オープンミドル) 講座
- 日立製品(ハードウェア/ストレージ) 講座
- デジタルトランスフォーメーション 講座
- ビジネス 講座
- プロジェクトマネジメント 講座
- ビジネスアーキテクト 講座
- 開発/基盤 講座
- プロダクト(IT) 講座
- 設計・モノづくり(OT) 講座
- 情報処理技術者試験対策 講座
- グローバル 講座

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

https://www.hitachi-ac.co.jp/
日立アカデミーWebサイト

日立講習会

は　じ　め　に

平素は、株式会社 日立製作所および人財育成サービス会社である株式会社 日立アカデミーの各種研修サービスをご利用いただき、誠にありがとうございます。

日立グループはいま、さまざまな事業領域のお客さまとともに、次の社会に向けて新しい価値を創出する「デジタルイノベーション」に取り組んでいます。

当社は、お客さまやビジネスパートナーと協創し、デジタル技術を活用した社会イノベーション事業（デジタルソリューション事業）を実現すべく、人財の育成を強化するとともに各種研修体系を整備しております。これらの研修体系に基づき、本ガイドでご案内する研修サービス（以下、「日立講習会」といいます。）によりお客さまの人財育成をご支援いたします。

本ガイドは、2024年4月から2024年9月までの研修サービスをご紹介いたします。人財の可能性と価値を最大限に引き出すために、豊富なメニューをご用意しております。

お客さまの人財育成に本研修サービスをご活用いただければ幸いでございます。

2024年1月

株式会社 日立製作所
株式会社 日立アカデミー

研修サービスに関するお問い合わせ先：
株式会社 日立アカデミー

東京地区	TEL 03-5471-8962	FAX 03-5471-2564
大阪地区	TEL 06-4797-7360	FAX 06-4797-7361
名古屋地区	TEL 052-263-0051	FAX 052-261-8276
広島地区	TEL 082-546-6172	FAX 082-546-6173
福岡地区	TEL 092-844-7522	FAX 092-844-7580

日立講習会開催時間のお知らせ
※当社 Web サイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
正式には、ご受講前に送付いたします「日立講習会受講ご案内」（メール）をご確認ください。

CERTIFICATION JAMOTE
ISO29993:2017
JMT-LS110001B
日立講習会
大森キャンパス開催
CSLS Certification Scheme for Learning Services-Japan 学習サービス認証スキーム

本ガイドに記載している内容および金額は、2023年12月時点のものであり、将来変更する場合があります。

CONTENTS

Topics

Topics 1 未来起点のイノベーション創出から顧客への価値提供までのプロセスを3Stepで学べるコースのご案内
Topics 2 DX時代に求められるビジネスアーキテクト人財育成
Topics 3 Linuxシステムにおけるシステム管理者技術研修
Topics 4 セキュリティの新コース紹介「ゼロトラスト概論–本質を理解し現代的なITインフラを設計するために–」
Topics 5 ネットワーク接続環境を可視化し、オンラインでもネットワークの接続がイメージしやすくなるようにしました
Topics 6 Tableau製品を利用して、分析プラットフォームからデータを可視化・活用してみませんか!
Topics 7 GXリテラシーを高めましょう ～カーボンニュートラル達成に向けた法制度や先進事例を学ぶ研修コースのご紹介～
Topics 8 これからITを学習する方におすすめ! IT初学者向け研修のご案内

1 開催コース／スケジュール一覧 …… 16
2 講座別コースフロー／コースカリキュラム …… 56
3 研修会場 …… 270
4 お申込方法 …… 272
5 受講規約 …… 275

※本ガイドは2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）または集合研修の開催時間については、当社Webサイトでご確認ください。

本ガイドで紹介する研修サービスは、お客さまのご要望に合わせてカスタマイズできるオーダー研修サービスもございます。研修の実施だけでなく、研修企画、開発実施、アフターフォローまでワンストップでご提供も可能です。詳しくはお問い合わせください。

・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*はプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

最新のコース開催情報・お薦めコースのご案内
https://www.hitachi-ac.co.jp/



日立アカデミーのWebサイトでは、最新のコース開催情報・お薦めコースを掲載しております。また、コースのお申し込みはWebサイトから行うことができますので、ぜひご活用ください。

コース最新情報 | お薦めコース | 臨時開催コース | 話題のコース
人気コースランキング | 講座別コース紹介（PDFファイル） | iCD対応研修コースマップ



未来起点のイノベーション創出から顧客への価値提供までのプロセスを3Stepで学べるコースのご案内

技術の革新が進んでいる変化の激しいVUCA時代において企業の成長を持続させる重要な要素、それが**「イノベーション創出」「未来起点」「ビジネスモデリング」**です。

一方で皆さまはイノベーションやビジネス創生に関し、多くの疑問をお持ちなのではないでしょうか。

イノベーション創出ってどんな流れで進めればいいの？

既存ビジネスと比べて不確実の高いイノベーション… ビジネスとして成立させるにはどうしたらいいの？



そんな皆さまのお悩みを解決するには、まずは**イノベーション創出のプロセス**をつかみ、その中でも特に重要な**未来起点の課題解決の考え方**を知り、**どのような価値を顧客に提供することでビジネスとして成立するのかを考える**ことが有効です。日立講習会では、皆さまに次の3STEPの受講をお薦めします。

STEP 1	STEP 2	STEP 3
イノベーション創出のプロセスを体感する	起こりえる未来を認識し、行動に移していくプロセスを知る	マーケットイン発想での価値提案の考え方を知る
HSV224 VCR 2日 イノベーティブ思考 ー事業創出プロセスを通じて学ぶー	HSV158 VCR 1日 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング	HSV159 VCR 2日 顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン

■主な対象者

- 職種、年齢層を問わず、自組織や自分がイノベーティブでないと思い込んでいる方
- 自社や自チームをイノベーティブな風土に変える最初のきっかけをつかみたい方
- 将来的にお客様に必要とされる新しい製品やサービスの提案、開発、提供を通じて価値を提供したい営業職、エンジニア職の方
- 今、目の前にある事業、サービスのビジネスモデルを検証し新たな価値を発見したい方

■ コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
HSV224	STEP1 イノベーティブ思考 ー事業創出プロセスを通じて学ぶー	2日	マクロ環境の分析から問題定義、サービスアイディアの創出、価値検討、ビジネスモデルの評価といった事業創出の一連のプロセスを学習します。
HSV158	STEP2 イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング	1日	シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。
HSV159	STEP3 顧客価値発見とビジネスモデルの デザイン	2日	ビジネスモデルキャンバスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。顧客の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。

3STEPで受講を終えた方の声

イノベーション創出の流れや思考法が身についた！



自社として取り組む事業のテーマ選定はこうすれば良いのか！



事業推進にあたって顧客価値起点のビジネスモデルが描ける！







DX時代に求められるビジネスアーキテクト人財育成

ビジネス環境の激しい変化に伴い、企業は、積極的にビジネスのスタイルや取組み、方向性を変革していくことが求められています。それに伴い、『ビジネス領域の問題を分析し、社会・顧客の課題を的確に捉え、迅速に課題解決に導くための要件定義ができるビジネスアーキテクト人財育成』へのニーズが高まっています。

IT、OT、プロダクト、社会インフラなど様々な事業分野に対応し、多様なビジネスアーキテクチャ分析力を身につけるための研修体系を提供しています。

ビジネスアナリシスのフレームワーク　～企業の変革を成功に導くために～

ビジネスアナリシスは、業種・肩書を問わず、ビジネスパーソン共通のコア・スキル！

企業や組織、顧客にとって本当に価値があるものを、ステークホルダーと一緒に明確にし、価値を提供していく標準フレームワークを業務に適用したい方にお薦めです。

コースコード	コース名	日数	PDU	コース概要
CTV068	(PDU)BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	ビジネスアナリシスの知識体系を纏めたBABOK®をベースに、ビジネスアナリシスの基礎知識を修得します。ビジネスニーズを特定し、ステークホルダーに価値を提供するソリューションを推奨し、企業に変革を引き起こすビジネスアナリストの役割について学習します。
CDV008	(PDU)CBAP®試験対策コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	3日	24	CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA(International Institute of Business Analysis)が認定する資格で、日本語での受験が可能な資格です。CBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。
CDV017	(PDU)IT経営ストラテジ(経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。IT経営推進プロセスガイドライン Ver.3.1準拠、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コース(ITコーディネータ資格取得の推奨研修)。
CDV011	(PDU)IT経営ストラテジ(IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT利活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT利活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT利活用実現に向けた活動である「IT利活用プロセス」の重要性を理解します。IT経営推進プロセスガイドライン Ver.3.1準拠、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コース(ITコーディネータ資格取得の推奨研修)。
CDV016	(PDU)IT経営ストラテジ(変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	このコースでは、IT経営の上流となる変革認識および、ITコーディネータプロセスガイドラインを学ぶことを通じて、ITコーディネータケース研修に相当する知識をトータルで修得します。

ビジネス戦略に沿ったシステム企画立案　～IT投資に見合う企業価値創造のために～

ビジネス戦略とソリューション開発の適切な橋渡しは、ビジネスを成功へ導く鍵！

ビジネス戦略に沿ったシステムやサービスの企画を立ち上げる方、顧客と一緒に企画を立案・推進する方にお薦めです。

コースコード	コース名	日数	PDU	コース概要
CTV071	IT主導で攻めのビジネスを実現するための ビジネス要件とIT企画の作り方 【バーチャル・クラスルーム】	1日	–	ITを活用し、これまでにない新しいビジネスを実現するために、自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのか。その実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。
CTV076	(PDU)変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイント －守りから攻めのPMシリーズ－ 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	関与者とコミュニケーションを取りながらビジネス変革の成功シナリオを共有し、戦略的ＩＴ投資でそれを実現するための具体的手法を修得します。

ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義　～企画・提案の実現性を担保する～

ビジネス要求に沿った要件定義なくして、プロジェクトの成功なし！

顧客と協業しながら要件定義を取り纏める方、実際にシステムやサービスの要件定義を実施する方にお薦めです。

コースコード	コース名	日数	PDU	コース概要
SPV077	システムのニーズ分析 【バーチャル・クラスルーム】	2日	–	要件定義は、顧客課題を解決するシステム開発の成功を左右する重要な工程です。要件定義の実施には、事前にステークホルダーのシステムへのニーズ(要求)を体系的に整理し、本質的な課題を抽出するニーズ分析が不可欠です。ニーズ分析の具体的な進め方について解説と演習を通して学習します。
SPV076	要件定義における業務の可視化を成功させるトレーニング －業務ニーズから導くシステム化要件－ 【バーチャル・クラスルーム】	2日	–	ニーズ分析の結果をもとに、新しい業務・システムの要件を定義するトレーニングです。現行業務を可視化し、ニーズ分析の結果を用いて業務プロセスの改善ポイントを明確にし、新しい業務を実現するシステムの機能要件を定義するトレーニングです。
CTV077	要件定義スキル基礎 －ロールプレイによる要求の引き出し－ 【バーチャル・クラスルーム】	2日	–	要件定義は、顧客課題を解決するシステム開発の成功を左右する重要な工程です。本コースでは、要件定義を進める上で特に重要且つ共通的に必要となる2つのスキル－問題解決スキル、コミュニケーションスキル－について、内容の理解が容易な事例を用いた演習を通して学習します。

業務プロセスの改革を推進　～システム企画立案・要件定義で必須の可視化技術～

業務プロセスの可視化は、DX実現に向けた第一歩！

DX実現を困難にしている“暗黙知”、“現場のノウハウ”を含み、サイロ化・複雑化した業務プロセスの改善・改革を進める方にお薦めです。

コースコード	コース名	日数	PDU	コース概要
CTV072	現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法 【バーチャル・クラスルーム】	1日	–	現場主導によるIT化／業務改善を推進するためには、現行業務の見える化が不可欠です。多忙な現場担当者が割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、実戦的な手法を紹介します。
CTV073	既存システムの改修／リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方 【バーチャル・クラスルーム】	1日	–	既存システムの高度化・DX対応のニーズが高まる中、実際の取り組み現場では、ドキュメントが揃っていない等、現状の利用実態が把握しきれず、必要な業務ニーズを取りこぼす問題が多発しています。現行システムの利用状況を高速かつ簡便に実現する方法について、実戦的な要点を紹介します。

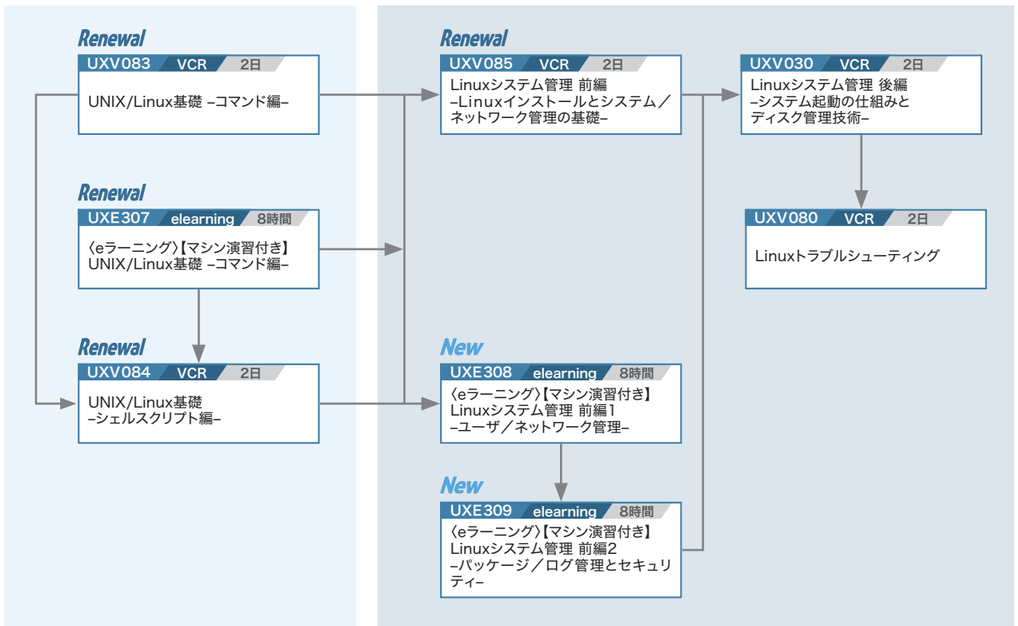
Linuxシステムにおける システム管理者技術研修



総務省が発表している「情報通信白書（令和4年版）」によれば、2021年の日本のパブリッククラウドサービス市場は前年比約3割増となり、クラウドサービスを一部でも利用している企業の割合は7割を超えました。インフラ技術の主流はオンプレミスからクラウドにシフトしましたが、サーバーに関する技術が不要になったわけではありません。パブリッククラウドサービス市場におけるIaaS（Infrastructure as a Service）の売上高は全体の約3割を占めており、サーバーの構築や運用保守に関する知識は、引き続き必要不可欠と言えるでしょう。

Linux関連コースでは新たに「Linuxシステム管理者 前編」にセキュリティ分野を追加しました。また、「Linuxシステム管理 前編」のeラーニングコースの提供を開始し、演習環境や実施時間を見直し、より受講いただきやすくなりました。この機会にぜひ受講をご検討ください。

■ Linux関連コース体系図



コースコード		コース名	日数/時間	コース概要
UXV083	Renewal	UNIX／Linux基礎 –コマンド編–	2日	UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。
UXV084	Renewal	UNIX／Linux基礎 –シェルスクリプト編–	2日	シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。
UXV085	Renewal	Linuxシステム管理 前編 –Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎–	2日	Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。
UXV030		Linuxシステム管理 後編 –システム起動の仕組みとディスク管理技術–	2日	Linuxシステムの起動の仕組み、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通じて、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。
UXV080		Linuxトラブルシューティング	2日	このコースではLinuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。
UXE307	Renewal	<eラーニング>【マシン演習付き】 UNIX／Linux基礎 –コマンド編–	8時間	UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。本コースで利用するマシン演習環境は、外部eラーニングサービスを利用します。
UXE308	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編1 –ユーザ／ネットワーク管理–	8時間	Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通してユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。本コースで利用するマシン演習環境は、外部eラーニングサービスを利用します。
UXE309	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編2 –パッケージ／ログ管理とセキュリティ –	8時間	Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通してパッケージ管理、およびログ管理などのシステム管理作業を体験します。本コースで利用するマシン演習環境は、外部eラーニングサービスを利用します。

TOPICS

セキュリティの新コース紹介
「ゼロトラスト概論 –本質を理解し現代的なITインフラを設計するために–」

「ゼロトラスト」というキーワードがSIerやセキュリティ業界で注目を集めている一方で、その本質を誤って認識されているケースも少なくないようです。

ゼロトラストはすべてを信頼しない考え方ではなく、信頼するためにどうすればいいのか？　を突き詰め、信頼を積み上げていく考え方です。新しい考え方ではなく、これまでの技術やセキュリティの集積でしかありません。

一方で、本質的な技術やセキュリティへの理解がないとゼロトラストを理解することもできないことも事実です。さらに、その実装には、現代の業務環境、ビジネス(事業)への理解、ガバナンスなど、自組織を取り巻く幅広い知見が求められます。

本コースでは、ゼロトラストの概念や考え方を学習し、いかにして効率的にリスクをコントロールし、企業の価値を最大化する利便性の高いインフラ設計ができるのか、その基礎を学びます。この機会にぜひ受講をご検討ください。

■ コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
SDV012	*New* ゼロトラスト概論 –本質を理解し現代的なITインフラを設計するために– ［アイ・ラーニング ライブ配信］	0.5日	ゼロトラストの概念や考え方を学習し、効率的なリスクコントロールと、企業の価値を最大化する利便性の高いインフラ設計のノウハウの基礎を学びます。

「セキュリティの基礎」関連コース

■ コース概要

コースコード	コース名	日数/時間	コース概要
SCV052	情報セキュリティ基礎 –セキュリティ全体を俯瞰する– 【バーチャル・クラスルーム】	1日	セキュリティの入門コースです(IPAの「基本情報技術者試験」相当)。 ・これからセキュリティを学ぶにあたり、セキュリティの全体像(俯瞰して捉える)と、基礎的な技術/事項の関連性を学習します。 ・研修の最後に、学びをアウトプットし合うグループワークを行います。
SCE013	＜eラーニング＞ 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 –要素技術(暗号、認証)編–	6時間	安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。
SCE012	＜eラーニング＞ 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 –ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編–	6時間	ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。
SCE014	＜eラーニング＞ 情報セキュリティリテラシー –セキュリティの必要性と対策–	4時間	情報システムの利用者が理解しておくべきセキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

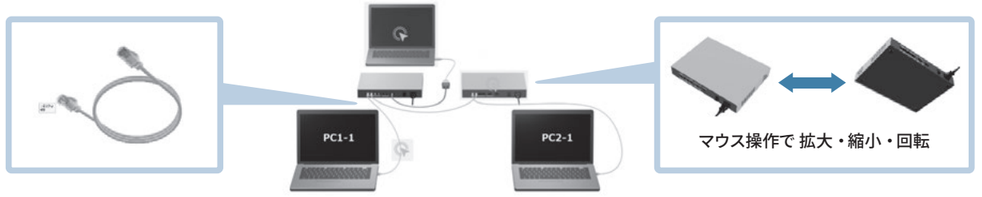
TOPICS

ネットワーク接続環境を可視化し、オンラインでもネットワークの接続がイメージしやすくなるようにしました

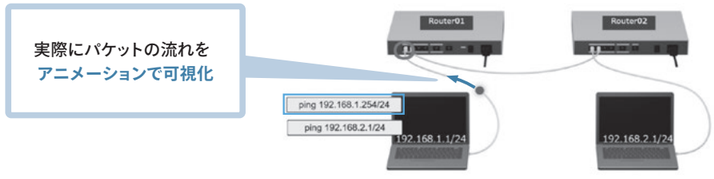
当社は、コロナ禍をきっかけに、ネットワーク環境の実機を使用するコースにおいても、オンラインで研修を実施しています。集合研修の場合は、受講者の方が実際にケーブルの接続を行ったり、ネットワーク機器を目の前にして操作していただくため、具体的なイメージをもちながら操作いただけました。しかし、オンラインでは実機を目の前にしていないため、接続状態をイメージしにくいという課題がありました。

この課題に対応し、ネットワーク機器および接続環境を3DCG(3 Dimensional Computer Graphics)を使って可視化する環境を構築し、機器を目の前にしなくても、具体的なイメージをもちながら操作できるようにいたしました。

演習環境の接続図から、機器、ケーブルを選択したあと、拡大・縮小・３６０度回転できるようにし、あたかも実機が目の前にあるようにしました



パケットが実際に流れる様子をアニメーションで表現し、ネットワークの動作を可視化できるようにしました



■ コース概要

コースコード	コース名	日数	コース概要
NWV153	*Renewal* ネットワークインフラ構築 –基礎編– 【バーチャル・クラスルーム】	1日	PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。

Tableau製品を利用して、分析プラットフォームからデータを可視化・活用してみませんか！

Tableauはデータの可視化や分析、データ活用を支援するセルフBIツールとして代表的な製品であり、ワールドワイドで広く利用されています。

当社では、このTableauの研修として2023年度からTableau社の認定トレーニングを提供しております。Tableau社講師によるレクチャ形式のオンライン研修のため、講師の製品スキルも高く、ご不明点はその場で質問し、解決できます。加えて、トレーニング（演習）環境としてTableauを導入したオンライン環境をご用意いたします。事前にご自身のPCに製品をセットアップいただく手間を省き、オンライン接続が可能であれば、すぐに受講できます。

これからTableauをご利用になる方、既にTableauを利用中でスキルアップしたい方は、ぜひ、この機会に受講をご検討ください。

Q BIとはなんですか？

BI（Business Inteligence）とは、企業が収集・蓄積しているデータを可視・分析することで、データをもとに（＝データドリブンで）意思決定を支援するプロセスや仕組みをさします。



Q セルフBIツール／セルフサービスBIとはなんですか？

セルフBIツール／セルフサービスBIは、データ分析の専門知識を持たない業務部門のエンドユーザー自身がBIを行えるよう支援します。
セルフBIツールを利用することで、営業など現場の社員がデータを分析・活用できます。



Q Tableauとはなんですか？

Tableauはセルフ BIツールとしてワールドワイドでトップクラスのシェアを持つ製品です。
分析したいデータを持つシステムからデータを抽出し、ドラッグ＆ドロップを中心とした直感的な操作で多様なビジュアルを用いたデータの可視化・分析を提供します。

■ コース概要

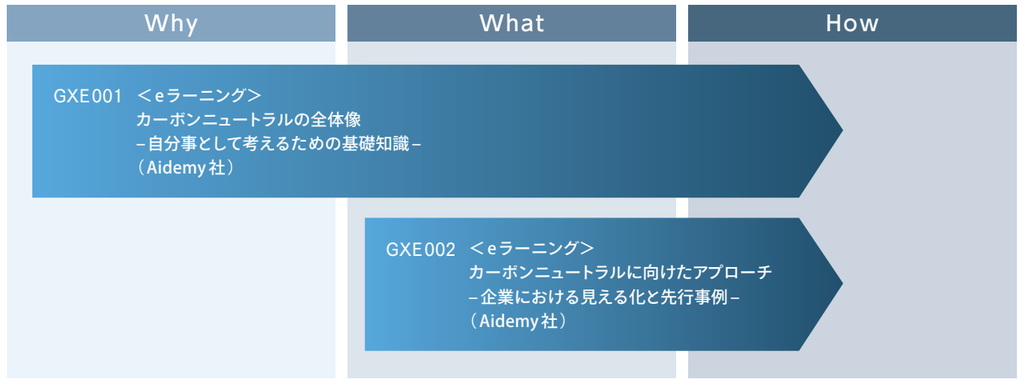
コースコード	コース名	日数	コース概要
DBV139	Tableauトレーニング −Desktop Ⅰ：Fundamentals （初級〜中級）− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	Tableauを初めて使用される、または導入を検討されている方を対象とした利用者にとって出発点となるコースです。 このコースではTableauの基礎だけでなく、各トピックの主な概念を取り上げたワークブック（例題ファイル）を使って実習を行いながら、データの並び替えやフィルタリングといった操作、各種チャートによるビジュアライゼーション、ダッシュボードの構築など、スキルや知識を学習します。
DBV140	Tableauトレーニング −Desktop Ⅱ：Intermediate（中級）− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	Tableau のパワーユーザーになるために必要な技能、より高度なスキルの修得をめざす方を対象としたコースです。 データソースの作成・接続、複数の表の統合、計算の使用、高度なビジュアライゼーションの構築、パラメーターなどによる分析の支援、ダッシュボードのカスタマイズなどに関して、より高度な手法を学習します。

GXリテラシーを高めましょう
～カーボンニュートラル達成に向けた法制度や先進事例を学ぶ研修コースのご紹介～

2023年7月、グテーレス国連事務総長は政府・企業・自治体・地域・金融機関のリーダーに向けて、「地球温暖化から地球沸騰化の時代を迎えた」と警告しました。温室効果ガス（GHG）の排出量を削減して、カーボンニュートラルを達成することは、人類共通の課題です。

気候変動が顕在化している中、「2050年にカーボンニュートラルを達成する」との日本政府の宣言は重みを増しています。企業活動においては、カーボンニュートラル達成に向けた課題や行政および金融機関の取組み等を理解した上で、カーボンニュートラルをビジネスチャンスとして考える力が求められています。また、国・地域によって異なる法制度や取組みに応じて、貿易を行う必要があります。さらに、市民・消費者の環境意識にも注意を払う必要があります。

このような背景のもと、当社では、カーボンニュートラル達成に向けた法制度や多数の先進事例を学ぶ研修コースを提供しております。学習内容は、GX（グリーントランスフォーメーション）分野の体系的な学び直しや事業企画立案のための情報収集にも適しております。ぜひご活用ください。



■ コース概要

コースコード		コース名	時間	コース概要
GXE001	New	＜eラーニング＞ カーボンニュートラルの全体像 −自分事として考えるための基礎知識−（Aidemy社）	5時間	カーボンニュートラルの動向やDXとの関係を学びます。また、投資家の要請（ESG投資）と環境先進国の1つデンマークにおける持続可能な社会づくり（消費者の意識）を学ぶことにより、ビジネスパーソンの目線と市民・消費者の目線での環境意識を醸成します。
GXE002	New	＜eラーニング＞ カーボンニュートラルに向けたアプローチ −企業における見える化と先行事例−（Aidemy社）	4.5時間	GHGプロトコルに基づいたGHG（温室効果ガス）排出量の見える化を学び、企業がすべき脱炭素化のステップを理解します。また、業種別の先行事例を多数学んだ後に、特に電力の脱炭素化における課題や世界各国の取組み事例を知ることで、事業企画立案のヒントを得ます。

これからITを学習する方におすすめ！ IT初学者向け研修のご案内

IT初学者、これからITを業務で利用する方へ、「IT技術はじめの一歩 」コースを提供しております。
自律した学習に最適な＜eラーニング＞ITスキル基礎パッケージとともにご活用ください。

近年、DXの高まりや企業のクラウド導入、自動化技術の発展などの要因により、これまでよりも幅広い人財にIT技術への理解が求められるようになってきています。

IT技術を正しく理解するためには、基本から知識を積み重ねていくことが重要です。トレンドの技術も基本的知識の応用です。これまでITに全く触れたことのない方に、いきなりトレンドの技術をキャッチアップさせようとしても、「IT って難しいんだな…」という印象を与え、苦手知識を植え付けるだけの結果になりかねません。

当社ではIT初学者、これからITを業務で利用する方向けの研修をご用意しています。ぜひご活用ください。

1 まずはここから! 第一歩を踏み出しましょう。

はじめてITを学習する方向けのコースです。PCの操作経験やプログラミング経験の浅い方を対象としています。

コースコード	コース名	日数	コース概要
SJV100	IT技術はじめの一歩 −ITリテラシー向上をめざして− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	これからITを学習する中で、まず必要となるコンピュータの基礎知識について学習します。コンピュータなどの各技術要素に対して踏み込んだ説明はせず、概要とイメージを紹介する内容になっていますので、「はじめてITを学習する方」にお薦めのコースとなります。
DBV123	プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 【バーチャル・クラスルーム】	1日	プログラミングを学習するにあたって重要となる「順次・分岐・繰り返し」の考え方を、マシン実習を交えながら学習するコースです。 ※Pythonの文法を学習するコースではございません。

2 コンピュータの基礎知識を体系的に学習したい方はこちら！

はじめの一歩を踏み出した後で、より基礎知識をしっかり学習したい方向けのコースです。上記の「IT技術はじめの一歩 −ITリテラシー向上をめざして−」をご受講いただいた次のステップとしてお薦めします。

コースコード	コース名	時間	コース概要
SJE030	＜eラーニング＞コンピュータ基礎−ソフトウェア編−	8時間	情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。
SJE031	＜eラーニング＞コンピュータ基礎−ハードウェア編−	8時間	情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。
SJE032	＜eラーニング＞コンピュータ基礎−情報の基礎理論編−	4時間	情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。
SJE033	＜eラーニング＞コンピュータ基礎−情報システム編−	4時間	情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。

3 プログラミング言語の基本を体系的に学習したい方はこちら！

「順次・分岐・繰り返し」を理解したら、みなさんがこれから利用するプログラミング言語ではどうやって表現しているのかを学習しましょう。上記の「プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−」をご受講いただいた次のステップとしてお薦めします。

コースコード	コース名	日数	コース概要
CCV009	C言語プログラミング1−基本マスタ編− 【バーチャル・クラスルーム】	3日	C言語の基本文法を、マシン実習を通して学習します。
OJV016	Javaプログラミング1(基本文法編) 【バーチャル・クラスルーム】	3日	Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本を、マシン実習を通して学習します。
NWV141	JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、Ajaxについて、マシン実習を通して学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。
VBV040	Visual Basicプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	2日	.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。
VCV011	Visual C#プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	2日	.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。
DBV138	Python入門 −データ分析での活用をテーマとして− 【バーチャル・クラスルーム】	2日	Pythonの基本的な構文やデータ構造、データ分析で利用されるライブラリの基本的な使い方をマシン実習を通して学習します。

4 自律した学習に最適な ＜eラーニング＞ITスキル基礎パッケージ

学習ペースを自分でコントロールし、eラーニングでITの基礎知識を着実に修得したい方には、「＜eラーニング＞ITスキル基礎パッケージ」をお薦めします。「ITスキル基礎パッケージ」は、厳選したコースラインアップをパッケージにしました。自律人財の育成に役立つ学習計画表や学習サポートメールにより学習をサポートいたします。

学習計画表

EXCELで提供される学習計画表に、推奨受講フローを参考にして学習計画を立てます。漫然と受講するのではなく、自分で学習の計画を立て、進捗を確認し、対策を立てることで、PDCAを回します。


学習計画表(2020年4月～9月)

学習サポートメール

学習アドバイザから知識定着をうながすアドバイスメールが届きます。受講コースに関連したおまけコンテンツの視聴URL付きで、飽きさせません。

学習サポートメール文例

こんにちは。学習アドバイザの水木です。今回は、理解度を確認する別の方法として、実際に手を動かす方法をご紹介します。
「アルゴリズム」で学習した内容を、手を動かして確認するにはどんな方法があるでしょうか。例えば、フローチャートをトレースし、変数に値が入ったり、画面に出力される様子を紙に描いてみましょう。ご自身の日々の作業をフローチャートに描いてみましょう。
とはいえ、初めのうちはどうやってトレースすればよいか、イメージしにくいかもしれません。トレースのコツを動画にしました。

（アルゴリズムの基本）どのようにトレースすると効果的か？
http://www.....

コースコード	SJE713
コース名	＜eラーニング＞ ITスキル基礎(ライトパッケージ)
コース概要	ITを活用するための基礎知識が修得できるよう、複数のeラーニングコースを1つのパッケージとしてまとめました。もっとも基本的な9コースのパッケージです。
学習開始日	4/3、5/15、6/5 (学習開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります)
パッケージ内のコース名	＜eラーニング＞ビジネススキル基礎 ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−ハードウェア編− ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−ソフトウェア編− ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−情報の基礎理論編− ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−情報システム編− ＜eラーニング＞アルゴリズムの基礎−フローチャート編− ＜eラーニング＞ネットワーク基礎 I −イーサネットの仕組み− ＜eラーニング＞ネットワーク基礎 II −TCP/IPの仕組み− ＜eラーニング＞データベース基礎

コースコード	SJE714
コース名	＜eラーニング＞ ITスキル基礎(フルパッケージ)
コース概要	最も基本的な9コースに加え、セキュリティ、プログラミング言語、システム開発やプログラムのテスト技法まで含めた、全20コースのフルパッケージです。
学習開始日	4/3、5/15、6/5 (学習開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります)
パッケージ内のコース名	＜eラーニング＞ビジネススキル基礎 ＜eラーニング＞ロジカルシンキング基礎 ＜eラーニング＞WHYで学ぶアカウンティング(基礎知識編) ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−ハードウェア編− ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−ソフトウェア編− ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−情報の基礎理論編− ＜eラーニング＞コンピュータ基礎−情報システム編− ＜eラーニング＞ネットワーク基礎 I −イーサネットの仕組み− ＜eラーニング＞ネットワーク基礎 II −TCP/IPの仕組み− ＜eラーニング＞情報セキュリティリテラシー ＜eラーニング＞情報技術者に求められるセキュリティの基礎 ＜eラーニング＞データベース基礎 ＜eラーニング＞SQL入門 ＜eラーニング＞アルゴリズムの基礎−フローチャート編− ＜eラーニング＞システム開発の基礎 ＜eラーニング＞運用管理概説 ＜eラーニング＞オブジェクト指向概説 ＜eラーニング＞Javaプログラミング1−基本文法編− ＜eラーニング＞Javaプログラミング2−基本クラス編− ＜eラーニング＞プログラムのテスト技法

1 開催コース／スケジュール一覧

日立講習会は下記の通り「日立製品研修」と「ＩＴ／ビジネス研修」からなり、ＩＴの利活用に必要なコースを多数取り揃えております。「日立製品研修」、「ＩＴ／ビジネス研修」の概要および提供するコースをご紹介します。

日立製品研修

日立製品（オープンミドル）

日立製作所のオープンミドルウェア、プラットフォームソフトウェアなどを扱うために必要な技術が修得できます。

●JP1
統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

●uCosminexus Application Server
uCosminexus Application Serverを使用したアプリ ケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

●HiRDB
データベースマネジメントシステムであるHiRDBのシステム運用やアプリケーション開発を行ううえで 必要となる知識と技術が修得できます。

●OpenTP1
TPモニタであるOpenTP1 システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

●VOS3
日立メインフレームOSであるVOS3の使用方法や機能、システム運用管理技術が修得できます。

●XDM
日立メインフレーム DB/DCであるXDMの機能や設定、システム運用管理技術が修得できます。

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

●日立製品（ハードウェア／ストレージ）
日立ブロックストレージに関する製品・機能について 必要な知識やスキルを修得できます。

IT／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション

社会やビジネス・要素技術は変化・進化しており、顧客・自社それぞれの事業・業務のデジタル化が急務となる中で、製品・サービスの開発や、その利活用にとって必要なデジタルに関する要素技術を体系化したものです。

●デジタル導入
DX事業推進のために、デジタル技術を活用した製品・サービスの企画・開発・実装する方や、デジタル化された業務を遂行する方にとって必要なDXのマインド、プロセス、要素技術などのリテラシーに関する領域です。

●セールス／フロント
顧客の取り巻く業界トレンドをもとに経営レベルから業務課題まで幅広く課題を理解し、経営層やステークホルダに適切な課題の提言や、解決策の提案ができる、顧客協創の推進役に必要な活動プロセスに関する領域です。

●サービス
顧客との協創を実現しながら顧客課題に応えるための新たなDX事業のビジネスモデル検討と、そのためのサービスの企画・開発に必要なビジネスフレームワークやツールの活用方法とその検討プロセスに関する領域です。

●イノベーション
自社の既存ビジネスや業務プロセスといった枠組みにとらわれず、社会課題起点による新たな事業をイノベーティブに検討することや、顧客の現場を観察し真の課題を浮き彫りにするためのデザイン思考に関する領域です。

●データサイエンス
顧客や自社の経営・業務について、データドリブンに改革・改善するために、課題解決手法、データ分析手法、AI、機械学習など、データサイエンスに必要なビジネス・サイエンス・エンジニアリングに関する領域です。

●プロセス／プロダクト
製造現場におけるデジタル技術の活用による製造ライン・業務プロセス改革といったオペレーション、エンジニアリングの高度化や、製品のコネクティッド化など、デジタル技術活用による高付加価値化に関する領域です。

ビジネス

仕事を進めるうえで必要となるスキル（経営基礎知識、ロジカルシンキング、コミュニケーション、ライティング、リーダシップなど）が修得できます。

●経営力
会社の戦略を遂行し、チームを成功に導くマネジメントスキルの基礎（戦略、マーケティング、財務、会計、マネジメントマインドセット、洞察力など）が修得できます。

●思考力／考え抜く力
自らが問題提起を行い、解決のためのシナリオを描ける思考力（課題発見力、計画力、創造力）が修得できます。

●チームで働く力
多様な人々と共に、目標達成に向け協力するために必要なスキル（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）が修得できます。

●前に踏み出す力
試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら一歩前に踏み出すために必要なスキル（主体性、実行力、働きかけ力）が修得できます。

●目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）
業務遂行にあたって、意志決定を行うためのバックヤードとなる知見（コンプライアンス、業界知識、リベラルアーツ）が修得できます。

プロジェクトマネジメント

プロジェクトの活動状況を的確に把握し、困難な局面を乗り越え、プロジェクトを成功に導くために役立つ領域です。

●プロジェクトマネジメント
プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

●プロジェクトマネジメント資格取得
プロジェクトマネジメントの国際資格PMP®（PMI®認定）の取得に役立つコース群です。

ビジネスアーキテクト

事業環境の変化を見極め、ビジネス領域の問題を分析し、課題解決に導くための要件定義ができるビジネスアーキテクトに関する領域です。

●事業戦略・投資管理・ビジネスモデル
事業の方向性を見据えた戦略立案、ビジネスを成功させるIT投資、ステークホルダーに価値をもたらすビジネスモデルに必要なスキルが修得できます。

開発／基盤

IT・OT・プロダクトの開発・基盤に関する技術を修得できます。

●クラウド
クラウドや仮想化の基礎知識と技術が修得できます。

●モダン開発（アジャイル開発含む）
アジャイルやクラウド環境を利用するモダンな開発に関する基礎知識と技術が修得できます。

●開発工程全般・企画・設計
IT・OT・プロダクトの開発に関する工程ごとの技術（工程全体の俯瞰や企画、要件定義、設計や、関連手法）が修得できます。プログラミングなどの実装技術はプログラミング・情報技術、テスト工程については品質・技法・信頼性を参照ください。

●プログラミング・情報技術
IT・OT・プロダクトの開発に関する実装技術（プログラミング）、情報関連技術（コンピュータの要素技術など）、デジタル技術（XR技術、R言語、DeepLearning、IoT技術など）を修得できます。

●品質・技法・信頼性
IT・OT・プロダクトの開発に関する品質、信頼性に関連する技術を修得できます。

●セキュリティ
個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

●プラットフォーム（Linux/Microsoft）
LinuxやMicrosoft製品を用いたシステム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ITサービス
情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

プロダクト（IT）

データベースやネットワーク、DXを支援するアプリケーション・サービスやサーバ仮想化製品、RPA製品に関する技術を修得できます。

●基盤製品（データベース）
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

●基盤製品（ネットワーク）
ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

●ミドル・アプリケーション製品
ビジネスユーザーによるデータ活用やローコードでのDXを支援するアプリケーション・サービスや、サーバ仮想化製品の基礎知識、操作、技術が修得できます。

●RPA製品
RPA（Robotic Process Automation）製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

設計・モノづくり（OT）

グローバル図面・公差設計に関する技法、基盤技術の基礎とリスキリング、新規ビジネス創生法、グローバル図面で製品の世界展開法、モノづくりの実体験、および、完成品の良否判断法を修得できます。

●電気・計測制御
電気系技術者・技能者の知識や技能の拡大ができます。若手技術者のための基礎技術や熟練技術者たためのリスキリングで技術が修得できます。

●機械・設計技法
機械系技術者・技能者の知識や技能の拡大ができます。若手技術者のための基礎技術や熟練技術者たためのリスキリングで技術が修得できます。

●生産・サプライチェーンエンジニアリング
No.1プロダクトを支える生産およびサプライチェーンに関わる必要な技術、管理能力が修得できます。

●製造・モノづくり基盤技術
デジタル化推進に必要な技術、広くモノづくりに携わるエンジニア技術、リスキリングで技術、管理能力が修得できます。

情報処理技術者試験対策

●情報処理技術者試験対策
情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答の考え方が修得できます。

グローバル

●グローバル
グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

New 新設コース

分野	コースコード	コース名	日数※
日立製品（オープンミドル）			
JP1	JPE331	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 - システム監視 -	18時間
	JPE332	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 - システム設定 -	12時間
デジタルトランスフォーメーション			
プロセス /プロダクト	DBV150	IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発ワークショップ −アイデア発想からマネタイズまで−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	1日
ビジネス			
チームで働く力	HSE142	<eラーニング> 3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習！	3時間
ビジネスアーキテクト			
事業戦略・投資管理・ ビジネスモデル	CTV077	要件定義スキル基礎−ロールプレイによる要求の引き出し− 【バーチャル・クラスルーム】	2日
開発/基盤			
クラウド	CDV025	触れて学ぶコンテナ実践−Docker実践編− 【アイ・ラーニング ライブ配信】	1日
プログラミング・情報技術	NWV152	JavaScriptプログラマのためのTypeScript入門 【バーチャル・クラスルーム】	1日
セキュリティ	SDV012	ゼロトラスト概論−本質を理解し現代的なITインフラを設計するために− 【アイ・ラーニングライブ配信】	0.5日
プラットフォーム (Linux/Microsoft)	UXE308	<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編1−ユーザ／ネットワーク管理−	8時間
	UXE309	<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編2−パッケージ／ログ管理とセキュリティ−	8時間
	OAV050	実践Excel-VBA 【アイ・ラーニング ライブ配信】	2日
設計・モノづくり(OT)			
製造・モノづくり基盤技術	OTJ025	産業用ロボット特別安全教育（教示）	2日
その他（グリーントランスフォーメーション）			
その他 （グリーントランスフォーメーション）	GXE001	<eラーニング> カーボンニュートラルの全体像−自分事として考えるための基礎知識−（Aidemy社）	5時間
	GXE002	<eラーニング> カーボンニュートラルに向けたアプローチ−企業における見える化と先行事例−（Aidemy社）	4.5時間

Renewal 改訂コース

コース内容の大幅な変更（改訂）と、コース名称を変更したものは下記の通りです。改訂したコースについては、表右側の「改訂のポイント」をご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
日立製品（オープンミドル）				
JP1	JPE020	<eラーニング>JP1機能概説（Version 10） 旧コースコードおよび名称>> JPE006 <eラーニング>JP1機能概説（Version 10）	6時間	受講料の改訂
uCosminexus Application Server	CSE002	<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3−性能設計・性能対策− 旧コースコードおよび名称>> CSE001 <eラーニング>uCosminexus Application Server 実践3−性能設計・性能対策−	6時間	受講料の改訂
HiRDB	DBE070	<eラーニング>HiRDB機能解説 旧コースコードおよび名称>> DBE015 <eラーニング>HiRDB機能解説】	7時間	受講料の改訂
XDM	DBE071	<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定−環境構築編− 旧コースコードおよび名称>> DBE016 <eラーニング>XDMリレーショナル DB機能と設定−環境構築編−	4時間	受講料の改訂
	DBE072	<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定−データベース作成編− 旧コースコードおよび名称>> DBE017 <eラーニング>XDMリレーショナル DB機能と設定−データベース作成編−	4時間	受講料の改訂
	DBE073	<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定−運用編− 旧コースコードおよび名称>> DBE018 <eラーニング>XDMリレーショナル DB機能と設定−運用編−	4時間	受講料の改訂
	DBE074	<eラーニング>XDMシステムの設計と運用 旧コースコードおよび名称>> DBE028 <eラーニング>XDMシステムの設計と運用	18時間	受講料の改訂
デジタルトランスフォーメーション				
デジタル導入	DBE069	<eラーニング>考えてみようDX −デジタルトランスフォーメーション理解編− 旧コースコードおよび名称>> DBE047 <eラーニング>考えてみようDX−デジタルトランスフォーメーション理解編−	3時間	内容の改訂、受講料の改訂
イノベーション	HSV247	協創型イノベーション開発手法（全体プロセス編） −モノとコトを結び顧客価値創出を実現する−【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> HSV207 協創型イノベーション開発手法（モノとコトを結び新たな顧客価値を創出する）【バーチャル・クラスルーム】	2日	コース名称の変更
データサイエンス	AIE012	<eラーニング>AIリテラシー −AI技術の概要と活用事例− 旧コースコードおよび名称>> AIE004 <eラーニング>AIリテラシー−AI技術の概要と活用事例−	20時間	受講料の改訂
	DBV153	テキストマイニング入門 −プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> DBV124 テキストマイニング入門−プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−【バーチャル・クラスルーム】	1日	受講料の改訂

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
プロセス／プロダクト	IDV003	(PDU) IoTコンセプトデザイン −IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する− 【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU 旧コースコードおよび名称>> IDV002 (PDU) IoTコンセプトデザイン−IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU	1日	受講料の改訂
ビジネス				
チームで働く力	HSV251	(PDU)アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> HSV238 (PDU)アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−【バーチャル・クラスルーム】PDU	1日	受講料の改訂
	HSE143	<eラーニング> 協創を生みだす交渉(基礎知識編) 旧コースコードおよび名称>> HSE139 <eラーニング>協創を生みだす交渉(基礎知識編)	4時間	受講料の改訂
	HSV250	(PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック 【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> HSV234 (PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック【バーチャル・クラスルーム】PDU	1日	受講料の改訂
	HSV248	ピーク・パフォーマンス −集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直す−【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> HSV226 ピーク・パフォーマンス−集中力を手に入れる−【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称の変更
目的別(コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養)	HSV249	(PDU)契約基礎 −今こそ押さえておきたい!エンジニアと営業のための契約書の見方・ポイント−【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> HSV246 契約基礎−今こそ押さえておきたい!エンジニアと営業のための契約書の見方・ポイント−【バーチャル・クラスルーム】	2日	(PDU)対象へ変更によるコース名称の変更
プロジェクトマネジメント				
プロジェクトマネジメント	PMV114	(PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント −行動特性分析に基づく−【バーチャル・クラスルーム】PDU 旧コースコードおよび名称>> PMV109 (PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント−行動特性分析に基づく−【バーチャル・クラスルーム】PDU	2日	受講料の改訂
開発／基盤				
クラウド	DBV152	ビッグデータにおけるシステム設計実践 −多様なデータを統合しビッグデータとして活用する−【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> DBV106 ビッグデータにおけるシステム設計実践−多様なデータを統合しビッグデータとして活用する−【バーチャル・クラスルーム】	1日	受講料の改訂
モダン開発 (アジャイル開発含む)	SPV086	DevOps入門−バージョン管理とCI ／ CDを活用した効率的な開発フロー− 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPV060 体験!最新OSSを活用したDevOps入門 −Lumadaにおけるアプリケーション開発の流れ−【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称の変更、受講料の改訂
開発工程全般・企画・設計	SPV087	新しいUXデザインの進め方【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SPV081 新しいUXデザイン −ポストHCDの立場から−【バーチャル・クラスルーム】	0.5日	コース名称の変更
プログラミング・情報技術	CBE007	<eラーニング>アルゴリズムの基礎−フローチャート編− 旧コースコードおよび名称>> CBE006 <eラーニング>アルゴリズムの基礎−フローチャート編−	16時間	受講料の改訂
	CCE008	<eラーニング>C言語プログラミング2−ポインタ実践編− 旧コースコードおよび名称>> CCE005 <eラーニング>C言語プログラミング2−ポインタ実践編−	24時間	受講料の改訂

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
プログラミング・情報技術	NWV151	HTML5／JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> NWV140 HTML5／JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践【バーチャル・クラスルーム】	2日	内容の最新化による改訂
	DBV154	NVIDIA Deep Learning Institute(DLI)認定コース AIを応用した予知保全【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> DBV133 NVIDIA Deep Learning Institute(DLI)認定コース AIを応用した予知保全【バーチャル・クラスルーム】	1日	受講料の改訂
	IOE013	<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編 旧コースコードおよび名称>> <eラーニング>IoT技術解説 IoTネットワーク編	3時間	内容の最新化による改訂
	IOE014	<eラーニング> IoT技術解説　5G編 旧コースコードおよび名称>> IOE007 <eラーニング>IoT技術解説　5G編	2.5時間	内容の最新化による改訂
	IOE015	<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編 旧コースコードおよび名称>> IOE009 <eラーニング>IoT技術解説 セキュリティ編	3時間	内容の最新化による改訂
プラットフォーム (Linux/Microsoft)	UXV083	UNIX/Linux 基礎−コマンド編− 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> UXV078 UNIX/Linux 基礎−コマンド編−【バーチャル・クラスルーム】	2日	Linuxのバージョンアップに伴う内容の最新化
	UXV084	UNIX/Linux 基礎−シェルスクリプト編− 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> UXV049 UNIX/Linux 基礎−シェルスクリプト編−【バーチャル・クラスルーム】	2日	Linuxのバージョンアップに伴う学習内容の最新化
	UXE307	<eラーニング>【マシン演習付き】 UNIX ／ Linux基礎−コマンド編− 旧コースコードおよび名称>> UXE306 <eラーニング>【マシン演習付き】UNIX/Linux基本使用法	8時間	コース名称の変更、受講料の改訂
	UXV085	Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎− 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> UXV029 Linuxシステム管理 前編−Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎−【バーチャル・クラスルーム】	2日	内容の改訂、受講料の改訂
	MSV057	Windows PowerShell入門 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> MSV054 実践! Windows PowerShellを用いたシステム管理の効率化【バーチャル・クラスルーム】	1日	コース名称の変更、受講料の改訂、および開催時間の変更
ITサービス	ITE010	<eラーニング> (PDU) ITIL®4ファンデーション(受験バウチャーチケット付き)PDU 旧コースコードおよび名称>> ITE009 <eラーニング>ITIL® 4ファンデーション(受験バウチャーチケット付き)PDU	10時間	(PDU)対象へ変更によるコース名称の変更、内容の改訂、および平均学習時間の変更
	ITV010	情報システム運用入門 −運用からITサービスへ−【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> ITV008 情報システム運用入門−運用からITサービスへ−【バーチャル・クラスルーム】	1日	受講料の改訂

分野	コースコード	コース名	日数※	改訂のポイント
プロダクト (IT)				
基盤製品（データベース）	DBE075	<eラーニング> 速習！1日でわかるデータベース設計の基礎 旧コースコードおよび名称>> DBE057 <eラーニング>速習！1日でわかるデータベース設計の基礎	6時間	受講料の改訂
基盤製品（ネットワーク）	NWV153	ネットワークインフラ構築ー基礎編ー 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> NWV147 ネットワークインフラ構築ー基礎編ー【バーチャル・クラスルーム】	1日	内容の改訂、受講料の改訂
情報処理技術者試験対策				
情報処理技術者試験対策	SJV016	応用情報技術者試験【AP】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】 旧コースコードおよび名称>> SJV003 応用情報技術者試験【AP】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】	1日	開催時間の変更

廃止コース

新設コースの実施や大幅な内容改訂を図り、ニーズの高いコース・お役に立てるコースの充実に努めております。
そのため、大変ご迷惑をお掛けしますが、次のコースを廃止とさせていただきます。なお、下記廃止コースのうち、内容が同等または類似のコースがある場合は、廃止コース名の下段に対象のコース名をご紹介します。
コースの詳細は日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。

分野	コースコード	コース名	日数※
●日立製品（ハードウェア／ストレージ）			
日立製品（ハードウェア／ストレージ）	SLV072	日立ストレージハンズオンーiSCSI活用編ー【バーチャル・クラスルーム】	1日
●デジタルトランスフォーメーション			
データサイエンス	AIE001	<eラーニング>AIエンジニアリング入門（1）ー機械学習の理論と実践ー	70時間
	AIE002	<eラーニング>AIエンジニアリング入門（2）ー深層学習の理論と実践ー	34時間
	AIE003	<eラーニング>日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座	40時間
●ビジネス			
チームで働く力	HSV227	ピーク・パフォーマンスー復元力を手に入れるー【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV248 ピーク・パフォーマンスー集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直すー【バーチャル・クラスルーム】	1日
	HSV228	ピーク・パフォーマンスー創造力を手に入れるー【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV248 ピーク・パフォーマンスー集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直すー【バーチャル・クラスルーム】	1日
目的別（その他／おすすめeラーニング）	HSE127	<eラーニング>ロジカルプレゼンテーション基礎ーレクチャ編ー >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV230 ロジカルプレゼンテーション基礎【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	8時間
	HSE123	<eラーニング>報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎ーレクチャ編ー >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV126 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎【バーチャル・クラスルーム】	4時間
目的別（その他／おすすめeラーニング）	HSE124	<eラーニング>リスニング力を高めてコミュニケーションスキルアップーレクチャ編ー >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV235 本質的なニーズを引き出すヒアリング術ーオンラインでも成果を出せる面談スキルー【バーチャル・クラスルーム】	4時間
	HSE125	<eラーニング>アサーティブ・コミュニケーションーレクチャ編ー >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV251（PDU）アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー【バーチャル・クラスルーム】	4時間
	HSE049	<eラーニング>ビジネススキル基礎 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV126 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎【バーチャル・クラスルーム】	8時間
	HSE097	<eラーニング>コーチングマニュアル >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV232 コーチング基礎ー基本の6種スキルとGROWモデルー【バーチャル・クラスルーム】	1時間
	HSE117	<eラーニング>（PDU）リーダ向け報連相 PDU >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV126 報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎【バーチャル・クラスルーム】	4時間
	HSE122	<eラーニング>メンバーシップとチームワークーレクチャ編ー >>同等または類似のコースコードおよび名称>> HSV240 自律型人財に求められるフォロワーシップー相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化するー【バーチャル・クラスルーム】	4時間
●開発／基盤			
モダン開発（アジャイル開発含む）	SPV082	（PDU）実践！ DevOpsによるアジャイル開発ーお客様に素早く価値を届けるためにー【バーチャル・クラスルーム】 PDU >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SPV084 スクラムの基礎と実践【バーチャル・クラスルーム】	1日
プログラミング・情報技術	OTJ017	ソフトウェア詳細設計・実装の基本原則とベストプラクティス	3日
セキュリティ	SCV056	IT/OTシステムのセキュリティリスク分析【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> SCV047 ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント【バーチャル・クラスルーム】	1日
●プロダクト (IT)			
基盤製品（ネットワーク）	NWE001	<eラーニング>インターネット技術入門	6時間
RPA製品	RPV004	RPA入門ー概説と操作演習（BizRobo !）【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> RPV002 UiPath公式速習プログラム入門ー基本操作ハンズオンー【バーチャル・クラスルーム】	1日
	RPV013	BizRobo !実践トレーニング【バーチャル・クラスルーム】 >>同等または類似のコースコードおよび名称>> RPV003 UiPath公式速習プログラム実践ー業務プロセス定義書・ワークフロー開発ー【バーチャル・クラスルーム】	1日
	RPV023	RPA入門ー概説と操作演習（Blue Prism）【バーチャル・クラスルーム】	1日
	RPV016	Blue Prism認定トレーニング 基礎編【バーチャル・クラスルーム】	3日
	RPV017	Blue Prism認定トレーニング 応用編【バーチャル・クラスルーム】	2日

※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています。
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

開催コース／スケジュール一覧

日立製品（オープンミドル）

コースコード末尾に「T」を表示しているコースは「試験付」です。「試験」は研修終了後に実施します。
コースコード末尾に「V」を表示しているコースは「受験バウチャー付き」です。

JP1

掲載ページ：P. 58 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
JPV302		【日立パートナー様 限定コース】 JP1セールスコーディネーター 【バーチャル・クラスルーム】	¥25,300	1日	レクチャ	オンライン		10			2		－
JPV278 (JPV278V)		JP1エンジニア一機能概説－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000 (¥50,600)	1日	レクチャ	オンライン		10	6		1	11	－
JPV306		JP1操作入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン		13			2		－
JPJ306		JP1操作入門	¥44,000	1日	マシン実習	東京（大森）			7			12	－
JPV308		JP1プロフェッショナル 統合管理 1 －システム監視－【バーチャル・クラスルーム】	¥165,000	3日	マシン実習	オンライン		20~22				2~4	－
JPV309 (JPV309V)		JP1プロフェッショナル 統合管理 2 －システム設定－【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン		23~24				5~6	－
JPV310 (JPV310V)		JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース 【バーチャル・クラスルーム】	¥253,000 (¥261,800)	5日	マシン実習	オンライン		20~24				2~6	－
JPJ308		JP1プロフェッショナル 統合管理 1 －システム監視－	¥165,000	3日	マシン実習	東京（大森）				22~24			－
JPJ309 (JPJ309T)		JP1プロフェッショナル 統合管理 2 －システム設定－	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）				25~26			－
JPJ310 (JPJ310T)		JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース	¥253,000 (¥261,800)	5日	マシン実習	東京（大森）				22~26			－
JPE331	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理1 －システム監視－	¥165,000	18時間	eラーニング	学習開始日				4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE332	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル 統合管理2 －システム設定－	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日				4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 - システム監視 - (Version 12)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 - システム設定 - (Version 12)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPV286		JP1プロフェッショナル IT運用自動化 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	マシン実習	オンライン				11~12			－
JPV283		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 －ジョブ定義・監視－【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	マシン実習	オンライン	23~24	28~29	24~25	9~10	5~6	9~10	－
JPV284 (JPV284V)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 －システム設定・運用管理－【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン	25~26	30~31	26~27	11~12	7~8	11~12	－
JPV285 (JPV285V)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース 【バーチャル・クラスルーム】	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	オンライン	23~26	28~31	24~27	9~12	5~8	9~12	－
JPJ283		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 －ジョブ定義・監視－	¥110,000	2日	マシン実習	東京（大森）		14~15	11~12	23~24	27~28	24~25	－
JPJ284 (JPJ284T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 －システム設定・運用管理－	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）		16~17	13~14	25~26	29~30	26~27	－
JPJ285 (JPJ285T)		JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース	¥198,000 (¥206,800)	4日	マシン実習	東京（大森）		14~17	11~14	23~26	27~30	24~27	－
JPE322		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 －ジョブ定義・監視－	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE323		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 －システム設定・運用管理－	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPJ307 (JPJ307T)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）						9~10	－
JPV307 (JPV307V)		JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン			24~25				－

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
JPV305 (JPV305V)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン			20~21				－
JPJ305 (JPJ305T)		JP1プロフェッショナル 資産・配布管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	東京（大森）					29~30		－
JPV295 (JPV295V)		JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	オンライン				30			－
JPV282 (JPV282V)		JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習	オンライン					22~23		－
JPJ282 (JPJ282T)	休講	JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000 (¥118,800)	2日	マシン実習								－
JPE328		<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPV287 (JPV287V)		JP1プロフェッショナル バックアップ管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥63,800)	1日	マシン実習	オンライン				29			－
JPV298		JP1コンサルタント ジョブ管理 －システム設計編－【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	レクチャ	オンライン			20			5	－
JPV299 (JPV299V)		JP1コンサルタント ジョブ管理 －チューニング編－【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン			21			6	－
JPV300 (JPV300V)		JP1コンサルタント 資産・配布管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						4	－
JPV312 (JPV312V)		JP1コンサルタント 統合管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						2	－
JPV297 (JPV297V)		JP1コンサルタント パフォーマンス管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						3	－
JPV313 (JPV313V)		JP1コンサルタント ネットワーク管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000 (¥66,000)	1日	レクチャ	オンライン						9	－
JPE016		<eラーニング> JP1機能概説(Version 11)	¥30,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
JPE017		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理1 －システム監視－(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE018		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理2 －システム設定－(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE324		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 1 －ジョブ定義・監視－(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE325		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 2 －システム設定・運用管理－(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE019		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM(Version 11)	¥110,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE308		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 －システム監視－(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE309		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 －システム設定－(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE310		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE020	Renewal	<eラーニング> JP1機能概説(Version 10)	¥28,600	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
JPE311		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1 －ジョブ定義・監視－(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
JPE312		<eラーニング>【マシン演習付き】 ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 －システム設定・運用管理－(Version 10)	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
uCosminexus Application Server 掲載ページ：P. 78 ～													
CSE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 入門 −構築基礎−	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CSE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践1 −設計・構築−	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CSE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 uCosminexus Application Server 実践2 −トラブルシュート−	¥44,000	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CSE002	Renewal	<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3 −性能設計・性能対策−	¥34,100	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HiRDB 掲載ページ：P. 80 ～													
DBE070	Renewal	<eラーニング> HiRDB機能解説	¥27,500	7時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV064		HiRDB入門−データベース構築編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン		27		8			−
DBE349		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB入門−データベース構築編−	¥33,000	7時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
DBV092		HiRDBデータベース管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン			18~19	18~19			−
DBE305		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBデータベース管理	¥66,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
DBE026		<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング	¥30,800	6.5時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE330		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング	¥88,000	12時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
DBE329		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDBパラレルサーバ構築	¥88,000	13時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
DBE306		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションプログラミング	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
DBE318		<eラーニング>【マシン演習付き】 HiRDB アプリケーションチューニング	¥88,000	13時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
OpenTP1 掲載ページ：P. 84 ～													
DBE061		<eラーニング> OpenTP1基礎	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV009		OpenTP1基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン			10				−
DBV041		OpenTP1の設計と運用 −Server Base編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	2日	マシン実習	オンライン					5~6		−
DBE023		<eラーニング> OpenTP1の設計と運用 −MCF編−	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE014		<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
VOS3 掲載ページ：P. 86 ～													
VSV016		VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン			12	22	26		−
VSE003		<eラーニング> VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
VSE004		<eラーニング> VOS3基礎2−JCL−	¥36,300	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
VSV011		VOS3システム解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン				25		2	−
VSJ011	休講	VOS3システム解説	¥33,000	1日	レクチャ								−
VSV017		VOS3応用 −VSAMデータセットの活用− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン						3	−
VSJ018	休講	VOS3ジョブ管理解説	¥61,600	2日	レクチャ								−
VSV015		VOS3基礎2−JCL− 【バーチャル・クラスルーム】	¥61,600	2日	レクチャ	オンライン			13~14	23~24	27~28		−
XDM 掲載ページ：P. 89 ～													
DBJ104	休講	XDMリレーショナル DB機能と設定	¥55,000	2日	レクチャ								−
DBE071	Renewal	<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 −環境構築編−	¥15,400	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE072	Renewal	<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 −データベース作成編−	¥15,400	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE073	Renewal	<eラーニング> XDMリレーショナル DB機能と設定 −運用編−	¥15,400	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE074	Renewal	<eラーニング> XDMシステムの設計と運用	¥79,200	18時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBJ105	休講	XDM構造型DB機能と設定	¥82,500	3日	レクチャ								−
DBE024		<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定	¥55,000	18時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBJ103	休講	XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥55,000	2日	レクチャ								−
DBE025		<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用	¥37,400	12時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
日立ストレージ 掲載ページ：P. 93 ～													
CLE005		<eラーニング> ストレージシステム基礎	¥13,200	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE028		<eラーニング> SCSI入門 −ストレージインタフェースを理解するために−	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE018		<eラーニング> SAS(Serial Attached SCSI)入門 −ストレージインタフェースを理解するために−	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE017		<eラーニング> SATA入門	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE016		<eラーニング> Fibre Channel概説 −日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CLE006		<eラーニング> SAN概説	¥19,800	5時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CLE004		<eラーニング> ストレージ関連者向けサーバ仮想化技術概説	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SLV076		日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥25,300	1日	レクチャ	オンライン		17			2		−
SLV088		初歩から学ぶ　ストレージ構築のポイント 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	レクチャ	オンライン				12			−
SLV087		初歩から学ぶ　日立ストレージ GUI/CLIツール −各ツールの操作を体験する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン		23			22		−
SLV089		日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	レクチャ	オンライン		21			7		−
SLV091		日立ストレージ　基本ソフトウェア解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン		24			23		−
SLV102		日立ストレージ スナップショット機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥24,200	0.5日	レクチャ	オンライン			10			4	−
SLV093		日立ストレージ　ローカルコピー機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥24,200	0.5日	マシン実習	オンライン			7			3	−
SLV095		日立ストレージ　仮想ボリューム機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン			11			5	−
SLV094		日立ストレージ　リモートコピー機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥26,400	0.5日	マシン実習	オンライン			12			6	−
SLV096		日立ストレージ ストレージ二重化機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥24,200	0.5日	マシン実習	オンライン						9	−
SLV090		日立ストレージ　REST API概要 【バーチャル・クラスルーム】	¥19,800	0.5日	レクチャ	オンライン						2	−
SLV092		REST APIによる日立ストレージ操作 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン						2	−
SLV097		日立ストレージ 外部ストレージ接続機能 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	0.5日	マシン実習	オンライン				25		25	−
SLV098		日立ストレージ RAID Manager概要 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	レクチャ	オンライン				22		19	−
SLV099		日立ストレージ RAID Manager操作 -ローカルコピー・スナップショット- 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン				23		20	−
SLV100		日立ストレージ RAID Manager操作 -リモートコピー・GAD- 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン				24		24	−
SLV101		日立ストレージ Storage Navigator操作 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	マシン実習	オンライン				26		26	−

デジタルトランスフォーメーション

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
デジタル導入						掲載ページ：P. 99 ～							
DBE069	*Renewal*	<eラーニング> 考えてみようDX −デジタルトランスフォーメーション理解編−	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE041		<eラーニング> 考えてみようDX −ビジネス着想編−	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE042		<eラーニング> 考えてみようDX −データ活用による業務改善編−	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE068		<eラーニング> DXによって我々の事業は何が変わるのか −テクノロジーの進化から見るDXの本質−	¥16,500	2.5時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
IOE012		<eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
IOE010		<eラーニング> マイクロラーニングで学ぶ!はじめてのIoT	¥17,600	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV080		やってみようDX −ローコードプログラミングによる業務のDX− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン		9		22			−
AIE008		<eラーニング> AI・データサイエンス基礎	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
AIE009		<eラーニング> 日本ディープラーニング協会（JDLA） G検定取得対策講座（Study-AI社）	¥31,900	24時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
DBE064		<eラーニング> データサイエンティスト検定リテラシーレベル取得対策講座（Aidemy社）	¥52,800	9.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
セールス／フロント						掲載ページ：P. 103 ～							
HSV180		顧客協創を促すディスカッションペーパーの 作成・活用の仕方 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン		14					−
HSV231		顧客の心をつかむ戦略的提案活動 −体系的に学ぶ提案活動の進め方− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥96,800	1日（0.5日×2回）	グループ演習	オンライン	5/10(1日目), 5/24(2日目)						お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間:3時間）を終了してください
HSV236		高評価をねらえる提案書作成 −顕在・潜在ニーズに訴求する− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	0.5日	グループ演習	オンライン	15						お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間:2時間）を終了してください
HSV235		本質的なニーズを引き出すヒアリング術 −オンラインでも成果を出せる面談スキル− 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	グループ演習	オンライン			10		7		−
サービス						掲載ページ：P. 105 ～							
HSV158		イノベーションプロセスを強化する シナリオプランニング 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	グループ演習	オンライン		22				9	−
HSV237		ケーススタディで学ぶカスタマーサクセス −顧客のリピートを生み出す世界標準のメソッド− 【バーチャル・クラスルーム】	¥95,700	1日	グループ演習	オンライン				22		3	−
HSV159		顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	グループ演習	オンライン		28~29			6~7		−
HSV209		デジタル時代における収益モデルのデザイン −KPIツリーによる事業性の評価− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン			7				−
HSV210		デジタル時代における顧客接点のデザイン −顧客経験ジャーニーマップの活用− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン				3			−
HSV213		デジタル時代における成果型サービスのデザイン −ジョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用−【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン					1		−
ITE006		<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSJ208	休講	モノづくり事業をベースとした 高収益サービスの創生法 −Product-Service Systems（PSS）−	¥198,000	2日	グループ演習								−
イノベーション						掲載ページ：P. 108 ～							
HSV224		イノベーティブ思考 −事業創出プロセスを通じて学ぶ− 【バーチャル・クラスルーム】	¥96,800	2日	グループ演習	オンライン			11~12	2~3, 22~23	7~8, 26~27	2~3, 25~26	−

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSJ163		クリエイティブシンキング	¥44,000	1日	グループ演習	東京（大森）		28	18	29		13	−
HSV247	Renewal	協創型イノベーション開発手法（全体プロセス編） −モノとコトを結び顧客価値創出を実現する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥138,600	2日	グループ演習	オンライン			3~4		22~23		−
データサイエンス				掲載ページ：P. 110 ～									
AIE012	Renewal	<eラーニング> AIリテラシー −AI技術の概要と活用事例−	¥55,000	20時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は30日間です
HSV175		データ利活用のパターンとビジネス着想 【バーチャル・クラスルーム】	¥28,600	0.5日	レクチャ	オンライン			21		29		−
AIE007		<eラーニング> AIマーケティングの基礎	¥39,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
HSV198		定量分析のスキル 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	レクチャ	オンライン	10~11	13~14	11~12, 19~20	8~9, 17~18	5~6	2~3, 17~18	−
DBE062		<eラーニング> Excelによる問題解決のためのデータ分析	¥19,800	7時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
OAV049		Excelによる問題解決のためのデータ分析 【バーチャル・クラスルーム】	¥37,400	1日	マシン実習	オンライン				24		12	−
HSE116		<eラーニング> データ分析手法の理論と適用	¥36,300	14時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV109		データ分析手法の理論と適用 −ビジネスにおける統計的手法活用の広がり− 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン		20~21	17~18	11~12		10~11	−
DBE052		<eラーニング> 自然言語処理基礎	¥66,000	10.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
HSV211		BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方 【バーチャル・クラスルーム】	¥59,400	1日	マシン実習	オンライン						6	−
DBV153	Renewal	テキストマイニング入門 −プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−【バーチャル・クラスルーム】	¥41,800	1日	マシン実習	オンライン					23		−
DBE050		<eラーニング> Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ	¥88,000	16時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
DBE051		<eラーニング> データ加工基礎	¥44,000	6.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
DBV100		データビジュアライゼーション基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥53,900	1日	マシン実習	オンライン					7	4	−
DBE038		<eラーニング>【スキル定着】 Pythonでのデータ可視化 −オープン環境を活用した実装力の磨き方−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE049		<eラーニング> 機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK！データ分析を身近に−	¥39,600	9時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV120		機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 −製造物の種類判別と生産設備の故障予兆− 【バーチャル・クラスルーム】	¥108,900	2日	マシン実習	オンライン					5~6, 19~20	17~18, 24~25	−
AIE005		<eラーニング> ディープラーニング入門 −AIを学ぶための基礎知識と実装演習− ：日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座（Study-AI社）	¥55,000	40時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
AIE010		<eラーニング> AIの活用におけるマネジメント入門 −データ分析の役割と法令やAI倫理の注意点−	¥132,000	8時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
AIE006		<eラーニング> ディープラーニング応用 −応用数学と機械学習・深層学習実践− ：日本ディープラーニング協会（JDLA） E資格取得対策講座（Study-AI社）	¥341,000	170時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	4,5,6月開講分は8月末まで、7,8,9月開講分は2月月末まで。

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
プロセス／プロダクト				掲載ページ：P. 116 ～									
HSV241		製造業のDX基礎 −スマートファクトリーへの第一歩− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	0.5日	レクチャ	オンライン				5	30		−
DBE066		<eラーニング> 量子コンピュータの基礎とビジネス動向	¥16,500	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
IOJ025		IoT活用技術（システム基礎編）	¥198,000	3日	マシン実習	東京（大森）						17~19, 24~26	−
AIE011		<eラーニング> マテリアルズ・インフォマティクス（MI） リテラシー講座 −データ活用による効率的な材料開発−	¥88,000	2.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は30日間です
DBV144		数理最適化における定式化の基礎 −顧客課題を数式で表す− 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習	オンライン		13					−
DBE067		<eラーニング> 数理最適化問題に対する実践的なアプローチ −Pythonで数理最適化問題を解く−（Aidemy社）	¥44,000	4時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
IDV003	Renewal	（PDU）IoTコンセプトデザイン −IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU	¥44,000	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
DBV150	New	IoTによるコネクテッドプロダクトの 企画・開発ワークショップ −アイデア発想からマネタイズまで− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	グループ演習	オンライン			21			13, 27	お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間：1時間）を終了してください

ビジネス

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
経営力				掲載ページ：P. 122 ～									
HSE141		<eラーニング> (PDU)ビジネスモデル思考 PDU	¥33,000	12.2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSV182		（PDU）ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために− 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥55,000	1日	グループ演習	オンライン	17		3	3	20	18	−
HSE135		<eラーニング> WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編）	¥17,600	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
思考力／考え抜く力				掲載ページ：P. 123 ～									
HSV245		問題解決入門 −クリティカルマインドを発揮し、正しくプロセスをまわす−【バーチャル・クラスルーム】	¥58,300	1日	グループ演習	オンライン			26	11		10	−
HSE133		<eラーニング> 視座を高めるシステムシンキング	¥22,000	6.5時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV223		システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	グループ演習	オンライン		20	12	22		20	−
チームで働く力				掲載ページ：P. 124 ～									
HSV126		報連相のためのビジネスコミュニケーション基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	グループ演習	オンライン		20	10	5, 22	23	9	−
HSE142	New	<eラーニング> 3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習！	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV251	Renewal	(PDU)アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥41,800	1日	グループ演習	オンライン	16	10, 24	3, 28	8	2	10, 17	−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE132		<eラーニング> ロジカルライティング（基礎知識編） −読み手が納得・行動する文書を作成する−	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV205		ロジカルライティング（演習編） −読み手が納得・行動する文書を作成する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン	19	13, 22	7, 25	12	21	6, 20	−
HSE131		<eラーニング> ビジネスライティング（基礎知識編） −読みやすい文書を作成する−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV233		(PDU)ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU	¥60,500	0.5日	グループ演習	オンライン	25	16, 23	13	4, 18	22	12, 19	お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間:2時間）を終了してください
HSV230		ロジカルプレゼンテーション基礎 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥93,500	1.5日	グループ演習	オンライン	24~25	15~16	18~19	29~30	26~27	2~3	お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間:2時間）を終了してください
HSE137		<eラーニング> ビジュアル化技法の基本 −魅力的なビジュアル資料を作る−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE138		<eラーニング> グラフィカルトレーニング −思考を図解で強化する−	¥9,900	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE301		<eラーニング>【スキル定着】 ビジュアルデザイン	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV243		プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 −相手を惹きつけるための資料作成− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	0.5日	グループ演習	オンライン			26, 28	23, 31	21, 30	6, 9, 13	お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間:2時間）を終了してください
HSE143	Renewal	<eラーニング> 協創を生みだす交渉（基礎知識編）	¥13,200	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV145		協創を生みだす交渉（基礎演習編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥27,500	1日	グループ演習	オンライン		24	24		26	13	−
HSV229		協創を生みだす交渉（実践演習編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥104,500	1.5日	グループ演習	オンライン			13~14			19~20	−
HSV185		行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキル −ハーバード流交渉学の真価を発揮するために− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン				8		9	−
HSV232		コーチング基礎 −基本の6種スキルとGROWモデル− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン	23	8, 21	11, 14, 19	3, 11, 19	20, 26	4, 18	−
HSE121		<eラーニング> コーチング基礎−レクチャ編−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV250	Renewal	(PDU)部下のパフォーマンスを高める 1on1面談とフィードバック 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥41,800	1日	グループ演習	オンライン		9, 29	21	1	30	11	−
HSV239		(PDU)コーチング実践 −部下のやる気と成長を促す− 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥165,000	1.5日 (0.5日 ×3回)	グループ演習	オンライン			日程1:6/6(1日目), 7/5(2日目), 8/5(3日目) 日程2:7/4(1日目), 8/6(2日目), 9/6(3日目)				−
HSV221		(PDU)自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント− DiSCモデルによる− 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥88,000	2日	グループ演習	オンライン		27~28	27~28	30~31	22~23	2~3, 9~10	−
HSV218		自己回復力を高めるストレスマネジメント −レジリエンスを育むために− 【バーチャル・クラスルーム】	¥75,900	1日	グループ演習	オンライン		20	5	9		3	−
HSV248	Renewal	ピーク・パフォーマンス −集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直す− 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	グループ演習	オンライン				3		9	−
HSV222		(PDU)リーダのためのマインドフルネス −成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフルー 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥72,600	1日	グループ演習	オンライン		21		8	26	17	−

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
前に踏み出す力							掲載ページ：P. 130 ～						
HSV244		(PDU)ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】PDU	¥102,300	1日 (0.5日 ×2回)	グループ演習	オンライン	日程1:4/18(1日目), 5/16(2日目) 日程3:5/21(1日目), 6/11(2日目) 日程5:6/14(1日目), 7/5(2日目) 日程7:7/4(1日目), 7/25(2日目) 日程9:7/17(1日目), 8/7(2日目) 日程11:9/4(1日目), 9/25(2日目)			日程2:5/9(1日目), 5/30(2日目) 日程4:6/5(1日目), 6/26(2日目) 日程6:6/20(1日目), 7/11(2日目) 日程8:7/9(1日目), 7/30(2日目) 日程10:8/22(1日目), 9/12(2日目) 日程12:9/5(1日目), 9/26(2日目)			お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間:3時間）を終了してください
HSV240		自律型人財に求められるフォロワーシップ −相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥57,200	1日	グループ演習	オンライン	24	17	10	12	5	5, 20	−
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）							掲載ページ：P. 131 ～						
HSV249	Renewal	(PDU)契約基礎 −今こそ押さえておきたい!エンジニアと営業のための契約書の見方・ポイント− 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥154,000	2日	グループ演習	オンライン				8~9			−
HSE136		<eラーニング> (PDU)財務諸表の基礎知識 PDU	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE129		<eラーニング> SNSのリスクと利用時のガイドライン	¥6,600	1時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE134		<eラーニング> サプライチェーンマネジメント(SCM)基礎 −世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて−	¥19,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSJ203		体験型サプライチェーン経営(SCM) 学習プログラム「The Fresh Connection」	¥187,000	2日	グループ演習	東京（大森）				10~11			−
HSE066		<eラーニング> 思考技法の概要	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE126		<eラーニング> ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE036		<eラーニング> QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方−マトリクス表を使って「決める」を考える−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE037		<eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン −科学的な強制発想法−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE072		<eラーニング> 意思決定のスキル −合理と心理を理解したうえでの意思決定−	¥8,800	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE302		<eラーニング>【スキル定着】 相手を納得させる論理構成力を磨く	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSE099		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済1 −効率性と公平性、アダムスミスとケインズ− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE100		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE101		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE102		<eラーニング> (PDU)よくわかるマクロ経済4 −景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE118		<eラーニング> (PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1 −経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE098		<eラーニング> (PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2 −不完全な情報、期待効用、行動経済学− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
HSE103		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス1 −投資の判断、リスクとリターン− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE104		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス2 −企業価値評価− PDU	¥17,600	4時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE105		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス3 −資金調達の方法− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE106		<eラーニング> (PDU)よくわかるファイナンス4 −M&A、コーポレートガバナンス、財務計画− PDU	¥17,600	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は28日間です
HSE109		<eラーニング> 経世済民の哲学としての朱子学	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSE111		<eラーニング> (PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSE115		<eラーニング> (PDU)中国古典に見る指導者の条件 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSE112		<eラーニング> (PDU)「韓非子」のリーダ学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSE113		<eラーニング> (PDU)「貞観政要」に学ぶリーダの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSE114		<eラーニング> (PDU)「書経」に学ぶリーダの心得 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
HSE110		<eラーニング> (PDU)リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です

プロジェクトマネジメント

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
プロジェクトマネジメント		掲載ページ：P. 138 ～											
PMV065		プロジェクトマネジメント基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	グループ演習	オンライン				2~3	22~23		−
PME022		<eラーニング> プロジェクトマネジメント基礎	¥22,000	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PMJ066	休講	(PDU)ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践 PDU	¥77,000	2日	グループ演習								−
PMV003	休講	(PDU)プロジェクト経験者のための プロジェクトマネジメント上級編 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥88,000	2日	グループ演習								−
PME005		<eラーニング> (PDU)2時間でわかるファンクションポイント法 PDU	¥8,800	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME023		<eラーニング> (PDU)ファンクションポイント法基礎 PDU	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PMV101		(PDU)実現可能性を高める スケジュール・マネジメント 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥63,800	1日	グループ演習	オンライン				4		5	−
PMV107		(PDU)プロジェクトマネージャのための ファイナンシャルマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥99,000	2日	レクチャ	オンライン					7~8		−
PMV100		(PDU)1日で学ぶプロジェクトの リスクマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥63,800	1日	グループ演習	オンライン		22					−
PMV102		(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を 築くためのステークホルダーマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥63,800	1日	グループ演習	オンライン				24			−

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PMV106		(PDU)プロジェクトマネジメントの 契約・調達マネジメント 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥99,000	2日	グループ演習	オンライン				22~23			−
PMV113		(PDU)プロジェクト協創のための ベンダーマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥187,000	2日	グループ演習	オンライン				23~24		17~18	−
PMV114	Renewal	(PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント −行動特性分析に基づく− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥103,400	2日	グループ演習	オンライン			13~14	18~19	7~8		−
PMV112		(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥66,000	1日	レクチャ	オンライン					7	9	−
PMV054		(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための 合意形成力強化トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥82,500	2日	グループ演習	オンライン			26~27		28~29		−
PMV110		(PDU)ケースメソッドによる PM判断・行動力強化　Part1 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥49,500	1日	グループ演習	オンライン				8		2	−
PMV111		(PDU)ケースメソッドによる PM判断・行動力強化　Part2 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥49,500	1日	グループ演習	オンライン					28		−
PMV104		(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥99,000	2日	グループ演習	オンライン		8~9	27~28		1~2		−
PMV105		(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント −プロジェクトの横断的な把握、経営資源の 効果的な配分のために− 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥99,000	2日	グループ演習	オンライン			20~21			19~20	−
PMV103		(PDU)マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン				17			−

プロジェクトマネジメント資格取得

掲載ページ：P. 149 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PMV094		PMP®資格試験対策5日間コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU	¥220,000	5日	レクチャ	オンライン	別途ご案内いたします						−
PMV108		(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー 【バーチャル・クラスルーム】 PDU	¥92,400	2日	レクチャ	オンライン		9~10		23~24		11~12	−
PME036		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(1) プロジェクトとは PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME037		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(2)　プロジェクトの運営環境と プロジェクト・マネジャーの役割 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME038		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(3) 統合マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME039		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(4) スコープ・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME040		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME041		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME042		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME043		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

New：新設コース　*Renewal*：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PME044		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK*®*ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME045		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK*®*ガイド*(10) リスク・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME046		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK*®*ガイド*(11) 調達マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME047		<eラーニング>(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK*®*ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME024		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (1)PMを取り巻くもの PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME025		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (2)原理・原則 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME026		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (3)ステークホルダー・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME027		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (4)チーム・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME028		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (5)開発アプローチと ライフサイクル・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME029		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (6)計画パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME030		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (7)プロジェクト作業パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME031		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (8)デリバリー・パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME032		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (9)測定パフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME033		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (10)不確かさパフォーマンス領域 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME034		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (11)テーラリング PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
PME035		<eラーニング> (PDU) *PMBOK*®*ガイド*第7版セミナー (12)モデル、方法、作成物 PDU	¥11,000	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

ビジネスアーキテクト

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
事業戦略・投資管理・ビジネスモデル		掲載ページ：P. 160 ～											
CTV068		(PDU) BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥110,000	2日	グループ演習	オンライン				25~26		17~18	–
CDV017		(PDU) IT経営ストラテジ（経営戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	¥88,000	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
CDV011		(PDU) IT経営ストラテジ（IT戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	¥88,000	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							–

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CDV016		(PDU) IT経営ストラテジ（変革認識コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	¥88,000	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							–
CTV071		IT主導で攻めのビジネスを実現するための ビジネス要件とIT企画の作り方【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン					23		–
CTV076		(PDU)変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイント–守りから攻めのPMシリーズ–【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン			12		21		–
CTV077	New	要件定義スキル基礎 –ロールプレイによる要求の引き出し–【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	グループ演習	オンライン						5~6	–
SPV077		システムのニーズ分析【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	グループ演習	オンライン			5~6	3~4			–
SPV076		要件定義における業務の可視化を成功させる トレーニング–業務ニーズから導くシステム化要件–【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	グループ演習	オンライン					6~7		–
CTV072		現場主導で現状業務の見える化を推進するための 業務フロー作成技法【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン					1		–
CTV073		既存システムの改修／リプレースのための 現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン				23			–
CDV008		(PDU) CBAP®試験対策コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU	¥165,000	3日	レクチャ	別途ご案内いたします							–

開発／基盤

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
クラウド		掲載ページ：P. 165 ～											
UXE003		<eラーニング> クラウドコンピューティング入門	¥7,700	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CLV014		実機で学ぶ!クラウドコンピューティング入門【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン				3	2, 26	2, 6	–
DBV152	Renewal	ビッグデータにおけるシステム設計実践 –多様なデータを統合しビッグデータとして活用する–【バーチャル・クラスルーム】	¥47,300	1日	マシン実習	オンライン				19			–
CLE002		<eラーニング> Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CDV001		事業と技術の観点から検討するクラウドへの 移行と管理–Cloud Essentials–【バーチャル・クラスルーム】	¥121,000	2日	グループ演習	オンライン					26~27		–
CLV019	休講	クラウドコンピューティングで読み解く ITサービスの最新動向【バーチャル・クラスルーム】	¥29,700	0.5日	レクチャ								–
CDV019		AWS Cloud Practitioner Essentials＆ AWS Technical Essentials【バーチャル・クラスルーム】	¥154,000	2日	マシン実習	オンライン				4~5, 11~12, 18~19	22~23, 27~28	9~10, 12~13	–
CDV021		AWS Security Essentials【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	1日	マシン実習	オンライン					29	20	–
CDV012		Architecting on AWS【バーチャル・クラスルーム】	¥231,000	3日	マシン実習	オンライン		13~15		8~10, 17~19	5~7	4~6, 17~19	–
CDV013		Developing on AWS【バーチャル・クラスルーム】	¥231,000	3日	マシン実習	オンライン					5~7		–
CLV011		Microsoft Azure概説【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン					8, 21	9, 11, 20	–
CDV014		【短縮版】Microsoft Azure Administrator【バーチャル・クラスルーム】	¥198,000	3日	マシン実習	オンライン						25~27	–

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CLV018		Microsoft Azureを利用したIoT+AI入門 −サービス概要から操作体験− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン					27	18	−
CLV009		Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン						3, 10	−
CLV021		Microsoft Azureによるサイト間ネットワークの構築 -ハイブリッドクラウド構成の基礎- 【トレノケート ライブ配信】	¥71,500	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDV025	New	触れて学ぶコンテナ実践 −Docker実践編− 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥66,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
UXE010		<eラーニング> Kubernetesはじめの一歩	¥15,400	10時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CLV005		実機で学ぶ! サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン					2, 26	12	−

モダン開発（アジャイル開発含む）

掲載ページ：P. 170 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPV084		スクラムの基礎と実践 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	グループ演習	オンライン		10				6	−
SPV083		(PDU)［リーダー向け］ アジャイル開発における自律型チーム運営 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥46,200	1日	グループ演習	オンライン				9			−
SPV070		アジャイル開発(スクラム)における プロダクトオーナー体験ワークショップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	1日	グループ演習	オンライン					26		−
PDV018		「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」 資格対策 【ITPライブ配信】	¥174,900	2日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
UXV070		gitによるソフトウェア構成管理 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン				23	7	4	−
SPV072		Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン					28		−
SPV035		SeleniumによるWebアプリケーションテスト 自動化演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン						17	−
SPV079		ソフトウェア開発者のためのアジャイル開発演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥127,600	2日	マシン実習	オンライン					19~20		−
CLV017		クラウドアプリケーション開発 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン				10~11	26~27		−
CLE003		<eラーニング> クラウドネイティブ時代のAPI管理技術概説	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV086	Renewal	DevOps入門 −バージョン管理とCI ／ CDを活用した 効率的な開発フロー− 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	マシン実習	オンライン					21	9	−
SPD002		DevOpsテスト入門 ～継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ～	¥46,200	1日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
SDV006		クラウドネイティブまるごと理解 −DevOpsからマイクロサービス、 クラウドデザインまで− 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥99,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDV022		マイクロサービスアーキテクチャ入門研修 【フルネスライブ配信】	¥88,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CDV023		ドメイン駆動設計基礎研修 【フルネスライブ配信】	¥77,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日

開発工程全般・企画・設計

掲載ページ：P. 175 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SPE022		<eラーニング> はじめて学ぶ情報システム開発 −レガシー開発からクラウドまで−	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE029		<eラーニング> システム開発の基礎	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV058		演習で学ぶ!情報システムの役割と開発の進め方 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	グループ演習	オンライン						9~10	−
SPV024		システムの要件定義技法 【バーチャル・クラスルーム】	¥70,400	2日	グループ演習	オンライン				24~25		12~13	−
SPE017		<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出	¥19,800	5時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
OJE028		<eラーニング> オブジェクト指向概説	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV075		開発の手戻りを最小限にするシステム要件の 品質チェックと基本設計のコツ 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン		15	19	9	8, 27	19	−
SPV073		業務要件とユーザビリティを確保するための ユーザ要件定義とUIデザインのコツ 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン			10	3, 25		3	−
SPV087	Renewal	新しいUXデザインの進め方 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	0.5日	レクチャ	オンライン			6				−
CTV005		(PDU)トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に− 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥110,000	2日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
CTV046		情報システム導入を成功させる要件定義と ベンダー折衝の実践ポイント 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン					5		−
CTV026		情報システムのユーザテストと 移行・切替・本番稼働の準備実務 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン				22			−
CTV075		業務のIT化を推進するための新業務フロー 作成技法とシステムへの要求のまとめ方 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン				12			−
SPV074		後工程で慌てない!ユーザ／業務要件の漏れを 未然に防ぐシステム要件定義のコツ 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	レクチャ	オンライン				19		4	−
NWE032		<eラーニング> Webシステム入門	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWE031		<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CTE007		<eラーニング> アプリケーション・アーキテクチャ基礎	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV078		アプリケーション・アーキテクチャ策定演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン				1~2	29~30	9~10, 19~20	−
CTV065		エンタープライズ　ITアーキテクチャのセオリー 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	レクチャ	オンライン					5~6		−
SPE021		<eラーニング> 待ち行列理論	¥19,800	7時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
HSV242		システムトラブルの予防と是正 −障害事例分析を中心に− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	グループ演習	オンライン						4~5	−
HSV062		事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン				2, 22	19, 26	2, 26	−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 57）を参照ください。

プログラミング・情報技術

掲載ページ：P. 183 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
CBE007	Renewal	<eラーニング> アルゴリズムの基礎−フローチャート編−	¥11,000	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV123		プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン					21		−
DBE348		<eラーニング>【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−	¥33,000	6時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CCE006		<eラーニング> C言語プログラミング1（前編） −制御文と関数を学ぶ−	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CCE007		<eラーニング> C言語プログラミング1（後編） −データ構造とポインタを学ぶ−	¥36,300	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CCV009		C言語プログラミング1 −基本マスタ編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	3日	マシン実習	オンライン				17~19		2~4	−
CCE008	Renewal	<eラーニング> C言語プログラミング2 −ポインタ実践編−	¥78,100	24時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CCV015		C言語プログラミング2 −ポインタ実践編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥79,200	2日	マシン実習	オンライン				11~12			−
OJV016		Javaプログラミング1（基本文法編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	3日	マシン実習	オンライン				3~5, 24~26			−
OJE026		<eラーニング> Javaプログラミング1 −基本文法編−	¥60,500	24時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
OJE020		<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（前編）	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
OJE021		<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（後編）	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
OJV017		Javaプログラミング2（基本クラス編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン				9~10	7~8		−
OJE027		<eラーニング> Javaプログラミング2 −基本クラス編−	¥40,700	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
OJV020		実践! Javaプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン					19~20		−
OJV032		Javaプログラミング3 −StreamAPI、モジュールシステム編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン					29~30		−
OJV018		サーバサイドJavaプログラミング（Servlet/JSP編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	3日	マシン実習	オンライン					28~30		−
OJV033		Javaによる保守開発のためのリファクタリング 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン						20	−
OJV034		Javaによるデータベースプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン						24~25	−
NWE033		<eラーニング> HTML/CSSによるWebコンテンツ制作	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWV141		JavaScriptプログラミング −ECMAScript 2015対応− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン					5~6, 19~20		−
NWV152	New	JavaScriptプログラマのためのTypeScript入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥52,800	1日	マシン実習	オンライン						10	−
NWV142		HTML5プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	マシン実習	オンライン						11	−
NWV151	Renewal	HTML5/JavaScriptによる Webアプリケーション開発実践 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	マシン実習	オンライン						12~13	−
VBV040		Visual Basicプログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン						2~3	−
VCV011		Visual C#プログラミング 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン						12~13	−
DBV138		Python入門 −データ分析での活用をテーマとして− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン					3~4	1~2, 19~20	5~6, 9~10, 26~27	−
DBE065		<eラーニング> Pythonで簡単!数学の謎解き	¥66,000	8時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
DBV135		REST APIプログラミング体験 -Pythonによるクラウドサービス活用- 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン					7	17	−
DBV137		プログラミング活用術 −面倒な定型業務はPythonで自動化しよう− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	マシン実習	オンライン			17	22		5	−
DBE063		<eラーニング> 「Python 3 エンジニア認定データ分析試験」 対策講座（Aidemy社）	¥79,200	19.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
SPV085		Pythonによるテスト自動化 −単体テストからシステムテストまで− 【バーチャル・クラスルーム】	¥52,800	1日	マシン実習	オンライン					8		−
CBV009		COBOLプログラミング基礎編 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	3日	マシン実習	オンライン					26~28		−
CBJ004	休講	COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥107,800	4日	マシン実習								−
CBJ008	休講	COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥107,800	4日	マシン実習								−
CBE301		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥99,000	24時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CBE302		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥124,300	32時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CBE303		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥99,000	24時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CBE304		<eラーニング>【マシン演習付き】 COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥124,300	32時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
CBE002		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（PAD）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CBE003		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（PAD）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CBE004		<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
CBE005		<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（フローチャート）	¥25,300	16時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
-		COBOLプログラミング基礎編（PAD） （自習テキスト）	¥4,180	18時間	自習テキスト								−
-		COBOLプログラミング応用編（PAD） （自習テキスト）	¥4,180	18時間	自習テキスト								−
-		COBOLプログラミング基礎編（フローチャート） （自習テキスト）	¥4,180	18時間	自習テキスト								−
-		COBOLプログラミング応用編（フローチャート） （自習テキスト）	¥4,180	18時間	自習テキスト								−

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ESE002		<eラーニング> 組込みシステムとは	¥18,700	7時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
ESJ001		リアルタイムOSを利用した ソフトウェアプログラミング	¥66,000	2日	マシン実習	東京（大森）				9~10			−
OTV025		C言語で学ぶマイクロコンピュータの基礎 −マイコンを使ってシステムを制御するために必要な基礎知識−【バーチャル・クラスルーム】	¥187,000	3日	マシン実習	オンライン				24~26			−
SJV100		IT技術はじめの一歩 −ITリテラシー向上をめざして− 【バーチャル・クラスルーム】	¥39,600	1日	レクチャ	オンライン				22			−
SJV099	休講	コンピュータ基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥132,000	5日	レクチャ								−
SJE032		<eラーニング> コンピュータ基礎−情報の基礎理論編−	¥8,800	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE031		<eラーニング> コンピュータ基礎−ハードウェア編−	¥17,600	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE030		<eラーニング> コンピュータ基礎−ソフトウェア編−	¥17,600	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE033		<eラーニング> コンピュータ基礎−情報システム編−	¥8,800	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV136		WebXR入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥52,800	1日	マシン実習	オンライン				24		4	−
DBE039		<eラーニング>【スキル定着】 Rでのデータ可視化 −オープン環境を活用した実装力の磨き方−	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV134		0から始めるRの基礎 −データ分析と可視化体験− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	グループ演習	オンライン				8~9			−
DBV132		体感!機械学習 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン				1	27	11	−
DBV125		NVIDIA Deep Learning Institute（DLI） 認定コース ディープラーニングの基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	1日	マシン実習	オンライン				5		3	−
DBV154	Renewal	NVIDIA Deep Learning Institute（DLI） 認定コース AIを応用した予知保全 【バーチャル・クラスルーム】	¥93,500	1日	マシン実習	オンライン					1		−
IOV001		IoT概説 【バーチャル・クラスルーム】	¥20,900	0.5日	レクチャ	オンライン	23			23			−
IOV023		IoT技術解説 −最新技術動向・適用事例編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥28,600	0.5日	レクチャ	オンライン					21		−
IOV024		「IoTシステム技術検定（基礎検定）」対策講座 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1.5日	レクチャ	オンライン		27~28	10~11				−
IOV021		「IoTシステム技術検定（中級）」対策講座 【バーチャル・クラスルーム】	¥92,400	2日	レクチャ	オンライン		13~14					−
IOE011		<eラーニング> コトづくり現場におけるIoT無線ネットワークの要点と選び方	¥16,500	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
IOE013	Renewal	<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
IOE014	Renewal	<eラーニング> IoT技術解説　5G編	¥12,100	2.5時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
IOE015	Renewal	<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編	¥12,100	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
品質・技法・信頼性							掲載ページ：P. 206 ～						
SPE020		<eラーニング> プログラムのテスト技法	¥18,700	7時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV028		品質確保のためのソフトウェアテスト 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン				12	22	13	−
SPE016		<eラーニング> 実践!テストケース設計（テスト技法演習編）	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPV051		実践!テストケース設計（テスト設計実践編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	マシン実習	オンライン				8	1	4, 18	−
SPE019		<eラーニング> 速習! Webシステムテストのポイント	¥8,800	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SPD004		非機能テスト入門（性能・負荷、ユーザビリティ） −注目度急上昇のテスト領域−	¥46,200	1日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
SPV063	休講	ソフトウェアテストの管理手法 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ								−
SDV005		テストプロセス改善 −評価・改善案策定を一日で習得!− 【SHIFTライブ配信】	¥55,000	1日	グループ演習	別途ご案内いたします							−
OTV026		ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座 【バーチャル・クラスルーム】	¥198,000	2日	レクチャ	オンライン				17~18			−
セキュリティ							掲載ページ：P. 210 ～						
SCV041		セキュリティ最新動向 【バーチャル・クラスルーム】	¥30,800	0.5日	レクチャ	オンライン				4	1	13	−
SCV052		情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	レクチャ	オンライン			27		26	4	−
SCE013		<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編−	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SCE012		<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SCE014		<eラーニング> 情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策−	¥9,900	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SDV012	New	ゼロトラスト概論 −本質を理解し現代的なITインフラを設計するために− 【アイ・ラーニングライブ配信】	¥66,000	0.5日	レクチャ	別途ご案内いたします							−
SCE015		<eラーニング> 情報セキュリティマネジメント概説 −セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SCV047		ケーススタディから学ぶ情報セキュリティ リスクマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	レクチャ	オンライン		7			7		−
SCV055		ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスク対策 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン	17		18	31		18	−
SCV051		ネットワークセキュリティ対策実習 −FW/IDS/PKI− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン				17~18	29~30	2~3, 19~20, 24~25	−
SDV010	休講	CND（Certified Network Defender） 【GSXライブ配信】	¥327,800	3日	マシン実習								−
SDV009	休講	CEH（Certified Ethical Hacker） 【GSXライブ配信】	¥547,800	5日	マシン実習								−
SDV011	休講	CHFI （Computer Hacking Forensic Investigator） 【GSXライブ配信】	¥404,800	4日	マシン実習								−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SCV054		セキュアプロトコル解析 【バーチャル・クラスルーム】	¥121,000	2日	マシン実習	オンライン			11~12		20~21		−
SDV007		セキュリスト(SecuriST)　認定 Webアプリケーション脆弱性診断士 【GSXライブ配信】	¥220,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SDV008		セキュリスト(SecuriST)　認定 ネットワーク脆弱性診断士 【GSXライブ配信】	¥220,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
SCE011		<eラーニング> サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）	¥11,000	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SCV053		サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練 （ITシステム編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥28,600	0.5日	グループ演習	オンライン				25		17	−

プラットフォーム（Linux/Microsoft）

掲載ページ：P. 217 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
UXV083	Renewal	UNIX/Linux 基礎 −コマンド編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン				22~23	26~27	5~6	−
UXV084	Renewal	UNIX/Linux 基礎 −シェルスクリプト編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン					1~2	4~5	−
UXE307	Renewal	<eラーニング>【マシン演習付き】 UNIX ／ Linux基礎−コマンド編−	¥33,000	8時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
UXV085	Renewal	Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム／ネットワーク管理の基礎− 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	マシン実習	オンライン				24~25	1~2, 26~27	2~3, 12~13	−
UXV030		Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン				10~11	6~7	18~19	−
UXE308	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編1 −ユーザ／ネットワーク管理−	¥49,500	8時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
UXE309	New	<eラーニング>【マシン演習付き】 Linuxシステム管理 前編2 −パッケージ／ログ管理とセキュリティ−	¥49,500	8時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
UXV080		Linuxトラブルシューティング 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	2日	マシン実習	オンライン				11~12			−
UXE009		<eラーニング> （詳解）Linuxシステム管理 −システム管理・パフォーマンス管理・仮想化を深く知りたい方へ−	¥36,300	55時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
UXE004		<eラーニング> オープンソースソフトウェア(OSS)概説	¥9,900	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
UXV081		OSSによるWebシステム構築入門 −Linux、Apache、PostgreSQL、PHP− 【バーチャル・クラスルーム】	¥77,000	2日	マシン実習	オンライン					22~23		−
CLV020		サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン				17			−
CDV024		触れて学ぶコンテナ基礎 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥55,000	1日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
CLE301		<eラーニング>【マシン演習付き】 コンテナ技術入門	¥40,700	7.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は21日間です
UXE006		<eラーニング> Kubernetes基礎	¥36,300	35時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
MSV055		Windows Server入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン					22~23	5~6	−
MSV056		Active Directory入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥82,500	2日	マシン実習	オンライン					29~30	17~18	−
MSV057	Renewal	Windows PowerShell入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン				23	26		−

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
OAV050	New	実践Excel-VBA 【アイ・ラーニング ライブ配信】	¥66,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
OAE033		<eラーニング> Excel 2019 エントリー	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE034		<eラーニング> Excel 2019 ベーシック	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE035		<eラーニング> Excel 2019 アドバンス	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE036		<eラーニング> Word 2019 エントリー	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE037		<eラーニング> Word 2019 ベーシック	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE038		<eラーニング> Word 2019 アドバンス	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE039		<eラーニング> PowerPoint 2019 エントリー	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE040		<eラーニング> PowerPoint 2019 ベーシック	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
OAE041		<eラーニング> PowerPoint 2019 アドバンス	¥6,600	2時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です

ITサービス

掲載ページ：P. 224 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITV017		ITIL®4ファンデーション （受験バウチャーチケット付き） 【バーチャル・クラスルーム】PDU	¥144,100	2日	レクチャ	オンライン	17~18	13~14	24~25	11~12	5~6	4~5	−
ITE010	Renewal	<eラーニング> (PDU) ITIL®4ファンデーション （受験バウチャーチケット付き）PDU	¥107,800	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
ITE008		<eラーニング> 運用管理概説	¥18,700	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
ITV010	Renewal	情報システム運用入門 −運用からITサービスへ− 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン				18			−
SPV033		保守開発におけるトラブル対策の考え方 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	グループ演習	オンライン					6		−
ITV004		システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥83,600	2日	グループ演習	オンライン			11~12				−
ITV009		IT運用におけるヒューマンエラー予防 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	グループ演習	オンライン				17	8, 28	6, 24	−

プロダクト（IT）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日

基盤製品（データベース）

掲載ページ：P. 227 ～

DBV126		データベース入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン				11	19	12	−
DBE059		<eラーニング> データベース基礎	¥18,700	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE060		<eラーニング> SQL入門	¥17,600	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV063		基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	2日	マシン実習	オンライン				2~3	5~6	9~10	−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
DBV090		データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン				1	8	6	−
DBV067		脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン				29	22	20	−
DBE056		<eラーニング> OLTP概説	¥19,800	7時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
UXV082		OSS-DB PostgreSQL 導入と運用 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	2日	マシン実習	オンライン				25~26	26~27	24~25	−
DBE054		<eラーニング> データウェアハウス概説	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE053		<eラーニング> データウェアハウスにおけるデータモデリング解説	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV055		速習! 1日でわかるデータベース設計の基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥33,000	1日	レクチャ	オンライン				19	20	6	−
DBE075	Renewal	<eラーニング> 速習!1日でわかるデータベース設計の基礎	¥27,500	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBE055		<eラーニング> データベース概説−入門・設計・SQL編−	¥36,300	12時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV054		データベース設計技法と演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥72,600	2日	レクチャ	オンライン				17~18	6~7	2~3, 26~27	−
DBE058		<eラーニング> データベース設計基礎	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
DBV145		Oracle Database：SQL基礎I 【バーチャル・クラスルーム】	¥247,500	3日	マシン実習	オンライン				22~24		11~13	−
DBV146		Oracle Database：SQL基礎II 【バーチャル・クラスルーム】	¥181,500	2日	マシン実習	オンライン					1~2		−
DBV147		Oracle Database： SQLチューニングワークショップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥247,500	3日	マシン実習	オンライン						17~19	−
DBV141		Oracle Database：PL／SQL 基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥181,500	2日	マシン実習	オンライン						26~27	−
DBV142		Oracle Database：PL／SQL プログラム開発 【バーチャル・クラスルーム】	¥247,500	3日	マシン実習	オンライン					19~21		−
DBV148		Oracle Database：管理クイック・スタート 【バーチャル・クラスルーム】	¥181,500	2日	マシン実習	オンライン				30~31		4~5	−
DBV149		Oracle Database：管理ネクスト・ステップ 【バーチャル・クラスルーム】	¥247,500	3日	マシン実習	オンライン					28~30		−
DBV143		Oracle Database：バックアップ・リカバリ 【バーチャル・クラスルーム】	¥401,500	5日	マシン実習	オンライン				8~12			−
UXE007		<eラーニング> Hyperledger Fabric管理	¥36,300	35時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
UXE008		<eラーニング> ブロックチェーンの基礎と日立の取り組み	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

基盤製品（ネットワーク）

掲載ページ：P. 236 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
NWV103		ネットワーク基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	2日	レクチャ	オンライン				11~12	29~30	9~10	−
NWE034		<eラーニング> ネットワーク基礎 I −イーサネットの仕組み−	¥38,500	12時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWE035		<eラーニング> ネットワーク基礎 II −TCP/IPの仕組み−	¥38,500	12時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWJ099		TCP/IPプロトコル解析	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）						1~2	5~6	−
NWE038		<eラーニング> TCP/IP機能概説−ルーティング編−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWE040		<eラーニング> WANの技術 −VPNサービスへの変遷−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWE039		<eラーニング> LANの技術 −高可用ネットワーク−	¥19,800	8時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWV146		ネットワーク設計基礎と演習 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン					5	9	−
NWE028		<eラーニング> ネットワーク設計基礎	¥11,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWV153	Renewal	ネットワークインフラ構築−基礎編− 【バーチャル・クラスルーム】	¥44,000	1日	マシン実習	オンライン					17, 18, 25, 26	5	13, 17	−
NWJ084		ネットワークトラブル解決	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）					30~31	27~28	26~27	−
NWJ138		ネットワークインフラ構築 −ルータ編−	¥77,000	2日	マシン実習	東京（大森）						7~8	10~11	−
NWJ133		ネットワークインフラ構築 −スイッチ編−	¥81,400	2日	マシン実習	東京（大森）					9~10		2~3	−
NWJ120	休講	ネットワークインフラ構築 −冗長化・負荷分散編−	¥81,400	2日	マシン実習									−
NWE037		<eラーニング> ネットワーク管理解説	¥19,800	6時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
NWE036		<eラーニング> IPv6の基礎と移行技術	¥38,500	12時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

ミドル・アプリケーション製品

掲載ページ：P. 240 ～

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
PDV001	休講	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	1日	マシン実習								−
PTV001		Pentahoによるデータの可視化・分析 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	0.5日	マシン実習	オンライン			19			20	−
PDV003	休講	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング 【バーチャル・クラスルーム】	¥209,000	2日	マシン実習								−
PDV002	休講	(Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー 【バーチャル・クラスルーム】	¥209,000	2日	マシン実習								−
PDV004	休講	(Pentaho認定) CToolsの基本 【バーチャル・クラスルーム】	¥209,000	2日	マシン実習								−
PTV002		データ加工・統合入門 −Pentahoを用いて− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン					22	19	−
PDV005	休講	(Pentaho認定) データ統合の基本 【バーチャル・クラスルーム】	¥308,000	3日	マシン実習								−
RPV020	休講	Power Platform入門 (Power Appsによるローコードアプリ活用編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習								−
RPV022	休講	Power Platform入門 (Power Automateによるクラウドフロー活用編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習								−
RPV021		Power Platform入門 (Power Automate DesktopによるRPA活用編) 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン			18	31		6	−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

PDU：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。

学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P. 57）を参照ください。

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
RPV019		Power Platform入門 （Power BI Desktopによるデータ活用編） 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン			14	3	5		−
DBV139		Tableauトレーニング −Desktop Ⅰ：Fundamentals（初級〜中級）− 【バーチャル・クラスルーム】	¥220,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−
DBV140		Tableauトレーニング −Desktop Ⅱ：Intermediate（中級）− 【バーチャル・クラスルーム】	¥220,000	2日	マシン実習	別途ご案内いたします							−

RPA製品

掲載ページ：P. 244 〜

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
RPV007		RPA入門 −概説と操作体験（Automation Anywhere）− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン		20		1	28	2	−
RDV005		Automation Anywhere認定RPAトレーニング （Mastering Bots：Automation 360） 【バーチャル・クラスルーム】	¥242,000	3日	マシン実習	オンライン				17~19	19~21		−
RPV009		Automation Anywhereにおける ロボット開発の勘所 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	0.5日	レクチャ	オンライン			24				−
RPV024		IQ Botトレーニング −Automation Anywhere− 【バーチャル・クラスルーム】	¥88,000	1日	マシン実習	オンライン					30		−
RPV002		UiPath公式速習プログラム入門 −基本操作ハンズオン− 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習	オンライン		27		8		17	−
RPV003		UiPath公式速習プログラム実践 −業務プロセス定義書・ワークフロー開発− 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	マシン実習	オンライン		28~29		9~10		2~3	−
RPV010		UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】	¥49,500	1日	マシン実習	オンライン			6		1		−
RPV014		UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 基礎編 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	マシン実習	オンライン					22		−
RPV015		UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 実践編 【バーチャル・クラスルーム】	¥71,500	1日	マシン実習	オンライン					23		−
RPV011		WinActor入門トレーニング −ロボット開発の基本操作− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン		30		24		4	−
RPV012		WinActor実践トレーニング −安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発− 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	マシン実習	オンライン		31		29			−

設計・モノづくり（OT）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日

電気・計測制御

掲載ページ：P. 248 〜

OTV024		初心者のための エレクトロニクス入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	2日	レクチャ	オンライン			4~5				−
OTJ016		電気が苦手な人のための電気回路入門 −リレーシーケンスとトラブルシューティングから学ぶ−	¥110,000	2日	マシン実習	大阪		16~17					−
OTJ023		センサ活用技術の基礎	¥99,000	2日	レクチャ	勝田			25~26				−
OTV007	休講	ブラシレスモータ制御のプログラミング入門 【バーチャル・クラスルーム】	¥143,000	2日	マシン実習								−

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日

機械・設計技法

掲載ページ：P. 250 〜

OTV008		機械四力の基礎 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	レクチャ	オンライン				29			−
OTV012		伝熱工学＋CAE解析＋機械学習の 取り入れた最適化技術 【eラーニング（事前学習）＋バーチャル・クラスルーム】	¥110,000	0.5日	グループ演習	オンライン	19						お申込み締め切り後にeラーニングをご案内をいたしますので、研修開催日までに受講（標準学習時間6時間）を終了してください
OTE002		<eラーニング> 公差設計の基礎	¥33,000	4時間	eラーニング	学習開始日	1			1			サービス有効期間は90日間です
OTE001		<eラーニング> 幾何公差の基礎	¥49,500	6時間	eラーニング	学習開始日	1			1			サービス有効期間は90日間です
OTV011		3次元CADによる図面レス時代で 高品質を維持する組織検図 【バーチャル・クラスルーム】	¥55,000	1日	グループ演習	オンライン			18				−
OTV020		成熟を打破する顧客価値の捉え方と イノベーション構想の描き方 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン			17				−
OTV021		新価値創造のための技術の棚卸と 組み合わせによるビジネス創生 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	レクチャ	オンライン	22						−
OTV022		「設計力」こそがダントツコンセプトを生み出す 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン	23						−
OTV009		未来を起点とした技術の構造化と評価の実践 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	レクチャ	オンライン						5	−
OTV010		「超常識思考」による顧客価値創造 −技術者だからこそ実現できるイノベーションの世界− 【バーチャル・クラスルーム】	¥60,500	1日	グループ演習	オンライン						4	−

製造・モノづくり基盤技術

掲載ページ：P. 255 〜

OTJ013		1度は経験!溶接日帰り体験	¥55,000	1日	マシン実習	日立	4	31	18			18	−
OTJ020		今こそ体験! 1日 機械加工体験	¥55,000	1日	マシン実習	日立			5			24	−
OTJ021		今こそ体験! NCプログラミング体験	¥88,000	2日	マシン実習	日立						25~26	−
OTJ022		今こそ体験! 1日 NCマシニングセンタ加工体験	¥55,000	1日	マシン実習	日立						27	−
OTJ025	New	産業用ロボット特別安全教育（教示）	¥55,000	2日	マシン実習	日立		9~10					−
OTJ024		産業用ロボットの教示と基本操作習得	¥165,000	3日	マシン実習	日立				3~5			−
OTJ014		リレーシーケンスの基礎とトラブル診断	¥110,000	2日	マシン実習	大阪		16~17					−
OTJ015		リレーシーケンスの基礎とPLC入門	¥165,000	3日	マシン実習	大阪						18~20	−
OTJ018		設備稼動率向上研修（初級）（TPM入門）	¥247,500	5日	レクチャ	日立			24~28				−
OTJ019	休講	設備稼働率向上研修（中級：故障予知編）	¥198,000	4日	レクチャ								−

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

情報処理技術者試験対策

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
情報処理技術者試験対策													掲載ページ：P. 258 ～
SJE314		<eラーニング> 集中演習 ITパスポート試験【IP】	¥8,800	70時間	eラーニング	学習開始日		23	20	4, 18	22	5	5,6月開催分は10月31日まで、7,8,9月開催分は12月27日まで。
SJV012		基本情報技術者試験【FE】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン	12			26		2, 27	–
SJE315		<eラーニング> 集中演習 基本情報技術者試験【FE】	¥18,700	140時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります
SJV002		応用情報技術者試験【AP】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥115,500	3日	レクチャ	オンライン	日程1:7/12(1日目), 8/1(2日目), 9/4(3日目) 日程2:7/19(1日目), 8/2(2日目), 9/11(3日目)						–
SJV016	Renewal	応用情報技術者試験【AP】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン						20, 27	–
SJE304		<eラーニング> 集中演習 応用情報技術者試験【AP】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります
SJE302		<eラーニング> 集中演習 情報セキュリティマネジメント試験【SG】	¥11,000	162時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります
SJV006		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥115,500	3日	レクチャ	オンライン	日程1:7/19(1日目), 8/7(2日目), 9/5(3日目) 日程2:7/26(1日目), 8/8(2日目), 9/6(3日目)						–
SJV007		情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン						13, 20, 27	–
SJE312		<eラーニング> 集中演習 情報処理安全確保支援士試験【SC】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります
SJV008	休講	ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥115,500	3日	レクチャ								–
SJV009	休講	ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ								–
SJE308	休講	<eラーニング> 集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】	¥18,700	162時間	eラーニング								–
SJV013		高度試験受験者向け 論文の書き方 －問題文の読み方から論文構成方法まで－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥66,000	1日	レクチャ	オンライン				5			–
SJV015	休講	高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践!論文を書く －添削指導で合格するための論述力を養成する－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	レクチャ								–
SJE305	休講	<eラーニング> 集中演習 ITストラテジスト試験【ST】	¥18,700	162時間	eラーニング								–
SJE306	休講	<eラーニング> 集中演習 システムアーキテクト試験【SA】	¥18,700	162時間	eラーニング								–
SJE310	休講	<eラーニング> 集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】	¥18,700	162時間	eラーニング								–
SJV004		データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 （合格に必要な知識と解答力を養う） 【バーチャル・クラスルーム】	¥115,500	3日	レクチャ	オンライン	7/23(1日目), 8/30(2日目), 9/13(3日目)						–
SJV005		データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座 （試験直前に模擬試験で得点をUPする） 【バーチャル・クラスルーム】	¥38,500	1日	レクチャ	オンライン						20	–
SJE309		<eラーニング> 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります
SJV014		高度試験【PM】【AU】対策講座 実践!論文を書く －添削指導で合格するための論述力を養成する－ 【バーチャル・クラスルーム】	¥99,000	2日	レクチャ	オンライン	7/17(1日目), 9/6(2日目)						–

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
SJE307		<eラーニング> 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります
SJE311		<eラーニング> 集中演習 システム監査技術者試験【AU】	¥18,700	162時間	eラーニング	学習開始日				4, 18	22	5	開始日にかかわらず学習終了日は12月27日になります

グローバル

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
グローバル													掲載ページ：P. 267 ～
GBE024		<eラーニング> (PDU)インドビジネスの鉄則 PDU	¥33,000	10時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は56日間です
GBE027		<eラーニング> シミュレーションゲームで学ぶ 異文化コミュニケーション(基礎編)	¥24,200	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
GBE028		<eラーニング> シミュレーションゲームで学ぶ 異文化コミュニケーション(マネジメント編)	¥24,200	2時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
GBE010		<eラーニング> (PDU)グローバルビジネスの基礎 －ビジネスルールと多様性－(基本セット) PDU	¥22,000	4時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
GBE025		<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) A. アジア編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
GBE026		<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) B. ロシア、インド、イスラム編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
GBE008		<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) C.ヨーロッパ編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
GBE009		<eラーニング> 多様性の理解(グローバルナビゲーター) D.アメリカ、オセアニア編	¥5,500	3時間	eラーニング	学習開始日	3, 10, 17, 24	15, 22, 29	5, 12, 19, 26	3, 10, 17, 24, 31	7, 21, 28	4	開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

その他（グリーントランスフォーメーション）

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
グリーントランスフォーメーション													掲載ページ：P. 13
GXE001	New	<eラーニング> カーボンニュートラルの全体像 －自分事として考えるための基礎知識－(Aidemy社)	¥74,800	5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です
GXE002	New	<eラーニング> カーボンニュートラルに向けたアプローチ －企業における見える化と先行事例－(Aidemy社)	¥90,200	4.5時間	eラーニング	学習開始日	4	9	6	4	1	5	サービス有効期間は90日間です

ITスキル基礎

コースコード	開催区分	コース名	受講料（税込）※	日数／平均学習時間	学習形態	開催地区	4月	5月	6月	7月	8月	9月	〈eラーニング〉サービス有効期間／学習終了日
ITサービス													掲載ページ：P. 15
SJE713		<eラーニング> ITスキル基礎(ライトパッケージ)	¥90,200	80時間	eラーニング	学習開始日	3	15	5				開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります
SJE714		<eラーニング> ITスキル基礎(フルパッケージ)	¥180,400	177時間	eラーニング	学習開始日	3	15	5				開始日にかかわらず学習終了日は9月30日になります

※2023年12月時点の内容で記載しています。最新の情報については、当社Webサイトでご確認ください。
※一部のコースは、オンライン配信での提供へ変更する場合があります。また同時に、集合研修は中止となる場合があります。
※バーチャル・クラスルーム／集合研修の開催時間については、当社Webサイトのコース詳細ページ「備考」欄でご確認ください。
※日立製品講座のJP1の認定試験付コース（コースコード末尾「T」）の受講料はカッコ内に表示しています。また、JP1の受験バウチャー付きコース（コースコード末尾「V」）の受講料はカッコ内に表示しています。
※eラーニングの日数欄には、平均学習時間を表記しています（一部コースは除く）。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません
PDU：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。
学習形態：3.「コースカリキュラム参照のPOINT」アイコン凡例（P.57）を参照ください。

コースの内容・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）のご案内

「働き方の多様化」に対応して、人財育成においても、「タイム＆ロケーションフリーの新たな学び方」が求められています。日立アカデミーでは、インターネットに接続可能なデバイスがあれば、どこからでもライブで受講できる「バーチャル・クラスルーム(オンライン研修)」をご提供しています。

バーチャル・クラスルーム のメリット

豊富なコースをどこからでも受講可能

日立アカデミーの専門性の高い豊富なコースを職場や自宅から受講できます。Web会議と同じ機材で受講できるので、特別な準備は不要です。

Web会議と同じ機材でOK



必要なのはPC、インターネット環境、
マイク・スピーカー※

移動は不要



自宅や職場から受講できます

※一部カメラを使用するコースがございます。

講師とのコミュニケーション、グループワークも可能

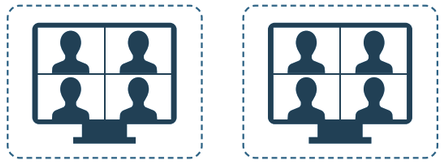
バーチャル・クラスルームは講義を聞くだけではなく、質疑応答やグループワークを通して双方向で学びを深めることができます。
マイクが使えない場合はチャットを利用して研修への参加が可能です。

リアルタイムで質問できます



マイク・チャットによる質問

グループディスカッションもできます



マシン演習も可能

日立アカデミーのバーチャル・クラスルームではオンラインでマシン演習が実施できます。
実際のマシン操作をすることで、より理解を深め、技術を修得することができます。



日立アカデミーの研修室内PCをインターネットを
経由して操作し、マシン演習を行います。

バーチャル・クラスルーム の受講環境

Web会議等でご利用のPC、インターネット、マイク・スピーカーをご用意ください。スマートデバイスの利用も可能です。

1. PC（Windows10以降）
ブラウザ（Chrome・Edge）
（iPad/iPhone）



2. マイク・スピーカー
（ヘッドセット）



3. インターネット接続環境



※マシン実習コースでは、PCが必要です。スマートデバイスのみでの学習はできません。
※ご利用に際しツールのインストールが必要です。
※電子教材を使用するコースは、教材共有サービス（SmartSession）で教材を提供いたします（一部、対象外のコースがございます）。

●受講環境の詳細については、当社Webサイトをご確認ください。

日立アカデミーWebサイトトップページ > サービス > オープン研修（日立講習会） > バーチャル・クラスルーム

URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/vcr_guide.html

受講環境確認・接続サポート

■受講環境の事前確認ができます
バーチャル・クラスルームの環境確認のために、接続確認サイトをご提供しております。
お申込み前にご受講環境をご確認ください。

■接続確認ページ

日立アカデミーWebサイトトップページ > サービス > オープン研修（日立講習会） > バーチャル・クラスルーム > 接続体験してみよう!

URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/popup3.html



■お困りの際は、スタッフがサポートいたします
バーチャル・クラスルームご参加時のトラブルや操作にお困りの際は、スタッフが適切にサポートいたします。



提携コース　オンライン研修

日立アカデミーのオンライン研修の中に一部提携コースがあります。提携各社によって学習環境や利用要領が異なります。詳しくは各コースの詳細情報をご覧ください。

●バーチャル・クラスルームについての詳細は日立アカデミーWebサイトをご覧ください。

日立アカデミーWebサイトトップページ > サービス > オープン研修（日立講習会） > バーチャル・クラスルーム

URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/virtualclassroom/vcr_guide.html

eラーニングコースのご紹介

ビジネススタイルやライフスタイルが多様化する中、自分の空いた時間を有効活用して知識やスキルを修得できる「eラーニング」は、非常に有効な研修方法です。
当社のeラーニングには、当社が提供するオリジナルeラーニングと、他社に委託し提供する提携コースeラーニングがあります。種類やコースによってサービスの利用期間や学習利用環境（PCおよびWeb環境）が異なります。サービスの利用期間については、「開催コース/スケジュール一覧」（P.24～）または当社のWebサイトでご確認ください。学習利用環境については、当社のWebサイトでご確認いただけます。

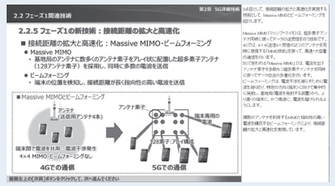
オリジナル eラーニング

当社にて提供しているeラーニングであり、コースによって、さまざまな学習形態を用意しています。

●音声不要コース

説明画面と説明文で学習するタイプのeラーニングです。

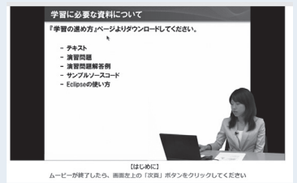
・音声再生環境は不要です
・図表を活用してわかりやすく解説します
・説明画面のみで学習するコースもあります



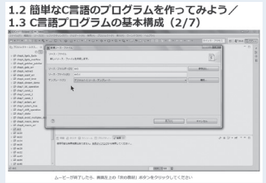
●音声必須コース

説明画面と説明音声で学習するタイプのeラーニングです。

・音声再生環境が必要です
・収録した講義画面と講師の説明音声により、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができます
・講義のプレゼンテーション画面や業務用アプリケーションなどのソフトウェア操作画面を再現し、講師の説明音声と合わせ、わかりやすく学習できます



講義のプレゼンテーション画面を再現！

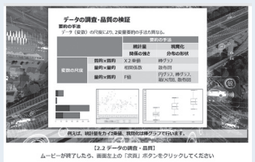


ソフトウェア操作画面を再現！

●音声任意コース

説明画面と説明音声で学習するタイプのeラーニングに、解説文・説明音声の字幕・文字起こし等の文字情報を付け加えたeラーニングです。

・字幕や文字起こし情報を表示するので音声再生環境がなくても学習いただけます



説明音声を字幕表示！



説明音声の文字起こし情報を表示！

オリジナルeラーニングには、次の特長を持つコースもあります。

●スキル定着を支援する e ラーニング

「知識（わかる）」を「スキル（できる）」に！　スキル定着を支援するeラーニングです。

○スキル定着を支援する e ラーニングの特長

学習者の「知識（わかる）」を「スキル（できる）」にレベルアップさせる学習経験の機会を拡大し、さらなる主体的、継続的な学習や「実践力（使える）」の養成に向けたスキル定着のプロセスを支援します。

Point 1　繰り返し設問に取り組むことにより、知識がスキルとして定着することを支援します。

Point 2　実務ベースで起こりうるシーンを設問に取り入れているため、すぐに業務に活用できます。

●設問の画面例



設問に取り組みます。

●回答の画面例



自分なりの回答を作成後、回答例を確認します。

さらなるレベルアップをめざした継続的な学習や実践力養成をめざしたスキル定着を支援するｅラーニング！

●マシン演習付きオリジナル e ラーニング

従来のコンテンツによる学習やテストに加え、クラウド上のマシン環境で操作演習できるeラーニングです。

○マシン演習付きオリジナル e ラーニングの特長

学習者主体の学びが実現できるeラーニングに、クラウド上のマシン演習環境を合わせてご提供いたします。eラーニングで理解した内容をクラウド上のマシンで操作演習し、知識とスキルを定着させます。

Point 1　Web ブラウザとインターネット環境があれば、実機演習を用いた学習をすぐに開始できます。
※学習教材はPDFファイルにて提供いたします。

Point 2　ご自身のペースで実機演習に取り組めます。

Point 3　受講期間中は、何度でもマシン演習環境を利用できます。

●学習教材 閲覧画面



操作演習用テキスト（PDF）をダウンロード

●マシン演習 操作画面



クラウド活用により迅速に演習環境を提供

知識の修得　知る！　試す！　実機演習

実機演習を中心に知識とスキルを身につけるタイプのｅラーニング!

提携コース eラーニング

提携コースeラーニングは、各社に委託し提供しているeラーニングです。
このeラーニングは、提携各社のサービスを利用します。
（学習利用環境、学習要領など提携各社ごとに異なりますので、あらかじめご了承ください）

提携コースeラーニングには、以下のコースがあります。

・アイテック社　情報処理技術者試験対策eラーニングコース
・SBI大学院 eラーニングコース
・ライトワークス社 Microsoft Officeシリーズ eラーニングコース
・STANDARD社 eラーニングコース
・プラーナー社 eラーニングコース
・Study-AI社 eラーニングコース
・ITプレナーズ社　ITIL®4ファンデーションeラーニングコース
・Aidemy社 eラーニングコース

eラーニングの学習利用環境

eラーニングのコースによって学習利用環境が異なります。

学習利用環境　学習利用環境については、下記のURLをご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/elearning

eラーニングの利用期間

（1）オリジナルeラーニングの利用期間

開始日にかかわらず学習終了日は各期の当社最終営業日となります。（3月末または9月末）
開始日によっては最大6ヶ月の利用期間となりますが、期末に近い開始日では利用期間が短くなりますので、お申し込み時に確認をお願いいたします。
なお、マシン演習付きオリジナルeラーニングと提携コースeラーニングは、従来どおりコースごとに設定された利用期間で変更はございません。

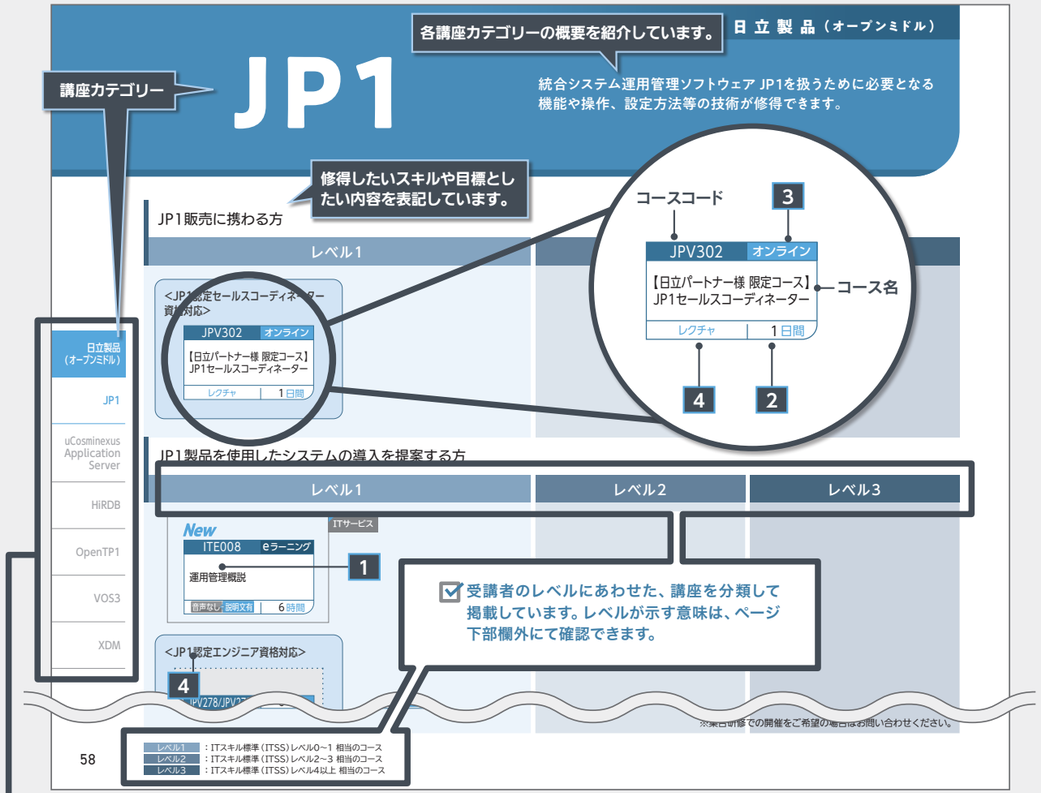
（2）利用時間

メンテナンス日を除き、サービスの利用時間は24時間365日となります。メンテナンスの日程は当社のWebサイトでお知らせします。

講座別コースフロー／コースカリキュラム

お客さまの人財育成に役立てていただけるよう適切な体系を考え、また各種スキル標準に沿ったかたちで、さまざまなカリキュラムをご用意しています。39の講座カテゴリーに分類し、体系的に学習し、効率的なスキルアップを図れるよう、コースフローを紹介しています。

コースフロー参照の POINT!



講座カテゴリー

日立製品研修

日立製品（オープンミドル）
- JP1
- uCosminexus Application Server
- HiRDB
- OpenTP1
- VOS3
- XDM

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

IT／ビジネス研修

デジタルトランスフォーメーション
- デジタル導入
- セールス／フロント
- サービス
- イノベーション
- データサイエンス
- プロセス／プロダクト

ビジネス
- 経営力
- 思考力／考え抜く力
- チームで働く力
- 前に踏み出す力
- 目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

プロジェクトマネジメント
- プロジェクトマネジメント
- プロジェクトマネジメント資格取得

ビジネスアーキテクト
- 事業戦略・投資管理・ビジネスモデル

開発／基盤
- クラウド
- モダン開発（アジャイル開発含む）
- 開発工程全般・企画・設計
- プログラミング・情報技術
- 品質・技法・信頼性
- セキュリティ
- プラットフォーム（Linux/Microsoft）
- IT サービス

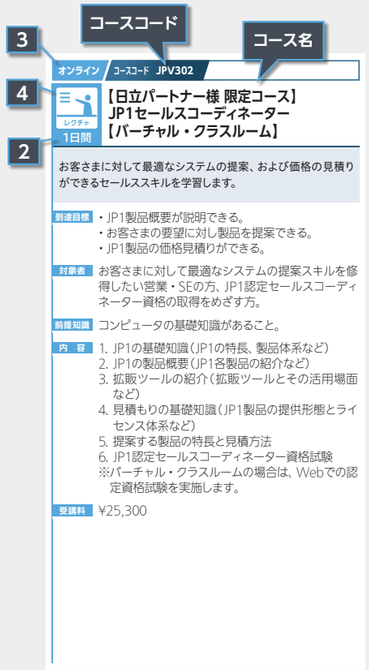
プロダクト（IT）
- 基盤製品（データベース）
- 基盤製品（ネットワーク）
- ミドル・アプリケーション製品
- RPA 製品

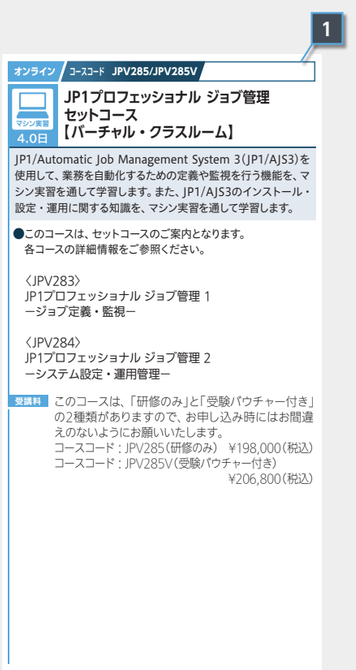
設計・モノづくり（OT）
- 電気・計測制御
- 機械・設計技法
- 生産・サプライチェーンエンジニアリング
- 製造・モノづくり基盤技術

情報処理技術者試験対策

グローバル

コースカリキュラム参照の POINT!





アイコン凡例

1 開催区分

New 新設コース　Renewal 改訂コース

休講 今期の定期開催はありません

2 開催日数／平均学習時間

コースの開催日数となります。
e ラーニング、自習テキストの場合は平均学習時間を表記しています。

3 受講方法

受講方法は大きく4種類があります。学習形態をご確認の上、講座をお選びください。

オンライン（バーチャル・クラスルーム）	集合研修	eラーニング	自習テキスト
オンライン環境で日立アカデミーの研修をライブで受講できる講座です。	研修会場へご来場いただき、講座を受講していただく講座です。	インターネットに接続し、オンデマンドコンテンツで学習いただく講座です。	自習書で独習いただく講座です。

4 学習形態・e ラーニング利用環境

学習形態により学習利用環境が異なりますので、Web サイトをご参照のうえ、事前に環境をご確認ください。

バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）／集合研修

マシン実習 原則として1人1台のマシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修

eラーニング

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）
音声なし＋説明文なし ：説明画面で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

JP1

統合システム運用管理ソフトウェア JP1を扱うために必要となる
機能や操作、設定方法等の技術が修得できます。

JP1販売に携わる方

レベル1

<JP1認定セールススコーディネーター資格対応>

JPV302 オンライン
【日立パートナー様 限定コース】
JP1セールススコーディネーター
レクチャ | 1日間

JP1製品を使用したシステムの導入を提案する方

レベル1

ITサービス

ITE008 eラーニング
運用管理概説
音声なし・説明文有 | 6時間

<JP1認定エンジニア資格対応>

JPV278/JPV278V オンライン
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ278/JPJ278T 集合
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ | 1日間

JPV306 オンライン
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

または

JPJ306 集合
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

Renewal

JPE020 eラーニング
JP1機能概説
(Version 10)
音声有・説明文なし | 6時間

JPE016 eラーニング
JP1機能概説
(Version 11)
音声なし・説明文有 | 6時間

レベル2

レベル3

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

JP1統合管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1

<JP1認定エンジニア資格対応>

JPV278/JPV278V オンライン
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ | 1日間

または

※
JPJ278/JPJ278T 集合
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ | 1日間

JPV306 オンライン
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

または

JPJ306 集合
JP1操作入門
マシン実習 | 1日間

レベル2

<JP1認定プロフェッショナル（統合管理）資格対応>

JPV308 オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 1
ーシステム監視ー
マシン実習 | 3日間

または

JPJ308 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 1ーシステム監視ー
マシン実習 | 3日間

または

New
JPE331 eラーニング
【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル
統合管理 1ーシステム監視ー
音声有・説明文なし | 18時間

JPV309/JPV309V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 2
ーシステム設定ー
マシン実習 | 2日間

または

JPJ309/JPJ309T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 2ーシステム設定ー
マシン実習 | 2日間

または

New
JPE332 eラーニング
【マシン演習付き】
JP1プロフェッショナル
統合管理 2ーシステム設定ー
音声有・説明文なし | 12時間

または

JPV310/JPV310V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 | 5日間

または

JPJ310/JPJ310T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 | 5日間

Renewal

JPE020 eラーニング
JP1機能概説
(Version 10)
音声有・説明文なし | 6時間

JPE308 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM 管理 1
ーシステム監視ー(Version 10)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE309 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM 管理 2
ーシステム設定ー(Version 10)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE016 eラーニング
JP1機能概説
(Version 11)
音声なし・説明文有 | 6時間

JPE017 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1
ーシステム監視ー(Version 11)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE018 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理2
ーシステム設定ー(Version 11)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE329 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理1
ーシステム監視ー(Version 12)
音声有・説明文なし | 12時間

JPE330 eラーニング
【マシン演習付き】
ハンズオンで学ぶ!JP1/IM管理2
ーシステム設定ー(Version 12)
音声有・説明文なし | 12時間

レベル3

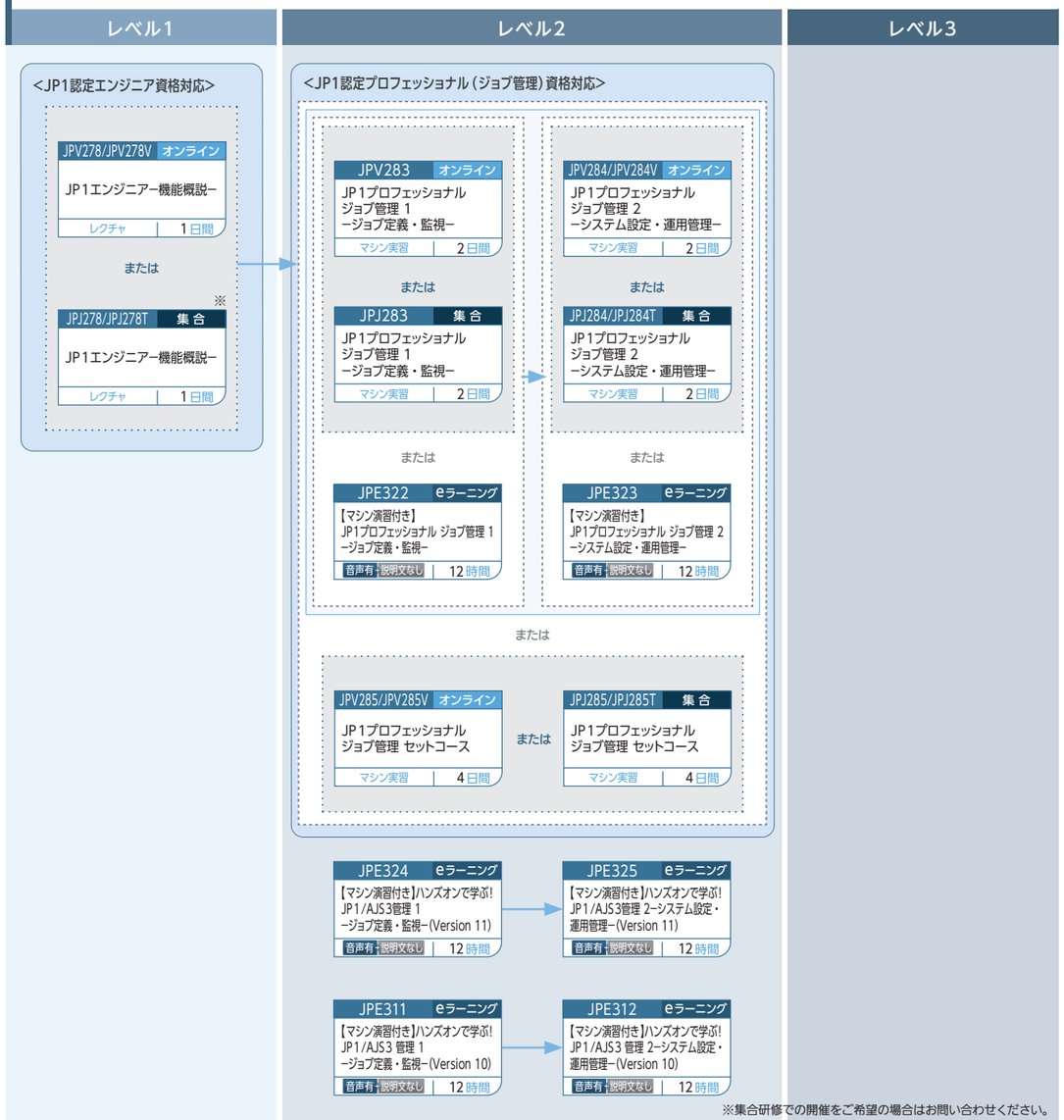
※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

JP1 IT運用自動化製品を使用したシステムを構築・運用する方



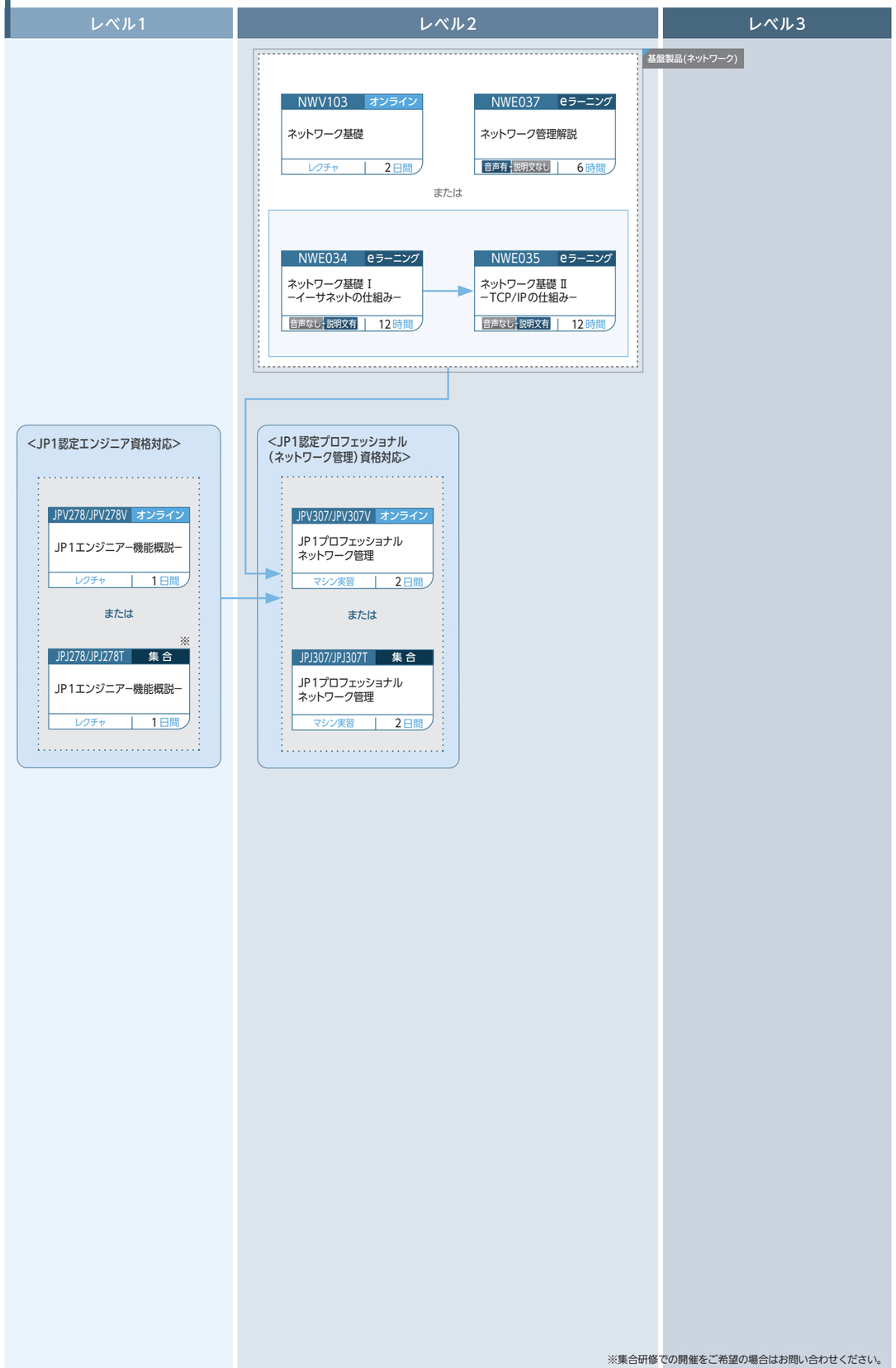
JP1ジョブ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

JP1ネットワーク管理製品を使用したシステムを構築・運用する方



※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

JP1資産・配布管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間	<JP1認定プロフェッショナル（資産・配布管理）資格対応> JPV305/JPV305V オンライン JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 マシン実習 2日間 または ※ JPJ305/JPJ305T 集合 JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 マシン実習 2日間	

JP1セキュリティ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 セキュリティ SCE013 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎ー要素技術（暗号、認証）編ー 音声有 説明文有 6時間	<JP1認定プロフェッショナル（セキュリティ管理）資格対応> JPV295/JPV295V オンライン JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 マシン実習 1日間 または ※ JPJ295/JPJ295T 集合 JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 マシン実習 1日間	

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

JP1パフォーマンス管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間	<JP1認定プロフェッショナル（パフォーマンス管理）資格対応> JPV282/JPV282V オンライン JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 マシン実習 2日間 または 休講 JPJ282/JPJ282T 集合 JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 マシン実習 2日間 または JPE328 eラーニング 【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 音声有 説明文なし 12時間 JPE310 eラーニング 【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM（Version 10） 音声有 説明文なし 12時間 JPE019 eラーニング 【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM（Version 11） 音声有 説明文なし 12時間	

JP1バックアップ管理製品を使用したシステムを構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
<JP1認定エンジニア資格対応> JPV278/JPV278V オンライン JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間 または ※ JPJ278/JPJ278T 集合 JP1エンジニアー機能概説ー レクチャ 1日間	<JP1認定プロフェッショナル（バックアップ管理）資格対応> JPV287/JPV287V オンライン JP1プロフェッショナル バックアップ管理 マシン実習 1日間 または ※ JPJ287/JPJ287T 集合 JP1プロフェッショナル バックアップ管理 マシン実習 1日間	

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

JP1の各カテゴリ製品のシステム設計をする方

レベル1

<JP1認定エンジニア資格対応>

JPV278/JPV278V オンライン
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ 1日間

または

※
JPJ278/JPJ278T 集合
JP1エンジニアー機能概説ー
レクチャ 1日間

JPV306 オンライン
JP1操作入門
マシン実習 1日間

または

JPJ306 集合
JP1操作入門
マシン実習 1日間

レベル2

JPV283 オンライン
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー
マシン実習 2日間

または

JPJ283 集合
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー
マシン実習 2日間

JPV284/JPV284V オンライン
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー
マシン実習 2日間

または

JPJ284/JPJ284T 集合
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー
マシン実習 2日間

または

JPV285/JPV285V オンライン
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 セットコース
マシン実習 4日間

または

JPJ285/JPJ285T 集合
JP1プロフェッショナル
ジョブ管理 セットコース
マシン実習 4日間

<JP1認定コンサルタント（ジョブ管理）資格対応>

JPV298 オンライン
JP1コンサルタント
ジョブ管理
ーシステム設計編ー
レクチャ 1日間

JPV299/JPV299V オンライン
JP1コンサルタント
ジョブ管理ーチューニング編ー
レクチャ 1日間

または

※
JPJ299/JPJ299T 集合
JP1コンサルタント
ジョブ管理ーチューニング編ー
レクチャ 1日間

<JP1認定コンサルタント（資産・配布管理）資格対応>

JPV305/JPV305V オンライン
JP1プロフェッショナル
資産・配布管理
マシン実習 2日間

または

JPJ305/JPJ305T 集合
JP1プロフェッショナル
資産・配布管理
マシン実習 2日間

JPV300/JPV300V オンライン
JP1コンサルタント
資産・配布管理
レクチャ 1日間

または

※
JPJ300/JPJ300T 集合
JP1コンサルタント
資産・配布管理
レクチャ 1日間

レベル3

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

レベル1

レベル2

JPV308 オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 1
ーシステム監視ー
マシン実習 3日間

または

JPJ308 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 1ーシステム監視ー
マシン実習 3日間

JPV309/JPV309V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 2
ーシステム設定ー
マシン実習 2日間

または

JPJ309/JPJ309T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 2ーシステム設定ー
マシン実習 2日間

または

JPV310/JPV310V オンライン
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 5日間

または

JPJ310/JPJ310T 集合
JP1プロフェッショナル
統合管理 セットコース
マシン実習 5日間

<JP1認定コンサルタント（統合管理）資格対応>

JPV312/JPV312V オンライン
JP1コンサルタント
統合管理
レクチャ 1日間

または

※
JPJ312/JPJ312T 集合
JP1コンサルタント
統合管理
レクチャ 1日間

<JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）資格対応>

JPV282/JPV282V オンライン
JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理
マシン実習 2日間

または 休講

JPJ282/JPJ282T 集合
JP1プロフェッショナル
パフォーマンス管理
マシン実習 2日間

JPV297/JPV297V オンライン
JP1コンサルタント
パフォーマンス管理
レクチャ 1日間

または

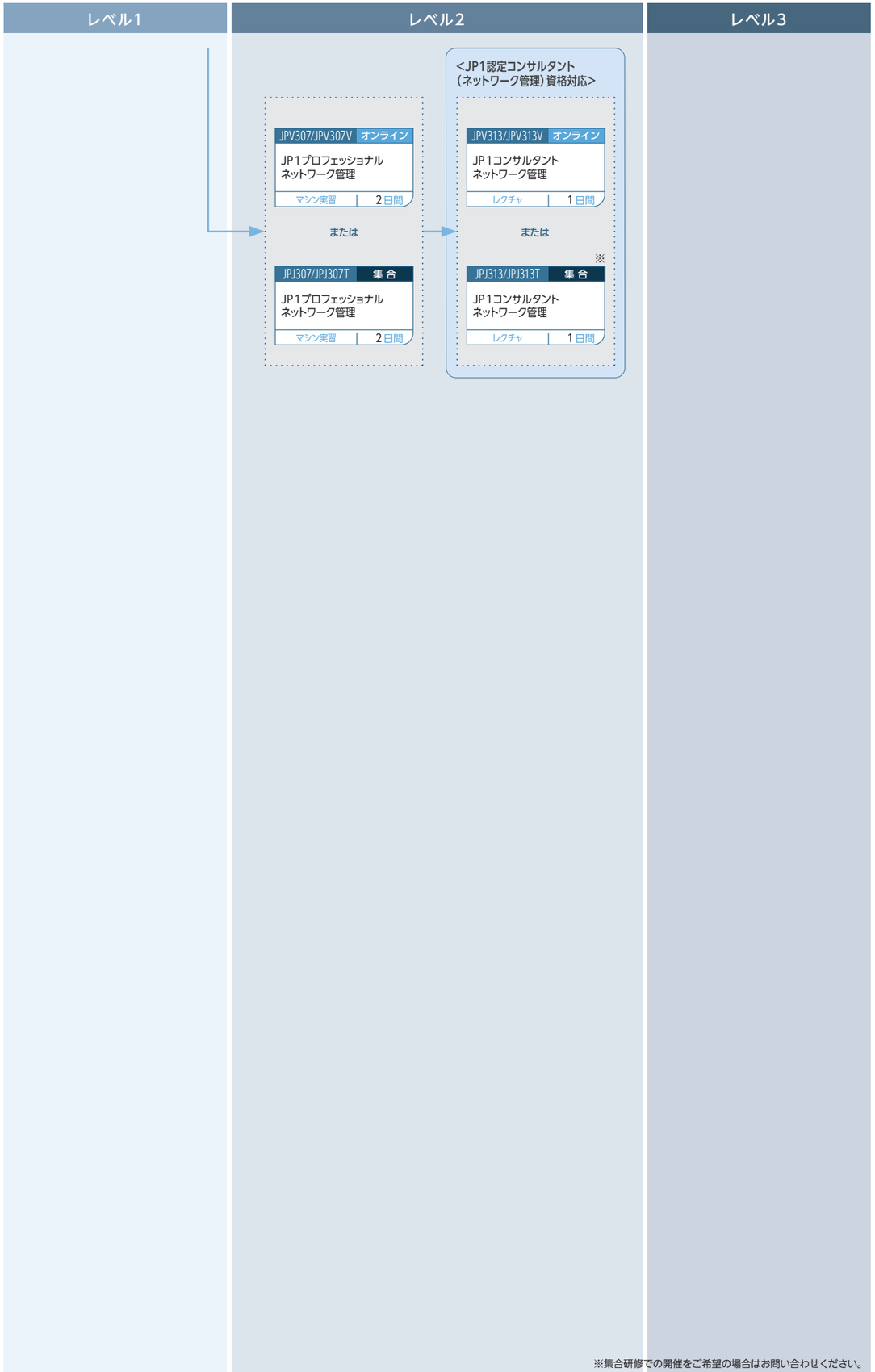
※
JPJ297/JPJ297T 集合
JP1コンサルタント
パフォーマンス管理
レクチャ 1日間

レベル3

※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文有 ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM



※集合研修での開催をご希望の場合はお問い合わせください。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度 ── オープンミドルウェア編

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度（オープンミドルウェア編）は、JP1製品を対象に、一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。セールスからシステム構築・運用、アプリケーション開発まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

資格取得をサポート

試験合格をサポートする学習コース「講座」もご用意しております。講座は、試験に準拠した内容となっており、かつ高度な知識やノウハウを体系的・効率的に学べる、と大変好評をいただいております。

信頼と安心の技術者資格認定

資格取得者は、そのスキルレベルを客観的に示すことができ、日立オープンミドルウェア各製品をご利用いただくお客さま、ソリューションやサービスを提供する方々から高い信頼と評価を得ることができます。また、人材育成や技術者のテクニカルスキルをはかる尺度としても活用できます。

資格取得者の特典

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度では、資格取得者に対して専用のWebサイトをご用意し、資格のバージョンアップや継続してスキルアップを図るための技術情報をご提供しております。（ご希望の方にはメールでもご案内しております。）
また、認定証や名刺に貼ってご利用いただける認定ロゴシールや印刷して使用できるロゴも資格者専用の会員サイトにてご提供しております。

＜受験にあたってのお願い＞
- 受験当日は、ご本人を確認できる顔写真付き証明書（免許証、従業員証、パスポートなど）を忘れずにご持参ください。ご持参いただかない場合は、受験が無効になることがありますので、ご注意ください。
- 認定試験はマークシート方式のため、鉛筆またはシャープペンシル、プラスチック製消しゴムをご持参ください。
- 試験付コースをお申し込みの場合は、お申し込みの情報を日立オープンミドルウェア技術者認定センターに提供いたします。

JP1 技術者資格認定試験一覧

試験名		試験内容	認定基準	試験時間
JP1認定エンジニア	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	40分
JP1認定プロフェッショナル （各カテゴリ別認定） ・統合管理 ・パフォーマンス管理（Version 12対応） ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・セキュリティ管理 ・ネットワーク管理 ・バックアップ管理	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定コンサルタント （各カテゴリ別認定） ・統合管理 ・パフォーマンス管理（Version 12対応） ・ジョブ管理 ・資産・配布管理 ・ネットワーク管理	CBT 日立	試験問題30問	70%以上正解	60分
JP1認定セールスコーディネーター※	CBT 日立	試験問題20問	70%以上正解	30分

CBT CBT試験サービス会社で受験できる試験　日立 当社で研修とともに受験できる試験

※日立パートナー様のみ受験可能です。

資格認定試験は、（株）日立製作所が提供するものです。
運営は、（株）日立アカデミーおよびCBT試験サービス会社に委託しています。

※受験可能なCBT試験サービス会社は下記のWebサイトでお確かめください。

日立ITプラットフォーム技術者資格認定制度サイト ▶▶ JP1 http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/soft1/jp1/event/cert/index.html

● JP1 技術者資格認定制度の詳細・最新情報について
http://www.hitachi.co.jp/products/it/cert/middleware/index.html

● （株）日立製作所 マネージドサービス事業部 日立オープンミドルウェア技術者認定センター お問い合わせ窓口
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/it/soft/cert_contact/form.jsp

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

JP1技術者資格認定制度（Version 13対応）

※旧Versionについては日立オープンミドルウェア技術者認定センターまでお問い合わせください。

JP1

JP1技術者資格認定制度は、JP1の一定以上のスキルを有する技術者を日立が認定する制度です。
セールスからシステム構築・運用まで目的ごと、さらにレベルごとに資格を設け、「JP1試験」により、厳格・公正な評価基準でそのスキルレベルを認定します。

JP1 技術者資格認定一覧

資格名	認定スキル
JP1認定エンジニア　<*Certified JP1 Engineer*>	JP1全般の理解、および運用に必要なテクニカルスキルを修得したエンジニアを認定します。
JP1認定プロフェッショナル　<*Certified JP1 Professional*> ・統合管理　・パフォーマンス管理（Version 12対応となります） ・ジョブ管理　・資産・配布管理 ・セキュリティ管理　・ネットワーク管理　・バックアップ管理	JP1各カテゴリ製品の導入とシステム構築ができるテクニカルスキルを修得したエンジニアをカテゴリごとに認定します。
JP1認定コンサルタント　<*Certified JP1 Consultant*> ・統合管理　・パフォーマンス管理（Version 12対応となります） ・ジョブ管理　・資産・配布管理　・ネットワーク管理	JP1各カテゴリ製品について、最適なコンサルテーションができるテクニカルスキルを修得したエンジニアを、カテゴリごとに認定します。
JP1認定セールスコーディネーター　<*Certified JP1 Sales Coordinator*>※	お客さまに対し最適なJP1の提案・見積もりができるセールススキルを修得したエンジニアを認定します。

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度の体系

構築・運用エンジニア　JP1 の構築・運用に携わる方

コース名 JP1 操作入門 ▶ 【資格名】JP1 認定エンジニア（コース名 JP1 エンジニア） ▶ 【資格名】JP1 認定プロフェッショナル（※1）（コース名 JP1 プロフェッショナル） ▶ 【資格名】JP1 認定コンサルタント（※2）（コース名 JP1 コンサルタント）

（※1）「JP1認定プロフェッショナル」には機能カテゴリごとに認定講座、認定試験があります。　（※2）「JP1認定コンサルタント」には機能カテゴリごとに認定講座、認定試験があります。

セールスエンジニア　JP1 の販売に携わる方

コース名 JP1 操作入門 ▶ 【資格名】JP1 認定セールスコーディネーター ※（コース名 JP1 セールスコーディネーター）

※日立パートナー様のみ受験可能です。

JP1 技術者資格認定制度における出題範囲

試験名	試験の出題範囲
JP1認定エンジニア	「JP1エンジニアー機能概説ー」（コースコード：JPV278、JPJ278）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 統合管理	「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー」（コースコード：JPV308、JPJ308）、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー」（コースコード：JPV309、JPJ309）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル パフォーマンス管理（Version12対応となります）	「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」（コースコード：JPV282、JPJ282）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ジョブ管理	「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー」（コースコード：JPV283、JPJ283）、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー」（コースコード：JPV284、JPJ284）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル 資産・配布管理	「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理」（コースコード：JPV305、JPJ305）、のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル ネットワーク管理	「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理」（コースコード：JPV307、JPJ307）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル バックアップ管理	「JP1プロフェッショナル バックアップ管理」（コースコード：JPV287、JPJ287）のテキスト内容から出題
JP1認定プロフェッショナル セキュリティ管理	「JP1プロフェッショナル セキュリティ管理」（コースコード：JPV295、JPJ295）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 統合管理	「JP1コンサルタント 統合管理」（コースコード：JPV312、JPJ312）、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー」（コースコード：JPV308、JPJ308）、 「JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー」（コースコード：JPV309、JPJ309）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント パフォーマンス管理（Version12対応となります）	「JP1コンサルタント　パフォーマンス管理」（コースコード：JPV297、JPJ297）、 「JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理」（コースコード：JPV282、JPJ282）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ジョブ管理	「JP1コンサルタント ジョブ管理ーシステム設計編ー」（コースコード：JPV298、JPJ298）、 「JP1コンサルタント ジョブ管理ーチューニング編ー」（コースコード：JPV299、JPJ299）、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー」（コースコード：JPV283、JPJ283）、 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー」（コースコード：JPV284、JPJ284）のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント 資産・配布管理	「JP1コンサルタント 資産・配布管理」（コースコード：JPV300、JPJ300）、 「JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 」（コースコード：JPV305、JPJ305）、のテキスト内容から出題
JP1認定コンサルタント ネットワーク管理	「JP1コンサルタント ネットワーク管理」（コースコード：JPV313、JPJ313）、 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理」（コースコード：JPV307、JPJ307）のテキスト内容から出題
JP1認定セールスコーディネーター※	「JP1セールスコーディネーター」（コースコード：JPV302）のテキスト内容から出題　※日立パートナー様のみ受験可能です。

オンライン　コースコード JPV302

レクチャ 1日間

【日立パートナー様 限定コース】JP1セールスコーディネーター【バーチャル・クラスルーム】

お客さまに対して最適なシステムの提案、および価格の見積りができるセールススキルを学習します。

到達目標
・JP1製品概要が説明できる。
・お客さまの要望に対し製品を提案できる。
・JP1製品の価格見積りができる。

対象者 お客さまに対して最適なシステムの提案スキルを修得したい営業・SEの方、JP1認定セールスコーディネーター資格の取得をめざす方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内　容
1. JP1の基礎知識（JP1の特長、製品体系など）
2. JP1の製品概要（JP1各製品の紹介など）
3. 拡販ツールの紹介（拡販ツールとその活用場面など）
4. 見積もりの基礎知識（JP1製品の提供形態とライセンス体系など）
5. 提案する製品の特長と見積方法
6. JP1認定セールスコーディネーター資格試験

※バーチャル・クラスルームの場合は、Webでの認定資格試験を実施します。

受講料 ¥25,300

オンライン　コースコード JPV278/JPV278V

レクチャ 1日間

JP1エンジニアー機能概説ー【バーチャル・クラスルーム】

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
・JP1製品の特長が説明できる。
・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方、JP1認定エンジニア資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内　容
1. JP1の基礎知識
2. Intelligence
3. Intelligent Monitoring
4. Intelligent Automation
5. Intelligent Governance

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV278（研修のみ）　¥44,000（税込）
コースコード：JPV278V（受験バウチャー付き）　¥50,600（税込）

オンライン　コースコード JPV306

マシン実習 1日間

JP1操作入門【バーチャル・クラスルーム】

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1の主要5製品の特長を説明できる。
・JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
・JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
・JP1/Cm2/Network Node Manager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
・JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方、JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内　容
1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

受講料 ¥44,000

集合　コースコード JPJ306

マシン実習 1日間

JP1操作入門

JP1の代表的な5製品の基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1の主要5製品の特長を説明できる。
・JP1/Automatic Job Management System3（ジョブ管理）で業務を自動実行するための基本操作ができる。
・JP1/IT Desktop Management2（資産・配布管理）で資産管理をするための基本操作ができる。
・JP1/Cm2/Network Node Manager i（ネットワーク管理）でネットワークの監視をするための基本操作ができる。
・JP1/Performance Management（パフォーマンス管理）で稼働情報を監視するための基本操作ができる。

対象者 JP1を使用してシステム運用管理をする方、JP1の導入を検討する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知で、かつMicrosoft Windowsの操作経験があること。

内　容
1. システム運用管理とJP1
2. ジョブ管理の操作入門
3. 資産・配布管理の操作入門
4. ネットワーク管理の操作入門
5. パフォーマンス管理の操作入門
6. 統合管理の操作入門

受講料 ¥44,000

オンライン　コースコード JPV308

マシン実習 3日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 1 ーシステム監視ー【バーチャル・クラスルーム】

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・統合管理の概要を説明できる。
・統合オペレーション・ビューアー、セントラルコンソールを使って事象監視ができる。
・監視画面のカスタマイズができる。
・システム障害の絞り込みができる。
・システム障害の調査・対処ができる。
・他製品と連携したシステム状況の把握ができる。
・統合管理のカスタマイズができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
   (1)システム監視の基本操作
   (2)監視画面の表示設定
   (3)監視対象のJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
   (1)監視画面での状況把握
   (2)障害イベント発生時の通報・対処の自動化
4. システム障害の調査・対処
   (1)コマンド実行による調査および対処
   (2)対処アクションの提案機能
   (3)ガイド情報の表示
   (4)JP1イベントにメモ情報を設定
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料 ¥165,000

オンライン　コースコード JPV309/JPV309V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル 統合管理 2 ーシステム設定ー【バーチャル・クラスルーム】

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・マネージャ、エージェントを構築できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・稼働監視の設定ができる。
・他製品と連携した監視の設定ができる。
・イベントを管理しやすく設定できる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の導入
   (1)インストール
   (2)IMデータベースの構築
   (3)インテリジェント統合管理の有効化
   (4)サービスの起動・終了
2. 統合管理の設定
   (1)構成管理の設定
   (2)JP1イベントの転送設定
   (3)リモートログ監視の構成管理の設定
   (4)インテリジェント統合管理の設定
3. ユーザー管理機能
   (1)ユーザー認証の設定　(2)認証サーバの閉塞
   (3)ユーザーマッピングの設定
4. 監視対象の設定
   (1)インテリジェント統合管理の監視設定
   (2)アプリケーションプログラムが出力するログの監視
   (3)Windowsイベントログの監視
   (4)リモート監視ホストのログ監視
   (5)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV309（研修のみ）　¥110,000（税込）
コースコード：JPV309V（受験バウチャー付き）　¥118,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV310/JPV310V

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　5日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPV308〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー

〈JPV309〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

受講料　このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV310（研修のみ）　¥253,000（税込）
コースコード：JPV310V（試験付）　¥261,800（税込）

集 合　コースコード　JPJ308

JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー

マシン実習　3日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・統合管理の概要を説明できる。
・統合オペレーション・ビューアー、セントラルコンソールを使って事象監視ができる。
・監視画面のカスタマイズができる。
・システム障害の絞り込みができる。
・システム障害の調査・対処ができる。
・他製品と連携したシステム状況の把握ができる。
・統合管理のカスタマイズができる。

対象者　JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
　（1）システム監視の基本操作
　（2）監視画面の表示設定
　（3）監視対象のJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
　（1）監視画面での状況把握
　（2）障害イベント発生時の通報・対処の自動化
4. システム障害の調査・対処
　（1）コマンド実行による調査および対処
　（2）対処アクションの提案機能
　（3）ガイド情報の表示
　（4）JP1イベントにメモ情報を設定
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料　¥165,000

集 合　コースコード　JPJ309/JPJ309T

JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

マシン実習　2日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・マネージャ、エージェントを構築できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・稼働監視の設定ができる。
・他製品と連携した監視の設定ができる。
・イベントを管理しやすく設定できる。

対象者　JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の導入
　（1）インストール
　（2）IMデータベースの構築
　（3）インテリジェント統合管理の有効化
　（4）サービスの起動・終了
2. 統合管理の設定
　（1）構成管理の設定
　（2）JP1イベントの転送設定
　（3）リモートログ監視の構成管理の設定
　（4）インテリジェント統合管理の設定
3. ユーザー管理機能
　（1）ユーザー認証の設定
　（2）認証サーバの閉塞
　（3）ユーザーマッピングの設定
4. 監視対象の設定
　（1）インテリジェント統合管理の監視設定
　（2）アプリケーションプログラムが出力するログの監視
　（3）Windowsイベントログの監視
　（4）リモート監視ホストのログ監視
　（5）イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定

受講料　このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：PJ309（研修のみ）　¥110,000（税込）
コースコード：PJ309T（試験付）　¥118,800（税込）

集 合　コースコード　JPJ310/JPJ310T

JP1プロフェッショナル 統合管理 セットコース

マシン実習　5日間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/IMのインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPJ308〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー

〈JPJ309〉
JP1プロフェッショナル 統合管理 2ーシステム設定ー

受講料　このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：PJ310（研修のみ）　¥253,000（税込）
コースコード：PJ310T（試験付）　¥261,800（税込）

eラーニング　コースコード　JPE331　New

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理1ーシステム監視ー

eラーニング　18時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・統合管理の概要を説明できる。
・統合オペレーション・ビューアー、セントラルコンソールを使って事象監視ができる。
・監視画面のカスタマイズができる。
・システム障害の絞り込みができる。
・システム障害の調査・対処ができる。
・他製品と連携したシステム状況の把握ができる。
・統合管理のカスタマイズができる。

対象者　JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
　（1）システム監視の基本操作
　（2）監視画面の表示設定
　（3）監視対象のJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
　（1）監視画面での状況把握
　（2）障害イベント発生時の通報・対処の自動化
4. システム障害の調査・対処
　（1）コマンド実行による調査および対処
　（2）対処アクションの提案機能
　（3）ガイド情報の表示
　（4）JP1イベントにメモ情報を設定
5. 統合管理のカスタマイズ

受講料　¥165,000

eラーニング　コースコード　JPE332　New

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル 統合管理2ーシステム設定ー

eラーニング　12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・マネージャ、エージェントを構築できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・稼働監視の設定ができる。
・他製品と連携した監視の設定ができる。
・イベントを管理しやすく設定できる。

対象者　JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の導入
　（1）インストール
　（2）IMデータベースの構築
　（3）インテリジェント統合管理の有効化
　（4）サービスの起動・終了
2. 統合管理の設定
　（1）構成管理の設定
　（2）JP1イベントの転送設定
　（3）リモートログ監視の構成管理の設定
　（4）インテリジェント統合管理の設定
3. ユーザー管理機能
　（1）ユーザー認証の設定
　（2）認証サーバの閉塞
　（3）ユーザーマッピングの設定
4. 監視対象の設定
　（1）インテリジェント統合管理の監視設定
　（2）アプリケーションプログラムが出力するログの監視
　（3）Windowsイベントログの監視
　（4）リモート監視ホストのログ監視
　（5）イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定

受講料　¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE329

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/IM 管理 1ーシステム監視ー（Version 12）

eラーニング　12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
・イベント監視ページのカスタマイズができる。
・セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
・自動アクションの設定ができる。
・重要イベントページのカスタマイズができる。
・必要なイベントを検索できる。
・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
・コマンド実行の操作ができる。

対象者　JP1/IMを使用してシステムを監視する方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1エンジニアー機能概説ー」コース、または「JP1操作入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
　（1）システム監視の基本操作
　（2）繰り返しイベントの表示抑止
　（3）フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
　（1）自動アクション
　（2）ローカルアクション
　（3）重要イベントページ
　（4）ビジュアル監視
　（5）監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
　（1）ガイド情報の表示
　（2）メモ情報の設定
　（3）コマンド実行

受講料　¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE330

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/IM 管理 2ーシステム設定ー（Version 12）

eラーニング　12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール・設定に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・マネージャ・エージェントを構築できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者　JP1/IMのシステム構築をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1プロフェッショナル 統合管理 1ーシステム監視ー」コース、または、「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！ JP1／IM 管理 1ーシステム監視ー（Version 12）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
　（1）インストール　（2）IMデータベースの構築
　（3）サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
　（1）構成管理設定
　（2）JP1イベントの転送設定
　（3）リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
　（1）ユーザー認証の設定
　（2）認証サーバの閉塞
　（3）ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
　（1）アプリケーションが出力するログの監視
　（2）Windowsイベントログの監視
　（3）リモート監視ホストのログ監視
　（4）イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
　（1）セントラルスコープのセットアップ
　（2）監視ツリー画面の設定
　（3）ビジュアル監視画面の設定

受講料　¥110,000

オンライン　コースコード　JPV283

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　2日間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
・自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
・運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
・業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
・ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者　JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
　（1）ジョブ定義
　（2）即時実行登録
　（3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
　（1）カレンダー情報の設定
　（2）スケジュール設定
　（3）計画/確定実行登録
　（4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
　（1）ファイル更新契機のジョブの実行
　（2）起動条件の設定
5. 業務の実行監視

受講料　¥110,000

オンライン　コースコード　JPV284/JPV284V

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2ーシステム設定・運用管理ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　2日間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3製品のインストールができる。
・エージェントの追加・変更ができる。
・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
・運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。

対象者　JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識　「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JP1/AJS3のインストール
　（1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
　（1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
　（1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
　（1）複数スケジューラーサービス
　（2）スケジューラーサービス参照制限
　（3）実行エージェントの制限
　（4）同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
　（1）ジョブネット定義の退避・回復
　（2）運用中のジョブネット変更
　（3）運用状況の監視

受講料　このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV284（研修のみ）　¥110,000（税込）
コースコード：JPV284V（受験バウチャー付き）
¥118,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV285/JPV285V

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　4.0日

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPV283〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1ージョブ定義・監視ー

〈JPV284〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2ーシステム設定・運用管理ー

受講料　このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV285（研修のみ）　¥198,000（税込）
コースコード：JPV285V（受験バウチャー付き）
¥206,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV286

JP1プロフェッショナル IT運用自動化【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　2日間

JP1/Automatic Operation（JP1/AO）を使用してIT運用自動化のための定義や監視を行う機能をマシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AOの概要が説明できる。
・JP1/AOのインストールができる。
・サービスの登録、設定、実行の操作ができる。
・サービステンプレートの作成、部品の作成、カスタマイズができる。
・JP1/Navigation Platform（JP1/NP）と連携した運用ができる。

対象者　JP1/AOを使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識　Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AOの概要
2. 設計と構築
3. JP1/AO運用
4. サービステンプレートの作成
5. JP1/NPとの連携

受講料　¥110,000

集合 コースコード JPJ283

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
- 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
- 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
- ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
   （1）ジョブ定義
   （2）即時実行登録
   （3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
   （1）カレンダー情報の設定
   （2）スケジュール設定
   （3）計画/確定実行登録
   （4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
   （1）ファイル更新契機のジョブの実行
   （2）起動条件の設定
5. 業務の実行監視

受講料 ¥110,000

集合 コースコード JPJ284/JPJ284T

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール、設定、運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3製品のインストールができる。
- エージェントの追加・変更ができる。
- JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報の設定ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
   （1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
   （1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
   （1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
   （1）複数スケジューラーサービス
   （2）スケジューラーサービス参照制限
   （3）実行エージェントの制限
   （4）同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
   （1）ジョブネット定義の退避・回復
   （2）運用中のジョブネット変更
   （3）運用状況の監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ284（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPJ284T（試験付） ¥118,800（税込）

集合 コースコード JPJ285/JPJ285T

マシン実習 4.0日

JP1プロフェッショナル ジョブ管理 セットコース

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）を使用して、業務を自動化するための定義や監視を行う機能を、マシン実習を通して学習します。また、JP1/AJS3のインストール・設定・運用に関する知識を、マシン実習を通して学習します。

●このコースは、セットコースのご案内となります。
各コースの詳細情報をご参照ください。

〈JPJ283〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1
ージョブ定義・監視ー

〈JPJ284〉
JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2
ーシステム設定・運用管理ー

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ285（研修のみ） ¥198,000（税込）
コースコード：JPJ285T（試験付） ¥206,800（税込）

eラーニング コースコード JPE322

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 1 ージョブ定義・監視ー

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
- 自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
- 運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
- 業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
- ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
   （1）ジョブ定義
   （2）即時実行登録
   （3）ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
   （1）カレンダー情報の設定
   （2）スケジュール設定
   （3）計画/確定実行登録
   （4）実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
   （1）ファイル更新契機のジョブの実行
   （2）起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング コースコード JPE323

eラーニング 12時間

<eラーニング>【マシン演習付き】 JP1プロフェッショナル ジョブ管理 2 ーシステム設定・運用管理ー

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- JP1/AJS3のインストールができる。
- ジョブ実行環境のセットアップができる。
- JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
- JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
- 実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
- JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
- ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
- 運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1ージョブ定義・監視ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JP1/AJS3のインストール
   （1）JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
   （1）エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
   （1）JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
   （1）複数スケジューラーサービス
   （2）スケジューラーサービス参照制限
   （3）実行エージェントの制限
   （4）同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
   （1）ジョブネット定義の退避・回復
   （2）運用中のジョブネット変更
   （3）運用状況の監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

集合 コースコード JPJ307/JPJ307T

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理

JP1/Network Node Manager i（JP1/NNMi）によるネットワーク接続機器の監視、管理と設定方法、JP1/SNMP System Observer（JP1/SSO）によるサーバのリソース管理、プロセス監視と設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのインストール後のセットアップができる。
- JP1/NNMi の監視環境の構築（検出、ポーリング設定）ができる。
- JP1/NNMi によるインシデントの管理ができる。
- JP1/SSOによるシステムリソースの参照、収集設定ができる。
- JP1/SSOによるプロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- JP1/SSOとJP1/NNMiの連携設定ができる。

対象者
- JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- JP1/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内 容
1. JP1によるネットワーク管理の概要
   （1）JP1の概要　（2）JP1によるネットワーク管理
2. JP1/NNMiによるネットワーク管理
   （1）JP1/NNMiを用いたネットワーク管理の概要
   （2）ユーザアカウントの作成　（3）通信の基本設定
   （4）監視対象の登録　（5）ノードグループの作成
3. JP1/NNMiによるノードの監視
   （1）障害監視　（2）インシデントの監視
4. JP1/SSOによるリソース・プロセス管理
   （1）JP1/SSOの概要
5. JP1/SSOによるリソース管理
   （1）システムリソースの参照、収集
6. JP1/SSOによるプロセスおよびサービス監視
   （1）プロセスおよびサービスの監視
7. JP1/NNMiとの連携
   （1）JP1/NNMiを用いた監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ307（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPJ307T（試験付） ¥118,800（税込）

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン コースコード JPV307/JPV307V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル ネットワーク管理 【バーチャル・クラスルーム】

JP1/Network Node Manager i（JP1/NNMi）によるネットワーク接続機器の監視、管理と設定方法、JP1/SNMP System Observer（JP1/SSO）によるサーバのリソース管理、プロセス監視と設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/NNMi 、JP1/SSOのインストール後のセットアップができる。
- JP1/NNMi の監視環境の構築（検出、ポーリング設定）ができる。
- JP1/NNMi によるインシデントの管理ができる。
- JP1/SSOによるシステムリソースの参照、収集設定ができる。
- JP1/SSOによるプロセスリソースの状態監視、監視設定ができる。
- JP1/SSOとJP1/NNMiの連携設定ができる。

対象者
- JP1/NNMiを使用したネットワーク管理、システム構築を行う方。
- JP1/SSOを使用してサーバのリソース管理、プロセス管理を行う方。
- JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。「ネットワーク管理概説と演習」コースを修了しているか、ネットワーク管理プロトコルであるSNMPに関する知識があること。

内 容
1. JP1によるネットワーク管理の概要
   （1）JP1の概要　（2）JP1によるネットワーク管理
2. JP1/NNMiによるネットワーク管理
   （1）JP1/NNMiを用いたネットワーク管理の概要
   （2）ユーザアカウントの作成　（3）通信の基本設定
   （4）監視対象の登録　（5）ノードグループの作成
3. JP1/NNMiによるノードの監視
   （1）障害監視　（2）インシデントの監視
4. JP1/SSOによるリソース・プロセス管理
   （1）JP1/SSOの概要
5. JP1/SSOによるリソース管理
   （1）システムリソースの参照、収集
6. JP1/SSOによるプロセスおよびサービス監視
   （1）プロセスおよびサービスの監視
7. JP1/NNMiとの連携
   （1）JP1/NNMiを用いた監視

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV307（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPV307V（受験バウチャー付き） ¥118,800（税込）

オンライン コースコード JPV305/JPV305V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理 【バーチャル・クラスルーム】

JP1/IT Desktop Management 2 - Manager（JP1/ITDM2）を使用して、資産管理、セキュリティ管理および、配布管理を行う機能（資産・配布管理機能）を、マシン実習を通して修得できます。

到達目標
- コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスできる。
- ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。
- セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。
- パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者 JP1/IT Desktop Management 2 - Managerによるシステム運用管理を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. 資産・配布管理の概要
2. JP1/ITDM2の基本操作
3. 機器管理
4. 資産管理
5. セキュリティ管理
6. 配布管理

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV305（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPV305V（受験バウチャー付き） ¥118,800（税込）

集合 コースコード JPJ305/JPJ305T

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル 資産・配布管理

JP1/IT Desktop Management 2 - Manager（JP1/ITDM2）を使用して、資産管理、セキュリティ管理および、配布管理を行う機能（資産・配布管理機能）を、マシン実習を通して修得できます。

到達目標
- コンピュータなどの機器の状態を把握してメンテナンスできる。
- ハードウェア資産やソフトウェアのライセンス過不足の状況を把握できる。
- セキュリティ状況の把握と対策を検討できる。
- パッチやファイルをコンピュータに配布し、インストールできる。

対象者 JP1/IT Desktop Management 2 - Managerによるシステム運用管理を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. 資産・配布管理の概要
2. JP1/ITDM2の基本操作
3. 機器管理
4. 資産管理
5. セキュリティ管理
6. 配布管理

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ305（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPJ305T（試験付） ¥118,800（税込）

オンライン コースコード JPV295/JPV295V

マシン実習 1日間

JP1プロフェッショナル セキュリティ管理 【バーチャル・クラスルーム】

JP1/秘文を使用したセキュリティ管理の機能やその設定方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/秘文のシステム構成と基本機能を説明できる。
- JP1/秘文のインストールとセットアップができる。
- 秘文DCによる持ち出し/読み込み制御の操作ができる。
- 秘文DEによるHD、リムーバブルディスク、ファイルの暗号化の操作ができる。
- 秘文Serverの設定と操作ができる。

対象者 JP1/秘文を使用してセキュリティ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 セキュリティの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. JP1/秘文の概要
2. 秘文DC、秘文Serverの主要機能
3. 秘文DEの主要機能
4. 秘文DE（FS）、秘文Sever（ファイルサーバ）の主要機能
5. 秘文Server（秘文LM）
6. 秘文DPの主要機能

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV295（研修のみ） ¥55,000（税込）
コースコード：JPV295V（受験バウチャー付き） ¥63,800（税込）

オンライン コースコード JPV282/JPV282V

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理 【バーチャル・クラスルーム】

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
   （1）監視コンソールサーバへのログイン
   （2）サーバの稼動監視
   （3）アラームによる稼動監視
   （4）レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
   （1）JP1/PFMのシステム構成
   （2）JP1/PFMのインストールとセットアップ
   （3）JP1/PFM-RMのセットアップ（エージェントレス構成）
   （4）JP1/PFMの起動と停止
   （5）ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定
   （1）エージェント階層の設定
   （2）パフォーマンスデータの収集設定
   （3）レポート定義のカスタマイズ
   （4）新規レポートの定義
5. アラーム定義
   （1）アラームの概要
   （2）クイックガイドでのアラームの作成
   （3）アラーム階層でのアラーム作成
   （4）プロセス・サービスの稼働状況監視
   （5）複数アラームテーブルの監視
   （6）稼動状況のサマリ表示
6. 統合コンソールとの連携
   （1）統合コンソールとの連携の概要
   （2）サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV282（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPV282V（受験バウチャー付き） ¥118,800（税込）

集合 コースコード JPJ282/JPJ282T 休講

マシン実習 2日間

JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
- パフォーマンスデータの収集ができる。
- レポート、アラームの作成、操作ができる。
- 統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内 容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
   （1）監視コンソールサーバへのログイン
   （2）サーバの稼動監視
   （3）アラームによる稼動監視
   （4）レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
   （1）JP1/PFMのシステム構成
   （2）JP1/PFMのインストールとセットアップ
   （3）JP1/PFM-RMのセットアップ（エージェントレス構成）
   （4）JP1/PFMの起動と停止
   （5）ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定
   （1）エージェント階層の設定
   （2）パフォーマンスデータの収集設定
   （3）レポート定義のカスタマイズ
   （4）新規レポートの定義
5. アラーム定義
   （1）アラームの概要
   （2）クイックガイドでのアラームの作成
   （3）アラーム階層でのアラーム作成
   （4）プロセス・サービスの稼働状況監視
   （5）複数アラームテーブルの監視
   （6）稼動状況のサマリ表示
6. 統合コンソールとの連携
   （1）統合コンソールとの連携の概要
   （2）サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

受講料 このコースは、「研修のみ」と「試験付」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPJ282（研修のみ） ¥110,000（税込）
コースコード：JPJ282T（試験付） ¥118,800（税込）

eラーニング　コースコード　JPE328

<eラーニング>【マシン演習付き】JP1プロフェッショナル パフォーマンス管理

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
・パフォーマンスデータの収集ができる。
・レポート、アラームの作成、操作ができる。
・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内　容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼動情報の監視
 (1)監視コンソールサーバへのログイン
 (2)サーバの稼動監視
 (3)アラームによる稼動監視
 (4)レポートによるパフォーマンスデータの参照
3. JP1/PFMのシステム構築
 (1)JP1/PFMのシステム構成
 (2)JP1/PFMのインストールとセットアップ
 (3)JP1/PFM-RMのセットアップ（エージェントレス構成）
 (4)JP1/PFMの起動と停止
 (5)ユーザーアカウントの管理
4. 監視エージェントの設定
 (1)エージェント階層の設定
 (2)パフォーマンスデータの収集設定
 (3)レポート定義のカスタマイズ
 (4)新規レポートの定義
5. アラーム定義
 (1)アラームの概要
 (2)クイックガイドでのアラームの作成
 (3)アラーム階層でのアラーム作成
 (4)プロセス・サービスの稼働状況監視
 (5)複数アラームテーブルの監視
 (6)稼動状況のサマリ表示
6. 統合コンソールとの連携
 (1)統合コンソールとの連携の概要
 (2)サーバ稼働管理と統合コンソールの連携

受講料 ¥110,000

オンライン　コースコード　JPV287/JPV287V

JP1プロフェッショナル バックアップ管理【バーチャル・クラスルーム】

マシン演習 1日間

JP1/VERITAS NetBackupによるバックアップ管理機能を理解し、その使い方を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/VERITAS NetBackupの主な機能を説明できる。
・JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成を説明できる。
・JP1/VERITAS NetBackupのインストールと環境設定ができる。
・バックアップジョブとリストアジョブを作成し実行できる。

対象者 JP1/VERITAS NetBackupを使用してバックアップ管理を行う方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。また、一般的なバックアップの基礎知識があること。

内　容
1. JP1/VERITAS NetBackupの概要
 (1)バックアップとリストアの基礎知識
 (2)JP1/VERITAS NetBackupの製品概要
 (3)JP1/VERITAS NetBackupのシステム構成
2. インストールと環境設定
 (1)JP1/VERITAS NetBackupのインストール
 (2)JP1/VERITAS NetBackupの環境設定
3. バックアップとリストア
 (1)JP1/VERITAS NetBackupによるデータバックアップ
 (2)JP1/VERITAS NetBackupによるデータのリストア
4. 高度なバックアップ

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV287（研修のみ）　¥55,000（税込）
コースコード：JPV287V（受験バウチャー付き）　¥63,800（税込）

オンライン　コースコード　JPV298

JP1コンサルタント ジョブ管理 −システム設計編−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を学習します。要件の確認からシステム設計、ジョブ運用までの一連の流れを学習します。

到達目標 JP1/AJS3を中心としたジョブ設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者 JP1ジョブ管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1コンサルタント資格（ジョブ管理）をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1−ジョブ定義・監視−」および「JP1プロフェッショナル ジョブ管理2−システム設定・運用管理−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 顧客要件の確認
2. システム設計
3. JP1設計ポイント
4. トラブルシュート

受講料 ¥55,000

オンライン　コースコード　JPV299/JPV299V

JP1コンサルタント ジョブ管理 −チューニング編−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1/AJS3を中心としたジョブ管理の性能設計・性能対策および移行について学習します。

到達目標
・性能設計に必要な条件が説明できる。
・性能向上のための性能対策ができる。
・移行の注意事項が説明できる。

対象者 JP1ジョブ管理製品の導入・構築・運用において性能設計・性能対策および移行を行う方、JP1認定コンサルタント資格（ジョブ管理）の取得をめざす方。

前提知識 「JP1コンサルタントジョブ管理−構築・運用−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 性能に関するチューニング
2. JP1/AJS3への移行
3. JP1/AJS3トラブル事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV299（研修のみ）　¥55,000（税込）
コースコード：JPV299V（受験バウチャー付き）　¥66,000（税込）

オンライン　コースコード　JPV300/JPV300V

JP1コンサルタント 資産・配布管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1資産・配布管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1資産・配布管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1資産・配布管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格（資産・配布管理）の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル資産・配布管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 設計
2. 構築
3. JP1製品との連携
4. 障害事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV300（研修のみ）　¥55,000（税込）
コースコード：JPV300V（受験バウチャー付き）　¥66,000（税込）

オンライン　コースコード　JPV312/JPV312V

JP1コンサルタント 統合管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1統合管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1統合管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1統合管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント資格（統合管理）の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル 統合管理 1−システム監視−」コースおよび「JP1プロフェッショナル 統合管理 2−システム設定−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JP1による運用管理システムの構築工程
2. 想定する顧客システムの構成
3. 要件定義
4. 設計
5. 構築作業
6. 運用に向けて
7. 障害事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV312（研修のみ）　¥55,000（税込）
コースコード：JPV312V（受験バウチャー付き）　¥66,000（税込）

マシン演習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン　コースコード　JPV297/JPV297V

JP1コンサルタント パフォーマンス管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1パフォーマンス管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を修得できる。

対象者 JP1パフォーマンス管理製品の導入・構築コンサルテーションを行う方、JP1認定コンサルタント（パフォーマンス管理）資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナルパフォーマンス管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. パフォーマンス管理の導入事例
2. 想定するお客さまとシステムの概要
3. 稼働監視システムの運用サイクル
4. 稼働監視システムの設計
5. 環境構築
6. 運用に向けた留意事項
7. 他のJP1製品との連携
8. 障害事例

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV297（研修のみ）　¥55,000（税込）
コースコード：JPV297V（受験バウチャー付き）　¥66,000（税込）

オンライン　コースコード　JPV313/JPV313V

JP1コンサルタント ネットワーク管理【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

JP1ネットワーク管理製品の構成設計、運用設計に関する知識を学習します。

到達目標 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築のための設計ができる。

対象者 JP1ネットワーク管理製品の導入・構築コンサルテーションをする方、JP1認定コンサルタント資格（ネットワーク管理）の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ネットワーク管理」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 想定するお客さま環境例
2. 監視要件の整理
3. 各種設定の解説

受講料 このコースは、「研修のみ」と「受験バウチャー付き」の2種類がありますので、お申し込み時にはお間違えのないようにお願いいたします。
コースコード：JPV313（研修のみ）　¥55,000（税込）
コースコード：JPV313V（受験バウチャー付き）　¥66,000（税込）

eラーニング　コースコード　JPE016

<eラーニング>JP1機能概説（Version 11）

6時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
・JP1製品の特長が説明できる。
・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売をする方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語をご存知のこと。

内　容
1. JP1の基礎知識
2. オートメーション
3. モニタリング
4. コンプライアンス
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥30,800

eラーニング　コースコード　JPE017

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理1 −システム監視−（Version 11）

12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
・イベント監視ページのカスタマイズができる。
・セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
・自動アクションの設定ができる。
・重要イベントページのカスタマイズができる。
・必要なイベントを検索できる。
・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 「JP1機能概説（Version 11）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の全体像
2. システム監視
 (1)システム監視の基本操作
 (2)繰り返しイベントの表示抑止
 (3)フィルターによるJP1イベントの絞り込み
3. システム障害の検知
 (1)自動アクション
 (2)ローカルアクション
 (3)重要イベントページ
 (4)ビジュアル監視
 (5)監視ツリー
4. システム障害の調査・対処
 (1)ガイド情報の表示
 (2)メモ情報の設定
 (3)コマンド実行
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE018

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理2 −システム設定−（Version 11）

12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・マネージャ・エージェントを構築できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/IM管理1−システム監視−（Version 11）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. 統合管理の導入
 (1)インストール
 (2)IMデータベースの構築
 (3)サービスの起動・終了
3. JP1イベントの集中管理設定
 (1)構成管理設定
 (2)JP1イベントの転送設定
 (3)リモート監視構成管理の設定
4. ユーザー管理機能
 (1)ユーザー認証の設定
 (2)認証サーバの閉塞
 (3)ユーザーマッピングの設定
5. 監視対象の設定
 (1)アプリケーションが出力するログの監視
 (2)Windowsイベントログの監視
 (3)リモート監視ホストのログ監視
 (4)イベントストーム発生時のイベント転送抑止設定
6. 監視画面の設定
 (1)セントラルスコープのセットアップ
 (2)監視ツリー画面の設定
 (3)ビジュアル監視画面の設定
7. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE324

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ！JP1/AJS3管理 1 −ジョブ定義・監視−（Version 11）

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3の機能概要が説明できる。
・自動化する業務（ジョブグループ、ジョブネット、ジョブ）の定義ができる。
・運用スケジュール（運用日・休業日、開始時刻、サイクルなど）の設定ができる。
・業務を実行する条件（イベント監視、起動条件）の定義ができる。
・ジョブネットの実行（即時、計画、確定）および監視（ジョブネット実行状況・結果、スケジュール運用状況）の操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
 (1)ジョブ定義
 (2)即時実行登録
 (3)ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
 (1)カレンダー情報の設定
 (2)スケジュール設定
 (3)計画/確定実行登録
 (4)実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
 (1)ファイル更新契機のジョブの実行
 (2)起動条件の設定
5. 業務の実行監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE325

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理 2 −システム設定・運用管理−（Version 11）

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール・設定・運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3のインストールができる。
・ジョブ実行環境のセットアップができる。
・JP1/AJS3を操作するユーザー情報の設定ができる。
・JP1/AJS3スケジューラーサービスの分割および参照制限ができる。
・実行エージェントや接続元ホストでのジョブ実行の制限ができる。
・JP1ユーザーの同時接続制限ができる。
・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
・運用中のジョブネットの変更ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方、JP1認定プロフェッショナル資格の取得をめざす方。

前提知識 「JP1プロフェッショナル ジョブ管理1−ジョブ定義・監視−（Version 11）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. JP1/AJS3のインストール
　(1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
　(1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
　(1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. JP1/AJS3システムの運用
　(1) 複数スケジューラーサービス
　(2) スケジューラーサービス参照制限
　(3) 実行エージェントの制限
　(4) 同時接続数制限
5. ジョブネットの運用
　(1) ジョブネット定義の退避・回復
　(2) 運用中のジョブネット変更
　(3) 運用状況の監視
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE019

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM（Version 11）

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
・パフォーマンスデータの収集ができる。
・レポート、アラームの作成、操作ができる。
・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内　容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥110,000

eラーニング　コースコード　JPE308

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 1 −システム監視−（Version 10）

12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）を利用して、企業情報システムの統合管理を行う方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・セントラルコンソールとセントラルスコープの概要を説明できる。
・セントラルコンソール、セントラルスコープを使って事象監視ができる。
・イベント監視ページのカスタマイズができる。
・セントラルコンソールに表示するイベントの設定（フィルター設定）ができる。
・自動アクションの設定ができる。
・重要イベントページのカスタマイズができる。
・必要なイベントを検索できる。
・他のJP1製品と連携したモニター起動と統合機能メニューを操作できる。
・コマンド実行の操作ができる。

対象者 JP1/IMを使用してシステムを監視する方。

前提知識 「JP1機能概説（Version 10）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の概要
2. システム監視
　(1) イベントコンソール、監視ツリーによる監視
　(2) フィルター機能
3. システム障害の検知
　(1) 自動アクション
　(2) 重要イベント監視
4. システム障害の調査・対処
　(1) ガイド機能
　(2) イベント検索
　(3) モニター起動
　(4) 統合機能メニュー
　(5) コマンド実行
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード　JPE309

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM 管理 2 −システム設定−（Version 10）

12時間

JP1/Integrated Management（JP1/IM）のインストール、設定に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・インストールする上で必要な製品構成を説明できる。
・認証サーバを構築し、JP1ユーザーを管理できる。
・マネージャ・エージェントを構築できる。
・ログファイル監視の設定ができる。
・監視ツリーの作成やカスタマイズができる。
・ビジュアル監視の設定ができる。

対象者 JP1/IMのシステム構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/IM管理1−システム監視−（Version 10）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 統合管理の導入
　(1) インストール
　(2) IMデータベースの構築
2. イベントの集中管理
3. ユーザー管理機能
　(1) ユーザー認証設定
　(2) ユーザーマッピング設定
4. 監視対象の設定
　(1) イベント変換設定
　(2) リモート監視
5. 監視画面の設定
　(1) 監視ツリー設定
　(2) ビジュアル監視画面設定
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード　JPE310

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/PFM（Version 10）

12時間

ITシステムの稼働情報を監視するJP1/Performance Management（JP1/PFM）製品の機能について、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/PFMのインストールとセットアップができる。
・パフォーマンスデータの収集ができる。
・レポート、アラームの作成、操作ができる。
・統合コンソールとの連携設定ができる。

対象者 JP1/PFMのシステム構築、稼働情報監視を行う方。

前提知識 オペレーティングシステムや各種サーバの基礎的な知識があること。

内　容
1. アベイラビリティ管理の概要
2. JP1/PFMによる稼働情報の監視
3. JP1/PFMのシステム構築
4. 監視エージェントの設定
5. レポート定義
6. アラーム定義
7. 統合コンソールとの連携
8. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード　JPE020　Renewal

<eラーニング> JP1機能概説（Version 10）

6時間

すべての運用管理分野におけるJP1製品の機能を学習します。

到達目標
・JP1製品の特長が説明できる。
・各管理製品にどのような製品があるか説明できる。
・各管理の主要製品の主な機能を説明できる。

対象者 JP1製品の導入を検討する方、JP1のシステム構築・販売する方。

前提知識 オペレーティングシステム、ネットワークなど、ITの基本的な用語について知識があること。

内　容
1. JP1の基礎知識
2. 統合管理
3. サービスレベル管理
4. アベイラビリティ管理
5. IT運用自動化
6. ジョブ管理
7. 資産・配布管理
8. セキュリティ管理
9. ネットワーク管理
10. ストレージ管理
11. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥28,600

eラーニング　コースコード　JPE311

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 1 −ジョブ定義・監視−（Version 10）

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）の業務自動化定義や監視操作を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・自動化する業務の定義、実行、監視操作ができる。
・運用スケジュールの定義、実行、監視操作ができる。
・実行条件の定義、実行、監視操作ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用した自動化業務の設定および、運用操作を行う方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. JP1/AJS3の概要
2. 業務の自動化
　(1) ジョブ定義
　(2) 即時実行登録
　(3) ジョブ実行状況の監視
3. スケジュールに基づいた業務の自動運用
　(1) カレンダー情報の設定
　(2) スケジュール設定
　(3) 計画/確定実行登録
　(4) 実行スケジュールの確認
4. 特定の事象を契機とした業務の自動運用
　(1) ファイル更新契機のジョブの実行
　(2) 起動条件の設定
5. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード　JPE312

<eラーニング>【マシン演習付き】ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3 管理 2 −システム設定・運用管理−（Version 10）

12時間

JP1/Automatic Job Management System 3（JP1/AJS3）のインストール、設定、運用に関する知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・JP1/AJS3のインストールができる。
・エージェントの追加・変更ができる。
・JP1/AJS3を操作するためのユーザー情報（JP1ユーザー、資源グループ別権限レベル、ユーザーマッピング）の設定ができる。
・JP1/AJS3のバックアップとリカバリーができる。
・ジョブネットの定義の退避・回復、運用状況監視の操作ができる。
・運用中のジョブネットの変更（ジョブネット変更・リリース管理）ができる。

対象者 JP1/AJS3を使用してシステム構築・運用管理をする方。

前提知識 「ハンズオンで学ぶ! JP1/AJS3管理1−ジョブ定義・監視−（Version 10）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

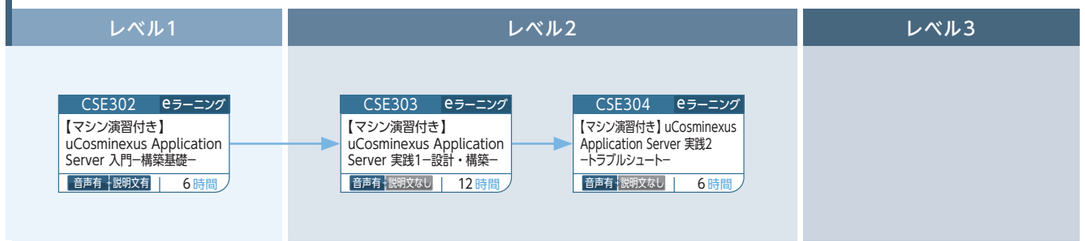
内　容
1. JP1/AJS3のインストール
　(1) JP1/Base、JP1/AJS3-Manager、JP1/AJS3-View
2. ジョブ実行環境の設定
　(1) エージェント管理機能の設定
3. ユーザー管理機能の設定
　(1) JP1ユーザー、アクセス権限、ユーザーマッピング
4. ジョブネットの運用
　(1) ジョブネット定義の退避・回復
　(2) 運用状況の監視
　(3) 運用中のジョブネット変更
5. システムのバックアップとリカバリー
　(1) JP1/Base、JP1/AJS3のバックアップ、リカバリー
　(2) JP1/AJS3データベースのバックアップ、リカバリー
6. 修了試験（JP1認定資格試験ではありません）

受講料 ¥88,000

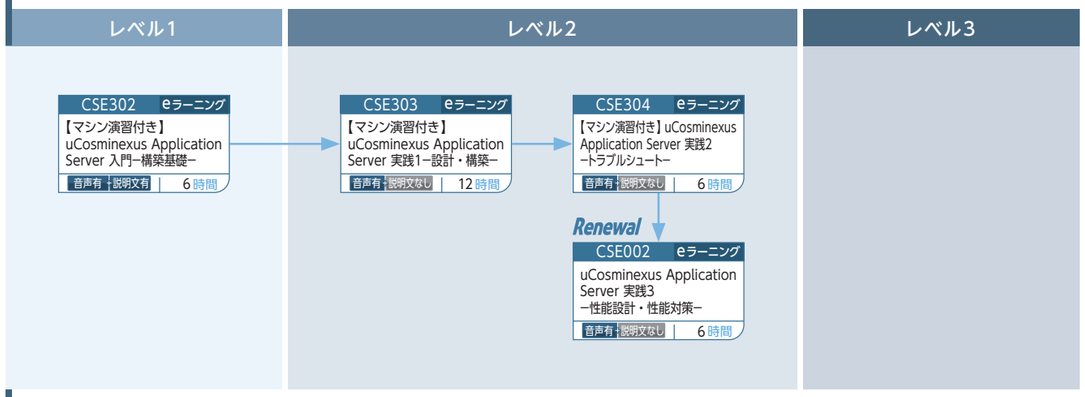
uCosminexus Application Server

uCosminexus Application Serverを使用したアプリ ケーション開発やシステム構築を行ううえで必要となる知識と技術が修得できます。

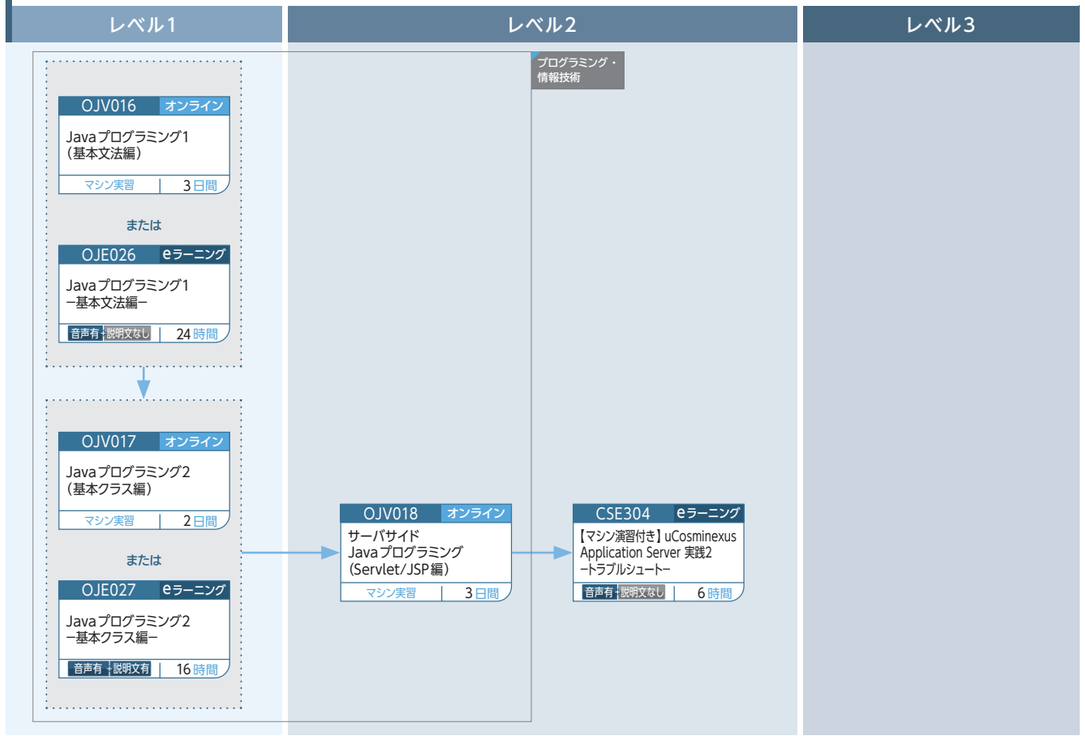
uCosminexus Application Serverの設計・構築・運用をする方



uCosminexus Application Serverを使用したWebシステムの性能設計・性能対策をする方



uCosminexus Application Serverを使用してWebアプリケーションの開発をする方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード CSE302

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 入門ー構築基礎ー

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの構築手法を学習します。uCosminexus Application Serverのインストールからシステムの構築までを扱います。

到達目標
・uCosminexus Application Serverの機能概要を説明できる。
・uCosminexus Application Serverを用いて基本的な構成のWebシステムを構築できる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いてWebシステムを構築する方、uCosminexus Application Serverの導入を検討している方。

前提知識 Webアプリケーションに関する基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. アプリケーションサーバ概要
2. uCosminexus Application Serverシステム構築の流れ
3. uCosminexus Application Serverのインストール
4. セットアップウィザードを用いたシステム構築
5. 運用管理ポータルを用いた操作・設定
6. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング コースコード CSE303

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践1ー設計・構築ー

12時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムの設計・構築・運用に必要なノウハウを学習します。

到達目標
・要件にあった運用方法や信頼性確保手順を説明できる。
・システム構築に使用するパラメータを設計できる。
・システムの構築・運用ができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの設計・構築をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server入門ー構築基礎ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにWebシステムの構築または運用に携わった経験があること。

内 容
1. 作業概要とシステム基本構成
2. システム基本設計
3. システム詳細設計
4. システム構築
5. 修了試験

受講料 ¥88,000

eラーニング コースコード CSE304

<eラーニング>【マシン演習付き】uCosminexus Application Server 実践2ートラブルシュートー

6時間

uCosminexus Application Serverを用いたシステムのトラブルシュートについて学習します。トラブルが発生したときの対処方法を理解できます。

到達目標
・トラブルシュートの流れを説明できる。
・代表的なトラブルについて、原因を切り分けることができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの障害対応をする方、JavaEEアプリケーションの開発をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。さらにJavaEEアプリケーション開発に携わった経験があること。

内 容
1. トラブルシュートの概要
2. トラブルシュート手順
3. 代表的なトラブルの原因切り分け方法
4. 修了試験

受講料 ¥44,000

eラーニング コースコード CSE002 Renewal

<eラーニング> uCosminexus Application Server 実践3ー性能設計・性能対策ー

6時間

uCosminexus Application Server を用いたWebシステムにおいて、要件を満たす性能設計、性能対策について学習します。

到達目標
・性能設計と性能検証の関係について説明できる。
・要件を満たす性能設計ができる。
・ボトルネックの要因を分析し、性能対策ができる。

対象者 uCosminexus Application Serverを用いたWebシステムの性能設計および性能対策をする方。

前提知識 「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践1ー設計・構築ー」および「【マシン演習付き】uCosminexus Application Server実践2ートラブルシュートー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 性能設計と性能検証
2. 性能設計
3. 性能検証とチューニング
4. 修了試験

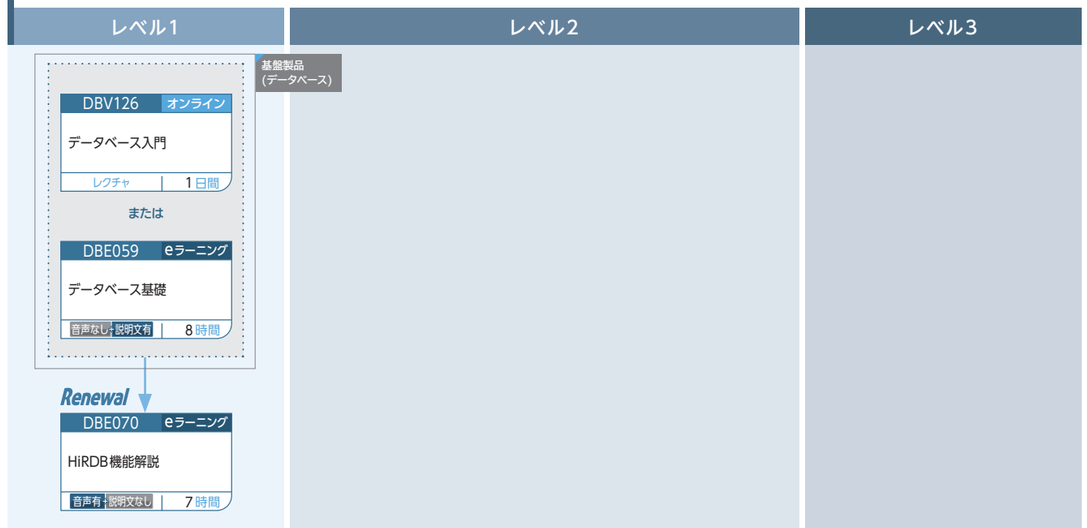
受講料 ¥34,100

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

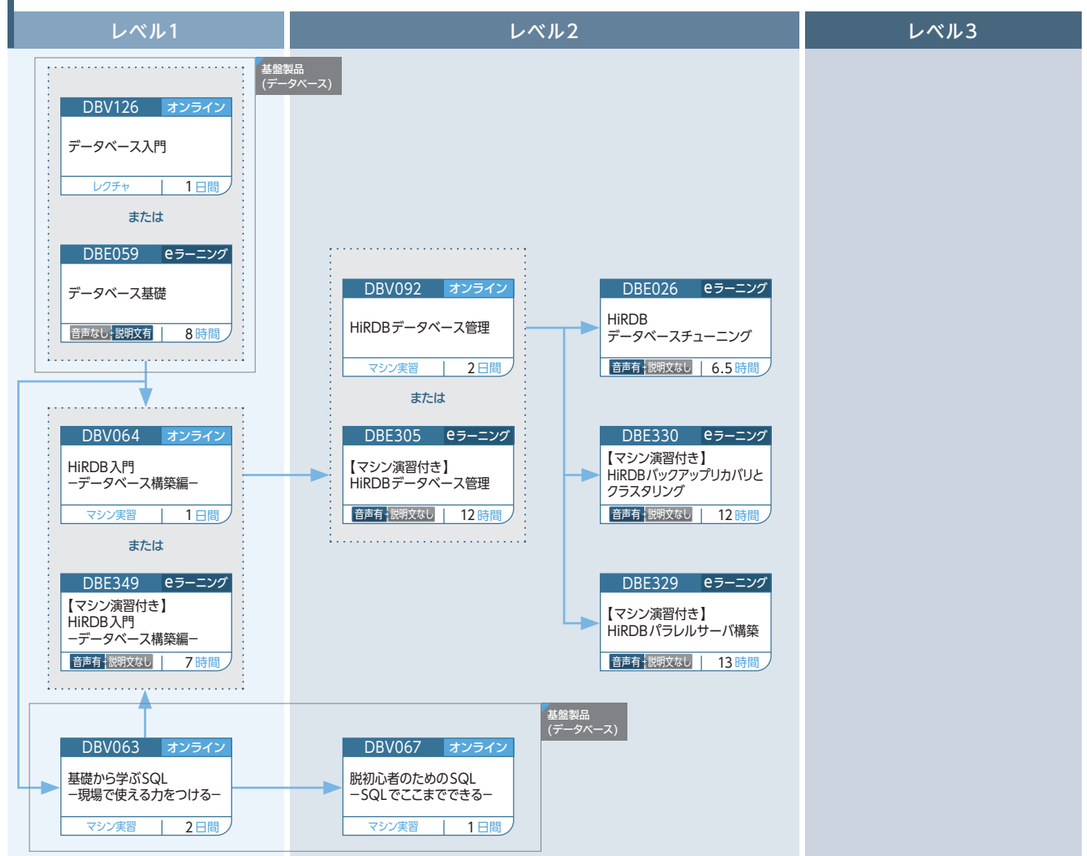
HiRDB

データベースマネジメントシステムであるHiRDBの システム運用やアプリケーション開発を行ううえで 必要となる知識と技術が修得できます。

HiRDBの機能概要を修得したい方

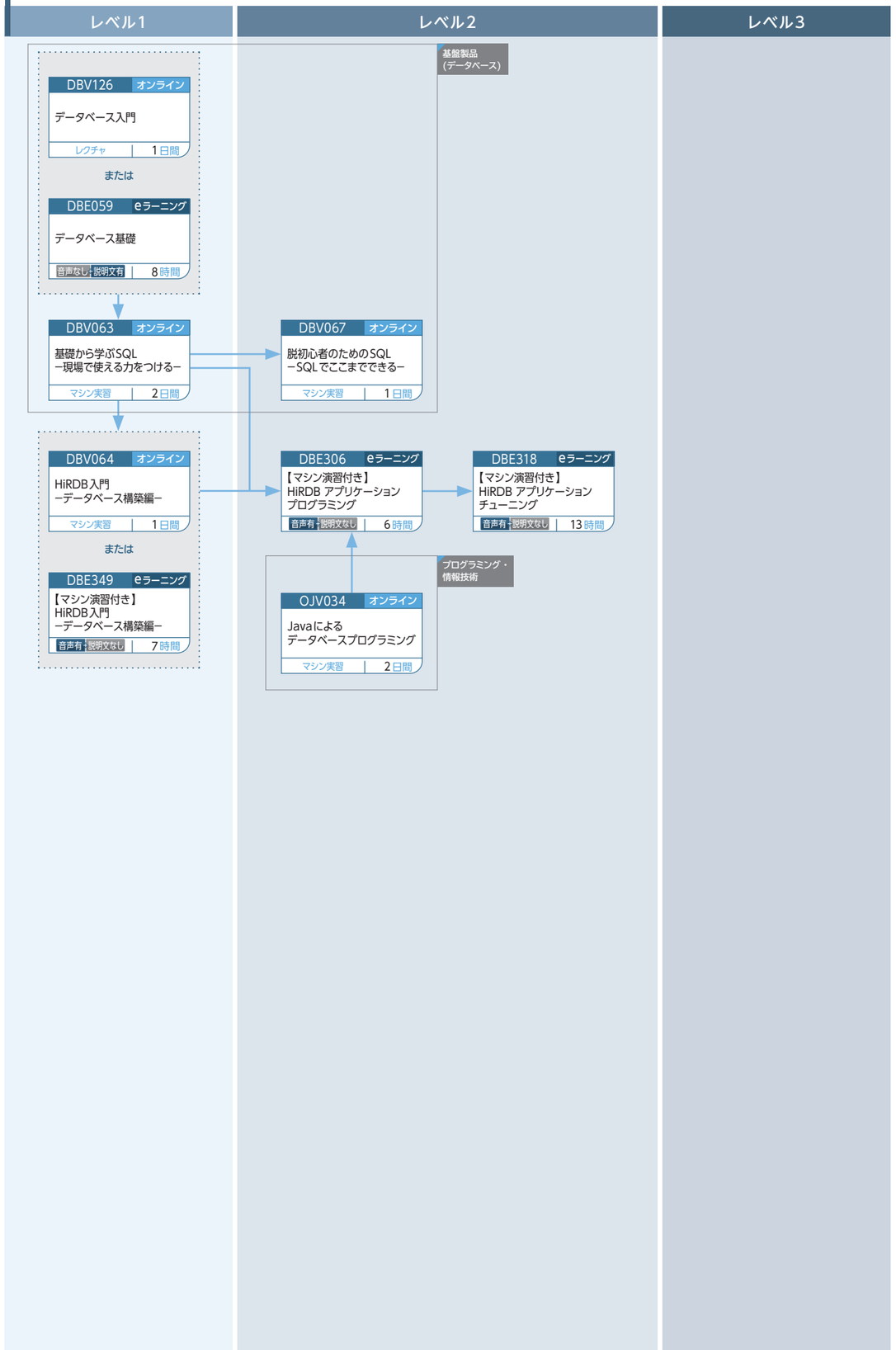


HiRDBを使用してデータベースを構築・運用する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

HiRDBにアクセスするアプリケーションプログラムを開発する方



音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

eラーニング　コースコード DBE070　Renewal

<eラーニング> HiRDB機能解説

7時間

HiRDBの特長、システム構成およびデータベース活用のための各種機能について学習します。

到達目標
・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・HiRDBシステムの各種機能の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBシステムの設計・運用を行う方、HiRDBシステムの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 並列データベースの技術
2. HiRDBの概要
3. データベースの構造
4. HiRDBの各種機能
5. 修了試験

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード DBV064

HiRDB入門 −データベース構築編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　1日間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要なHiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスの概念、およびその定義方法に関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。

到達目標
・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 HiRDBシステムの基礎的な知識を必要とする方、現在HiRDBの導入を検討している方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBインストール
3. HiRDB環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成

受講料 ¥33,000

---

eラーニング　コースコード DBE349

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB入門 −データベース構築編−

7時間

HiRDBを初めて使用するにあたって必要な、HiRDBのアーキテクチャや、HiRDBにおけるユーザ・表・インデックスに関する基礎知識を学習します。HiRDB講座の導入コースとしてお薦めです。このコースで利用するマシン演習環境は、外部eラーニングサービスを利用します。

到達目標
・HiRDBシステムのアーキテクチャの概要を理解し説明できる。
・定義系SQLを用いて、HiRDB上にユーザ、スキーマ、テーブル、ビュー、インデックスを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手/中堅HiRDB初学者の方で、データベース構築を基礎から学習したい方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HiRDBの概要
2. HiRDBのインストール
3. HiRDBの環境設定
4. HiRDBの開始と終了
5. ユーザの作成
6. スキーマの作成
7. 表の作成
8. インデックスの作成
9. 修了試験（HiRDB資格認定試験ではありません）

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード DBV092

HiRDBデータベース管理【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　2日間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用（バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等）など、データベース管理者として必要な基礎知識を学習します。

到達目標
・HiRDBシステムの設計を行える。
・HiRDBのコマンドを用いHiRDBシステムを構築できる。
・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング

受講料 ¥66,000

---

eラーニング　コースコード DBE305

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBデータベース管理

12時間

HiRDBのデータベース物理設計から環境構築、定期的な運用（バックアップ/リカバリ、再編成、セキュリティ等）など、データベース管理者として必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBシステムの設計を行える。
・HiRDBのコマンドを用い、HiRDBシステムを構築できる。
・HiRDBシステムの基本的な管理作業の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としての基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. 構築と運用要件の確認
3. データベース設計
4. データベース構築
5. データベースセキュリティ
6. データベースの運用と保守
7. トラブルシューティング
8. 修了試験

受講料 ¥66,000

---

eラーニング　コースコード DBE026

<eラーニング> HiRDBデータベースチューニング

6.5時間

HiRDBを効率良く運用するために必要なパフォーマンス診断や、チューニング方法を学習します。

到達目標 HiRDBサーバ上の各種要素に対するパフォーマンス診断、チューニング方針を理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのパフォーマンスチューニングの知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. パフォーマンスチューニング概要
2. データベース設計
3. グローバルバッファのチューニング
4. ログバッファのチューニング
5. SQLオブジェクトバッファのチューニング
6. 修了試験

受講料 ¥30,800

---

eラーニング　コースコード DBE330

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBバックアップリカバリとクラスタリング

12時間

HiRDBを安定して運用するための技術や、各種障害に応じたリカバリ方法およびクラスタリング（系切り替え）技術を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBシステムに対する各種バックアップ・リカバリ作業を行える。
・HiRDBシステムに対するクラスタリング技術の概要を理解し、説明できる。

対象者 HiRDB管理者として障害対策に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. バックアップリカバリとクラスタリングの概要
2. バックアップリカバリにあたっての基礎知識
3. データベースのバックアップ
4. データベースのリカバリ
5. システムファイルの障害対処
6. クラスタリングの概要
7. クラスタリング環境の構築と運用
8. 修了試験

受講料 ¥88,000

---

eラーニング　コースコード DBE329

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDBパラレルサーバ構築

13時間

HiRDBパラレルサーバを使ったHiRDBシステムの構築や運用に必要な基礎知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・HiRDBパラレルサーバシステムの物理設計ができる。
・HiRDBパラレルサーバシステムの構築ができる。
・HiRDBパラレルサーバシステムが持つ機能について理解し、説明できる。

対象者 HiRDBのデータベース管理者としてHiRDBパラレルサーバシステムの構築に関する知識を必要とする方。

前提知識 「HiRDBデータベース管理」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HiRDBパラレルサーバのアーキテクチャ
   (1) HiRDBパラレルサーバの構成
   (2) HiRDBパラレルサーバの特長
   (3) HiRDBパラレルサーバの採用基準
2. 要件確認
   (1) 要件確認の目的
   (2) 要件確認項目一覧
   (3) 項目の確認および調査
   (4) BES数見積もりに必要な項目の確認および調査
3. BESとFESの配置方針と必要台数の見積り
   (1) 基本的なサーバの配置方針
   (2) BESの配置および必要台数の決定
   (3) FESの配置および必要台数の決定
4. リソースの配置方針と容量見積り
   (1) リソースの配置方針
   (2) 容量見積り
5. データベース構築
   (1) データベース構築手順
   (2) サーバマシン環境・データベース環境の決定
   (3) システム定義ファイルの作成
   (4) HiRDBファイルシステム領域の作成
   (5) システムファイルの作成
   (6) RDエリアの作成とHiRDBシステムの開始
   (7) 表の定義
6. HiRDBパラレルサーバのその他の機能
   (1) 高性能を実現するHiRDBパラレルサーバの機能
   (2) HiRDBパラレルサーバシステムにおけるHAクラスタ
7. 修了試験

受講料 ¥88,000

---

eラーニング　コースコード DBE306

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションプログラミング

6時間

HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発するために必要な知識を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標 各種アプリケーション開発技術を用い、HiRDBにアクセスするアプリケーションを作成できる。

対象者 HiRDBにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. HiRDBのアーキテクチャ
2. HiRDBのアプリケーションプログラミング概要
3. 表のデータ型
4. アプリケーションプログラムの実装
5. ストアドプロシージャ、ストアドファンクションとトリガー
6. データベースセキュリティ
7. 修了試験

受講料 ¥33,000

---

eラーニング　コースコード DBE318

<eラーニング>【マシン演習付き】HiRDB アプリケーションチューニング

13時間

HiRDBに適した処理効率の良い業務アプリケーションの開発技術や、アプリケーションのパフォーマンス診断およびチューニング方法を、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・応用的なSQLを用い、HiRDBを効率的に使用するための技術を実装できる。
・HiRDBに接続するアプリケーションの、パフォーマンス診断、チューニング作業を行える。

対象者 HiRDBにアクセスする処理効率の良いアプリケーションの開発技術を必要とする方。

前提知識 「【マシン演習付き】HiRDBアプリケーションプログラミング」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

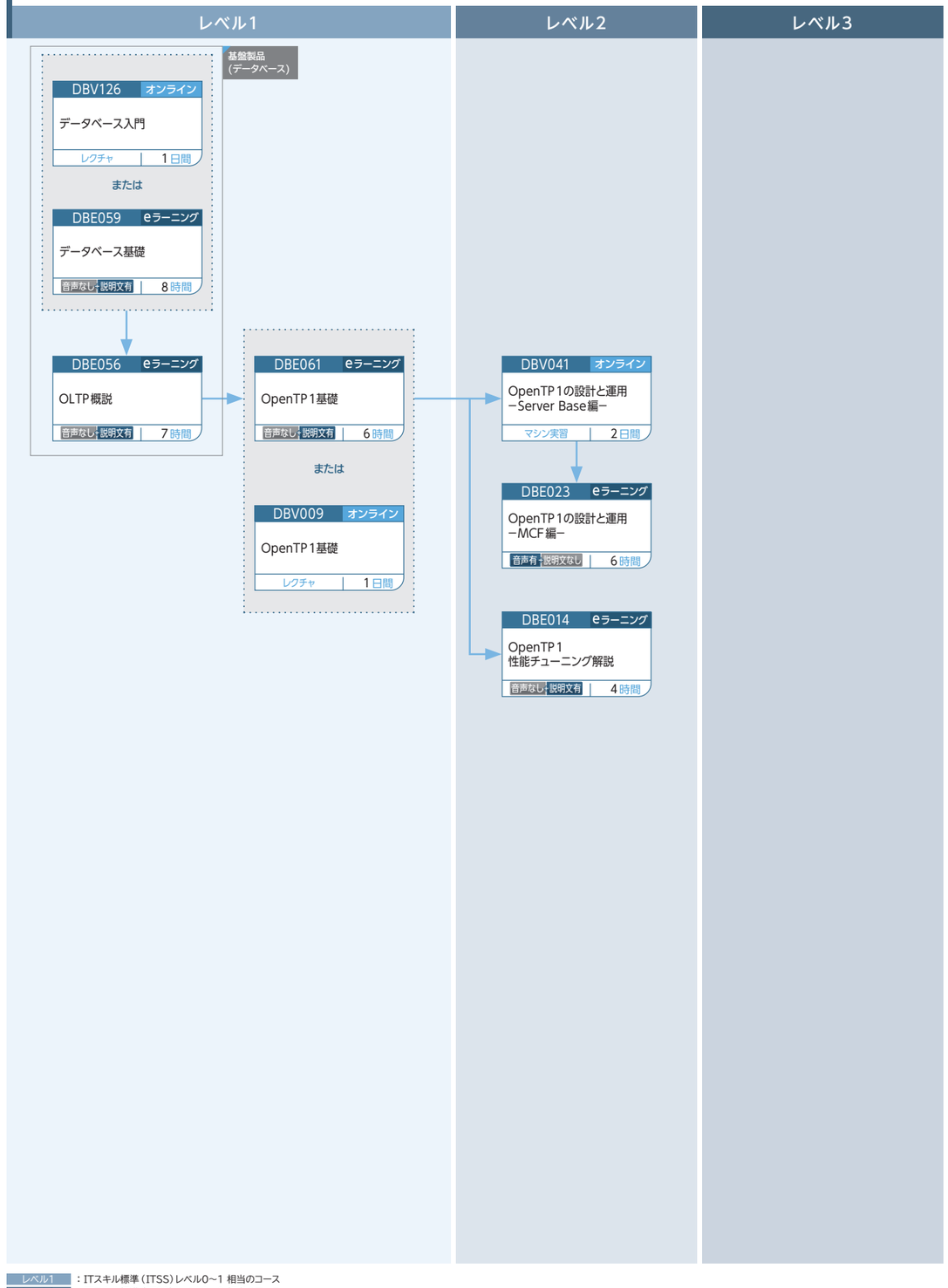
内　容
1. SQLコーディングテクニック
   (1) 応用的なSQL
   (2) APの保守性/性能を高めるためのSQLの書き方
2. 排他制御
   (1) 排他制御の概要
   (2) Isolationレベルの制御
   (3) デッドロック対策
3. アクセス効率の良いアプリケーションプログラムの作成
   (1) アクセスパス
   (2) SQLとインデックス
   (3) SQL最適化
4. SQLチューニング
   (1) 統計情報の収集
   (2) SQLチューニング
   (3) HiRDB SQL Tuning Advisorを使用したSQLチューニング
5. 修了試験

受講料 ¥88,000

OpenTP1

TPモニタであるOpenTP1システムの構築や運用、およびアプリケーションを開発するうえで必要となる知識と技術が修得できます。

OpenTP1を使用してOLTPシステムを構築・運用・設計する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード DBE061

<eラーニング> OpenTP1基礎

eラーニング 6時間

OLTPシステムを構築するにあたり必要となるOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能について学習します。

到達目標
・トランザクションの特長とOLTPについて理解し説明できる。
・OpenTP1の役割、構成、機能について理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築および管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 「OLTP概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. OLTPの基礎知識
 (1)クライアントサーバシステム
 (2)OLTPの基礎知識
 (3)OpenTP1の特長
 (4)インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 (1)アプリケーション間の通信形態
 (2)リモートプロシジャコール
 (3)メッセージ送受信形態
 (4)メッセージキューイング形態
 (5)OpenTP1のプロセス制御
 (6)トランザクション制御
 (7)OpenTP1のソフトウェア製品
3. OpenTP1の日常的な運用
 (1)システムファイル
 (2)OpenTP1の運用
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン コースコード DBV009

OpenTP1基礎 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

OLTPシステムの構築に必要なOLTPの基礎知識、およびTPモニタとしてのOpenTP1の役割、構成、機能を学習します。

到達目標
・トランザクションの定義を説明できる。
・OLTPを説明できる。
・OpenTP1の機能を説明できる。

対象者 OpenTP1システムを構築・管理する方、OpenTP1システムにアクセスするアプリケーションを開発する方。

前提知識 OS、データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内 容
1. OLTPの基礎知識
 (1)クライアントサーバシステム
 (2)OLTPの基礎知識
 (3)インターネット連携
2. OpenTP1の機能
 (1)アプリケーション間の通信形態
 (2)リモートプロシジャコール(RPC)
 (3)メッセージ送受信形態
 (4)メッセージキューイング形態
 (5)OpenTP1のプロセス制御
 (6)トランザクション制御
3. OpenTP1の日常的な運用
 (1)システムファイル
 (2)OpenTP1の開始および終了

受講料 ¥33,000

オンライン コースコード DBV041

OpenTP1の設計と運用 −Server Base編− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

OpenTP1によるOLTPシステムの構築に必要なOpenTP1のシステムの作成、運用方法を学習します。

到達目標
・OpenTP1のコマンドを用いOpenTP1システムを構築できる。
・OpenTP1システムの基本的な管理ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. OpenTP1の概要
2. OpenTP1システム構築
3. システムファイルの作成
4. システム定義の作成
5. リソースマネジャの登録
6. OpenTP1の運用
7. ユーザサーバの設定と運用
8. システムファイルの障害対策
9. OpenTP1クライアントの設定

受講料 ¥88,000

eラーニング コースコード DBE023

<eラーニング> OpenTP1の設計と運用−MCF編−

eラーニング 6時間

MCFを使用するOpenTP1のシステムの作成、運用方法について学習します。

到達目標
・OpenTP1のコマンドを用い、MCFの機能を実装したOpenTP1システムを構築できる。
・MCFの機能を実装したOpenTP1システムの基本的な管理作業ができる。

対象者 OpenTP1システムを構築する方、OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1設計と運用−Server Base編−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. メッセージ送受信形態
2. OpenTP1システムの構築
3. ネットワークコミュニケーション定義の作成
4. OpenTP1の運用
5. 修了試験

受講料 ¥19,800

eラーニング コースコード DBE014

<eラーニング> OpenTP1性能チューニング解説

eラーニング 4時間

OpenTP1における性能見積の考え方と、さまざまな性能チューニング方法について学習します。

到達目標
・OpenTP1における性能見積の考え方を理解し説明できる。
・さまざまな性能チューニング方法を理解し説明できる。

対象者 OpenTP1システムを管理する方。

前提知識 「OpenTP1基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. OpenTP1の通信性能
2. OpenTP1のトランザクション性能
3. OpenTP1のプロセス・メモリ性能
4. OpenTP1の性能全般
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

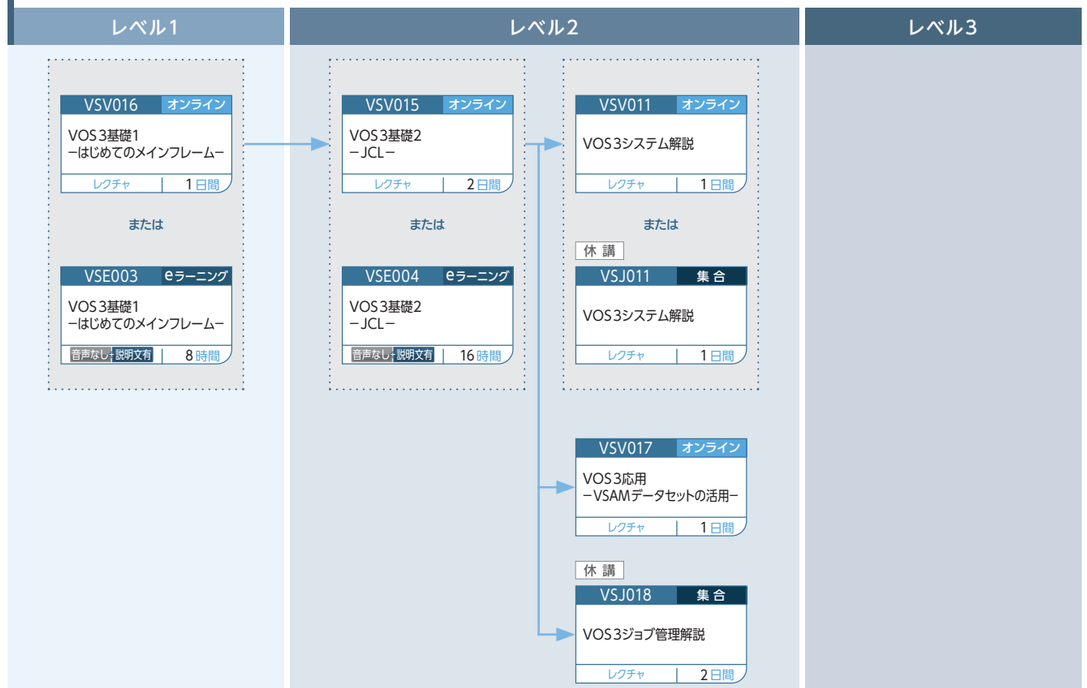
日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

コースの詳細（開催時間や注意事項など）・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

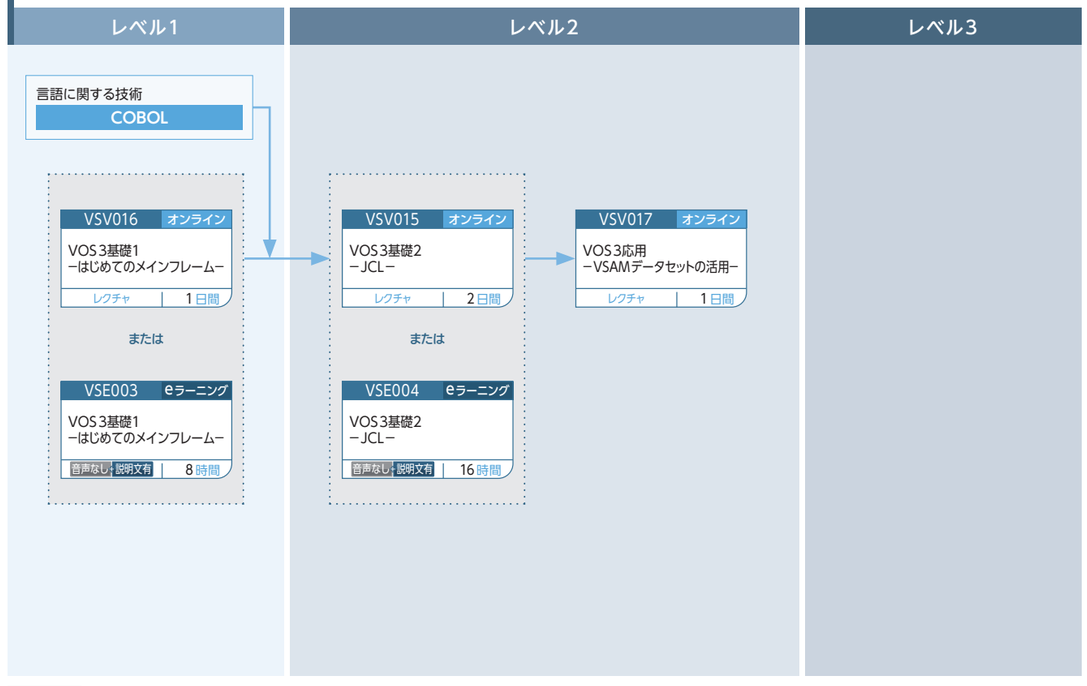
VOS3

日立メインフレームOSであるVOS3の使用方法や機能、
システム運用管理技術が修得できます。

VOS3システムの運用設計および実装・運用する方



VOS3システムでアプリケーションを開発する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン / コースコード VSV016

VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標
- メインフレームシステムの概要を説明できる。
- メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード VSE003

<eラーニング> VOS3基礎1 −はじめてのメインフレーム−

eラーニング 8時間

メインフレームシステムの構成要素（ハードウェア/ソフトウェア）、および日立メインフレームのオペレーティングシステムであるVOS3の基本的な機能を学習します。

到達目標
- メインフレームシステムの概要を説明できる。
- メインフレームシステムのデータ管理方式を説明できる。
- メインフレームシステムでのプログラム開発手順を説明できる。
- メインフレームシステムでのジョブの実行手順を説明できる。
- メインフレームシステムの運用管理機能を説明できる。

対象者 はじめてVOS3を学習する方で、今後アプリケーション開発や運用・管理をする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. メインフレームシステムの概要
2. メインフレームシステムのデータ管理方式
3. メインフレームシステムでのプログラム開発手順
4. メインフレームシステムでのジョブの実行手順
5. メインフレームシステムの運用管理機能
6. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード VSV015

VOS3基礎2 −JCL−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 2日間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標
- JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
   （1）JOB文
   （2）EXEC文
   （3）DD文
4. システムメッセージリストの見方

受講料 ¥61,600

eラーニング / コースコード VSE004

<eラーニング> VOS3基礎2 −JCL−

eラーニング 16時間

VOS3システムでジョブの実行に必要な基本的なJCL（ジョブ制御文）や、システムメッセージリストの見方を学習します。

到達目標
- JCL（ジョブ制御文）の役割を説明できる。
- JOB文、EXEC文、DD文を使用してジョブ制御文を作成できる。
- システムメッセージリストからジョブ実行に関する情報を読み取ることができる。

対象者 VOS3システムでJCL（ジョブ制御文）を使用したアプリケーション開発や運用を行う方、ジョブ制御文を基礎から学習したい方。

前提知識 「VOS3基礎1−はじめてのメインフレーム−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JCL（ジョブ制御文）の役割
2. ジョブの実行過程
3. ジョブ制御文
   （1）JOB文
   （2）EXEC文
   （3）DD文
4. システムメッセージリストの見方
5. 修了試験

受講料 ¥36,300

オンライン / コースコード VSV011

VOS3システム解説【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VOS3システムの処理形態を説明できる。
- 仮想空間の構成について説明できる。
- 仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。
- TRUSTの機能について説明できる。
- システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内 容
1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
   （1）バッチ
   （2）TSS
   （3）DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
   （1）LPAの利用
   （2）XPL
   （3）VSAMHAF
   （4）VIO
   （5）SAMESF
5. セキュリティ管理機能（TRUST）
6. システム運用の自動化機能
   （1）AOMPLUS
   （2）HOPSS3
   （3）JP1との連携

受講料 ¥33,000

集合 / コースコード VSJ011 / 休講

VOS3システム解説

レクチャ 1日間

VOS3システムを管理するために必要となるVOS3の基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VOS3システムの処理形態を説明できる。
- 仮想空間の構成について説明できる。
- 仮想空間と記憶装置（主記憶・補助記憶）の関係を説明できる。
- TRUSTの機能について説明できる。
- システム運用の自動化機能について説明できる。

対象者 VOS3システムを管理する方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。VOS3の利用経験が2年以上あると、より理解が深まります。

内 容
1. VOS3の概要
2. 各種処理形態
   （1）バッチ
   （2）TSS
   （3）DB/DC
3. 仮想記憶装置のしくみ
4. データ処理の高速化機能
   （1）LPAの利用
   （2）XPL
   （3）VSAMHAF
   （4）VIO
   （5）SAMESF
5. セキュリティ管理機能（TRUST）
6. システム運用の自動化機能
   （1）AOMPLUS
   （2）HOPSS3
   （3）JP1との連携

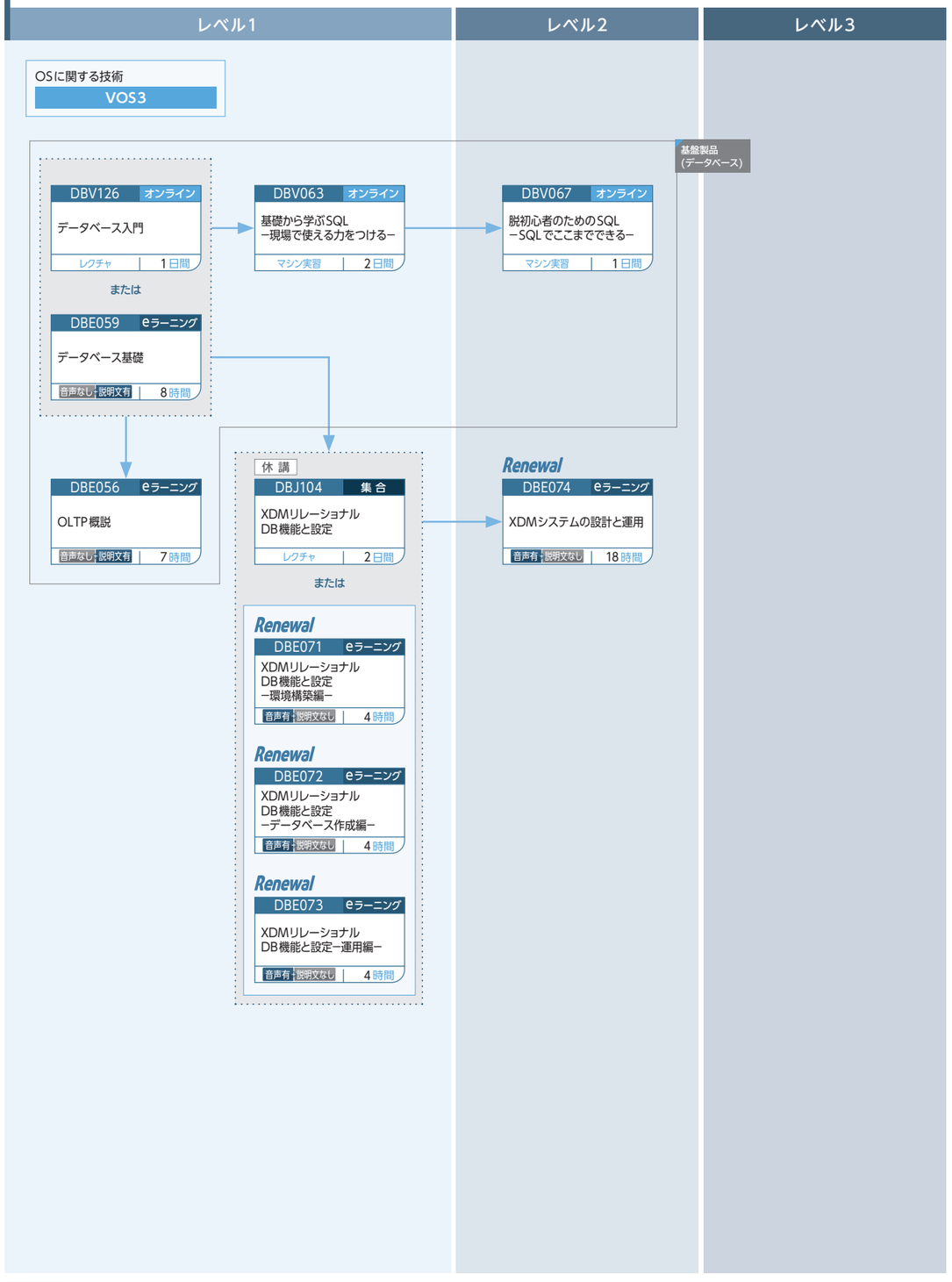
受講料 ¥33,000

日立製品（オープンミドル）
JP1
uCosminexus Application Server
HiRDB
OpenTP1
VOS3
XDM

XDM

日立メインフレーム DB/DCである XDMの機能や 設定、システム運用管理技術が修得できます。

XDMを使用してリレーショナルデータベースを構築・運用・設計する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード VSV017

VOS3応用 −VSAMデータセットの活用−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

VOS3システムを管理、およびVOS3システムでアプリケーションプログラムを開発するうえで必要となるVSAMの基礎知識や機能を学習します。

到達目標
- VSAMデータセットの特長を説明できる。
- VSAMユーティリティの機能を説明できる。
- ライブラリ管理システム LIME E2の機能を説明できる。
- カタログの役割、機能を説明できる。

対象者 VOS3システムの運用を行う方、VOS3システムでアプリケーションの開発を行う方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データセットとディスクボリューム
2. VSAMデータセットの特長
3. ライブラリ管理システムLIMEE2の機能
4. データセットのカタログ機能
5. VSAMユーティリティの機能

受講料 ¥33,000

集合 コースコード VSJ018 休講

VOS3ジョブ管理解説

レクチャ 2日間

VOS3のシステム管理をするために必要となるJSS3の機能と設定方法を学習します。

到達目標
- JSS3の機能を説明できる。
- JSS3の起動の流れや仕組みを説明できる。
- ジョブ入出力に関するパラメタを説明できる。
- ジョブの実行スケジュールに関するパラメタを説明できる。

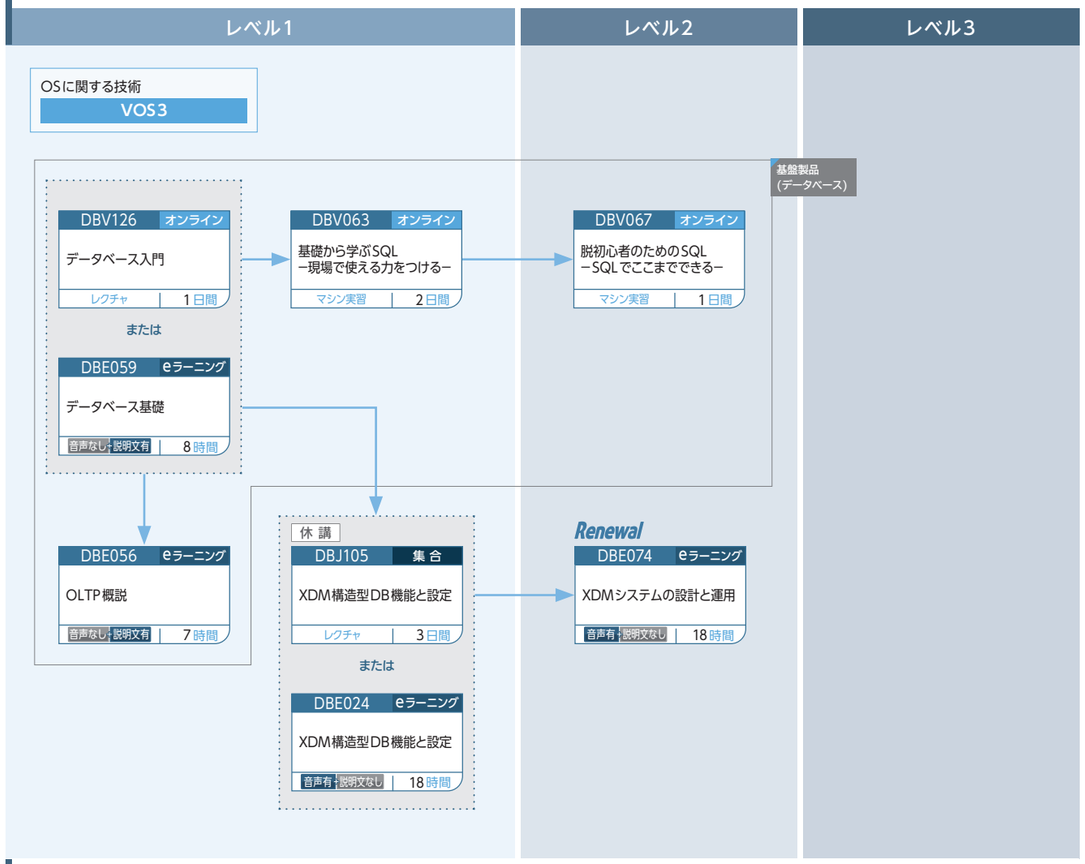
対象者 VOS3システムの運用管理に携わる方。

前提知識 「VOS3基礎2−JCL−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

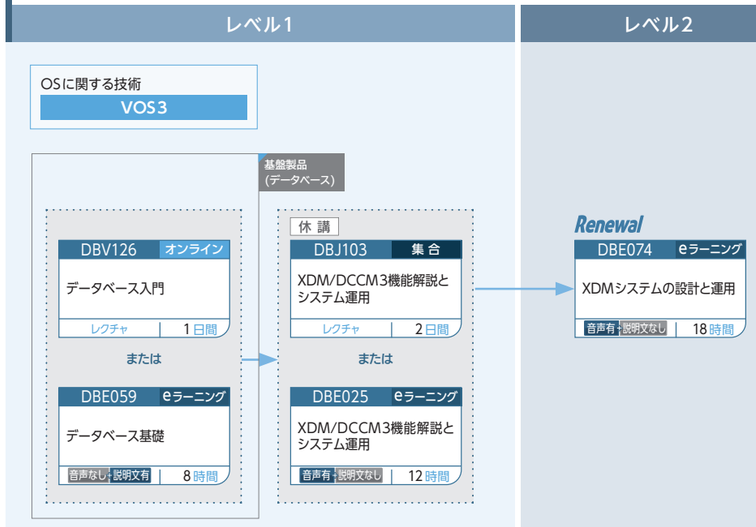
内 容
1. JSS3の概要
2. JSS3の起動と初期設定
   (1)JSS3起動用カタログドプロシジャ
   (2)JSS3初期設定パラメタ
3. ジョブの実行管理
   (1)ジョブの流れ
   (2)ジョブの入力
   (3)ジョブの実行スケジュール
   (4)ジョブの実行制御
   (5)ジョブ結果の出力
   (6)スプールとジョブキューの管理

受講料 ¥61,600

XDMを使用して構造型データベースを構築・運用・設計する方



XDM/DCCM3オンラインシステムを構築・運用・設計する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

集合 コースコード DBJ104 休講

XDMリレーショナルDB機能と設定

レクチャ 2日間

XDMリレーショナルデータベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標
・論理構造と物理構造を理解し、説明できる。
・表およびインデクスを定義できる。
・機密保護、排他制御を理解し、説明できる。
・バッチUAP用ユーザ空間を起動できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
 (3)XDM/RDシステムの作成
3. データベースの管理と保守
 (1)データディクショナリ
 (2)機密保護
 (3)排他制御
4. データベースの運用
 (1)XDM/RDシステムの起動と停止
 (2)データベースの再編成

受講料 ¥55,000

eラーニング コースコード DBE071 Renewal

<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −環境構築編−

eラーニング 4時間

XDMリレーショナルデータベース（XDM/RD）システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標
・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・RD初期設定ユティリティで設定するオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
3. XDM/RDシステムの作成
 (1)XDM/RDシステムの作成手順
 (2)XDM/RDシステムの作成の準備
 (3)XDM/RDシステムの環境設定
4. 修了試験

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード DBE072 Renewal

<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −データベース作成編−

eラーニング 4時間

XDMリレーショナルデータベースシステム（XDM/RD）を構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法を学習します。

到達目標
・論理構造と物理構造を理解し説明できる。
・表およびインデクスを定義に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造と物理構造
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
3. データベースの作成
 (1)表の定義
 (2)インデクスの定義
 (3)データの初期ロードとインデクスの作成
 (4)ビュー表の定義
4. 修了試験

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード DBE073 Renewal

<eラーニング> XDMリレーショナルDB機能と設定 −運用編−

eラーニング 4時間

XDMリレーショナルデータベース（XDM/RD）システムを構築する際に必要なデータベースの構造と、XDM/RD空間を起動するのに必要な定義方法を学習します。

到達目標
・機密保護、排他制御を理解し説明できる。
・バッチUAP用ユーザ空間の起動制御文に必要なオペランドを理解し説明できる。

対象者 XDMリレーショナルデータベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの定義と作成
 (1)データベースの論理構造
 (2)データベースの物理構造
3. データベースの管理と保守
 (1)データディクショナリ
 (2)機密保護
 (3)排他制御
4. データベースの運用
 (1)XDM/RDシステムの起動と停止
 (2)データベースの再編成
5. 修了試験

受講料 ¥15,400

eラーニング コースコード DBE074 Renewal

<eラーニング> XDMシステムの設計と運用

eラーニング 18時間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用する際に必要な効果的なシステムの定義方法や運用の手順、およびそれらの作業方法を学習します。

到達目標
・XDM空間を起動できる。
・オンラインのさまざまなオプションを選択し性能改善できる。
・センタ運用のさまざまなオプションを選択し省力化が図れる。

対象者 XDMシステムの管理者としてシステムの定義作成や運用をする方。

前提知識 「XDM構造型DB機能と設定」コース、または「XDMリレーショナルDB機能と設定」eラーニングコース（3コースすべて）と、「XDM/DCCM3機能解説とシステム運用」コースを修了し、かつVOS3の各種用語や機能についての知識があること。

内 容
1. 概要
2. XDMシステムの構築と運用
 (1)XDM運用のポイント
3. XDMシステムの管理を支援するツール
 (1)XDM/AOFE2
 (2)XDM/PAF
4. XDMの設計指針
 (1)性能設計
 (2)信頼性設計
 (3)DB設計
 (4)DC設計

受講料 ¥79,200

集合 コースコード DBJ105 休講

XDM構造型DB機能と設定

レクチャ 3日間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標
・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
 (1)仮想構造
 (2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
 (1)排他制御
 (2)コミット（同期点）処理
 (3)データベースの障害回復

受講料 ¥82,500

日立製品（ハードウェア／ストレージ）

日立ブロックストレージに関する製品・機能について必要な知識やスキルを修得できます。

eラーニング　コースコード DBE024

<eラーニング> XDM構造型DB機能と設定

18時間

XDM構造型データベースシステムを構築する際に必要なデータベースの構造やその定義方法、データベースの管理や維持の方法を学習します。

到達目標
・スキーマ、格納スキーマの適切な構造を定義できる。
・データベース実行環境の適切なオプションを選択できる。
・データベースの構造変更等の保守ができる。

対象者 XDM構造型データベースシステムを構築・運用する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. データベースの論理構造とデータ操作
3. データベースの格納構造と定義
4. データベースの物理構造と定義
5. プログラムからのデータベース利用
   (1)仮想構造
   (2)データベースの操作機能
6. データベースの作成と保守
7. データベースの管理
   (1)排他制御
   (2)コミット(同期点)処理
   (3)データベースの障害回復

受講料 ¥55,000

集合　コースコード DBJ103　休講

XDM/DCCM3機能解説とシステム運用

2日間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標
・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
   (1)メッセージ受信/送信処理
   (2)UAPのローディング方式
   (3)メッセージ編集など
3. オンラインの運用
   (1)XDMシステムの開始と終了
   (2)センタ運用
   (3)端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

受講料 ¥55,000

eラーニング　コースコード DBE025

<eラーニング> XDM/DCCM3機能解説とシステム運用

12時間

XDMによるオンラインシステムを構築、運用するにあたり必要なXDM/DCCM3のメッセージ制御機能とオンラインシステム運用のための機能を説明します。

到達目標
・メッセージ制御についてさまざまなオプションを選択し、機能設定できる。
・トランザクション定義ができる。

対象者 XDM/DCCM3を使用したオンラインシステムを構築・運用する方。

前提知識 データベースおよびネットワークの基礎知識があること。

内　容
1. XDMシステムの概要
2. メッセージ制御
   (1)メッセージ受信/送信処理
   (2)UAPのローディング方式
   (3)メッセージ編集など
3. オンラインの運用
   (1)XDMシステムの開始と終了
   (2)センタ運用
   (3)端末運用
4. XDM/DCCM3システム定義例

受講料 ¥37,400

ストレージの基礎および周辺知識を知りたい方

レベル1

CLE005 eラーニング
ストレージシステム基礎
音声なし・説明文有 | 8時間

レベル2

SJE016 eラーニング
Fibre Channel概説
−日立ストレージ・ホストの接続を理解するために−
音声有・説明文なし | 4時間

CLE006 eラーニング
SAN概説
音声有・説明文なし | 5時間

SJE028 eラーニング
SCSI入門
−ストレージインタフェースを理解するために−
音声有・説明文なし | 2時間

CLE004 eラーニング
ストレージ関連者向け
サーバ仮想化技術概説
音声なし・説明文有 | 3時間

SJE018 eラーニング
SAS(Serial Attached SCSI)入門−ストレージインタフェースを理解するために−
音声有・説明文なし | 2時間

SJE017 eラーニング
SATA入門
音声有・説明文なし | 2時間

SLV076 オンライン
日立ストレージ製品概要
−ストレージ基礎・製品紹介編−
レクチャ | 1日間

SLV088 オンライン
初歩から学ぶ
ストレージ構築のポイント
レクチャ | 0.5日間

SLV087 オンライン
初歩から学ぶ
日立ストレージ GUI/CLIツール
−各ツールの操作を体験する−
マシン実習 | 0.5日間

レベル3

日立ストレージのハードウェア製品特長・構成を知りたい方

レベル1

レベル2

SLV076 オンライン
日立ストレージ製品概要
−ストレージ基礎・製品紹介編−
レクチャ | 1日間

SLV089 オンライン
日立ミッドレンジストレージ
ハードウェア解説
レクチャ | 0.5日間

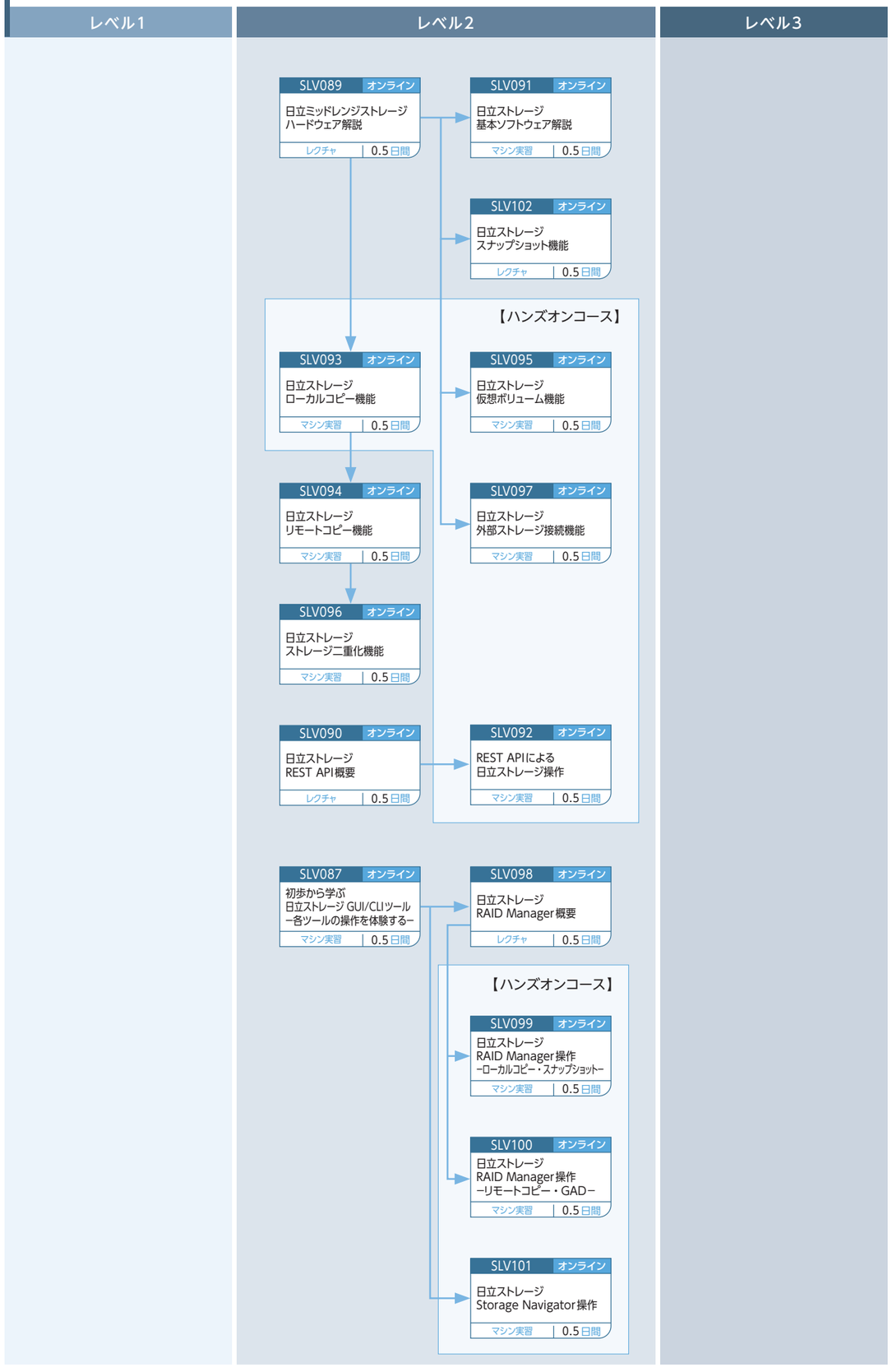
SLV088 オンライン
初歩から学ぶ
ストレージ構築のポイント
レクチャ | 0.5日間

レベル3

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

マシン実習：マシンを使用しながらの研修
グループ演習：グループ演習を中心とした研修
レクチャ：座学による研修
eラーニング：インターネット接続による自己学習
自習テキスト：自習書による独習

日立ストレージの各機能を使用したシステムの構築・運用技術を知りたい方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード CLE005

<eラーニング> ストレージシステム基礎

8時間

ストレージ（ディスク、テープ）に関する基本事項を学習します。

到達目標 ストレージに関する基本的な用語を理解でき、業務に活用できる。

対象者 ストレージに関する業務をこれから始める方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ディスクシステムとは
   (1)ディスクシステムの位置付け
2. ディスクシステム基礎技術
   (1)RAID技術
   (2)ストレージインタフェース（オープンシステム・メインフレーム）
   (3)ネットワークを使用したストレージ
   (4)サーバ関連事項
3. テープバックアップ
   (1)バックアップの必要性、テープバックアップを実現する要素
   (2)テープ関連基礎知識
4. 修了試験

受講料 ¥13,200

eラーニング コースコード SJE028

<eラーニング> SCSI入門 ーストレージインタフェースを理解するためにー

2時間

ホスト（UNIX・Windows）とストレージ（HDD）を接続するインタフェースであるSCSIの基本事項について、パラレルSCSIを中心に学習します。

到達目標
・パラレルSCSIのシステム構成を説明できる。
・パラレルSCSIの動作概要を説明できる。
・シリアルSCSIの種類と特長を説明できる。

対象者 サーバ・ストレージなどSCSIを使用した製品に関する業務を担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. SCSIとは
2. パラレルSCSI概要
   (1)ハードウェア
   (2)システム構成
3. パラレルSCSI詳細
   (1)コマンド体系
   (2)ステータス、センスデータ
   (3)コマンドシーケンス
4. 関連事項　CommandQueuing機能
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング コースコード SJE018

<eラーニング> SAS（Serial Attached SCSI）入門 ーストレージインタフェースを理解するためにー

2時間

SASの基本知識を学習します。

到達目標
・SASのシステム構成を説明できる。
・SASの動作概要を説明できる。
・SASのSATAデバイスサポートを説明できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. SASとは
2. SAS概要
   (1)ハードウェア
   (2)システム構成
3. SAS詳細
   (1)データ転送
   (2)コマンド体系
   (3)コマンドシーケンス
4. SASのSATAデバイスサポート
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング コースコード SJE017

<eラーニング> SATA入門

2時間

SATAの機能・システム構成・内部動作を学習します。

到達目標
・SATAの機能、システム構成を説明できる。
・SATAの内部動作を理解できる。

対象者 サーバ・ストレージなどHDDを使用した製品に関する業務を担当する方。

前提知識 PCの構造を理解していること。

内 容
1. ATAとは
   (1)歴史
   (2)ATAのシステム的な位置づけ
2. パラレルATA
   (1)システム構成
   (2)レジスタインタフェース
   (3)基本的なシーケンス
3. シリアルATA（SATA）
   (1)パラレルATAとの異なり/システム構成
   (2)基本的なシーケンス
   (3)独自機能コマンドキューイング・SAS連携
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング コースコード SJE016

<eラーニング> Fibre Channel概説 ー日立ストレージ・ホストの接続を理解するためにー

4時間

ホスト・ストレージ間接続に使用されるFibre Channelについての基礎知識を学習します。

到達目標
・Fibre Channelに関する用語を使いこなすことができる。
・サーバ・ストレージ製品で使用されているFibre Channel技術を理解できる。

対象者 日立ストレージに関する業務を担当している方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Fibre Channelの歴史と特長
2. Fibre Channelハードウェア
   (1)メディアタイプ
   (2)FC-Switch
3. Fibre Channel基本事項
   (1)トポロジ
   (2)アドレス構成
4. 憶えておきたいキーワード
5. Fibre Channel詳細/各レイヤの詳細
6. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング コースコード CLE006

<eラーニング> SAN概説

5時間

SAN（Storage Area Network）およびSAN関連製品に携わっていくためのSANの基礎知識を学習します。

到達目標 SANの全体像が説明できる。

対象者 SAN関連業務に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. SANとは
2. SANトポロジ（FC-SAN、IP-SAN）
3. SANソリューション バックアップ、ディザスタリカバリ、ストレージ仮想化
4. ストレージ管理
5. NAS（Network Attached Storage）/データアーカイブ
6. 修了試験

受講料 ¥19,800

eラーニング　コースコード CLE004

<eラーニング> ストレージ関連者向け サーバ仮想化技術概説

eラーニング 3時間

VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を交えて学習します。

到達目標 VMware・Hyper-Vなどのサーバ仮想化環境で日立ストレージを動作させる場合のシステム構成・ポイントをサーバ仮想化の基本技術を理解できる。

対象者 ストレージ関連の方で、サーバ仮想化に興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. サーバ仮想化概要
2. 代表的なサーバ仮想化製品
3. サーバ仮想化環境でのストレージ関連設定
4. 修了試験

受講料 ¥8,800

オンライン　コースコード SLV076

日立ストレージ製品概要 −ストレージ基礎・製品紹介編− 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

Hitachi Storage Solutions製品の基礎知識、提案および見積りの手順について学習します。

到達目標
- Hitachi Storage Solutionsの基礎知識、提案、見積りに必要な事項を修得し、カタログを用いてHitachi Storage Solutionsの製品説明ができる。
- 顧客のニーズを把握できるようになる。

対象者 顧客に対しHitachi Storage Solutionsに関する最適なシステムの提案技術の修得をめざす営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ストレージと基礎知識
2. ストレージ製品ラインアップと特長
3. 日立ストレージソフトウェアおよびソリューション
4. 日立ストレージ管理ソフトウェア
5. 日立ストレージ提案・見積り

受講料 ¥25,300

オンライン　コースコード SLV088

初歩から学ぶ　ストレージ構築のポイント 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

日立ストレージの性能に関するポイントや、ストレージ障害発生時の装置状態、アラート情報の確認方法、ストレージシステム構築時に必要となるハードウェア、ソフトウェアなど、日立ストレージを使用したシステムを構築するために、知っておきたい内容を学習します。

到達目標
- 日立ストレージの性能に関するポイントが説明できる。
- 装置の状態、アラート情報の確認ができる。
- ストレージシステム構築に必要となるハードウェア、ソフトウェアが理解できる。

対象者 日立ストレージを担当する営業、SEの方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内　容
1. 日立ストレージ紹介
2. 日立ストレージ性能ポイント
3. 装置状態の確認
4. ストレージ製品利用例

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV087

初歩から学ぶ　日立ストレージGUI/CLIツール −各ツールの操作を体験する− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

日立ストレージが提供する各種ツール（GUI/CLI）の導入方法および基本的な操作を学習します。オンラインで各種ツールを使用した演習を行います。

到達目標
- 日立ストレージの各種ツールを説明できる。
- 各種ツールの操作できる機能の違いが理解できる。
- GUIツールのインストールおよび操作ができる。
- CLIツールのインストールおよび操作ができる。

対象者 日立ストレージの設定を担当している方、およびこれから担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. GUI/CLIツール概要
2. Hitachi Storage Advisor Embedded操作
   （1）接続方法
   （2）サーバ登録、ボリューム作成、LUNマッピング操作など
3. Storage Navigator操作
   （1）インストール、装置登録
   （2）ストレージ情報の確認
   （3）ボリューム作成、LUNマッピング操作など
4. RAID Manager操作
   （1）インストール、定義ファイル編集
   （2）ストレージ情報の確認
   （3）ボリューム作成、LUNマッピング操作など
5. REST API操作
   （1）ストレージ情報の確認
   （2）ボリューム作成、LUNマッピング操作など

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV089

日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

日立のミッドレンジストレージ製品のラインアップとオプション構成などハードウェアシステム構成ができる知識について学習します。

到達目標
- 日立ミッドレンジストレージ製品が説明できるようになる。
- 日立ミッドレンジストレージのハードウェア構成がわかる。

対象者 日立ミッドレンジストレージについて基本的な技術の修得をめざす方。

前提知識 ストレージに関する知識があること。

内　容
1. ミッドレンジストレージ製品概要
   （1）製品ラインアップ
   （2）製品概要
   （3）製品特長
   （4）製品仕様
2. ミッドレンジストレージ　ハードウェア
   （1）ハードウェア構成
   （2）ハードウェアコンポーネント
   （3）その他　ハードウェア関連

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV091

日立ストレージ　基本ソフトウェア解説 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

日立ストレージが提供する、基本ソフトウェアの操作・設定ができる知識について学習します。尚、GUI操作も体験いただけます。

到達目標
- 日立ストレージの基本ソフトウェアが説明できる。
- 基本ソフトウェアの操作ができる。

対象者 日立ストレージの基本ソフトウェアを知りたい方。

前提知識 日立ストレージの知識があること。

内　容
1. 日立ストレージ管理インタフェース（GUI）
2. 基本ソフトウェア機能
   （1）LUN Manager
   （2）Dynamic Provisioning
   （3）Performance Monitor
   （4）その他機能

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV102

日立ストレージ スナップショット機能 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

日立ストレージのスナップショット機能：Thin Imageについて、基本機能を学習します。

到達目標
- Thin Imageの基本機能を説明できる。
- Thin Imageのペア操作、ペア状態を説明できる。

対象者 日立ストレージのスナップショット機能：Thin Imageの機能の修得をめざす方。

前提知識 「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Thin Image概要
   （1）基本機能
   （2）ペア操作と状態遷移
2. Storage Navigatorによる操作

受講料 ¥24,200

オンライン　コースコード SLV093

日立ストレージ　ローカルコピー機能 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

日立ストレージのローカルコピー機能：ShadowImageについて、基本機能を学習します。

到達目標
- ShadowImageの基本機能を説明できる。
- ShadowImageのペア操作、ペア状態を説明できる。

対象者 日立ストレージのローカルコピー機能：ShadowImageの機能の修得をめざす方。

前提知識 「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ShadowImage概要
   （1）基本機能
   （2）ペア操作と状態遷移
2. Storage Navigatorによる操作

受講料 ¥24,200

オンライン　コースコード SLV095

日立ストレージ　仮想ボリューム機能 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

日立ストレージの仮想化機能：Dynamic Provisioning、Dynamic Tieringの基本機能、システム構成、設定について学習します。

到達目標
- Dynamic Provisioningの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Dynamic Tieringの知識を修得し、操作・設定ができる。
- active flashの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージの仮想化機能：Dynamic Provisioning、Dynamic Tiering、active flashの機能の修得をめざす方。

前提知識 「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Dynamic Provisioning（HDP）
   （1）基本機能、システム構成
   （2）操作（仮想ボリューム、プール作成、ホスト接続）
   （3）操作演習
2. Dynamic Tiering（HDT）
   （1）基本機能、システム構成、操作概要
3. active flash
   （1）基本機能、操作概要

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV094

日立ストレージ　リモートコピー機能 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

日立ストレージのリモートコピー機能：TrueCopy、Universal Replicatorの基本機能を学習します。

到達目標
- TrueCopyの知識を修得し、操作・設定ができる。
- Universal Replicatorの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのリモートコピー機能：TrueCopy、Universal Replicatorの機能の修得をめざす方。

前提知識 「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. TrueCopy
   （1）基本機能
   （2）ペア操作と状態遷移
   （3）システム構成
2. Universal Replicator
   （1）基本機能
   （2）ペア操作と状態遷移
   （3）システム構成
3. リモートコピー設定
4. ローカルコピー連携構成

受講料 ¥26,400

オンライン　コースコード SLV096

日立ストレージ ストレージ二重化機能 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

日立ストレージのストレージ二重化機能：global-active deviceの基本機能を学習します。

到達目標 global-active deviceの知識を修得し、操作・設定ができる。

対象者 日立ストレージのストレージ二重化機能：global-active deviceの機能の修得をめざす方。

前提知識 「日立ストレージ リモートコピー機能」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. global-active device概要
   （1）基本機能
   （2）ペア操作と状態遷移
   （3）システム構成
2. global-active device設定

受講料 ¥24,200

オンライン　コースコード SLV090

日立ストレージ　REST API概要 【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

REST APIによる日立ストレージの操作に関する基本的な内容を学習します。

到達目標
- REST APIを説明できるようになる。
- REST APIの基本的な使用方法が理解できる。

対象者 ストレージの運用・管理を行う方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内　容
1. REST APIとは
2. REST API操作概要
   （1）管理対象リソースの指定方法
   （2）メインの形式
   （3）REST APIの基本実行フロー
   （4）セッション認証
   （5）RESTクライアントに関して

受講料 ¥19,800

日立製品（ハードウェア/ストレージ）

オンライン　コースコード SLV092

REST APIによる日立ストレージ操作【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　0.5日間

日立ストレージの設定、管理方法をマシン実習を通じて学習します。

到達目標
・REST APIを使用してストレージの設定ができる。
・REST APIを使用してストレージの情報を確認できる。

対象者 ストレージの運用・管理を行う方。

前提知識 日立ストレージに関する知識があること。

内　容
1. REST APIセッション生成操作
2. ストレージ基本設定操作
　(1)ストレージ情報の取得
　(2)パリティグループの作成
　(3)ボリューム作成、LUNマッピング
　(4)Dynamic Provisioning操作
3. ボリュームコピー機能操作
　(1)ShadowImage操作

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV097

日立ストレージ 外部ストレージ接続機能【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　0.5日間

日立ストレージの外部ストレージ接続機能：Universal Volume Managerの基本機能を学習します。

到達目標
・Universal Volume Managerの知識を修得し、操作・設定ができる。
・Universal Volume Managerを使用してデータ移行ができる。

対象者 日立ストレージの外部ストレージ接続機能：Universal Volume Managerの機能の修得をめざす方。

前提知識「日立ミッドレンジストレージ ハードウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Universal Volume Manager(UVM)概要
　(1)基本機能、システム設定・操作
2. Universal Volume Managerを使用したデータ移行
　(1)データ移行概要
　(2)データ移行操作演習

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード SLV098

日立ストレージ RAID Manager概要【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ　0.5日間

日立ストレージをコマンドで操作するRAID Managerについて、概要、インストール、設定方法について学習します。

到達目標 RAID Managerの知識を修得し、設定ができる。

対象者 RAID Managerのインストール、設定方法の修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. RAID Manager概要
2. RAID Manager設定
　(1)インストール
　(2)構成定義ファイル設定
3. RAID Manager演習
　(1)構成定義ファイルの作成、インスタンス起動

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV099

日立ストレージ RAID Manager操作−ローカルコピー・スナップショット−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　0.5日間

RAID Managerによるローカルコピー機能、スナップショット機能の操作を学習します。

到達目標
・ローカルコピー機能、スナップショット機能を操作するためのセットアップができる。
・コマンドを使用してローカルコピー機能の操作ができる。
・コマンドを使用してスナップショット機能の操作ができる。

対象者 RAID Managerによるローカルコピー機能、スナップショット機能の操作方法の修得をめざす方。

前提知識「日立ストレージRAID Manager概要」、「日立ストレージ ローカルコピー機能」、「日立ストレージRAID Manager操作−ローカルコピー・スナップショット−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ローカルコピー機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習
2. スナップショット機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV100

日立ストレージ RAID Manager操作−リモートコピー・GAD−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　0.5日間

RAID Managerによるリモートコピー機能、GAD機能の操作を学習します。

到達目標
・リモートコピー機能、GAD機能を操作するためのセットアップができる。
・コマンドを使用してリモートコピー機能の操作ができる。
・コマンドを使用してGAD機能の操作ができる。

対象者 RAID Managerによるリモートコピー機能、GAD機能の操作方法の修得をめざす方。

前提知識「日立ストレージRAID Manager概要」、「日立ストレージ リモートコピー機能」、「日立ストレージ ストレージ二重化機能」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. リモートコピー機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習
2. GAD機能操作
　(1)操作コマンド
　(2)操作演習

受講料 ¥33,000

オンライン　コースコード SLV101

日立ストレージ Storage Navigator操作【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習　0.5日間

日立ストレージをGUIで操作するStorage Navigatorについて、概要、各種機能の操作方法について学習します。

到達目標
・Storage Navigatorを使用して各種コピー機能の操作ができる。
・リモートコピー機能、GAD機能の筐体間の接続設定ができる。

対象者 Storage Navigatorによる各種機能の操作方法の修得をめざす方。

前提知識「初歩から学ぶ 日立ストレージGUI／CLIツール」、「日立ストレージ　基本ソフトウェア解説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ローカルコピー機能操作
2. スナップショット機能操作
3. リモートコピー、GAD機能操作
　(1)筐体間接続操作
　(2)TrueCopy操作
　(3)Universal Replicator操作
　(4)GAD操作

受講料 ¥33,000

デジタル導入

DX事業推進のために、デジタル技術を活用した製品・サービスの企画・開発・実装する方や、デジタル化された業務を遂行する方にとって必要なDXのマインド、プロセス、要素技術などのリテラシーに関する領域です。

DXマインド

レベル1	レベル2	レベル3

イノベーション

- HSJ163 集合 クリエイティブシンキング — グループ演習 | 1日間
- HSV224 オンライン イノベーティブ思考 ―事業創出プロセスを通じて学ぶ― — グループ演習 | 2日間

DXプロセス

レベル1	レベル2	レベル3

Renewal

- DBE069 eラーニング 考えてみようDX ―デジタルトランスフォーメーション理解編― — 音声有+説明文有 | 3時間
- DBE041 eラーニング 考えてみようDX ―ビジネス着想編― — 音声有+説明文有 | 3時間
- DBE042 eラーニング 考えてみようDX ―データ活用による業務改善編― — 音声有+説明文有 | 3時間

デジタル技術の基礎知識

レベル1	レベル2	レベル3

- DBE068 eラーニング DXによって我々の事業は何が変わるのか―テクノロジーの進化から見るDXの本質― — 音声有+説明文有 | 2.5時間
- IOE012 eラーニング デジタル時代に必要なIT技術概説 — 音声有+説明文有 | 8時間
- IOE010 eラーニング マイクロラーニングで学ぶ! はじめてのIoT — 音声有+説明文有 | 8時間
- SPV080 オンライン やってみようDX ―ローコードプログラミングによる業務のDX― — マシン実習 | 1日間

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

データ分析の基礎

レベル1	レベル2	レベル3

AIE008 eラーニング
AI・データサイエンス基礎
音声有+説明文有 | 6時間

デジタルリテラシー協議会
3検定対策講座

AIE009 eラーニング
日本ディープラーニング協会（JDLA）G検定取得対策講座（Study-AI社）
音声有+説明文なし | 24時間

DBE064 eラーニング
データサイエンティスト検定 リテラシーレベル取得対策講座（Aidemy社）
音声なし+説明文有 | 9.5時間

情報処理技術者試験対策

SJE314 eラーニング
集中演習
ITパスポート試験【IP】
音声なし+説明文有 | 70時間

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

eラーニング コースコード DBE069 Renewal

<eラーニング> 考えてみようDX −デジタルトランスフォーメーション理解編−

3時間

デジタルトランスフォーメーションは、あらゆる業種に広がり、あらゆる業務でデジタル化に取り組む必要があります。今、世の中でデジタルによりどのような変革が起きているのか、今後どのように取り組んでいくべきなのかを身近に感じていただきます。

到達目標
・デジタルトランスフォーメーションとは何かを理解できる。
・事例を通してデジタルトランスフォーメーションを身近な自分事として捉えられる。

対象者
・デジタルトランスフォーメーションを理解したい方。
・これからデジタルトランスフォーメーションに取り組む方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 社会変化とデジタルトランスフォーメーション
2. DXによるイノベーションの事例
3. DXのトレンド
4. 急激なサービス化の流れ
5. カスタマーサクセス
6. DXを実現するテクノロジー
7. データ・AIを利活用する上で知っておくべきこと

受講料 ¥8,800

eラーニング コースコード DBE041

<eラーニング> 考えてみようDX −ビジネス着想編−

3時間

デジタルトランスフォーメーション（DX）に関して持たれがちな「難しそう」というイメージを取り除き、思ったより簡単であるとイメージしていただくためのコースです。DXで何ができるのか、データを活用した事業案やサービス案をどうやって考えればいいかについて、学習します。

到達目標
・フレームワークを使って着想できる。
・ワークシートを使って検証計画を立てられる。

対象者 はじめてDXを学ぶ方。これからDXの活用を考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. アイディア着想
   (1)デジタル化
   (2)データ転送
   (3)可視化
   (4)予測
2. 行動計画への落とし込み
   (1)着想
   (2)データ分析課題への翻訳
   (3)検証計画の策定
3. 着想のパターンと検証計画

受講料 ¥8,800

eラーニング コースコード DBE042

<eラーニング> 考えてみようDX −データ活用による業務改善編−

3時間

デジタルトランスフォーメーション（DX）に関して持たれがちな「難しそう」という印象を取り除き、思ったより簡単であるとイメージしていただくためのコースです。これまでのような経験や勘に頼った判断ではなく、データ分析の結果に基づいて、合理的な意思決定をするにはどうしたらいいのかについて、学習します。

到達目標
・DXにおける分析の流れを理解できる。
・分析計画を立て、計画に従って分析を実行できる。

対象者 はじめてDXを学ぶ方。これからDXの活用を考えている方。

前提知識 「考えてみようDX−ビジネス着想編−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 分析の流れ体験
2. 分析計画を立てる
   (1)問題の発見
   (2)どんな分析が必要かを考える
   (3)分析の実行

受講料 ¥8,800

eラーニング コースコード DBE068

<eラーニング> DXによって我々の事業は何が変わるのか −テクノロジーの進化から見るDXの本質−

2.5時間

デジタルトランスフォーメーションの実現において、その本質を理解しておく必要があります。テクノロジーの進化から見て、DXで何が変わるのかという本質を学習します。なお、このコースの内容は、コースコード：IOE012「 <eラーニング>デジタル時代に必要なIT技術概説」の1章と同じになります。

到達目標
・デジタルトランスフォーメーションとは何かを説明できる。
・デジタルトランスフォーメーションによる社会やビジネスの変化や価値創造について説明できる。

対象者
・IT職種ではないが、デジタルトランスフォーメーションに取り組みたい方。
・自社および自組織のデジタルトランスフォーメーションを企画、推進される方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 基礎知識（UIとUX、デジタルとは何か）
2. デジタル・トランスフォーメーション
3. DX実践の勘所

受講料 ¥16,500

eラーニング コースコード IOE012

<eラーニング> デジタル時代に必要なIT技術概説

8時間

デジタルトランスフォーメーションとは何か、実現によりどのような価値が生まれるのか、などの基礎知識を学びます。また、デジタルトランスフォーメーションの実現に必要な技術（クラウド、AI、IoT、アジャイル開発/DevOps、ブロックチェーンなど）の概要を学びます。

到達目標
・デジタルトランスフォーメーションとは何かを理解し、社会やビジネスの変化や価値創造について説明できる。
・デジタルトランスフォーメーションの実現に重要となる技術の概要を説明できる。

対象者 自組織のDXを推進される方やデジタルビジネスに関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 基礎知識（UIとUX、デジタルとは何か）
2. デジタル・トランスフォーメーション
3. これからのビジネス戦略
4. クラウド・コンピューティング
5. サイバー・セキュリティ
6. IoT／モノのインターネット
7. 5G（次世代移動体通信システム）
8. AI／人工知能
9. 圧倒的なビジネス・スピードに対処するための開発と運用（アジャイル開発、DevOps、コンテナとマイクロサービスなど）
10. いま注目しておきたいテクノロジー（ブロックチェーン、量子コンピューター）

受講料 ¥19,800

eラーニング コースコード IOE010

<eラーニング> マイクロラーニングで学ぶ! はじめてのIoT

8時間

IoTについての幅広い知識に加え、OT、ITの関連知識を学習いただけます。
【マイクロラーニングの特長】
◆ご自身の知識・技術レベルにあわせ、学習したい項目を選んで学習いただけます。
◆一つの学習項目が数分で完了する作りになっていますので、すき間時間に学習できます。

到達目標 IoTのシステム構成およびOTの目的/基本構成を理解し、IoT適用業務にスムーズに参加できるようになる。

対象者
・これからIoTを業務に適用する予定があり、IoT、IT、OTの技術や知識が不足していると感じている方。
・IoTを適用するIT技術者、SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IoTと関連技術を理解する
2. IoTデバイスを理解する
3. IoTにおける通信方法を理解する
4. IoTでデータを活用する
5. IoTシステムのセキュリティ
6. OTを知る

受講料 ¥17,600

デジタルトランスフォーメーション
デジタル導入
セールス/フロント
サービス
イノベーション
データサイエンス
プロセス/プロダクト

セールス／フロント

顧客の取り巻く業界トレンドをもとに経営レベルから業務課題まで幅広く課題を理解し、経営層やステークホルダに適切な課題の提言や、解決策の提案ができる、顧客協創の推進役に必要な活動プロセスに関する領域です。

提案活動プロセス

顧客課題探索

レベル1	レベル2	レベル3
	HSV180 オンライン 顧客協創を促す ディスカッションペーパーの 作成・活用の仕方 グループ演習 | 1日間 HSV231 オンライン 顧客の心をつかむ 戦略的提案活動 ー体系的に学ぶ提案活動の進め方ー グループ演習 | 1日間 (0.5日×2回) 事前学習(eラーニング) 3時間	

提案計画／提案書作成／提案

レベル1	レベル2	レベル3
	HSV231 オンライン 顧客の心をつかむ 戦略的提案活動 ー体系的に学ぶ提案活動の進め方ー グループ演習 | 1日間 (0.5日×2回) 事前学習(eラーニング) 3時間 ↓ HSV236 オンライン 高評価をねらえる提案書作成 ー顕在・潜在ニーズに訴求するー グループ演習 | 0.5日間 事前学習(eラーニング) 2時間	

一般業務遂行力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV235 オンライン 本質的なニーズを引き出す ヒアリング術ーオンラインでも 成果を出せる面談スキルー グループ演習 | 1日間		

レベル1 ：営業の業務経験がほとんど無い方、または、営業経験が比較的浅い方
レベル2 ：営業活動経験がある方で、担当顧客を一人で任され、また必要に応じて他のメンバの支援も行う方
レベル3 ：複数の顧客または複数プロジェクトの営業担当の経験を有し、自チームの営業戦略の策定に携わる方

オンライン コースコード SPV080

やってみようDX ーローコードプログラミングによる業務のDXー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

現在、多くの企業でDXがすすめられており、技術系、事務系にかかわらず事業や業務へのAIやIoT、クラウドサービスの活用の知識が必要とされています。新たなビジネス基礎知識ともいわれるAI、IoT、クラウドサービスの用い方とそれらを組み合わせて活用するのに必要なプログラミングがどのようなものかを実習を通じて体験して理解していただきます。このコースではコードを一行一行記述するのではなく、ローコードプログラミングとよばれる直感的に理解できる方法（ツールとしてはNode-Redを使用）を用います。そのため、プログラミング知識のない方でも業務のDXが可能であることを学んでいただけます。

到達目標
・受講者のテーマに対してDX技術（AIやクラウド技術など）をどのように活用するのかをイメージできる。
・より高度な段階のＩＴスキル取得への関心を高め、それらによりできることがイメージできる。

対象者
・顧客へのサービスシステム提案活動に関わるフロント（営業/SE/設計）人財の方。
・OT × ITでサービス開発を試行されたい方。
・自身の業務で自らDX実践を試みたいスタッフ部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ノンプログラミングの魅力とは
2. Node-REDで業務のDXをやってみよう
   (1)基本操作
   (2)画面を作ってみる
   (3)センサデータをグラフにする
   (4)AI（画像分類）を使ってみる
   (5)自分のデータを他者が使えるようにする
   (6)デジタル技術を組み合わせて処理を行ってみる
   スマホでの領収書の撮影から、Teamsを使用した承認通知まで
3. 実務適用の事例

受講料 ¥39,600

eラーニング コースコード AIE008

<eラーニング> AI・データサイエンス基礎

eラーニング 6時間

デジタルトランスフォーメーションの実現において、その中核技術の1つにAIがあります。こうした技術が組み込まれたシステム・仕組みをもとに、データを読み解きながら、業務遂行する時代となりました。このコースでは、全ての人が理解しておくべき、AI・データサイエンスに関する基礎知識を学習します。

到達目標
・AIの概要の理解と共に、世の中での活用事例やその拡がりなど、AIによってどのようなことができるのか説明できる。
・データの特長を理解し、集計されたグラフなどからデータを読み解くといった、データ利活用のための基本的な考え方を説明できる。
・データの利活用に関する、法的、倫理的、社会的、セキュリティ面での注意点が説明できる。

対象者
・AI・データサイエンスに関する基礎知識を身につけたい方。
・データ利活用に対する行動規範を理解し、適切な行動を習慣として身につけたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. AIで何ができるか-データ・AIの活用領域とその拡がり-
2. データを利活用するには-データの特長の捉え方から分析プロセスまで-
3. データ・AIの利活用で注意すること-求められる倫理や関連法規の理解-

受講料 ¥18,700

eラーニング コースコード AIE009

<eラーニング> 日本ディープラーニング協会（JDLA） G検定取得対策講座（Study-AI社）

eラーニング 24時間

日本ディープラーニング協会（JDLA）のG検定の対策および、ディープラーニングを用いた事業開発においてスピーディーな判断ができるように、人工知能の基礎を学習します。

到達目標 G検定に合格できる知識を修得する。

対象者
・G検定の合格をめざす方。
・ディープラーニングを事業活用するための知識を身につけたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. G検定講座
   (1)機械学習の具体的手法
   (2)ディープラーニングの概要
   (3)ディープラーニングの手法
2. G検定模擬試験（720題以上）

※各項目の詳細は、下記のJDLA Webサイトのシラバスをご参照ください。
https://www. jdla. org/certificate/general/
なお、シラバスは定期的に見直しされます。シラバス見直しに伴い、このコースへの申込・受講のタイミングで、学習項目、研修時間等が予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

受講料 ¥31,900

eラーニング コースコード DBE064

<eラーニング> データサイエンティスト検定 リテラシーレベル取得対策講座（Aidemy社）

eラーニング 9.5時間

データサイエンティスト協会のデータサイエンティスト検定リテラシーレベルの対策および、データ分析の基礎知識、データ分析プロジェクトの進め方を学習します。

到達目標 データサイエンティスト検定リテラシーレベルに合格できる知識を修得する。

対象者
・データサイエンティスト検定リテラシーレベルの合格をめざす方。
・データサイエンティストとしてデータ分析業務に携わる方。
・データサイエンス、データ利活用という言葉に興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門
   (1)データ分析プロジェクトの進め方
2. 「データサイエンティスト検定リテラシーレベル」対策
   (1)データサイエンス力
   (2)データエンジニアリング力
   (3)ビジネス力

受講料 ¥52,800

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

サービス

顧客との協創を実現しながら顧客課題に応えるための新たなDX事業のビジネスモデル検討と、そのためのサービスの企画・開発に必要なビジネスフレームワークやツールの活用方法とその検討プロセスに関する領域です。

サービス事業創生の考え方、手法

レベル1	レベル2	レベル3
	HSV158 オンライン イノベーションプロセスを 強化するシナリオプランニング グループ演習 1日間	HSV237 オンライン ケーススタディで学ぶカスタマーサクセス−顧客のリピートを生み出す世界標準のメソッド− グループ演習 1日間 休講 HSJ208 集合 モノづくり事業をベースとした高収益サービスの創生法−Product-Service Systems (PSS)− グループ演習 2日間

ビジネスモデルデザイン

レベル1	レベル2	レベル3
	HSV159 オンライン 顧客価値発見と ビジネスモデルのデザイン グループ演習 2日間 HSV209 オンライン デジタル時代における 収益モデルのデザイン −KPIツリーによる事業性の評価− グループ演習 1日間 HSV210 オンライン デジタル時代における顧客接点の デザイン−顧客経験 ジャーニーマップの活用− グループ演習 1日間 HSV213 オンライン デジタル時代における成果型サービスの デザイン−ジョブ理論とダブル ダイヤモンドフレームワークの活用− グループ演習 1日間	

事業戦略立案

レベル1	レベル2	レベル3
	経営力 PDU HSV182 オンライン (PDU) ITビジネスにおける 戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために− グループ演習 1日間	

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

オンライン / コースコード HSV180

顧客協創を促すディスカッションペーパーの作成・活用の仕方 【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

顧客の状況や課題を整理した討議資料を事前に作成しておけば、それを用いて顧客の発言を促し、情報を引き出すことができます。そして、その情報を元に、提案内容に磨きをかけていくことができます。提案プロセスにおいて「ディスカッション・ペーパー」は、本提案前に仮説（提案シナリオ案）を顧客に提示して、それを検証するためのツールとなります。このコースは「ディスカッション・ペーパー」の考え方や作成方法を通して、顧客との打合せに向けてアジェンダを設定し、ファシリテーション・シナリオを用意できるようになります。

到達目標
・ディスカッション・ペーパーとは何か、その必要性とともに説明できる。
・顧客とのミーティングにおいてディスカッション・ペーパーを活用できる。

対象者 営業職の方、営業職と共に顧客にヒアリング・提案活動されるフロントの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 問題解決のステップ
 (1)「業務・システムの視点」ではなく「事業の視点」を持つ
 (2)顧客の現状を整理し、整理された事実から意味合いを抽出し、本質的な課題が何かをまとめる
2. 仮説の構築と検証
 (1)仮説の構築・検証のサイクルがソリューションビジネスにおける付加価値の源泉
 (2)顧客とのミーティングにおいて仮説を構築・検証する
3. 顧客とのミーティング
 (1)会議の着地点を想定して戦略的にアジェンダを設定する
 (2)アジェンダに基づいて会議のプロセスをデザインし、ファシリテーション・シナリオを用意する
 (3)検証したい仮説をファシリテーション・シナリオに則って「ディスカッション・ペーパー」に反映させる
4. 総合演習
 (1)他社事例をベースにした「ディスカッション・ペーパー」の作成・活用

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード HSV231

顧客の心をつかむ戦略的提案活動 −体系的に学ぶ提案活動の進め方− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 0.5日間×2回

このコースは、基礎知識を事前動画（3時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間×2）は演習中心に進めます。
ビジネスが複雑化しスピードアップする中、関係者で分担しながら提案プロセスを効果的にマネジメントすることが求められています。このコースでは、グローバル標準とされる提案手法に基づき、受注をねらい優位な立場をつくるための提案戦略策定、リモート環境においても社内の関係者を巻き込み適切に連携して、提案書を作成するためのオポチュニティプランとエグゼクティブサマリを作成します。多様な企業から参加される受講者間で自案件分析を共有します。

到達目標
・引き合いを可視化する見込みある案件に注力する方法を理解できる。
・顧客組織内に競合よりも優位なポジションの確立方法を理解できる。
・理解した内容を、自担当業務に活用できる。
・リモートでの提案活動レビューの進め方が理解できる。

対象者
・提案活動に関わるITエンジニア職、営業職の方。
・提案活動において、顧客の悩みをつかみ、社内を巻き込み組織的に解決策を協創できないかお悩みの方。
・提案活動を一つのプロジェクトとして捉え、戦略的にマネジメントすることが必要だと感じている方。
・リモートでの提案内容レビューの進め方にお悩みの方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
【事前学習：eラーニング（標準学習時間：3時間）】
1. オポチュニティの評価
 (1)案件情報の収集
 (2)ビジネスの適合性の評価
2. オポチュニティプラン
 (1)提案体制の確立　(2)顧客/競合/自社分析
3. 戦略策定
 (1)案件獲得戦略　(2)案件獲得計画
4. エグゼクティブサマリ
 (1)エグゼクティブサマリ草案作成
 (2)バリュープロポジション策定
5. 自案件分析
【研修　1日目：0.5日】
1. eラーニング振り返り
2. 事前課題をもちいたオポチュニティプランレビュー
3. 振り返りと2日目に向けたご案内
【研修　2日目：0. 5日】
1. 1日目からの活動振り返り
2. エグゼクティブサマリーレビュー
3. 振り返りと今後に向けて

受講料 ¥96,800

オンライン / コースコード HSV236

高評価をねらえる提案書作成 −顕在・潜在ニーズに訴求する− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 0.5日間

このコースは、基礎知識を事前動画（2時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間）は演習中心に進めます。
評価者に選ばれやすい提案を、RFPを受領してから提出するまでの期間で、効果的に作成するための方法を学習します。演習を通して、顧客のニーズを満たす品質の高い提案書を作成するための、提案戦略、スケジュール、章立て、枠割分担の方法を修得します。

到達目標
・無駄な作業を減らし、提案書内容の質を高めるための提案書作成計画のポイントが説明できる。
・短い時間で訴求力のある提案書を作成するポイントが説明できる。
・提案書の章立てやキーメッセージの組み立て方を理解できる。

対象者
・ITエンジニア職、営業職の方。
・勝つ提案書をチームで効率よく書くにはどうすればよいか、迷っている方。
・お客さまに自社の提案を高く評価してもらえる書き方、構成にお悩みの方。
・提案活動を一つのプロジェクトとして捉え、体系的/戦略的にマネジメントされた提案活動が必要だと感じている方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容
【事前学習：eラーニング（標準学習時間：2時間）】
1. 提案書作成戦略の策定
2. コンテンツプラン
 (1)コンテンツプランとは
 (2)プロポーザルアウトライン
 (3)解決策の検討
 (4)価格検討
【研修：0.5日】
1. eラーニング振り返り
2. 提案活動の疑似体験
3. 振り返りとまとめ

受講料 ¥72,600

オンライン / コースコード HSV235

本質的なニーズを引き出すヒアリング術 −オンラインでも成果を出せる面談スキル− 【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

オンラインでは一般的に、コミュニケーションが全体的にドライになり、必要なこと以外がカットされていく傾向にあります。そして双方向のキャッチボールが難しくなりがちです。このコースでは、対面での面談はもちろんのこと、オンライン面談への知見を身につけることを土台としたうえで、「ヒアリングのプロセスの理解」と「それをうまくやるための能力修得」を両面から理解を深めます。ヒアリングのフレームワークを「聴き手の頭を深掘りし、情報を取得するプロセス」だけではなく、「顧客の心を解きほぐし、情報のキャッチボールができるようになるプロセス」として学習します。これにより、対面／オンライン問わず、ヒアリングがより効果的に行えるようになることをめざします。

到達目標
・ヒアリングをする手順と具体的な質問項目がわかり、それをよりどころに一歩を踏み出せる。
・相手の状況を踏まえた柔軟性あるヒアリングを行うためのスキルが強化できる。
・事前に定型化できる作業と、それに基づいた準備により、戦略的かつ臨機応変な面談が実現できる。

対象者
・オンライン面談が増えているが、対面との違いにチューニングが合わせ切れていないとお悩みの方。
・オンラインに限らずリアルでもヒアリングを駆使して「顧客の本質的なニーズを引き出す」能力を高めたいとお考えの方。
・若手にヒアリングのポイントを学ばせたいが、よりどころになる対面・オンラインを問わないポイントを明確に整理しきれないとお考えの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ヒアリングの役割と重要性
 (1)一般的な面談ヒアリングの目的・意義
 (2)ヒアリングで必要なスキルとマインド
2. オンライン面談とリアル面談の違いを理解する
 (1)オンライン面談のメリット／デメリット
 (2)オンラインで訪れる2つの壁
3. 相手のニーズを仮説構築する
 (1)ヒアリングとは仮説の検証である
 (2)仮説構築の3ステップ
4. オンラインヒアリングのフレームワーク
 (1)ヒアリングのマクロの流れ（公転）
 (2)ヒアリングのミクロのサイクル（自転）
5. ヒアリングプロセスを成功させるスキルセット
 (1)受け手の心を開くスキル
 (2)受け手の頭の中を構造化するスキル
 (3)受け手の思考を深めさせるスキル
6. 総括オンラインヒアリングロールプレイ

受講料 ¥71,500

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

マネージドサービスの品質とSLA

レベル1	レベル2	レベル3
	ITE006 eラーニング SLAにおける サービスレベル設計の基礎 音声なし 説明文有 4時間	PDU IT サービス ITV017 オンライン ITIL®4ファンデーション （受験バウチャーチケット付き） レクチャ 2日間

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方　【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方　【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方　【アドバンスレベル】

オンライン コースコード HSV158
グループ演習 1日間
イノベーションプロセスを強化するシナリオプランニング【バーチャル・クラスルーム】

シナリオプランニングの具体的な考え方・手法について学習します。

到達目標
・企業などの組織が長期的な戦略策定をする際の方法論としてのシナリオプランニングを理解できる。
・複数の未来を前提にし、長期的な視点で、広く世の中を見渡し、一度客観的に考えることができる。

対象者 新しい製品・サービスを生みだす部署の担当の方、顧客に対して新しい価値を提供する営業・フロントSEの方、将来、顧客のビジネス創出につながる提案をしていく方。

前提知識 7年以上の実務経験がある主任・係長以上であること。

内　容
1. シナリオプランニング概要
　(1)シナリオプランニングとは
　(2)ケーススタディ
2. シナリオ作成
　(1)シナリオテーマ作成
　(2)外部要因分析
　(3)ドライビング・フォース見極め
　(4)シナリオマトリクス作成
3. アクションプラン作成
　(1)戦略オプション検討
　(2)アクションプラン検討
4. 振り返り

受講料 ¥49,500

オンライン コースコード HSV237
グループ演習 1日間
ケーススタディで学ぶカスタマーサクセス－顧客のリピートを生み出す世界標準のメソッド－【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、近年サブスクリプション型の収益モデルが隆盛を極める中でビジネスを成功させるために重要とされる、カスタマーサクセスの基本的な考え方について学びます。架空の企業をモデルとしたカスタマーサクセスの実践演習を通じ、ユーザーへの継続的な価値提供、信頼関係の構築のための勘所を修得します。
※このコースは22年度下期まで開催「HSV237 シミュレーションゲームで学ぶカスタマーサクセス－サブスクリプション時代の顧客との付き合い方－」コースの内容と一部重複する内容を含みます。

到達目標
・カスタマーサクセスの全体像や要諦について説明できる。
・自分の業務においてカスタマーサクセスを適用、実践するマインドが持てる。

対象者 ご自身が担当するお客さまやユーザに対して、継続的に価値を提供する、信頼関係を構築するためのノウハウを学ぶ意欲のある方。

前提知識 カスタマーサクセスの基本的な知識があること。
以下書籍を事前にお読みいただくことをお薦めします。
◆カスタマーサクセスとは何か――日本企業にこそ必要な「これからの顧客との付き合い方」弘子ラザヴィ著
◆カスタマーサクセス――サブスクリプション時代に求められる「顧客の成功」10の原則ニック・メータ他著

内　容
1. 基礎から学ぶカスタマーサクセス概論
2. BtoB企業のカスタマーサクセス実践事例
3. シミュレーションゲームを通じたカスタマーサクセスマネジメントの疑似体験
4. ケーススタディを通じたカスタマーサクセス実践計画の疑似体験
5. カスタマーサクセスに関する学びや気づきの共有

受講料 ¥95,700

オンライン コースコード HSV159
グループ演習 2日間
顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン【バーチャル・クラスルーム】

ビジネスモデルキャンバスを活用し、ビジネスモデルを可視化することで新たな価値の発見につなげます。顧客の潜在的価値発見の部分に重点を置き、ビジネスモデルを検討します。

到達目標
・ビジネスモデルキャンバスの活用方法を説明できる。
・ビジネスモデルを俯瞰し、検証する方法を説明できる。
・顧客の潜在的な価値を発見し、ビジネスモデルに反映することができる。

対象者 既存事業やサービスのビジネスモデルを検証し新たな価値を発見したい方、新規事業やサービスでイノベーションを起こしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネスモデルキャンバス
　(1)ビジネスモデルキャンバスの理解
　(2)事例をもとにしたビジネスモデルの可視化
2. 顧客の潜在価値発見
　(1)VP（バリュープロポジション）キャンバスによる検証
　(2)共感マップの理解・作成
　(3)「顧客理解」と「提供できる価値提案」を検証
3. 事例で学ぶビジネスモデルの作り方
　(1)ケーススタディ

受講料 ¥66,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン コースコード HSV209
グループ演習 1日間
デジタル時代における収益モデルのデザイン－KPIツリーによる事業性の評価－【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、ビジネスモデルが失敗する大きな原因の1つである「財務上の収支が合わない（利益を生む構造になっていない）」点に焦点を当てます。具体的には、シンプルなケースを題材にし、「仮説指向型計画法」というアプローチを活用しながら、新規事業における目標利益に大きな影響を与える不確実性要素を見つけていきます。次に、最終利益に最も大きな影響を与えるプライシング戦略、価値ベースのプライシング、差別価格や市場価格といった多様なプライシングメカニズムについて、ケーススタディを含めて学習します。

到達目標
・主要なプライシング戦略、プライシングメカニズム、顧客価値と支払意思を知ることで、利益を最大化する方法を考えることができる。
・あらゆる業種で汎用的に活用される収益モデルを知り、それらを組み合わせることで、利害関係者の多い複合的なビジネスモデルにおけるマネタイズ方法を考えることができる。

対象者
・新規事業、新サービスを作ることを求められているが、どう検討すればいいか分からず検討の枠組みがまず欲しいと感じている方。
・ビジネスモデルキャンバスにおける顧客価値の検討を終え、収益性を検討することでビジネスモデルをブラッシュアップしたい方。

前提知識 「顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン」コースを修了しているか、または同等の知識があること。または、ビジネスモデルキャンバスに関する基本的な知識があること。

内　容
1. はじめに
　(1)本講座の焦点（ビジネスモデルにおける収益の流れ/コスト構造）
2. 最終利益の実現に影響を与える要素の可視化（リバース財務ツリー）
　(1)仮説指向型計画法とは
　(2)逆損益計算書、課題明細、リバース財務ツリーの作成
3. 収益モデルとプライシング
　(1)収益モデルの5W1H
　(2)3つのプライシングメカニズムとその戦略
　(3)コストを減らし価値を増やせる要因の可視化（戦略キャンバス）
4. 多くの利害関係者との間で交換される価値の可視化（価値交換マップ）
　(1)フロント/バックエンドのステークホルダー
　(2)ステークホルダー間で交換、共有、伝達される8つの価値
5. おわりに
　(1)サービスデザインツールのご紹介

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード HSV210
グループ演習 1日間
デジタル時代における顧客接点のデザイン－顧客経験ジャーニーマップの活用－【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、まずオンラインとオフラインの間を気まぐれに行き来する新しい消費者行動（カスタマージャーニー）を描きながら、消費者のニーズに対する仮説を立てます。そして、このニーズを逃がさず新たなビジネス機会を獲得するために必要なチャネルやタッチポイント、そのうえで確立すべき顧客との関係や獲得すべきエンゲージメントについて考えます。

到達目標
・モバイル時代における顧客行動の変化（マイクロモーメント）を知る。
・購買に関する一連の顧客行動（カスタマージャーニー）とその理由の探り方が分かる。
・デジタル化経済に必要となるチャネル（タッチポイント）、顧客との関係（エンゲージメント）の組み合わせ方が分かる。

対象者
・新規事業、新サービスを作ることを求められているが、どう検討すればいいか分からず検討の枠組みがまず欲しいと感じている方。
・ビジネスモデルキャンバスにおける顧客価値の検討を終え、チャネルデザインを検討することでビジネスモデルをブラッシュアップしたい方。

前提知識 「顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン」コースを修了しているか、または同等の知識があること。または、ビジネスモデルキャンバスに関する基本的な知識があること。

内　容
1. はじめに
　(1)本講座の焦点（ビジネスモデルにおけるチャネル／顧客との関係）
　(2)どのように価値を提供するのかに焦点を当てる
2. モバイル時代における消費者行動の変化
　(1)4つのマイクロモーメント
　(2)マイクロモーメントに対する4つの戦術
3. 消費者の行動の流れと背後にある思いの物語（カスタマージャーニーマップ）
　(1)6つの購買／利用経験のステージ
　(2)カスタマージャーニーの描写
　(3)顧客との交流を支えるチャネルと顧客との関係
4. おわりに
　(1)実務活用に向けて

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード HSV213
グループ演習 1日間
デジタル時代における成果型サービスのデザイン－ジョブ理論とダブルダイヤモンドフレームワークの活用－【バーチャル・クラスルーム】

ビジネスモデルが失敗する4つの主要な原因をご存知ですか？それは　(1)価値提案とターゲット顧客のミスマッチ　(2)収益とコストのミスマッチ　(3)外部事業環境の考慮不足　(4)ビジネスモデルの実行力不足 です。
このコースでは、このなかでも(3)(4)の2点に焦点を当て、サービスを実現するための内部プロセスを、ダブルダイヤモンド（正しい課題を発見する／正しい課題解決を発見する）、ジョブ理論（人々は何かを成し遂げるためにプロダクトやサービスを雇う）の考え方をベースに、サービス実現上の課題解決をデザインします。

到達目標
・ターゲットとする業界における主要活動のゴールを達成するための重要な成果（ニーズ）を収集し、その成果の実現を阻む課題（障壁／制約）を特定できる。
・特定された課題を解決し、成果を実現するために、IoTテクノロジーを活用してヒト、モノ、データ（リソース）を結び付けるためのソリューションを、顧客（ビジネスユーザー）が理解可能な言葉で説明できる。
・顧客の成果（ROI含む）に連動した収益モデルを含む自社のビジネスモデルの全体像を描ける。

対象者
・新規事業、新サービスを作ることを求められているが、どう検討すればいいか分からず検討の枠組みがまず欲しいと感じている方。
・ビジネスモデルキャンバスにおける顧客価値の検討を終え、実現可能性を検討することでビジネスモデルをブラッシュアップしたい方。

前提知識 「顧客価値発見とビジネスモデルのデザイン」コースを修了しているか、または同等の知識があること。または、ビジネスモデルキャンバスに関する基本的な知識があること。

内　容
1. はじめに
　(1)成果経済の到来
　(2)成果指向型サービスデザインの基本的なアプローチ
2. サービス実現上の正しい課題を発見する
　(1)サービスを実現するための内部プロセスを明らかにする
　(2)望ましい成果に対する仮説を立てる
　(3)成果の実現を阻む課題の仮説を立てる
3. 解決方法をデザインする
　(1)ヒト、モノ、データを明らかにする
　(2)データをビジネス上の意思決定と結びつける
4. おわりに
　(1)実務活用に向けて
　(2)サービスデザインツールのご紹介

受講料 ¥38,500

---

eラーニング コースコード ITE006
eラーニング 4時間
<eラーニング> SLAにおけるサービスレベル設計の基礎

ITサービスの設計要素として、キャパシティ、可用性、継続性の項目を学習します。サービスレベルに基づくサービス設計の基礎を身につけます。

到達目標
・ITサービスのキャパシティ、可用性、継続性を説明できる。
・キャパシティ、可用性、継続性の基本的な設計ができる。

対象者 ITサービスの設計を行う方。

前提知識 運用管理の概要、用語など基礎知識があること。

内　容
1. ITサービスの設計の概要
2. 可用性管理の設計
3. キャパシティ管理の設計
4. 継続性管理の設計
5. 情報セキュリティの設計
6. 修了試験

受講料 ¥11,000

集合 コースコード HSJ208 休講
グループ演習 2日間
モノづくり事業をベースとした高収益サービスの創生法－Product-Service Systems（PSS）－

対象とするサービスを第3次産業によるものに限定せず、製品の製造、販売、保守、終末処理なども含め、サービスを提供者が顧客から対価を得て価値提供する行為であると定義し、サービスを工業製品と同様に工学的に設計する対象として、そのイノベーションデザインを実現するための考え方と手法を学びます。

到達目標 高い競争力を有する創造性豊かな製品とサービスの統合を実現し、市場に対してイノベーションをもたらすProduct-Service Systems（PSS）のスキルを身につける。

対象者 製品およびサービス事業に関して、イノベーションの実現手法を求めている事業企画、設計開発、品質保証、生産管理、営業、保守部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. PSSとデザイン思考の概論
2. PSSビジネスゲームEDIPSの体験
3. ペルソナモデルによる顧客像の明確化
4. 顧客シナリオの構成
5. バックキャスティング
6. 顧客シナリオからの要求価値抽出
7. PSS設計解の実現に向けた移行プランの検討

受講料 ¥198,000

イノベーション

自社の既存ビジネスや業務プロセスといった枠組みにとらわれず、社会課題起点による新たな事業をイノベーティブに検討することや、顧客の現場を観察し真の課題を浮き彫りにするためのデザイン思考に関する領域です。

イノベーション創出

新たなサービスを創出したい方、自分たちの製品・サービスを軸に、モノからコトへとビジネスを変化させたい方

レベル1

思考力/考え抜く力

HSE133 eラーニング
視座を高める
システムシンキング
音声なし・説明文有 | 6.5時間

HSV224 オンライン
イノベーティブ思考
−事業創出プロセスを
通じて学ぶ−
グループ演習 | 2日間

HSJ163 集合
クリエイティブシンキング
グループ演習 | 1日間

レベル2

Renewal
HSV247 オンライン
協創型イノベーション開発手法
(全体プロセス編)−モノとコトを
結び顧客価値創出を実現する−
グループ演習 | 2日間

レベル3

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

オンライン コースコード HSV224

イノベーティブ思考 −事業創出プロセスを通じて学ぶ−【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

マクロ環境の分析から問題定義、サービスアイディアの創出、価値検討、ビジネスモデルの評価といった事業創出の一連のプロセスを学習します。各プロセスにおいて、システム思考・デザイン思考といったイノベーティブな問題解決を進めるための思考法を使って事業創出に取り組みます。

到達目標
・事業創出の一連のプロセスを理解できる。
・仮定義された問題に対して、「なぜそれが問題なのか」を掘り下げて捉えられる。
・イテレーティブかつ解空間を広げながらイノベーティブな発想ができる。

対象者
・職種、年齢層を問わず、自組織や自分自身がイノベーティブでないと思い込んでいる方。
・自社や自チームをイノベーティブな風土にしていく最初の一歩のきっかけをつかみたい方。

前提知識 論理的思考の基礎知識があること。

内 容
1. イノベーティブ思考に必要な基礎知識
2. マクロ環境の分析
3. サービスアイディアの創出
4. 価値検討(Value Chain)
5. ビジネスモデルの評価

受講料 ¥96,800

集合 コースコード HSJ163

クリエイティブシンキング

グループ演習 1日間

イノベーションを切り開くために必須となる、クリエイティブなアイデアを閃くためのプロセスを実践演習を通して体感・学習します。

到達目標
・クリエイティブなアイデアを閃くプロセスを実体験を通して理解することができる。
・クリエイティブなアイデアを閃くために必要な思考、行動様式を知ることができる。

対象者 新しいことを考え出したいすべての方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. なぜ今クリエイティブシンキングなのか?
2. イノベーションと知識創造社会とか何か?
3. IT人財にとってのクリエイティブ、イノベーティブとは?
4. クリエイティブシンキングの実体とは?
5. なぜ、できないのか?どうすれば、できるのか?
6. どうすれば実務で活かせるのか?
7. ワークショップ
8. 最後に

受講料 ¥44,000

オンライン コースコード HSV247 Renewal

協創型イノベーション開発手法(全体プロセス編) −モノとコトを結び顧客価値創出を実現する−【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

イノベーション型の商品やサービスの開発は、従来の技術革新型開発やVOC型開発とは全く異なる開発スタイルです。本講座では、日本企業の強みや良さを活かした協創型イノベーション開発手法を、日立製品を題材にした一連の流れ(着眼/観察/アイデア検討/効果評価/仮説立案)を講義とワークショップを通じて学びます。

到達目標 日立グループに求められている『イノベーション型商品やサービスの開発』は、従来型の技術革新型開発(発明型)やVOC型開発(改善型)とは全く異なる思想の開発スタイルです。本講座では、日本企業の強みや良さを活かして実践出来る(凡人だが皆がプロの集団)、イノベーション開発の考え方ややり方(協創型イノベーション開発手法)を、講義だけでなく、日立製品を題材にした一連の流れ(着眼/観察/アイデア検討/効果評価/仮説立案)をワークショップを通じて学びます。

対象者 社会イノベーション事業の核となるイノベーティブな製品やサービスを創生しようとしている事業企画、設計開発、品質保証、生産管理、営業、保守部門の部長、課長、主任技師・主任研究員、技師・研究員など。

前提知識 自部門のビジネス、製品、サービスの内容や、対象としている顧客の内容を理解していること。

内 容
1. イノベーションとは何か?
2. ワークショップ(顧客価値創造)
   (1)顧客特定
   (2)潜在課題可視化
   (3)アイデア出し
   (4)ベネフィット定義
   (5)概念モデル(仮説)定義
   (6)方法洗い出し

受講料 ¥138,600

デジタルトランスフォーメーション
デジタル導入
セールス/フロント
サービス
イノベーション
データサイエンス
プロセス/プロダクト

データサイエンス

顧客や自社の経営・業務について、データドリブンに改革・改善するために、課題解決手法、データ分析手法、AI、機械学習など、データサイエンスに必要なビジネス・サイエンス・エンジニアリングに関する領域です。

AIリテラシー

レベル1	レベル2	レベル3

デジタル導入

AIE008 eラーニング
AI・データサイエンス基礎
音声有+説明文有 | 6時間

Renewal

AIE012 eラーニング
AIリテラシー
－AI技術の概要と活用事例－
音声有+説明文なし | 20時間

ビジネス

レベル1	レベル2	レベル3

HSV175 オンライン
データ利活用のパターンと
ビジネス着想
レクチャ | 0.5日間

AIE007 eラーニング
AIマーケティングの基礎
音声有+説明文なし | 2時間

AIE010 eラーニング
AIの活用におけるマネジメント
入門－データ分析の役割と
法令やAI倫理の注意点－
音声なし+説明文有 | 8時間

HSV198 オンライン
定量分析のスキル
レクチャ | 2日間

データサイエンス

レベル1	レベル2	レベル3

DBE062 eラーニング
Excelによる
問題解決のためのデータ分析
音声有+説明文有 | 7時間

または

OAV049 オンライン
Excelによる
問題解決のためのデータ分析
マシン実習 | 1日間

HSE116 eラーニング
データ分析手法の
理論と適用
音声有+説明文有 | 14時間

または

HSV109 オンライン
データ分析手法の理論と適用
－ビジネスにおける
統計的手法活用の広がり－
マシン実習 | 2日間

DBE052 eラーニング
自然言語処理基礎
音声なし+説明文有 | 10.5時間

Renewal

DBV153 オンライン
テキストマイニング入門
－プログラミングレスで学ぶ
テキストデータ分析の勘所－
マシン実習 | 1日間

デジタル導入

AIE009 eラーニング
日本ディープラーニング協会
（JDLA）G検定取得対策講座
（Study-AI社）
音声有+説明文なし | 24時間

HSV211 オンライン
BI活用事例に学ぶ
分析提案の進め方
マシン実習 | 1日間

レベル1 ：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方 【リテラシーレベル】
レベル2 ：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方 【ベーシックレベル】
レベル3 ：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方 【アドバンスレベル】

データサイエンス

データ処理・可視化

レベル1	レベル2	レベル3

DBE050 eラーニング
Pythonの基礎と
データ分析ライブラリ
音声なし+説明文有 | 16時間

DBE051 eラーニング
データ加工基礎
音声なし+説明文有 | 6.5時間

DBV100 オンライン
データビジュアライゼーション
基礎
マシン実習 | 1日間

DBE038 eラーニング
【スキル定着】Pythonでの
データ可視化－オープン環境を
活用した実装力の磨き方－
音声なし+説明文有 | 4時間

機械学習・ディープラーニング

レベル1	レベル2	レベル3

DBE049 eラーニング
機械学習 基礎知識編
－初めてでもOK！
データ分析を身近に－
音声有+説明文有 | 9時間

DBV120 オンライン
機械学習 ケーススタディで学ぶ
実践編－製造物の種類判別と
生産設備の故障予兆－
マシン実習 | 2日間

AIE005 eラーニング
ディープラーニング入門－AIを学ぶための基礎
知識と実装演習－：日本ディープラーニング協会
（JDLA）E資格取得対策講座（Study-AI社）
音声有+説明文なし | 40時間

AIE010 eラーニング
AIの活用におけるマネジメント
入門－データ分析の役割と
法令やAI倫理の注意点－
音声なし+説明文有 | 8時間

AIE006 eラーニング
ディープラーニング応用－応用数学と機械学習・
深層学習実践－：日本ディープラーニング協会
（JDLA）E資格取得対策講座（Study-AI社）
音声有+説明文なし | 170時間

音声有+説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有+説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし+説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

デジタルトランスフォーメーション
デジタル導入
セールス/フロント
サービス
イノベーション
データサイエンス
プロセス/プロダクト

eラーニング　コースコード AIE012　Renewal

<eラーニング> AIリテラシー −AI技術の概要と活用事例−

20時間

AIの技術やAI活用に関するリテラシーについて、学習します。

到達目標
・データの活用方針を理解し説明できる。
・AIで解決すべき課題の提起ができる。
・顧客へ技術について説明できる。
・AIエンジニアと会話ができる。
・AI構築の委託先と連携できる。
・構築できたAIの継続的な運用ができる。

対象者 AIがどんなものなのか、何ができるのかを知りたい方。知ったうえで、活用提案をする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. AIを利用する目的
2. AI技術の変遷
3. AIの定義
4. 応用分野と活用事例
5. 適切な組織設計
6. ビジネスサイドの要件
7. 契約と知的財産
8. 機械学習とは
9. 深層学習とは
10. データ関連技術
11. 人工知能をめぐる動向
12. 機械学習の手法
13. ディープラーニングの概要・手法
14. ディープラーニングの研究分野

受講料 ¥55,000

オンライン　コースコード HSV175

データ利活用のパターンとビジネス着想【バーチャル・クラスルーム】

0.5日間

IoTの事例は昨今たくさんあります。ただ、いくら事例を見ても、それだけでは自分のビジネスにおける活用は思いつきません。事例で示されるのはそのビジネス、その状況での非常に具体的な話であって、自分のビジネスとは何から何まで条件が違うのですから、どの箇所を参考にすればいいのか分かりません。適度に同じところと違うところが混在する抽象化が着想には必要となります。このコースでは、データ利活用を9パターンに抽象化し、具体的な利活用例とそれらを抽象化・整理したパターンを交互に見ることで、自らのビジネスに置き換えたデータ利活用のアイディア着想ができます。

到達目標
・データ利活用の事例をパターン化して理解できる。
・自分のドメインや担当顧客でのデータ利活用を発想できる。
・顧客と一緒に発想するワークショップのファシリテーションを自分がやってみようと思える。

対象者 フロント業務を行っており、事業案やサービス案を顧客と一緒に考える必要のある方、データを利活用したサービス提案をしなくてはいけないが顧客側でももやもやしており、着想のきっかけをつかみたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. パターン　(1)入力の手間を無くせる
3. パターン　(2)行かなくても確認できる
4. パターン　(3)判断を肩代わりする
5. パターン　(4)未然に防げる
6. パターン　(5)改善のサイクルが素早く回る
7. パターン　(6)最適配分してくれる
8. パターン　(7)問題と解決策を引き合わせる
9. パターン　(8)利害が一致する
10. パターン　(9)タイムリーにコンタクトできる
11. そして実務へ

受講料 ¥28,600

eラーニング　コースコード AIE007

<eラーニング> AIマーケティングの基礎

2時間

「AIをマーケティングに活用するノウハウ」がわかる入門コースです。マーケティング業務とAIができることを具体的に関連付けて情報を整理し、「AIマーケター」へとステップアップするための知識を身につけます。また、AIをビジネスに活用する時に考えたいことや、導入後の注意点などを紹介します。なぜAIを、業務システムなど従来のITと同じように考えてはいけないかを理解します。

到達目標
・マーケティング活動のどんなフェーズにAIを活用できるのか分かる。
・実際にAIを使ってどう解決するのかの概要が分かる。
・AI開発導入におけるリスクを理解できる。
・AIデータ分析ツールのメリット・デメリットを理解できる。
・AI導入決定後の具体的な行動について理解できる。

対象者
・AIを活用したデータドリブンなマーケティングを展開したいと考えている方。
・業務でAIを導入・活用したい方。
・AIが実際のビジネスにどう活用されているのか知りたい方。
・AIを使って何かやってみたい、ビジネスに役立てたい方。

前提知識 AI、機械学習の基礎的な知識があること。

内　容
1. AIマーケター育成コース
　(1)AIをマーケティングに活用するノウハウ
2. マスクド・アナライズの「AIビジネス活用を考える」
　(1)AIをビジネスに活用する時に考えること
　(2)導入後の注意点

受講料 ¥39,600

eラーニング　コースコード HSE116

<eラーニング> データ分析手法の理論と適用

14時間

データ分析の理論や作業スキルに加え、各分析手法を適用する際の考え方も学習します。データを手に入れてからレポートとするまでの一連の頭と手の動かし方を学習します。

到達目標
・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
・統計における各種数式の意味が理解できる。
・Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者
・データ分析におけるExcel活用を学びたい方。
・Excel操作に留まらず、データ分析の考え方のポイントを知りたい方。
・「データ分析手法の理論と適用」コースをじっくり再学習したい、集合コースを受ける前に基礎知識を身につけておきたい方。
・じっくり自分のペースで学習したい方。

前提知識 Excelの基本的な操作経験があること。かつ、「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。(20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします)

内　容
1. はじめに(データ分析力/分析計画/分析の掘り下げ)
2. データ分析手法の分類
3. QC手法の適用
　(1)ヒストグラムと基本統計量
　(2)管理図の活用(時系列図)
　(3)パレート分析　(4)散布図と単回帰分析
　(5)クロス集計とアソシエーション分析
4. 多変量解析の適用
　(1)重回帰分析　(2)数量化理論Ⅰ類
　(3)判別分析　(4)ロジスティック回帰分析
　(5)決定木分析(分類木)
　(6)クラスター分析(k-means法)
　(7)主成分分析
5. 確率と検定の適用
　(1)確率分布と検定手法の分類
　(2)区間推定
　(3)t検定(平均値の差の検定)
　(4)χ2検定(独立性の検定)
　(5)F検定(等分散の検定)
6. そして実務へ

受講料 ¥36,300

オンライン　コースコード HSV109

データ分析手法の理論と適用 −ビジネスにおける統計的手法活用の広がり−【バーチャル・クラスルーム】

2日間

このコースでは、ビッグデータの分析やデータマイニングの根底にある、データ分析の理論や作業スキルを学習します。また、理論や作業スキルにとどまらず、各分析手法をビジネスデータに適用する際の考え方もあわせて学習します。例えば、分析手法適用の際のインプットデータは、目的や仮説に基づいて抽出する必要があります。また、アウトプットの図表からは、「だから何が言えるのか」という、提言につながる考察を抽出する必要があります。このような、データを入手してからレポート作成するまでの一連の思考過程と作業を、Excelを利用した演習を通して学習します。

到達目標
・分析の目的と仮説を分析手法適用のインプットに反映できる。
・分析結果から意味を抽出し、提案や企画に活かすことができる。
・統計における各種数式の意味が理解できる。
・Excelを用いて効率よく分析ができる。

対象者 データ分析におけるExcel活用を学びたい方、Excel操作にとどまらずデータ分析における考え方のポイントを知りたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があり、かつExcelの基本的な操作経験があること。

内　容
1. データ分析手法の分類
　(1)目的によるデータ分析手法の分類
　(2)データの種類によるデータ分析手法の分類
2. データ分析手法
　(1)分析のアウトプットの意味を考える
　(2)分析のインプットデータをどうすべきか考える
　(ヒストグラム/基本統計量/時系列分析/パレート分析/単回帰分析/散布図/重回帰分析/数量化Ⅰ類/主成分分析/判別分析/クラスター分析)
3. 確率と検定
　(1)区間推定
　(2)検定(t検定/独立性の検定/分散分析)
　(3)シミュレーションへの確率分布の適用
4. そして実務へ

受講料 ¥82,500

eラーニング　コースコード DBE052

<eラーニング> 自然言語処理基礎

10.5時間

自然言語処理について学びます。文章を数値に変換する手法を学び、教師あり学習(分類)を使ってカテゴリ分類を実践します。また、自然言語処理とネットワーク分析により、日本語テキストからトピック(話題)を抽出し特性を把握する方法を学びます。さらに、ニューラルネットワークモデルを用いた自然言語処理における、前処理、具体的手法を、質問応答システムを作成しながら解説し、実装します。

到達目標
・自然言語処理の概要について理解できる。
・単語の類似性や連続性から発話の特長を捉えるモデルを実装できる。
・自然言語処理における深層学習の概要について理解できる。
・RNN、LSTMの概要について理解できることができる。
・基本的な回答文選択システムを構築することができる。

対象者
・自然言語処理の基本に興味のある方。
・深層学習を用いた自然言語処理に興味のある方。

前提知識 Pythonの基礎的な知識と、基本的なライブラリ(NumPy、Pandas算)、Matplotlibなど)についての知識があること、もしくは「Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ」eラーニングコースをを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. 自然言語処理基礎
　(1)文章の単語分割と正規化
　(2)自然言語のベクトル表現
2. 日本語テキストのトピック抽出
　(1)形態素解析
　(2)単語の類似性から発話の特長
　(3)単語の連続性から発話の特長
3. 自然言語処理を用いた質問応答
　(1)基礎編：自然言語処理における深層学習
　(2)実践編：回答文選択システムの実装

受講料 ¥66,000

オンライン　コースコード HSV198

定量分析のスキル【バーチャル・クラスルーム】

2日間

問題発見と解決の具体的な流れに従い、お客さまの課題を捉え、提案・解決する能力を学習します。演習での失敗、気付き、成功体験を通して、大量データに自身が惑わされず何を読み取り、どう扱うか学習します。

到達目標
・問題発見・解決のプロセスを理解し、問題を定量的に捉えられる。
・お客さまのビジネス上の課題を構造的に捉え企画・提言ができる。

対象者
・論理的思考を活用しながらビジネスにおける課題を数値的に捉えたい方。
・大量のデータを読み解き、企画・提案につなげたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに(ケース学習の概要と経験学習のご説明)
2. 目的の明確化と意味合いの抽出の重要性
3. 仮説立案の重要性と合理的決定の方法
4. 仮説立案、解析準備, 解析・検証のサイクル
5. そして実務へ - 実務での適用に向けた分析計画 -
6. 2日間の振り返り

受講料 ¥82,500

eラーニング　コースコード DBE062

<eラーニング> Excelによる問題解決のためのデータ分析

7時間

業務で利用するデータをどのように分析し、問題解決につなげるか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を用いて学習します。

到達目標
・データ分析のプロセス(データを読むことで問題を把握し、原因仮説を立て、データによって検証し、実際に行動に移す施策を決め、実行した施策をデータで評価する)を理解できる。
・データ分析のための可視化(グラフ)の種類と各グラフを使った分析の計画に立て方、各グラフの作り方、読み方を理解できる。
・自分の業務でのダッシュボード案を考えることができる。

対象者
・Excelのデータを用いて、問題解決のためのデータ分析における基礎的なスキルを修得したい方。
・データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. 分析によって問題を見つける
3. 分析によって原因を考えるのを助ける
4. 分析によって施策の効果を確かめる
5. 自分の業務への適用に向けて

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード OAV049

Excelによる問題解決のためのデータ分析【バーチャル・クラスルーム】

1日間

業務で利用するデータをどのように分析し、問題解決につなげるか、一連の分析プロセスを理解しながら、Excelの分析機能を用いて学習します。

到達目標
・データ分析のプロセス(データを読むことで問題を把握し、原因仮説を立て、データによって検証し、実際に行動に移す施策を決め、実行した施策をデータで評価する)を理解できる。
・データ分析のための可視化(グラフ)の種類と各グラフを使った分析の計画に立て方、各グラフの作り方、読み方を理解できる。
・自分の業務でのダッシュボード案を考えることができる。

対象者
・Excelのデータを用いて、問題解決のためのデータ分析における基礎的なスキルを修得したい方。
・データは手元にあるが、その活用方法を模索している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. 分析によって問題を見つける
3. 分析によって原因を考えるのを助ける
4. 分析によって施策の効果を確かめる
5. 自分の業務への適用に向けて

受講料 ¥37,400

オンライン　コースコード HSV211

BI活用事例に学ぶ分析提案の進め方【バーチャル・クラスルーム】

1日間

データ活用提案をする際には、顧客要望や顧客の持つデータのパターンに応じて、分析のストーリーを提示できる必要があります。このコースでは、どのような点に注意して提案活動を進めていくのかを実例の紹介・BIツール(QlikSense)を用いた演習を交えて学習します。

到達目標
・BIツールで何ができるか理解できる。
・データを前にして、ステークホルダに提示する可視化(図表)が複数パターンイメージできる。

対象者
・データ分析の企画・提案をする/される立場の方。
・BIツールを活用した分析提案を検討および実行している方。
・BIツールの社内導入を検討および実行している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. BIツールを中心とした分析提案の進め方
　(1)分析提案のプロセス(要件ヒアリング/概念検証/提案スペックの確定/見積の作成)
　(2)分析提案事例(特定APPへの帳票・分析機能追加/既存BI環境のリプレース/SaaS型サービスへの機能付加/UPへの分析機能追加)

受講料 ¥59,400

オンライン　コースコード DBV153　Renewal

テキストマイニング入門 −プログラミングレスで学ぶテキストデータ分析の勘所−【バーチャル・クラスルーム】

1日間

テキストマイニングツールの基本技術を学習します。テキストマイニングの分析の流れを、テキストマイニングツールを使いながら体感します。また事例を通じ、テキストマイニングを進めるうえでの勘所を理解します。なお、テキストマイニングツールは「CoreExplorer」を使用します。

到達目標
・テキストマイニングの基礎技術を説明できる。
・テキストマイニングの流れを理解し、分析を実行できる。
・テキストマイニングを進めるうえでの注意点を説明できる。

対象者
・業務上扱う分析データにテキストデータが多い方。
・テキストマイニングツールを活用した分析提案を検討している方。
・テキストマイニングツールの社内導入を検討している方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. テキストマイニングとは
2. テキストマイニングの進め方
3. グループ演習
4. 応用事例紹介
5. 分析事例に見る勘所

受講料 ¥41,800

eラーニング　コースコード DBE050

<eラーニング> Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ

16時間

機械学習で最も使われるプログラミング言語「Python」の基礎を学びます。文字の出力、変数の概要、条件分岐、ループなど、「Python」の基本的な使い方を身につけます。また、「Python」のベクトルや行列計算を高速に行うためのライブラリ「NumPy(ナンパイ)」の基礎、データ分析用ライブラリ「Pandas(パンダス)」の基礎を学びます。さらに、Matplotlibを用いてデータを可視化する方法を学びます。折れ線グラフ、円グラフ、ヒストグラム、3Dグラフを作成を学びます。

到達目標
・Pythonの基本的な操作ができる。
・NumPyの概要について理解できる。
・NumPyの基本的な操作ができる。
・Seriesの生成などPandasの基本的な操作ができる。
・DataFrameの連結・結合などのPandasの応用的な操作ができる。
・グラフの種類やそれぞれの長所を理解できる。
・Matplotlibを使用して、さまざまなグラフを作成できる。

対象者
・Pythonを体系立てて学習したい方。
・機械学習を実装したい方。
・定量データ解析やデータの可視化、グラフの作成をしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめてのPython
　(1)Pythonについて、変数と型、プログラミングらしい処理
2. Python基礎
　(1)はじめに、複数の値を持つ型、for文によるループ処理、関数、クラス、ライブラリ
3. ライブラリ「NumPy」基礎(数値計算)
　(1)NumPyによるベクトル, 行列計算
4. ライブラリ「Pandas」基礎(表計算)
　(1)Pandasによる数表、時系列計算
5. ライブラリ「Matplotlib」基礎(可視化)
　(1)Matplotlibによるデータ可視化

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード DBE051

<eラーニング> データ加工基礎

6.5時間

データクレンジングとは、機械学習モデルにデータを読み込ませるために、データの欠損値や画像の前処置を行う手法です。CSVデータの扱い方や欠損値の処理、OpenCVを用いた画像加工の方法などを学びます。また、Pythonで機械学習を行う際に必要となるさまざまな前処理を学びます。CSV・Excel・DBからのデータの取得、欠損値への対応方法、不均衡データの調整方法、データのスケール調整や、縦持ち横持ち変換など、実務で必須となる前処理を、ライブラリを使ったコード例を確認しながら修得します。

到達目標
- 機械学習における前処理の概要について理解できる。
- lambda式やリスト内包表記を使用できる。
- DataFrameを用いたデータクレンジングができる。
- OpenCVを使用して、画像の前処理ができる。
- 欠損値、外れ値、不均衡データの取り扱いについて理解できる。

対象者
- データクレンジングの考え方を学習したい方。
- 画像データの前処理を学習したい方。
- Pythonを使った機械学習におけるチューニングを学習したい方。

前提知識 Pythonの基礎的な知識と、基本的なライブラリ（NumPy、Pandas算）、Matplotlibなど）についての知識があること、もしくは「Pythonの基礎とデータ分析ライブラリ」eラーニングコースをを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. データクレンジング
   (1)lambdaやmapなどの便利なPython記法
   (2)DataFrameを用いたデータクレンジング
   (3)OpenCVの利用と画像データの前処理
2. 機械学習におけるデータ前処理
   (1)機械学習における前処理概要
   (2)データの取得
   (3)欠損値・外れ値・不均衡データの取り扱い
   (4)データの変換

受講料 ¥44,000

オンライン　コースコード DBV100

データビジュアライゼーション基礎【バーチャル・クラスルーム】

1日間

データ可視化について、計画の立てるプロセス・各手順での考え方を学習します。オープンソースのアプリケーションを使用したデータの可視化手順を学習します。
※このコースはデータ可視化の「考え方」の基礎です。研修ではPythonを扱いますが、実装のプログラミングスキル向上は対象としておりませんのでご注意ください。また、Pythonのプログラミングスキルがあることはこのコース受講の必須条件ではありません。

到達目標 役立つ可視化の計画を考える思考プロセスを理解できるオープンソースのアプリケーションを活用したデータの可視化の実装の手順のイメージを持てる（※ただし実装のためのプログラミングが中心ではございませんのでご注意ください）。

対象者 データの可視化スキルを必要とする方。例えば、オープンデータの有効活用のために幅広いユーザに使いやすい画面での公開を考える必要がある、データ利活用の提案や構築において一般的なチャートとは異なる魅せ方を必要とする、データ開示系のデータを利活用した新サービスを考案する必要がある方。

前提知識 プログラミングについてコードが読める程度の基礎知識があること。

内　容
1. データビジュアライゼーション概要
   (1)データビジュアライゼーションとは何か、なぜ必要なのか
   (2)どのようにすればデータビジュアライゼーションは実現できるか
2. データビジュアライゼーションの基本
   (1)何を表現するか
   (2)どう表現するか
3. Webアプリを使った実装方法
   (1)実装ワークフローに沿った実装
   (2)スキルアップのための試行錯誤の進め方
   (3)今後の学びのために役立つアプリの紹介
4. 可視化計画の立て方
5. まとめ
   (1)今後のスキルの磨き方

受講料 ¥53,900

eラーニング　コースコード DBE038

<eラーニング>【スキル定着】Pythonでのデータ可視化 −オープン環境を活用した実装力の磨き方−

4時間

さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレパートリーを増やします。繰り返し実装することで、Pythonでのデータ活用の流れの定着を図ります。Python実行環境はJupyterです。Python実行環境につきましてはご自身で用意をお願いします。

到達目標
- Pythonを使った可視化の実装ができる。
- オープンな環境を利用してどのように学び（自己学習）を深めればいいか理解できる。

対象者
- Pythonのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。
- Pythonの基本は分かったので腕試ししたい方。

前提知識 「Python入門−データ分析での活用をテーマとして−」コースを修了しているか、または同等の知識（Pythonを実装できる環境構築やPythonの基本構文・データ構造の理解）があること。

内　容
1. データ可視化とは
   (1)データ可視化の目的
   (2)データ可視化の種類
   (3)データ可視化の手順
   (4)データ可視化のセオリー（データインク比、データ濃度、表現方法の選択）
2. Pythonを使ったデータ可視化の進め方
   (1)ライブラリの種類と目的に応じた選択
   (2)可視化に使える主なWebアプリとその選択
   (3)学習に使えるオープンデータとソースコード
3. Pythonによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装
   (1)平行座標プロット
   (2)散布図行列
   (3)ヒートマップ
   (4)デンドログラム
   (5)ワードクラウド
   (6)コロプレス地図
   (7)ネットワーク図
   (8)アニメーションバブル図

※ご紹介する可視化手法は予告なく変更する場合があります

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード DBE049

<eラーニング> 機械学習 基礎知識編 −初めてでもOK！データ分析を身近に−

9時間

このコースは、データマイニングの代表的な方法論である「CRISP-DM」に沿って、予測モデルを構築する一連の流れおよびモデルを構築するために必要な各種分析手法を学習します。ご受講時には、ソフトウェアをインストール可能なPCを用意いただくことを推奨します。PCを用意いただくことで、画面の解説に従ってソフトウェアをインストールおよびハンズオンで確認しながら学習することができます。このコースを受講することで、今までよりもデータ分析を身近に感じていただくことができます。

到達目標
- データマイニングの基本プロセスを説明できる。
- 多変量解析やクラスター分析、決定木分析などデータマイニングの基本的な手法を説明できる。

対象者
- データ活用案件において、アナリティクスを担当する必要がある、したい方。
- 実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要があると思われる方。
- 予測モデルの手法を体系的に学びたい方。
- 「機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編」を受講される方。

前提知識
- 一次方程式の関数（y=f（x））がわかること。
- ソフトウェアのインストールができること。
- 平均や分散、標準偏差など基本統計量について理解できていること。

内　容
1. データマイニング概要
2. データの理解
3. データの準備
4. モデリング
5. 評価と展開

受講料 ¥39,600

オンライン　コースコード DBV120

機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編 −製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−【バーチャル・クラスルーム】

2日間

「機械学習 基礎知識編−初めてでもOK！データ分析を身近に−」eラーニングコースで学んだ手法を駆使してモデル構築のケーススタディを行います。ケーススタディは2種類あり、データ分析の結果を大きく左右する「データ磨き（バリューアップ）」の要所を二段階で修得します。業界動向はじめ現場のリアルなやり取りなど実践に役立つ情報を提供します。

到達目標
- 予測モデル構築の一連の流れが理解できる。
- データの背景にある顧客業務を理解できる。
- 預かった生データを分析用のデータセットとして磨き上げることができる。
- 最適なモデルを決めるため、複数の手法でのパフォーマンスを比較できる。

対象者
- データ分析作業を担当する方、またはしたいと考えている方。
- データ分析提案にあたり、実際のモデル構築がどんな作業になるかを知っておく必要がある方。
- モデリングの検討手順が分からず、データ分析の学習に迷われている方。
- 予測モデルの手法を体系的に学びたい方。

前提知識 「機械学習 基礎知識編−初めてでもOK！データ分析を身近に−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
   (1)オリエンテーション
   (2)基礎知識編（eラーニング）の学習内容のおさらい
2. ケース演習
   (1)データから顧客の業務や運用を推測して質問に纏める
   (2)データ汚れの有無をデータ検査ノードや各種グラフを使って確認する
   (3)複数の手法でモデリング
   (4)精度評価とチューニング
   (5)レポート化
   - ケーステーマ例1:製造メーカーにおける種別判別を99%を超える精度で判別するモデルの構築
   - ケーステーマ例2:品質検査におけるばらつきの原因推定モデルの構築
3. おわりに

受講料 ¥108,900

eラーニング　コースコード AIE005

<eラーニング>ディープラーニング入門 −AIを学ぶための基礎知識と実装演習− ：日本ディープラーニング協会（JDLA）E資格取得対策講座（Study-AI社）

40時間

AIを実装するための基礎について学習します。

到達目標
- AIの基礎理論を理解し説明できる。
- 機械学習に必要なPythonの基礎的な文法を理解し説明できる。
- AIに使われる数学や数式を理解し説明できる。

対象者
- 0からAIを実装できる基礎を身につけたい方。
- AI実装検定A級の取得をめざす方。
- E資格の取得をめざす方。

前提知識 因数分解など、中学レベルの数学知識を有すること。

内　容
1. 超AI入門講座
   (1)AI基礎 1 - ニューラルネットワークの順伝播（実装ベース解説/閲覧のみ）
   (2)AI基礎 2 - ニューラルネットワークの逆伝播（実装ベース解説/閲覧のみ）
   (3)AI基礎 3 - 手書き文字の認識（実装ベース解説/閲覧のみ）
2. AIを学ぶための本格Python講座
   (1)はじめてのPython
   (2)Pythonの基礎
   (3)ライブラリ
   (4)NumPy
   (5)Pandas
   (6)MatplotlibとSeaborn
   (7)Scikit-learn
3. AIを学ぶための本格数学講座
   (1)基礎数学
   (2)微分
   (3)線形代数
   (4)確率統計

受講料 ¥55,000

eラーニング　コースコード AIE010

<eラーニング> AIの活用におけるマネジメント入門 −データ分析の役割と法令やAI倫理の注意点−

8時間

「データサイエンス」や「データサイエンティスト」という言葉に興味があるビジネスパーソンを対象とした入門講座です。データサイエンスとは何か？データ分析でできること、データサイエンティストに求められるスキル、データ分析・AIプロジェクトの進め方について、初心者にもわかりやすく解説しています。また、AIビジネスにどのような法律が関わることになるのかと、近年議論が高まりつつあるAI倫理に関して、AIの開発・運用プロセスに沿って、その全体像を明らかにします。

到達目標
- データサイエンスの概要とデータサイエンティストがどういった役割を担うかがわかる。
- データ分析・AIプロジェクトの進め方がわかる。
- AIビジネスに関わる法律とAI開発契約について注意すべき点を把握している。

対象者
- データサイエンスやデータサイエンティストの概要を知り、ビジネスにデータサイエンスを生かしたいと考えている方。
- AIプロジェクトのマネジメントや推進を行うにあたっての基礎知識を知りたい方。
- AI開発の発注を検討しており、ビジネスでAIを扱う際に気をつけるべき法律やAI倫理といった知識を身につけたい方。
- これから機械学習の準備を進めるにあたって、教師データを作成する手法を知りたい方。

前提知識
- Excelの基本的な操作ができること。
- 「教師データ」の定義と役割を理解していること。
- 一般的なプロジェクトマネジメントについての知識を有すること。

内　容
1. ビジネス統計学入門
2. AIビジネスの法律入門
3. 画像認識モデル精度向上のための重要テクニック 画像アノテーション実践
4. ビジネスパーソンのためのデータサイエンス入門
5. AIプロジェクトマネジメント
6. 製造業のAI活用（導入事例）
7. AI固有のリスクと品質保証

受講料 ¥132,000

eラーニング　コースコード AIE006

<eラーニング>ディープラーニング応用 −応用数学と機械学習・深層学習実践− ：日本ディープラーニング協会（JDLA）E資格取得対策講座（Study-AI社）

170時間

実務で必要な周辺処理や実践手法を中心に、ディープラーニングに関する知識や技術を、数理的な基礎原理から体系的に学習します。

到達目標
- ディープラーニングの理論を理解し適切な手法を選択して実装ができる。
- E資格試験（日本ディープラーニング協会主催）に合格できる知識や技術の基礎を修得する。

対象者
- ディープラーニングを実装するエンジニアとしての技能を修得したい方。
- E資格試験（日本ディープラーニング協会主催）の合格をめざす方。

前提知識 高校数学までの数学知識、プログラミング経験を有すること。
※プログラミングの言語は問わない。

内　容
1. 応用数学
2. 機械学習
3. 深層学習
4. 開発・運用環境

※各項目の詳細は、下記のJDLA Webサイトのシラバスをご参照ください。
https://www.jdla.org/certificate/engineer/
なお、シラバスは定期的に見直しされます。シラバス見直しに伴い、このコースへの申込・受講のタイミングで、学習項目、研修時間等が予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

受講料 ¥341,000

プロセス/プロダクト

製造現場におけるデジタル技術の活用による製造ライン・業務プロセス改革といったオペレーション、エンジニアリングの高度化や、製品のコネクティッド化など、デジタル技術活用による高付加価値化に関する領域です。

製造業のDXリテラシー

製造業のDXの基礎知識

レベル1

HSV241 オンライン
製造業のDX基礎
−スマートファクトリーへの第一歩−
レクチャ | 0.5日間

デジタライゼーションの基礎技術

レベル1

デジタル導入
IOE012 eラーニング
デジタル時代に必要なIT技術概説
音声有 説明文有 | 8時間

DBE066 eラーニング
量子コンピュータの基礎とビジネス動向
音声有 説明文有 | 3時間

プログラミング・情報技術
IOV001 オンライン
IoT概説
レクチャ | 0.5日間

IOV023 オンライン
IoT技術解説
−最新技術動向・適用事例編−
レクチャ | 0.5日間

Renewal
IOE013 eラーニング
IoT技術解説
IoTネットワーク編
音声なし 説明文有 | 3時間

IOE011 eラーニング
コトづくり現場における
IoT無線ネットワークの
要点と選び方
音声有 説明文有 | 2時間

Renewal
IOE014 eラーニング
IoT技術解説　5G編
音声なし 説明文有 | 2.5時間

Renewal
IOE015 eラーニング
IoT技術解説
セキュリティ編
音声なし 説明文有 | 3時間

データサイエンス
Renewal
AIE012 eラーニング
AIリテラシー
−AI技術の概要と活用事例−
音声有 説明文なし | 20時間

デジタル導入
AIE008 eラーニング
AI・データサイエンス基礎
音声有 説明文有 | 6時間

IOJ025 集合
IoT活用技術
（システム基礎編）
マシン実習 | 3日間

AIE011 eラーニング
マテリアルズ・インフォマティクス（MI）リテラシー講座
−データ活用による効率的な材料開発−
音声有 説明文なし | 2.5時間

プログラミング・情報技術
DBV137 オンライン
プログラミング活用術
−面倒な定型業務はPythonで自動化しよう−
マシン実習 | 1日間

ミドル・アプリケーション製品
RPV021 オンライン
Power Platform入門
（Power Automate Desktopによる RPA活用編）
マシン実習 | 1日間

休講 RPV020 オンライン ※
Power Platform入門
（Power Appsによる ローコードアプリ活用編）
マシン実習 | 1日間

デジタル導入
SPV080 オンライン
やってみようDX
−ローコードプログラミングによる業務のDX−
マシン実習 | 1日間

※RPV020の個別開催については別途お問い合わせください。

レベル1：デジタル技術や数理・データサイエンス・AIに関する基礎素養を身に付けたい方　【リテラシーレベル】
レベル2：デジタル技術やデータを活用することで自社内の業務改善を図りたい方、お客さまのDXに対する課題を見つけ、サービスを企画・提案・実装したい方　【ベーシックレベル】
レベル3：事業マネジメント・業務改革のためにDXを推進したい方、DXに関するサービスやプロダクトを事業化・サービス化したい方　【アドバンスレベル】

各業界の業務理解

レベル1

目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）
HSE134 eラーニング
サプライチェーンマネジメント（SCM）基礎−世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて−
音声なし 説明文有 | 3時間

エンジニアリングの高度化

レベル1

機械・設計技法
OTV012 オンライン
伝熱工学＋CAE解析＋機械学習の取り入れた最適化技術
グループ演習 | 0.5日間
事前学習（eラーニング）6時間

オペレーションの高度化

レベル1

DBV144 オンライン
数理最適化における定式化の基礎
−顧客課題を数式で表す−
マシン実習 | 1日間

DBE067 eラーニング
数理最適化問題に対する実践的なアプローチ−Pythonで数理最適化問題を解く−（Aidemy社）
音声なし 説明文有 | 4時間

製造・モノづくり基盤技術
OTJ024 集合
産業用ロボットの教示と基本操作習得
マシン実習 | 3日間

レベル2

データサイエンス
DBE049 eラーニング
機械学習 基礎知識編
−初めてでもOK！データ分析を身近に−
音声有 説明文有 | 9時間

DBV120 オンライン
機械学習 ケーススタディで学ぶ実践編−製造物の種類判別と生産設備の故障予兆−
マシン実習 | 2日間

プログラミング・情報技術
Renewal
DBV154 オンライン
NVIDIA Deep Learning Institute（DLI）認定コース
AIを応用した予知保全
マシン実習 | 1日間

プロダクトのコネクティッド化

レベル2

イノベーション
Renewal
HSV247 オンライン
協創型イノベーション開発手法（全体プロセス編）−モノとコトを結び顧客価値創出を実現する−
グループ演習 | 2日間

Renewal PDU
IDV003 オンライン
（PDU）IoTコンセプトデザイン
−IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−［アイ・ラーニング ライブ配信］
レクチャ | 1日間

New
DBV150 オンライン
IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発ワークショップ
−アイデア発想からマネタイズまで−
グループ演習 | 1日間
事前学習（eラーニング）1時間

レベル3

サービス
休講 HSJ208 集合
モノづくり事業をベースとした高収益サービスの創生法−Product-Service Systems（PSS）−
グループ演習 | 2日間

音声有 説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード HSV241

レクチャ 0.5日間

製造業のDX基礎 ―スマートファクトリーへの第一歩― 【バーチャル・クラスルーム】

製造業においてスマートファクトリーを実現するためにはデジタル・トランスフォーメーション（DX）、すなわちデータ活用によるプロセス改革が不可欠です。このコースでは、スマートファクトリーの実現に向けて必要となる工場の基本知識を学びます。その後、設計、品質、納期、セールス&オペレーション・プランニング（S&OP）の課題を解決するためにデータがどのように活用されているかを学びます。

到達目標
・工場の基本的な用語、仕事について理解できる。
・設計、品質、納期、セールス&オペレーション・プランニング（S&OP）のDXの基本的な考え方を理解できる。

対象者
・自社の製造拠点のDXに関わる方。
・お客さまの製造拠点のDXに関わる営業・SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 工場の製造システム
2. 設計のDX
3. 品質のDX
4. 納期のDX
5. S&OPのDX
6. これからの工場のDX

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード DBE066

eラーニング 3時間

<eラーニング> 量子コンピュータの基礎とビジネス動向

この数年、業界で世界的に競争が激化している量子コンピュータ関連の知識を学ぶことができます。量子コンピュータの技術概要、ビジネス適用の見取り図、動向を解説することで、将来の導入のために営業、フロントSE、エンジニアの方が必要となるスキルを学習します。

到達目標
・量子コンピュータの技術概要を理解できる。
・量子コンピュータのビジネス適用の概要を理解できる。
・量子コンピュータ関連の業界動向を理解できる。

対象者 営業、フロントSE、エンジニアの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 量子コンピュータの基礎
2. 量子物理学、および量子アルゴリズムの概略
3. 量子コンピュータのビジネス適用と業界動向

受講料 ¥16,500

集合 / コースコード IOJ025

マシン実習 3日間

IoT活用技術（システム基礎編）

このコース、OT（Operational Technology：運用技術）とIT（Information Technology：情報技術）の融合を体験できるIoT（Internet Of Things）活用実践講座です。システム基礎編では、センサからのデータ収集、マイコンでの前処理、ネットワークを経由したデータベース格納、Excelによるデータベースアクセスまで幅広い知識と技術の体験ができる講座です。

到達目標
・IoTシステム（IoTデバイス、IoTサーバ）を構築する技術（センサ、ハードウェア、ネットワーク、データベース、見える化）を理解できる。
・IoTシステム開発総合演習を通して、IoTシステムの企画力、開発力を向上できる。

対象者 IoT実現のためのシステム構築・データ収集に興味を持つ若手技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IoT概論
2. システム設計例
3. マイコンボード（Raspberry Pi）の使い方
4. Python演習
5. 電子工作の基本
6. ネットワークの基礎
7. データベースの基礎
8. Excel-VBAによる解析
9. 総合演習（センサデータをマイコンで前処理しデータベースに格納、PCで解析しネットワーク経由でマイコンにフィードバック）

受講料 ¥198,000

オンライン / コースコード IDV003 Renewal

レクチャ 1日間

（PDU）IoTコンセプトデザイン―IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する― 【アイ・ラーニング ライブ配信】PDU

このコースは、IoTを活かしたビジネスコンセプトやサービスを立案するスキルを修得します。サービスや製品の開発では企画案の「コンセプト」段階で、成否の方向性が決まります。多くのモノがインターネットに繋がり新機器やサービスが続々生まれる今、社内・社外向けに新サービスの企画検討の課題が浮上します。まず、IoTの本質と社会への影響、ビジネスへの変化等、IoTの企画で考え始める、考えるべきポイントについて、具体的な事例を踏まえながら説明します。さらに新ビジネスの創造の可能性、コンセプトを具体的な手順を示しながら学びます。IoTの概要から、活用分野、自社適用やサービスの作り方等、自社社内での企画案までの一連のサービス開発の流れに沿って学びます。第一線で活躍中の工業デザイナーによる研修。初心者かつ技術者でなくても分かり易く丁寧にIoTやIoTを含めたサービスを、ワークショップや演習を交えて説明します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標
1. IoTビジネスの概要、適用を理解できる。
2. 自社でIoTビジネス開発、取扱いや販売を行う方法を検討・立案する手順を理解できる。
3. 新商品・サービス企画を纏めるプロセスを理解できる。

対象者 営業職、エンジニア職の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. IoTと社会背景
2. IoTの基本構成
3. 身近なIoTの事例
4. IoT実践へのアプローチ
5. IoTコンセプトをデザインする
   （1）顧客のウォンツを探索する
   （2）既存商品を起点に考える
   （3）データ活用アイデアを出す
   （4）基本コンセプトを立案する
   （5）ビジネスモデルを構築する
   （6）プレゼンテーション

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード DBV150 New

グループ演習 1日間

IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発 ワークショップ―アイデア発想からマネタイズまで― 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

このコースは基礎知識を事前動画（1時間）にて学習いただき、研修当日（1日）は演習中心に進めます。ネットワークにつながるモノといえば、これまではPCや携帯電話・スマホが中心だったのが、今ではあらゆるモノへと広がっています。このネットワークにつながるモノ（コネクテッドプロダクト）から生み出される膨大なデータを分析し、新たな価値を見出すことで、ハードウェア売り切りからサービスに対する継続課金へと、ビジネスが変わってきています。このコースでは、事前学習、ワークショップを通して、IoTによるコネクテッドプロダクトが生み出す価値を学んでいただくとともに、その企画・開発プロセスと各プロセスで押さえるべきポイントを修得いただきます。

到達目標
・IoTによるコネクテッドプロダクトが生み出す価値を理解する。
・修得したIoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発プロセスに沿ってアイデアを具体化できる。

対象者
・IoTによるコネクテッドプロダクトの企画・開発に関わる方。
・今後、IoTを活用した新たなサービスを企画・開発したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：1時間）
1. IoTとIoTを支える技術
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。なお、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください 。

【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）1日
2. IoTプロダクトの可能性
3. IoTプロダクトを伴うビジネスの事業化
4. IoTアイデア創成ワークショップ
   （1）アイデア書き出し&共有&絞込み
   （2）サービス／ターゲット／機能的価値
   （3）システム／コンセプト検証／マネタイズ
   （4）グループ発表会／講評

受講料 ¥71,500

eラーニング / コースコード AIE011

eラーニング 2.5時間

<eラーニング>マテリアルズ・インフォマティクス（MI）リテラシー講座 ―データ活用による効率的な材料開発―

マテリアルズ・インフォマティクス（MI）は、データを活用することで効率的な材料探索を実現可能とする材料開発手法であり、政府の「マテリアル革新力強化戦略」において、重要な基幹技術の一つに位置付けられています。MIにより、材料品質向上、開発リードタイムの短縮、未知の材料の発見などにつながると期待されています。このコースでは、MIの概要、導入事例、導入プロセスについて学習します。

到達目標
・MIの定義から、その概要について理解する。
・MIの導入事例について理解する。
・MIに関する基礎技術を理解する。
・実際にMIの導入を進めていくためのプロセスを理解する。

対象者
・MIの定義や概要、導入事例について知りたい方。
・MIで使われている技術や導入プロセスについて知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 近年のデジタル革新
2. MIの定義と目的意義
3. MIの先進事例
4. 基礎的な技術アプローチ
5. MI導入の進め方

受講料 ¥88,000

オンライン / コースコード DBV144

マシン実習 1日間

数理最適化における定式化の基礎 ―顧客課題を数式で表す― 【バーチャル・クラスルーム】

数理最適化により顧客課題を解決するためには、顧客課題を数式で表すことが必要不可欠です。本研修では、まず、数理最適化問題の種類と特長について学習します。次に、実ビジネスにおける典型的な課題を例に取り上げて、目的関数と制約条件に分解し、数式として表現する考え方を学習します。最後に、定式化した問題をExcelで解く演習を通じて、定式化の理解を深めます。演習ではExcelを使います。

到達目標
・典型的な課題（ケース）から目的関数と制約条件を抽出し、目的関数と制約条件を適切に数式で表現することができる。
・Excelを用いて、簡単な数理最適化問題を解くことができる。

対象者
・数理最適化について知りたい方。
・顧客から行動判断の支援を求められている、または顧客データからソリューションを導出することを考えている等の営業、フロントSE、エンジニアの方。
・多くの顧客業務制約の下で、評価指標を改善するための数理的な手法をお探しの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに　数理最適化の概要
2. 数理最適化における定式化
3. 演習　Excelソルバーを使った数理最適化問題の求解
4. おわりに　数理最適化を実問題へ適用するために

受講料 ¥49,500

eラーニング / コースコード DBE067

eラーニング 4時間

<eラーニング> 数理最適化問題に対する実践的なアプローチ ―Pythonで数理最適化問題を解く―（Aidemy社）

このコースでは、数理最適化の概要を学んだ後、Pythonを用いて数理最適化問題を解く方法を学びます。また、数理最適化の基本問題、実践問題をPythonで解く演習に取り組んでいただきます。

到達目標 Pythonを用いて数理最適化問題を解く方法を修得する。

対象者
・数理最適化の活用・実装を検討しているエンジニアの方。
・データサイエンティストとしてのスキルを向上したい方。

前提知識
・Pythonの基本構文を知っていること。
・数理最適化の概要を知っている、または典型問題を知っていること。

内 容
1. 現場で役立つPython×数理最適化：入門編
   （1）数理最適化とPython
   （2）集合分割問題
   （3）ナップザック問題
2. 現場で役立つPython×数理最適化：実践編
   （1）業務割振り
   （2）ロボットの最短経路探索
   （3）配送計画

受講料 ¥44,000

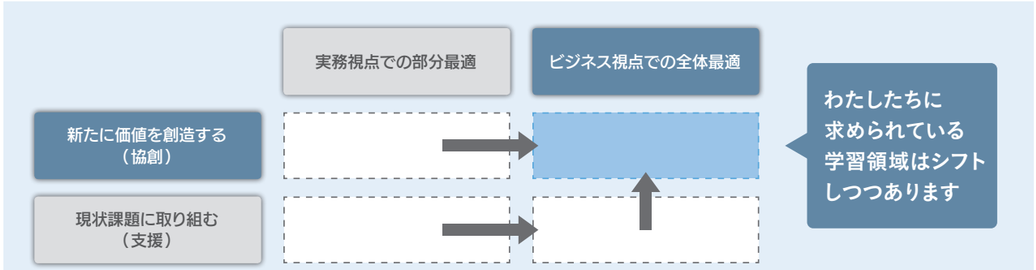
ビジネススキル修得のための推奨　講座体系 ～変化の激しい時代を生き抜くために～

今、わたしたちに求められる経営の視点

DX・AIをはじめとする最新技術が融合した市場・社会のパラダイムシフトに企業が応えるためには、企業活動と技術との融合を継続的に進化（深化）させていくことが必要です。そんな変化の激しいビジネスにおいて働くわたしたちは「自分の実務を知るだけの人」で良いのでしょうか。

技術の発展とその活用は、もはや会社経営において無くてはならない時代になりました。すなわち、それら技術に関わるわたしたち全員が、お客さまの経営視点に立って事業上の課題を特定・解決するべきであるといえます。そのためには、戦略的思考、計数管理、人間的管理といった経営基礎知識を身につけ、実務においてそのスキルを発揮することが不可欠となります。よって、自分の担当する実務の知識・スキルの獲得はもとより、ビジネスのあらゆる場面を支える広範囲な知識修得が求められるとともに、会社がわたしたちに期待する役割も、もはや現場の業務範囲内にとどまらず、ビジネス視点で全体最適な解決策を提案することといえます。

技術と社会が融合する世の中で成功するには、みなさんの「企業経営の視点からの協創」が不可欠です。わたしたちは時代の変化に対応し学習の領域を拡げていくことが望まれています。



あわせて見直したい！ 人生100年時代の「社会人基礎力」

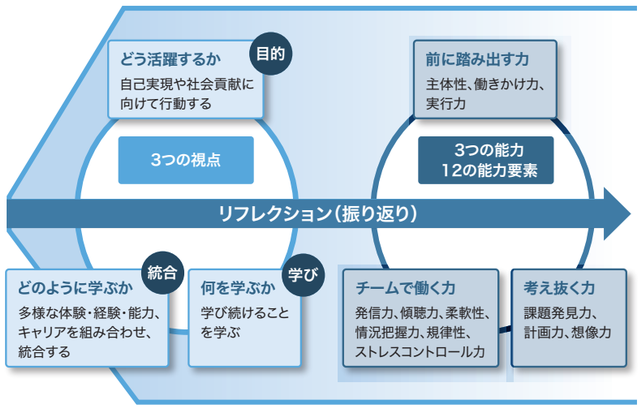
人生100年時代、働き方改革、ニューノーマル…、私たちは今、大きな変革期の只中にいます。従来のビジネスも様変わりせざるを得なくなり、対応のためにさまざまな工夫をしています。しかし、この「ニュー」がなくなり、「ノーマル」になる時代もそう遠くありません。

変化に対応するうえで、今私たちに必要なのは「自身のアップデート」です。必要なものを残したまま、新しいやり方を取り入れるようなイメージです。

そのために、今の自分に不足しているものを把握するために、社会人基礎力の項目に沿ってコースをピックアップいたしました。

「人生100年時代の社会人基礎力」とは

「人生100年時代の社会人基礎力」は、これまで以上に長くなる個人の企業・組織・社会との関わりの中で、ライフステージの各段階で活躍し続けるために求められる力と定義され、社会人基礎力の3つの能力／12の能力要素を内容としつつ、能力を発揮するにあたって、自己を認識してリフレクション（振り返り）しながら、目的、学び、統合のバランスを図ることが、自らキャリアを切りひらいていく上で必要と位置つけられます。



出典：経済産業省「人生100年時代の社会人基礎力」説明資料

ほぼ全てのコースがバーチャル・クラスルーム（オンライン研修）にて提供しますので、移動を伴わずご受講いただける環境にもなっています。

講座体系を活用したコースの選び方

ビジネス講座は、必要な人に必要な学びを必要な時にご提案できるサービスをめざして、分かりやすく受講選択し易い研修体系に整理しました。具体的にはビジネス推進のスキルとして欠かせない、三分野（ビジネスマネジメント、業務遂行力（社会人基礎力）、目的別・用途別）を採用しています。

お客さま自身の強みの強化や弱みの克服をはじめ、人材育成計画にもとづく組織的な取り組みにおいて、皆さまの経験年数・業務経験・職位などと照らし合わせて、ご受講されるコースを選択ください。実績豊富な日立講習会のビジネス講座をご活用いただければ幸いです。

ビジネス講座　体系概要

ビジネスマネジメント

ストラテジックインサイト　洞察力	
マネジメント経営力	マネジメント（経営思想）
	戦略
	マーケティング
	アカウンティング
	ファイナンス
シンキング・思考力	論理力
	創造力

ビジネス遂行にあたって、すべてのビジネスパーソンが理解すべき経営基礎力を身につけることができるコース群です。

- マネジメントの各スキルを支える経営思想関連コース
- 顧客の環境変化や顧客との協創を考え、ビジネスアイデアを創造する戦略・マーケティング関連コース
- 売上、費用といったカネによる経営分析を確かなものとする、アカウンティング・ファイナンス関連コース
- 論理的に問題解決に取り組むための論理力・創造力関連コース

業務遂行力（社会人基礎力）

前に踏み出す力	主体性
	働きかけ力
	実行力
考え抜く力	課題発見力
	計画力
	創造力
チームで働く力	発信力
	傾聴力
	柔軟性
	情況把握力
	規律性
	ストレスコントロール力

日々の業務遂行能力を磨くためのスキルを身につけることができるコース群です。
経済産業省が提唱する社会人基礎力である3つの能力（12の能力要素）でスキルアップを計画することができます。

- リーダーシップやチームビルディングなど「前に踏み出す力」に関連するコース
- 疑問を持ち問題を構造化して考えるマインドと技法など「考え抜く力」に関連するコース
- コーチングなどの指導法やコミュニケーションに欠かせない他者理解と自己理解など「チームで働く力」に関連するコース

目的別・用途別

ビジュアルデザイン
業種・業界知識
ビジネス教養

特定の目的やシーンにあわせてご活用いただくコース群です。

- 視覚に訴えるビジュアルデザインや、知っておきたいビジネス教養など多様な目的にこたえるコース

コースの詳細（開催時間や注意事項など）・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

経営力

会社の戦略を遂行し、チームを成功に導くマネジメントスキルの基礎（戦略、マーケティング、財務、会計、マネジメントマインドセット、洞察力など）が修得できます。

経営力

戦略（ビジネスモデル）

レベル1	レベル2	レベル3
PDU HSE141 eラーニング (PDU)ビジネスモデル思考 音声有・説明文なし | 12.2時間	PDU HSV182 オンライン (PDU) ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向 −イノベーション実現のために− グループ演習 | 1日間	

アカウンティング

レベル1	レベル2	レベル3
HSE135 eラーニング WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編） 音声なし・説明文有 | 8時間		

eラーニング コースコード HSE141

<eラーニング>（PDU）ビジネスモデル思考 PDU

12.2時間

起業や社内ベンチャーのビジネスプランの策定、そして、ステークホルダーに向けた企業の統合報告でもビジネスモデル（BM）の重要性が高まっています。このコースでは、ビジネスモデルの定義、戦略との関係、講師が提唱する「ビジネスモデルマッピング法」、ビジネスモデルのパターン、イノベーティブなビジネスモデルの創出法など、ビジネスモデルマネジメントの全容を学習します。また「IoT（モノのインターネット）」の活用や、「モノからコトへ」に象徴されるサービスドミナントロジックを取込んだビジネスモデルイノベーションも取り上げます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：9.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- ビジネスモデルと事業戦略との関係を説明できる。
- ビジネスモデル・マッピング法を理解し、ビジネスモデルの分析、構想、設計にある程度活用することができる。
- 代表的なビジネスモデルのパターンを理解し、ビジネスモデルの改良・革新に当たり参照することができる。
- 重要テーマであるIoT、サービス・ドミナント・ロジック、ビジネス・エコシステムなどの概略を理解し、イノベーティブなビジネスモデルの構想に応用することができる。

対象者 ビジネスパーソン全般（若手〜経営者）の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. オリエンテーション「ビジネスモデル思考」を持とう！（ビジネスモデルの見える化からIoTによる革新まで）
2. ビジネスモデルの定義と見える化（ビジネスモデルの定義、戦略との関係、見える化技法の概説）
3. ビジネスモデル・マッピング法を使ったビジネスモデルの見える化（BM-Tree、BM-Map他フレームワーク）
4. ビジネスモデルの各種パターンとロジスチックス革新のビジネスモデルパターン（代表的なビジネスモデル・パターンとSPAの特長）
5. ICT（情報通信技術）が加速するビジネスモデルパターン（フリー、ロングテール、シェア等の特長とケース）
6. IoTを活用してイノベーティブなビジネスモデルを創造する（IoT概説、ビジネス・エコシステム、価値星座）
7. ビジネスモデルのイノベーションに有効な考え方と技法（ベンチマーク、水平思考、サービス・ドミナント・ロジック）

受講料 ¥33,000

オンライン コースコード HSV182

（PDU）ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向−イノベーション実現のために−【バーチャル・クラスルーム】 PDU

グループ演習 1日間

ポジショニングやリソースベースドビュー等の事業・企業戦略論をしっかりと腹落ちして自らの事業に適用できるようになるまで理解します。またIT分野の企業が、旧来の実業分野に対して有力な競合として参入して行くケース等、ITビジネスとして戦略上踏まえておくべき最新動向を紹介します。IT分野におけるイノベーションやサービスビジネス創造のための実践的な知的基盤となります。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 事業戦略の理論について理解し、自らの事業について適用することができる。
- ITビジネスの戦略として押さえるべき最新動向について理解し、自らの事業への適用について考えることができる。

対象者
- 技師・主任クラス以上の方（目安）。
- 事業戦略や企業戦略、あるいはイノベーションやビジネス創造について主体的に取り組む意思のある方。

前提知識 ロジカルシンキングやフレームワーク思考等、ビジネス系コンセプチュアルスキルを一通り踏まえていることが望ましい。

内　容
1. 事業戦略、企業戦略とは
   （1）事業における戦略とは
   （2）戦略論の系譜
   （3）自事業にとっての意味合い
2. 戦略の最新動向
   （1）ITビジネス戦略の最新動向
   （2）その他の注目すべき動向
   （3）自事業にとっての意味合い
3. ケーススタディ
   （1）グループ討議
   （2）全体討議
4. まとめ

受講料 ¥55,000

eラーニング コースコード HSE135

<eラーニング>WHYで学ぶアカウンティング（基礎知識編）

8時間

「なぜ（Why）」の問いかけを通じて、アカウンティングの必要性を理解しながら、財務諸表を読み解くための基礎知識を学習します。

到達目標
- 財務諸表に必要な基礎知識を理解できる。
- 財務諸表の諸数値の意味を理解できる。

対象者 財務の視点をお持ちになりたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. なぜアカウンティングか
2. なぜ財務三表か　B/S、P/L、CF
3. B/S - 資産、負債、純資産の意味と構造
4. P/L - 売上、費用、利益の意味と構造
5. CF - キャッシュフローの意味と構造
6. キャッシュフロー経営
7. 管理会計 - 固定費、変動費、損益分岐点
8. 修了試験

受講料 ¥17,600

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

思考力／考え抜く力

自らが問題提起を行い、解決のためのシナリオを描ける思考力（課題発見力、計画力、創造力）が修得できます。

思考力／考え抜く力

論理力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV245 オンライン 問題解決入門 −クリティカルマインドを発揮し、正しくプロセスをまわす− グループ演習 | 1日間		

創造力

レベル1	レベル2	レベル3
HSE133 eラーニング 視座を高めるシステムシンキング 音声なし・説明文有 | 6.5時間	HSV223 オンライン システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する− グループ演習 | 1日間	

オンライン コースコード HSV245

問題解決入門 −クリティカルマインドを発揮し、正しくプロセスをまわす−【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

ビジネスシーンにおける問題は複雑で、不適切な解決策に無駄な時間と労力をとられることも多々あります。問題解決の精度をあげるためには正しい考え方、プロセスを理解し、結果を評価しながらPDCAサイクルを回していくことが重要です。このコースでは問題解決の一連の流れを一通り体験し、スキルアップへ向けてどのような能力開発を行う必要があるかを体感していただきます。

到達目標
- 問題解決の正しい考え方、プロセスを理解できる。
- PDCAサイクルを回すため、結果の評価の仕方を理解できる。
- 問題解決力を向上させるために開発すべき能力がわかる。

対象者 問題解決の一連の流れを一通り体験し、今後のスキルアップへ向けてどのような能力開発を行う必要があるかを体感したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 問題解決とは
2. 思考法の概要
3. PDCAサイクルを回す
4. クリティカルマインド
5. 今後に向けて

受講料 ¥58,300

eラーニング コースコード HSE133

<eラーニング>視座を高めるシステムシンキング

6.5時間

システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。このコースでは、システムを可視化する方法として因果ループ図・欲求連鎖分析の基本知識を学習します。また、これらの方法を使って以下のようなサイズのシステムの問題解決に有効であることを学習します。
- 全員が本心を隠しながら働くチームのもやもや
- 部門の目標に集中すると会社としての共通目標から遠ざかるセクショナリズム
- BtoCの単純な形から、BtoBtoCやBtoCtoCなどへ変化するエコシステム

到達目標
- 行動変容方針に活かすために、他者の動機/行動を因果ループ図（強化ループ）で描く意義が理解できる。
- 全体最適方針に活かすために、自社の部門をまたぐ課題を表現する因果ループ図の描き方が理解できる。
- 業界の協創に向けたビジネスのエコシステムを欲求連鎖分析図で考えられる。

対象者 相互の関連する要因から成る問題の現状把握をしたい方。例えば、部下/後輩の行動に悩みがある、部門横断的に生産性の全体最適を考える必要がある、顧客/競合と共に協創するエコシステムを考える必要がある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）　行動科学、TOCの基礎知識を持っていると望ましい。

内　容
1. システムシンキングに役立つ手法
   （1）システムシンキングとは
   （2）因果ループ図
   （3）バリューグラフ
   （4）欲求連鎖分析図
2. さまざまなシステムを描き考える
   （1）個人の行動と動機
   （2）チームのコミュニケーション
   （3）社内の利害関係
   （4）手段と価値　（5）ビジネスシステム
   （6）ビジネスモデル　（7）社会課題

受講料 ¥22,000

オンライン コースコード HSV223

システムシンキング基礎 −問題を構成する互いに影響しあう要素の「つながり」を可視化する−【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

システムとは、ITシステムではなく、より広い「系」を指します。システム思考とは、社会・企業・人間集団を構成する要素の相互作用を捉え、問題の根源を見つけるミクロな視点と、その問題の根源に手を加えることによる「系」全体の変化のマクロな視点の両方を持ちながら問題解決にあたる考え方です。このコースでは、eラーニングで学習したシステム思考の知識をもとに、実際の業務でどのように活用していけばよいか、演習を通して活用のヒントを学習します。

到達目標
- 他者の動機/行動について因果ループ図（強化ループ）が描け、行動変容方針に活かせる。
- 自社の部門をまたぐ課題を因果ループ図で描け、全体最適方針に活かせる。
- ビジネスのエコシステムを欲求連鎖分析図で描け、業界の協創を思い描ける。

対象者 相互の関連する要因から成る問題の現状把握をしたい方。例えば、部下/後輩の行動に悩みがある、部門横断的に生産性の全体最適を考える必要がある、顧客/競合と共に協創するエコシステムを考える必要がある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコース および「視座を高めるシステムシンキング」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内　容
1. 基本的なシステムシンキング
   （1）システムシンキングの意義とは？
   （2）因果ループ図とは？
   （3）欲求連鎖分析図とは？
2. 演習：図を活用した問題把握
   （1）後輩・部下はなぜ思ったとおりに行動してくれないのか？
   （2）各プロセスで頑張っているのになぜ全体が良くならないのか？
   （3）参考：儲かる仕組みとは？
3. まとめ

受講料 ¥71,500

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

チームで働く力

多様な人々と共に、目標達成に向け協力するために必要なスキル（発信力、傾聴力、柔軟性、状況把握力、規律性、ストレスコントロール力）が修得できます。

チームで働く力

発信力(Face to Face)

レベル1	レベル2	レベル3
HSV126 オンライン 報連相のための ビジネスコミュニケーション基礎 グループ演習 | 1日間	Renewal PDU HSV251 オンライン (PDU)アサーティブ・コミュニケーション―職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上― グループ演習 | 1日間	
New HSE142 eラーニング 3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習！ 音声有＋説明文有 | 3時間		

発信力（文書）

レベル1	レベル2	レベル3
HSE132 eラーニング ロジカルライティング （基礎知識編）―読み手が納得・行動する文書を作成する― 音声有＋説明文有 | 6時間	HSV233 オンライン (PDU)ストラクチャード・コミュニケーション―会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える― グループ演習 | 0.5日間 ＋事前学習（eラーニング） 2時間	
HSV205 オンライン ロジカルライティング（演習編）―読み手が納得・行動する文書を作成する― グループ演習 | 1日間	セールス/フロント HSV236 オンライン 高評価をねらえる提案書作成―顕在・潜在ニーズに訴求する― グループ演習 | 0.5日間 ＋事前学習（eラーニング） 2時間	
HSE131 eラーニング ビジネスライティング （基礎知識編）―読みやすい文書を作成する― 音声なし＋説明文有 | 8時間		

発信力（プレゼンテーション）

レベル1	レベル2	レベル3
HSV230 オンライン ロジカルプレゼンテーション基礎 グループ演習 | 1.5日間 ＋事前学習（eラーニング） 2時間	HSE137 eラーニング ビジュアル化技法の基本―魅力的なビジュアル資料を作る― 音声有＋説明文有 | 4時間	HSE138 eラーニング グラフィカルトレーニング―思考を図解で強化する― 音声なし＋説明文有 | 2時間
	HSV243 オンライン プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法―相手を惹きつけるための資料作成― グループ演習 | 0.5日間 ＋事前学習（eラーニング） 2時間	HSE301 eラーニング 【スキル定着】 ビジュアルデザイン 音声なし＋説明文有 | 4時間

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

発信力（交渉）

レベル1	レベル2	レベル3
Renewal HSE143 eラーニング 協創を生みだす交渉 （基礎知識編） 音声有＋説明文有 | 4時間	HSV229 オンライン 協創を生みだす交渉 （実践演習編） グループ演習 | 1.5日間	HSV185 オンライン 行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキルーハーバード流交渉学の真価を発揮するためにー グループ演習 | 1日間
HSV145 オンライン 協創を生みだす交渉 （基礎演習編） グループ演習 | 1日間	プロジェクトマネジメント PDU PMV054 オンライン (PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング グループ演習 | 2日間	

傾聴力

レベル1	レベル2	レベル3
	HSV232 オンライン コーチング基礎 ー基本スキルとGROWモデルー グループ演習 | 1日間	Renewal PDU HSV250 オンライン (PDU) 部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック グループ演習 | 1日間
	HSE121 eラーニング コーチング基礎 ーレクチャ編ー 音声有＋説明文有 | 4時間	PDU HSV239 オンライン (PDU)コーチング実践 ー部下のやる気と成長を促すー グループ演習 | 1.5日間 (0.5日×3回)

柔軟性・情況把握力

レベル1	レベル2	レベル3
PDU HSV221 オンライン (PDU)自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメントーDiSCモデルによるー グループ演習 | 2日間		

ストレスコントロール力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV218 オンライン 自己回復力を高めるストレスマネジメントーレジリエンスを育むためにー グループ演習 | 1日間	Renewal HSV248 オンライン ピーク・パフォーマンスー集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直すー グループ演習 | 1日間	PDU HSV222 オンライン (PDU)リーダのためのマインドフルネスー成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフルー グループ演習 | 1日間

音声有＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有＋説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし＋説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン　コースコード HSV126

グループ演習 1日間

報連相のための ビジネスコミュニケーション基礎 【バーチャル・クラスルーム】

社会人として身につけたい報連相（報告・連絡・相談）の重要性を、グループによる論議やロールプレイを行うことで学習します。

到達目標
・効率的な伝え方に必要なスキルを高められる。
・報連相の重要なポイントをふまえ、質の高いアウトプットで仕事ができる。

対象者 新入社員、または若手社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 報連相の基本ポイント
（1）なぜ報連相が必要なのか - PDCAサイクル
（2）報連相とは
（3）仕事における報連相のサイクル
（4）報告
（5）連絡
（6）相談
2. コミュニケーションの基本とポイント
（1）コミュニケーションとは何か
（2）コミュニケーションの手段
（3）職場で求められるコミュニケーション能力
（4）仕事に対する基本姿勢
（5）言語と非言語コミュニケーション
3. 話し方
（1）ONEWAYでなくTWOWAYを心がける
（2）話し方のポイント
（3）話す技術
4. 聴き方
（1）聴き方のポイント
（2）聴く技術
（3）良い聴き手となるために
（4）質問

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE142　New

eラーニング 3時間

<eラーニング>3時間でわかる ロジカルコミュニケーション 報・連・相を徹底演習！

仕事では、さまざまな人とのコミュニケーションが発生します。経験が浅いうちは、上司や先輩の指導を受けながら仕事をすることが多いでしょうから、報告、連絡、相談が欠かせません。報連相を上手に行うようになるには、ロジカルシンキングの基本をおさえることが大切です。このコースではロジカルシンキングの基本を活かした報連相と、それらを応用したロジカルコミュニケーションまでを学びます。

到達目標
・ロジカルシンキングの基本を学び、仕事上のコミュニケーションに役立てることができるようになる。
・情報を整理してまとめ、主旨をわかりやすく伝えることができるようになる。
・「ホウレンソウ（報告・連絡・相談）」のポイントを学び、業務上のコミュニケーションを、円滑に要領よく行えるようになる。
・ロジカルコミュニケーションのスキルを使って、的確で簡素な文書やEメールを書けるようになる。文章作成のスキルを伸ばし、報告書や提案書、議事録の作成へつなげる。

対象者 新入社員、または若手社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 仕事脳は、ロジカルシンキングで
2. 「報告」の基本スキルを身につけよう
3. 「連絡」の基本スキルを身につけよう
4. 「相談」の基本スキルを身につけよう
5. ロジカルライティング技術を磨こう

受講料 ¥8,800

オンライン　コースコード HSV251　Renewal

グループ演習 1日間

（PDU）アサーティブ・コミュニケーション −職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上−【バーチャル・クラスルーム】 PDU

自他尊重のマインドに基づいて、自分の考えや気持ちを明快に伝えるアサーティブコミュニケーションを学習します。また、自分と異なるコミュニケーションスタイルの後輩や上司・先輩、顧客への効果的なアプローチのポイントを紹介します。マイケースを用いて、伝えづらいことを建設的に伝えるための「アサーティブに伝える戦略」を検討し、職場での実行計画を作成します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・アサーティブの考えを理解し、自己主張が対人関係に与える重要性を説明できる。
・相手のコミュニケーションスタイル（「Passive」「Agressive」「Assertive」）ごとの効果的なアプローチ方法を説明できる。
・自分の日頃の伝え方、聞き方を認識し、課題を明確にできる。
・マイケースを用いて、「アサーティブに伝える戦略」を検討し、職場での実行計画を立てられる。

対象者
・コミュニケーション能力を高めたい方。
・相手の年齢、立場に関わらず、建設的に意見を伝えたいとお考えの方。

前提知識 3年以上の業務経験があること（4年次以降が対象）。

内　容
1. アサーティブとは
（1）なぜアサーティブが必要なのか
（2）アサーティブ行動の意義
2. コミュニケーションの現状振り返り
（1）アサーティブ傾向の理解
（2）業務におけるコミュニケーションの振り返り
3. 自己表現のコミュニケーションスタイル
（1）代表的な3つの自己表現
（2）相手ごとの効果的なアプローチ方法
（3）なぜ人はアサーティブになれないのか
（4）自分の自己表現を考える
（5）各自己表現への自分の関わりを振り返る
4. アサーティブ行動のために必要なこと
（1）必要な考え方と対策
（2）自己チェック
（3）伝え方の流れとポイント
（4）断り方の流れとポイント
5. 実践へ向けての改善
（1）実践プラッシュアップ準備
6. まとめ
（1）アサーティブ行動に向けて　（2）全体振り返り

受講料 ¥41,800

eラーニング　コースコード HSE132

eラーニング 6時間

<eラーニング> ロジカルライティング（基礎知識編） −読み手が納得・行動する文書を作成する−

ロジカルシンキングの基礎コースで学んだ論理構造化の手法を使って論理的な文書作成法を学びます。また、読み手が理解しやすい文書作成のスキルを実習を通して身につけます。

到達目標 ビジネス文書の基本とロジカルライティングの重要性を理解し、論理的な文書作成に必要な知識を修得できる。

対象者 読み手を納得・行動させる論理的な文書を作成したい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内　容
1. イントロダクション
（1）研修の目的
（2）文書が分かりにくい人の共通点
（3）分かりにくい文書の特長
（4）文書の目的と読み手に期待する行動
（5）誰に伝えるのか
2. ロジカルライティングとは
（1）ロジカルライティングの目的
（2）ロジカルライティングに必要なマインド
（3）ロジカルライティングに向けて
3. メッセージの論理構造化
（1）考える時にやること
（2）テーマに対する「問い」の把握
（3）「問い」に対する答えを決める
（4）結論・主張に対する根拠を示す
（5）ストラクチャの要約文は明瞭であること
（6）ロジックの展開を考える【帰納法】
（7）ロジックの展開を考える【演繹法】
（8）帰納法と演繹法（まとめ）
4. 論理の文書化とビジュアル化
（1）論理の文書化
（2）メッセージ構造をそのまま文書へ
（3）文書全体のレイアウト
（4）文書化のポイント
（5）文書のビジュアル化
（6）レイアウト（ビジュアル）のチェックポイント
5. 分かりやすく書くための基本ルール
（1）分かりやすく書くための基本ルール
（2）前後関係を明確にする
（3）文書のチェックポイント
6. まとめ

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード HSV205

グループ演習 1日間

ロジカルライティング（演習編） −読み手が納得・行動する文書を作成する−【バーチャル・クラスルーム】

「ロジカルライティング（基礎知識編）−読み手が納得・行動する文書を作成する−」eラーニングコースで学んだ論理構造化の手法を使って論理的な文書作成法を学びます。また、読み手が理解しやすい文書作成のスキルを実習を通して身につけます。

到達目標 ビジネス文書の基本とロジカルライティングの重要性を理解し、ライティング実習を通して、論理的な文書を作成できる。

対象者 読み手を納得・行動させる論理的な文書を作成したい方。

前提知識 「ロジカルライティング（基礎知識編）−読み手が納得・行動する文書を作成する−」eラーニングコースを修了し、論理的思考に基づきピラミッドストラクチャを作成できること、または同等の知識があること。事前課題にあるピラミッドストラクチャの作成ができていること。

内　容
1. イントロダクション
2. ロジカルライティングとは
3. メッセージの論理構造化（振り返り）
（1）【演習1】事前課題で作成したピラミッドストラクチャのロジックチェック
4. 論理の文書化とビジュアル化（振り返り）
5. 分かりやすい文書の基本ルール
（1）【演習2】提案書の作成
（2）【演習3】文書の相互添削
（3）【演習4】添削結果のブラッシュアップ
6. まとめ

受講料 ¥44,000

eラーニング　コースコード HSE131

eラーニング 8時間

<eラーニング> ビジネスライティング（基礎知識） −読みやすい文書を作成する−

読み手に正しく理解していただくためのビジネス文書の書き方のポイントを学習します。

到達目標 読み手を意識した分かりやすい文書を作成するためのポイントを説明できる。

対象者
・ビジネス文書の基本を学びたい新入社員の方。
・ビジネス文書作成スキルを向上させたい担当クラスの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ビジネス文書とは
2. 文書作成サイクル
（1）文書作成サイクル
（2）文書作成前の準備
（3）文書の作成
（4）文書のレビュー
3. ビジネスシーンに応じた文書の書き方
（1）メールの書き方（社外/社内）
（2）議事録の書き方
（3）報告書の書き方
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

ビジネス
経営力
思考力/考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）

オンライン　コースコード HSV233

グループ演習 0.5日間

（PDU）ストラクチャード・コミュニケーション −会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考える−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】 PDU

このコースは、基礎知識を事前動画（2時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日間）は演習中心に進めます。
このコースでは、限られた時間の中で、できるだけ有効な情報を引き出し、整理し、考えを伝えることが求められる方が、相手とのコミュニケーションにおいて、情報を構造化し図で表現するために必要な知識を学びます。基本となる図解パターンを元に、考えを伝える演習や、聞く演習、また考えをまとめる演習を通じて、相手の課題を解決するための図解スキルを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自分の伝えたい情報を構造化し図に描きながら説明できる。
・相手からヒヤリングした情報を構造化し図にまとめながら確認できる。
・相手を巻き込み共に図を描きながら交渉を進められる。

対象者
・相手とのやり取りを口頭だけで済ませず、イメージを明確に共有しつつコミュニケーションを進めたい方。
・お客さまをはじめ、社内関係者など業務上の関係者と交渉や調整をされる方。
・部下・後輩（入社5年目まで）指導に当たられる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【事前学習：eラーニング（標準学習時間：2時間）】
1. ストラクチャード・コミュニケーションとは
2. 図解で伝える
（1）代表的な情報の構造の基本パターン
（2）情報の構造の図解表現を知る
（3）自分の伝えたいことを図解で説明する
3. 図解で聴く
（1）相手の発言を書き出す
4. 図解で考える
（1）相手の考えを図解でまとめる
（2）図解しやすいように質問を構造化する
（3）情報を構造化してから文章にまとめる
【研修：0.5日】
1. オリエンテーション
2. 図解で伝える
（1）【演習】自分の伝えたいことを図解で説明する
3. 図解で聴く
（1）【演習】相手の発言を図解しながら聴く
4. 図解で考える
（1）【演習】課題や解決策を図に描きながら考える
5. 振り返りとまとめ

受講料 ¥60,500

オンライン　コースコード HSV230

グループ演習 1.5日間

ロジカルプレゼンテーション基礎【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

このコースは、基礎知識を事前動画（2時間）にて学習いただき、研修当日（1.5日間）は演習中心に進めます。
聞き手を納得・行動させるために必要なプレゼンテーションの構成や、効果的に伝えるデリバリー、資料のポイントを学びます。特に、説得力を持って分かりやすく伝えるためのストラクチャリングとストーリーデザインを中心に学びます。実際に「自部門における業務効率化や職場の改善」をテーマに発表し、フィードバックをもとに改善します。

到達目標
・プレゼンテーションの基本概念を理解できる。
・プレゼンテーションに不可欠な4種のスキル（ストラクチャリング、ストーリーデザイン、ビジュアライゼーション、デリバリー）のポイントを理解できる。
・プレゼンテーション準備のプロセスを理解できる。

対象者 プレゼンテーション能力を高めたい方。例えば、社内での改善提案/企画のプレゼンテーションを控えている、社外で顧客向けにプレゼンテーションをする機会がある、プレゼンテーションの学習を通して相手に分かりやすく伝え、素早く納得を得るスキルを磨きたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内　容
【事前学習：eラーニング（標準学習時間：2時間）】
1. プレゼンテーションの基礎知識
2. デリバリーのポイント
3. 定義分析フェーズのポイント
4. 論理構成のポイント
5. ストーリーを作るポイント
6. 資料作成のポイント
7. 【事前課題】論理構成作成

【研修　1日目（0.5日）】
1. オリエンテーション
2. 【演習】論理構成（事前課題）のブラッシュアップ
3. 【演習】ストーリーデザイン作成
【研修　2日目（1日）】
4. 【演習】発表資料作成
5. 【演習】リハーサル
6. 【演習】プレゼンテーション発表
7. 振り返りとまとめ

受講料 ¥93,500

eラーニング　コースコード HSE137

eラーニング 4時間

<eラーニング> ビジュアル化技法の基本 −魅力的なビジュアル資料を作る−

プレゼンテーションのビジュアル資料に不可欠なビジュアル要素として、図解、レイアウト、色彩、ユニバーサルデザインの基本を学習します。

到達目標 ビジュアル化技法とは何かを学び、それぞれの要素技術を説明することができる。

対象者
・ビジュアル化技法に関心のある方。
・「プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法」をご受講される方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. レイアウトの基本
（1）代表的なレイアウト
（2）余白の効果
（3）レイアウトを美しく見せるコツ
2. 図解の基本
（1）図解のプロセス
（2）読解力を養う
（3）内容を整理する
3. 色彩の基本
（1）色の構成
（2）色の三属性
（3）色の表現
4. ユニバーサルデザインの基本
（1）ユニバーサルデザインとは
（2）UDによる色の考え方
（3）配色の工夫

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード HSE138

eラーニング 2時間

<eラーニング> グラフィカルトレーニング −思考を図解で強化する−

情報の伝達は速く正確であることが求められます。情報の可視化は「考えや情報をうまく伝えられない」「伝わるまでに時間がかかる」という悩みを解決する技術の一つです。このコースでは、「思考を視覚化するヒント」「図解の基本的なパターン」「美しく分かりやすい図解を作るための基本セオリー」のポイントを中心として、整理され、伝わりやすい情報の可視化技法の基本手法を学習します。

到達目標
・文章や口頭の説明では伝えにくいような概念を、ダイレクトにイメージとして伝達するためのコツを理解できるようになる。
・自分なりの実践の仕方を身につける。

対象者
・資料（Webページや提案資料など）を作成するさまざまな場面で、言葉で表現すると伝わりにくい概念などを、ダイレクトに伝わるイメージを美しく、かつ一目で伝わるようにしたい方。
・基本となる知識を短時間で手軽に知りたい、または改めて整理したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. オリエンテーション
2. 情報を可視化する意義
3. 情報を図で整理する基本
（1）情報整理のコツ
（2）演習：情報を整理する
4. 情報を図で表現する基本
（1）図で可視化するための基本要素
（2）要素を組み合わせた基本パターン
（3）応用パターン
（4）表とグラフ
（5）演習：情報に最適な図を選ぶ
5. Officeアプリケーションを用いたグラフィック化
（1）文字と数字
（2）位置揃え
（3）囲みと余白
（4）表とグラフ
（5）演習：Excelでグラフィックを活用する

受講料 ¥9,900

eラーニング　コースコード HSE301

eラーニング 4時間

<eラーニング>【スキル定着】 ビジュアルデザイン

提案などの場において、内容を伝達するのに資料を活用する機会は多いです。その資料がビジュアル化されていることで、よりわかりやすく迅速に、かつ誤解なく、相手に伝達することができます。このコースでは、ビジュアル化技法の問題に繰り返し取り組むことで、知識としてのビジュアル化技法からより実践的なポイントを押さえたビジュアル化技法を身につけます。

到達目標
・わかりやすいビジュアル資料の作成ポイントを踏まえ、自信を持って実践できる。
・実現したい効果を狙い、適切な方法でビジュアル資料を作成できる。
・他者の作成した資料も、具体的な効果とそれに到達するための方法を踏まえ、適切にレビューできる。

対象者
・ITエンジニア（若手・中堅）の方。
・提案などでビジュアル資料の作成が必要だが、これまでは我流で行ってきており、改めて効果的な資料作成ポイントを知りたい方。
・資料作成はひととおりできるが、それがわかりやすさという点で効果的なものであるか自信が持てない方。
・見やすい・わかりやすい資料を作成したいが、何をポイントにしたらよいかわからない方。

前提知識 ビジュアル化技法について、基本的な知識があること。

内　容
1. レイアウトドリル
2. 色彩ドリル
3. 図解ドリル
4. 表ドリル
5. グラフドリル

受講料 ¥11,000

オンライン　コースコード HSV243

グループ演習 0.5日間

プレゼンを生き生きさせるビジュアル化技法 −相手を惹きつけるための資料作成−【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】

このコースは、基礎知識を事前動画（2時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日）は演習中心に進めます。ビジュアル化は、プレゼンテーションを成功させるための重要な技術の一つです。見やすく、訴求力の高い資料を作成するためのビジュアル化技法を、演習主体で実践、学習します。このコースでは実際にPowerPointスライドを編集します。PCなど、PowerPointを使用できる機器を必ずご用意ください。また、あらかじめお取り組みいただいた事前課題をご用意ください。

到達目標
・ビジュアル化技法とは何かを学び、それぞれの要素技術を説明することができる。
・見やすい資料の作成ポイントを理解し、実践に活かすことができる。

対象者 ビジュアル化技法を学び、訴求力の高い資料を作成したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：2時間）
1. デザインの基本
2. 図解のポイント
3. 色彩のポイント
4. レイアウトのポイント
5. ユニバーサルデザイン
6. スライドの訴求力を高めるためのポイント
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください。
【講義のカリキュラム】
バーチャル・クラスルーム（グループ演習）0.5日
1. イントロダクション
2. 事前課題の振り返りとポイントの解説
3. ビジュアル化技法の実践
（1）課題の説明
（2）課題取り組み
4. 振り返りとフィードバック
5. クロージング

受講料 ¥44,000

eラーニング　コースコード HSE143　Renewal

eラーニング 4時間

<eラーニング> 協創を生みだす交渉（基礎知識編）

ビジネスにおける交渉の位置づけや、交渉を合理的な合意に導くプロセスを、交渉研究によって培われた基礎理論に基づき学習します。

到達目標
- 交渉相手との状況からどのようにミッション、ZOPA、BATNAを設定するかを理解できる。
- 交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化する必要性を理解できる。
- 交渉で使われる心理テクニックやコンフリクトマネジメントのポイントを理解できる。

対象者 担当の方、または交渉の基礎知識を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. イントロダクション
2. 交渉とは
   (1)交渉の原則
   (2)交渉のタイプ
   (3)ロジカルシンキングと発想力
3. 交渉のプロセス
   (1)プロセス全体像
   (2)交渉準備
   (3)交渉の実施
   (4)合意後のアクション
4. 交渉の心理テクニック
5. コンフリクトマネジメント
6. まとめ

受講料 ¥13,200

オンライン　コースコード HSV145

グループ演習 1日間

協創を生みだす交渉（基礎演習編）【バーチャル・クラスルーム】

模擬交渉を通じて、交渉研究による基礎理論とロジカルシンキングを活用した基礎的な問題解決型交渉スキルを学びます。模擬交渉は1対1の社内交渉であり、協創を生みだした実例から開発したケースを用いて実施します。

到達目標
- 交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。
- 交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。
- 比較的対立の少ない状況において、交渉シナリオに基づき協創を生みだす交渉ができる。

対象者 交渉を基礎から学びたい方。

前提知識 「協創を生みだす交渉（基礎知識編）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 事前学習の振り返り
2. 演習1
   (1)クリエイティブオプションのためのストレッチトレーニング
   (2)トレーニングの振り返り
3. 演習2
   (1)利害関係者のマッピングトレーニング
4. 模擬交渉「共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼動調整をする」
   (1)模擬交渉の進め方
   (2)事前準備と作戦会議
   (3)模擬交渉実施(1対1交渉)
   (4)振り返りとまとめ

受講料 ¥27,500

オンライン　コースコード HSV229

グループ演習 1.5日間

協創を生みだす交渉（実践演習編）【バーチャル・クラスルーム】

模擬交渉を通じて最新の交渉研究による基礎理論とロジカルシンキングを活用した問題解決型交渉を学びます。模擬交渉は協創を生みだした実例から開発したケースを用いて実施します。

到達目標
- 交渉相手との状況からミッション、ZOPA、BATNAを設定できる。
- 交渉相手と自分を取り巻く環境分析を行い図式化できる。
- 交渉シナリオに基づいて協創を生みだす交渉ができる。

対象者 入社3年次以上の方。ご自身の交渉力を更に強化したい、またはコンフリクト（意見の対立や衝突）交渉に直面することが多い方。

前提知識 「協創を生みだす交渉（基礎演習編）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 交渉学の基礎理論（ミッション、BATNA、ZOPAなど）の復習
2. 模擬交渉
   ・共通ミッション達成に向け部門間で役割分担と稼動調整をする
3. クリエイティブオプション、利害関係者のマッピング
   ・交渉相手が用いがちな交渉テクニックの紹介
4. 模擬交渉
   ・問題が起きた状況下で部門間の利害を調整し協力して問題解決する
5. 模擬交渉
   ・顧客との間に生じたコンフリクトを解消する

受講料 ¥104,500

オンライン　コースコード HSV185

グループ演習 1日間

行動経済学を応用したパースエイション（説得）のスキル ーハーバード流交渉学の真価を発揮するために− 【バーチャル・クラスルーム】

ハーバード流の基本を押えつつ、人間の不合理な行動を理解した説得のスキルを身につけます。協調戦略や損失回避・期間選択・心理会計といった行動経済学上のテーマを活用しながら、役割を交代しつつロールプレイを実施し、体験的に交渉力を改善します。

到達目標
- 交渉においてうまく行かないと感じていた脳路の突破口が開ける。
- ハーバード流交渉学の真価を理解することができる。

対象者 どなたでも受講できます。交渉の基礎コースを受講済みであることが望ましい。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
   (1)ハーバード流交渉学がめざすもの
   (2)パースエイション（説得）のスキルと行動経済学
2. ロールプレイ1
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
3. ロールプレイ2
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
4. ロールプレイ3
   (1)理論と実践
   (2)ロールプレイ
   (3)振り返り
5. まとめ

受講料 ¥38,500

オンライン　コースコード HSV232

グループ演習 1日間

コーチング基礎 ー基本の6種スキルとGROWモデルー 【バーチャル・クラスルーム】

コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ演習を中心とした内容です。部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。

到達目標
- コーチングの基本概念を説明できる。
- コーチングが有効である場面を説明できる。
- コーチングスキルを部下指導に活用できる。

対象者 部下または新規配属者などを指導する立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. コーチングとは
2. コーチングの活用場面
3. コーチングの基本スキル
   (1)傾聴
   (2)確認
   (3)承認
   (4)質問
   (5)提案
4. コーチング演習ミニワーク
5. GROWモデル
6. ロールプレイング
7. コーチングスキルをOJTに活かすポイント
8. 振り返り

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード HSE121

eラーニング 4時間

<eラーニング> コーチング基礎−レクチャ編−

部下または新規配属者などを指導する立場の方が、OJTを効果的に進めるためのポイントを学習します。コーチングのさまざまなスキルを活用した、部下指導に役立つ内容です。このコースは演習を含みません。演習を通して理解を深めたい方は、「コーチング基礎」コースの受講をお薦めします。

到達目標
- コーチングの基本概念を説明できる。
- コーチングが有効である場面を説明できる。
- コーチングスキルを部下指導に活用できる。

対象者 部下または新規配属者などを指導する立場の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. コーチングとは
2. コーチングの活用場面
3. コーチングの基本スキル
   (1)傾聴
   (2)確認
   (3)承認
   (4)質問
   (5)提案
4. GROWモデル
5. コーチングスキルをOJTに活かすポイント

受講料 ¥11,000

オンライン　コースコード HSV250　Renewal

グループ演習 1日間

（PDU）部下のパフォーマンスを高める 1on1面談とフィードバック 【バーチャル・クラスルーム】PDU

メンバが話したいことを話すミーティングとは何か、またメンバの自主性が上がっていく会話とは何か、をロールプレイングを通して体系的に学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- メンバと適切な信頼関係構築ができる。
- メンバのモチベーションを向上させながら意図したフィードバックを伝えることができる。

対象者 部下、後輩を持つ全ての方。
次のような事項にお悩みの方。
- そもそもメンバとどのように会話したらよいかわからない。
- メンバの本音を引き出せない。
- 自分に自信がなく、メンバに厳しいフィードバックを伝えられない。
- こんなことを伝えたら、パワハラに繋がってしまうのではないか。
- メンバにどうコミットさせればよいか。
- モチベーションを少しでも上げるにはどうしたらよいか。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. One on Oneミーティング
   (1)One on Oneミーティングとは
   (2)メンバの経験学習サイクルを促進させる
   (3)コーチングとの違い
2. One on Oneミーティングの効果
   (1)メンバの視点
   ・タイムリーに相談できるメリットとその効果
   (2)リーダの視点
   ・メンバのさまざまな情報を得ることで指導・育成に役立てる
   ・メンバとの関係性を強化する
3. One on Oneミーティングの注意点
4. One on Oneの基本スキル　-メンバがリーダに忌憚なく話す条件とは-
   (1)信頼関係の構築/アクティブリスニング
   (2)目的や背景を伝える　(3)適切な頻度の設定
   (4)アジェンダの設定　(5)リーダの話す時間は2割
5. フィードバックの目的
   (1)メンバの学びを深める3つの働きかけ
   ・ティーチング、コーチング、フィードバック
   (2)フィードバックの目的
6. フィードバックのスキル
   (1)相手のパフォーマンス観察
   (2)メンバの学びを深める3つの働きかけ
   (3)パフォーマンス強化のための伝え方
   (4)パフォーマンス改善のための伝え方
7. ロールプレイング
8. 振り返り

受講料 ¥41,800

オンライン　コースコード HSV239

グループ演習 0.5日間×3回

（PDU）コーチング実践 −部下のやる気と成長を促す− 【バーチャル・クラスルーム】PDU

現場でのコーチング実践に課題を感じている方向けのコースです。コーチングフレームやスキルを適切に使えていないのではないか、メンバ（クライアント）に行動変容が起きないのはなぜなのか、など、悩み/困りごとを解消するために課題を明らかにし、3回シリーズで解決していきます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。
※このコースは、21年度「コーチングカレッジ」と同内容のコースです。

到達目標
- GROWモデルを何も見ずに実施することができる。
- コーチングにおける自身の課題を自身で克服する方法を身につけることができる。
- 新たに確認するスキルを使ってより深いコーチングを実施できる。

対象者
- メンバ育成をさらに促進させたい方。
- コーチのマインドとコーチングスキルをブラッシュアップしたい方。
- コーチング実践における悩み、課題解決をしたい方。

前提知識 (1)「コーチング基礎」コース、「コーチング基礎」eラーニングコース、もしくは「目標達成のためのコーチング実践」コースのいずれかを修了していること。
(2)現場でコーチングを実践した経験があること。
※GROWモデルを知っており、使用したことがある方は同等知識を持つ方とみなします。

内　容
■Day1：課題を知る
1. 3か月でコーチングスキルを活かして、どのような違いをもたらしたいのか
2. 3か月で自分はどのようなチャレンジをするのか
3. コーチングやコミュニケーションの課題を明確にする
4. ゴールを明確にするロールプレイング

■Day2：スキルを磨く
1. コーチとしてのクライアントとの向き合い方
2. クライアントの特性を踏まえた話し方とプロセスとは
3. 使う言葉、扱うチャンクでクライアントの意識にアクセスする
4. 現状と選択肢を確認するロールプレイング

■Day3：整合する、決意する
1. コーチング、1on1の仕組みづくり
2. 観念、価値観の引き出しと扱い方
3. ビジョンを描くためのプロセス
4. 未来を実現するためのロールプレイング

受講料 ¥165,000

オンライン　コースコード HSV221

グループ演習 2日間

（PDU）自分を知り他者を知るコミュニケーション マネジメントーDiSCモデルによるー 【バーチャル・クラスルーム】PDU

さまざまな考え方やキャリアを持つ他者と、どうコミュニケーションをとればよいか学習します。自己を知り、他者を推察し「違いは間違いではない」という考えのもと、具体的アプローチ方法を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 自己のタイプを認識し、他者のタイプの推察ができる。
- 他者を推察し、相手に合った対応ができる。
- コミュニケーションにおけるPDCAサイクルを回すことができる。
- チームに効果的なアプローチのアクションプランが作成できる。

対象者 自己の、そして職場のコミュニケーション改善をしたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 「あの人」が苦手な理由、好きな理由
2. フラストレーションはどこから生まれるか
3. 自分のタイプを読み解く
4. 自分以外のタイプを知る
5. モチベーションが上がる理由
6. 強みと弱みは表裏一体
7. あなたが「自分の上司」なら、自分をどうマネジメントするか
8. 苦手な人とコミュニケーションを取るアクションプラン作成
9. 周りの空気は自分が作る
10. 本当の意味での多様性理解

受講料 ¥88,000

オンライン　コースコード HSV218

グループ演習 1日間

自己回復力を高めるストレスマネジメント −レジリエンスを育むために− 【バーチャル・クラスルーム】

ストレスについて正しい知識とその対処法を修得するとともに、セルフケアを中心に、自分に合った適切なストレス対処法を学習します。

到達目標
- レジリエンスとは何かを学び、心を鍛える重要性を認識する。
- リラクゼーション法や対人ストレスを軽減するためのストローク（聴き方、ほめ方）を修得できる。
- 対人関係をスムーズにするコミュニケーション手法を理解できる。

対象者 ストレスをうまく管理したいと感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. レジリエンスの基礎知識
   (1)「レジリエンス」とは何か
   (2)自身のストレス状況を振り返る
2. レジリエンスの7つのスキル
   (1)思考のクセを知る
   (2)役に立たない思いこみを払拭する
   (3)心の支えを作る
   (4)自分の強みを生かす
   (5)心をしずめるボディワーク
   (6)リアルタイム・レジリエンス
   (7)感謝の感情を育む

受講料 ¥75,900

オンライン　コースコード HSV248　Renewal

グループ演習 1日間

ピーク・パフォーマンス −集中力を上げ、仕事を主体的に捉え直す− 【バーチャル・クラスルーム】

仕事において日々さらされるストレスや環境による作業効率の変化を認識することで、それらをコントロールし、成果の向上に繋げた上でよりよい生活を送れる力を身につけます。「体の仕組み/状態とパフォーマンス向上の関係性」を理解し、オフィスや自宅で簡単にできるマインドフルネス、ストレッチなどを体験します。心身の緊張をほぐし、一つの事柄に集中して取り組む能力を高めること、且つ高めた集中力を安定して持続させることをめざします。

到達目標 セルフケア能力を身につけ、仕事でのパフォーマンス向上につなげることができる

対象者
- 仕事のストレスや忙しさから成果を出しにくくなっていると感じる方。
- ビジネスシーンで集中力を発揮して、重要な局面を乗り越えたい方。
- 疲労がたまって業務時間が長引いていると感じる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 3つの健康とパフォーマンスの関係
2. 集中力とは−集中力の大きな特長
3. マインドフルネスとは
4. すぐに意識すべき「集中力」実践メソッド
5. 復元性（レジリエンス）
6. ニュートラル_1（自律神経）
7. ニュートラル_2（気持ちや気分、感情、意識を変化）
8. まとめ

受講料 ¥71,500

オンライン　コースコード HSV222

グループ演習 1日間

（PDU）リーダのためのマインドフルネス −成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフル− 【バーチャル・クラスルーム】PDU

忙しい現代ビジネスパーソンが集中力を高め記憶力や思考力を増進し、些事に悩まない強靭なリーダーシップが発揮できるようになるための手がかりです。グーグルやインテルのみならず世界のトップ企業において実践され始めている、マインドフルネスについて学習します。基本的な方法論を学び、実践できるようにします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標 マインドフルネスという概念と手法について理解し、実践できるようになる。

対象者 ビジネスリーダーを志す方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. パフォーマンス発揮の仕組み
2. パフォーマンス向上とセルフリーダーシップ
3. エクスペリエンス（体験）の強化
4. 強化トレーニングの代表メニュー
5. マインドフル強化の神経科学アプローチ
6. 現場実践でのレパートリー拡大
7. 定着と行動革新に向けて

受講料 ¥72,600

前に踏み出す力

試行錯誤しながら、失敗を恐れず、自ら一歩前に踏み出すために必要なスキル（主体性、実行力、働きかけ力）が修得できます。

前に踏み出す力

働きかけ力

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU HSV244 オンライン (PDU) ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方− グループ演習 1日間 (0.5日×2回) ＋ 事前学習(eラーニング) 3時間	

実行力

レベル1	レベル2	レベル3
HSV240 オンライン 自律型人財に求められるフォロワーシップ−相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化する− グループ演習 1日間		

オンライン　コースコード HSV244

グループ演習 0.5日間×2回

（PDU）ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方− 【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】 PDU

このコースは、基礎知識を事前動画（3時間）にて学習いただき、研修当日（0.5日×2回）は演習中心に進めます。成果を出す会議に必要なファシリテーションスキルを学習します。会議の種類と場面において、自身の課題や苦手意識がどこにあるのかを明確します。そのうえで、効果的なファシリテーションプランならびに現場での実践を通して、ファシリテーションスキルの向上をめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：11ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 良い会議の基本要素である会議のゴール設定（Must、Want事項）、時間枠、アジェンダの必要性を理解し、実践できる。
- 会議の種類毎にファシリテーションスキルにおける自身の課題や苦手意識がどこにあるのか、明確に理解し、会議の種類に応じたファシリテーションプランが作成できる。
- 現場での実践を通して、自身のファシリテーションスキルの向上ならびに会議の質を向上させることができる。

対象者
- 会議の議事進行を担当される方。
- さまざまな立場の方が参加する会議で、参加者の率直な意見を引き出したいとお考えの方。
- 会議でアイデア出しや企画を検討する場面において、多様な意見を引き出したいとお考えの方。
- 会議内での合意形成において、異なる意見の収束に苦手意識をお感じになっている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
【講義開始前のカリキュラム】
eラーニング（標準学習時間：3時間）
1. 成果を出す会議のファシリテーション
2. 会議を準備する
3. 会議当日の進行
4. 自身の課題の明確化
※バーチャル・クラスルームでは、eラーニングでの学習が完了していることを前提とします。必ず学習を完了していただき、不明点はバーチャル・クラスルームの際に講師へご質問ください
【講義のカリキュラム】
【1日目】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）0.5日
1. 成果を出す会議のファシリテーション概要
2. 効果的な会議の進め方（会議進行編）
【2日目】バーチャル・クラスルーム（グループ演習）0.5日
1. インターバル期間中の実践と課題の共有
2. 効果的な会議の進め方（問題解決編）
（1）コンフリクトマネジメント
（2）議論を活性化するポイント

受講料 ¥102,300

オンライン　コースコード HSV240

グループ演習 1日間

自律型人財に求められるフォロワーシップ −相乗効果を発揮し、チームの成果を最大化する− 【バーチャル・クラスルーム】

フォロワーシップの概念を理解し、フォロワーが担う役割を学びます。現場でフォロワーシップを発揮するために自身の課題と向き合い、主体的に能力を伸ばすポイントを学習します。さらに、チームのリーダやメンバと建設的な関係を築き、自身とチームの成果を最大化するための要素を学び、職場での実践方法を計画します。

到達目標
- フォロワーシップの概念を理解し、自律型人財として求められるフォロワー像を説明できる。
- フォロワーとしての役割を把握し、職場で主体的、能動的に実践していく上で自身の課題が明確になる。
- チームの価値を最大化するために、メンバと相乗効果を生み出す方法を検討・準備し、職場での実行するための手ごたえを感じることができる。

対象者
- リーダの指示待ちではなく、当事者意識を持って仕事をしたい方。
- チームのリーダやメンバと相乗効果を生み出し、自身とチームの成果を出したいとお考えの方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. はじめに
2. フォローワーシップの基本
（1）フォローワーシップの在り方
（2）フォローワーシップの構成要素
（3）フォロワーシップの5類型
（4）フォロワーシップの効果（個人/組織）
3. フォローワーシップを発揮するために
（1）フォロワーシップの現状理解
（2）自律型人財のフォロワーシップ
（3）主体的な能力開発・能力を活かすマインド
（4）仕事の質を決める中核能力
（5）成果を生み出す発展能力
4. 相乗効果でチームの成果を最大化する
（1）成果を挙げ続けるチームの要素
（2）ゴールに到達するためのマイルストーン
（3）ナレッジを共有する仕組みとメリット
（4）相乗効果を生むためのポイント
（5）職場での実践シート作成、行動宣言

受講料 ¥57,200

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）

業務遂行にあたって、意志決定を行うためのバックヤードとなる知見（コンプライアンス、業界知識、リベラルアーツ）が修得できます。

コンプライアンス

契約・取引

レベル1	レベル2	レベル3
Renewal PDU HSV249 オンライン 契約基礎−今こそ押さえておきたい!エンジニアと営業のための契約書の見方・ポイント− グループ演習 2日間		

キーワード	コースコード	コース名	実施方法	時間数
財務	HSE136	<eラーニング>（PDU）財務諸表の基礎知識	eラーニング	4時間
法務	HSE129	<eラーニング>SNSのリスクと利用時のガイドライン	eラーニング	1時間

レベル1 ：学びの型を忠実に守り繰り返す段階を表します
レベル2 ：学びの基本に自分なりの要素を加え、創造性を養う段階を表します　参考：技師、主任
レベル3 ：学びの形にとらわれない自由な境地に至り、独創性を追求する段階を表します　参考：月俸者

ビジネス
経営力
思考力/考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）

業種・業界知識

キーワード	コースコード	コース名	実施方法	日数／時間数
一般	HSE141	<eラーニング>（PDU）ビジネスモデル思考 経営力	eラーニング	12.2時間
サプライチェーンマネジメント	HSE134	<eラーニング>サプライチェーンマネジメント（SCM）基礎 ― 世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて ―	eラーニング	3時間
	HSJ203	体験型サプライチェーン経営（SCM）学習プログラム「The Fresh Connection」	集合	2日間

ビジネス教養

キーワード	コースコード	コース名	実施方法	時間数
思考	HSE066	<eラーニング>思考技法の概要	eラーニング	4時間
	HSE126	<eラーニング>ロジカルシンキング基礎 ― 論理の可視化と論理チェックのポイント ―	eラーニング	8時間
	HSE036	<eラーニング>QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方 ― マトリクス表を使って「決める」を考える ―	eラーニング	4時間
	HSE037	<eラーニング>TRIZで学ぶ発想のパターン ― 科学的な強制発想法 ―	eラーニング	4時間
	HSE072	<eラーニング>意思決定のスキル ― 合理と心理を理解したうえでの意思決定 ―	eラーニング	4時間
	HSE302	<eラーニング>【スキル定着】相手を納得させる論理構成力を磨く	eラーニング	4時間
経済	HSE099	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済1― 効率性と公平性、アダムスミスとケインズ ―	eラーニング	4時間
	HSE100	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済2 ― GDP、為替、財政 ―	eラーニング	6時間
	HSE101	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済3 ― 金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター ―	eラーニング	4時間
	HSE102	<eラーニング>（PDU）よくわかるマクロ経済4 ― 景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化 ―	eラーニング	6時間
	HSE118	<eラーニング>（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1 ― 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論 ―	eラーニング	6時間
	HSE098	<eラーニング>（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済2 ― 不完全な情報、期待効用、行動経済学 ―	eラーニング	4時間
	HSE103	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス1 ― 投資の判断、リスクとリターン ―	eラーニング	4時間
	HSE104	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス2 ― 企業価値評価 ―	eラーニング	4時間
	HSE105	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス3 ― 資金調達の方法 ―	eラーニング	6時間
	HSE106	<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス4 ― M&A、コーポレートガバナンス、財務計画 ―	eラーニング	6時間
古典	HSE109	<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学	eラーニング	10時間
	HSE111	<eラーニング>（PDU）孫子の兵法を現代に役立てる方法	eラーニング	10時間
	HSE115	<eラーニング>（PDU）中国古典に見る指導者の条件	eラーニング	10時間
	HSE112	<eラーニング>（PDU）「韓非子」のリーダ学	eラーニング	10時間
	HSE113	<eラーニング>（PDU）「貞観政要」に学ぶリーダの心得	eラーニング	10時間
	HSE114	<eラーニング>（PDU）「書経」に学ぶリーダの心得	eラーニング	10時間
	HSE110	<eラーニング>（PDU）リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学	eラーニング	10時間

オンライン コースコード HSV249 Renewal

グループ演習 2日間

（PDU）契約基礎―今こそ押さえておきたい！エンジニアと営業のための契約書の見方・ポイント―【バーチャル・クラスルーム】PDU

日本・海外（英文）を比較しながら、契約の基本や、契約書の見方・読み方、押さえるポイントを学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・商取引・契約とはなにかを知る。
・契約にどのような種類があるかを知る。
・契約書（日本国内、英文契約）の基本構成を知る。
・契約書の注意点がある程度わかる。

対象者
・原則、社会人経験2年以上で、契約を交わすような案件に関わる技術職、営業職、戦略企画職、事務職、担当・マネージャーなど。
・契約の基本を体系的に学びたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 概論：取引と契約
2. 概論：契約の種類
3. 契約書の基本（日本）
4. 海外取引
5. 契約書の基本（英文）
6. トラブル予防

受講料 ¥154,000

eラーニング コースコード HSE136

eラーニング 4時間

<eラーニング>（PDU）財務諸表の基礎知識 PDU

財務諸表の目的（役割）と用語を学習します。財務三表ともいわれる貸借対照表・損益計算書・キャッシュフロー計算書の仕組みや見方の基礎を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・財務諸表の基礎を理解し、分析のための前提知識が説明できる。
・経済の時事・動向に興味をもち、業務に活かせる。

対象者
・財務諸表の構成、内容を知りたい方。
・財務の入門知識を簡単に確認したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 財務諸表の概念
2. 貸借対照表
3. 損益計算書
4. キャッシュフロー計算書
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング コースコード HSE129

eラーニング 1時間

<eラーニング>SNSのリスクと利用時のガイドライン

SNSの特性やリスクについて事例を交えて紹介します。トラブルを未然に防ぐ重要性とそのポイントを学習し、SNS利用時のガイドラインを紹介します。また、万一、トラブルが起きた時に影響を最小化するためのポイントを学習します。

到達目標
・SNSの特性、リスクを理解できる。
・トラブル予防の重要性を理解し、実行できる。
・迅速な対応の重要性を理解し、トラブル発生可能性がある、または発生した際に適切な初期対応ができる。

対象者
・SNSを利用している全ての方。
・SNS上のトラブルを予防したい方。
・トラブル発生時の対応を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. SNSとは
 （1）SNSとは （2）SNSの影響力
 （3）利便性と危険性の共存
 （4）トラブルに巻き込まれる企業
 （5）SNSのトラブルは身近な問題
2. SNSの特性
 （1）SNS理解の重要性
 （2）SNSの特性 （3）SNS利用時には
3. SNSのリスクおよび個人・企業への影響
 （1）SNSのリスクを知る意義
 （2）SNSのリスク分類
 （3）企業の機密情報の漏えい
 （4）顧客情報の漏えい
 （5）私的な投稿によるトラブル
 （6）著作権・肖像権侵害リスク
 （7）不適切な業務遂行に関する投稿
 （8）誹謗中傷・風評 （9）なりすまし
 （10）企業におよぼす影響
4. SNS利用時のガイドライン
 （1）トラブル防止の重要性
 （2）SNS利用時のガイドライン
 （3）ガイドラインの目的
5. トラブル発生時の対応
 （1）初期対応の重要性
 （2）トラブル対応の流れ
 （3）企業の初期対応
 （4）従業員の初期対応
6. まとめ
 （1）SNSのリスクの再確認
 （2）今後に向け

受講料 ¥6,600

eラーニング コースコード HSE134

eラーニング 3時間

<eラーニング>サプライチェーンマネジメント（SCM）基礎―世界標準の知見に基づいた戦略的SCMの実現へ向けて―

SCM関連業務に関わる基礎的ながらも改善に関わる重要なキーワードを取り上げ、SCMの世界標準の知見を踏まえ、演習なども交えながら学習します。在庫・物流業務等、製造業の主たる一連のマネジメント業務とその関連知識を学習します。標準的な英語を合わせて学習することで、国内外の社内外の組織との連携の円滑化に求められる知識が底上げされます。eラーニングですので、安心して受講いただけるとともに、ご自身の都合の良い時間での受講が可能となります。

到達目標
・担当する関連業務の質とスピードの向上ができる。
・国内外の関連部門、組織との連絡効率の向上ができる。

対象者
・製造・流通・物流業の営業・マーケティング、SCM、需給調整、生産管理、製造・倉庫、調達・購買・資材関連業務部門関係者の方。
・SCM関連コンサル・ITエンジニアの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. サプライチェーンの戦略
2. サプライチェーンの設計
3. サプライチェーンの計画
4. サプライチェーンの計画演習 ～需要予測～在庫基準の検討演習～
5. サプライチェーンの実行と管理
6. サプライチェーンの測定 ～KPIと財務指標～

受講料 ¥19,800

集合 コースコード HSJ203

グループ演習 2日間

体験型サプライチェーン経営（SCM）学習プログラム「The Fresh Connection」

架空のフルーツジュース製造業、The Fresh Connection社のサプライチェーン経営（SCM）の疑似体験を通し、SCM関連の業務プロセスを把握し、このプロセス上で行う意思決定が、業績にどう影響するかを体験学習します。加えて、チームでプレーすることにより、業務間の繋がりの持つ意味や戦略に沿ったチームでの意思決定の有り方を体験学習します。

到達目標
・目標と戦略を実現できる。
・意思決定、組織間連携の加速ができる。
・経営・財務の視点を踏まえた改善活動の加速ができる。
・SCM業務・コミュニケーションの円滑化ができる。

対象者
・製造・流通・物流業の営業・マーケティング、SCM、需給調整、生産管理、製造・倉庫、調達・購買・資材関連業務部門関係者の方。
・SCM関連コンサル・ITエンジニアの方。

前提知識 特に必要としませんが、次の前提条件を満たしていることが望ましい。
・SCMに関わる基本的な役割と業務内容を理解していること。
・財務諸表（損益計算書、貸借対照表）の基本的な見方を理解していること。

内 容
1. チーム編成イントロ
2. ラウンド1（1期）
3. ラウンド2（2期）
4. ラウンド3（3期）
5. ラウンド4（4期）
6. ラウンド5（5期）
7. ラウンド6（6期）
8. 結果発表振り返り

受講料 ¥187,000

eラーニング コースコード HSE066

eラーニング 4時間

<eラーニング>思考技法の概要

これまで以上に業務における「思考」のウェイトが増しています。このような状況に対応するため、古今東西のあらゆる思考技法を、発想と情報整理の技法を中心に広く浅く学習します。

到達目標
・業務における思考の重要性を理解し、思考に時間を割く意識が持てる。
・各思考法の特長とそれぞれの適用シーンを理解できる。
・自己業務で有効な思考法を特定し、その技法の修得計画を立案できる。

対象者
・思考法についてこれから学習をはじめる方。
・アイデア出しや情報を整理する必要があり、その手法を知りたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 発散技法
 （1）ブレインストーミング
 （2）ブレインライティングほか多数
2. 収束技法
 （1）KJ法
 （2）特性要因図ほか多数
3. 統合技法
 （1）ケプナートリゴー法
 （2）TOC思考プロセス
 （3）バランススコアカード
 （4）ロジックツリーほか多数
4. 態度技法
5. 修了試験

受講料 ¥9,900

ビジネス
経営力
思考力／考え抜く力
チームで働く力
前に踏み出す力
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）

eラーニング コースコード HSE126

<eラーニング> ロジカルシンキング基礎 −論理の可視化と論理チェックのポイント−

8時間

問題を解決する際や、相手の納得を得られるために伝える際に必要となる、論理的思考の標準的なプロセスと構成を学習します。日々の業務での出来事・経験と自己の成長と結び付けながら思考技術を学習します。

到達目標
・論理展開の基本が理解できる。
・前提から結論までの論理のつなぎかたを理解できる。
・事実としての正しさを考える論理的問題解決のプロセスを理解できる。

対象者
・問題解決の標準的な進め方を身につけたい方。
・うまく相手に伝えられないと感じている方。
・仕事のやり方を概念的に見つめ直したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 論理的思考の基礎知識
 (1)意味論と構文論
 (2)論点と切り口
 (3)問題解決のプロセス
 (4)仮説検証サイクル
 (5)挙げる（拡散思考）/絞る（収束思考）/確かめる（事実による検証）
2. 構文論の基本
 (1)演繹法のポイント
 (2)帰納法のポイント
3. 構文論力の向上の方法
 (1)ピラミッドストラクチャによる論理構成の可視化
 (2)「なぜそう言えるの？」と「だから何が言えるの？」
 (3)「なぜ大事な論点が漏れていないと言えるの？」
 (4)「話の筋が通っているってどういうこと？」
4. 意味論力向上の方法
 (1)選択肢を挙げる/絞り込む手法
 (2)問題解決のプロセスへの論理思考の適用

受講料 ¥18,700

eラーニング コースコード HSE036

<eラーニング>QFD（品質機能展開）で学ぶマトリクス表の上手な使い方 −マトリクス表を使って「決める」を考える−

4時間

QFD（品質機能展開）の手法を学習します。

到達目標 QFD（品質機能展開）の概要を説明できる。

対象者
・「決める」プロセスを知りたい方。
・QFDに興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. QFDの基礎知識
 (1)QFDとは何か？
 (2)QFDはどう役立つのか？
 (3)QFDはどう進めるのか？
 (4)品質って何？
2. 要求分析の手順とポイント
 (1)要求品質の抽出
 (2)品質企画の設定
 (3)品質特性の抽出
 (4)要求品質と品質特性の関連付け
 (5)品質設計の設定
3. 考える手順の応用
 (1)どんな横軸・縦軸が考えられるか？
 (2)決めたいことには何があるか？

受講料 ¥9,900

eラーニング コースコード HSE037

<eラーニング> TRIZで学ぶ発想のパターン −科学的な強制発想法−

4時間

TRIZの手法を学習します。

到達目標 TRIZの概要を説明できる。

対象者
・「発想する」プロセスを知りたい方。
・TRIZに興味のある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. TRIZの基礎知識
 (1)TRIZとは何か？
 (2)TRIZはどう役立つのか？
 (3)TRIZはどう進めるのか？
2. 矛盾を定義する
 (1)何を良くしたいのか？
 (2)誰の究極の理想解なのか？
 (3)何が妨げになるのか？
3. 解決策を考える
 (1)40の発明原理
 (2)矛盾解決マトリクス（48のパラメータ）

受講料 ¥9,900

eラーニング コースコード HSE072

<eラーニング> 意思決定のスキル −合理と心理を理解したうえでの意思決定−

4時間

ロジカルシンキングを踏まえ、ビジネス上の意思決定の場面において必要な基本概念とスキルを学習できます。意思決定において無意識のうちに行ってしまう錯誤のパターンをクイズ形式で解きながら体感します。

到達目標
・意思決定の際に無意識に行ってしまう勘違いを理解し「思考のワナ」に陥ることなく正しい意思決定ができる。
・阻害要因などを取り除き、状況を整理してから意思決定を行うことができる。
・デシジョンツリーを使って合理的な意思決定の考え方を理解できる。

対象者
・決めることに毎回迷いのある方。
・何かを決める際に一貫性がないと思われる方。
・何かを決めた後によく後悔のある方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。（20年度まで開講しておりました「ロジカルシンキング基礎」をご受講の方は同等とみなします）

内 容
1. 意思決定における心理的側面
 (1)ヒューリスティックによるバイアス
 (2)フレーミングによるバイアス
2. 合理的意思決定の考え方
 (1)デシジョンツリーの作り方
 (2)期待値とミニマックス

受講料 ¥8,800

eラーニング コースコード HSE302

<eラーニング>【スキル定着】 相手を納得させる論理構成力を磨く

4時間

ロジックツリーやピラミッドストラクチャを何度も作って練習します。例えば、相手を納得させなければならない企画・提案の状況をケースとして設定し、その中で相手を納得させる論理構成をピラミッドストラクチャで作ります。

到達目標 ロジックツリーやピラミッドストラクチャに対して自分なりの活用シーン、活用の型をイメージできるようになる。

対象者
・営業・ITエンジニア（若手・中堅）の方。
・ロジカルシンキング基礎を学び、ロジックツリーやピラミッドストラクチャを理解したが、練習の機会が研修だけで実務に適用するには不安のある方。
・もっとさまざまな問題を解いて活用に慣れたい方。

前提知識 「ロジカルシンキング基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識（ロジックツリーやピラミッドストラクチャの理解）があること。

内 容
1. 論拠をつなげて主張をとおす
2. 論拠を事実で支える
3. 結論を支える枠組みを考える
4. 結論を納得させるうえで何が言えればよいかを考える
5. 何が言えればよいか、を構造的に整理する

受講料 ¥11,000

eラーニング コースコード HSE099

<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済1 −効率性と公平性、アダムスミスとケインズ− PDU

4時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・マクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 望ましい経済とは何か？ - 効率性と公平性 -
2. 市場経済 - アダム・スミスの思想と時代背景から何を学ぶか-
3. 有効需要管理政策 - ケインズ理論と時代背景から何を学ぶか-

※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング コースコード HSE100

<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済2 −GDP、為替、財政− PDU

6時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・マクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 「（PDU）よくわかるマクロ経済1-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 国内総生産（GDP）・物価の推移
2. 為替レートの推移と日本経済
3. 財政の3機能
4. 財政危機と日本経済

※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング コースコード HSE118

<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済1 −経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論− PDU

6時間

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・ビジネス・ミクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 経済学の思考法をビジネスに活かす【エコカー導入のケース】
2. 誤った費用分析が誤った判断を引き起こす【受注可否判断のケース】
3. 市場経済の機能と限界【アウトソーシング判断のケース】
4. ライバルとの駆け引き＜ゲーム理論＞【価格戦略・出店戦略に関するケース】
5. 修了試験

※「よくわかるビジネス・ミクロ経済1 - 2」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング コースコード HSE101

<eラーニング> (PDU) よくわかるマクロ経済3 −金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーター− PDU

4時間

ビジネスに必要な知識である経済用語、経済データ、経済の仕組み、経済理論を学ぶだけではなく、各々の理論の枠を超えた経済思想について、その思想の社会的背景を踏まえて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・一国経済全体や世界経済の動きを論理的に分析し、それが自分のビジネスや生活にどのように関わるのかを理解できる。
・時代背景を含めて経済思想を学び、現在の経営判断に活用できる。
・経済論理を使って、将来をどこまで予測でき、どこからは予測できないかを認識できる。

対象者 ビジネスにマクロ経済学を活用したい方。

前提知識 「（PDU）よくわかるマクロ経済1-効率性と公平性、アダムスミスとケインズ-」eラーニングコース、および「（PDU）よくわかるマクロ経済2-GDP、為替、財政-」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 金融政策
2. 選択の自由 - ハイエクとフリードマンの思想と時代背景から何を学ぶのか-
3. イノベーション - シュンペーターの思想と時代背景から何を学ぶか-

※「よくわかるマクロ経済1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング コースコード HSE098

<eラーニング> (PDU) よくわかるビジネス・ミクロ経済2 −不完全な情報、期待効用、行動経済学− PDU

4時間

ビジネスでの活用を念頭に、ビジネスケースにおける課題を提示し、その課題解決のための有効な枠組みとしてミクロ経済学の思考法と理論を学習します。数式は多用せず、言葉とグラフによる論理展開によって、文系出身のビジネスマンにも理解できるよう紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ミクロ経済学の理論を活用して、ビジネス上での課題をより適切に解決できる。

対象者
・対象業務・業界に参入した方。
・ビジネス・ミクロ経済について概要や動向、業務などに不理解な点があり、整理して理解したいと考えている方。

前提知識 「（PDU）よくわかるビジネス・ミクロ経済1ー経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 情報不完全が現実経済をこう変える【大手ブランドのOEMか自社ブランドか判断するケース】
2. 人はなぜ保険に入るのか＜期待効用理論＞【成果型賃金体系の導入検討のケース】
3. 合理性と非合理性が入り交じる相場の世界＜行動経済学＞【ネット証券の新サービス企画のケース】

※「よくわかるビジネス・ミクロ経済1 - 2」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング コースコード HSE103

<eラーニング> (PDU) よくわかるファイナンス1 −投資の判断、リスクとリターン− PDU

4時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
・ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
・出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
・理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識 Excelの基本的操作ができること。

内 容
1. ファイナンスの重要性・講義概要
2. 投資の判断
3. リスクとリターン

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード HSE104

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス2 −企業価値評価− PDU

eラーニング 4時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
- ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
- 出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
- 理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識
- Excelの基本的操作ができること。
- 「（PDU）よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー」eラーニングコースを修得しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 企業価値評価（1）
2. 企業価値評価（2）
3. 企業価値と資本構成

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード HSE105

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス3 −資金調達の方法− PDU

eラーニング 6時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
- ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
- 出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
- 理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識
- Excelの基本的操作ができること。
- 「（PDU）よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー」eラーニングコース、および「（PDU）よくわかるファイナンス2ー企業価値評価ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 資金調達の方法
2. 債券
3. 株式
4. デリバティブ、予想レンジ

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード HSE106

<eラーニング>（PDU）よくわかるファイナンス4 −M&A、コーポレートガバナンス、財務計画− PDU

eラーニング 6時間

ファイナンスの基本論点をマスターするだけではなく、ファイナンスに関する指標を計算し、その指標を用いて経営を語ることができるように学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：3.5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 自社や投資プロジェクトの収益率の計算方法が分かり、自分でExcelを使って計算できる。
- ベンチャー企業へ出資する際、どのような点を考慮すれば企業価値向上に貢献できるのかを理解できる。
- 出資か借り入れか、株主構成はどうあるべきか等に関し、勘所を理解できる。
- 理論を自分の仕事に当てはめて考え、ファイナンスの視点から振り返ることができる。

対象者 ファイナンスの知識を業務に活用したい方。

前提知識
- Excelの基本的操作ができること。
- 「（PDU）よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー」/「（PDU）よくわかるファイナンス2ー企業価値評価ー」/「（PDU）よくわかるファイナンス3ー資金調達の方法ー」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 外国為替管理、合併・買収・ガバナンス
2. 財務計画
3. ベンチャーファイナンス
4. まとめ（企業評価のケーススタディ）

※「よくわかるファイナンス1 - 4」eラーニングコースは連続した内容のため、番号順の受講をお薦めします。

受講料 ¥17,600

eラーニング　コースコード HSE109

<eラーニング>経世済民の哲学としての朱子学

eラーニング 10時間

朱子学を通してモラルセンスの向上を学習します。経世済民（世の乱れを治め、人の苦しみを救うこと）をめざす実践的かつ人道的な朱子学ならびに陰陽五行、医学など中国思想を広く学習します。

到達目標
- 朱子学で使われる主要な用語を理解できる。
- 朱子学の概要を理解できる。
- 朱子学を自身のモラルセンス向上に役立てることができる。

対象者
- 自己のモラルセンスを高め、より良い社会、顧客価値を追求したい方。
- リーダとしてコンプライアンス意識向上の必要性を感じている方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 朱子学の誕生
   （1）朱子学とは
2. 朱子学から見た宇宙
   （1）世の中を構成する理と気を知る
3. 朱子学から見た人間
   （1）自分自身の法則を知り、道心にしたがう
4. 朱子学から見た人生
   （1）天命を果たすために困難に立ち向かい学ぶことで自分を鍛える
5. 朱子学から見た学問
   （1）モラルセンスのある人になるために学ぶ
6. 朱子学から見た教育
   （1）本当の意味で豊かな社会を実現するための教育
7. 朱子学の展開
   （1）これからのトップやリーダに求められる素質とは

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE111

<eラーニング>（PDU）孫子の兵法を現代に役立てる方法

eラーニング 10時間 PDU

孫子の兵法の概要を理解したうえで、その教えを現代に活かすための考え方を学習します。このコースでは「孫武の兵法」に加え、戦国時代の「孫臏の兵法」の両方を紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：8ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 孫子の兵法の概要を理解できる。
- 孫子の兵法を活用するための思考方法を会得できる。

対象者
- 「孫子の兵法」に興味がある方。
- これから戦略を学び始める方で、古典を知っておきたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 孫武の兵法始計から謀攻まで
   （1）中国兵法を現代のビジネスに活かすにあたり必要なこと
2. 孫武の兵法軍形から虚実まで
   （1）戦わずして勝つ方法
3. 孫武の兵法軍争から行軍まで
   （1）戦わずして勝つ方法
4. 孫武の兵法地形から用間まで
   （1）状況や環境に応じてやり方を変える
5. 孫ぴんの兵法擒ホウ涓から殺士まで
   （1）成功には信用と正義が欠かせない
6. 孫ぴんの兵法延気から将義まで
   （1）イマジネーションを働かせて活用の方法を考えてみる
7. 孫ぴんの兵法将徳から奇正まで
   （1）事前に準備をし、勝ちに行ける状態を作っておく
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE115

<eラーニング>（PDU）中国古典に見る指導者の条件

eラーニング 10時間 PDU

ヒューマニズムに立って「徳治」を主張した「論語」、性悪説に立って「法」と「術」による統治を唱えた「韓非子」、それらに類する中国古典を通して現代におけるリーダの条件を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 「徳治」、「法と術による統治」の考え方と思想を理解できる。
- リーダとしての正しい判断力を会得できる。

対象者
- リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
- リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 今なぜ中国古典か -「修己治人」の学
2. 孔子のめざしたもの -「事上磨錬」の教え
3. 信頼される指導者の条件とは -『徳』の教え
4. 「韓非子」と性悪説
5. 法と術による統治 - 部下を使うことについて
6. 危機管理について -「狡兎三窟」
7. 指導者の要件とは -「桃李不言、下自成蹊」について
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE112

<eラーニング>（PDU）「韓非子」のリーダ学 PDU

eラーニング 10時間

中国戦国時代の法家である韓非子の著書「韓非子」から、春秋・戦国時代の思想・社会における性悪説に立ったリーダのあり方について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：5ポイント）の取得が可能です。

到達目標 従来の「性善説」に基づく組織運営に、「性悪説」に基づく組織運営のよいところを取り入れるポイントを理解できる。

対象者
- リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
- 今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 韓非子の思想
   （1）理想のトップとしてのあり方
2. 理想のリーダ像
   （1）部下に心の中を見せないようにする
3. 組織管理のコツ
   （1）部下に権限を与えすぎないようにする
4. トップの自滅する理由
   （1）トップは過ちを犯した場合、すぐ改めるようにする
5. 実権者に仕える心得
   （1）部下はトップに対し、礼儀を持ち、諫言はほのめかすように伝える
6. 現実を生きる人間像
   （1）大事になる前に手を打つことが、問題解決の秘訣である
7. 韓非子の名言
   （1）トップは部下を信用しすぎないようにする
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE113

<eラーニング>（PDU）「貞観政要」に学ぶリーダの心得 PDU

eラーニング 10時間

帝王学の指南書とされる「貞観政要」を通して、現代企業の経営者が持つべき指導者のあり方、人間に不変な倫理観について理論面と行動面を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：5ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 経営者として持つべきリーダシップに必要な考え方を理解できる。
- あるべきリーダとなるために琢磨を推進する基礎力を会得する。

対象者
- リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
- 今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 「（PDU）中国古典に見る指導者の条件」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 創業か守成か
   （1）創業（攻めの経営）と守成（守りの経営）ではどちらが難しいか
2. わが身を正す
   （1）トップが自分の姿勢を正すようにすると、部下はついてくる
3. 緊張感を持続させる
   （1）安定している時こそ気持ちを引き締める
4. 諫言に耳を傾ける
   （1）部下が意見を言いやすい環境作りを心がける
5. 自己コントロール
   （1）私利私欲をなくしてこそ、組織をまとめていくことができる
6. 謙虚にそして慎重に
   （1）トップの発言は影響力が大きいため、謙虚さ・慎重さを忘れない
7. 初心忘るべからず
   （1）初心に戻り、自分を戒め、前に進んでいく
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE114

<eラーニング>（PDU）「書経」に学ぶリーダの心得 PDU

eラーニング 10時間

儒教の唱えた政治学の原典とされる「書経」を通して、組織を統率する者はどうあるべきか、時代を超えて現代にも当てはまる指導者の心得の条件を先人の苦労を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 組織を統率するのに必要な技術力や能力を高められる。
- リーダとして、組織のさまざまな担当者の立場と心得を理解できる。

対象者
- リーダとしての振る舞いに悩み・疑問を抱えている方。
- 今後リーダになるにあたり、リーダ像を考えるきっかけを必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 堯と舜 - 理想の天子
   （1）堯と舜から組織をまとめていくコツを学ぶ
2. 禹 - 治水の功労者
   （1）リーダの率先垂範、刻苦精励により部下はついてくる
3. 殷の湯王 - 日々に新たに
   （1）リーダは日々徳を身につけ、より良くなるように努める
4. 伊尹と太甲
   （1）仕事を成功させる秘訣は「熟慮」と「断行」である
5. 傅説と高宗
   （1）補佐役の重要性について説くとともに、なるほどと思ったことは実行に移していく
6. 周の文王と武王
   （1）どんな仕事でも、最後まで気を抜かずにとりかかる
7. 周公旦と成王
   （1）大きな仕事を成し遂げるためには「志」と「勤」が必要である
8. 修了試験

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード HSE110

<eラーニング>（PDU）リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学 PDU

eラーニング 10時間

正史『三国志』にもとづき、主な登場人物 - 魏の曹操、蜀の劉備、呉の孫権、蜀の諸葛亮、魏の司馬懿らを取り上げ、彼らがこの激動の時代を、どう生き抜いたのか、また、リーダとしてどんな長所を持っていたのか、そのあたりを中心に紹介します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：7ポイント）の取得が可能です。

到達目標 激動の時代を生きた『三国志』のリーダから、現代を生きる知略と勇気を学ぶことができる。

対象者 3年以上の業務経験がある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 非常の人、曹操1
2. 非常の人、曹操2
3. 蜀の劉備
4. 呉の孫権
5. 戦略家、諸葛亮1
6. 名宰相、蜀の諸葛亮2
7. 権謀家、魏の司馬懿

受講料 ¥33,000

プロジェクトマネジメント

プロジェクトの計画・実行を行うために必要な知識や手順、技法が修得できます。

プロジェクトマネジメントの全体像の理解

PMコアコース

レベル1	レベル2	レベル3

PMV065 オンライン
プロジェクトマネジメント基礎
グループ演習 | 2日間

休講 PDU
PMJ066 集合
(PDU)ワークショップで学ぶ プロジェクトマネジメント実践
グループ演習 | 2日間

休講 PDU
PMV003 オンライン
(PDU)
プロジェクト経験者のための プロジェクトマネジメント上級編
グループ演習 | 2日間

PME022 eラーニング
プロジェクトマネジメント基礎
音声なし・説明文有 | 8時間

PMBOK®ガイド

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV108 オンライン
(PDU)
PMBOK®ガイド 第7版セミナー
レクチャ | 2日間

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*第7版を学習します。

PDU
PME024 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(1)PMを取り巻くもの−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME025 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(2)原理・原則−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME026 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(3)ステークホルダー・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME027 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(4)チーム・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME028 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME029 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(6)計画パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME030 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(7)プロジェクト作業パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME031 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(8)デリバリー・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME032 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(9)測定パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME033 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(10)不確かさパフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME034 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(11)テーラリング−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME035 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(12)モデル、方法、作成物−
音声有・説明文有 | 2時間

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会(Project ManagementInstitute, Inc.)の登録商標です。

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

PMコアコース

レベル1	レベル2	レベル3

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*をプロセスベースで学習します。

PDU
PME036 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(1) プロジェクトとは
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME037 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME038 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(3) 統合マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME039 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(4) スコープ・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME040 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME041 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME042 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME043 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME044 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME045 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(10) リスク・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME046 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(11) 調達マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME047 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ *PMBOK®ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PMP®資格取得コース

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV094 オンライン
PMP®資格試験対策 5日間コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】
レクチャ | 5日間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

PMBOK®ガイドの知識エリア・PMヒューマンスキル

PMBOK®ガイド

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV108 オンライン
(PDU)
PMBOK®ガイド
第7版セミナー
レクチャ | 2日間

※このコース群は、全12本のeラーニングでPMBOK®ガイド第7版を学習します。

PDU
PME024 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(1)PMを取り巻くもの−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME025 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(2)原理・原則−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME026 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー −(3)ステークホルダー・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME027 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(4)チーム・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME028 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド第7版
セミナー −(5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME029 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(6)計画パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME030 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド第7版
セミナー −(7)プロジェクト作業パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME031 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー −(8)デリバリー・パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME032 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(9)測定パフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME033 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(10)不確かさパフォーマンス領域−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME034 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(11)テーラリング−
音声有・説明文有 | 2時間

PDU
PME035 eラーニング
(PDU) PMBOK®ガイド
第7版セミナー
−(12)モデル、方法、作成物−
音声有・説明文有 | 2時間

※このコース群は、全12本のeラーニングでPMBOK®ガイドをプロセスベースで学習します。

PDU
PME036 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(1)
プロジェクトとは
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME037 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶPMBOK®ガイド(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME038 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(3)
統合マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME039 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(4)
スコープ・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME040 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(5)
スケジュール・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME041 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(6)
コスト・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME042 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(7)
品質マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME043 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(8)
資源マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME044 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(9)
コミュニケーション・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME045 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(10)
リスク・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME046 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(11)
調達マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME047 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ
PMBOK®ガイド(12)
ステークホルダー・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PMBOK®ガイドとPMP®はプロジェクトマネジメント協会(Project ManagementInstitute, Inc.)の登録商標です。
PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

見積技術

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PME005 eラーニング
(PDU)2時間でわかる
ファンクションポイント法
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME023 eラーニング
(PDU)
ファンクションポイント法基礎
音声なし・説明文有 | 4時間

スケジュール・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV101 オンライン
(PDU)実現可能性を高める
スケジュール・マネジメント
グループ演習 | 1日間

コスト・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV107 オンライン
(PDU)
プロジェクトマネージャのための
ファイナンシャルマネジメント
レクチャ | 2日間

リスク・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV100 オンライン
(PDU)
1日で学ぶプロジェクトの
リスクマネジメント
グループ演習 | 1日間

ステークホルダー・マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV102 オンライン
(PDU)プロジェクト関係者と
良好な関係を築くための
ステークホルダーマネジメント
グループ演習 | 1日間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文(音声あり)で学習するタイプのeラーニングです。(説明文を音声で聞くことも可能です)
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。(音声再生環境が必須です)
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文(音声なし)で学習するタイプのeラーニングです。(音声再生環境は不要です)

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

調達マネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV106 オンライン (PDU) プロジェクトマネジメントの 契約・調達マネジメント グループ演習 2日間	PDU PMV113 オンライン (PDU) プロジェクト協創の ためのベンダーマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− グループ演習 2日間

コンピテンシ強化

レベル1	レベル2	レベル3
チームで働く力 PDU HSV221 オンライン (PDU) 自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる− グループ演習 2日間		Renewal PDU PMV114 オンライン (PDU) プロジェクトマネージャのための メンバーの力を引き出すモチベーション・ マネジメント−行動特性分析に基づく− グループ演習 2日間

コミュニケーション強化

レベル1	レベル2	レベル3
チームで働く力 Renewal PDU HSV251 オンライン (PDU) アサーティブ・コミュニケーション−職場に活かせる建設的 コミュニケーションスキルの向上− グループ演習 1日間		

ファシリテーション

レベル1	レベル2	レベル3
前に踏み出す力 PDU HSV244 オンライン (PDU) ファシリテーション研修 −成果を出す会議の進め方− グループ演習 1日間 (0.5日×2回) ＋ 事前学習(eラーニング) 3時間		

リーダシップ

レベル1	レベル2	レベル3
PDU PMV054 オンライン (PDU) プロジェクトを 円滑に進めるための 合意形成力強化トレーニング グループ演習 2日間		

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会（Project ManagementInstitute, Inc.）の登録商標です。

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

交渉力強化

レベル1	レベル2	レベル3
チームで働く力 HSV229 オンライン 協創を生みだす交渉 （実践演習編） グループ演習 1.5日間 HSV185 オンライン 行動経済学を応用したパースエイション （説得）のスキルーハードー流 交渉学の真価を発揮するために− グループ演習 1日間	PDU PMV102 オンライン (PDU) プロジェクト関係者と 良好な関係を築くための ステークホルダーマネジメント グループ演習 1日間	

プロジェクトマネジメント実践力強化

守りから攻めのPMシリーズ

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV112 オンライン (PDU) デジタル時代の プロジェクトマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− レクチャ 1日間 事業戦略・投資管理・ビジネスモデル PDU CTV076 オンライン (PDU) 変革の時代に生き残るために 必要な戦略的IT投資のポイント −守りから攻めのPMシリーズ− グループ演習 1日間	PDU PMV113 オンライン (PDU) プロジェクト協創の ためのベンダーマネジメント −守りから攻めのPMシリーズ− グループ演習 2日間

判断・行動力強化

レベル1	レベル2	レベル3
PDU PMV110 オンライン (PDU) ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 Part1 グループ演習 1日間 PDU PMV111 オンライン (PDU) ケースメソッドによる PM判断・行動力強化 Part2 グループ演習 1日間		

トラブル対応力強化

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV104 オンライン (PDU) トラブルプロジェクトの アセスメント グループ演習 2日間	

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

プログラム／ポートフォリオ

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU PMV105 オンライン (PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメントープロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために－ グループ演習 2日間	

アジャイルマネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
SPV084 オンライン スクラムの基礎と実践 グループ演習 1日間	モダン開発（アジャイル開発含む） PDU SPV083 オンライン (PDU) ［リーダー向け］アジャイル開発における自律型チーム運営 グループ演習 1日間 SPV070 オンライン アジャイル開発(スクラム)におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ グループ演習 1日間 PDU PMV103 オンライン (PDU)マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用 グループ演習 1日間	

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会（Project ManagementInstitute, Inc.）の登録商標です。

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

オンライン / コースコード PMV065

プロジェクトマネジメント基礎【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

プロジェクトマネジメントを進めるために必要なプロジェクトの概念やプロジェクトマネジメントのための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。

到達目標 ・プロジェクトの概念が説明できる。
・プロジェクトマネジメントのための各手法、考え方が説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、システム開発に関する基礎知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントとは
2. プロジェクト立上げ(ケーススタディ、演習)
   (1)上位マネジメントの役割
   (2)プロジェクト憲章
3. プロジェクト計画(ケーススタディ、演習)
   (1)プロジェクトマネジメント計画書(スコープ、WBS、スケジュール、コスト、品質、リソース、コミュニケーション、リスク、調達)
4. 実行とコントロール(ケーススタディ、演習)
   (1)ベースラインの確認
   (2)パフォーマンス評価
   (3)アーンド・バリュー・マネジメント
   (4)実績報告書作成
5. プロジェクト完了

受講料 ¥66,000

---

eラーニング / コースコード PME022

<eラーニング> プロジェクトマネジメント基礎

eラーニング 8時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである*PMBOK®ガイド*をベースに、プロジェクトマネジメントの基本を学習します。

到達目標 プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである*PMBOK®ガイド*をベースに、プロジェクトマネジメントの基本を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、担当クラスの方でプロジェクトマネジメントの基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの概要
2. プロジェクトマネージャの仕事の流れ
3. *PMBOK®ガイド*の考え方
4. プロジェクトマネジメントの各知識エリアの概要
5. 修了試験

受講料 ¥22,000

集合 / コースコード PMJ066 休講

(PDU) ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践 PDU

グループ演習 2日間

プロジェクトマネジメントのベースとなるステークホルダー登録簿、スコープ記述書、プロジェクトマネジメント計画書、リスク登録簿など、プロジェクト計画のための各手法、考え方を、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ・スコープ記述書が作成できる。
・ステークホルダー分析ができる。
・プロジェクトマネジメント計画書が作成できる。
・リスク登録簿が作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でこれからプロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの概要
2. *PMBOK®ガイド*の概要
   (1)演習：ステークホルダー分析
3. スコープ記述書
   (1)演習：スコープ記述書の作成
4. プロジェクト管理計画書
   (1)演習：プロジェクト管理計画書の作成
5. リスクマネジメント
   (1)演習：リスク登録簿の作成

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード PMV003 休講

(PDU) プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編【バーチャル・クラスルーム】 PDU

グループ演習 2日間

プロジェクトマネージャが、失敗しない（成功する）プロジェクトをめざすために必要な計画・管理工程における各種ガイドラインについて、講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 計画・管理工程における各種ガイドラインを用いて、プロジェクトマネジメントを実践できる。

対象者 プロジェクトマネジメント業務を行う方。

前提知識 プロジェクトの計画と管理に関する基礎知識があり、「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. モダンプロジェクトマネジメントの重要性
2. プロジェクトの立上げ、計画プロセスにおけるマネジメントと留意点
3. プロジェクト遂行プロセスにおけるマネジメントと留意点
4. プロジェクト完了プロセスにおけるマネジメントと留意点
5. 事例演習と講評

受講料 ¥88,000

---

eラーニング / コースコード PME005

<eラーニング> (PDU) 2時間でわかるファンクションポイント法 PDU

eラーニング 2時間

ソフトウェア開発の規模を見積るためのファンクションポイント法について、計測方法の基礎を2時間で解説します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の概要、および計測手順を説明できる。

対象者 プロジェクトリーダ（マネージャ）の方、または今後めざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ファンクションポイント法の基本的な概念
2. ファンクションポイント算出手順
3. データファンクションの計測
4. トランザクションファンクションの計測
5. ファンクションポイントの算出
6. 修了試験

受講料 ¥8,800

---

eラーニング / コースコード PME023

<eラーニング> (PDU) ファンクションポイント法基礎 PDU

eラーニング 4時間

ソフトウェアの機能量を測る手段であり、顧客や開発発注先との価格交渉、見積に効果的なファンクションポイント法の基本を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標 ファンクションポイント法の基本について説明できる。

対象者 担当クラスの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. FP算出方法
2. FPの性質と特長
3. FP法と見積
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

オンライン　コースコード PMV101

(PDU)実現可能性を高めるスケジュール・マネジメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

プロジェクトにおけるスケジュールは、プロジェクトにかかわるすべての人が プロジェクトの全体像を理解し、適切な行動をとることができるための案内図です。このコースでは納期を守るためのスケジュール作成から工程管理までのスケジュール・マネジメントの基礎を学ぶことができます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・スケジュール・マネジメントの意義と留意点を説明できる。
・スケジュール・マネジメントのプロセスに従って基本的なマネジメントができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントの基礎知識を有している方。
・スケジュール管理能力を向上したい方。
・体系的にスケジュール・マネジメントを学びたい方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スケジュール・マネジメントの概要
　(1)プロジェクトマネジメントとは
　(2)スケジュール・マネジメントの必要性とプロセス
2. スケジュール・マネジメント
　(1)スケジュール作成
　(2)実行(実績と傾向の報告)
　(3)監視・コントロール
　(4)遅延防止のための管理ポイント
　(5)遅延に対する対策

受講料　¥63,800

オンライン　コースコード PMV107

(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

レクチャ 2日間

プロジェクト・マネージャに必要な財務・会計の基本、契約時の利益計画などの基礎知識とプロジェクト遂行における財務分析ツールをケーススタディや演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・財務・会計の基本、契約時の利益計画、資産管理などの基礎知識を説明できる。
・プロジェクト遂行における一般的な財務分析ツールについて説明できる。

対象者　プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 財務の基本
2. 収益性の価格設定
3. 契約条件
4. コスト見積り
5. 資産マネジメント

受講料　¥99,000

オンライン　コースコード PMV100

(PDU)1日で学ぶプロジェクトのリスクマネジメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

リスクマネジメントはすべてのプロジェクト計画に関連するスキルであり、立上げ、各種計画の策定から実行、監視・コントロール、終結に至るまで、常時細心の注意を払うべきマネジメントの中核でもあります。このコースはプロジェクトマネージャならびにリーダの経験者がご自身のプロジェクト経験をもとに課題に対するディスカッションを行い、ご自身が気付いていなかった新たなリスクを認識、対策のバリエーションを見出すことができるようデザインされています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・リスクマネジメントプロセスの意義と留意点を説明できるようになる。
・新しい視点でリスクの洗い出しができるようになる。
・一つのリスクに対して複数のリスク対策を考えられるようになる。

対象者　プロジェクト・マネジメント計画書の作成、あるいは作成を支援した経験がある方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクトのリスク
　(1)リスクマネジメントのプロセス
　(2)なぜプロジェクトのリスクマネジメントが必要なのか
　(3)プロジェクトの成功と失敗
　(4)リスクヘッジ
2. リスクの特定
　(1)プロセスでの「特定」の意義と留意点
　(2)リスクの洗い出し
3. リスクの分析と対策
　(1)プロセスでの「分析と対策」の意義と留意点
　(2)専門家の判断
　(3)発生確率と影響度による評価
　(4)リスク対応戦略
4. その他のリスクマネジメントの留意点

受講料　¥63,800

オンライン　コースコード PMV102

(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を築くためのステークホルダーマネジメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

プロジェクトの複雑度やスピード感が高まる中、顧客や上級マネジメント、関連部署などプロジェクトに影響を与えるステークホルダーは複雑化しています。プロジェクトではステークホルダーの関与を促進し、協力的な関与を引き出すことが、プロジェクトの成功に直結します。このコースではステークホルダーの特定・分析、コミュニケーションの観点によりステークホルダー・マネジメントの基礎を学ぶことができます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・ステークホルダー・マネジメントの意義と留意点を説明できる。
・ステークホルダー・マネジメントのプロセスに従って基本的なマネジメントができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントの基礎知識を有し、プロジェクトマネジメント業務を行う方。
・ステークホルダーとの良好な関係を築きたい方。
・体系的にステークホルダー・マネジメントを学びたい方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ステークホルダー・マネジメントの概要
　(1)プロジェクトマネジメントとは
　(2)ステークホルダー・マネジメントの必要性とプロセス
2. ステークホルダー・マネジメント
　(1)ステークホルダーの特定
　(2)ステークホルダーの分析
　(3)ステークホルダーとのコミュニケーション
　(4)コミュニケーションを阻害する要因
　(5)ステークホルダーのタイプ分けと対応

受講料　¥63,800

オンライン　コースコード PMV106

(PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

契約の知識、契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任および契約者またはサブコントラクタが契約上の要求通りに実行することを確認するための有益なアクション策について、学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・契約・調達に関わる知識を説明できる。
・契約・調達に関わるプロジェクトマネージャとしての役割と責任について説明できる。

対象者　プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識
プロジェクトへの参画経験があり、「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 契約マネジメントプロセス
2. チームワーク - 役割と責任 -
3. 契約法の概念と原則
4. 契約方法
5. 契約の価格協定
6. 契約前フェーズ
7. 締結フェーズ
8. 締結後フェーズ

受講料　¥99,000

オンライン　コースコード PMV113

(PDU)プロジェクト協創のためのベンダーマネジメント−守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

このコースでは、調達方針を踏まえ、開発プロジェクトの現場でサブベンダーを取り纏める際のベンダーマネジメントについて、サブベンダーの作業実態を把握し、作業進捗管理とリスクマネジメントを遂行する方法を修得します。ベンダーと良好な信頼関係をもち、協創できる関係性を作るベンダーマネジメントについて学びます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・ベンダーマネジメントの基本枠組みを説明できる。
・ベンダーの問題解決行動を判断、評価する方法を説明できる。
・ベンダーと協力関係をつくる方法を説明できる。
・ベンダーマネジメントの改善策の実務検討ができる。

対象者　組織外の協力先とビジネスパートナーとして協業して成果を出す役割の方。

前提知識
プロジェクト経験があり、*PMBOK®ガイド* などのプロジェクトマネジメント知識があること。

内　容
1. ベンダーとの関係性の構築　-協創できる関係性とその構築
2. 委託内容の合意形成　-不確定・不明確事項の相互理解と合意　-思い込みや曖昧性の排除
3. ベンダーマネジメント計画
　(1)進捗レビューの計画
　(2)リスクマネジメント計画
　(3)変更マネジメント計画
4. 進捗レビューとコントロールの実施
　(1)問題の予兆検知と先手対応
5. ベンダーとのコミュニケーションを育む
　(1)より良い関係性を作るコミュニケーション
　(2)ベンダーパフォーマンスを最大する

受講料　¥187,000

オンライン　コースコード PMV114　Renewal

(PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出すモチベーション・マネジメント−行動特性分析に基づく−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

部下やメンバーなど、他者の意欲や能力を引き出し、自律的な活動をうながすためには「メンタリング」が効果的です。また、ニューノーマルではリモートでのコミュニケーションが主流となります。非言語情報を活用できない環境下でのオンライン・メンタリングのコツも学びます。このコースでは、さまざまな場面で頼れるメンターになるためのスキルをスグに使えるフレームワークを通じて学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。
※このコースは、統合共育研究所発行の「メンターズガイド」をフレームワークとして利用します。

到達目標
・メンタリングとは何かを説明できる。
・部下のモチベーションの源泉を説明できる。

対象者　情報システム開発プロジェクトへの参加経験があり、後続の育成に興味を持っている方。

前提知識　特に必要としません。

内　容
1. メンタリングの理解
2. メンタリングの心構え
3. メンタリングのプロセス理解
　(1)診断フェーズ
　(2)信頼構築フェーズ
　(3)支援フェーズ
　(4)自律フェーズ
4. PMメンタリング事例
　(1)ケースを元に、メンターとしてアドバイスするにはどうするかを議論する

受講料　¥103,400

オンライン　コースコード PMV112

(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント−守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】PDU

レクチャ 1日間

顧客視点の価値向上を実現するSoE(Sysytem of Engagement)では、より不確実性が高く、俊敏性が求められます。従来の社内業務の効率化・利便性改善だけで満足するのではなく、既存ビジネスの高付加価値化や新事業への進出、ビジネスモデルの転換など、顧客視点での企業価値向上をめざす「攻めのPM」として創造性を発揮していくために、必要なマネジメントスキルを追求するマインドセットを、実践演習を通して学びます。このコースは、22年度まで提供されていた、「(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント(前編)」と「(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント(後編)」の統合コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・SoE(System of Engagement)がもたらす価値を理解し、市場の動向変化を基に、「攻めのPM」の必要性を理解する。
・「攻めのPM」のマネジメントスタイル、マインドセットを理解する。

対象者
・プロジェクト経験のある方。
・デジタルを始める方。

前提知識　ソリューションビジネスに携わった経験があること。

内　容
1. 市場の変化を眺める
2. 2025年の崖(経産省)を乗り越えるための要素
3. PMI®の主張
4. 「攻めのPM」と「守りのPM」
5. 顧客体験(Customer Experience)を提供するには?
6. 顧客視点のサービスを提供するためのプロセス
7. 実践演習：顧客視点のサービスを提供する
8. プロジェクトマネジャーとして果たすべき役割と自分の動機の振り返り

受講料　¥66,000

オンライン　コースコード PMV054

(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

顧客やチームメンバと合意形成するコミュニケーションのプロセスを理解しながら、自己のコミュニケーションの「クセ」ならびに、その改善・強化方法を学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：13ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・成功確率を高める交渉の原則を説明できる。
・プロジェクトマネジメントに必要な交渉技法を身につけることができる。
・顧客と信頼関係を築くコミュニケーションをとることができる。

対象者　5年以上の業務経験がある方。

前提知識　特に必要としません。

内　容
1. ビジネスコミュニケーションとは
2. コミュニケーションプロセスの理解
　(1)アイスブレイク
　(2)自分の意見を説明する
　(3)相手の意見を積極的に聞きだす
　(4)解決ポイントを見出す
　(5)協力して解決策を作成する
　(6)合意を形成する
3. コミュニケーションプロセス理解のためのミニ演習
4. 総合ロールプレイングトレーニング
5. まとめ

受講料　¥82,500

オンライン　コースコード PMV110

(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part1【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含め様一なトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダ、リーダ、マネジャー)。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーの合意を得てスコープをコントロールする
3. ステークホルダーを巻き込んで品質を確保する
4. プロジェクトメンバとのコミュニケーション(役割分担など)を行う
5. スコープとスケジュールのバランスを保つ
6. コストとスケジュールのバランスを保つ

受講料　¥49,500

オンライン　コースコード PMV111

(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part2【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

プロジェクトマネジャーがよく遭遇する事例を対象に、トラブル原因を分析し、ある時点・ある状況に対してどのような対策が必要かを学びます。上流工程(企画-基本設計)を主なテーマとして、数多くの事例に取り組むことで、短期間で実践力を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・上流工程での複雑な前提条件や制約条件のプロジェクトマネジメントにおいて、具体的な問題解決の思考ができる。
・QCD含めさまざまなトレードオフの状況下で、問題解決の思考ができる。
・他受講者との交流により、多様な解決方法や文化を理解し、視野を広げることができる。

対象者
・プロジェクトマネジメントに従事している方(サブリーダ、リーダ、マネジャー)。
・運用/保守など特定業務に従事し、プロジェクトマネジメント経験を十分に積むことができない方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ケースメソッドによる学習のコンセプト
2. ステークホルダーとの関係を強化する
3. 要求仕様を明確にする
4. プロジェクトスコープを明確化・コントロールする
5. プロジェクト体制を構築する
6. 要求仕様があいまな状態で概算見積りをする
7. パッケージ適用開発を推進する

受講料　¥49,500

オンライン　コースコード PMV104

(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

問題の起きたプロジェクトや起きそうなプロジェクトを短期間でアセスメントし、最初の計画に戻すように回復・挽回する方法を講義と演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標
・プロジェクトを短期間でアセスメントし、最初の計画に戻すように回復・挽回する方法について説明できる。
・具体的な各種ツールについて説明できる。

対象者　プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。

前提知識
「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 緊急アセスメントと復旧策の主要概念
2. アセスメント憲章を定義する
3. アセスメント計画を策定する
4. アセスメントを実施する
5. 復旧策を計画する
6. 復旧策を実施する
7. トラブルプロジェクトを予防する
8. まとめ

受講料　¥99,000

プロジェクトマネジメント資格取得

プロジェクトマネジメントの国際資格PMP®（PMI®認定）の取得に役立つコース群です。

プロジェクトマネジメント資格取得

PMP®資格取得コース

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV094 オンライン
PMP®資格試験対策 5日間コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】
レクチャ | 5日間

PMBOK®ガイド

レベル1	レベル2	レベル3

PDU
PMV108 オンライン
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
レクチャ | 2日間

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*第7版を学習します。

PDU
PME024 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(1)PMを取り巻くもの−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME025 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(2)原理・原則−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME026 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(3)ステークホルダー・パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME027 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(4)チーム・パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME028 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME029 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(6)計画パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME030 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド*第7版セミナー −(7)プロジェクト作業パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME031 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(8)デリバリー・パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME032 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(9)測定パフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME033 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(10)不確かさパフォーマンス領域−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME034 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(11)テーラリング−
音声有＋説明文有 | 2時間

PDU
PME035 eラーニング
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー −(12)モデル、方法、作成物−
音声有＋説明文有 | 2時間

レベル1：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

オンライン コースコード PMV105

（PDU）プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント−プロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のために−【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 2日間

組織の戦略設定とプロジェクト選定（ポートフォリオ）、個々のプロジェクト実施の戦略的なプロジェクトマネジメントを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 個々のプロジェクトの状況や特性（進捗、将来性、リスクなど）に応じたプロジェクトの選定・投資・中止などの意志決定について説明できる。

対象者 ・プロジェクトに携わる主任技師、技師の方。
・複数のプロジェクトを管理する立場の方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. キーコンセプト解説
2. 組織戦略の内容
3. 組織戦略：アプローチとテクニック
4. ポートフォリオ・マネジメント：戦略内容
5. ポートフォリオ・マネジメント：認定と選定
6. ポートフォリオ・マネジメント：アライメントの維持
7. 戦略的プロジェクトマネジメント
8. プロジェクトマネジメント：アライメントの維持
9. まとめ

受講料 ¥99,000

オンライン コースコード PMV103

（PDU）マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用【バーチャル・クラスルーム】PDU

グループ演習 1日間

従来、行われてきた計画重視のプロジェクトマネジメントから、アジャイル開発導入への変化をマネジメント視点で学びます。経営管理上のメトリクスを残しながら、プロジェクトガバナンスをどのように確立するかを理解し、顧客に提案できる知識を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標 マネジメント視点でのアジャイル開発の利点を理解し、顧客に提案できる。

対象者 アジャイル開発の導入を検討しているマネジャー、リーダの方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. アジャイルの背景
（1）なぜアジャイルが生まれたのか
（2）従来の「ウォーターフォール」との相違
2. アジャイルによるマネジメント
（1）アジャイルマネジメントの導入
（2）失敗例からの教訓
（3）アジャイルマネジメントの事例から
3. まとめ

受講料 ¥38,500

※このコース群は、全12本のeラーニングで*PMBOK®ガイド*をプロセスベースで学習します。

PDU
PME036 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(1)
プロジェクトとは
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME037 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME038 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(3)
統合マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME039 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(4)
スコープ・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME040 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(5)
スケジュール・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME041 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(6)
コスト・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME042 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(7)
品質マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME043 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(8)
資源マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME044 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(9)
コミュニケーション・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME045 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(10)
リスク・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME046 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(11)
調達マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

PDU
PME047 eラーニング
(PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(12)
ステークホルダー・マネジメント
音声有・説明文なし | 2時間

資格 PMP®資格（米国PMI®認定）

- Project Management Professional（PMP）®資格は、プロジェクトマネジメントの専門知識を有していることを証明するために、米国Project Management Institute（PMI）®が認定する資格です。
- PMP®の人気は世界的に非常に高く、資格受験者は年々増加を続けています。
- PMP®は、システム発注条件に記載されるケースも増えており、また、各社のプロジェクト・マネージャ資格認定制度においても認定要件である公的資格の一つに位置付けられることが多く、プロジェクト・マネージャをめざす方にとって人気の高い資格となっています。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/pmp.html

Authorized Training Partner
Project Management Institute

PMI ATP ロゴはプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。

*PMBOK®ガイド*とPMP®はプロジェクトマネジメント協会（Project ManagementInstitute, Inc.）の登録商標です。
PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
レベル1 ：プロジェクト経験がほとんど無い方、または、プロジェクト経験が比較的浅い方
レベル2 ：プロジェクト経験がある程度ある方で、プロジェクトマネージャ候補の方、またはプロジェクトマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数のプロジェクトの経験を有し、プロジェクトマネージャとして活動されている方

PDU 対象コース一覧

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分野	コースコード	区分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
デジタルトランスフォーメーション								
プロセス／プロダクト	IDV003	Renewal	(PDU) IoTコンセプトデザインーIoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出するー【アイ・ラーニング ライブ配信】	1日	7	0	0	7
ビジネス								
経営力	HSE141		<eラーニング>(PDU)ビジネスモデル思考	12時間	9.5	1	2	6.5
	HSV182		(PDU)ITビジネスにおける戦略の基本と最新動向ーイノベーション実現のためにー【バーチャル・クラスルーム】	1日	6.5	0	0	6.5
チームで働く力	HSV251	Renewal	(PDU)アサーティブ・コミュニケーションー職場に活かせる建設的コミュニケーションスキルの向上ー【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	6	0
	HSV233		(PDU)ストラクチャード・コミュニケーションー会議を空中戦にせず、図で共有する・伝える・理解する・考えるー【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	0.5日	6	0	6	0
	HSV250	Renewal	(PDU)部下のパフォーマンスを高める1on1面談とフィードバック【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	5	1
	HSV239		(PDU)コーチング実践ー部下のやる気と成長を促すー【バーチャル・クラスルーム】	1.5日（0.5日×3回）	12	0	12	0
	HSV221		(PDU)自分を知り他者を知るコミュニケーションマネジメントー DiSCモデルによるー【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	12	0
	HSV222		(PDU)リーダのためのマインドフルネスー成果発揮へのセルフリーダシップとマインドフルー【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	6	0
前に踏み出す力	HSV244		(PDU)ファシリテーション研修ー成果を出す会議の進め方ー【eラーニング（事前学習）+バーチャル・クラスルーム】	1日（0.5日×2回）	11	0	10	1
目的別（コンプライアンス／業種・業界／ビジネス教養）	HSV249	Renewal	(PDU)契約基礎ー今こそ押さえておきたい!エンジニアと営業のための契約書の見方・ポイントー【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	6	0	6
	HSE136		<eラーニング>(PDU)財務諸表の基礎知識	4時間	4	3	0	1
	HSE099		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済1ー効率性と公平性、アダムスミスとケインズー	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE100		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済2ーGDP、為替、財政ー	6時間	4	0	0	4
	HSE101		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済3ー金融政策、ハイエク、フリードマン、シュンペーターー	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE102		<eラーニング>(PDU)よくわかるマクロ経済4ー景気循環、経済成長、格差社会と少子高齢化ー	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE118		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済1ー 経済学の思考、費用分析、市場経済、ゲーム理論ー	6時間	3	0	0	3
	HSE098		<eラーニング>(PDU)よくわかるビジネス・ミクロ経済2ー不完全な情報、期待効用、行動経済学ー	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE103		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス1ー投資の判断、リスクとリターンー	4時間	3.5	0	0	3.5
	HSE104		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス2ー企業価値評価ー	4時間	2.5	0	0	2.5
	HSE105		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス3ー資金調達の方法ー	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE106		<eラーニング>(PDU)よくわかるファイナンス4ーM&A、コーポレートガバナンス、財務計画ー	6時間	3.5	0	0	3.5
	HSE111		<eラーニング>(PDU)孫子の兵法を現代に役立てる方法	10時間	8	0	8	0

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
目的別（コンプライアンス/業種・業界/ビジネス教養）	HSE115		<eラーニング>(PDU)中国古典に見る指導者の条件	10時間	7	0	7	0
	HSE112		<eラーニング>(PDU)「韓非子」のリーダ学	10時間	5	0	5	0
	HSE113		<eラーニング>(PDU)「貞観政要」に学ぶリーダの心得	10時間	5	0	5	0
	HSE114		<eラーニング>(PDU)「書経」に学ぶリーダの心得	10時間	6	0	6	0
	HSE110		<eラーニング>(PDU)リーダに必要な人間力 三国志から学ぶリーダ学	10時間	7	0	7	0
プロジェクトマネジメント								
プロジェクトマネジメント	PMJ066	休講	(PDU)ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践	2日	12	6	4	2
	PMV003	休講	(PDU)プロジェクト経験者のためのプロジェクトマネジメント上級編 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	6	4	2
	PME005		<eラーニング>(PDU)2時間でわかるファンクションポイント法	2時間	2	2	0	0
	PME023		<eラーニング>(PDU)ファンクションポイント法基礎	4時間	4	4	0	0
	PMV101		(PDU)実現可能性を高めるスケジュール・マネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV107		(PDU)プロジェクトマネージャのためのファイナンシャルマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
	PMV100		(PDU)1日で学ぶプロジェクトのリスクマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV102		(PDU)プロジェクト関係者と良好な関係を築くための ステークホルダーマネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4	2	0
	PMV106		(PDU)プロジェクトマネジメントの契約・調達マネジメント 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
	PMV113		(PDU)プロジェクト協創のためのベンダーマネジメント ー守りから攻めのPMシリーズー 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	8	0	4
	PMV114	Renewal	(PDU)プロジェクトマネージャのためのメンバーの力を引き出す モチベーション・マネジメントー行動特性分析に基づくー 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	12	0
	PMV112		(PDU)デジタル時代のプロジェクトマネジメント ー守りから攻めのPMシリーズー 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	2	4
	PMV054		(PDU)プロジェクトを円滑に進めるための合意形成力強化トレーニング 【バーチャル・クラスルーム】	2日	13	5	3	5
	PMV110		(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part1 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	2	2	2
	PMV111		(PDU)ケースメソッドによるPM判断・行動力強化　Part2 【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	2	2	2
	PMV104		(PDU)トラブルプロジェクトのアセスメント 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
	PMV105		(PDU)プロジェクト・ポートフォリオ・マネジメント ープロジェクトの横断的な把握、経営資源の効果的な配分のためにー 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
	PMV103		(PDU)マネージャのための1日でわかる アジャイル・プロジェクトマネジメントの効用【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	3	2	1

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
プロジェクトマネジメント資格取得	PMV094		PMP®資格試験対策5日間コース 【パーソル総合研究所 ライブ配信】	5日	35	35	0	0
	PMV108		(PDU)*PMBOK®ガイド*第7版セミナー 【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	12	0	0
	PME036		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(1) プロジェクトとは	2時間	2	2	0	0
	PME037		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(2) プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割	2時間	2	2	0	0
	PME038		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(3) 統合マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME039		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(4) スコープ・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME040		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME041		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME042		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME043		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME044		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME045		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(10) リスク・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME046		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(11) 調達マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME047		<eラーニング> (PDU)プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント	2時間	2	2	0	0
	PME024		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (1) PMを取り巻くもの	2時間	2	2	0	0
	PME025		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (2)原理・原則	2時間	2	2	0	0
	PME026		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (3)ステークホルダー・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME027		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (4)チーム・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME028		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (5)開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME029		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (6)計画パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME030		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (7)プロジェクト作業パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME031		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (8)デリバリー・パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME032		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (9)測定パフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0
	PME033		<eラーニング> (PDU) *PMBOK®*ガイド第7版セミナー (10)不確かさパフォーマンス領域	2時間	2	2	0	0

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

New：新設コース　Renewal：改訂コース　休講：今期の定期開催はありません

分　野	コースコード	区　分	コース名	日数※	PDU合計	働き方	パワースキル	ビジネス感覚
プロジェクトマネジメント資格取得	PME034		<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（11）テーラリング	2時間	2	2	0	0
	PME035		<eラーニング>（PDU）*PMBOK®ガイド*第7版セミナー（12）モデル、方法、作成物	2時間	2	2	0	0
ビジネスアーキテクト								
事業戦略・投資管理・ビジネスモデル	CTV068		（PDU）BABOK®で学ぶビジネスアナリシスの基礎【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	12	0	0
	CDV017		（PDU）IT経営ストラテジ（経営戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	0	0	16
	CDV011		（PDU）IT経営ストラテジ（IT戦略コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	0	0	16
	CDV016		（PDU）IT経営ストラテジ（変革認識コース）【パーソル総合研究所 ライブ配信】	2日	16	0	0	16
	CTV076		（PDU）変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイント−守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	0	0	6
	CDV008		（PDU）CBAP®試験対策コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】	3日	24	24	0	0
開発／基盤								
モダン開発（アジャイル開発含む）	SPV083		（PDU）[リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営【バーチャル・クラスルーム】	1日	6	4.5	1.5	0
開発工程全般・企画・設計	CTV005		（PDU）トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に−【バーチャル・クラスルーム】	2日	12	0	0	12
ITサービス	ITV017		ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き）【バーチャル・クラスルーム】	2日	14	4	6	4
	ITE010	Renewal	<eラーニング>ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き）	10時間	10	3	4	3
グローバル								
グローバル	GBE024		<eラーニング>（PDU）インドビジネスの鉄則	10時間	6	0	0	6
	GBE010		<eラーニング>（PDU）グローバルビジネスの基礎 −ビジネスルールと多様性−（基本セット）	4時間	4	0	2	2

※eラーニングコースの日数欄には、平均学習時間を記載しています。
PDU数とその内訳は予告なく変更になる場合がございます。

オンライン　コースコード PMV094

レクチャ 5日間

PMP®資格試験対策5日間コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU

PMI®より認定を受けたPMP®資格を取得するための試験対策講座です。試験合格に向けた学習のポイントからテクニック、模擬試験、重点解答解説、総復習までを幅広く学習します。PMP®受験要件の1つである学習時間35時間をカバーしています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：35ポイント）の取得が可能です。

到達目標 PMP®資格試験合格に必要な*PMBOK®ガイド*および関連知識、解答のポイントを修得できる。

対象者 PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 プロジェクトへの参加経験があり、*PMBOK®ガイド*の基礎知識を修得していること。

内　容
1. PMP®概説と受験申請手続き
2. 【ビジネス環境】
   （1）テキスト
   レッスン5「常にビジネスを念頭に置く」
3. 【プロセス】
   （1）テキスト
   レッスン2「プロジェクトを開始する」
   （2）テキスト
   レッスン3「作業の実行」
4. 【人】
   （1）テキスト
   レッスン1「高パフォーマンスチームを組成する」
   （2）テキスト
   レッスン4「常にチームを軌道に乗せる」
5. テキスト　アジャイル・テーマのまとめ
6. 模擬試験
7. 解答と解説
8. 全体の振返り

※このコースは、PMI®テキストと補助教材を使用します。

受講料 ¥220,000

オンライン　コースコード PMV108

レクチャ 2日間

（PDU）*PMBOK®ガイド* 第7版セミナー【バーチャル・クラスルーム】PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコース、および「（PDU）ワークショップで学ぶプロジェクトマネジメント実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 序論
2. 価値実現システム
3. 原理・原則
4. ステークホルダー
5. チーム
6. 開発アプローチ
7. 計画
8. プロジェクト作業
9. デリバリー
10. パフォーマンス測定
11. 不確実性
12. テーラリング
13. モデル、方法、作成

受講料 ¥92,400

eラーニング　コースコード PME036

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*（1）プロジェクトとは PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 本ガイドの概要と目的
2. 基本的要素
3. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME037

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*（2）プロジェクトの運営環境とプロジェクト・マネジャーの役割 PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 概要
2. 組織体の環境要因（EEE）
3. 組織のプロセス資産（OPA）
4. 組織のシステム
5. プロジェクト・マネジャーの定義（概要含む）
6. プロジェクト・マネジャーの影響がおよぶ範囲
7. プロジェクト・マネジャーのコンピテンシー
8. 統合の実施
9. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME038

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*（3）統合マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクト憲章の作成
2. プロジェクトマネジメント計画書の作成
3. プロジェクト作業の指揮・マネジメント
4. プロジェクト知識のマネジメント
5. プロジェクト作業の監視・コントロール
6. 統合変更管理
7. プロジェクトやフェーズの終結
8. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME039

eラーニング 2時間

<eラーニング>（PDU）プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*（4）スコープ・マネジメント PDU

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スコープ・マネジメントの計画
2. 要求事項の収集
3. スコープの定義
4. WBSの作成
5. スコープの妥当性確認
6. スコープのコントロール
7. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME040

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(5) スケジュール・マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. スケジュール・マネジメントの計画
2. アクティビティの定義
3. アクティビティの順序設定
4. アクティビティの所要期間見積り
5. スケジュールの作成
6. スケジュールのコントロール
7. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME041

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(6) コスト・マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コスト・マネジメントの計画
2. コストの見積り
3. 予算の設定
4. コストのコントロール
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME042

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(7) 品質マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 品質マネジメントの計画
2. 品質のマネジメント
3. 品質のコントロール
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME043

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(8) 資源マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 資源マネジメントの計画
2. アクティビティ資源の見積り
3. 資源の獲得
4. チームの育成
5. チームのマネジメント
6. 資源のコントロール
7. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME044

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(9) コミュニケーション・マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. コミュニケーション・マネジメントの計画
2. コミュニケーションのマネジメント
3. コミュニケーションの監視
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME045

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(10) リスク・マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リスク・マネジメントの計画
2. リスクの特定
3. リスクの定性的分析
4. リスクの定量的分析
5. リスク対応の計画
6. リスク対応策の実行
7. リスクの監視
8. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME046

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(11) 調達マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 調達マネジメントの計画
2. 調達の実行
3. 調達のコントロール
4. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME047

<eラーニング>(PDU) プロセスベースで学ぶ*PMBOK®ガイド*(12) ステークホルダー・マネジメント PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダードである「*PMBOK®ガイド*」の内容を体系だったプロセスベースで学習します。このコースは、PMP®対策講座受講の前提講座です。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ステークホルダーの特定
2. ステークホルダー・エンゲージメントの計画
3. ステークホルダー・エンゲージメントのマネジメント
4. ステークホルダー・エンゲージメントの監視
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME024

<eラーニング>(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー (1) PMを取り巻くもの PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの背景
2. 何のためのプロジェクトか?
3. プロジェクトマネジメント標準
4. 価値実現システム

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME025

<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー (2) 原理・原則 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. プロジェクトマネジメントの原理・原則
2. スチュワード
3. 協働的なチーム環境
4. ステークホルダーと効果的に関わる
5. 価値に焦点をあてる
6. システムの相互作用
7. リーダーシップ
8. テーラリング
9. プロセスと成果物に品質を組み込む
10. 複雑さへの対処
11. リスク対応の最適化
12. 適応力と回復力
13. 変革

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME026

<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー (3) ステークホルダー・パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ステークホルダー・パフォーマンス領域
2. ステークホルダー・エンゲージメント
3. 他のパフォーマンス領域との相互作用
4. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング / コースコード PME027

<eラーニング> (PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー (4) チーム・パフォーマンス領域 PDU

2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：2ポイント)の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
・*PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
・PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. チーム・パフォーマンス領域
2. プロジェクト・チーム・マネジメントとリーダーシップ
3. プロジェクト・チームの文化
4. パフォーマンスが高いプロジェクト・チーム
5. リーダーシップ・スキル
6. リーダーシップ・スタイルのテーラリング
7. 他のパフォーマンス領域との相互作用
8. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント
プロジェクトマネジメント資格取得

eラーニング　コースコード PME028

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(5) 開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 開発アプローチとライフサイクル・パフォーマンス領域
2. 開発、ケイデンス、ライフサイクルの関係
3. デリバリー・ケーデンス
4. 開発アプローチ
5. 開発アプローチの選択に関する考慮事項
6. ライフサイクルとフェーズの定義
7. デリバリー・ケーデンス、開発アプローチ、およびライフサイクルの整合性
8. 他のパフォーマンス領域との相互作用
9. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME029

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(6) 計画パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 計画パフォーマンス領域
2. 計画の概要
3. 計画変数
4. プロジェクト・チームの編成と構造
5. コミュニケーション
6. 物的資源
7. 調達
8. 変更
9. メトリックス
10. 整合
11. 他のパフォーマンス領域との相互作用
12. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME030

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(7) プロジェクト作業パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. プロジェクト作業パフォーマンス領域
2. プロジェクト・プロセス
3. 競合する制約条件のバランスをとる
4. プロジェクト・チームが注力すべき観点の維持
5. プロジェクトのコミュニケーションとエンゲージメント
6. 物的資源のマネジメント
7. 調達での対応
8. 新しい作業と変更の監視
9. プロジェクト期間を通じた学習
10. 他のパフォーマンス領域との相互作用
11. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME031

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(8) デリバリー・パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. デリバリー・パフォーマンス領域
2. 価値の実現
3. 成果物
4. 品質
5. 次善の成果
6. 他のパフォーマンス領域との相互作用
7. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME032

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(9) 測定パフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 測定パフォーマンス領域
2. 効果的な尺度の確立
3. 測定の対象
4. 情報の提示
5. 測定の落とし穴
6. パフォーマンスのトラブルシューティング
7. 成長と改善
8. 他のパフォーマンス領域との相互作用
9. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME033

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(10) 不確かさパフォーマンス領域 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 不確かさパフォーマンス領域
2. 一般的な不確かさ
3. 曖昧さ
4. 複雑さ
5. 変動性
6. リスク
7. 他のパフォーマンス領域との相互作用
8. 結果のチェック

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME034

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(11) テーラリング PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. テーラリング
2. テーラリングする理由
3. テーラリングする対象
4. テーラリング・プロセス
5. パフォーマンス領域のテーラリング
6. 診断
7. まとめ

受講料 ¥11,000

eラーニング　コースコード PME035

<eラーニング>
(PDU) *PMBOK®ガイド* 第7版セミナー
(12) モデル、方法、作成物 PDU

eラーニング 2時間

プロジェクトマネジメントのグローバルスタンダード最新版の「*PMBOK®ガイド* 第7版」は、従来のプロセス・ベースから、原理・原則ベースに大きく様変わりしました。プロジェクトの価値実現に軸足を置いた第7版の内容を学習します。このコースは、PMP®試験対策コース受講の前提コースです。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：2ポイント）の取得が可能です。

到達目標 *PMBOK®ガイド* 第7版の概要を説明できる。

対象者
- *PMBOK®ガイド* 第7版を通してプロジェクトマネジメントの枠組みを理解したい方。
- PMP®資格取得をめざす方。

前提知識 「プロジェクトマネジメント基礎」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. モデル、方法、作成物
2. よく使用されるモデル
3. 複数のパフォーマンス領域に適用されるモデル
4. よく使われる方法
5. 複数のパフォーマンス領域に適用される方法
6. よく使用される作成物
7. 複数のパフォーマンス領域に適用される作成物

受講料 ¥11,000

事業戦略・投資管理・ビジネスモデル

事業の方向性を見据えた戦略立案、ビジネスを成功させるIT投資、ステークホルダーに価値をもたらすビジネスモデルに必要なスキルが修得できます。

事業戦略・投資管理・ビジネスモデル

ビジネスアナリシスのフレームワーク〜企業の変革を成功に導くために〜

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU CTV068 オンライン BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 グループ演習 2日間	
	PDU CDV017 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間	PDU CDV011 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間
	PDU CDV016 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間	

ビジネス戦略に沿ったシステム企画立案〜IT投資に見合う企業価値創造のために〜

レベル1	レベル2	レベル3
CTV071 オンライン IT主導で攻めのビジネスを 実現するためのビジネス要件と IT企画の作り方 レクチャ 1日間	PDU CTV076 オンライン (PDU)変革の時代に生き残るために 必要な戦略的IT投資のポイント −守りから攻めのPMシリーズ− グループ演習 1日間	

ビジネス要求に沿った価値提供を確実にする要件定義〜企画・提案の実現性を担保する〜

レベル1	レベル2	レベル3
New CTV077 オンライン 要件定義スキル基礎 −ロールプレイによる 要求の引き出し− グループ演習 2日間	SPV077 オンライン システムのニーズ分析 グループ演習 2日間	
	SPV076 オンライン 要件定義における業務の可視化を 成功させるトレーニング −業務ニーズから導くシステム化要件− グループ演習 2日間	

レベル1 ：要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方
レベル2 ：要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

業務プロセスの改革を推進〜システム企画立案・要件定義で必須の可視化技術〜

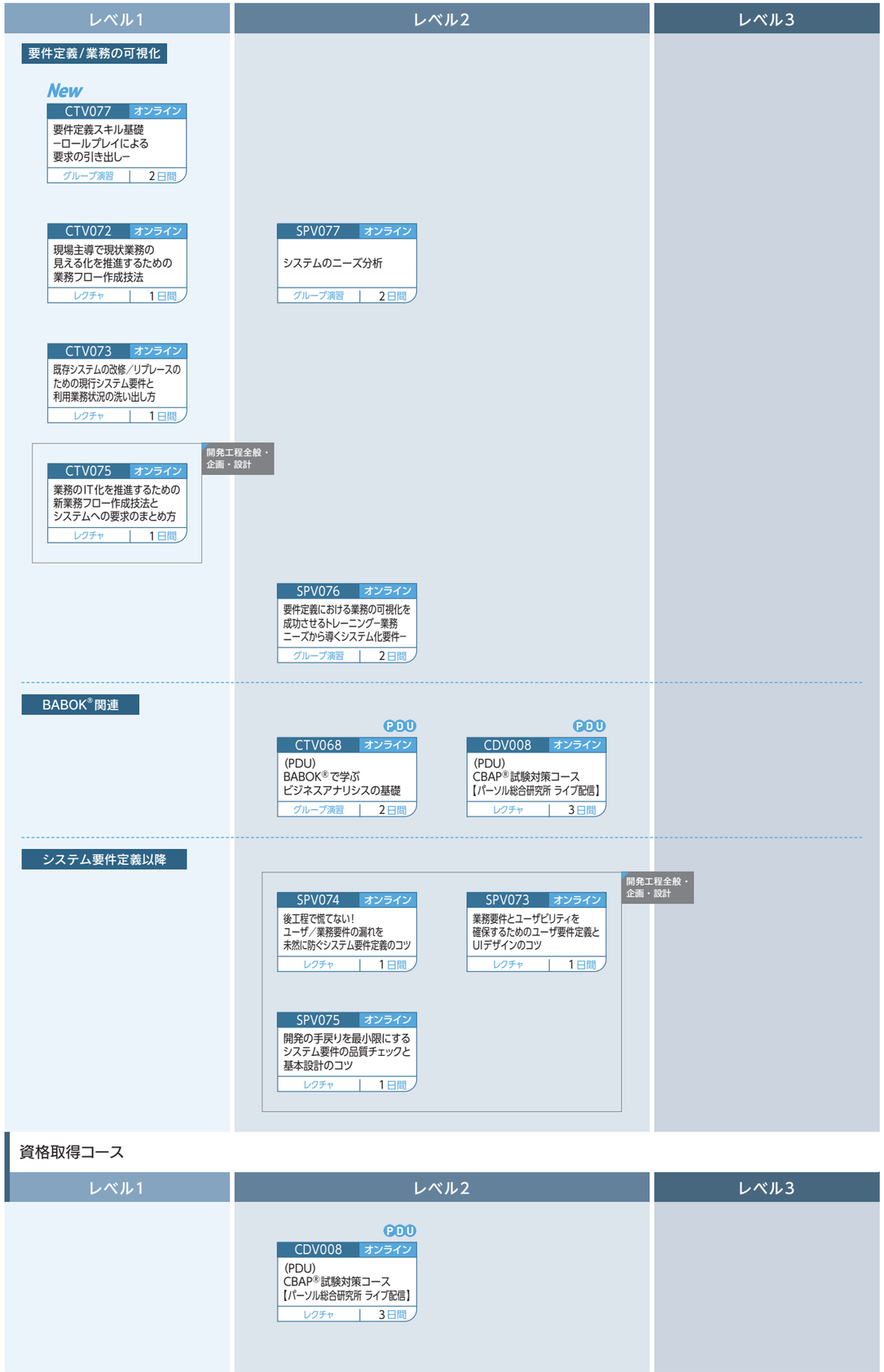
レベル1	レベル2	レベル3
CTV072 オンライン 現場主導で現状業務の 見える化を推進するための 業務フロー作成技法 レクチャ 1日間		
CTV073 オンライン 既存システムの改修/リプレースの ための現行システム要件と 利用業務状況の洗い出し方 レクチャ 1日間		

システムの企画立案から要件定義（要件定義以降を含めた）までの人財育成

レベル1	レベル2	レベル3
企画		
CTV071 オンライン IT主導で攻めのビジネスを 実現するためのビジネス要件と IT企画の作り方 レクチャ 1日間	PDU CTV076 オンライン (PDU)変革の時代に生き残るために 必要な戦略的IT投資のポイント −守りから攻めのPMシリーズ− グループ演習 1日間	
	PDU CDV017 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間	
	PDU CDV016 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間	PDU CDV011 オンライン (PDU) IT経営ストラテジ (IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 レクチャ 2日間

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）



資格取得コース

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント(PDU)を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：要件定義の経験がほとんど無い方、または、要件定義の経験が比較的浅い方
レベル2 ：要件定義の経験がある程度ある方で、マネージャ候補の方、またはマネージャとして活動を開始された方
レベル3 ：複数の要件定義の経験を有し、マネージャとして活動されている方

オンライン コースコード CTV068

グループ演習 2日間

(PDU) BABOK®で学ぶ ビジネスアナリシスの基礎 【バーチャル・クラスルーム】 PDU

ビジネスニーズを特定しビジネスソリューションを決定するために必要なビジネスアナリシスおよびビジネスアナリストの役割について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：12ポイント)の取得が可能です。

到達目標 ビジネスアナリシスという専門職務と、その標準的なタスクやテクニックを説明できる。

対象者 ビジネスアナリシスを理解し、業務へ適用したい方。

前提知識 情報システム開発プロセスに関する概略的な知識があること。

内　容
1. ITプロジェクトの課題とBAの必要性
2. BABOK®の概要
3. 各知識エリアの解説
4. BAの専門知識
5. BABOK®活用の勘所
6. *PMBOK®ガイド* とのつながり
7. BAの資格認定制度

受講料 ¥110,000

オンライン コースコード CDV017

レクチャ 2日間

(PDU) IT経営ストラテジ(経営戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、経営課題を引き出し、経営改革を実現するために「経営戦略プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域の経営戦略策定から、経営戦略実行、経営戦略評価段階にいたるまでの一連のIT経営を推進する手順を学習します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。
※IT戦略、IT利活用プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(IT戦略コース)】で学習が可能です。

到達目標
- IT経営の戦略策定と評価のポイントについて理解できる。
- 経営者視点に基づいた経営戦略の策定に関するポイントを理解できる。

対象者
- IT提案に経営者視点を加味したい方。
- IT戦略の前工程を学びたい方。
- 経営企画業務に携わる方。
- 経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 変革認識プロセスの理解
3. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

受講料 ¥88,000

オンライン コースコード CDV011

レクチャ 2日間

(PDU) IT経営ストラテジ(IT戦略コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU

IT経営推進のマネジメントプロセスとして、IT経営実現領域の「IT戦略プロセス」および「IT利活用プロセス」を中心に学習します。このコースでは企業ケース事例を用いながら、IT経営実現領域のITサービスやIT利活用のための戦略を立て、実行を評価する「IT戦略プロセス」と、具体的なIT利活用実現に向けた活動である「IT利活用プロセス」の重要性を理解します。このコースは、IT経営推進プロセスガイドライン Ver. 3. 1に準拠し、ITコーディネータ協会のIT経営体感ケース研修の認定コースとされているため、ITコーディネータ資格取得をめざす人にとっての推奨研修になっています。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。
※経営戦略の策定・実行・評価を行う経営戦略プロセスについては、別コースの【IT経営ストラテジ(経営戦略コース)】で学習が可能です。

到達目標
- ITが経営戦略に基づくものであることを理解できる。
- ITユーザー企業視点に基づいたIT戦略およびIT利活用に関するポイントを理解できる。

対象者
- IT提案にユーザー企業視点を加味したい方。
- IT導入・利活用の前工程を学びたい方。
- IT企画業務に携わる方。
- ITユーザー企業へIT戦略を提案する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. IT経営推進プロセスガイドラインの理解
2. 経営戦略プロセスの理解(一部、業務改革プロセスを含む)
3. IT戦略プロセスの理解
4. IT利活用プロセスの理解
5. 持続的成長認識プロセスの理解とまとめ

受講料 ¥88,000

オンライン コースコード CDV016

レクチャ 2日間

(PDU) IT経営ストラテジ(変革認識コース) 【パーソル総合研究所 ライブ配信】 PDU

このコースではIT経営の上流となる変革認識および、ITコーディネータプロセスガイドラインを学ぶことを通じて、ITコーディネータケース研修に相当する知識をトータルで修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU：16ポイント)の取得が可能です。

到達目標
- 経営に必要な変革の必要性および、組織の変革ニーズを整理し、コンセンサスとコミットメントを得ることができる。
- ITコーディネータプロセスガイドラインの概要を把握し、自らの変革プロジェクトに適用できる。

対象者
- IT提案に経営者視点を加味したい方。
- IT戦略の前工程を学びたい方。
- 経営企画業務に携わる方。
- 経営改革または業務改革を提案する方。

前提知識 「IT経営ストラテジ(経営戦略コース)」および「IT経営ストラテジ(IT戦略コース)」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IT経営認識領域と変革認識プロセスの理解
2. 持続的成長認識プロセスの理解
3. 変革マネジメントプロセスの理解とまとめ
4. IT経営共通領域の理解

受講料 ¥88,000

オンライン コースコード CTV071

レクチャ 1日間

IT主導で攻めのビジネスを実現するための ビジネス要件とIT企画の作り方 【バーチャル・クラスルーム】

ITを全面的に活用することでこれまでになかった新しいビジネスを実現する企業がどんどん生まれています。自社においてこのような取り組みをどのように進めれば良いのか。その最重要ポイントに絞って、書籍「ビジネスデザイン」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
- ITの真の価値について説明できる。
- 顧客ニーズの設定手法について説明できる。
- ビジネスシナリオの作り方について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者(IT知識が無くても可)やシステムエンジニアの方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内　容
1. IT化と従来のシステム化の違い
2. ビジネスと顧客
3. 顧客ニーズと提供価値
4. IT主導のビジネスシナリオ
5. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン コースコード CTV076

グループ演習 1日間

(PDU) 変革の時代に生き残るために必要な戦略的IT投資のポイント−守りから攻めのPMシリーズ−【バーチャル・クラスルーム】 PDU

関与者とコミュニケーションを取りながらビジネス変革の成功シナリオを共有し、戦略的IT投資でそれを実現するための具体的手法を修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント(PDU:6ポイント)の取得が可能です。

到達目標
- 戦略的IT投資案件の企画および提案の具体的な進め方が説明できる。
- 限られた予算を有効活用するIT投資マネジメントの考え方が説明できる。

対象者
- IT投資案件を提案する方。
- セールスエンジニアの方。
- ビジネスアナリストの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内　容
1. 今なぜ戦略的IT投資なのか
   (1)IT投資を取り巻く環境
   (2)最新ITトレンド情報
2. IT投資のアイデアを発掘する
   (1)ラン・ザ・ビジネスの効率化
   (2)バリューアップの創出
3. ビジネス戦略にIT投資を連動させる
   (1)バランススコアカードの考え方
   (2)ITソリューションへの応用
   (3)ITイノベーションへの展開
4. 経営者に投資対効果を説明する
   (1)見積金額の妥当性
   (2)投資効果の算出方法

受講料 ¥38,500

ビジネス
アーキテクト
事業戦略・
投資管理・
ビジネスモデル

オンライン　コースコード CTV077　New

グループ演習 2日間

要件定義スキル基礎 −ロールプレイによる要求の引き出し−【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、要件定義の進め方の概要について学びます。要件定義を進める上で共通的に必要となるスキル（問題解決スキル、コミュニケーションスキル）について、内容の理解が容易な事例を用いた演習を通して学習します。

到達目標
- 要件定義の進め方を理解し、説明できる。
- 要件定義を進める際に、問題を理解・把握し、解決策を提示するための知識を説明できる。
- 要件定義を進める際に、関係者と円滑にコミュニケーションを取るための知識を説明できる。

対象者 要件定義の基礎的なスキルを学びたい方。

前提知識 特に必要としませんが、SE経験があることが望ましい。

内　容
1. 要件定義の全体手順
   (1)作業ステップ
   (2)成果物
2. 要件定義を進めるために必要となるコミュニケーション力
   (1)ヒアリングのスキル
   (2)ミーティング進行のスキル
3. 要件定義を進めるために必要となる問題解決力
   (1)問題分析のスキル

受講料 ¥99,000

オンライン　コースコード SPV077

グループ演習 2日間

システムのニーズ分析【バーチャル・クラスルーム】

顧客の業務に一歩踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を、ニーズ分析の進め方の解説と演習を通して学習します。

到達目標
- ニーズ分析の基礎を説明できる。
- 顧客の業務に一歩踏み込み、的確なシステム化要件を導き出すまでの一連の基本動作を理解できる。

対象者
- 顧客業務要求に合わせたシステム化要件の要求分析に関心のある方。
- 要件定義プロセスにて顧客との合意形成を勧めたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ニーズ分析の位置付けと意義
   (1)「上流工程」で行うべきこと
   (2)ニーズ分析の全体プロセス
   (3)ニーズ分析の意義
2. ニーズ分析のプロセス
   (1)準備フェーズ
   (2)分析フェーズ

受講料 ¥82,500

オンライン　コースコード SPV076

グループ演習 2日間

要件定義における業務の可視化を成功させるトレーニング−業務ニーズから導くシステム化要件−【バーチャル・クラスルーム】

ニーズ分析の結果をもとに業務・システムの要件を定義するトレーニングです。要件定義において業務の可視化を行うことにより合意形成できる要件定義を行うための手法を修得できます。

到達目標
- 要件定義全体の流れについて説明できる。
- 業務の可視化ができる。
- システムニーズを反映した新しい業務・システムの要件が整理できる。

対象者
- 要件定義のプロジェクトに今後参加される方、または参加したいと考えている方。
- 要件定義の活動の取りまとめを行う方。

前提知識 「システムのニーズ分析」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 業務要件定義の位置付けと意義
   (1)「超上流工程」（要件定義）で行うべきこと
   (2)業務要件定義の全体プロセス
   (3)業務要件定義の意義
2. 業務要件定義のプロセス
   (1)業務プロセスデザインフェーズ
   (2)アプリケーションデザインフェーズ

受講料 ¥82,500

オンライン　コースコード CTV072

レクチャ 1日間

現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法【バーチャル・クラスルーム】

RPAなどの現場主導によるIT化／業務改善がますます増えています。このような取り組みを推進するには現行業務の見える化が不可欠です。しかし業務の見える化は決して簡単ではなく時間もかかるため、なかなか期待通りに進まず失速するケースも多々あります。多忙な現場担当者が割く時間を最小限に抑えながら精度の高い現場業務の見える化を実現するための方法について、書籍「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な手法を紹介します。

到達目標
- 業務の構造について説明できる。
- 業務フローの作成方法について説明できる。

対象者
- 生産性向上や働き改革などのテーマに取り組まなければならないがどこからどう進めれば良いかお悩みの方。
- 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 1年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。

内　容
1. どうして業務改善が難しいのか
2. 業務の構造
3. 見える化が難しい理由
4. 業務フロー作成技法
5. 見える化の罠を乗り越える
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン　コースコード CTV073

レクチャ 1日間

既存システムの改修／リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方【バーチャル・クラスルーム】

21世紀も四半世紀を過ぎた今、既存システムの高度化・デジタルビジネス対応は喫緊の課題です。しかし多くの取り組みで発生している問題は現状の利用実態を把握しきれず必要な業務ニーズを取りこぼすことです。これを予防するには現行システムの利用状況をしっかりと把握する必要があります。ともすればドキュメントが揃ってなかったりする現実において、現状の洗い出しを高速かつ簡便に実現する方法について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
- 業務の構造について説明できる。
- 業務フローの作成方法について説明できる。
- 見える化の罠について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 3年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内　容
1. 「現行通り」とは何か
2. 洗い出すべきもの
3. システム要件と業務の関係
4. ユーザの期待と失望
5. 洗い出しの手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン　コースコード CDV008

レクチャ 3日間

（PDU）CBAP®試験対策コース【パーソル総合研究所 ライブ配信】PDU

CBAP®試験は米国の非営利団体IIBA（International Institute of Business Analysis）が認定する資格で唯一日本語での受験が可能な資格です。そのCBAP®資格を取得するための試験対策として、米国Strategy Execution社のノウハウを活用し、合格に向けた学習ポイントを修得します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：24ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- BABOK®の全体像と基礎知識を深く掘り下げ、合格に向けた学習ポイントや試験傾向と対策を説明できる。
- 現状知識の強いエリア・弱いエリアを明確にし、受験に向けた強化ポイントを説明できる。
- CBAP®およびIIBAに関する知識と受験申請の手続き、受験に際しての心構えについて説明できる。

対象者 CBAP®資格取得をめざす方。

前提知識 BABOK®の基礎知識を修得していること。

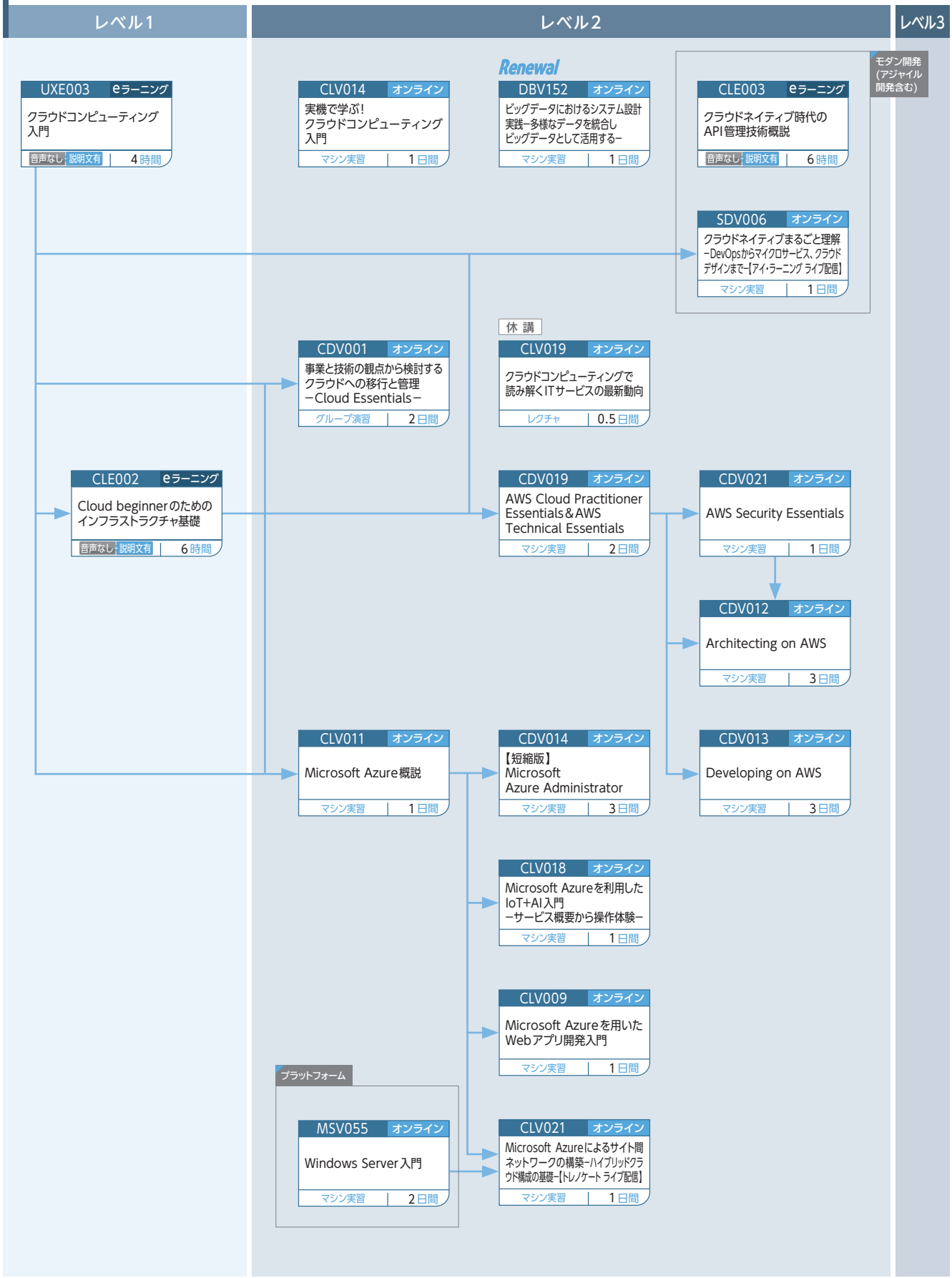
内　容
1. 試験概要/受験申請手続き
2. 基本概念
3. 計画と監視
4. 引き出しとコラボレーション
5. 戦略アナリシス
6. 要求分析とデザイン定義
7. ソリューション評価
8. 基礎コンピテンシー
9. 要求ライフサイクル管理
10. パースペクティブ
11. 150問模擬試験/解答解説

受講料 ¥165,000

クラウド

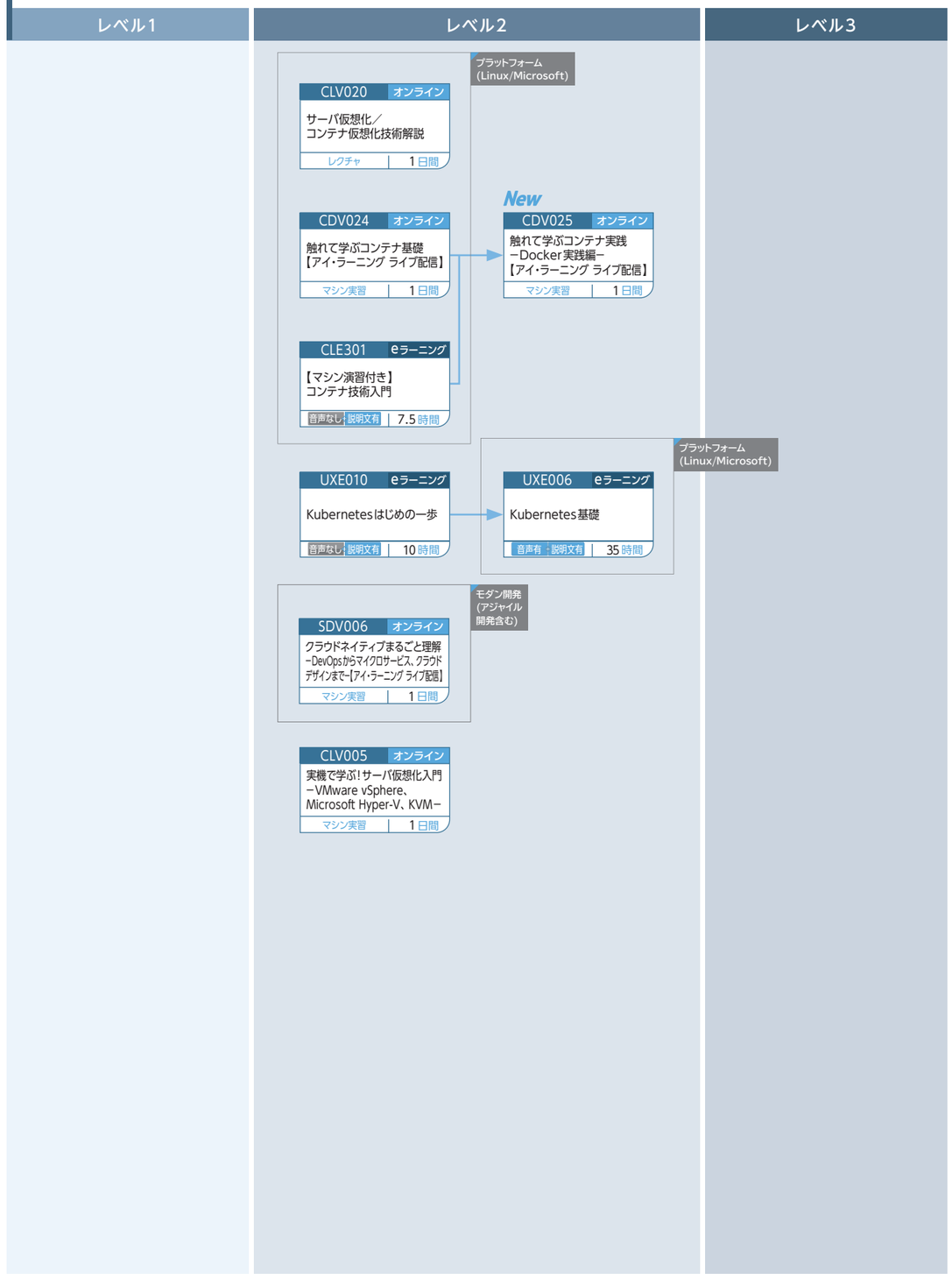
クラウドや仮想化の基礎知識と技術が修得できます。

クラウド基盤の基礎知識や技術を修得したい方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

サーバ仮想化・コンテナ仮想化の基礎知識や技術を修得したい方



資格 アマゾン ウェブ サービス（AWS）認定資格

AWS 認定資格は、AWS プラットフォームで稼働するアプリケーションの設計、デプロイ、管理に必要なスキルと技術知識を有する IT プロフェッショナルであることを証明します。認定資格を取得することにより AWS に関してスキルや知識を有していることを証明できるだけでなく、所属組織が AWS ベースのアプリケーションを運用構築ができる人材を有していることを証明します。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/aws.html

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード UXE003

<eラーニング> クラウドコンピューティング入門

4時間

クラウドコンピューティングの基本的な内容、適用技術を学習します。

到達目標 クラウドコンピューティングの概要を説明できる。

対象者 クラウドコンピューティングに関する基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. クラウドコンピューティングとは
 (1)クラウドコンピューティングの定義
 (2)クラウドコンピューティングの背景と出現
 (3)クラウドコンピューティングの提供形態
 (4)クラウドコンピューティングのサービスモデル
 (5)クラウドコンピューティングの歴史
 (6)クラウドコンピューティングのメリット、デメリット
 (7)クラウドコンピューティングの動向
2. クラウドコンピューティングの適用
 (1)パブリッククラウドの適用
 (2)プライベートクラウドの構築と運用
 (3)クラウドを支える基礎技術
3. 修了試験

受講料 ¥7,700

オンライン コースコード CLV014

実機で学ぶ！クラウドコンピューティング入門【バーチャル・クラスルーム】

1日間

AWSとMicrosoft Azureの概要や違いを実機を操作しながら学習します。

到達目標
- AWSとMicrosoft Azureの概要を理解し、基本的な違いを説明できる。
- 仮想マシンの起動など、AWSとMicrosoft Azureの操作コンソールで基本的な操作ができる。

対象者 これからクラウドを利用・提案するうえで、主要なパブリッククラウドを比較検討したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. クラウドコンピューティングの概要
2. AWS
3. Microsoft Azure
4. AWSとMicrosoft Azureの比較

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード DBV152 Renewal

ビッグデータにおけるシステム設計実践 −多様なデータを統合しビッグデータとして活用する−【バーチャル・クラスルーム】

1日間

設備保守支援システム、業務最適化支援システムからテーマを選択し、それを実現するためのシステムの初期設計を行います。どこにどのような装置やソフトウェアを配置し、それらをどのようにつなげるか検討し、議論することでデータ活用システムの設計力を身につけます。

到達目標
- システムを構成するうえで必要となる要素技術の全体像を説明できる。
- ビッグデータシステムにおいて顧客要件から必要な技術を選択しシステムを設計できる。
- 設計したシステムの意図を他者に説明できる。

対象者
- ITエンジニア職、若手・中堅の方。
- 基幹DBや他のデータを、分析用に加工および統合するシステムを設計する方。
- 分析に適したデータ設計をする方。

前提知識
- データベース、仮想環境、ビッグデータに関する基礎知識があること。
- 基幹業務システムを構成する技術要素の基礎知識があること。

内 容
1. オリエンテーション
2. 利用する技術要素の概要
3. グループワーク
4. 発表

受講料 ¥47,300

eラーニング コースコード CLE002

<eラーニング> Cloud beginnerのためのインフラストラクチャ基礎

6時間

サーバ、ネットワーク、ストレージ、認証、DNS（名前解決）、データベース、HA、バックアップ、クラウドの基本（XaaS、仮想化、パブリック／プライベートクラウド）といった点について、クラウドの研修を受講する前に押さえておきたい基礎を学習します。

到達目標 クラウドを利用するうえで必要となるインフラの基礎知識を修得し、AWS認定コースなどのクラウド研修の前提知識を修得できる。

対象者
- これからクラウドを利用するにあたり、インフラの幅広い知識を修得したい方。
- AWS認定コースなどのクラウド研修を受講前に、前提知識を修得したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. 仮想サーバ
2. ストレージ
3. コンテナ
4. ネットワーク
5. DNS
6. データベース
7. バックアップ
8. 可用性
9. クラウド

受講料 ¥19,800

オンライン コースコード CDV001

事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理−Cloud Essentials−【バーチャル・クラスルーム】

2日間

特定の技術やベンダーに依存しない、汎用的なクラウドの事業上および技術的な観点について学習します。クラウドの導入、運用および管理の方法についての理解を深めます。

到達目標
- クラウドの事業上の利点、考慮点を理解しお客さまにクラウドサービスのコンサルテーションができるようになる。
- ITサービスマネジメントの観点からクラウド・コンピューティングへ移行する場合の検討事項を理解できる。

対象者 クラウドサービスの提案を行うプレSE・営業の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. クラウド・コンピューティングの概要
2. 事業上の観点
3. 技術上の観点
4. クラウド・コンピューティングの導入
5. クラウド・コンピューティングの運用
6. クラウド・コンピューティングの管理

受講料 ¥121,000

オンライン コースコード CLV019 休講

クラウドコンピューティングで読み解くITサービスの最新動向【バーチャル・クラスルーム】

0.5日間

クラウドコンピューティングの技術的背景を総括しながら、新たなITサービスの動向や、今後の可能性について紹介します。

到達目標
- クラウドコンピューティングの概念を理解できる。
- ビジネスにおける活用例を知ることができる。
- 提案につなげるヒントについて考えることができる。

対象者 最近のIT動向を把握したいとお考えの営業/SE/プログラマの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. クラウドコンピューティングとは？
2. クラウドコンピューティングを実現する技術
3. クラウドコンピューティングを実現化するサービス実例
4. クラウドコンピューティングによる近未来のITサービス

受講料 ¥29,700

オンライン / コースコード CDV019

AWS Cloud Practitioner Essentials &AWS Technical Essentials【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

1日目はAWSを全体的に理解し、AWS認定クラウドプラクティショナー試験の準備にも役立ちます。2日目はハンズオンを通してAWSを使ったシステムの作成をします。

到達目標
- コンピューティング、ネットワーク、データベース、ストレージといった、AWS の主要なサービスついて説明できる。
- AWS クラウドサービスを使用した適切なソリューションついて説明できる。
- AWS Well-Architected フレームワークついて説明できる。
- AWS クラウドへの移行の基本について説明できる。
- 主要な請求、アカウント管理、料金モデルついて説明できる。
- Amazon CloudWatch のモニタリング機能ついて説明できる。

対象者
- これからAWSを使い始める方。
- AWSのサービスについて技術上の利点をお客さまに説明する方。
- AWSのソリューションアーキテクト（設計構築者）、システム運用管理者、および開発者をめざす方。

前提知識
- IT 部門での業務経験があること。
- 一般的なデータセンターのアーキテクチャとコンポーネント（サーバ、ネットワーク、データベース、アプリケーションなど）に関する基本的な知識があること。

内 容

●AWS Cloud Practitioner Essentials
1. アマゾン ウェブ サービスの紹介
2. クラウドでのコンピューティング
3. グローバルインフラストラクチャと信頼性
4. ネットワーク
5. ストレージとデータベース
6. セキュリティ
7. モニタリングと分析
8. 料金とサポート
9. 移行とイノベーション
10. AWS 認定クラウドプラクティショナーの基本

●AWS Technical Essentials
1. Amazon Web Services の紹介
2. AWS のコンピューティング
3. AWS のネットワーキング
4. AWS のストレージ
5. データベース
6. モニタリング、最適化およびサーバーレス

受講料 ¥154,000

オンライン / コースコード CDV021

AWS Security Essentials【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースは、AWS クラウドのセキュリティコンセプトについて取り扱い、これには AWS アクセスコントロール、データ暗号化方式、AWS インフラストラクチャーへのネットワークアクセスをセキュアにする方法などを紹介します。また、AWS 共有セキュリティモデルに基づいて、AWS クラウドのどの点でセキュリティ対策を講じる必要があるかを説明し、利用できるセキュリティ指向のサービスと、セキュリティサービスが組織のセキュリティニーズを満たすのに役立つ理由と方法についても学習します。

到達目標
- AWS クラウドを使用する際のセキュリティ上の利点と責務を理解できる。
- AWS のアクセスコントロールとアクセス管理機能について説明できる。
- 機密性の高いデータのセキュリティのためのさまざまなデータ暗号化方式について理解できる。
- AWS リソースへのネットワークアクセスを保護する方法について説明できる。

対象者
- クラウドのセキュリティプラクティスに興味をお持ちで IT ビジネスレベルのプロフェッショナルの方。
- AWS について最低限の実践的知識を持つセキュリティプロフェッショナルの方。

前提知識 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentials」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. AWSのセキュリティ
   (1) セキュリティの設計原則
   (2) 責任共有モデル
2. クラウドのセキュリティ
   (1) AWSグローバルインフラストラクチャ
   (2) データセンターのセキュリティ
   (3) コンプライアンスとガバナンス
3. クラウド内のセキュリティ - パート1
   (1) アイデンティティとアクセスの管理
   (2) データ保護の基本
4. クラウド内のセキュリティ - パート2
   (1) インフラストラクチャの保護
   (2) モニタリングと発見的統制
5. クラウド内のセキュリティ - パート3
   (1) DDoSの緩和
   (2) インシデント対応の基本
6. コースのまとめ
   (1) AWS Well-Architected Tool
   (2) 次のステップ

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード CDV012

Architecting on AWS【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

AWSサービスを使って、システムを設計／構築する方法を学習します。また、伸縮自在性、スケーラビリティ、セキュリティ、および高可用性のためのベストプラクティスと機能について学習します。

到達目標
- AWS上での、一般的なアーキテクチャーパターンを理解できる。
- 拡張性、柔軟性、高可用性を考慮したシステム設計を理解できる。
- クラウドへの移行パスを理解できる。
- コスト最適化を考慮したシステム設計を理解できる。

対象者
- AWS上にシステムを設計／構築される方。
- AWSをお客さまへご提案される方。

前提知識 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentials」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
※AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentialsは、AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Practical Startup Workshopを改訂したコースです。

内 容
1. AWSの主要な知識
2. AWSの主要サービス
3. 環境を設計する
4. 環境の可用性を向上させるパート1
5. 環境の可用性を向上させるパート2
6. インフラストラクチャの自動化
7. インフラストラクチャを疎結合化する
8. ウェブスケールストレージの設計
9. そのWell-Architectedフレームワーク
10. トラブルシューティング

受講料 ¥231,000

オンライン / コースコード CDV013

Developing on AWS【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

セキュアで信頼性が高く、スケーラブルなAWSベースのアプリケーションを設計、構築する方法を学習します。AWS コードライブラリ、SDK、IDE ツールキットの使い方も学習し、AWS プラットフォームでの効率的なコード開発とデプロイの方法を学習します。

到達目標
- AWS SDKとIDEツールキットをインストールして設定できる。
- 基本的なAWSサービス操作をC#またはJavaを利用して自動化できる。
- セキュリティモデルを使用してAWSへのアクセスを管理できる。
- AWSでのデプロイメントモデルと利用方法を理解できる。

対象者 AWSサービスを利用してソフトウェア（アプリケーション）を開発される方。

前提知識
- 「AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentials」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- ソフトウェア開発の実務的知識、クラウドコンピューティングの概念の知識、Javaの基本的な知識があること。

※AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Technical Essentialsは、AWS Cloud Practitioner Essentials&AWS Practical Startup Workshopを改訂したコースです。

内 容
1. Developing on AWSの紹介
2. データストアを選択する
3. Amazon S3を使用してストレージソリューションを開発する
4. Amazon DynamoDBを使用して柔軟なNoSQLソリューションを開発する
5. イベントの使用
6. Amazon Kinesisを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
7. AWS Step Functions、Amazon SQS、Amazon SNSを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
8. AWS Lambdaを使用してイベントドリブン型ソリューションを開発する
9. 安全なアプリケーションを開発する
10. スケーラビリティのために情報をキャッシュする
11. Amazon CloudWatchを使用してアプリケーションとAWSリソースをモニタリングする
12. AWS Elastic BeanstalkとAWS CloudFormationを使用してアプリケーションをデプロイする

受講料 ¥231,000

オンライン / コースコード CLV011

Microsoft Azure概説【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

Microsoft Azureの概要およびMicrosoft AzureのPaaS機能、IaaS機能について学習します。マシン実習によりMicrosoft AzureのPaaS、IaaSに対する理解を深めます。なお、演習では、2015年12月から正式提供が開始された新ポータルを使用します。

到達目標
- Microsoft Azureの概要を説明できる。
- 簡単なプログラムを開発しMicrosoft AzureのPaaS機能を利用できる。
- Microsoft AzureのIaaSを利用した仮想マシンを作成できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方で、Microsoft Azureを初めて学習する方。

前提知識 「クラウドコンピューティング入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Microsoft Azureの概要
2. Microsoft AzureによるPaaS
3. Microsoft AzureによるIaaS

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード CDV014

【短縮版】Microsoft Azure Administrator【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

Microsoft Azure Administrator試験に対応した、Microsoft AzureのIaaSサービス、IDaaSサービスについて基礎的な内容を学習します。

到達目標
- Azureの管理ツールを使用して、Azureを管理できる。
- 仮想マシンを作成できる。
- ストレージを作成できる。
- 仮想ネットワークの構成ができる。
- バックアップの構成ができる。
- サイト間接続ソリューションの構成ができる。
- ネットワークトラフィックの管理ができる。
- サブスクリプションやアカウントの管理ができる。
- Azure Active Directoryの実装方法が説明できる。
- ID保護の方法を説明できる。
- データ共有の方法を説明できる。
- Azureインフラストラクチャの監視ができる。

対象者 Microsoft Azureの基礎知識を修得したい方、Microsoft Azure Administrator試験に対応した内容を学習したい方。

前提知識 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. Azureの管理
2. Azure仮想マシン
3. Azure Storage
4. 仮想ネットワーク
5. サイト間接続
6. Azureの監視
7. データ保護
8. ネットワークトラフィック管理
9. Azure Active Directory
10. IDの保護
11. ガバナンスとコンプライアンス
12. データサービス

受講料 ¥198,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン / コースコード CLV018

Microsoft Azureを利用したIoT+AI入門 −サービス概要から操作体験−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

Azure IoTを利用したIoTデバイスからAzureへのデータ送信の概要とAzure AIを用いたデータ分析の概要について、マシン実習を通して学習します。
※このコースでは、IoTデバイスとして、Raspberry piを利用します。
※このコースは、IoTとAIの詳細について学習するコースではありません。

到達目標
- Azure IoTの概要が説明できる。
- IoTデバイスから、Azureにデータを送ることができる。
- Azure AIの概要が説明できる。
- Azure AIサービスを利用して、テキストデータや画像データの簡単な分析ができる。
- Azure IoTサービスとAzure AIサービスの連係方法が説明できる。

対象者 Azure IoTとAzure AIに興味があり、初めてAzure IoTとAzure AIを学習する方。

前提知識 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. Microsoft Azureの概要
2. Azure IoTの概要
3. Azure AIの概要
4. Azure IoTとAIの連係

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード CLV009

Microsoft Azureを用いたWebアプリ開発入門【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

Microsoft AzureのWeb Appsやクラウドサービス上に、Webアプリを開発、配置する方法を、マシン実習を通して学習します。また、Webアプリのデータを SQLデータベースやストレージに保存する方法も学習します。

到達目標
- Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を説明できる。
- Microsoft Azure上でWebアプリを動作させるためのサービスの概要を説明できる。
- Microsoft Azure上で動作する簡単なWebアプリを開発できる。
- Microsoft Azure上のSQLデータベースと連携するWebアプリを開発できる。
- Microsoft Azure上でサーバーレスアーキテクチャを利用したアプリを開発できる。

対象者
- Microsoft Azure上で動作するWebアプリを開発したい方。
- Microsoft Azure上で動作するWebアプリの開発方法を知りたい方。

前提知識 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. Microsoft Azureで動作するWebアプリの開発概要
2. Web Appsを利用したWebアプリ開発
3. ストレージサービスを利用したWebアプリ開発
4. SQLデータベースを利用したWebアプリ開発
5. Logic Apps・Azure Functionsを利用したサーバレスアプリの開発

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード CLV021

Microsoft Azureによるサイト間ネットワークの構築 −ハイブリッドクラウド構成の基礎−【トレノケート ライブ配信】

マシン実習 1日間

Microsoft Azureは、サイト間接続機能によってオンプレミスとVPN接続ができます。本コースでは、サイト間接続を構成する手順について学習し、クラウドとオンプレミスの間でActive Directoryやファイルサーバーの連携環境を構成します。なお、Express Routeについては概念のみ紹介します。

到達目標
- Microsoft Azure上の仮想ネットワークと社内LANを接続する。
- Microsoft Azure上の仮想マシンを2台目のActive Directoryドメインコントローラーとして構成する。

対象者 Microsoft Azure上にWindows Serverベースの仮想サーバーを構築し、社内システムと連携運用したい方。

前提知識
- 「Microsoft Azure概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 「Windows Server入門（旧コース名 Windows Server2019管理概説）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Microsoft Azure概要
2. Azure仮想ネットワーク
3. Azure仮想マシン
4. Active Directoryドメインサービス
5. ファイルサーバー

受講料 ¥71,500

オンライン / コースコード CDV025 New

触れて学ぶコンテナ実践 −Docker実践編−【アイ・ラーニング ライブ配信】

マシン実習 1日間

Dockerの利用事例をベースとしてコンテナ技術の基礎を理解するとともに、docker-composeを利用したアプリケーション環境構築およびDockerfileの作成の演習を通して、自力でコンテナイメージを作成・公開することができるところまでを目標としています。

到達目標
- コンテナ（Docker）の利用事例を知り、活用方法を構想できる。
- サーバレスとDockerの活用方法が理解できる。
- docker-composeを利用してアプリケーション環境の構築ができる。
- Dockerのメリットデメリットを説明できる。
- Dockerのベストプラクティスを説明できる。
- 自力でDockerfileを作成できる。
- 既存アプリケーションをコンテナ化できる。

対象者
- コンテナ（Docker）技術スキルを振り返りたい方、身につけたい方。
- Dockerfileやdocker-composeファイルの作成方法を学習したい方。
- Kubernetesで作成するymlファイルの書き方を基礎から確認したい方。

前提知識
- 「【マシン演習付き】コンテナ技術入門」eラーニングコース、または「触れて学ぶコンテナ基礎 -Docker操作編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること、もしくはDocker基本コマンド・操作が可能な方。
- コンテナ技術の概要が分かる方（Dockerfileの簡単な見方、Docker-composeの概念）。
- Linuxの基本的なコマンド操作（ファイル操作、テキストエディタによる編集）が利用できる方。

内 容
1. Docker利用事例
   (1) Dockerによるコンテナ納品
   (2) これからのソフトウェア コンテナ納品のフロー
   (3) サーバレスとコンテナ
   (4) Dockerランタイムの今昔
   (5) コンテナランタイムのお話
2. 午前演習
   (1) 公開コンテナイメージからDocker Composeを利用してアプリケーション環境の構築
   (2) GitLab Community Editionの構築
   (3) Gitlab によるCI/CD
   (4) Docker / Docker Composeの設計振り返り
3. 午後座学
   (1) Dockerでできること・できないこと
   (2) Dockerfile best practices
   (3) コンテナの脆弱性検査 Docker Bench for Securityの導入
4. 午後演習1　Dockerfileを書くためのプラクティス
5. 午後演習2　既存アプリケーションのコンテナ化演習

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード UXE010

<eラーニング> Kubernetesはじめの一歩

eラーニング 10時間

このコースは、クラウドネイティブ技術の概要とコンテナオーケストレーションの詳細を学びます。さらに、Kubernetesのハイレベルなアーキテクチャ、コンテナオーケストレーションの課題についても言及します。また分散環境におけるアプリケーションのデリバリーおよび監視方法、コンテナオーケストレーションがレガシー環境とどのように異なるかなどについても説明します。このコースは、Kubernetes and Cloud Native Associate（KCNA-JP）認定試験対策として設計されています。

到達目標
- クラウドネイティブアーキテクチャの概要を説明できる。
- コンテナオーケストレーションの概要を説明できる。
- Kubernetesの基本機能と操作の概要を説明できる。

対象者 クラウドネイティブ技術とコンテナオーケストレーションを初めて学ぶ開発者、システム管理者、システムアーキテクト、マネージャーの方。

前提知識 Linuxの概要知識、Linuxコマンドラインの経験、パッケージマネージャ、GitとGitHubの基礎知識、クラウドとKubernetesの基礎知識があること。

内 容
1. コースの紹介
2. クラウド ネイティブ アーキテクチャ
3. コンテナ オーケストレーション
4. Kubernetes基礎
5. Kubernetesの操作
6. クラウド ネイティブ アプリケーションのデリバリー
7. クラウド ネイティブの可観測性

受講料 ¥15,400

オンライン / コースコード CLV005

実機で学ぶ！ サーバ仮想化入門 −VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

サーバ仮想化の基礎を解説し、市場で大きなシェアを持っているVMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVMを利用したサーバ仮想化方法を実機で学習します。

到達目標
- サーバ仮想化の概要を説明できる。
- 各種製品（VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、KVM）をインストールしそれらの製品を使用して仮想サーバを作成できる。

対象者 サーバ仮想化の提案、構築を行う営業、SEの方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. サーバ仮想化の概要
2. VMware vSphereの概要と特長
   (1) 演習1：VMware vSphereのインストールと仮想サーバの作成
3. Hyper-Vの概要と特長
   (1) 演習2：Microsoft Hyper-Vのインストールと仮想サーバの作成
4. KVMの概要と特長
   (1) 演習3：KVMのインストールと仮想サーバの作成

受講料 ¥38,500

モダン開発（アジャイル開発含む）

アジャイルやクラウド環境を利用するモダンな開発に関する基礎知識と技術が修得できます。

アジャイル開発の基本やポイントを修得したい方

レベル1

レベル2

SPV084 オンライン
スクラムの基礎と実践
グループ演習 | 1日間

PDU
SPV083 オンライン
（PDU）［リーダー向け］アジャイル開発における自律型チーム運営
グループ演習 | 1日間

プロジェクトマネジメント
PDU
PMV103 オンライン
（PDU）マネージャのための1日でわかるアジャイル・プロジェクトマネジメントの効用
グループ演習 | 1日間

SPV070 オンライン
アジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ
グループ演習 | 1日間

PDV018 オンライン
「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策【ITPライブ配信】
レクチャ | 2日間

レベル3

アジャイル開発を支える技術やツール群について修得したい方

レベル1

レベル2

SPV084 オンライン
スクラムの基礎と実践
グループ演習 | 1日間

プログラミング・情報技術
SPV085 オンライン
Pythonによるテスト自動化 ー単体テストからシステムテストまでー
マシン実習 | 1日間

SPV079 オンライン
ソフトウェア開発者のためのアジャイル開発演習
マシン実習 | 2日間

UXV070 オンライン
gitによるソフトウェア構成管理
マシン実習 | 1日間

OJV033 オンライン
Javaによる保守開発のためのリファクタリング
マシン実習 | 1日間

SPV072 オンライン
Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習
マシン実習 | 1日間

SPV035 オンライン
Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習
マシン実習 | 1日間

レベル3

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

モダンなアプリケーション開発のための技術を修得したい方

レベル1

レベル2

CLV017 オンライン
クラウドアプリケーション開発
マシン実習 | 2日間

Renewal
SPV086 オンライン
DevOps入門 ーバージョン管理とCI／CDを活用した効率的な開発フローー
マシン実習 | 1日間

SDV006 オンライン
クラウドネイティブまるごと理解 ーDevOpsからマイクロサービス、クラウドデザインまで-［アイ・ラーニング ライブ配信］
マシン実習 | 1日間

CDV022 オンライン
マイクロサービス アーキテクチャ入門研修【フルネスライブ配信】
マシン実習 | 2日間

CLE003 eラーニング
クラウドネイティブ時代のAPI管理技術概説
音声なし 説明文有 | 6時間

SPD002 集合
DevOpsテスト入門 〜継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ〜
グループ演習 | 1日間

レベル3

CDV023 オンライン
ドメイン駆動設計基礎研修【フルネスライブ配信】
マシン実習 | 2日間

PDU ：PMP® 資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。
音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン／コースコード SPV084

グループ演習 1日間

スクラムの基礎と実践【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、アジャイル開発手法の中でも主流のスクラムを取り上げます。基礎知識の解説に加え、実際のプロジェクトの進め方や要素技術など、アジャイル開発／スクラムの基礎と実践について学習します。また演習やワークショップによってアジャイル開発のメリットを体験します。

到達目標 スクラムの基本的なプロセスフレームワークを理解し、実践できる。

対象者
・アジャイル開発の基礎を修得したい方。
・スクラムの修得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. アジャイル開発の概要
2. スクラム入門
3. アジャイル開発の演習／ワークショップ
4. まとめ

受講料 ¥55,000

オンライン／コースコード SPV083

グループ演習 1日間

（PDU）[リーダー向け]アジャイル開発における自律型チーム運営【バーチャル・クラスルーム】PDU

アジャイル開発を担当するリーダーとして、その力量がもっとも発揮されるべき局面がチーム運営です。「チームがうまくまとまっていかない」「メンバは指示待ちで自分から動かない」というように自律型チームにならないことが多いのが現実です。このコースでは、自律的なチームとは何か、どうすれば自律的なチームになるのかを、開発現場の状況を想定したグループディスカッションや講師との質疑応答を通して考察します。それを通して、適用可能なプラクティスからチーム運営のあり方をつかむことをめざします。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・リーダーとしてアジャイル手法におけるチーム運営のヒントを説明できる。
・効果的にチームをサポートするポイントを説明できる。

対象者 アジャイル開発に適したチームを作りたいリーダー（マネージャー）の方。

前提知識
・「スクラムの基礎と実践」コースを修了されているか、または同等の知識があること。
・ソフトウェア開発の経験があること。

内　容
1. アジャイル開発がチームに期待するもの
2. 要求とスコープの管理
3. 進捗の可視化
4. 自己改善のサイクル

受講料 ¥46,200

オンライン／コースコード SPV070

グループ演習 1日間

アジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナー体験ワークショップ【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、ワークショップを通してアジャイル開発（スクラム）におけるプロダクトオーナーの責務、作業内容、振る舞いについて体験します。

到達目標 アジャイル開発（スクラム）においてプロダクトオーナーを実践できる。

対象者 スクラムにおけるプロダクトオーナの責務、仕事の進め方を理解し体験したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. アジャイル開発の概要
2. スクラムの基礎
3. 製品開発のプロダクトオーナー体験ワークショップ

受講料 ¥77,000

オンライン／コースコード PDV018

レクチャ 2日間

「EXIN アジャイル スクラム ファンデーション」資格対策【ITPライブ配信】

このコースは、EXIN本部が公開する試験要件に沿ったカリキュラムにより基本事項の概念や用例を学習します。なお、研修の最後にアジャイル スクラム ファンデーション認定試験（60分）を用意しています。

到達目標
・アジャイル手法の重要性と、アジャイルがどのように付加価値を付けられるかを説明できる。
・アジャイルの原則とアジャイルマニフェストについて説明できる。
・アジャイル・プロジェクトマネジメント・フレームワークを説明できる。
・アジャイル スクラム ファンデーション認定試験に合格できる。

対象者 アジャイル・プロジェクトマネジメント、スクラムの基本を体系的に把握したい方。

前提知識 プロジェクトマネジメントに関する基本的な知識・技術があること。

内　容
1. アジャイルとスクラム
2. 役割、儀式、タイムボックス
3. 手法とプラクティス
4. バックログ
5. 上級概念
6. 計画とリリース
7. モニタリング
8. アジャイル スクラム ファンデーション認定試験（60分）

受講料 ¥174,900

オンライン／コースコード UXV070

マシン実習 1日間

gitによるソフトウェア構成管理【バーチャル・クラスルーム】

構成管理の必要性、集中型/分散型それぞれの特長を、マシン演習を通して学習します。また、構成管理を行う上で複数人開発で起こり得る問題点とその解決策も学習します。

到達目標
・構成管理の必要性と概要を説明できる。
・構成管理ツールの基本的な操作ができる。
・複数人で構成管理する時の注意点を説明できる。

対象者 構成管理をこれから利用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 システム開発で実装工程の経験があること。

内　容
1. 構成管理とは
2. 構成管理の方法
3. 構成管理ツールの利用
4. GitHubによるソーシャルコーディング

受講料 ¥38,500

オンライン／コースコード SPV072

マシン実習 1日間

Javaによる単体テスト自動化とテスト駆動開発演習【バーチャル・クラスルーム】

テストを活用した開発手法であるテスト駆動開発について学習します。また、合わせてテスト駆動開発に必須である、単体テスト（モジュールテスト）の自動化について学習します。Javaによるアプリケーション開発を通して、テスト駆動開発の進め方やJUnitなどを利用した自動化について学習します。

到達目標
・テスト駆動開発の進め方や留意点を説明できる。
・ツールを利用して自動テストを実施できる。
・実装前にテストコードを作成し、テストファーストの開発を実践できる。

対象者
・テスト自動化による効率的な単体テストの実施方法を修得したい方。
・テスト駆動開発を利用して開発を進める方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コース、および「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. テスト駆動開発概要
3. テスト自動化
4. テスト駆動開発の流れ
5. テスト駆動開発演習

受講料 ¥33,000

オンライン／コースコード SPV035

マシン実習 1日間

Seleniumによる Webアプリケーションテスト自動化演習【バーチャル・クラスルーム】

SeleniumによりWebアプリケーションテストを自動化し、JUnitとSelenium WebDriverを用いてテストコードを作成して、効率的にテストを実施する方法について学習します。

到達目標
・Selenium WebDriverのJava用APIを利用してブラウザの操作を行うプログラムを作成できる。
・Selenium WebDriverとJUnitフレームワークを利用して、Webアプリケーションの自動テストを実施できる。

対象者 Webアプリケーションのテストを行う方、Webアプリケーション自動操作のツールを作成する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Seleniumとは
2. Selenium WebDriver使用方法
3. JUnitフレームワークを利用したWebアプリケーションのテスト作成
4. Webアプリケーションのテスト自動化演習

受講料 ¥33,000

オンライン／コースコード SPV079

マシン実習 2日間

ソフトウェア開発者のためのアジャイル開発演習【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、スクラムをベースとした開発手法で、与えられた要件を実装する演習に、個人・チームで取り組みます。演習を通じて、アジャイル開発の実装フェーズでの勘所を修得していただきます。
※このコースはアジャイル開発の流れについては修得済みであることを前提としています。
※実装演習では、JavaによるWebアプリケーションを題材として扱います。

到達目標 アジャイル開発の実装フェーズで取るべきアクションが理解できる。

対象者 これからアジャイルによるソフトウェア開発を実施する方。

前提知識 「スクラムの基礎と実践」コースを修了しているか、または同等の知識があること。なお、テスト駆動開発の知識、gitの操作経験があることが望ましい。

内　容
1. アジャイル開発の特長
2. アジャイル開発実践演習-個人演習編-
3. アジャイル開発実践演習-チーム演習編-

受講料 ¥127,600

オンライン／コースコード CLV017

マシン実習 2日間

クラウドアプリケーション開発【バーチャル・クラスルーム】

クラウド環境によるアプリケーションを効果的に設計する上で、必須となる「スケール」について学習します。従来の3層アーキテクチャでのアプリケーション構造との比較、留意点などの知識を学習します。併せて、クラウドサービスを利用した「サーバーレスアーキテクチャ」によるアプリケーション開発の考え方を学習します。マシン演習では、Amazon Web Servicesを利用します。

到達目標
・スケールアウトするうえで注意すべき点を理解する。
・スケーラビリティを意識した設計ができる。
・Webアプリケーションをスケールアウトさせる実装ができる。
・クラウドサービスのメリットを活かしたサーバーレスアーキテクチャを理解できる。

対象者 クラウド環境化でのWebアプリケーションを設計される方。

前提知識 「サーバサイドJavaプログラミング―Servlet/JSP編―」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. クラウド概要
2. Webレイヤでのスケール
3. APレイヤでのスケール
4. DBレイヤでのスケール
5. サーバーレスアーキテクチャ

受講料 ¥82,500

eラーニング／コースコード CLE003

eラーニング 6時間

<eラーニング>クラウドネイティブ時代のAPI管理技術概説

・クラウドシステムの在り方の変化とAPI利用の広がりについて学習します。
・API管理の重要性とセキュリティについて学習します。
・API管理のオープンソースソフトウェア（OSS）紹介と日立のAPI管理ソリューションについて学習します。

到達目標
・クラウドネイティブコンピューティング関連の技術とAPIエコノミーについて説明できる。
・API管理とセキュリティー（認証・認可）について説明できる。
・API管理のオープンソースソフトウェアと日立のAPI管理ソリューションの概要を説明できる。

対象者
・クラウドネイティブコンピューティング、API管理について知りたい方。
・API管理のセキュリティについて知りたい方。
・オープンソースAPI管理ソフトウェアの概要と日立のソリューションを知りたい方。

前提知識 「クラウドコンピューティング入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。かつ「オープンソースソフトウェア（OSS）概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. システムの在り方の変化とAPI利用の広がり
　（1）アプリケーションと開発手法の変化
　　モバイル、DevOps、マイクロサービス
　（2）プラットフォームの変化
　　オンプレミスからクラウド、クラウドネイティブへ
　（3）セキュリティ技術（OAuth）との関係からの広がり
　（4）APIエコノミーとの関係性
2. API管理の重要性とセキュリティ
　（1）API管理の概要
　（2）API管理技術の変遷と実際
　（3）重要となる認証・認可
3. オープンソースソフトウェアの紹介と日立のAPI管理ソリューション
　（1）OSS動向
　（2）3scale
　（3）keycloak

受講料 ¥19,800

オンライン／コースコード SPV086　Renewal

マシン実習 1日間

DevOps入門―バージョン管理とCI／CDを活用した効率的な開発フロー―【バーチャル・クラスルーム】

DevOpsの概要、およびDevOps適用時の改善の観点について学習します。DevOpsで特に重要な開発パイプラインの自動化（ソースコードのバージョン管理およびCI/CD）はマシン演習を通して理解を深めます。

到達目標
・DevOpsの概要を説明できる。
・自動化された開発パイプラインの概要、および効果を説明できる。
・継続した改善の観点を説明できる。

対象者 DevOpsによるアプリケーション開発を行う予定の方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。なお、何かしらのシステム開発業務（設計・実装など）の経験があることが望ましい。

内　容
1. DevOps概要
　（1）DevOps登場の背景
　（2）DevOpsのポイント
　（3）期待される効果
2. 自動化された開発パイプライン
　（1）ソースコードのバージョン管理
　（2）CI／CD
3. 継続した改善
　（1）モニタリング
　（2）アーキテクチャ
　（3）チーム文化

受講料 ¥55,000

集合／コースコード SPD002

グループ演習 1日間

DevOpsテスト入門～継続的デリバリーを実現するテストのアプローチ～

DevOpsについての基本的な考え方を学び、DevOpsやアジャイルにおける継続的開発でのテストのアプローチを身につける講座です。DevOpsについてその背景と歴史を学んだうえで、DevOpsの全体のプロセスを俯瞰し、テストの位置づけを明確にし、DevOpsに求められるテストの基礎知識を学びます。また、継続的デリバリーを実現するために必要なデプロイメントパイプラインの概念および、組織文化の変革の勘所を演習を通して学びます。

到達目標
・基本的なDevOpsの概念を理解できる。
・DevOpsにおける品質の捉え方、またアジャイルテストにおけるリスクベースドテストを活用したテスト技法の使い分け、自動テストとマニュアルテストの使い分けができる。
・TDD/ATDD/BDDを活用した自動化テストの基礎が理解できる。

対象者 DevOpsにおけるテストについての基礎を学び、より効果的、効率的なテストを会得したい方。

前提知識 システム開発に関わった経験があること。

内　容
1. DevOps基礎、はじまりと現在
　（1）DevOpsとは
　（2）DevOpsとは～最新動向～
　（3）DevOpsと品質
2. DevOpsにおけるテストアプローチとテスト駆動開発の基礎
　（1）DevOpsとテストアプローチ
　（2）TDD/ATDD/BDDによる欠陥予防
3. DevOpsにおけるテスト計画とリスクベースドテスト
　（1）DevOpsにおけるテスト計画
　（2）ソフトウェアとリスク
　（3）DevOpsとリスクベースドテスト

受講料 ¥46,200

開発／基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

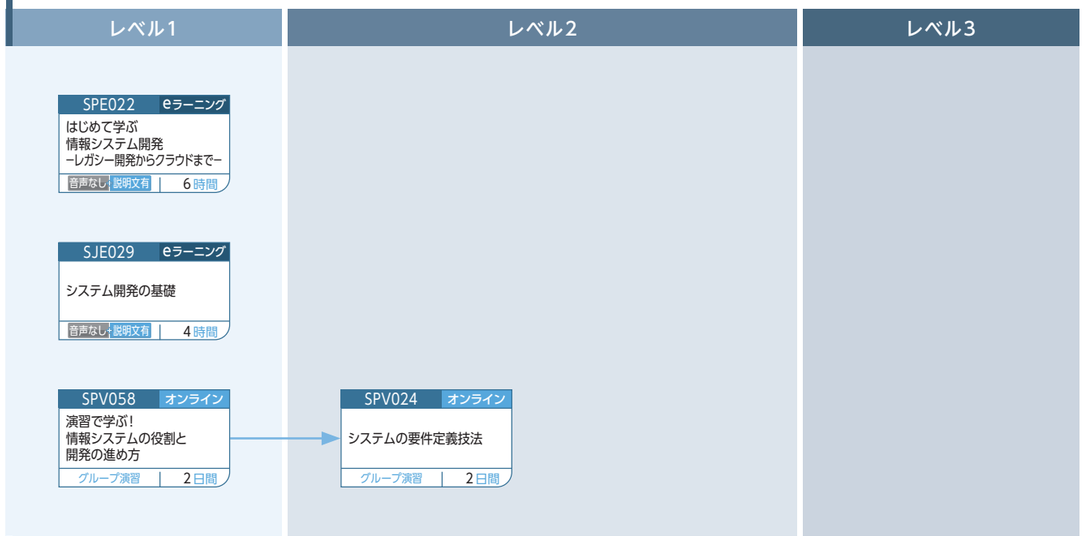
マシン実習：マシンを使用しながらの研修
グループ演習：グループ演習を中心とした研修
レクチャ：座学による研修
eラーニング：インターネット接続による自己学習
自習テキスト：自習書による独習

開発工程全般・企画・設計

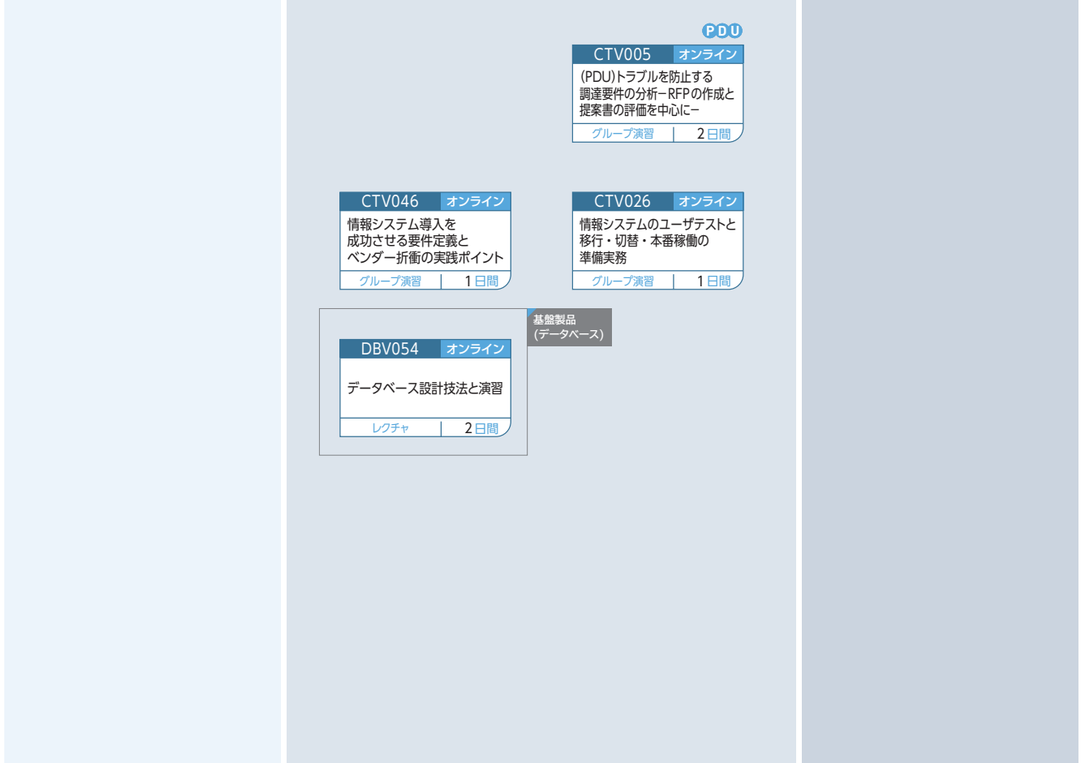
IT・OT・プロダクトの開発に関する工程ごとの技術（工程全体の俯瞰や企画、要件定義、設計や、関連手法）が修得できます。プログラミングなどの実装技術はプログラミング・情報技術、テスト工程については品質・技法・信頼性を参照ください。

システム開発

これからシステム開発に携わる方



企画/要件定義に携わる方



レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード SDV006

マシン実習 1日間

クラウドネイティブまるごと理解 −DevOpsからマイクロサービス、クラウドデザインまで−【アイ・ラーニング ライブ配信】

クラウドネイティブを構成する技術要素は、DevOps、Continuous Delivery、Container、Microserviceの4つといわれています。このコースでは、サービス提供視点からクラウドを使いこなす知識を身につけます。クラウドデザインにてサービスの動作を理解し、フルマネージドサービスでのシステム設計、マイクロサービス、ドメイン駆動設計を用いたアプリケーション設計からKubernetesへのデプロイ、およびその特有のリリースマネジメント等々、多くの要素のポイントを重点的かつ網羅的に学びます。このコースでのクラウド基盤はMicrosoft Azureを中心として講義しますが、他のクラウドプラットフォームへの応用も可能です。

到達目標
- 自社またはお客さまのシステムをクラウドネイティブ化するための基礎を身につける。
- DevOpsの本質を理解し、技術面だけでなく組織や文化の変革が必要なことを理解する。
- 継続的デリバリーおよび自動化やマネジメントに必要なポイントを理解する。
- コンテナ活用とマイクロサービス開発に必要なポイントを理解する。
- クラウドデザインをベースとして設計をすることができる。

対象者 アプリケーション開発エンジニア/インフラエンジニア/マネージャーの方。

前提知識
- アプリケーション開発またはシステム運用の実務経験があること。
- クラウドの基本的な用語と仕組みを理解していること。

内 容
1. クラウドネイティブ概要
2. DevOps
3. Continuous Integration/Continuous Delivery
4. Container
5. Microservice
6. Cloud Design
7. クラウドネイティブ提案

受講料 ¥99,000

オンライン コースコード CDV022

マシン実習 2日間

マイクロサービスアーキテクチャ入門研修【フルネスライブ配信】

マイクロサービスは、小さい（マイクロ）サービスの集まったものであり、全体で1つの大きなサービスを機能します。各サービスは、それぞれのプロセスで稼働しており、サービスによって別の開発言語で作られていても動作は稼働します。このコースでは、マイクロサービスアーキテクチャの基本的な概念の理解と、実際にマイクロサービスとしてアプリケーションの実装、運用、デプロイをしながらその勘所を学習します。現在非常に注目されている研修の一つとなっております。

到達目標
- マイクロサービスアーキテクチャの基本概念が説明できる。
- 簡単なマイクロサービスを構築を通して基本的なマイクロサービスの実装方法が説明できる。

対象者 これからマイクロサービスの実装、運用をお考えの方。

前提知識 Java、PHP等の何らかのプログラミング言語の経験があること。

内 容
1. マイクロサービスアーキテクチャ概要
   (1)マイクロサービスアーキテクチャとは
   (2)マイクロサービスアーキテクチャの特徴
   (3)マイクロサービスの利用事例紹介
   (4)マイクロサービス化のメリット・デメリット
2. マイクロサービスアーキテクチャ設計
   (1)サービスのモデル化方法
   (2)サービスの連携手法
   (3)モノリシックシステムの分割
   (4)コンウェイの法則（オーケストレーションとコレオグラフィ）
   (5)セキュリティ　(6)デプロイ方法
   (7)テストの自動化　(8)監視
   (9)組織構造とアーキテクチャの相互作用（コンウェイの法則）
   (10)大規模なマイクロサービス
3. マイクロサービスの実装&デプロイ
   (1)REST APIの実装、Restful APIの理解。Spring Bootによる実装
   (2)クライアントアプリケーションの実装
   (3)リアクティブプログラミングの理解
   (4)クライアントアプリの実装
   (5)API GatewayによるAPI管理
   (6)メッセージブローカーによるサービス間連携の実装
4. マイクロサービスの運用・監視の実践
   (1)テストの自動化、スタブとドライバの実装、Githubと Jenkinsの連携でテストを自動化
   (2)デプロイ、Dockerによるコンテナへのデプロイ
   (3)サービス監視
   (4)障害対策
   (5)スケーリング

受講料 ¥88,000

オンライン コースコード CDV023

マシン実習 2日間

ドメイン駆動設計基礎研修【フルネスライブ配信】

ドメイン駆動設計（DDD）とは、オブジェクトの設計に役立つ原則とパターンをまとめたものです。設計に適用することで、ドメインモデルと呼ばれるソフトウェアの抽象化を実現しており、複雑なビジネスロジックをカプセル化できるため、実際の業務とプログラムの間のギャップを小さくすることができます。このコースでは、ドメイン駆動設計の特長や仕組みを解説しながら、演習を通してドメイン駆動設計を理解していただきます。

到達目標
- ドメイン駆動設計の基本概念が説明できる。
- ドメイン駆動設計を行う上で必要な技術知識を理解しながら、演習を通して、基本的なドメイン駆動設計の流れが説明できる。

対象者 ドメイン駆動設計を学びたい方。

前提知識
- Java、PHP等の何らかのプログラミング言語の経験があること。
- オブジェクト指向設計の基本概念が理解していること。

内 容
1. ドメイン駆動設計概論
   (1)ドメイン駆動設計（DDD）とは
   (2)DDDのメリット　(3)DDDを行う方法
   (4)DDDを採用する事業価値
   (5)DDD導入にあたっての課題
2. ドメイン駆動設計の戦略的設計
   (1)ドメイン　(2)サブドメイン
   (3)境界づけられたコンテキスト
   (4)コンテキストマップ
   (5)コンテキストマップを作る目的
   (6)境界づけられたコンテキストの分割指針
3. ドメインモデル設計
   (1)モデル駆動設計　(2)ユビキタス言語
   (3)ドメインモデル
   (4)ドメインモデルで設計する事のメリット
   (5)ドメインオブジェクトの見つけ方
   (6)ユビキタス言語
4. ドメインモデルの実装
   (1)アーキテクチャ
   ・レイアードアーキテクチャ
   ・依存性逆転の法則
   ・ヘキサゴナルアーキテクチャ
   ・REST
   ・CQRS
   (2)エンティティ　(3)値オブジェクト
   (4)サービス　(5)ドメインイベント
   (6)集約　(7)ファクトリ
   (8)リポジトリ
   (9)境界づけられたコンテキストとの結合
   (10)アプリケーション　(11)UIの構築

受講料 ¥77,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたってお悩みの方

レベル1	レベル2	レベル3

ビジネスアーキテクト

〔新規事業に基づく開発〕

1. ビジネス要件定義とIT化企画立案

CTV071 オンライン
IT主導で攻めのビジネスを実現するためのビジネス要件とIT企画の作り方
レクチャ | 1日間

〔業務改善を狙いとした開発〕

2. 現状業務の可視化

CTV072 オンライン
現場主導で現状業務の見える化を推進するための業務フロー作成技法
レクチャ | 1日間

3. 現行システムの要件カバー

CTV073 オンライン
既存システムの改修/リプレースのための現行システム要件と利用業務状況の洗い出し方
レクチャ | 1日間

4. 業務要件定義

CTV075 オンライン
業務のIT化を推進するための新業務フロー作成技法とシステムへの要求のまとめ方
レクチャ | 1日間

5. ユーザオペレーション要件

SPV073 オンライン
業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ
レクチャ | 1日間

6. システム要件定義

SPV074 オンライン
後工程で慌てない!
ユーザ/業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ
レクチャ | 1日間

7. 要件チェックと基本設計

SPV075 オンライン
開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ
レクチャ | 1日間

システム方式設計、アプリケーション方式設計に携わる方

レベル1	レベル2	レベル3

NWE032 eラーニング
Webシステム入門
音声なし 説明文有 | 6時間

NWE031 eラーニング
Webアプリケーション設計の基礎
音声なし 説明文有 | 8時間

CTE007 eラーニング
アプリケーション・アーキテクチャ基礎
音声なし 説明文有 | 6時間

SPV078 オンライン
アプリケーション・アーキテクチャ策定演習
マシン実習 | 2日間

CTV065 オンライン
エンタープライズITアーキテクチャのセオリー
レクチャ | 2日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。 (目安)ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

性能設計・信頼性設計に携わる方

レベル1	レベル2	レベル3

SPE021 eラーニング
待ち行列理論
音声なし 説明文有 | 7時間

運用・保守に携わる方

レベル1	レベル2	レベル3

HSV242 オンライン
システムトラブルの予防と是正 −障害事例分析を中心に−
グループ演習 | 2日間

HSV062 オンライン
事例から学ぶ システムトラブル対策の考え方 −高信頼性システム実現のために−
グループ演習 | 1日間

ITサービス

SPV033 オンライン
保守開発における トラブル対策の考え方
グループ演習 | 1日間

ソフトウェア開発

構造化手法を修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3

SPE017 eラーニング
構造化モデリングによるシステムの機能抽出
音声なし 説明文有 | 5時間

オブジェクト指向設計を修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3

OJE028 eラーニング
オブジェクト指向概説
音声なし 説明文有 | 6時間

モダン開発(アジャイル開発含む)

CDV023 オンライン
ドメイン駆動設計基礎研修【フルネスライブ配信】
マシン実習 | 2日間

開発/基盤
クラウド
モダン開発(アジャイル開発含む)
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム(Linux/Microsoft)
ITサービス

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

設計・開発を円滑に進めるためのポイントを修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3
	SPV075 オンライン 開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ レクチャ 1日間	
	SPV073 オンライン 業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ レクチャ 1日間	
	Renewal SPV087 オンライン 新しいUXデザインの進め方 レクチャ 0.5日間	
	品質・技法・信頼性 OTV026 オンライン ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座 レクチャ 2日間	

構成管理技術を修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3
	モダン開発（アジャイル開発含む） UXV070 オンライン gitによるソフトウェア構成管理 マシン実習 1日間	

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード SPE022

<eラーニング> はじめて学ぶ情報システム開発 ―レガシー開発からクラウドまで―

6時間

情報システム開発に必要な基礎知識を、従来広く使われている手法と近年着目されている手法の両面から学習します。

到達目標
・情報システム開発の概要を説明できる。
・従来型のシステム開発とモダンなシステム開発の違いを説明できる。

対象者 これから情報システム開発に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 情報システムとは
2. 開発手法
3. インフラストラクチャ
4. アーキテクチャ
5. プログラム設計
6. 運用・保守

受講料 ¥18,700

eラーニング コースコード SJE029

<eラーニング> システム開発の基礎

4時間

システム設計の手法について基礎的な知識を学習します。

到達目標 システム設計に必要な作業について、手順や内容を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手これから情報システムの設計に携わるが、情報システムの基礎知識がない方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. システム開発と設計の役割
2. システムの品質と設計手法
3. 基本から詳細設計概略
   (1)段階的詳細化のレベル
   (2)業務機能設計
   (3)実現方式設計（アーキテクチャ）
   (4)外部インタフェース設計（遷移、レイアウト）
   (5)バッチ処理設計
   (6)データ基本設計（論理DB設計）
   (7)プログラム詳細設計
   (8)共通部品設計
   (9)データ詳細設計
4. その他の開発手法
5. 修了試験

受講料 ¥9,900

オンライン コースコード SPV058

演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

情報システムを開発・発注するうえで必要な基礎知識として、工程別に作業内容や作業目的を学習します。加えて開発プロジェクトの計画・統制・終結の側面から、代表的な仕事（見積り、契約など）についても学習します。

到達目標
・情報システムの役割を説明できる。
・開発プロセスおよび作業工程における作業概要を説明できる。
・開発方法論、代表的な成果物の表記法を説明できる。

対象者 これからシステムを企画、開発する方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 情報システムとは
   (1)市場、定義、役割
2. 情報システムの開発
   (1)作業と作業順序
   (2)開発プロセス
   (3)開発方式
3. 情報システムの維持・メンテナンス
   (1)情報システムの寿命と保管場所
   (2)必要な作業
4. 情報システムに関わる人
   (1)プロジェクト・ステークホルダ
   (2)職種
5. 情報システムのコスト
   (1)見積り
   (2)契約
6. 情報システムを支える技術
   (1)サーバ、冗長化、クラウド、ビッグデータ
7. 演習
   (1)業務分析、データ分析、機能分析

受講料 ¥66,000

オンライン コースコード SPV024

システムの要件定義技法【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

システム化による問題解決を図る際に求められる"システムが提供すべき機能"の導出方法について学習します。また、要件定義書を策定するうえで必須となる考え方について演習を通して学習します。非機能要件については、性能、セキュリティなどの観点から整理しておくべき事項を紹介します。

到達目標
・要件定義工程の作業概要、考慮すべき点を説明できる。
・要件定義工程で作成すべき成果物を説明できる。

対象者 システム開発プロジェクトにおいて要件定義に携わる方。

前提知識 「演習で学ぶ! 情報システムの役割と開発の進め方」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 要件とは
   (1)定義
   (2)各要件の内容
2. 要件定義と前後の作業
   (1)共通フレームでの位置付け
   (2)一般的な位置付け
   (3)現状調査
   (4)問題点分析・課題設定
   (5)基本設計
3. 要件定義
   (1)業務の表記法
   (2)業務の検討
   (3)アプリケーションの検討
   (4)データの検討
   (5)非機能要件の検討

受講料 ¥70,400

eラーニング コースコード SPE017

<eラーニング> 構造化モデリングによるシステムの機能抽出

5時間

データフロー図やデータディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いてシステムを構造的に分析する手法を学習します。また、システムを段階的に詳細化しモデル化する価値や思考法を学習します。

到達目標
・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を読み、理解できる。
・データフロー図、データディクショナリ、ERD、状態遷移図を用いて問題記述を分析・詳細化できる。

対象者 情報システム開発プロジェクトに参画し、分析モデリングを行う方。

前提知識 システム開発に関する基礎知識があること。

内 容
1. 背景
   (1)現実とソフトウェアのギャップ
   (2)要求とソフトウェアのギャップ
   (3)ソフトウェアの開発に必要な作業
2. 思考方法
3. モデリング
   (1)構造化モデリングとは
   (2)図を書く（DFD、データディクショナリ、ERD、状態遷移図）
   (3)モデルを書く（DFD、データディクショナリ、ERD）
4. まとめ

受講料 ¥19,800

eラーニング コースコード OJE028

<eラーニング> オブジェクト指向概説

6時間

オブジェクト指向の考え方と基本概念、およびオブジェクト指向による開発の流れを学習します。

到達目標
・オブジェクト指向の基本概念（オブジェクト、クラス、カプセル化、継承、ポリモフィズムなど）を説明できる。
・オブジェクト指向による開発の流れを説明できる。
・UML（Unified Modeling Language）の役割、概要を説明できる。

対象者 これからオブジェクト指向による情報システム開発に携わる方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. オブジェクト指向概要
2. UML概要
3. オブジェクト指向の基本概念
   (1)オブジェクト
   (2)クラス
   (3)関連
   (4)継承
   (5)多態性
4. オブジェクト指向開発手順の概要
5. 修了試験

受講料 ¥18,700

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

オンライン / コースコード SPV075

レクチャ 1日間

開発の手戻りを最小限にするシステム要件の品質チェックと基本設計のコツ【バーチャル・クラスルーム】

不十分な要件を無理やり設計に落とし込んだ結果、スムーズに実装できないような設計を行うと開発工程が迷走しコストを延々と垂れ流すことになります。また仕様変更への意識の足りない設計は、リリース時から硬直したシステムを強いることになり将来的な保守コストを増大させます。これを防止してきちんと要件を開発につなぐための要件チェックと、一貫性と柔軟性を併せ持つ基本設計をどのようにすべきかについて、書籍「はじめよう！システム設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・システム要件と設計の関係について説明できる。
・設計について説明できる。
・基本設計の方法について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者やシステムエンジニアの方。

前提知識 情報システムの開発または運用での業務経験があること。あるいは、強い興味があること。

内　容
1. 手戻り発生の原因
2. 要件の構造とレビューの盲点
3. 設計とは何か
4. 仕様変更に耐え続ける設計とモジュール化
5. 基本設計の考え方と手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード SPV073

レクチャ 1日間

業務要件とユーザビリティを確保するためのユーザ要件定義とUIデザインのコツ【バーチャル・クラスルーム】

コンピュータの用途が多様化した現代において、システム開発プロジェクトの終盤においてユーザの検証に伴って生じる「このシステムは使えない」という事態は単なる手戻りというレベルを超えて、プロジェクト自体の意義を問われることすら起こります。この事態を防止するためには、業務上の要件を満たすこととユーザの現場での使い勝手を確保することの両立が不可欠です。ではどうすれば良いのかということについて、書籍「はじめよう！プロセス設計」「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・業務要件とオペレーション要件の階層を説明できる。
・業務要件とUIデザインの関係について説明できる。
・オペレーション定義の具体的な手法について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 情報システムの開発または運用での業務経験があること。あるいは、強い興味があること。

内　容
1. なぜ「業務で使えない」となるのか
2. ユースケース変遷の歴史
3. ユーザ要件とユーザビリティの関係
4. オペレーションフローとUIデザイン
5. 手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード SPV087 Renewal

レクチャ 0.5日間

新しいUXデザインの進め方【バーチャル・クラスルーム】

人間中心デザインを基調としつつ、新しい時代に適合したサービスとプロダクト（ハードウェアやソフトウェア）のUXとユーザビリティのデザインをするための考え方および実践的手法を学びます。

到達目標 サービスやプロダクトのUXとユーザビリティについて、その重要性を理解し、それを実現する設計（デザイン）を行い、調査や評価をできるようにする。

対象者 サービスやプロダクトのUXやユーザビリティを意識している設計や企画の関係者等。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 概要編
   (1) ICTの現在と将来
   (2) プロダクトからサービスへの変化
   (3) ユーザビリティへの注目
   (4) ユーザビリティの概念
   (5) UXへの注目
   (6) UXの概念
   (7) UXデザインの誤謬
   (8) 次世代のUXデザイン
2. 手法編
   (1) ユーザ調査の手順と事例
   (2) 文脈におけるデザイン法による分析
   (3) 親近性図法による分析
   (4) ペルソナによるユーザイメージ創出
   (5) ユーザビリティの評価
   (6) UXの評価

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード CTV005

グループ演習 2日間

（PDU）トラブルを防止する調達要件の分析 −RFPの作成と提案書の評価を中心に−【バーチャル・クラスルーム】PDU

情報システムの開発/導入は重要な投資案件であるにも関わらず、処理能力不足や予算超過など、多くの失敗事例が報告されています。これらの中には調達要件の分析不備が原因と推定されるケースも少なくありません。システム要件を的確に伝えるRFPの作成、ベンダからの提案書の合理的な評価方法、および信頼性を向上させるIT契約書の締結などに関する知識を、演習を通して学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：12ポイント）の取得が可能です。

到達目標
・RFPの作成と提案書の合理的な評価ができる。
・信頼性の高いIT契約を締結できる。

対象者 情報システム部門でシステム企画/調達等を担当する方、システムアナリスト・プロジェクトマネージャ・システムエンジニア・セールスエンジニアの方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内　容
1. IT調達が抱える課題と調達要件分析の重要性
2. プロジェクト調達マネジメント/IT調達ガイドライン
3. 要件を的確に伝えるRFP（提案依頼書）
   (1)演習：新システム導入に関するRFP検討
4. 合理的な提案書評価
   (1)演習：ベンダからの提案書評価
5. 信頼性を向上させるIT契約書

受講料 ¥110,000

オンライン / コースコード CTV046

グループ演習 1日間

情報システム導入を成功させる要件定義とベンダー折衝の実践ポイント【バーチャル・クラスルーム】

要件定義とベンダー折衝を通して、情報システム導入を成功に導く方法論を解説します。特にパッケージ・システム導入を事例として、各種のチェックリストや問題解決技法のテンプレート使用して具体的な進め方を修得します。

到達目標
・要件定義作業の進め方、ベンダ提示資料の検討の方法について説明できる。
・社内手続き、業務改善・管理基準・ルールの改定と整理ができる。
・要件定義作業成果物の不安、未了および不確定の扱いについて検討できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システム導入に携わる方。

前提知識
・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内　容
1. 要件定義とは
2. 作業充実の要点とリスク回避
3. 要件定義作業とユーザ対応
4. 検討作業と整理技法
5. 要件定義の事例
6. ユーザ資料の作成要領
7. まとめ

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード CTV026

グループ演習 1日間

情報システムのユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備実務【バーチャル・クラスルーム】

情報システム部門が情報システム導入時に安定稼働を保証する条件は、「新規システムの品質確保」と「移行処理・切替作業の確実な実施」および「社内準備のミスのない実行」にあります。このコースでは、情報システム導入時に情報システム部門が社内に対して行う安定稼働を保証するための作業である、ユーザテストと移行・切替・本番稼働の準備の実務について学習します。

到達目標
・システムの品質保証、問題の管理と解決、移行処理、切替作業の概要を説明できる。
・社内外への必要情報の提示、教育研修とマニュアルが作成できる。
・業務改善、管理基準の変更および運用に関するドキュメントが作成できる。

対象者 企業内の情報システム部門で情報システムのユーザテスト・移行・切替・本番稼働の準備に携わる方。

前提知識
・情報システムの開発に携わった経験があること。
・これから情報システム開発に携わる方で3年以上の実務経験があるか、または同等の知識があること。

内　容
1. 万全な準備の対象
2. ベンダテストの限界とユーザ関与
3. 品質を保証するユーザテスト
4. 「移行処理」とその対応策
5. 切替作業の方法と成功要因
6. 安定稼働のための社内準備
7. まとめ

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード CTV075

レクチャ 1日間

業務のIT化を推進するための新業務フロー作成技法とシステムへの要求のまとめ方【バーチャル・クラスルーム】

現代の組織における生産性向上を実現するためにはITの活用が重要です。しかし、ともすればITの本質を理解しないまま旧来の改善の延長でシステム化を推進し、ITのメリットを活かせないまま期待したほどの効果を得られないケースも散見されます。ホワイトカラー業務に特有のイベント駆動型プロセスの本質を理解して、ITの利点であるプロセス・イノベーションを実現するための手法について、書籍「ビジネスデザイン」「はじめよう！プロセス設計」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・ITと単なる自動化の違いを説明できる。
・業務要件とは何かを説明できる。
・新しい業務プロセスの作り方について説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 5年以上の企業内での実務経験があるか、または同等の知識があること。情報システムの開発または運用に携わった経験があると尚良い。

内　容
1. 生産性とゴール指向
2. 業務要件とは何か
3. ITがもたらすプロセス・イノベーション
4. バックキャスティング
5. IT活用の肝としての情報設計
6. 演習

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード SPV074

レクチャ 1日間

後工程で慌てない！ユーザ／業務要件の漏れを未然に防ぐシステム要件定義のコツ【バーチャル・クラスルーム】

システム開発プロジェクトの赤字の発生要因となる仕様変更や仕様追加を未然に防ぐためには、詰めの甘い業務設計や機能要件の漏れを早期にチェックし、対策することが求められます。設計工程や開発工程に課題を先送りしないための要件定義への取り組み方について、書籍「はじめよう！要件定義」の著者が豊富な現場経験に基づく実戦的な要点をビジネス系システムを中心に紹介します。

到達目標
・業務設計のチェックポイントを説明できる。
・業務設計とシステム要件の関係を説明できる。
・システム要件の具体的な定義の仕方を説明できる。

対象者 現場で困っていたり、これから実務で取り組むにあたって具体的にどうすればいいのか悩んでいる担当者（IT知識が無くても可）やシステムエンジニアの方。

前提知識 情報システムの開発または運用での業務経験があること。あるいは、強い興味があること。

内　容
1. 後工程で困る理由
2. 要件とは何か
3. 業務と要件の構造
4. ソフトウェア要件の三点セット
5. 要件定義の手順
6. 演習

受講料 ¥49,500

eラーニング / コースコード NWE032

eラーニング 6時間

<eラーニング> Webシステム入門

Webシステムの構成要素と代表的なアプリケーション開発技術を学習します。加えて、開発時における留意点を学習します。

到達目標
・Webシステムにおけるクライアントとサーバの役割を説明できる。
・Webシステムにおけるサーバの種類と代表的な製品を説明できる。
・Webシステムにおける開発時の留意点を説明できる。

対象者 これからWebシステムを構築、管理する方、これからWebアプリケーションを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Webシステムを取り巻く環境
2. 構成要素と動作イメージ
3. システム構成
4. アプリケーションの実装技術
5. 開発時の留意点
6. 修了試験

受講料 ¥18,700

eラーニング / コースコード NWE031

eラーニング 8時間

<eラーニング> Webアプリケーション設計の基礎

Webアプリケーション開発に関わるに当たり、設計の観点からの基本的な知識や留意点を学習する入門コースです。ユーザビリティ向上と実装難易度をふまえた画面設計、開発効率や保守性を考慮したフレームワークの必要性、実行効率向上のためのデータと画面設計の対応について学習します。

到達目標
・Webシステムの画面設計時に、ユーザビリティ向上にあたっての留意点を説明できる。
・保守性、開発効率をふまえフレームワーク導入の意義を説明できる。

対象者 これからWebアプリケーション開発にかかわる方。

前提知識 「Webシステム入門」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Webシステム概要
   (1)サーバ/クライアント
2. Webアプリケーションの設計とは
   (1)設計フェーズの確認・機能要件/非機能要件
3. 画面設計
   (1)ユーザビリティへの配慮
   (2)ウィンドウサイズ/スクロールバー/画面部品/画面遷移
4. プログラムの設計
   (1)フレームワークの利用・セッション管理
5. データ設計
   (1)画面設計との整合性
6. 多様化するクライアントの役割
   (1)非同期通信、多様なデータ形式
7. 修了試験

受講料 ¥18,700

eラーニング / コースコード CTE007

eラーニング 6時間

<eラーニング> アプリケーション・アーキテクチャ基礎

アプリケーションのアーキテクチャを設計するための基本的な考え方を学習します。本コンテンツではレイヤアーキテクチャを例に、それぞれの層の役割、代表的なコンポーネントについて説明します。

到達目標
・アーキテクチャの重要性を説明できる。
・アーキテクチャを設計するための基本的な手段を説明できる。

対象者 これからアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 プログラミングの経験があること。

内　容
1. アーキテクチャ設計
2. 論理アーキテクチャ
3. プレゼンテーション層のアーキテクチャ設計
4. アプリケーション層のアーキテクチャ設計
5. データ層のアーキテクチャ設計
6. その他のアーキテクチャ設計
7. 論理アーキテクチャ設計の効果
8. まとめ

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SPV078

マシン実習 2日間

アプリケーション・アーキテクチャ策定演習【バーチャル・クラスルーム】

アプリケーション分野の機能アーキテクチャ策定の基本を中心に学習します。

到達目標
・方式（アーキテクチャ）設計の流れを説明できる。
・主要なアーキテクチャのパターンを説明できる。
・要件を元に適切なアプリケーション・アーキテクチャを検討できる。

対象者 アプリケーション・アーキテクチャの策定をお考えの方。

前提知識 情報システム開発の経験があること。

内　容
1. 要件定義と方式（アーキテクチャ）設計
2. 演習題材の概要
3. 要件定義、システムアーキテクチャ
4. アプリケーションアーキテクチャ

受講料 ¥82,500

クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

開発 / 基盤

プログラミング・情報技術

IT・OT・プロダクトの開発に関する実装技術（プログラミング）、情報関連技術（コンピュータの要素技術など）、デジタル技術（XR技術、R言語、DeepLearning、IoT技術など）を修得できます。

C言語を利用してアプリケーションを開発される方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3

Renewal

CBE007 eラーニング
アルゴリズムの基礎
－フローチャート編－
音声なし 説明文有 | 16時間

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門－
マシン実習 | 1日間

または

DBE348 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶアルゴリズム入門－
音声なし 説明文有 | 6時間

C言語の文法を学習される方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門－
マシン実習 | 1日間

または

DBE348 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
－Pythonで学ぶアルゴリズム入門－
音声なし 説明文有 | 6時間

CCE006 eラーニング
C言語プログラミング1（前編）
－制御文と関数を学ぶ－
音声有 説明文有 | 8時間

CCE007 eラーニング
C言語プログラミング1（後編）
－データ構造とポインタを学ぶ－
音声有 説明文有 | 16時間

または

CCV009 オンライン
C言語プログラミング1
－基本マスタ編－
マシン実習 | 3日間

Renewal

CCE008 eラーニング
C言語プログラミング2
－ポインタ実践編－
音声有 説明文有 | 24時間

または

CCV015 オンライン
C言語プログラミング2
－ポインタ実践編－
マシン実習 | 2日間

レベル1：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

オンライン コースコード CTV065

レクチャ 2日間

エンタープライズ ITアーキテクチャのセオリー 【バーチャル・クラスルーム】

近年の企業システムは初期の導入から数十年が経過し、相次ぐ改変によって複雑化、巨大化し、多くの問題を抱えています。こうした背景にある企業システムに、今こそ求められるものはアーキテクチャ（構造）です。老朽化した企業システムをやみくもに再構築するのではなく、自社がめざすアーキテクチャを描き、それに向けてシステム全体を着実に整備して行くことが今求められています。このコースでは、問題提起に始まり、EA の本質を踏まえた上で、具体的なソリューションの設計に至るまで、ITアーキテクチャ主導の企業シスム設計について多くのセオリーを学びます。

到達目標
- 企業のビジネスモデルに適合したITアーキテクチャ設計を修得できる。
- 柔軟で拡張性に富んだ企業システムのITアーキテクチャがどうあるべきかを修得できる。
- めざすアーキテクチャに基づいた企業システムの構築ロードマップを描けるようになる。
- 大規模システムの緩やかな再構築手法を理解し、ビッグバンリスクの回避策について修得できる。

対象者
- 企業システムを今後どのような方向に導くかを策定する立場の方。
- 将来の事業変化に備えて、企業システムを柔軟に対応できるようにしたいとお考えの方。
- カオスと化したレガシー企業システムを整理整頓したいとお考えの方。
- 大規模基幹系システムの再構築を成功裏に収めたいとお考えの方。

前提知識
- 中規模から大規模アプリケーションシステムの設計・開発の経験があること。
- SCM、会計、生産、販売、営業といった一会社の一般的業務知識があること。

内 容
1. 今なにをすべきか（問題の所在と取り組むべき課題について、取り組みに際しての留意点）
2. アーキテクチャについて（EA、DA、AA、TAについて）
3. 戦略ソリューションについて
（エンタープライズデータHUB、マスタデータHUB、トランザクションデータHUB、情報系データハウスの構築について）
4. 戦術ソリューション
（リポジトリで情報を可視化、ゆるやかなシステム移行の進め方、近未来へ先手を打つために何をすべきかについて）

受講料 ¥99,000

eラーニング コースコード SPE021

eラーニング 7時間

<eラーニング> 待ち行列理論

ITシステムの設計時に必要となる、待ち行列理論の基本的な考え方を理解します。単一窓口（M/M/1）と複数窓口（M/M/n）を中心に適用方法を修得します。

到達目標 待ち行列モデルの「M/M/1」に関して説明できる。

対象者 待ち行列理論の基本を修得したい方。

前提知識 数学的な基礎知識があること。

内 容
1. 待ち行列理論
2. 解析事例学習項目
3. 演習問題
4. 修了試験

受講料 ¥19,800

オンライン コースコード HSV242

グループ演習 2日間

システムトラブルの予防と是正 －障害事例分析を中心に－ 【バーチャル・クラスルーム】

トラブル事例を、予防処置と是正処置の観点から分析し、自らの職場において同様のトラブルを引き起こさないようにするためには何をするべきか、その対策ポイントについて研究・学習します。

到達目標
- 情報システムの開発業務や運用業務でトラブルを引き起こさないための対策ポイントを説明できる。
- システムトラブルの原因分析ならびに対策立案の手法を説明できる。
- システムトラブルの原因分析ならびに対策方法を立案できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発・運用を担当する方、ISMS導入を担当する方、ISMS内部監査人の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜシステムトラブルの予防と是正なのか
（1）故障・障害によるトラブル事例
（2）操作ミスによるトラブル事例
（3）事件・事故からの教訓
2. 情報セキュリティ概論
（1）情報資産・脅威・脆弱性
（2）関連法規・評価認証制度
（3）セキュリティ事件の事例
3. システムトラブルを未然に防止する
（1）物理的・技術的・管理的対策
（2）システム監査手法
（3）トラブル防止に向けた取り組み
4. システムトラブルの再発を防止する
（1）システムトラブル発生時の対処
（2）ヒューマンファクタ分析
5. まとめ

受講料 ¥77,000

オンライン コースコード HSV062

グループ演習 1日間

事例から学ぶシステムトラブル対策の考え方 －高信頼性システム実現のために－ 【バーチャル・クラスルーム】

情報化社会におけるコンピュータシステムは、組織や社会のインフラを支えるという極めて重要な役割を担っています。これらのシステムに障害が発生すると、ビジネスに与える影響は非常に大きなものとなるため、今日の情報システムには高い信頼性と安全性が求められています。システムトラブル対策の実践的知識を学習します。IT技術者が開発段階や運用段階で実施すべきトラブル対策のポイントを、解説とグループ演習を通して学習します。

到達目標
- システムトラブル発生状況とその対策実施状況を確認できる。
- 開発段階と運用段階で留意すべきトラブル対策のポイントを理解できる。
- システムトラブルマネジメントシステムの構築手順を理解できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、システム開発担当者、システム運用担当者の方、システム品質管理担当者、ISMS導入担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜシステムトラブル対策なのか
（1）システムトラブル統計情報
（2）トラブル防止に向けた取り組み
2. 開発段階で実施するトラブル対策
（1）開発段階における留意事項
（2）開発段階での対策提言
3. 運用段階で実施するトラブル対策
（1）運用段階における留意事項
（2）運用段階での対策提言
4. システムトラブルをマネジメントする
（1）トラブル情報の収集とその活用
（2）原因分析と対策立案
5. まとめ
講師：前橋システムコンサルティング株式会社
代表取締役
前橋雅夫氏（公認システム監査人）

受講料 ¥38,500

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

Java言語を利用してアプリケーションを開発される方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3
DBV123 オンライン プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門− マシン実習 1日間 または DBE348 eラーニング 【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 音声なし 説明文有 6時間		

基本文法や基本APIを学習される方

レベル1	レベル2	レベル3
OJE028 eラーニング オブジェクト指向概説 音声なし 説明文有 6時間 （開発工程 全般・企画・設計） DBV123 オンライン プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門− マシン実習 1日間 または DBE348 eラーニング 【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 音声なし 説明文有 6時間	OJV016 オンライン Javaプログラミング1 （基本文法編） マシン実習 3日間 または OJE026 eラーニング Javaプログラミング1 −基本文法編− 音声有 説明文なし 24時間 OJE020 eラーニング 【スキル定着】 Javaプログラミング1 （前編） 音声有 説明文有 4時間 OJE021 eラーニング 【スキル定着】 Javaプログラミング1 （後編） 音声有 説明文有 4時間 OJV017 オンライン Javaプログラミング2 （基本クラス編） マシン実習 2日間 または OJE027 eラーニング Javaプログラミング2 −基本クラス編− 音声有 説明文有 16時間	

Javaの活用方法を学習される方

レベル1	レベル2	レベル3
	OJV020 オンライン 実践！Javaプログラミング マシン実習 2日間 OJV033 オンライン Javaによる保守開発のための リファクタリング マシン実習 1日間 OJV032 オンライン Javaプログラミング3 −StreamAPI、 モジュールシステム編− マシン実習 2日間 SPV072 オンライン Javaによる 単体テスト自動化と テスト駆動開発演習 マシン実習 1日間 （モダン開発（アジャイル開発含む）） OJV018 オンライン サーバサイド Javaプログラミング （Servlet/JSP編） マシン実習 3日間 OJV034 オンライン Javaによる データベースプログラミング マシン実習 2日間	

Webアプリケーションの開発に携わる方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3
DBV123 オンライン プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶ アルゴリズム入門− マシン実習 1日間 または DBE348 eラーニング 【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 音声なし 説明文有 6時間		

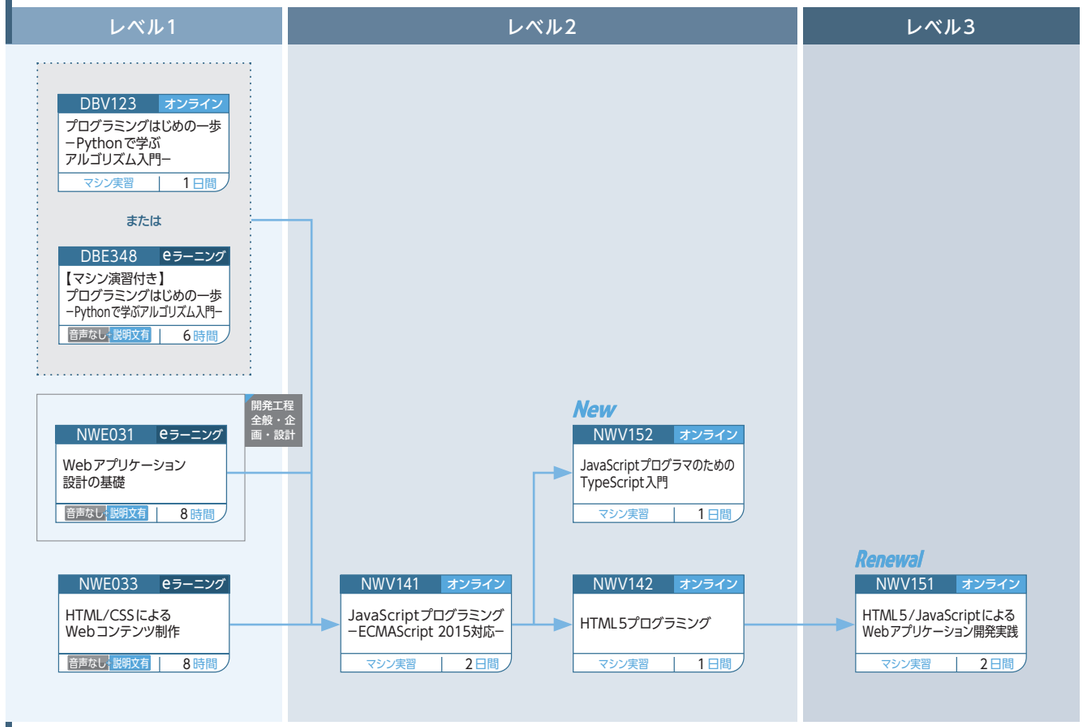
これからWebアプリケーション開発にかかわる方

レベル1	レベル2	レベル3
NWE031 eラーニング Webアプリケーション 設計の基礎 音声なし 説明文有 8時間 （開発工程 全般・企画・設計）		

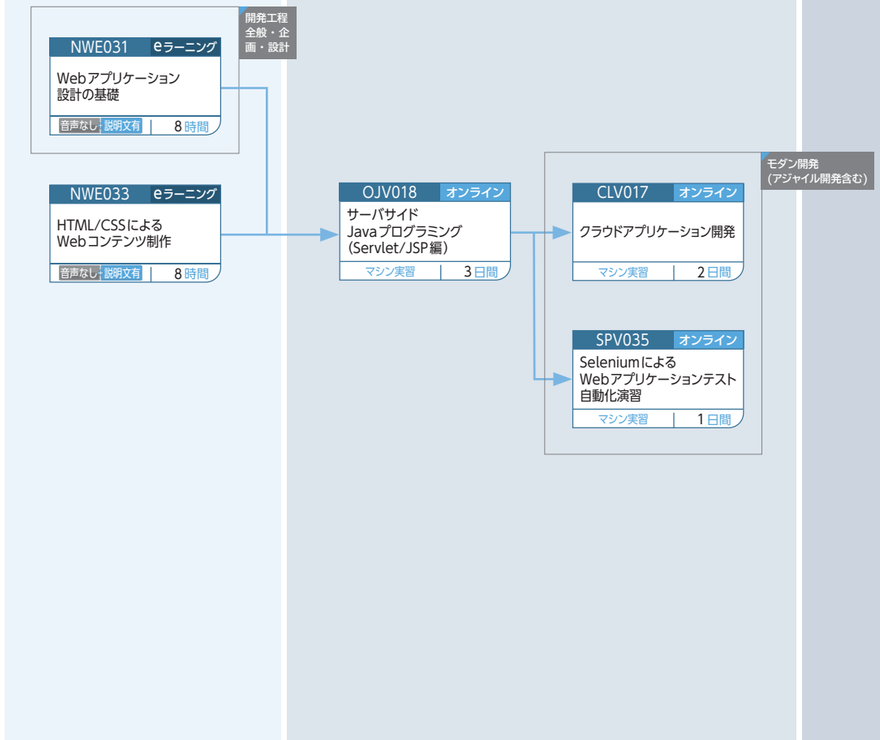
レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

クライアントサイドを学習される方



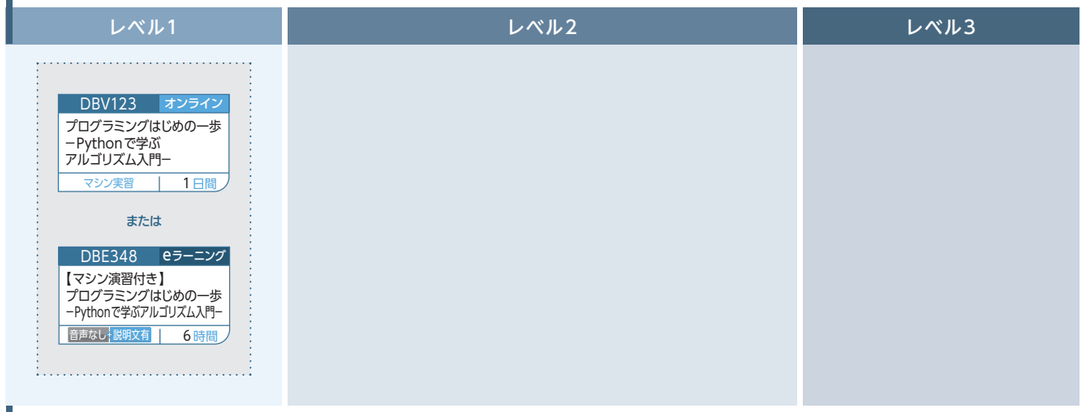
サーバサイドを学習される方



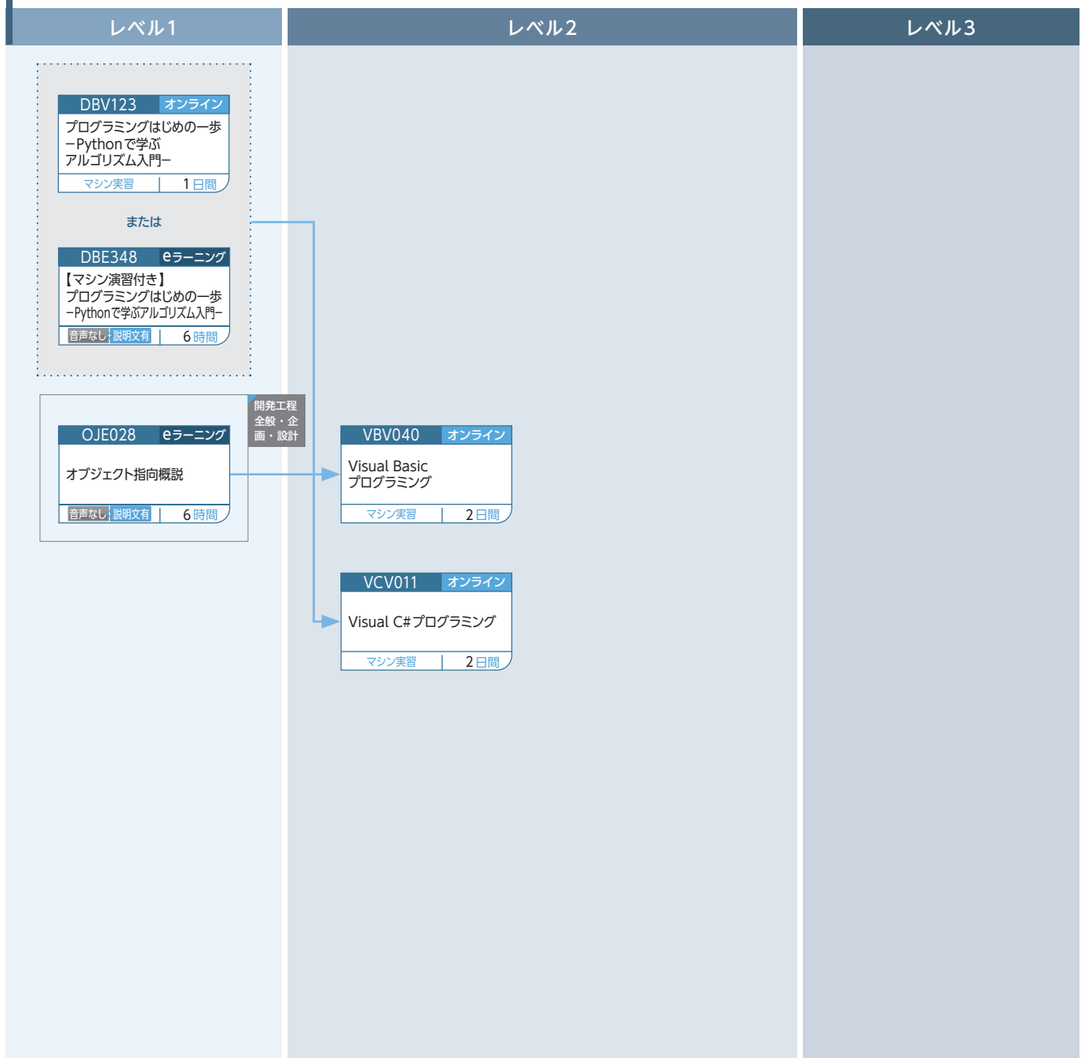
レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

.NETを利用してアプリケーションを開発される方

これからプログラミングを始める方



Visual Basic もしくはVisual C#を学習される方



音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

Pythonを活用したい方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE348 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし 説明文有 | 6時間

Pythonの基本を学習する方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE348 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし 説明文有 | 6時間

DBV138 オンライン
Python入門
−データ分析での活用を
テーマとして−
マシン実習 | 2日間

Pythonの業務への活用を考えている方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

DBE348 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし 説明文有 | 6時間

DBV138 オンライン
Python入門
−データ分析での活用を
テーマとして−
マシン実習 | 2日間

DBE065 eラーニング
Pythonで簡単!
数学の謎解き
音声なし 説明文有 | 8時間

データサイエンス

DBE038 eラーニング
【スキル定着】Pythonでの
データ可視化−オープン環境を
活用した実装力の磨き方−
音声なし 説明文有 | 4時間

DBV135 オンライン
REST APIプログラミング体験
−Pythonによる
クラウドサービス活用−
マシン実習 | 1日間

DBV137 オンライン
プログラミング活用術
−面倒な定型業務は
Pythonで自動化しよう−
マシン実習 | 1日間

DBE063 eラーニング
「Python 3 エンジニア認定
データ分析試験」対策講座
(Aidemy社)
音声なし 説明文有 | 19.5時間

SPV085 オンライン
Pythonによるテスト自動化
−単体テストから
システムテストまで−
マシン実習 | 1日間

COBOLを利用される方

これからプログラミングを始める方

レベル1	レベル2	レベル3

Renewal

CBE007 eラーニング
アルゴリズムの基礎
−フローチャート編−
音声なし 説明文有 | 16時間

DBV123 オンライン
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶ
アルゴリズム入門−
マシン実習 | 1日間

または

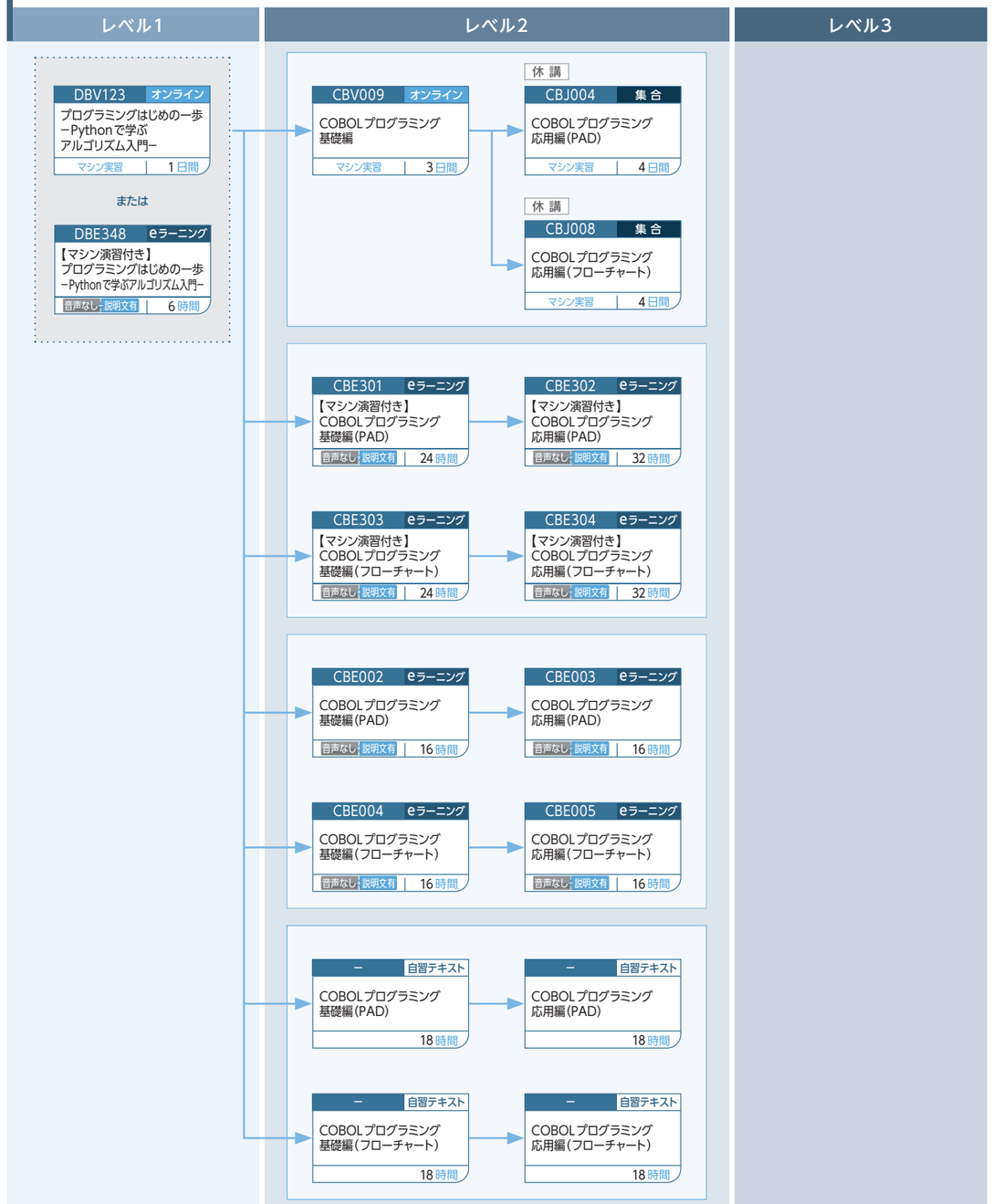
DBE348 eラーニング
【マシン演習付き】
プログラミングはじめの一歩
−Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
音声なし 説明文有 | 6時間

開発 / 基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

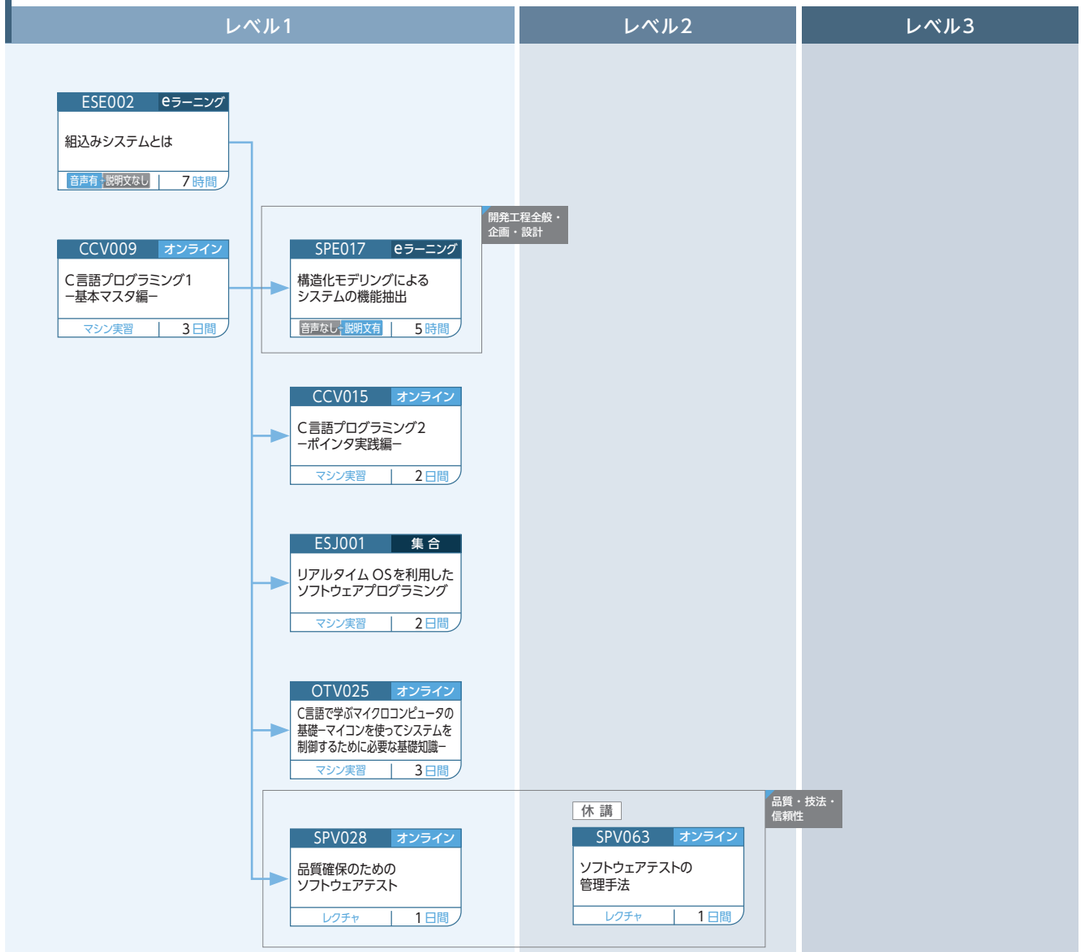
音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

COBOLを学習される方



組込みソフトウェアの開発に携わる方

組込みソフトウェア開発を担当する方



レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

情報処理技術

ITを基礎から学習したい方

レベル1	レベル2	レベル3

SJV100 オンライン
IT技術はじめの一歩
−ITリテラシー向上をめざして−
レクチャ | 1日間

休講
SJV099 オンライン
コンピュータ基礎
レクチャ | 5日間

または

SJE032 eラーニング
コンピュータ基礎
−情報の基礎理論編−
音声なし 説明文有 | 4時間

SJE031 eラーニング
コンピュータ基礎
−ハードウェア編−
音声なし 説明文有 | 8時間

SJE030 eラーニング
コンピュータ基礎
−ソフトウェア編−
音声なし 説明文有 | 8時間

SJE033 eラーニング
コンピュータ基礎
−情報システム編−
音声なし 説明文有 | 4時間

ソフトウェア開発における方法論を知りたい方

レベル1	レベル2	レベル3

品質・技法・信頼性

OTV026 オンライン
ソフトウェア品質・
生産性向上のための
レビュー講座
レクチャ | 2日間

デジタル技術

XRを学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV136 オンライン
WebXR入門
マシン実習 | 1日間

R言語を学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3

DBE039 eラーニング
【スキル定着】Rでのデータ可視化
−オープン環境を活用した
実装力の磨き方−
音声なし 説明文有 | 4時間

DBV134 オンライン
0から始めるRの基礎
−データ分析と可視化体験−
グループ演習 | 2日間

DeepLearningを学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3

DBV132 オンライン
体感！機械学習
マシン実習 | 1日間

DBV125 オンライン
NVIDIA Deep Learning
Institute（DLI）認定コース
ディープラーニングの基礎
マシン実習 | 1日間

Renewal
DBV154 オンライン
NVIDIA Deep Learning
Institute（DLI）認定コース
AIを応用した予知保全
マシン実習 | 1日間

IoTを学びたい方

レベル1	レベル2	レベル3

IOV001 オンライン
IoT概説
レクチャ | 0.5日間

IOV023 オンライン
IoT技術解説
−最新技術動向・適用事例編−
レクチャ | 0.5日間

IOV024 オンライン
「IoTシステム技術検定
（基礎検定）」対策講座
レクチャ | 1.5日間

IOV021 オンライン
「IoTシステム技術検定
（中級）」対策講座
レクチャ | 2日間

Renewal PDU
プロセス/プロダクト
IDV003 オンライン
（PDU）IoTコンセプトデザイン
−IoTビジネスの理解と自社の新しいIoTサービスを創出する−【アイ・ラーニング ライブ配信】
レクチャ | 1日間

IOE011 eラーニング
コトづくり現場における
IoT無線ネットワークの
要点と選び方
音声有 説明文有 | 2時間

Renewal
IOE013 eラーニング
IoT技術解説
IoTネットワーク編
音声なし 説明文有 | 3時間

Renewal
IOE014 eラーニング
IoT技術解説　5G編
音声なし 説明文有 | 2.5時間

Renewal
IOE015 eラーニング
IoT技術解説
セキュリティ編
音声なし 説明文有 | 3時間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング　コースコード CBE007　Renewal

<eラーニング> アルゴリズムの基礎 −フローチャート編−

eラーニング 16時間

プログラミングに必要なアルゴリズムの基本的な考え方をフローチャートを利用して学習します。

到達目標
・フローチャートの処理記号を説明できる。
・合計・平均、最大値・最小値など基本的なアルゴリズムを説明できる。
・基本的な探索、整列のアルゴリズムを説明できる。
・文字列検索のアルゴリズムを説明できる。
・コントロールブレイク、マッチングのアルゴリズムを説明できる。

対象者 プログラム設計やプログラム開発を行う方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. アルゴリズムとは
2. フローチャートの書き方
3. 基本的なアルゴリズム
   (1)合計、平均の求め方
   (2)最大値、最小値の求め方
   (3)スタックの考え方
   (4)素数の求め方
4. 探索（逐次探索、二分探索）
5. 整列（交換法、選択法、挿入法）
6. 文字列の処理
7. 事務処理での活用
   (1)コントロールブレイク
   (2)ファイル併合、照合、更新
8. 修了試験

受講料 ¥11,000

オンライン　コースコード DBV123

プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースでは、プログラミングに必要な「順次/分岐/繰り返し」の考え方を (1)フローチャートでの表現 (2)Pythonを用いた実装 の手順で学習します。研修ではPythonを用いてプログラミングしますが、このコースで学習する内容はプログラム言語を学習するうえで言語を問わず必要になる知識になります。そのため、Python以外の言語でこれからプログラミングを学習する方でもご受講いただけます。
※プログラミング経験者はこのコースを受講する必要はありません。
※このコースはPythonの文法を学習するコースではありません。
※このコースはeラーニングコース「プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−」と同等の内容です。お申し込みの際、ご注意ください。

到達目標
・プログラムの制御構造である「順次/分岐/繰り返し」について説明できる。
・Pythonを使って、「順次/分岐/繰り返し」を組み合わせたプログラムを作成できる。

対象者 はじめてプログラミング言語を学習する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ソフトウェア開発とプログラム
2. 簡単な命令を実行してみよう
3. データを使ってみよう
4. 条件によって異なる処理を実行しよう
5. 同じ処理を繰り返してみよう
6. これまでの内容を使って、処理の流れを考えてみよう

受講料 ¥33,000

---

eラーニング　コースコード DBE348

<eラーニング>【マシン演習付き】 プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−

eラーニング 6時間

このコースは、プログラミングに必要な「順次/分岐/繰り返し」の考え方を(1)フローチャートでの表現、(2)Pythonを用いた実装の手順で学習します。このコースではPythonを用いてプログラミングしますが、学習する内容はプログラム言語を学習するうえで言語を問わず必要になる知識になります。そのため、Python以外の言語でこれからプログラミングを学習する方でもご受講いただけます。
※プログラミング経験者はこのコースを受講する必要はありません。
※このコースはPythonの文法を学習するコースではありません。
※このコースは、「プログラミングはじめの一歩 −Pythonで学ぶアルゴリズム入門 −【バーチャルクラスルーム】」と同等の内容です。お申し込みの際、ご注意ください。

到達目標
・プログラムの制御構造である「順次/分岐/繰り返し」について説明できる。
・Pythonを使って、「順次/分岐/繰り返し」を組み合わせたプログラムを作成できる。

対象者 はじめてプログラミング言語を学習する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ソフトウェア開発とプログラム
2. 簡単な命令を実行してみよう
3. データを使ってみよう
4. 条件によって異なる処理を実行しよう
5. 同じ処理を繰り返してみよう
6. これまでの内容を使って、処理の流れを考えてみよう

受講料 ¥33,000

---

eラーニング　コースコード CCE006

<eラーニング> C言語プログラミング1（前編） −制御文と関数を学ぶ−

eラーニング 8時間

C言語の制御文と関数を中心に学習します。

到達目標
・C言語の制御文について説明できる。
・C言語の関数について説明できる。

対象者 C言語を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内　容
1. C言語のプログラミングの基本
   (1)プログラムが実行されるまで
   (2)簡単なC言語のプログラムを作ってみよう
   (3)C言語プログラムの基本構成
2. 制御文
   (1)分岐
   (2)繰り返し
   (3)制御の変更
3. 関数
   (1)関数とは
   (2)関数作成の基本
   (3)戻り値のある関数
   (4)引数のある関数
   (5)戻り値と引数のある関数
   (6)関数プロトタイプ
   (7)関数の分類
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

---

eラーニング　コースコード CCE007

<eラーニング> C言語プログラミング1（後編） −データ構造とポインタを学ぶ−

eラーニング 16時間

C言語のデータ構造、ポインタ、およびライブラリ関数を用いたファイルの入出力について学習します。

到達目標
・C言語のデータ構造について説明できる。
・ポインタの概要を説明できる。
・ファイル入出力について説明できる。

対象者 C言語を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 「C言語プログラミング1（前編）−制御文と関数を学ぶ−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データ型、配列と文字列、構造体
2. ポインタ
3. ファイル入出力
4. いろいろなデータ型と演算子
5. プリプロセッサ
6. 修了試験

受講料 ¥36,300

オンライン　コースコード CCV009

C言語プログラミング1 −基本マスタ編− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

C言語の基本的な文法を学習します。プログラミング演習を通して理解を深めます。

到達目標
・C言語の基本的な構文を説明できる。
・C言語による簡単なプログラムを作成できる。
・ポインタの概要を説明できる。

対象者 はじめてプログラミングをする方、今後C++言語やJava言語を利用する方で基礎から学習したい方。

前提知識
・コンピュータの基礎知識があること。
・「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. C言語プログラム作成の基本
2. 制御構造
3. 関数
4. データ型
5. ポインタ
6. 入出力
7. データ型修飾子および演算子
8. プリプロセッサ

受講料 ¥99,000

---

eラーニング　コースコード CCE008　Renewal

<eラーニング> C言語プログラミング2 −ポインタ実践編−

eラーニング 24時間

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

到達目標 C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。

対象者
・ITエンジニア職、若手・中堅の方でポインタについてより詳しく理解したい方。
・C言語を用いたアプリケーションを開発、保守する方。

前提知識 「C言語プログラミング1（後編）−データ構造とポインタを学ぶ−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ポインタと関数の引数の参照渡し
2. 領域の動的確保
   (1)変数領域の動的確保
   (2)いろいろな領域の動的確保
3. ポインタを活用したプログラミング
   (1)ポインタ配列の利用
   (2)関数ポインタの利用
   (3)線形リストの実装
   (4)二分木の実装
4. 修了試験

受講料 ¥78,100

オンライン　コースコード CCV015

C言語プログラミング2 −ポインタ実践編− 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

C言語のポインタを多く利用したプログラミングを学習します。題材としてポインタ配列や線形リストのようなデータ構造の実装と関数ポインタを扱います。

到達目標 C言語のポインタを使用したプログラムを作成できる。

対象者
・ポインタについてより詳しく理解したい方。
・C言語を用いたアプリケーションを開発、保守する方。

前提知識 「C言語プログラミング1−基本マスタ編−」コース、または「C言語プログラミング1（後編）−データ構造とポインタを学ぶ−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ポインタと関数の引数の参照渡し
2. 領域の動的確保
3. ポインタを活用したプログラミング
   (1)ポインタ配列の利用
   (2)関数ポインタの利用
   (3)線形リストの実装

受講料 ¥79,200

オンライン　コースコード OJV016

Javaプログラミング1（基本文法編） 【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を、マシン実習を通して学習します。なお、このコースの内容はJavaSE17以降に対応しています。

到達目標
・Java言語の基本的な文法が説明できる。
・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。

対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識
・コンピュータの基礎知識があること。
・「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Java言語ことはじめ
2. 基本文法
3. クラス
4. インタフェース
5. ポリモフィズム
6. 継承
7. 例外
8. パッケージ

受講料 ¥99,000

---

eラーニング　コースコード OJE026

<eラーニング> Javaプログラミング1 −基本文法編−

eラーニング 24時間

Java言語の基本文法とオブジェクト指向プログラミングの基本知識を学習します。演習ファイルをダウンロードし、ご自身のPCでの実機演習を通して、より理解を深めます。

到達目標
・Java言語の特長を説明できる。
・Java言語でオブジェクト指向プログラミングができる。

対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識 「オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Javaの概要
2. 基本文法
3. クラスとオブジェクト
4. 継承
5. ポリモフィズム
6. 例外処理
7. 修了試験

受講料 ¥60,500

---

eラーニング　コースコード OJE020

<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（前編）

eラーニング 4時間

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。

到達目標
・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
・Javaプログラム作成の際に、必要な情報を自身で調べることができる。

対象者
・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 分岐構文、繰り返し構文を用いたプログラム
2. オブジェクト指向プログラミング
3. 例外を用いたプログラム
4. パッケージを用いたプログラム
5. プログラムのリファクタリング

受講料 ¥11,000

---

eラーニング　コースコード OJE021

<eラーニング>【スキル定着】 Javaプログラミング1（後編）

eラーニング 4時間

複数のテーマでJavaプログラム作成とリファクタリングの演習を繰り返し、プログラミングスキルの定着化をめざします。また、単純なプログラミングスキルだけでなく、設計書に基づいて仕様を把握するスキルの向上を同時にめざします。

到達目標
・オブジェクト指向を考慮した、拡張性、保守性の高いJavaプログラムを作成できる。
・Javaプログラム作成の際に、設計書を元に必要な情報を自身で調べてプログラムを作成できる。

対象者
・これからJava言語によるアプリケーション開発を行う方。
・Javaのプログラミングスキルの定着をめざす方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. オブジェクト指向プログラミング
2. プログラムのリファクタリング
3. 設計書に基づいたプログラミング

受講料 ¥11,000

オンライン / コースコード OJV017

Javaプログラミング2（基本クラス編）【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。なお、このコースの内容はJavaSE17以降に対応しています。

到達目標
・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。
・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。
・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。
・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。

対象者 これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. APIドキュメント
2. 文字列を扱うクラス
3. Objectクラス
4. スレッド
5. 入出力
6. コレクション

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード OJE027

<eラーニング> Javaプログラミング2 ー基本クラス編ー

eラーニング 16時間

Java言語での開発において利用頻度の高いAPIの概要と使用方法について、マシン演習を通して学習します。

到達目標
・APIドキュメントからクラス、メソッドの使い方を把握できる。
・参照の一致と内容の一致の違いを説明できる。
・マルチスレッドプログラムの作成方法を説明できる。
・ファイル入出力プログラムの作成方法を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方で、これからJava言語でアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング1（基本文法編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. APIドキュメント
2. 文字列を扱うクラス
3. Objectクラス
4. ラッパークラス
5. スレッド
6. 入出力
7. コレクション

受講料 ¥40,700

オンライン / コースコード OJV020

実践! Javaプログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Javaアプリケーション開発者に必要な実用的かつ保守性の高いプログラムの作成ノウハウを学習します。

到達目標
・開発効率を向上するための機能を利用したプログラミングができる。
・プログラムの実行効率を向上する際の観点を説明できる。
・変更容易性を意識したプログラミングの効果や観点を説明できる。

対象者 ITエンジニア職、若手・中堅の方でJavaでアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 設計におけるノウハウ
 （1）凝集度と結合度
 （2）アクセス範囲を限定する
2. プログラミングにおけるノウハウ
 （1）EoDを意識したプログラミング
 （2）実行効率を意識したプログラミング
 （3）変容容易性を意識したプログラミング
3. 開発演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード OJV032

Javaプログラミング3 ーStreamAPI、モジュールシステム編ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

このコースでは、JavaSE8で追加されたStreamAPI、JavaSE9で追加されたモジュールシステムといった、JavaSE8～JavaSE17までに追加された機能について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
・Javaにおけるラムダ式の概要を説明できる。
・StreamAPIを利用した一連の操作手順を説明できる。
・Javaのモジュールシステムの概要を説明できる。

対象者
・Java言語でアプリケーションを開発する方。
・StreamAPI、モジュールシステムといった機能を開発に活用したい方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コースを修了しているか、またはAPIリファレンスを用いてクラスの利用方法を調べるスキルがあること。

内 容
1. java. util、Functionインタフェースとラムダ式
2. java. util. Optionalクラス
3. StreamAPI
4. java. timeパッケージ
5. モジュールシステム
6. レコードクラス
7. シールクラス

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード OJV018

サーバサイドJavaプログラミング（Servlet/JSP編）【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

要素技術を順に組み合わせてWebアプリケーションを構築する過程を通して、JavaEEによるWebアプリケーション構築に必要なスキルを学習します。

到達目標
・ServletおよびJSPを作成できる。
・MVCモデルに則したWebアプリケーションの特長を説明できる。
・Webアプリケーションの実行時に発生するエラーに対処できる。

対象者 これからJavaEEによるWebアプリケーションの開発に携わる方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webアプリケーションとは
2. 静的なWebページ
3. 動的なWebページ
4. 静的、動的なWebページの連係
5. HTMLとプログラムの分離
6. HTML、Servlet、JSPの連係
7. HTML、Servlet、JSP、Beanの連係
8. Webアプリケーションの設計

受講料 ¥99,000

オンライン / コースコード OJV033

Javaによる保守開発のためのリファクタリング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

リファクタリングの概要、注意点を学習します。また、保守性・再利用性を向上させるためのリファクタリングテクニックを、演習を通して学習します。

到達目標
・リファクタリングの概要や注意点を説明できる。
・リファクタリングにより保守性・再利用性を向上させることができる。

対象者 Javaでアプリケーションを開発される方で保守性・再利用性を向上させるテクニックを知りたい方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リファクタリングの必要性
2. リファクタリング概要
3. 主要なリファクタリング

受講料 ¥33,000

オンライン / コースコード OJV034

Javaによるデータベースプログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Javaプログラムからデータベースへの一般的なアクセス方法を学習します。

到達目標 JDBCを利用してデータベースにアクセスするプログラミングができる。

対象者 Javaでデータベース連携を伴うアプリケーションを開発する方。

前提知識 「Javaプログラミング2（基本クラス編）」コース/eラーニングコース、および「基礎から学ぶSQL ー現場で使える力をつけるー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JDBC概要
2. JDBCによる基本的なデータベース利用
3. トランザクション制御
4. O/Rマッピング

受講料 ¥66,000

eラーニング / コースコード NWE033

<eラーニング> HTML/CSSによるWebコンテンツ制作

eラーニング 8時間

HTMLによるリンク、テーブル、フォームなどを用いたWebコンテンツの作成方法を学習します。また、CSSを用いたスタイルシートの効果的な指定方法を学習します。なお、このコース内でもHTML5によるWebコンテンツ作成について学習しますが、より詳しく学習したい方は「HTML5プログラミング」コースにてご案内しています。

到達目標
・HTML、CSSの基礎を説明できる。
・リンク、マルチメディアデータ、テーブル、フォームを用いたWebコンテンツをHTML/CSSで作成できる。

対象者 JavaScriptやWebアプリケーション開発技術を学習する前提としてHTML/CSSを学ぶ方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. HTMLの概要
2. HTMLの基本文法（テーブル・フォーム・リンク等）
3. HTMLの主要な要素
4. CSSの概要
5. CSSの基本文法
6. CSSの主要な要素
7. 修了試験

受講料 ¥19,800

オンライン / コースコード NWV141

JavaScriptプログラミング ーECMAScript 2015対応ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

JavaScriptの基本文法と、DOM、イベント、Ajaxについて学習します。従来の文法だけでなく、ECMAScript 2015からの文法・機能についても学習します。さらに演習を通して、JavaScriptを使用したアプリケーション開発の方法を学習します。

到達目標
・JavaScriptの特長を説明できる。
・DOMの概要を説明できる。
・Ajaxの概要を説明できる。

対象者 JavaScriptによるアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「HTML/CSSによるWebコンテンツ制作」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. JavaScript概要
2. JavaScriptの基本文法
3. DOM
4. JavaScriptのイベント
5. JavaScriptとAjax

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード NWV152 New

JavaScriptプログラマのためのTypeScript入門【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

TypeScriptの基本文法とHTMLとの連携について、マシン演習を通して学習します。
※本コースはJavaScriptの文法を学習済みであることを前提としたコースとなっています。申込前に前提知識欄を必ずご確認ください。

到達目標
・TypeScriptとJavaScriptの違いを説明できる。
・TypeScriptとHTMLで簡単なWebページを作成できる。
・TypeScriptを使ったオブジェクト指向プログラミングができる。

対象者
・TypeScriptを利用したアプリケーション開発に携わる方。
・JavaScriptをベースとした各種フレームワークを利用した開発に携わる方。

前提知識 「JavaScriptプログラミングーECMAScript 2015対応ー」を修了しているか、またはDOM操作・イベント処理を伴うプログラムをJavaScriptで実装した経験があること。

内 容
1. TypeScript概要
2. TypeScriptの実行環境
3. TypeScriptの基本文法
4. オブジェクト指向
5. 総合演習
 ※学習項目は変更となる可能性がございます。ご承知おきください。

受講料 ¥52,800

オンライン / コースコード NWV142

HTML5プログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

HTML5から追加され、現在でも利用されている機能・技術を学習します。また、マシン実習を通して実際の使用方法を学習します。

到達目標
・HTML5の各規格の概要を説明できる。
・HTML5から追加された機能、技術を説明できる。

対象者 クライアントサイドのWebアプリケーション開発に携わる方。

前提知識 「JavaScriptプログラミングーECMAScript 2015対応ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. HTML5概要
2. マークアップ
3. API
4. HTML5関連技術

受講料 ¥38,500

オンライン / コースコード NWV151 Renewal

HTML5/JavaScriptによるWebアプリケーション開発実践【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

HTML5、JavaScriptを用いたWebアプリケーションの設計と実装を学習します。サンプルプログラムの実装を通して、Webアプリケーションのフロントエンド開発で取り入れられることが多い、SPAやコンポーネント指向について学習します。また、SPAやコンポーネント指向を取り入れたWebアプリケーションの設計についてもご紹介します。

到達目標 HTML5、JavaScriptの技術を組み合わせ、Webアプリケーションの設計と実装ができる。

対象者 HTML5、JavaScript等の技術を組み合わせてWebアプリケーションを開発したい方。ITエンジニア職、若手・中堅向け。

前提知識 「JavaScriptプログラミング」および「HTML5プログラミング」を修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Webアプリケーションの変遷
2. サンプルプログラムの確認
3. 設計演習
 （1）要件の確認
 （2）アーキテクチャ、実装技術の調査検討
 （3）検討結果の共有
4. 実装演習
 （1）プログラミング
 （2）成果物の共有

受講料 ¥110,000

オンライン / コースコード VBV040

Visual Basicプログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

.NET Frameworkの概要、Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual BasicによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
・Visual Basicの基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング（クラスの定義・継承）ができる。
・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
・Windowsアプリケーションの作成から実行までの一連の操作ができる。

対象者
・Visual Basicによるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方。
・これからVisual Basicを使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。「オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual Basicプログラミングの基本
3. Visual Basicの基本文法
4. モジュールの定義
5. クラスの定義
6. 構造体の定義
7. 継承
8. 例外処理

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード VCV011

Visual C#プログラミング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

.NET Frameworkの概要、Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングの基本文法、およびVisual StudioによるWindowsアプリケーションの作成方法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・クラスやオブジェクト、継承などオブジェクト指向の基本用語を説明できる。
・Visual C#の基本文法を理解し、オブジェクト指向プログラミング（クラスの定義・継承）ができる。
・例外処理の必要性を理解し、例外処理を実装できる。
・Windowsアプリケーションの制作から実行までの一連の操作ができる。

対象者
・Visual C#によるオブジェクト指向プログラミングを身につけたい方。
・これからVisual C#を使用してアプリケーションを開発する方。

前提知識 Windowsの基本的な操作経験があること。「オブジェクト指向概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. Visual Studioを利用したアプリケーション開発
2. Visual C#プログラミングの基本
3. Visual C#の基本文法
4. クラス
5. 構造体
6. 継承
7. 例外処理

受講料 ¥77,000

オンライン / コースコード DBV138

Python入門 −データ分析での活用をテーマとして−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Pythonの基本的な構文やデータ構造を習得し、データ分析で利用されるライブラリの基本的な使い方を学習します。

到達目標
・Pythonの基本構文・データ構造を理解することができる。
・Pythonを使ってデータ分析の基本となるデータ加工、統計量の計算、可視化ができる。

対象者 これからPythonを利用したアプリケーション開発/データ分析を行う方。

前提知識 「プログラミングはじめの一歩」コース/eラーニングコースを修了しているか、または何らかのプログラミング言語で分岐・繰り返しを実装した経験があること。

内　容
1. Pythonことはじめ
2. 変数・データ構造
3. 制御文
4. 関数・モジュール
5. クラス
6. Pythonを用いたデータ分析

受講料 ¥77,000

eラーニング / コースコード DBE065

<eラーニング> Pythonで簡単！数学の謎解き

eラーニング 8時間

このコースでは、
・Pythonの数学コードを学ぶ・中学・高校数学をPythonを通して学び直す
・四則演算から行列までの数学を広く浅く一通りマスターする
・数学に興味関心を持ってもらう
といったことを目標としています。
学習内容は次の通りです。
（初級）四則演算・整数と小数・素数・分数・方程式
（中級）三角関数・指数関数と対数関数・順列・組合せ・集合・確率
（上級）微分・積分・数列・ベクトル・行列

到達目標 Pythonを使って、簡単な数学・算数を理解できるようになる。

対象者
・Pythonを使ってデータ利活用を行う予定のある方。
・高校数学を学びなおしたい方。

前提知識
・Pythonの基本構文を理解していること。
・Pythonで外部ライブラリを利用する方法を知っていること。

内　容
1. Pythonで簡単！数学の謎解き（初級）
2. Pythonで簡単！数学の謎解き（中級）
3. Pythonで簡単！数学の謎解き（上級）

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV135

REST APIプログラミング体験 −Pythonによるクラウドサービス活用−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

クラウドをベースとする、RESTに則ったAPIを活用してアプリケーションを開発する機会が増えています。このコースではPythonを使ってクラウドで提供されているREST APIの呼び出しおよび結果を受け取り処理するプログラムの実装を学習します。演習では画像データ、音声データ、文章データを用いるサービスの利用を体験します。

到達目標
・REST APIの基礎的な仕組みを説明できる。
・REST APIを経由してクラウドのサービスを利用するコードの処理の流れを説明できる。
・PythonでREST APIを利用する基本的なソースコードを実装できる。

対象者 REST APIによるプログラミングを学びたい方。

前提知識 「Python入門−データ分析での活用をテーマとして−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Pythonの基本文法の確認
2. REST APIの基本
3. REST APIを利用するプログラミング
（1）画像データを利用するサービス
（2）音声データを利用するサービス
（3）文章データを利用するサービス

受講料 ¥39,600

オンライン / コースコード DBV137

プログラミング活用術 −面倒な定型業務はPythonで自動化しよう−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

日々の業務のなかで繰り返し発生する作業を、Pythonを使って自動化する方法を学習します。ソースコードの実装を通じて人手で行っている作業の自動化を体験することで、日々の業務の効率化を考えるための素養を身につけます。

到達目標
・マウスやキーボード操作を動かすPythonコードを実装できる。
・Officeファイルに対して簡単な変更を行うPythonコードを実装できる。
・ブラウザ画面を動かすPythonコードを実装できる。

対象者 人手で行っている作業を自動化して作業効率を高めたい方。

前提知識 「Python入門−データ分析での活用をテーマとして−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 概要
2. マウス・キーボード操作の自動化
3. Officeファイル操作の自動化
4. Webアプリケーション操作の自動化

受講料 ¥39,600

eラーニング / コースコード DBE063

<eラーニング>「Python3 エンジニア認定データ分析試験」対策講座（Aidemy社）

eラーニング 19.5時間

本試験で出題される「データエンジニアの役割」から「Pythonと環境」「数学の基礎」「ライブラリによる分析実践」までの各分野のポイントを効率良く学習できます。

到達目標 「Python3エンジニア認定データ分析試験」に合格するための知識を修得する。

対象者 「Python3エンジニア認定データ分析試験」の合格をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. Python3エンジニア認定データ分析試験対策（1）
2. Python3エンジニア認定データ分析試験対策（2）
3. Python3エンジニア認定データ分析試験対策（3）

受講料 ¥79,200

オンライン / コースコード SPV085

Pythonによるテスト自動化 −単体テストからシステムテストまで−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

近年、Webアプリケーションに対する要求はますます高度化しており、短い期間で質の高い製品を開発する手段として「テストの自動化」に関心が高まっています。そこで、シンプルでわかりやすいテストコードを実装できるPythonを利用して、単体テスト、結合テスト、システムテストの自動化について学習します。このコースでは、Pythonのテスト分野で利用されているライブラリpytestやブラウザ画面の操作を自動化するSelenium WebDriverを用いて、効率的にテストを実施する方法を学習します。

到達目標
・Pythonのライブラリを用いて単体テスト、結合テスト、システムテストが自動化できる。
・Seleniumを用いてブラウザ操作が自動化できる。

対象者
・テストの自動化に興味のある方。
・PythonでWebアプリケーションのテストを行う方。

前提知識
・「品質確保のソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または単体テスト、結合テスト、システムテストの役割を理解されていること。
・「Python入門−データ分析での活用をテーマとして−」コースを修了しているか、またはPythonの基本文法（ライブラリの利用方法等）の知識があること。また、必須ではありませんが、Webアプリケーション開発の知識や経験があると効果的です。

内　容
1. はじめに
2. 単体テストの自動化
3. 結合テストの自動化
4. システムテストの自動化

受講料 ¥52,800

オンライン / コースコード CBV009

COBOLプログラミング基礎編【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、マシン実習を通して学習します。
※マシン実習の一部で、処理フローの図式化をしていただく時間を用意しておりますが、処理フローの図式化は「PAD」もしくは「フローチャート」を選択していただきます。研修開始時に、講師から「どちらを選択されるか」について、確認させていただきますので、事前にどちらを選択されるか決定いただきますよう、お願いいたします。

到達目標
・各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
・データの構成を説明できる。
・プログラムの構造化ができる。
・データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
・繰り返し処理をコーディングできる。
・印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習-データ印刷のプログラム-

受講料 ¥82,500

eラーニング / コースコード DBE065

<eラーニング> Pythonで簡単！数学の謎解き

eラーニング 8時間

このコースでは、
・Pythonの数学コードを学ぶ・中学・高校数学をPythonを通して学び直す
・四則演算から行列までの数学を広く浅く一通りマスターする
・数学に興味関心を持ってもらう
といったことを目標としています。
学習内容は次の通りです。
（初級）四則演算・整数と小数・素数・分数・方程式
（中級）三角関数・指数関数と対数関数・順列・組合せ・集合・確率
（上級）微分・積分・数列・ベクトル・行列

到達目標 Pythonを使って、簡単な数学・算数を理解できるようになる。

対象者
・Pythonを使ってデータ利活用を行う予定のある方。
・高校数学を学びなおしたい方。

前提知識
・Pythonの基本構文を理解していること。
・Pythonで外部ライブラリを利用する方法を知っていること。

内　容
1. Pythonで簡単！数学の謎解き（初級）
2. Pythonで簡単！数学の謎解き（中級）
3. Pythonで簡単！数学の謎解き（上級）

受講料 ¥66,000

集合 / コースコード CBJ004 / 休講

COBOLプログラミング応用編（PAD）

マシン実習 4日間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
・マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
・表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
・表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
・多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習

受講料 ¥107,800

集合 / コースコード CBJ008 / 休講

COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

マシン実習 4日間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
・マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
・表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
・表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
・多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習

受講料 ¥107,800

eラーニング / コースコード CBE301

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（PAD）

eラーニング 24時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
・各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
・データの構成を説明できる。
・プログラムの構造化ができる。
・データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
・繰り返し処理をコーディングできる。
・印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習 - データ印刷のプログラム -
5. 修了試験

受講料 ¥99,000

eラーニング / コースコード CBE302

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編（PAD）

32時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（PAD）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習
6. 修了試験

受講料 ¥124,300

eラーニング / コースコード CBE303

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

24時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があり、かつMicrosoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. マシン実習 - データ印刷のプログラム -
5. 修了試験

受講料 ¥99,000

eラーニング / コースコード CBE304

<eラーニング>【マシン演習付き】COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

32時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを、自席PCから演習マシンに接続し、実機演習を通して学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「【マシン演習付き】COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. マシン実習
6. 修了試験

受講料 ¥124,300

eラーニング / コースコード CBE002

<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（PAD）

16時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. 修了試験

受講料 ¥25,300

eラーニング / コースコード CBE003

<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（PAD）

16時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

受講料 ¥25,300

eラーニング / コースコード CBE004

<eラーニング> COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）

16時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム
4. 修了試験

受講料 ¥25,300

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

eラーニング / コースコード CBE005

<eラーニング> COBOLプログラミング応用編（フローチャート）

16時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

受講料 ¥25,300

自習テキスト / コースコード ー

COBOLプログラミング基礎編（PAD）（自習テキスト）

18時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム

受講料 ¥4,180

自習テキスト / コースコード ー

COBOLプログラミング応用編（PAD）（自習テキスト）

18時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（PAD）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム
5. 修了試験

受講料 ¥25,300

自習テキスト / コースコード ー

COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）（自習テキスト）

18時間

COBOLの文法と、ファイル処理プログラムの構造を理解し、データ印刷のプログラムを学習します。

到達目標
- 各DIVISIONとSECTIONの役割を理解し、コーディングできる。
- データの構成を説明できる。
- プログラムの構造化ができる。
- データの入出力処理、移動処理をコーディングできる。
- 繰り返し処理をコーディングできる。
- 印刷プログラムのポイントを理解し、作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 アルゴリズムの基礎知識があること。

内　容
1. COBOLの基礎知識
2. データ加工のプログラム
3. データ印刷のプログラム

受講料 ¥4,180

自習テキスト / コースコード ー

COBOLプログラミング応用編（フローチャート）（自習テキスト）

18時間

事務処理用プログラムを作成するために必要なプログラム構造とCOBOLの文法を理解し、集計処理、突合せ処理および表の取り扱いを学習します。

到達目標
- コントロールブレーク処理を理解し、集計処理プログラムを作成できる。
- マスタレコードとトランザクションレコードの組合せとその処理パターンを理解し、更新処理プログラムを作成できる。
- 表と添え字を理解し、表を扱ったプログラムを作成できる。
- 表操作のポイントを理解し、プログラムを作成できる。
- 多分岐のプログラムが作成できる。

対象者 COBOLで業務処理プログラムを開発する方。

前提知識 「COBOLプログラミング基礎編（フローチャート）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 集計処理プログラム
2. 突合せ処理プログラム
3. 表の取り扱い/表操作
4. 多分岐処理プログラム

受講料 ¥4,180

eラーニング / コースコード ESE002

<eラーニング> 組込みシステムとは

7時間

組込みシステム技術者の全体的な技術基礎力向上のために、組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関する技術を学習します。

到達目標
- 組込みシステムで用いられるハードウェア、ソフトウェアに関して説明できる。
- 組込みソフトウェアが動作するしくみを説明できる。
- リアルタイムOSの概要を説明できる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 組込みシステムとは
2. 組込みシステムの基本アーキテクチャ
3. 組込み製品の開発に必要な知識
4. マイコンを利用したソフトウェア開発の基礎
   (1)組込みソフトの開発環境
   (2)入出力制御の概要
   (3)割り込み
5. リアルタイムOSとは
   (1)リアルタイムOSの機能と役割
   (2)タスクと状態遷移
   (3)リアルタイムOSの種類
   (4)リアルタイムOSを使用したシステム構築手順
6. 組込みシステムに関する新技術
7. 修了試験

受講料 ¥18,700

集合 | コースコード ESJ001

リアルタイムOSを利用したソフトウェアプログラミング

マシン実習 2日間

組込みシステム用リアルタイムOSの仕組みを学習し、リアルタイムOSを用いたプログラミングを、実機を用いて学習します。

到達目標 リアルタイムOSを利用したマルチタスクプログラミングができる。

対象者 組込みソフトウェアを開発する方。

前提知識 「C言語プログラミング1ー基本マスタ編ー」コース、または「C言語プログラミング1（後編）ーデータ構造とポインタを学ぶーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リアルタイムOSとは
   (1)リアルタイムOSの機能と役割
   (2)タスクと状態遷移
   (3)スケジューラとプリエンプティブ
   (4)リアルタイムOSの種類
   (5)統合開発環境
2. シングルタスクプログラミング
   (1)タスクの生成と起動方法
   (2)タスクの状態遷移
   (3)割り込みを用いたプログラミング
3. マルチタスクプログラミング
   (1)タスク間通信
   (2)イベントフラグ
   (3)リソース（セマフォ）

受講料 ¥66,000

オンライン | コースコード OTV025

C言語で学ぶマイクロコンピュータの基礎 ーマイコンを使ってシステムを制御するために必要な基礎知識ー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 3日間

機器組込み用マイコンプログラムを開発する手法を学びたい方を対象に、C言語を用いた開発手法（I/Oポート、ハードウェアタイマ、割込みの使い方）、および完成したプログラムをシステムに組込む手法を修得できます。

到達目標 C言語およびマイコンについて基礎知識があることを前提にして、C言語を用いて機器組込み用マイコンのプログラムを開発する手法、および出来上がったプログラムをシステムに組込む手法を修得できます。演習には、RX63Nマイコンにエミュレータを接続したe2studio環境（Eclipseベース）を、1人／台使用できます。

対象者 C言語を用いて機器組込み用マイコンプログラムを開発する手法を学びたい方。

前提知識 C言語およびマイコンの基礎知識を備えている方。（C言語に関しては、ポインタ変数、構造体、共用体に対して、その宣言（定義）と操作（代入、演算他）が可能な知識があること。またマイコンに関しては、マイコンの内部構成を理解している方。）

内 容
1. マイコンとC言語
2. エミュレータの使い方
3. I/Oポートの機能と使い方
4. インターバルタイマーの使い方
5. 割り込みの基礎
6. 割り込みの演習
7. 総合演習（スイッチによる状態遷移、ステッピングモータ駆動など）

受講料 ¥187,000

オンライン | コースコード SJV100

IT技術はじめの一歩 ーITリテラシー向上をめざしてー【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

これからITを学習する中で、まず必要となるコンピュータの基礎知識について学習します。コンピュータなどの各技術要素に対して踏み込んだ説明はせず、概要とイメージを紹介する内容になっていますので、「はじめてITを学習する方」にお勧めのコースとなります。

到達目標 コンピュータ、インターネットといったIT技術の基本要素を説明することができる。

対象者
- はじめてITを学習する方。
- これからITを活用した業務に従事する予定がある方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ITとは
2. コンピュータとその構成要素
3. ソフトウェア
4. ネットワークとインターネット
5. 情報セキュリティ
6. データの永続化
7. DXを取り巻く要素技術

受講料 ¥39,600

オンライン | コースコード SJV099 | 休講

コンピュータ基礎【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 5日間

情報処理技術者として必要となる基礎知識を学習します。

到達目標
- コンピュータの動作原理や情報システムの仕組みを説明できる。
- ネットワークやデータベースの基本を説明できる。
- システム開発の手順と各工程の作業を説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コミュニケーションネットワークとコンピュータシステム
2. 入出力装置
3. 記憶装置
4. 中央処理装置
5. オペレーティングシステム
6. 情報処理技術の基礎と理論
7. ファイル編成とデータベース
8. 通信ネットワークシステム
9. 情報セキュリティ
10. 情報システムとRASIS
11. 情報システムの開発

受講料 ¥132,000

eラーニング | コースコード SJE032

<eラーニング> コンピュータ基礎 ー情報の基礎理論編ー

eラーニング 4時間

情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要な情報基礎理論の基礎知識について説明できる。

対象者 これから情報システム部門に在籍し、システムを開発またはシステムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データの表現
2. 基数
3. 固定小数点数
4. 浮動小数点数
5. 精度
6. 論理演算
7. 論理回路
8. 修了試験

受講料 ¥8,800

eラーニング | コースコード SJE031

<eラーニング> コンピュータ基礎 ーハードウェア編ー

eラーニング 8時間

情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要なハードウェアの基礎知識について説明できる。

対象者
- これから情報システム部門に在籍し、システムを開発する方。
- これから情報システム部門に在籍し、システムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コンピュータとは
   (1)コンピュータとは
   (2)コンピュータの5大基本機能（装置）
2. 記憶装置
   (1)記憶階層
   (2)主記憶装置
   (3)半導体（IC）メモリ
   (4)ハードディスクドライブ（HDD）
   (5)その他の補助記憶装置
3. CPU
   (1)CPUの構成要素
   (2)制御装置
   (3)演算装置
   (4)バス
   (5)CPUの高速化
4. 入出力装置
   (1)入力装置
   (2)出力装置
   (3)I/O（Input/Output）
5. 修了試験

受講料 ¥17,600

eラーニング | コースコード SJE030

<eラーニング> コンピュータ基礎 ーソフトウェア編ー

eラーニング 8時間

情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要なソフトウェアの基礎知識について説明できる。

対象者
- これから情報システム部門に在籍し、システムを開発する方。
- これから情報システム部門に在籍し、システムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. OSの制御プログラム
   (1)タスク管理
   (2)記憶管理
   (3)ジョブ管理
   (4)ファイル管理
2. 言語
   (1)言語プロセッサ
   (2)主記憶装置
   (3)プログラムの作成と実行
   (4)プログラム言語の種類とプログラムの性質
3. 修了試験

受講料 ¥17,600

eラーニング | コースコード SJE033

<eラーニング> コンピュータ基礎 ー情報システム編ー

eラーニング 4時間

情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識を学習します。

到達目標 情報処理技術者として必要な情報システムの基礎知識について説明できる。

対象者
- これから情報システム部門に在籍し、システムを開発する方。
- これから情報システム部門に在籍し、システムを運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. システム構成
   (1)システムの形態
   (2)処理形態
2. システム性能
   (1)CPUの性能
   (2)システムの性能
3. システムの信頼性
   (1)RASIS
   (2)稼働率
   (3)高信頼システム
   (4)RAID
4. 修了試験

受講料 ¥8,800

eラーニング | コースコード DBE039

<eラーニング>【スキル定着】 Rでのデータ可視化 ーオープン環境を活用した実装力の磨き方ー

eラーニング 4時間

さまざまなデータ可視化の実装を通して、実践で使えるレパートリーを増やします。繰り返し実装することで、Rでのデータ活用の流れの定着を図ります。

到達目標
- Rを使った可視化の実装ができる。
- オープンな環境を利用して、どのように学び（自己学習）を深めればいいか理解できる。

対象者
- Rのライブラリを活用して可視化の実装を試したい方。
- Rの基本は理解しているが腕試しをしたい方。

前提知識 Rの基本構文・データ構造の理解があること。

内 容 Rによるさまざまなデータの可視化の紹介および実装
1. 平行座標プロット
2. 散布図行列
3. ヒートマップ
4. デンドログラム
5. ワードクラウド
6. コロプレス地図
7. ネットワーク図
8. アニメーションバブル図

受講料 ¥11,000

オンライン | コースコード DBV134

0から始めるRの基礎 ーデータ分析と可視化体験ー【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

統計解析向けのプログラミング言語、およびその開発実行環境であるRの基本操作から、データの可視化までを学習します。

到達目標
- Rの基本的な文法やデータ構造を理解し、データ分析の基本となるデータの加工や、基本統計量の計算ができる。
- Rを利用して回帰分析、クラスター分析を実行できる。
- Rを利用してさまざまな可視化表現ができる。

対象者
- Rにおけるデータ分析や可視化の操作方法を学びたい方。
- Excel以外の手段でデータ分析や可視化を試してみたい方。

前提知識 基本的な統計の知識があること、もしくは「データ分析手法の理論と適用ービジネスにおける統計的手法活用の広がりー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Rの概要
2. Rによるデータ操作の基礎
3. Rによるデータ分析
   (1)回帰分析
   (2)クラスター分析
4. Rによるデータ可視化
   (1)散布図行列
   (2)ヒートマップ
   (3)デンドログラム
   (4)ワードクラウド
   (5)コロプレス地図
   (6)ネットワーク図
5. まとめと振り返り

受講料 ¥77,000

オンライン | コースコード DBV136

WebXR入門【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

WebXRの概念から、簡単な実装までをハンズオンを通してVR技術に関する基本的な素養を学習します。

到達目標
- WebXRの基本的な概念を説明できる。
- Webブラウザ上でサンプルを作成し、スマホなどのデバイス上で動作できる。

対象者
- WebXRの技術に興味のある方。
- WebXRの基礎を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. WebXRとは-VR・ARを含めた基礎理論
2. WebXR体験-ブラウザベースでのWeb AR制作
3. 3D シーン作成とVR・AR表示-3D CGの基礎
4. 物理空間認識（平面検出）とオブジェクト配置
5. 360 Image・Video表示
6. インタラクション（タッチ操作）、3Dシーン作成-3DCGの基礎

受講料 ¥52,800

オンライン | コースコード DBV132

体感！機械学習【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースでは、収集したデータの活用技術の一つとして機械学習の導入を学びます。データを活用したシステムに向けた技術を修得できます。

到達目標
- 機械学習の概要が説明できる。
- ツールを用いて簡単な機械学習を用いた分析ができる。

対象者 ビッグデータ関連事業に携わる方。

前提知識 基本的なプログラムの文法（言語は問いません）を理解しており、かつ「デジタル時代に必要なIT技術概説」Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 機械学習の概要
   (1)機械学習とは
   (2)機械学習の種類
   (3)機械学習のプロセス
   (4)ビッグデータにおける機械学習の位置づけ
   (5)機械学習とデータマイニング
2. 分析ツールを利用した機械学習
   (1)Rの概要
   (2)事例1最適化
   (3)事例2異常検知
   (4)事例3数値予測
   (5)精度の確認
3. 機械学習の実装

受講料 ¥44,000

オンライン / コースコード DBV125

NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース ディープラーニングの基礎【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

このコースでは、ディープラーニングの基礎およびモデルの精度向上にまつわるトピックを学びます。ハンズオンではGPUを使った環境で実際にディープラーニング処理を体験します。レクチャとハンズオンを繰り返しながら、次のステップに踏み出すための土台を作ります。一連のカリキュラムを通じて、ディープラーニングのプロジェクトにすぐに取り組める基礎を修得します。

到達目標
・ディープラーニングの基本的なテクニックとツールの概要を説明できる。
・ディープラーニングで扱うデータやアーキテクチャの概要を説明できる。
・データ拡張、転移学習などのテクニックの概要を説明できる。

対象者
・ディープラーニングの基本を身につけたいITエンジニア(若手・中堅)の方。
・ディープラーニングの最初の一歩を踏み出したい方。

前提知識
・Pythonの基本的な文法(関数、ループ、配列、辞書など)を理解していること。
・プログラミングの基本的な概念(分岐、ループ、データ構造など)を理解していること。
・機械学習の基本的な概念(学習、予測、教師あり/なしなど)を理解していること。

内 容
1. ディープラーニング入門
2. ニューラルネットワークのトレーニング
3. 畳み込みニューラルネットワーク
4. データ拡張とモデルのデプロイ
5. トレーニング済みモデル
6. より高度なアーキテクチャ(リカレントニューラルネットワークなど)

受講料 ¥88,000

オンライン / コースコード DBV154 Renewal

NVIDIA Deep Learning Institute (DLI)認定コース AIを応用した予知保全【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

機械のダウンタイムは企業に膨大な損失を招く可能性があることから、メンテナンスの領域では定期的な予防保全に加え、予知保全への要望が高まっています。このコースでは、AIをベースとした時系列データの中から異常と障害を特定する方法や該当パーツの残りの耐用年数の見積もりについて学びます。また、クラウド上で構築されたGPUサーバを用いて演習を行うことで自身の業務で役立つスキルを身につけます。

到達目標
・時系列データを使用し、XGBoost ベースの機械学習分類モデルで成果を予測できる。
・LSTM ベースのモデルを使用し、機器の故障を予測できる。
・時系列オートエンコーダーによる異常検出を利用し、限られた故障例データが利用できるとき、故障を予測できる。

対象者
産業分野における予知保全システムを開発・提供するSEおよび開発者の方。

前提知識
・「Python入門ーデータ分析での活用をテーマとしてー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
・「NVIDIA Deep Learning Institute(DLI)認定コース ディープラーニングの基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. オリエンテーション
2. RAPIDSを用いたXGBoostのモデルの学習と部品の故障予測
3. Keras/TensorFlowによるLSTMモデルを用いた時系列データ部品故障予測
4. 異常検知のためのオートエンコーダー

受講料 ¥93,500

オンライン / コースコード IOV001

IoT概説【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

IoTの全体像を理解します。

到達目標
・IoTとは何かを理解できる。
・IoTのシステム構成を理解できる。
・各社のIoTの動向を理解できる。
・IoTの技術的なポイントを理解できる。

対象者
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. IoTとは
2. IoTシステムと関連技術
3. IoT技術動向
4. 各社の動向

受講料 ¥20,900

オンライン / コースコード IOV023

IoT技術解説 ー最新技術動向・適用事例編ー【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 0.5日間

IoTを取り巻く最新の業界・技術動向を学習します。また、顧客提案に役立つ豊富なIoT最新事例を紹介します。

到達目標
・IoT技術の動向を理解することができる。
・IoT技術の最新の適用例を理解することができる。
・他社ベンダの動向を理解することができる。

対象者
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. IoTを取り巻く最新の業界・技術動向
2. 最新事例、ソリューションの紹介(マクニカ)
((23年度のテーマ例) 次世代匿名化技術、IoTデータストリーム基盤、組込ソフトウェア・ライセンス/脆弱性管理、OTセキュリティ)

受講料 ¥28,600

オンライン / コースコード IOV024

「IoTシステム技術検定(基礎検定)」対策講座【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1.5日間

IoTの提案・企画を今後行うSE/営業に対して、「IoTシステム全体像とその仕組み」、「出題ポイントの解説」、「模擬試験」を使用し、IoTに関する基礎知識(考え方・用語)を身に付ける力を伝授します。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 基礎検定」についての対策講座です。

到達目標
・「IoTシステム技術検定(基礎検定)」に合格できる技術力を修得する。
・IoTシステムの概要、技術的なキーワードが理解できる。

対象者
・SE/営業の若年層の方。
・これからIoTに携わる業務を行うSE/営業の方。

前提知識
特に必要としません。

内 容
1. 出題範囲と傾向、出題トピックの解説
(1)IoTシステム構築
(2)センサ・アクチュエータ
(3)IoTデータ活用(ビッグデータ・AI)
(4)IoTセキュリティ
(5)IoTシステムプロトタイピング
(6)ネットワーク
(7)DX

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード IOV021

「IoTシステム技術検定(中級)」対策講座【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 2日間

IoT関連業務に携わっている方を対象に、模擬試験などを活用して、検定合格に必要な技術を効率的に修得していただきます。なお、このコースはMCPC主催「IoTシステム技術検定 中級検定」についての対策講座です。

到達目標
MCPC主催「IoTシステム技術検定(中級)」に合格できる技術力を修得できる。

対象者
IoTシステム構築に関連するSE/技術者の方。

前提知識
IoT関連業務(システム構築、製品開発など)に携わっていること。

内 容
1. 試験の概要
2. IoTシステム構築と構築技術
(1)IoTシステムアーキテクチャ
(2)IoTサービスプラットフォーム
3. センサ/アクチュエータと通信方式
(1)IoTデバイス
(2)ネットワーク
(3)プロトコル
4. AI分析とデータ活用
(1)ビッグデータ分析技術
(2)IoTデータ活用事例
5. セキュリティ対策とプライバシー保護
(1)セキュリティ対策
(2)情報セキュリティと法制度
6. IoTのプロトタイピング
(1)プロトタイピング

受講料 ¥92,400

eラーニング / コースコード IOE011

<eラーニング> コトづくり現場における IoT無線ネットワークの要点と選び方

eラーニング 2時間

5Gをはじめとする、さまざまな無線ネットワーク技術が発信されています。IoTを用いたコトづくり現場では無線ネットワークの仕様と現場の事情を鑑みて、適切なネットワークを選択する必要があります。このコースではそういった無線ネットワークの要点を踏まえつつ、選択するためのポイントを学びます。

到達目標
・5G、LPWAなどの無線ネットワーク技術の基本を説明できる。
・IoTを適用した現場において、適切なネットワーク技術を選択するためのポイントを説明できる。

対象者
IoTをお客さまに提案するSEおよび開発者の方。

前提知識
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. IoTを取り巻くネットワークの基本
(1)各種無線規格比較 など
2. 各無線ネットワーク技術の概要
(1)ワイヤレス通信(LPWA、狭域・近接)
・LPWA:Wi-Fi 802.11ah(Wi-Fi HaLow(TM))
(2)ワイヤレス通信(広域)5Gの特長
(3)5Gのネットワーク基礎技術
・5Gネットワークの基本構成
・4G LTEと5Gの比較
3. IoTコトづくりにおける無線ネットワークの選び方
(1)IoTネットワークの基本設計について
(2)ネットワーク構成(トポロジー)
(3)IoTネットワークにおけるエッジデバイスの差別化ポイント
4. 事例紹介

受講料 ¥16,500

eラーニング / コースコード IOE013 Renewal

<eラーニング> IoT技術解説 IoTネットワーク編

eラーニング 3時間

IoTネットワークの構築に必要な基本知識(電波特性・関連法令・広域ネットワーク、エリアネットワーク)とともに、LPWAや5Gを使用したネットワーク、セキュリティについて学習します。

到達目標
・IoT広域ネットワークで使用される技術について理解できる。
・IoTエリアネットワークで使用される技術について理解できる。
・IoTネットワークを構築するための関連知識について理解できる。

対象者
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 無線関連の基礎知識
(1) 電波特性
(2) 関連法令
(3) その他
2. 広域ネットワーク技術
(1)LPWAのシステム構成 LoRa, Sigfox, NB-IoT等
(2) 5Gのシステム構成
3. エリアネットワーク技術
(1) Wi-Fi
(2) その他 ZigBeeなど
4. ネットワークセキュリティ技術概要

受講料 ¥12,100

eラーニング / コースコード IOE014 Renewal

<eラーニング> IoT技術解説 5G編

eラーニング 2.5時間

IoTシステム構築・関連製品の企画・構築を行う方を対象に、高速、低遅延の無線ネットワークとして、各種IoTシステムやコネクテッドカーへの適用が進む5Gの構成と機能を学習します。

到達目標
5Gを使用したIoTシステムの構築について説明できる。

対象者
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 5Gとは
(1)5Gとは
(2)4G(LTE)や既存LPWA(Sigfoxなど)との異なり
(3)今後の適用
2. 5G詳細技術
(1)フェーズ1関連技術
(2)フェーズ2関連技術
3. IoTへの適用
(1)自動車関連(コネクテッドカー・オートノマスカー)
(2)医療関連
(3)製造関連
4. 関連事項
(1)3GPPや業界の動向
(2)ローカル5G

受講料 ¥12,100

eラーニング / コースコード IOE015 Renewal

<eラーニング> IoT技術解説 セキュリティ編

eラーニング 3時間

IoTシステムでのセキュリティ適用のポイントと最新のセキュリティ製品を学習します。IoTシステムへのセキュリティ適用のポイントと関連セキュリティ製品を学習します。

到達目標
・IoTでのセキュリティの重要性を説明できる。
・IoTでのセキュリティの考え方を説明できる。
・IoTシステムに即したセキュリティを提案できる。

対象者
IoTを適用するSE、IoT関連製品を開発する初級技術者の方。

前提知識
「IoT概説」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. IoTシステムの概要
2. IoTシステムへのセキュリティの必要性
3. IoTシステムのセキュリティ対策
4. 代表的な業種のセキュリティ対策
5. その他

受講料 ¥12,100

品質・技法・信頼性

IT・OT・プロダクトの開発に関する品質、信頼性に関連する技術を修得できます。

IT・OT・プロダクト共通

機械・電気・情報分野のIT･OT相互理解（入門レベル）

レベル1	レベル2	レベル3

機械・設計技法

- OTV008 オンライン
  機械四力の基礎
  レクチャ | 1日間

電気・計測制御

- OTV024 オンライン
  初心者のための
  エレクトロニクス入門
  レクチャ | 2日間

プログラミング・情報技術

- DBV123 オンライン
  プログラミングはじめの一歩
  −Pythonで学ぶ
  アルゴリズム入門−
  マシン実習 | 1日間
- DBE348 eラーニング
  【マシン演習付き】
  プログラミングはじめの一歩
  −Pythonで学ぶアルゴリズム入門−
  音声なし・説明文有 | 6時間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方。（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

ITシステム（テスト）

これからシステムテスト作業に携わる予定の方、システム開発にこれから携わる方、
システム開発の管理でシステムテストについて知りたい方

レベル1	レベル2	レベル3

- SPE020 eラーニング
  プログラムのテスト技法
  音声なし・説明文有 | 7時間
- SPV028 オンライン
  品質確保のための
  ソフトウェアテスト
  レクチャ | 1日間
- SPE016 eラーニング
  実践！テストケース設計
  （テスト技法演習編）
  音声なし・説明文有 | 8時間
- SPV051 オンライン
  実践！テストケース設計
  （テスト設計実践編）
  マシン実習 | 1日間
- SPE019 eラーニング
  速習！Webシステムテストの
  ポイント
  音声なし・説明文有 | 3時間
- SPV072 オンライン
  Javaによる
  単体テスト自動化と
  テスト駆動開発演習
  マシン実習 | 1日間
- SPV035 オンライン
  Seleniumによる
  Webアプリケーションテスト
  自動化演習
  マシン実習 | 1日間

モダン開発（アジャイル開発含む）

プログラミング・情報技術

- SPV085 オンライン
  Pythonによるテスト自動化
  −単体テストから
  システムテストまで−
  マシン実習 | 1日間
- SPD004 集合
  非機能テスト入門
  （性能・負荷、ユーザビリティ）
  −注目度急上昇のテスト領域−
  レクチャ | 1日間
- SPD002 集合
  DevOpsテスト入門
  ～継続的デリバリーを実現する
  テストのアプローチ～
  グループ演習 | 1日間

モダン開発（アジャイル開発含む）

休講

- SPV063 オンライン
  ソフトウェアテストの
  管理手法
  レクチャ | 1日間
- SDV005 オンライン
  テストプロセス改善
  −評価・改善案策定を一日で習得！−
  【SHIFTライブ配信】
  グループ演習 | 1日間
- OTV026 オンライン
  ソフトウェア品質・
  生産性向上のための
  レビュー講座
  レクチャ | 2日間

OTシステム・プロダクト（設計改革）

グローバル図面・公差設計

レベル1	レベル2	レベル3

機械・設計技法

- OTE002 eラーニング
  公差設計の基礎
  音声有・説明文なし | 4時間
- OTE001 eラーニング
  幾何公差の基礎
  音声有・説明文なし | 6時間

設計業務改革手法

レベル1	レベル2	レベル3

機械・設計技法

- OTV011 オンライン
  3次元CADによる
  図面レス時代で高品質を
  維持する組織検図
  グループ演習 | 1日間
- OTV010 オンライン
  「超常識思考」による顧客価値創造
  −技術者だからこそ実現できる
  イノベーションの世界−
  グループ演習 | 1日間

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

開発 / 基盤
クラウド
モダン開発（アジャイル開発含む）
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム（Linux/Microsoft）
ITサービス

eラーニング　コースコード SPE020

<eラーニング> プログラムのテスト技法

7時間

プログラムのテスト作業における手順、技法についての基本的な考え方を学習します。

到達目標
・プログラムのテストを実施する手順を説明できる。
・テスト実施時に必要なテスト技法の概要と種類を説明できる。

対象者 これからプログラムのテストに携わる方。

前提知識 コンピュータおよびプログラミングの基礎知識があること。

内　容
1. プログラムテストの概要
　(1)テスト作業の位置付け
　(2)テストの必要性
　(3)テスト作業の内容
2. プログラムのテスト技法
　(1)テストデータの設計方法(ホワイトボックステスト、ブラックボックステスト)
　(2)テスト・デバッグの方法
3. テストの管理
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード SPV028

品質確保のためのソフトウェアテスト【バーチャル・クラスルーム】

1日間

システム開発を行ううえで品質を確保するために必要な、ソフトウェアテスト分野全般の知識を、担当者と管理者の両視点で学習します。

到達目標
・ソフトウェアテストの必要性を説明できる。
・ソフトウェアテストを実行しソフトウェアの欠陥を摘出できる。
・ソフトウェアテストの流れを説明できる。

対象者 これからソフトウェアテストに関わる方。

前提知識 「コンピュータ基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテスト概要(テストの必要性、テストの目的、テストの実施と管理)
2. 開発におけるテストの位置づけ(テストレベル、W字モデル)
3. 静的テスト(コードレビュー、静的解析ツール)
4. テスト技法の活用
　(1)制御構造に着目したテストケース設計
　(2)入出力に着目したテストケース設計
　(3)複雑な入出力に着目したテストケース設計
　(4)欠陥の修正
5. テストの管理
　(1)バグゼロの落とし穴
　(2)テスト計画
　(3)ソフトウェアメトリクス
　(4)改善のための布石

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード SPE016

<eラーニング> 実践！テストケース設計(テスト技法演習編)

8時間

現在知られているテスト技法の全体像を知り、代表的な手法を扱う演習を通して、テスト実装のスキルを修得します。

到達目標 代表的なテスト技法を使用してテストケースを作成できる。

対象者 これからテスト技法を修得したい方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテストにおける基本概念
2. テスト技法
　(1)テスト技法の概要
　(2)制御構造に着目したテスト
　(3)入出力に着目したテスト
　(4)入力の組合せに着目したテスト
　(5)状態に着目したテスト
　(6)ユースケースに着目したテスト

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード SPV051

実践！テストケース設計(テスト設計実践編)【バーチャル・クラスルーム】

1日間

このコースではモデルケースを使いテスト分析・設計に基づいてテストケースを作成する演習に取り組みます。その後ペアまたは小グループでレビューをし、より良いテストケースをめざします。

到達目標
・テスト分析・設計の考え方を理解できる。
・テスト分析・設計に基づいてテストケースを作成できる。
・テストケースの良し悪しについてレビューできる。

対象者
・これからソフトウェアテストを担当する人で、テストの目的を踏まえたテストケースを作りたい方。
・テストケース密度を参考にテストケースを作るがバグが出ないなど、テストケースに関する問題を抱えている方。

前提知識 「実践！テストケース設計(テスト技法演習編)」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテストを取り巻く環境
2. テスト分析・設計
　(1)テスト分析・設計の目的
　(2)テスト分析・設計の進め方
　(3)分析・設計結果の活用
3. 総合演習
　(1)テスト分析・設計とテストケース作成
　(2)テストケースレビューと振り返り

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード SPE019

<eラーニング> 速習！Webシステムテストのポイント

3時間

Webシステムにおけるテスト設計において必要となる、テスト体系、着眼点、代表的な技法について学習します。

到達目標
・Webシステムテストの留意点を説明できる。
・Webシステムテストの種類を説明できる。

対象者 Webシステムをテストする方、またはWebシステムを設計する方。

前提知識 「プログラムのテスト技法」Jeラーニングコース、または「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Webシステムを取り巻く状況
2. Webシステムのテストにおける姿勢と施策
　(1)品質の定義を知る
　(2)ビジネスリスクを捉える
　(3)テスタビリティに留意する
3. Webシステムテストの種類
4. Webシステムテストのポイント
　(1)非機能テスト
　(2)グレーボックステスト
　(3)経験値ベーステスト
　(4)回帰テスト
5. Webシステムテストを自動化するツール

受講料 ¥8,800

集合　コースコード SPD004

非機能テスト入門(性能・負荷、ユーザビリティ)−注目度急上昇のテスト領域−

1日間

パフォーマンス、セキュリティー、ユーザビリティなどの「非機能テスト」は、ソフトウェア品質を担保するうえで「機能テスト」とともに非常に重要な分野です。ですが、開発者がテストを実施する場合、どうしても仕様に基づいて「機能テスト」を優先させてしまい、「非機能テスト」は疎かになってしまいます。このコースでは、「非機能テスト」の重要性と全体像、およびその合格基準の決め方など、非機能テストを考えるスキルを身につけます。

到達目標
・基本的な非機能の概念を理解できる。
・負荷テスト、ユーザビリティテストの考え方を修得できる。

対象者 「非機能テスト」全般について基礎を確認したい方。特に、負荷テスト、ユーザビリティテストの考え方を修得したい方。

前提知識 ITの基本知識があること。

内　容
1. 非機能テストの種類と実施方法
　(1)非機能テストとは?
　(2)非機能テストと品質特性
　(3)非機能テストの種類
　(4)非機能テストの種類実施方法
　(5)(演習)非機能テストの実施方法
2. 非機能テストの合格基準の設定
　(1)非機能テストの問題点
　(2)非機能テストの合格基準
　(3)非機能テストの合格基準の設定方法
　(4)(演習)非機能テストの合格基準の設定
3. 非機能テストのアプローチ(性能、負荷)
　(1)負荷テストとは
　(2)負荷テストを行う理由
　(3)負荷テストツール
4. 非機能テストのアプローチ(ユーザビリティ)
　(1)ユーザビリティとは
　(2)アクセシビリティ、ユーザエクスペリエンス
　(3)ユーザビリティテストの種類

受講料 ¥46,200

オンライン　コースコード SPV063　休講

ソフトウェアテストの管理手法【バーチャル・クラスルーム】

1日間

ソフトウェアテストを管理する手法について、テスト計画とテスト結果の分析と評価を中心に学習します。

到達目標
・テスト計画を立てることができる。
・テスト結果の分析と評価ができる。

対象者 これからプロジェクト管理(特にテスト工程の管理)を担当する方。

前提知識 「品質確保のためのソフトウェアテスト」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ソフトウェアテストの管理ですべきこと
2. テスト計画
3. テスト結果の分析と評価

受講料 ¥38,500

オンライン　コースコード SDV005

テストプロセス改善−評価・改善案策定を一日で習得！−【SHIFTライブ配信】

1日間

講師は「萩田和夫氏」(「TPI NEXT®日本語版」訳者)。演習を繰り返すことによってソフトウェアテストを品質向上させる鍵となる「テストプロセス評価と改善」をたった一日で修得することができます。現場ですぐに使える実践的な技法です。

到達目標
・ソフトウェアテストに関するさまざまな標準モデルとTPI NEXT®の位置づけを修得する。
・TPI NEXT®モデルの基本的な構造を修得する。
・TPI NEXT®のキーエリア・チェックポイントの理解と評価方法を修得する。
・TPI NEXT®を使ったプロセス改善実施計画の立案方法を修得する。

対象者
・テストの品質を向上させたいと考えているリーダー、マネジャーの方。
・品質向上のためにプロセス改善を検討している方。

前提知識 テストプロジェクト(もしくは開発プロジェクトでのテスト作業)の経験があること。

内　容
1. ソフトウェアテスト技術の標準化動向とTPI NEXT®の位置づけ
2. TPI NEXT®キーエリアとチェックポイント
3. プロセス評価と改善計画作成手順
4. テストプロセスの自己評価と発表
5. テストプロセス改善の自己計画作成と発表
6. まとめ

受講料 ¥55,000

オンライン　コースコード OTV026

ソフトウェア品質・生産性向上のためのレビュー講座【バーチャル・クラスルーム】

2日間

このコースはソフトウエアエンジニアリングを活用して、質の高いレビューを行うための視点を修得するための講座です。ソフトウエアエンジニアリングというと、とかく教科書的なもので、現場では使えないと言われがちですが、このコースではソフトウエアエンジニアリングにおける原理原則を学ぶことにより、要求、設計、テスト(テストケース)に関する成果物に対してどのような観点からレビューすれば良いかを修得します。

到達目標 このコースによって次のスキルが修得できます。
・要求獲得-システムテストまでの各エンジニアリング活動で何をしなければいけないか
・要求・要件・仕様の違いと、それを区別する重要性
・要求分析におけるシナリオ分析、モデルベース分析の意義、レビューの観点
・ソフトウエア設計の進め方、設計品質の考え方
・設計原則に基づくソフトウェア開発
・テストレベル・全体テスト計画・テストプロセス
・テストケース分析・設計

対象者
・ソフトウエアの品質向上・生産性向上に興味のある方。
・成果物のレビューを担当している方。
・ソフトウエア外注からの受入れを担当している方。
・新人の方からベテランの方まで参加可能です。

前提知識 ソフトウェアの設計、開発、テスト等の業務に従事した経験があるか、今後従事する予定がある方。

内　容
1. エンジニアリング活動の全体像　ソフトウエアエンジニアリングの意義　システム開発の流れ
2. 要求に関する活動　要求と要件、要求分析(シナリオ分析、モデルベース分析、機能分析)、オブジェクト指向を使ったモデルベース分析、UM仕様Lを使用した仕様記述
3. 設計に関する活動　設計のステップ、オブジェクト指向設計の基本的な考え、モデルを使った設計(オブジェクト指向設計)、設計原則とその適用
4. テストに関する活動　テスト計画とテストプロセス、テストレベル(単体-統合-システム)

受講料 ¥198,000

クラウド
モダン開発(アジャイル開発含む)
開発工程全般・企画・設計
プログラミング・情報技術
品質・技法・信頼性
セキュリティ
プラットフォーム(Linux/Microsoft)
ITサービス
開発/基盤

セキュリティ

個人情報保護や情報セキュリティに関する基礎知識、セキュリティを考慮したシステム構築・管理に必要な技術が修得できます。

セキュリティの知識

最新動向

レベル1	レベル2	レベル3
	SCV041 オンライン セキュリティ最新動向 レクチャ 0.5日間	

セキュリティの基礎

レベル1	レベル2	レベル3
SCV052 オンライン 情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する− レクチャ 1日間		
SCE013 eラーニング 情報技術者に求められる セキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編− 音声有・説明文有 6時間		
SCE012 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編− 音声有・説明文有 6時間		
SCE014 eラーニング 情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策− 音声なし・説明文有 4時間		
New SDV012 オンライン ゼロトラスト概論−本質を理解し現代的なITインフラを設計するために−【アイ・ラーニングライブ配信】 レクチャ 0.5日間		

セキュリティマネジメント

レベル1	レベル2	レベル3
SCV052 オンライン 情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する− レクチャ 1日間		
SCE013 eラーニング 情報技術者に求められる セキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編− 音声有・説明文有 6時間		
SCE012 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編− 音声有・説明文有 6時間	SCE015 eラーニング 情報セキュリティマネジメント概説 −セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度− 音声なし・説明文有 8時間	SCV047 オンライン ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティ リスクマネジメント レクチャ 1日間
		SCV055 オンライン ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスク対策 グループ演習 1日間

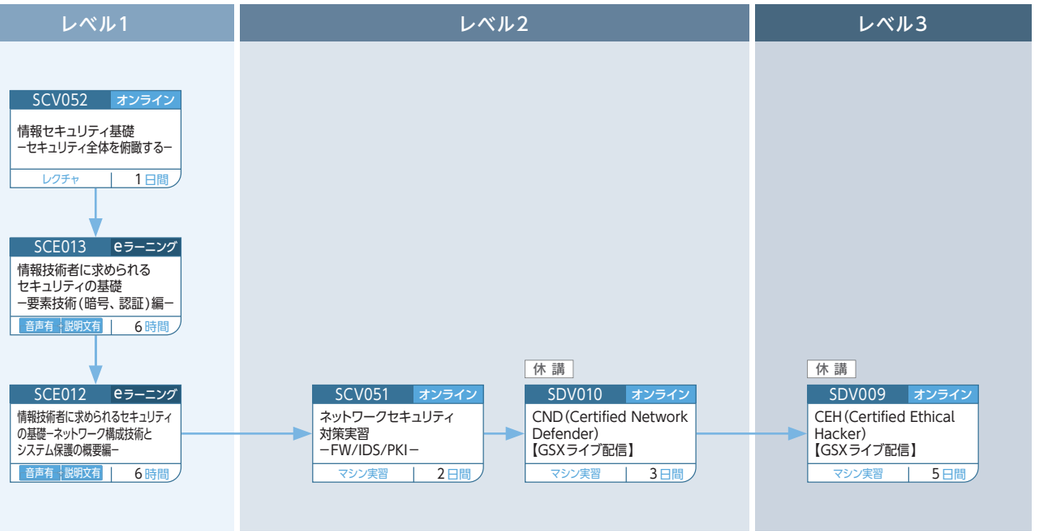
ネットワークセキュリティ

レベル1	レベル2	レベル3
SCV052 オンライン 情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する− レクチャ 1日間		
SCE013 eラーニング 情報技術者に求められる セキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編− 音声有・説明文有 6時間		
SCE012 eラーニング 情報技術者に求められるセキュリティの基礎−ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編− 音声有・説明文有 6時間	SCV051 オンライン ネットワークセキュリティ 対策実習 −FW/IDS/PKI− マシン実習 2日間	休講 SDV010 オンライン CND（Certified Network Defender） 【GSXライブ配信】 マシン実習 3日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有・説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

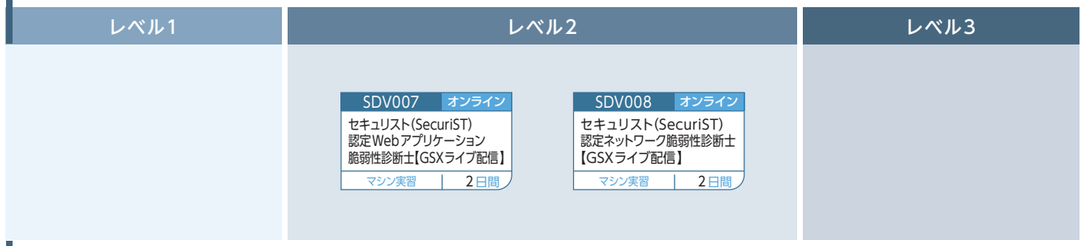
サイバー攻撃手法



暗号・認証・署名



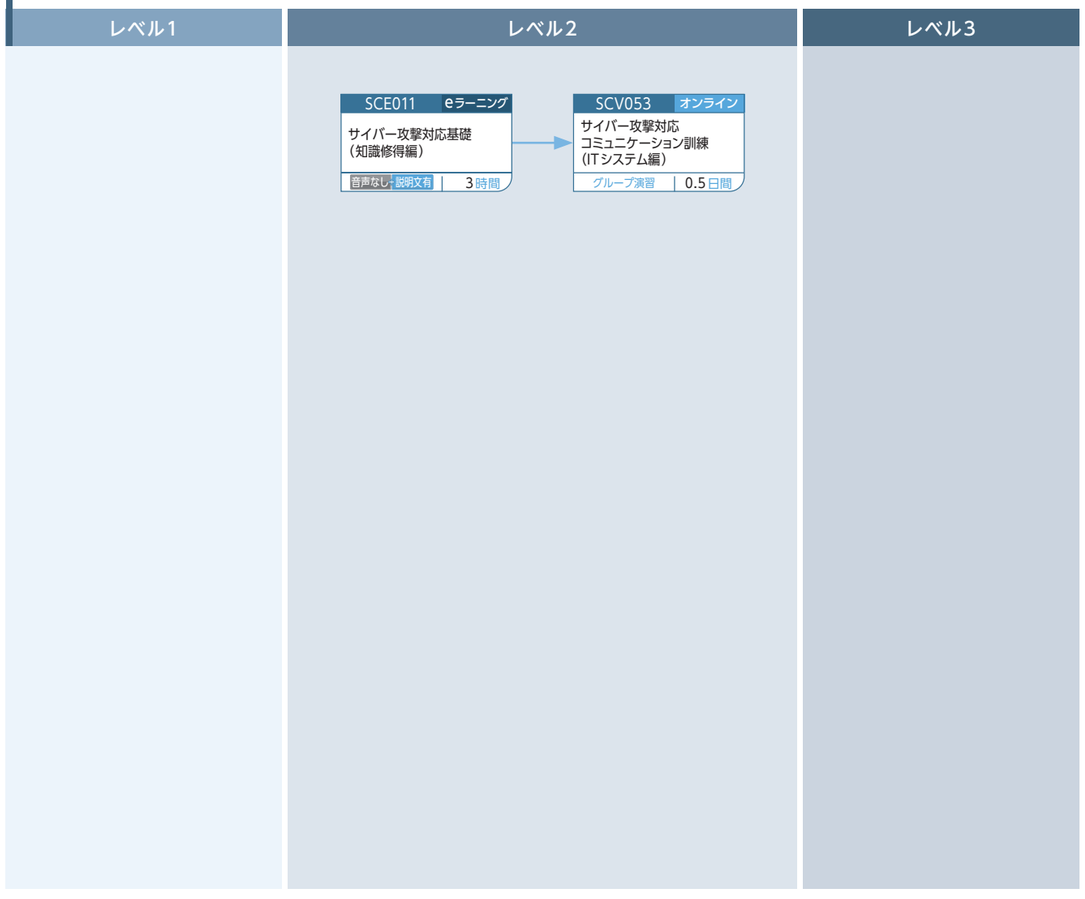
脆弱性診断



デジタルフォレンジック



サイバー攻撃時の初動対応スキル



資格 EC-Council認定資格

EC-Council認定資格は、EC-Council Internationalが「情報セキュリティ技術者として、一定水準以上の技術力を持つこと」を認定する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/ecc.html

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方。これから業務を担当される方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：業務上必要な知識・技術の修得を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、さらに高い業務遂行能力を期待されている方。（目安）ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン　コースコード SCV041

レクチャ 0.5日間

セキュリティ最新動向【バーチャル・クラスルーム】

セキュリティの基本概念からセキュリティ対策の最新動向を学習します。

到達目標
・セキュリティの必要性が説明できる。
・最新のセキュリティ脅威を説明できる。
・セキュリティ対策における最新動向を説明できる。

対象者 セキュリティの最新動向を知りたい方。

前提知識 オペレーティングシステム、およびネットワークに関する基本的な知識があること。

内　容
1. 情報セキュリティの基礎
2. 最新の攻撃方法と対策
3. セキュリティ対策の実際
4. 今後増加すると考えられる攻撃
5. 新しい対策技術
6. さらに知りたい人のために

受講料 ¥30,800

オンライン　コースコード SCV052

レクチャ 1日間

情報セキュリティ基礎 −セキュリティ全体を俯瞰する−【バーチャル・クラスルーム】

セキュリティの入門コースです（IPAの「基本情報技術者試験」相当）。・これからセキュリティを学ぶにあたり、セキュリティの全体像（俯瞰して捉える）と、基礎的な技術/事項の関連性を学習します。・研修の最後に、学びをアウトプットし合うグループワークを行います。

到達目標
・セキュリティの全体像を俯瞰して説明できる。
・自分の業務に関連するさまざまなセキュリティ技術について、内容と関係性を説明できる。

対象者
・これからセキュリティを学んでいく方。
・SIベンダー、情報システム部門の担当者の方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内　容
1. セキュリティとは
2. セキュリティに対する脅威
3. セキュリティの基礎技術
　(1)暗号
　(2)認証
4. セキュリティ対策
　(1)通信の制御
　(2)Webシステム対策
　(3)セキュアプロトコル
　(4)システムセキュリティ
5. セキュリティマネジメント

受講料 ¥44,000

eラーニング　コースコード SCE013

eラーニング 6時間

<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編−

安全性の高い情報システムの実現に利用される、セキュリティ要素技術の基礎について学習します。

到達目標
・セキュリティ技術の必要性について説明できる。
・共通鍵暗号や公開鍵暗号などの暗号技術について説明できる。
・認証の分類や代表的な方式について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. セキュリティの概要
2. 暗号技術
　(1)共通鍵暗号方式
　(2)公開鍵暗号方式
3. 認証技術
　(1)ユーザ認証
　(2)データ認証
4. 暗号や認証の利用例
　(1)公開鍵の信頼
　(2)Web通信における利用例
　(3)メール通信における利用例
5. 修了試験

受講料 ¥18,700

eラーニング　コースコード SCE012

eラーニング 6時間

<eラーニング> 情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−

ネットワークセキュリティの実現に使用される技術や、コンピュータを保護するためのOSのセキュリティ機能、コンピュータウイルス対策の概要について学習します。

到達目標
・ファイアウォールの機能や種類について説明できる。
・OSの機能設定によるシステム強化の手法について説明できる。
・コンピュータウイルスの概要と対策について説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理/構築する方。

前提知識 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −要素技術（暗号、認証）編−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ファイアウォール
　(1)ファイアウォールの役割
　(2)ファイアウォールの種類
2. VPN（Virtual Private Network）
　(1)VPNとは
　(2)VPNの種類
3. OSの機能設定によるセキュリティ
4. コンピュータウイルス
　(1)コンピュータウイルスの種類
　(2)コンピュータウイルス対策
5. 修了試験

受講料 ¥18,700

eラーニング　コースコード SCE014

eラーニング 4時間

<eラーニング> 情報セキュリティリテラシー −セキュリティの必要性と対策−

情報システムの利用者が理解しておくべきセキュリティ上の対策の必要性、および基礎的なセキュリティ用語について学習します。

到達目標
・情報システムにおけるセキュリティの必要性について説明できる。
・情報システムの利用者が理解しておくべき、セキュリティ上のリスクとその対策方法を説明できる。
・基礎的な情報セキュリティ用語を説明できる。

対象者 情報セキュリティに関する基礎知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 情報セキュリティ概要
2. 通常業務におけるリスクと対策
3. Web利用におけるリスクと対策
4. メール利用におけるリスクと対策
5. コンプライアンス
6. 修了試験

受講料 ¥9,900

オンライン　コースコード SDV012　New

レクチャ 0.5日間

ゼロトラスト概論−本質を理解し現代的なITインフラを設計するために−【アイ・ラーニングライブ配信】

このコースでは、ゼロトラストを正しく理解するための背景と本質を理解するためのポイントについて学習します。ゼロトラストはすべてを信頼しない考え方ではなく、信頼するためにどうすればいいのか？を突き詰め、信頼を積み上げていく考え方です。新しい考え方ではなく、これまでの技術やセキュリティの集積でしかありません。一方で、本質的な技術やセキュリティへの理解がないとゼロトラストを理解することもできないことも事実です。さらに、その実装には、現代の業務環境、ビジネス（事業）への理解、ガバナンスなど、自組織を取り巻く幅広い知見が求められます。このコースを受講することで、ゼロトラストは、現代において、事業を営む上でのリスクのコントロールやガバナンスを効率的に実現するための手段であることが理解できます。

到達目標 ゼロトラストの考え方を取り入れた、現代的なITインフラを設計するための基本的な知識を身に付けることができる。

対象者 情報システム担当者、セキュリティ担当者、SIerやセキュリティベンダー、IT顧問など、ITインフラやセキュリティに関わる方。

前提知識 特に必要としません。但し、ネットワーク、セキュリティ、アカウント管理、デバイス管理など、情報システムにかかわる実務経験があれば、より深く内容を理解できます。

内　容
1. 組織戦略としてのゼロトラスト
　(1)効率的にリスクをコントロールする
　(2)効率的にデータガバナンスを実現する
2. ゼロトラストが登場した本当の背景
　(1)境界型のネットワークセキュリティモデルとその限界
　(2)クラウドサービスの登場
　(3)ゼロトラストの登場
　(4)ゼロトラストがなぜ求められているのか？
3. ゼロトラストを理解するための3つ要素
　(1)サイバーハイジーン
　(2)動的ポリシー制御
　(3)パスワードレス（認可連携）
4. まとめ - ゼロトラストのデザインパターン
　(1)ITスタートアップ　(2)中規模の一般企業
　(3)製造系の大企業

受講料 ¥66,000

eラーニング　コースコード SCE015

eラーニング 8時間

<eラーニング> 情報セキュリティマネジメント概説 −セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度−

情報セキュリティ維持、個人情報保護のための管理システムと情報セキュリティに関連する規格、法律制度など管理的対策に関する概要を学びます。

到達目標
・情報セキュリティ、コンプライアンスの概念を説明できる。
・情報セキュリティ維持、個人情報保護のマネジメントシステムの概要を説明できる。
・情報セキュリティに関連する規格、法律制度を説明できる。

対象者 情報システムを運用/管理する方、情報セキュリティを計画/立案する方。

前提知識 コンピュータシステムの基礎知識があること。

内　容
1. 情報セキュリティの概要
2. 情報セキュリティマネジメントの基本概念
　(1)情報セキュリティマネジメントの概要
　(2)情報セキュリティポリシーの概要
3. リスクマネジメント
　(1)リスクアセスメント
　(2)リスク対応
4. 情報セキュリティの維持
　(1)ISMS認証基準
　(2)インシデントレスポンス
5. 情報セキュリティ関連の法規と規格
　(1)個人情報保護
　(2)サイバー犯罪関連法規
6. 修了試験

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード SCV047

レクチャ 1日間

ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスクマネジメント【バーチャル・クラスルーム】

部門の情報セキュリティマネジメントを構築するための基本事項・部門で守るべき情報資産の洗い出し・リスクアセスメントの実施、管理台帳の作成について、部門の情報セキュリティマネジメントの観点からケーススタディを通して修得します。

到達目標
・部門の情報セキュリティマネジメントの位置づけ、体制、構築対象、プロセスを説明できる。
・部門の情報資産の捉え方を理解し、リスクアセスメントができる。

対象者 情報セキュリティを計画・立案する方。

前提知識 「情報セキュリティマネジメント概説-セキュリティポリシー、リスク管理の概要と法制度-Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 情報セキュリティマネジメントの構築
　(1)情報セキュリティ対策の基本
　(2)情報セキュリティ規程の体系と部門ルール
2. 情報資産の調査と分類、管理台帳
　(1)守るべき情報資産の洗い出し
　(2)情報資産の分類
3. リスクアセスメントの実施
　(1)リスクアセスメントの流れ
　(2)アプローチ方法と例
　(3)情報セキュリティ対策
4. ケーススタディ

受講料 ¥44,000

オンライン　コースコード SCV055

グループ演習 1日間

ケーススタディから学ぶ 情報セキュリティリスク対策【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、令和５年度の情報処理安全確保支援士の特定講習（資格更新のための民間講習）として認定されました。このコースでは、ケーススタディを通じて、情報セキュリティ対策の具体的な立案方法を学習します。ケーススタディでは、脆弱性への対策、脅威への対策、残存リスクの評価などを行います。また併せて、対策立案時の実務におけるポイントやノウハウ（再利用可能な整理の仕方など）も解説します。

到達目標
・情報資産へのリスクに対し、適切なセキュリティ対策を立案できる。
・部門内の情報セキュリティ担当・管理者が、主体的に作業を推進できる。

対象者 情報セキュリティの対策を立案する方。

前提知識
・情報資産の洗い出しとリスクアセスメント（リスク査定）の経験があること。
・情報セキュリティマネジメントの構築または運用に関連した業務の経験があること。
・「ケーススタディから学ぶ情報セキュリティリスクマネジメント」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
・情報セキュリティに関する基本的な技術的要件を理解していること。

内　容
1. 講座の進め方
2. 状況設定
　(1)会社概要　(2)フロア図
　(3)組織と役割　(4)システム概要
　(5)システム論理構成　(6)ハードウェア構成
　(7)ソフトウェア構成　(8)PaaS構成
　(9)ショッピングサイト：顧客フロー
　(10)社内システム：利用用途
3. ケーススタディ
　(1)ケーススタディ概要
　(2)ケーススタディ1（情報セキュリティリスクの識別）
　(3)ケーススタディ2（情報セキュリティリスク対策の検討と選定）
　(4)ケーススタディ3（想定される攻撃に対する情報セキュリティリスク対策の検討）

受講料 ¥60,500

オンライン　コースコード SCV051

マシン実習 2日間

ネットワークセキュリティ対策実習 −FW/IDS/PKI−【バーチャル・クラスルーム】

実機を用いて、ネットワークセキュリティにおける攻撃手法および防御手法を学習します。

到達目標
・不正アクセスの手法や危険性が説明できる。
・ファイアウォールや侵入検知システムが構成できる。
・ユーザ認証の仕組みやTLS/SSLの動作が説明できる。

対象者 情報システムにおいてネットワークやサーバを管理する方。

前提知識 「情報技術者に求められるセキュリティの基礎 −ネットワーク構成技術とシステム保護の概要編−Jeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. 攻撃方法とセキュリティ対策
2. ファイアウォール
3. ユーザ認証
4. 侵入検知システム
5. 安全な通信の実現

受講料 ¥77,000

オンライン　コースコード SDV010　休講

マシン実習 3日間

CND（Certified Network Defender）【GSXライブ配信】

ネットワーク技術者やCSIRT担当者がITセキュリティインシデントの初期段階からセキュリティに関する防御～検出～対応～予測までのネットワークのセキュリティ問題に効果的に対処するための包括的なトレーニングです。企業や組織における事業の悪化を最小化し、リスクを排除することができるようにするためのスキル修得プログラムです。このコースは受講後6か月間iLabs（オンライン接続の仮想演習環境）を使用することができます。
※2023上よりv2対応となります。

到達目標
・ネットワークのセキュリティ設計・構築・運用にかかわる全般的な知識を修得（ゼロトラスト／エンドポイントセキュリティ、クラウドセキュリティ、仮想ネットワークセキュリティ）できる。
・セキュリティインシデントの分析と対応方法を修得できる。
・基本的なセキュリティコントロール・技術スキルを修得できる。
・国際認定資格　認定ネットワークディフェンダー認定試験に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報セキュリティ対策に必要なスキル修得をしたいネットワーク技術者および企業のCSIRT・SOC担当者の方。

前提知識 ネットワークの概念について基礎的な知識を有していること（2年以上のネットワークエンジニア経験）。あるいはCisco CCDAまたはCCNA、CompTIA Network+またはSecurity+、IPAネットワークスペシャリストの資格保有者または同等レベルの知識があること。

内　容
1. ネットワーク攻撃と防御戦略
2. ネットワークセキュリティ管理
3. 技術的なネットワークセキュリティ
4. ネットワーク境界セキュリティ
5. エンドポイントセキュリティ　-Windowsシステム
6. エンドポイントセキュリティ　-Linux
7. エンドポイントセキュリティ　-モバイルデバイス
8. エンドポイントセキュリティ　-IoT
9. アプリケーションのセキュリティの管理
10. データセキュリティ
11. エンタープライズ仮想ネットワークセキュリティ
12. エンタープライズクラウドネットワークセキュリティ
13. エンタープライズ無線ネットワークセキュリティ
14. ネットワークトラフィックの監視と分析
15. ネットワークログの監視と分析
16. インシデントレスポンスとフォレンジック調査
17. ビジネス継続性とディザスタリカバリ
18. リスク管理によるリスク予測
19. 攻撃表面分析による脅威評価
20. サイバー脅威インテリジェンスによる脅威予測

受講料 ¥327,800

オンライン　コースコード SDV009　休講

マシン実習 5日間

CEH（Certified Ethical Hacker）【GSXライブ配信】

セキュリティ脅威や手口を学ぶことにより、「現実の攻撃手法」を体系的に理解し、ホワイトハッカーとして「攻撃者視点」の判断力を養い、効果的に防御に生かすことを修得できるプログラムです。最新のケーススタディ、現在の傾向、クラウド、IoT／OTの専用モジュールで学習することができます。このコースは受講後6か月間iLabs（オンライン接続の仮想演習環境）を使用することができます。
※2023上よりv12対応となります。また、再試験が2回まで割引価格となります（当初3回と記載していましたが、GSX社より2回に変更になったとの通知がありました）。

到達目標
・セキュリティ管理、セキュリティコントロールの知識修得とホワイトハッカーの倫理を修得できる。
・各レイヤーの攻撃ツールの操作方法の修得、攻撃シナリオの理解、攻撃を回避する手法を修得できる。
・暗号化技術の理解、クラウドのさまざまな状況における攻撃視点を理解できる。
・国際認定資格　認定ホワイトハッカー認定試験に合格できる実力を身につけることができる。

対象者
・情報セキュリティの責任者／監査人／専門家、サイト管理者の方。
・ホワイトハッカーをめざす方。

前提知識 サイバーセキュリティ技術に関するある程度のスキルを有していること（3～5年のセキュリティに関わる経験）。あるいは「CND（Certified Network Defender）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ホワイトハッキングの紹介
2. フットプリンティングと調査
3. ネットワークの診断
4. 列挙（Enumeration）
5. 脆弱性解析
6. システムハッキング
7. マルウェアの脅威
8. スニッフィング
9. ソーシャルエンジニアリング
10. サービス拒否（DoS）
11. セッション・ハイジャック
12. ファイアウォール、IDS、ハニーポットの回避
13. Webサーバへのハッキング
14. Webアプリケーションへのハッキング
15. SQLインジェクション
16. ワイヤレスネットワークのハッキング
17. モバイルプラットフォームへのハッキング
18. IoT／OTへのハッキング
19. クラウドコンピューティング
20. 暗号技術

受講料 ¥547,800

プラットフォーム（Linux/Microsoft）

Linuxや Microsoft 製品を用いたシステム構築・運用管理に関する技術が修得できます。

CHFI (Computer Hacking Forensic Investigator)【GSXライブ配信】

オンライン / コースコード SDV011 / 休講

マシン実習 4日間

デジタルフォレンジックを体系的に学び、調査分析プロセスの全体感を理解することでアラート発生時に適切かつ迅速に痕跡を見つけ、分析・判断ができるスキルを習得する講習+ハンズオンのコースです。

到達目標
- インシデント発生時、適切な初動を行うために、広範囲に渡る調査に関する勘所をおさえる。
- さまざまな範囲でカバーするフォレンジック調査のシナリオとテクニックをサイバーレンジ演習環境で実習し実践力を修得する。
- インシデント対応におけるフォレンジックの役割、レポートの作成方法、証拠データの取扱について体系化された知識とスキルを修得する。
- 国際認定資格CHFI試験に合格する。

対象者
- セキュリティ部門でスキルアップをされたい方。
- デジタルフォレンジックに関わっている方。
- 今後デジタルフォレンジックを担当される方。

前提知識 インシデント対応に関する基本的な知識や理解、ネットワークの概念についての基礎的な知識があること。
例：ネットワーク技術・運用で2～3年程度の経験、Cisco CCNA、CompTIA Security+、EC-Council CNDの資格保持者または同等のスキル保持者

内 容
1. 今日の社会におけるコンピュータフォレンジック
2. コンピュータフォレンジック調査プロセス
3. ハードディスクとファイルシステムについて
4. データの取得と重複
5. 反フォレンジック技術を打ち破る
6. ウィンドウズフォレンジック
7. LinuxとMacフォレンジック
8. ネットワークフォレンジック
9. Web攻撃の調査
10. ダークウェブフォレンジック
11. データベースフォレンジック
12. クラウドフォレンジック
13. 電子メールの犯罪の調査
14. マルウェアフォレンジック
15. モバイルフォレンジック
16. IoTフォレンジック

受講料 ¥404,800

セキュアプロトコル解析【バーチャル・クラスルーム】

オンライン / コースコード SCV054

マシン実習 2日間

このコースでは、ゼロトラストにおいて使用される認証や暗号のプロトコルについて、その構造や仕組みを学習します。プロトコルによって実現できることだけでなく、その原理を深堀りすることで、技術の応用や、トラブル時の対処ができる人財の育成をめざします。

到達目標
- 代表的なセキュアプロトコルについて、そのプロトコルの構造や原理を理解し、セキュアなシステムの設計や調査・分析に活用できる。
- 代表的なハッシュ関数とその挙動を説明できる。ハッシュ関数に対する攻撃の概要を説明できる。
- 暗号の構成を理解し、ブロック暗号の仕掛けや、RSA公開鍵暗号の理論を説明できる。
- デジタル署名の性質と作り方を説明できる。
- 秘密情報の共有の種類とDH鍵交換の理論を説明できる。
- PKIを支える技術と利用方法について説明できる。
- 安全な通信を実現する代表的な手段の動作原理を説明できる。

対象者
- 情報セキュリティの理論・技術について、深く知りたい方。
- セキュリティの専門家を今後めざしていく方。

前提知識
- 「ネットワークセキュリティ対策実習-FW/IDS/PKI-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- 認証や暗号など、一般的なセキュリティの基礎知識があること。

内 容
1. ゼロトラストとは
2. ハッシュ関数
3. 公開鍵暗号
4. デジタル署名
5. 鍵共有
6. 認証（X. 509）とPKI
7. 安全な通信（TLS、IPSec、SSH、S/MIME）

受講料 ¥121,000

セキュリスト（SecuriST）認定Webアプリケーション脆弱性診断士【GSXライブ配信】

オンライン / コースコード SDV007

マシン実習 2日間

セキュアなWebサイト構築のためのセキュリティテストとして、適切なWebアプリケーション脆弱性診断の実施が必要なことは知られてきました。しかし、脆弱性診断を自動化するツールはさまざまなものがありますが、自動診断ツールが発見した脆弱性を修正するだけでは不十分です。これは多くの脆弱性診断会社の診断サービスが、いまだに経験を積んだ診断員の手作業を交えて診断を行っていることからもわかるかと思います。認定Webアプリケーション脆弱性診断士（Web application Security Testing）は、Webアプリケーション脆弱性診断に取り組むために必要な攻撃技術の知識、診断技術や脆弱性判定の基準などを修得、認定することを目的にしています。

到達目標
- Webシステム、Webアプリケーション脆弱性について説明できる。
- 脆弱性を発見するための手段やツールについて説明できる。
- 脆弱性かどうかを判定する基準を説明できる。
- 発見した脆弱性をどのように報告すればよいか判断できる。

対象者
- 脆弱性診断の技術を身につけたいが何から始めて良いかわからないといった悩みを持っている方。
- イントラネット／インターネット向けのWebシステム／Webアプリケーションに関わる方。

前提知識 開発言語を使ったプログラム経験があること（例：VB、C++、PHPなど）。
※ご経験がない方もご受講いただけます。

内 容
1. Webアプリケーションの脅威とその攻撃手法
   (1)脆弱性とセキュリティ機能の不足
   (2)Webサイトへの攻撃とその特長
   (3)HTTPの基礎
   (4)Webアプリケーションへの攻撃手法
2. 脆弱性診断の実施
   (1)Webアプリケーション脆弱性診断の実施手順
   (2)自動と手動の診断手法
   (3)自動診断ツールの得意分野と不得意分野
   (4)注意すべき診断ツールの設定
   (5)診断結果の検証
   (6)診断リスト（テストケース）の作成
   (7)脆弱性診断の診断方法と脆弱性の有無の判定方法
   (8)脆弱性診断の診断対象の選び方
   (9)報告書の作成
   (10)診断会社の業務における脆弱性診断
3. 脆弱性診断演習
   (1)診断ツールのセットアップ
   (2)自動診断ツールの使い方
   (3)手動診断補助ツールの使い方
   (4)各脆弱性に対応した診断方法
   (5)実際の診断業務を想定した演習

受講料 ¥220,000

セキュリスト（SecuriST）認定ネットワーク脆弱性診断士【GSXライブ配信】

オンライン / コースコード SDV008

マシン実習 2日間

ネットワークシステムのセキュリティ上の弱点を発見するには、セキュリティスキャナーなどのツールによる診断は効果的な方法の1つです。しかし、セキュリティスキャナーで発見できる問題は全体の一部だけです。実際の攻撃者はもっと多くの情報を収集し、システムを攻撃しようとします。認定ネットワーク脆弱性診断士（Network Security Testing）は、ネットワーク脆弱性を適切に、かつ効率的に発見するために必要な知識、診断技術、リスクの算出方法などを修得、認定することを目的にしています。

到達目標
- ネットワークシステムの脆弱性について説明できる。
- どの範囲まで、どのレベルまで脆弱性を探せば適切なのか判断できる。
- 脆弱性を発見するための手段やツールについて説明できる。
- 発見した脆弱性がどのぐらいのリスクなのか判断できる。

対象者
- 脆弱性診断の技術を身につけたいが何から始めて良いかわからないといった悩みを持っている方。
- イントラネット／インターネット向けのネットワークシステムに関わる方。

前提知識
- OSのインストール経験があること（例：WindowsやLinux、MacOSなど）。
- ホームルーターの設定経験があること。
※ご経験がない方もご受講いただけます。

内 容
1. ネットワーク脆弱性診断の基礎知識
   (1)診断対象となるシステムについて
   (2)診断で得られる情報　(3)診断についての推奨事項
   (4)診断実行者の役割と責任
2. フットプリンティング／OSINT
   (1)公開された情報のチェック
   (2)OSINT（Open Source Intelligence）
   (3)IPアドレスの登録情報　(4)DNS、WHOIS、命名規則
   (5)検索エンジン、GHDB　(6)公式Webサイト
   (7)DNS環境のチェック
3. ポートスキャン／ネットワークスキャン
   (1)ポートスキャン／ネットワークスキャンの目的
   (2)スキャン実行後の対応　(3)診断対象リストの作成
   (4)スキャンの実行　(5)スキャンとファイアウォール
4. アカウントの検査
   (1)アカウント名の列挙　(2)認証強度の確認
   (3)デフォルトアカウント・パスワード
   (4)パスワードクラッカー
5. セキュリティスキャナー
   (1)セキュリティスキャナーの機能
   (2)セキュリティスキャナーの問題点
   (3)セキュリティスキャナーの使い方
   (4)発見した脆弱性の存在を確認
6. レポート
   (1)診断報告書に関する要件　(2)報告書の内容
   (3)脆弱性情報の情報源　(4)脆弱性の深刻度の評価

受講料 ¥220,000

<eラーニング> サイバー攻撃対応基礎（知識修得編）

eラーニング / コースコード SCE011

eラーニング 3時間

サイバー攻撃に関して最低限必要な基礎知識の解説と、インシデント発生時の対応方法を解説します。

到達目標
- サイバー攻撃に伴う予防の対応を説明できる。
- サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動の対応を説明できる。

対象者 情報システムを運用・管理する方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

内 容
1. 基礎知識修得編
   (1)日常業務での注意点
   (2)サイバー攻撃への対処
   (3)開発時の注意点
   (4)脆弱性情報の収集と対策検討
   (5)インシデント発生時の備え
   (6)まとめ
2. 体験学習編
   (1)標的型攻撃による情報漏えい
   (2)ランサムウェア感染による業務妨害
   (3)Webアプリケーションの脆弱性とサービス妨害攻撃
   (4)内部不正、過失による自社からの情報漏えい
   (5)サイバー攻撃を防ぐために

受講料 ¥11,000

サイバー攻撃対応コミュニケーション訓練（ITシステム編）【バーチャル・クラスルーム】

オンライン / コースコード SCV053

グループ演習 0.5日間

ITシステムのセキュリティインシデントを疑似体験するコースです。参加者は、事業責任者、システム担当者、広報などになり代わり、セキュリティインシデントのボードゲームを通して、インシデント発生時の迅速な意思決定、関係者とのコミュニケーションを疑似体験します。

到達目標 サイバー攻撃に伴うインシデント発生時の初動対応ができる。

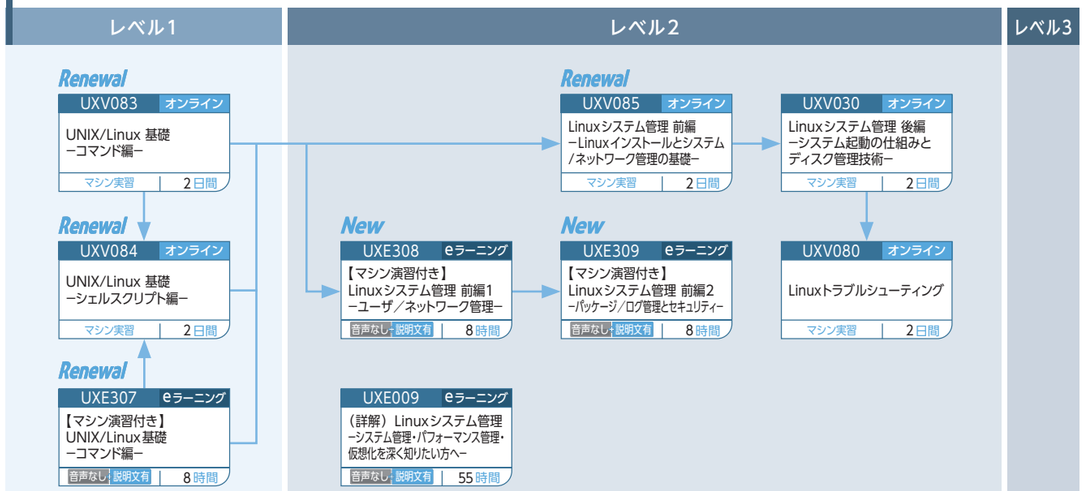
対象者
- セキュリティインシデントの対応についての基礎知識を必要とする方。
- ITシステムを運用・管理している方。
- ITシステムを利用している方、または部門のセキュリティ担当の方。

前提知識 ITに関する基礎的な知識があること。

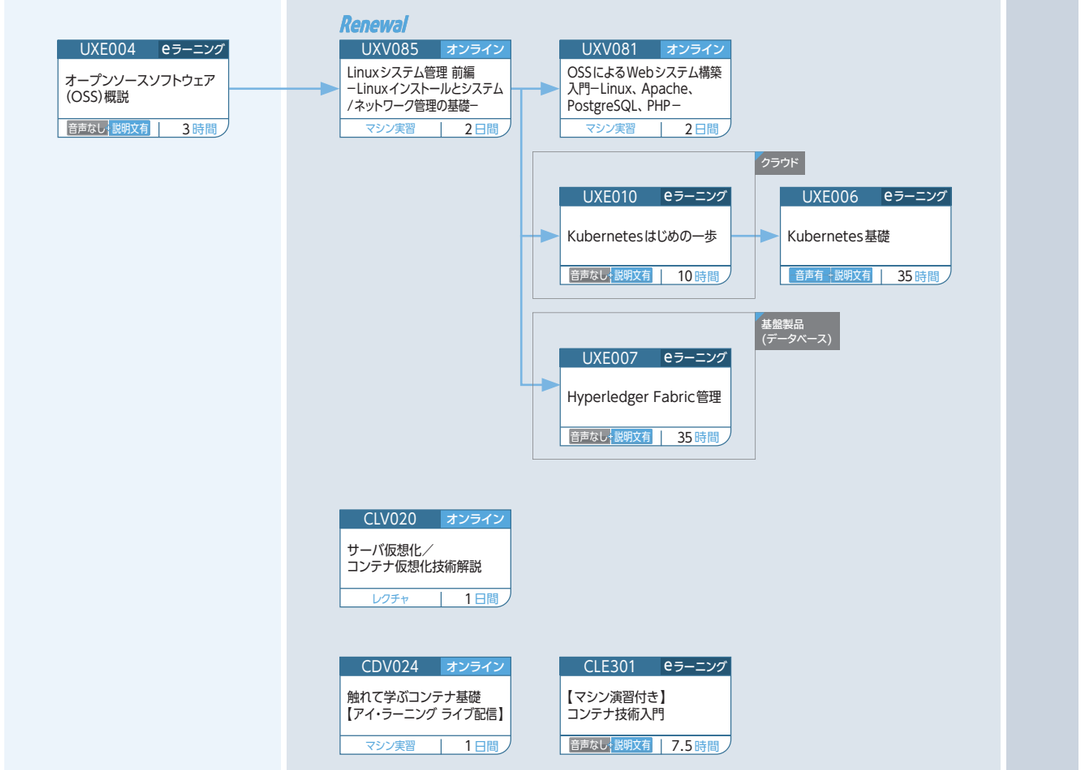
内 容
1. セキュリティインシデントとは
2. グループワークによるコミュニケーション訓練
3. 各グループ発表
4. 講評

受講料 ¥28,600

UNIX/Linuxを使用してシステムを構築・運用・管理する方

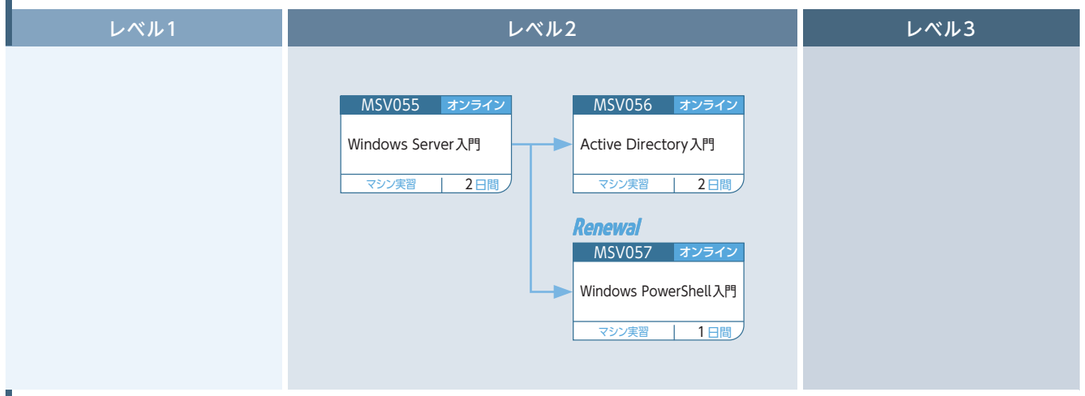


OSSを使用してシステムを構築・運用・管理する方

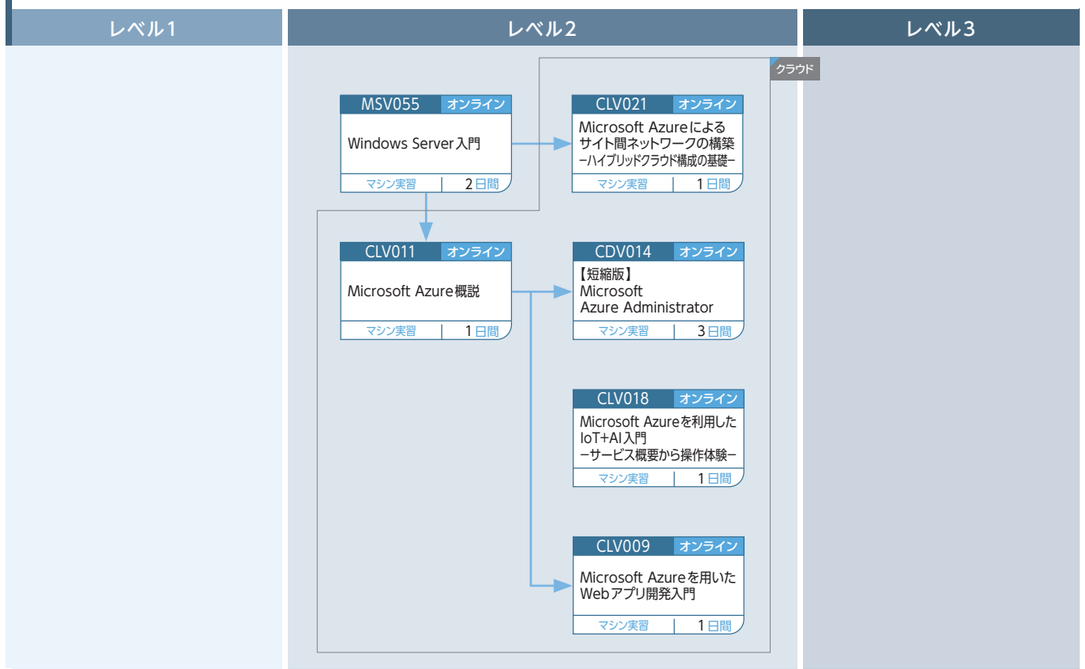


レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

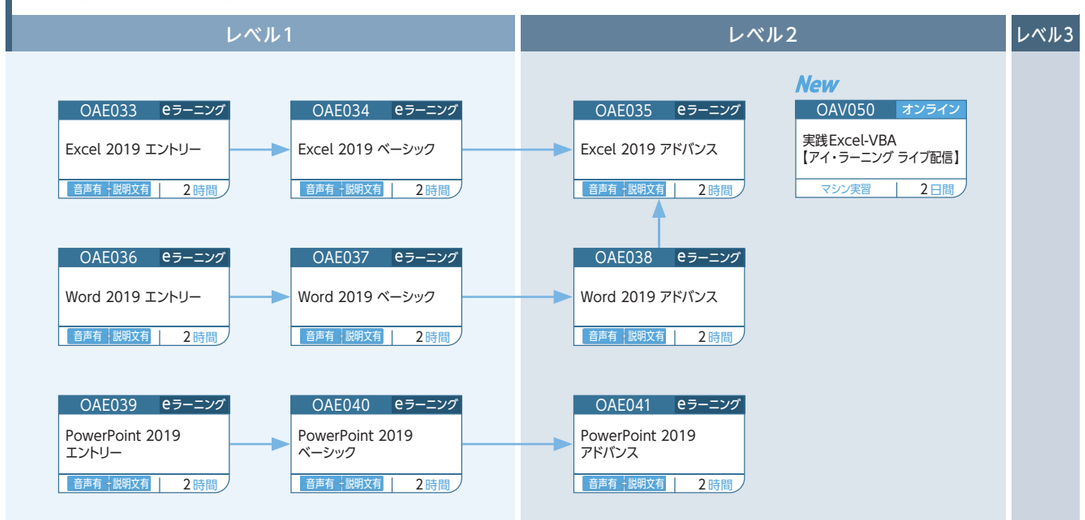
Windows Serverを使用してシステムを構築・運用・管理する方



Microsoft Azureを使用してシステムを構築・運用・管理する方



Office製品をこれから使用する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード UXV083 Renewal

UNIX/Linux 基礎 −コマンド編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

UNIXおよびLinuxOSの基本機能とコマンドの基本操作を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
・ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者 UNIXまたはLinux OSの初心者の方で基礎から学習したい方。

前提知識 コンピュータの基礎知識があること。

内 容
1. UNIX/Linux概要
2. ファイルシステムとコマンド
3. ファイルとディレクトリのパーミッション
4. Viエディタ
5. シェルの機能
6. UNIX/Linuxのネットワーク操作

受講料 ¥66,000

オンライン コースコード UXV084 Renewal

UNIX/Linux 基礎 −シェルスクリプト編−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

シェルスクリプトの作成に必要なプログラミング技術を修得するとともに、シェルの機能をより深く理解することができます。

到達目標 ・シェルスクリプト作成に必要なプログラミング技術を説明できる。
・シェルの機能を説明できる。

対象者 UNIX/Linuxでシェルスクリプトの作成をする方。システムの管理者の方。

前提知識 「UNIX／Linux基礎−コマンド編−」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. シェルとシェルスクリプトの概要
2. パラメータの取り扱い
3. 算術評価と文字列操作
4. 制御文（分岐/繰り返しなど）
5. 関数の利用
6. 実践的なシェルスクリプト

受講料 ¥66,000

eラーニング コースコード UXE307 Renewal

<eラーニング>【マシン演習付き】UNIX／Linux基礎 −コマンド編−

eラーニング 8時間

UNIX/Linuxの基本的なコマンドの機能、使用方法を学習します。

到達目標 ・UNIX/Linuxの基本的な操作ができる。
・ネットワークの基本コマンドを実行できる。

対象者 UNIX/Linux初心者の方で、基礎から学習したい方。

前提知識 オペレーティングシステムおよびネットワークに関する基本的な知識があること。

内 容
1. UNIX/Linux概要
2. ファイルシステムとコマンド
3. ファイルとディレクトリのパーミッション
4. viエディタ
5. シェルの機能
6 vUNIX/Linuxのネットワーク操作
7. 修了試験

受講料 ¥33,000

オンライン コースコード UXV085 Renewal

Linuxシステム管理 前編 −Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通して、ユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

到達目標 ・Linuxをインストールできる。
・Linuxシステムの運用・管理で必要となる、ユーザ管理、パッケージ管理およびログ管理などができる。
・Linuxにてネットワークを利用するための設定ができる。

対象者 Linuxシステムを初めて運用・管理する方。

前提知識 「UNIX／Linux基礎−コマンド編−」コース/eラーニングコースを修了しているか、および「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. Linuxシステム管理の基礎
2. Linuxのインストール
3. ネットワークの基本設定とサービスの制御
4. ユーザ/グループ管理とパーミッション
5. パッケージ管理
6. ジョブスケジューリング
7. ログの取得と管理
8. セキュリティ

受講料 ¥99,000

オンライン コースコード UXV030

Linuxシステム管理 後編 −システム起動の仕組みとディスク管理技術−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Linuxシステムの起動の方法、およびディスク管理に必要な知識を学習します。また、マシン実習を通して、ファイルシステムの構築方法やLVMのディスク管理方法を体験します。

到達目標 ・Linuxシステムの起動の仕組みを説明できる。
・新規にパーティションやファイルシステムの作成ができる。
・LVMやiSCSIによる高度なディスク管理ができる。

対象者 Linuxシステムを運用・管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編−Linuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. システムの起動
2. ファイルシステムの作成と管理
(1)ファイルシステムの作成の手順
(2)ファイルシステムの修復
(3)ファイルシステムの管理
(4)ファイルシステムの使用量の制限
3. バックアップとリストア
4. LVM概要と環境構築
5. LVMの管理
(1)LVMの特性変更
(2)LVMの拡張
(3)LVMの縮小
(4)LVMの削除
6. iSCSI
(1)ストレージの共有
(2)iSCSIとは
(3)iSCSIの設定

受講料 ¥77,000

eラーニング コースコード UXE308 New

<eラーニング>【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編1 −ユーザ／ネットワーク管理−

eラーニング 8時間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通してユーザ管理、およびネットワーク設定方法などのシステム管理作業を体験します。

到達目標 ・Linuxオペレーティングシステムの運用・管理ができる。
・Linuxネットワークの運用・管理ができる。

対象者 Linuxオペレーティングシステムおよびネットワークを運用・管理する方。

前提知識 「UNIX／Linux基礎−コマンド編−」コース/eラーニングコースを修了しているか、および「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 起動・終了とハードディスクの基礎
2. ユーザ／グループ管理とパーミッション
3. ネットワークの基本設定とサービスの制御

受講料 ¥49,500

eラーニング　コースコード UXE309　New

<eラーニング>【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編2 ーパッケージ／ログ管理とセキュリティー

eラーニング 8時間

Linuxシステムの管理や運用に必要な基礎知識を学習します。また、マシン実習を通してパッケージ管理、およびログ管理などのシステム管理作業を体験します。

到達目標
・Linuxオペレーティングシステムのパッケージ/ログ運用・管理ができる。
・Linuxシステム運用・管理をしていくうえで必要なセキュリティ知識を身につける。

対象者 Linuxオペレーティングシステムを運用・管理する方。

前提知識 「【マシン演習付き】Linuxシステム管理 前編1ーユーザ/ネットワーク管理ーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. パッケージ管理
2. ジョブスケジューリング
3. ログの管理
4. セキュリティ

受講料 ¥49,500

オンライン　コースコード UXV080

Linuxトラブルシューティング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

このコースではLinuxで発生するトラブルの原因分析方法と解決策を学習します。マシン実習では、運用中に実際に発生する可能性のあるトラブルを再現し、原因の分析と復旧作業を行います。

到達目標
・トラブル発生時の対応手順を説明できる。
・Linuxシステムのトラブル発生時に、緊急ブート手段でブートできる。
・Linuxシステムのトラブル発生状況から原因を究明し復旧できる。

対象者 Linuxシステムの運用／管理する方。

前提知識 「Linuxシステム管理後編ーシステム起動の仕組みとディスク管理技術ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. トラブルシューティング概要
 (1)トラブルの種類
 (2)トラブルシューティングの流れ
 (3)情報の収集手段
 (4)バックアップとリストア
 (5)トラブル発生時のLinux起動
2. ブート時のトラブルシューティング
 (1)ブートの仕組み
 (2)ブートデバイス関連のトラブルシューティング
 (3)ブートローダ関連のトラブルシューティング
 (4)init/systemd関連のトラブルシューティング
3. システム稼働中のトラブルシューティング
 (1)ログインの仕組み
 (2)ログイン関連のトラブルシューティング
 (3)ファイルシステムの仕組み
 (4)ファイルシステム関連のトラブルシューティング
4. ネットワークのトラブルシューティング
 (1)ネットワークコマンドと設定ファイル
 (2)ネットワークトラブルの原因と調査方法
 (3)ネットワーク設定関連のトラブルシューティング

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード UXE009

<eラーニング>（詳解）Linuxシステム管理ーシステム管理・パフォーマンス管理・仮想化を深く知りたい方へー

eラーニング 55時間

3つの主要なLinuxディストリビューション（Red Hat、SUSE、Debian / Ubuntu）におけるLinuxシステムの管理・設定・アップグレードの方法を学びます。また、本番環境でのLinuxインフラを効率的に構築・管理するために必要なツールと概念についても学びます。Linux Foundation Certified Systems Administrator（LFCS）認定テストの受験対策としても役に立ちます。
※このコースは、Linux Foundation認定のコース「原題：Linux System Administration（LFS201-JP）」と同一コンテンツとなります。

到達目標
・Linuxファイルシステムの概要と仕組みを説明できる。
・ディスクとパーティション管理の概要を説明できる。
・プロセスとその扱い方を説明できる。
・パッケージ管理についての説明と操作ができる。
・システムのパフォーマンス監視の基本とツールを理解できる。
・論理ボリューム管理（LVM）、ディスク暗号化、RAIDについて説明できる。
・コンテナを含む仮想化の概要を説明できる。
・ユーザとグループ管理を説明できる。
・ファイルのパーミッション、認証モジュール（PAM）について説明できる。
・ネットワーク管理の基本を説明できる。
・システムの起動と初期化、シャットダウンの仕組みと操作を説明できる。
・Linuxシステムのバックアップと復旧の概要を説明し操作できる。
・Linuxシステムのセキュリティについての概要を説明できる。
・Linuxのトラブルシューティングとシステムレスキューの概要を説明できる。

対象者
・IT初級者の方、またはLinux以外のOS使用経験があるが、これからLinuxシステム管理に携わりたい方。
・クラウド上のサーバの基礎としてのLinux管理について知識を得たいクラウドサービス利用経験者の方。
・Linuxシステム管理 前編または後編コースを修了後、さらなるステップアップをめざしたい方。

前提知識 「UNIX／Linux基礎ーコマンド編ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。かつ、「ネットワーク基礎Ⅱ ーTCP/IPの仕組みーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容 内容はWebサイトにてご確認ください

受講料 ¥36,300

eラーニング　コースコード UXE004

<eラーニング> オープンソースソフトウェア（OSS）概説

eラーニング 3時間

OSSのビジネスモデルや活用領域の紹介を通して、さまざまな分野におけるOSSの利活用手法の基礎を学習します。

到達目標
・OSSの概要を説明できる。
・OSSの活用方法を説明できる。
・OSSが活用されている分野を理解できる。

対象者
・OSSの概要を修得したい方。
・OSS関連事業に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. OSSとは
2. OSSの活用領域
3. OSS活用におけるコンプライアンス

受講料 ¥9,900

オンライン　コースコード UXV081

OSSによるWebシステム構築入門ーLinux、Apache、PostgreSQL、PHPー【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

OSSからアプリケーションソフトウェアまで、OSSのみ使用したWebシステムの構築方法を学習します。また、OSSを利用する時の注意事項やDBサーバの構築方法なども学習します。

到達目標 Linux上で、Apache、PostgreSQL、PHPを使ったWeb・DB連携システムを構築できる。

対象者 OSSでWebシステムを構築する方。

前提知識 「Linuxシステム管理前編ーLinuxインストールとシステム/ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. オープンソースソフトウェア（OSS）概要
2. Linux
3. Apache
4. PostgreSQL
5. PHP

受講料 ¥77,000

オンライン　コースコード CLV020

サーバ仮想化／コンテナ仮想化技術解説【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

・サーバ仮想化に関する基礎知識を学習します。
・コンテナ仮想化に関する基礎知識を学習します。
・OSS仮想化ソフトウェアに関する基礎知識を学習します。

到達目標
・サーバを仮想化するための技術概要・今後の動向を説明できる。
・コンテナ仮想化を支える技術を理解・説明できる。

対象者
・DXの基盤を支えるサーバインフラ・クラウドインフラに共通する仮想化テクノロジーを知りたいシステムアーキテクト、ソフトウェアエンジニアの方。
・仮想化システムの提案・構築をする方。

前提知識 「UNIX／Linux基礎ーコマンド編ー」コース/eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. サーバ/コンテナ仮想化の概要
 (1)サーバ仮想化
 (2)コンテナ仮想化
 (3)コンテナランタイム、コンテナオーケストレーション
 (4)クラウドネイティブ、サーバレス
2. インフラの仮想化を支える技術群
 (1)Intel VT、準仮想化、完全仮想化、Hardware仮想化
 (2)Infiniband、RDMA、Intel Persistent memory
 (3)SDN（AHV、NSX）、SDS（vSAN、NDFS、S2D）
3. OSS仮想化技術
 (1)Xen、QEMU、KVM
 (2)chroot、jail、LXC、Docker
 (3)CRI、CRI-O、runc
 (4)Google Borg、Kubernetes
 (5)Istio、Consul、Knative

受講料 ¥38,500

オンライン　コースコード CDV024

触れて学ぶコンテナ基礎【アイ・ラーニング ライブ配信】

マシン実習 1日間

アプリケーション開発者に限らず、クラウドネイティブへの移行をめざす方々向けの基本スキル取得コースとして必要最低限な内容をコンパクトに提供するシリーズです。このコースでは、初学者向けにコンテナ技術とDockerの概要からDockerの導入、コンテナおよびイメージの基本操作までコンテナ技術の基本動作原理とコンセプトをご説明します。

到達目標
・コンテナ技術の基本動作原理とコンセプトを理解する。
・Dockerの用途に応じた導入と基本的なコマンド操作が可能になる。
・目的に適したコンテナ・イメージの作成ができる。
・レジストリからのイメージの取得や共有ができる。
・マルチコンテナ環境のアプリケーション構築が可能になる。

対象者 システムのクラウドネイティブへの移行をめざす方々、または開発者の方。

前提知識 基本的なLinuxの知識と操作スキルがあること。

内　容
1. コンテナ技術/Dockerの概要
2. Docker基礎
3. Docker導入
4. Dockerコンテナの基本操作
5. Dockerイメージの基本操作
6. ネットワーク
7. データ管理
8. Docker Compose

受講料 ¥55,000

eラーニング　コースコード CLE301

<eラーニング>【マシン演習付き】コンテナ技術入門

eラーニング 7.5時間

このコースは、コンテナ技術の基本知識と基本動作を学習します。マシン演習を通して、インストール、コンテナおよびイメージの基本操作を体験します。

到達目標
・Dockerをインストールできる。
・Dockerを動かす上で必要となる基本的なコマンド操作や、設定ファイルの作成ができるようになる。

対象者 はじめてコンテナ技術に触れる方。

前提知識 「Linux システム管理 前編ーLinux インストールとシステム／ネットワーク管理の基礎ー」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. コンテナの仕組み/Dockerの概要
2. Dockerを構成する要素
3. Dockerのインストール
4. Dockerコンテナの操作
5. Dockerイメージの操作
6. コンテナのネットワーク
7. Docker Compose

受講料 ¥40,700

eラーニング　コースコード UXE006

<eラーニング> Kubernetes基礎

eラーニング 35時間

このコースは、Google等の企業がアプリケーションインフラを管理するために利用しているコンテナ管理プラットフォーム"Kubernetes"の利用法を教授します。Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでをカバーしており、このコースの受講により複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができます。

到達目標
・Kubernetesの起源から高レベルのアーキテクチャ、API、基本概念に至るまでを理解できる。
・複雑なアプリケーション構築が可能な程度までの知識を得ることができる。

対象者 Kubernetesの全般的な基礎知識を得たいシステムエンジニア、ソフトウェア開発者の方。

前提知識 基本的なLinuxコマンドラインの知識とコンテナに関する基礎知識（Docker等）があること。

内　容
1. コースイントロダクション
2. Kubernetesの基本
3. インストールと構成
4. Kubernetesのアーキテクチャ
5. APIとアクセス
6. OPIオブジェクト
7. デプロイメントでのステート管理
8. サービス
9. ボリュームとデータ
10. イングレス
11. スケジューリング
12. ロギングとトラブルシュート
13. カスタムリソース定義
14. Helm
15. セキュリティ
16. 高可用性

受講料 ¥36,300

オンライン　コースコード MSV055

Windows Server入門【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Windows Serverを使用してWindowsシステムを構築・運用・管理するために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Windows Serverの概要を説明できる。
・ローカルユーザー、ドメインユーザーを管理できる。
・ファイルサーバーを構成し、資源を管理できる。
・Windows Serverの監視とバックアップを実施できる。

対象者
・Windows Serverを使用してシステムを管理される方。
・Windows Serverの導入を検討している方。

前提知識 Windowsインターフェイスの十分な使用経験と、TCP/IPプロトコルに関する基礎知識があること。

内　容
1. Windows Serverの概要
2. Windows Serverのインストール
3. サーバー管理ツール
4. ワークグループ環境のアカウント管理
5. ドメイン環境のアカウント管理
6. ディスクの管理
7. アクセス許可の設定
8. ファイルサーバーの構築
9. サーバーの監視
10. サーバーのバックアップ

受講料 ¥82,500

オンライン　コースコード MSV056

Active Directory入門【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Windows ServerにActive Directoryをインストールし、ドメインの構築・運用・管理をするために必要な技術の概要を、マシン実習を通して学習します。

到達目標
・Active Directoryの概要と実装方法を説明できる。
・Active Directoryを使用してドメイン環境を管理できる。
・グループポリシーを実装できる。
・Active Directoryのバックアップと復元を実施できる。

対象者
・Active Directoryを使用してドメインの構築・管理をする方。
・Active Directoryの導入を検討している方。

前提知識 「Windows Server入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Active Directoryドメインサービスの概要
2. Active Directoryドメインサービスの実装
3. Active Directoryドメインのオブジェクト管理
4. グループポリシーの実装と管理
5. サイトの構成
6. Active Directoryドメインサービスのバックアップと復元

受講料 ¥82,500

オンライン　コースコード MSV057　Renewal

Windows PowerShell入門【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

PowerShellを用いたWindowsシステムの管理方法を、マシン実習を通して学習します。また、与えられた要件をもとにPowerShellスクリプトを作成する演習を用意し、実践的な力の強化に繋げます。

到達目標
・WindowsシステムでPowerShellを使用するメリットを説明できる。
・PowerShellを使用して、Windowsシステムを設定・管理できる。

対象者
・PowerShellを用いて環境構築をしなければならないが、PowerShellの基礎的な内容をご存知ない方。
・PowerShellを用いて、業務を自動化し、効率化したい方。

前提知識 プログラミングの基本を理解し、「Windows Server入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Windows PowerShellの概要
2. 基本的な文法

受講料 ¥44,000

オンライン　コースコード OAV050　New

マシン実習 2日間

実践Excel-VBA【アイ・ラーニング ライブ配信】

Microsoft ExcelのVBAを活用したい方を対象としたコースです。ExcelマクロやVBAを使った業務自動化プログラムの作り方を基本から取得できます。プロシージャの書き方、エラー対応などを実践的な操作・対応までカバーします。なお、演習環境/教材は、Excel 2013/2016/2019/Microsoft 365です。

到達目標
・マクロを使用して作業を自動化できる。
・オブジェクトやVisual Basicの制御構造を理解し、Excelの拡張機能を活用できる。

対象者 Microsoft ExcelのVBAを活用したい方。

前提知識
・Excelの基本的な操作ができること。
・計算式および初歩的な関数（SUM、IF、など）を使用できること。
・相対参照と絶対参照を使い分けることができること。
・「Excel 2019 アドバンスJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があることが望ましい。

内 容
（1日目）
1. VBAとは（VBAの利用）
2. マクロの記録と実行、マクロの編集
3. VBAの文法（オブジェクト）
4. 複雑な作業のマクロ化
（2日目）
5. マクロの一般化（デバッグ処理）
6. 条件分岐
7. 関数の作成（ユーザー定義関数）
8. エラーの処理

受講料 ¥66,000

eラーニング　コースコード OAE033

eラーニング 2時間

<eラーニング> Excel 2019 エントリー

・Microsoft Excel 2019の入門的な知識・操作方法を学習します。
・Microsoft Excel 2019をほとんど触ったことのない方に向けて、画面や構成などを一から解説します。

到達目標
・データを入力できる。
・表の体裁を整えることができる。
・目的に応じて印刷できる。

対象者 Microsoft Excel 2019を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Excelとは
2. Microsoft Excelの画面
（1）Excelのスタート画面
（2）Excelの基本画面
（3）ブック、ワークシート、セル
3. データ入力の基本
（1）セルの選択、データの入力・編集
（2）オートフィル、オートコンプリート
（3）コピー、貼り付け
（4）セル、行、列の挿入と削除
（5）ワークシート名の入力、ワークシートの挿入・削除
（6）名前を付けて保存、上書き保存
4. 表の体裁を整える
（1）セル幅の変更、セルのスタイル、フォント
（2）中央揃え、セルを結合して中央揃え
（3）塗りつぶしの色、フォントの色、罫線
（4）セルの書式設定、書式のコピー・貼り付け
5. 目的に応じた印刷
（1）印刷プレビュー、印刷の向き、余白
（2）ページレイアウトビュー
（3）印刷、印刷範囲の設定、拡大縮小
（4）改ページプレビュー
6. その他の便利な機能
（1）ワークシート間でのセル参照
（2）検索、置換
（3）操作アシスト
（4）Excel97-2003ブックファイル形式での保存
（5）クイックアクセスツールバーのユーザー設定
（6）PDF

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE034

eラーニング 2時間

<eラーニング> Excel 2019 ベーシック

・Microsoft Excel 2019について、標準的な知識・操作方法を学習します。
・Microsoft Excel 2019にあまり自信のない方に向けて、一般的な操作が一通りできるように解説します。

到達目標
・表計算機能を活用できる。
・グラフを作成できる。
・関数を利用できる。

対象者 Microsoft Excel 2019の入門的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに標準的な知識を必要とする方。

前提知識 「Excel 2019 エントリーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Excel とは
2. 表計算機能の活用
（1）合計、セル参照を使った数式、平均
（2）相対参照、絶対参照
（3）通貨表示形式
（4）パーセントスタイル、小数点表示の桁設定
（5）表のコピー、セル参照の修正
（6）条件付き書式
（7）データバー、アイコンセット
3. グラフの作成
（1）折れ線グラフの作成
（2）おすすめグラフ
（3）グラフの種類の変更、体裁の調整
（4）軸の書式設定
（5）グラフデータの追加
（6）グラフのスタイル
（7）スパークライン
（8）グラフの印刷
（9）予測シートの作成
4. 関数の基礎知識
（1）SUM関数
（2）ROUNDDOWN関数
（3）VLOOKUP関数
（4）IF関数
（5）アンパサンド（&）、TEXT関数
5. その他の便利な機能
（1）グループの設定
（2）コメント
（3）ウィンドウ枠の固定

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE035

eラーニング 2時間

<eラーニング> Excel 2019 アドバンス

・Microsoft Excel 2019について、発展的な知識や操作方法を学習します。
・Microsoft Excel 2019をもっと使いこなしたい方に向けて、発展的な内容を解説します。

到達目標
・データベースを管理できる。
・マクロを作成できる。
・ウェブ用Excelを利用できる。

対象者 Microsoft Excel 2019の標準的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに発展的な知識の学習を必要とする方。

前提知識 「Excel 2019 ベーシックJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Excel とは
2. データベースの管理
（1）データベースの入力
（2）フィルター、データのソート
（3）ピボットテーブル、ピボットグラフ
（4）おすすめピボットテーブル
（5）ピボットテーブルの編集
（6）スライサー　（7）印刷タイトル
（8）テーブルスタイルとフィルターのクリア
3. マクロの作成
（1）マクロとは
（2）マクロの記録と実行
（3）マクロ有効ブックの保存
（4）フォームの活用
4. Excel VBA
（1）Visual Basicとマクロ
（2）Visual Basic Editor
（3）ステートメントの構成
5. ウェブ用Excel
（1）ウェブ用Officeの概要
（2）ウェブ用Excelの利用
（3）ブックの共有
6. その他の便利な機能
（1）ドキュメント検査
（2）アクセシビリティチェック

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE036

eラーニング 2時間

<eラーニング> Word 2019 エントリー

・Microsoft Word 2019の入門的な知識・操作方法を学習します。
・Microsoft Word 2019をほとんど触ったことのない方に向けて、画面や構成などを一から解説します。

到達目標
・文書を作成できる。
・文書の体裁を整えることができる。

対象者 Microsoft Word 2019を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Wordとは
2. Microsoft Wordの画面
（1）Wordのスタート画面
（2）Wordの基本画面
（3）Wordの編集記号
3. 文書作成の基本
（1）文字の入力、変換、入力モード
（2）文字の削除
（3）コピー、切り取り、貼り付け
（4）検索、置換
4. 文書の体裁を整える
（1）文字の書式変更
（2）文字の配置
（3）箇条書き、段落番号
（4）タブ
（5）インデント
（6）ページ設定
（7）段落、行間
（8）書式のコピー/貼り付け、書式のクリア
5. その他の便利な機能
（1）ナビゲーションウィンドウ
（2）操作アシスト
（3）Word 97-2003文書形式での保存
（4）クイックアクセスツールバーのユーザー設定
（5）PDF

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE037

eラーニング 2時間

<eラーニング> Word 2019 ベーシック

・Microsoft Word 2019について、標準的な知識・操作方法を学習します。
・Microsoft Word 2019にあまり自信のない方に向けて、一般的な操作が一通りできるように解説します。

到達目標
・文書の保存と印刷ができる。
・表の作成ができる。
・文書の校閲ができる。

対象者 Microsoft Word 2019の入門的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに標準的な知識を必要とする方。

前提知識 「Word 2019 エントリーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Wordとは
2. 文書の保存と印刷
（1）名前を付けて保存、上書き保存
（2）印刷
3. 表の作成
（1）表の挿入
（2）表のレイアウト
（3）表のデザイン
4. 文書の校閲
（1）スペルチェックと文章校正
（2）変更履歴、変更箇所
（3）コメント
5. その他の便利な機能
（1）ヘッダーとフッター
（2）PDF編集

受講料 ¥6,600

マシン実習　マシンを使用しながらの研修
グループ演習　グループ演習を中心とした研修
レクチャ　座学による研修
eラーニング　インターネット接続による自己学習
自習テキスト　自習書による独習

eラーニング　コースコード OAE038

eラーニング 2時間

<eラーニング> Word 2019 アドバンス

・Microsoft Word 2019について、発展的な知識や操作方法を学習します。
・Microsoft Word 2019をもっと使いこなしたい方に向けて、発展的な内容を解説します。

到達目標
・図形や画像を挿入できる。
・長文文書を作成できる。
・ウェブ用Wordを利用できる。

対象者 Microsoft Word 2019の標準的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに発展的な知識の学習を必要とする方。

前提知識 「Word 2019 ベーシックJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft Wordとは
2. 図形や画像の挿入
（1）図形の挿入
（2）画像をファイルから挿入、画像の書式設定
（3）オンライン画像
（4）SmartArt
（5）テキストボックス
3. 長文文書作成のサポート
（1）見出し
（2）相互参照
（3）目次の作成
（4）ウィンドウの分割
4. ウェブ用Word
（1）ウェブ用Officeの概要
（2）ウェブ用Wordの利用
（3）ファイルの共有
5. その他の便利な機能
（1）閲覧モード
（2）ドキュメント検査
（3）アクセシビリティチェック

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE039

eラーニング 2時間

<eラーニング> PowerPoint 2019 エントリー

・Microsoft PowerPoint 2019の入門的な知識・操作方法を学習します。
・Microsoft PowerPoint 2019をほとんど触ったことのない方に向けて、画面や構成などを一から解説します。

到達目標
・プレゼンテーションを構成できる。
・スライドの作成とデザインができる。
・図形や画像を挿入できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2019を初めて利用する方、および、より体系的な学習を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft PowerPointとは
2. Microsoft PowerPointの画面
（1）PowerPointのスタート画面
（2）PowerPointの基本画面
（3）表示モード
3. プレゼンテーションの構成
（1）タイトルスライド
（2）新しいスライド、スライドのレイアウト
（3）スライドの移動、コピー、削除
（4）セクション
（5）名前を付けて保存、上書き保存
（6）印刷
4. スライドの作成とデザイン
（1）文字の入力、テキストボックス
（2）文字の書式設定
（3）スライドのテーマ
（4）ヘッダーとフッター、スライド番号
5. 図形や画像の挿入
（1）配置
（2）図形の書式設定
（3）図をファイルから挿入、図の書式設定
（4）オンライン画像
（5）SmartArt
6. その他の便利な機能
（1）グリッド線とガイド
（2）操作アシスト
（3）PowerPoint 97-2003プレゼンテーションファイル形式での保存
（4）クイックアクセスツールバーのユーザー設定
（5）PDF

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE040

eラーニング 2時間

<eラーニング> PowerPoint 2019 ベーシック

・Microsoft PowerPoint 2019について、標準的な知識・操作方法を学習します。
・Microsoft PowerPoint 2019にあまり自信のない方に向けて、一般的な操作が一通りできるように解説します。

到達目標
・スライドショーの準備と実行ができる。
・表やグラフを挿入できる。
・マスターとテンプレートを活用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2019の入門的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに標準的な知識を必要とする方。

前提知識 「PowerPoint 2019 エントリーJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft PowerPointとは
2. スライドショーの準備と実行
（1）スライドショー
（2）スライドへジャンプ
（3）スクリーン
（4）発表者ツール
3. 表やグラフの挿入
（1）グラフの挿入、グラフのスタイル、グラフのレイアウト
（2）リンク貼り付け
（3）表の挿入、表のスタイル
4. マスターとテンプレートの活用
（1）スライドマスター
（2）スライドマスターの書式変更
（3）PowerPointテンプレート
5. その他の便利な機能
（1）スポイト
（2）スクリーンショット
（3）動画への変換
（4）コメントの挿入

受講料 ¥6,600

eラーニング　コースコード OAE041

eラーニング 2時間

<eラーニング> PowerPoint 2019 アドバンス

・Microsoft PowerPoint 2019について、発展的な知識や操作方法を学習します。
・Microsoft PowerPoint 2019をもっと使いこなしたい方に向けて、発展的な内容を解説します。

到達目標
・アニメーションを活用できる。
・動画を挿入、編集できる。
・ウェブ用PowerPointを利用できる。

対象者 Microsoft PowerPoint 2019の標準的な知識・操作方法をすでに修得し、さらに発展的な知識の学習を必要とする方。

前提知識 「PowerPoint 2019 ベーシックJeラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. はじめに
（1）Microsoft PowerPointとは
2. アニメーションの活用
（1）アニメーションの設定
（2）アニメーションウィンドウ
（3）箇条書き、グラフ、図表のアニメーション
3. 動画の挿入、編集
（1）動画の挿入、編集
4. ウェブ用PowerPoint
（1）ウェブ用Officeの概要
（2）ウェブ用PowerPointの利用
（3）ファイルの共有
5. その他の便利な機能
（1）パスワードによる閲覧・編集制限
（2）ドキュメント検査
（3）アクセシビリティチェック

受講料 ¥6,600

ITサービス

情報システムを活用し、ビジネスを支援するITサービスの業務プロセスを管理・改善するITサービスマネジメントの基礎知識・手法が修得できます。

ITサービスに関わる業務に携わる方

レベル1	レベル2	レベル3
	サービス ITE006 eラーニング SLAにおけるサービスレベル設計の基礎 音声なし 説明文有 / 4時間	

ITIL®に関する知識を修得したい方

レベル1	レベル2	レベル3
	PDU ITV017 オンライン ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き） レクチャ / 2日間 または Renewal PDU ITE010 eラーニング ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き） 音声有 説明文有 / 10時間	

■ITIL®は、AXELOS Limitedの登録商標であり、 AXELOS Limitedの許可のもとに使用されています。 すべての権利は留保されています。

ITシステムの運用に関わる業務に携わる方

レベル1	レベル2	レベル3
	ITE008 eラーニング 運用管理概説 音声なし 説明文有 / 6時間 Renewal ITV010 オンライン 情報システム運用入門 −運用からITサービスへ− レクチャ / 1日間 SPV033 オンライン 保守開発におけるトラブル対策の考え方 グループ演習 / 1日間 ITV004 オンライン システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ グループ演習 / 2日間 ITV009 オンライン IT運用におけるヒューマンエラー予防 グループ演習 / 1日間 クラウド CDV001 オンライン 事業と技術の観点から検討するクラウドへの移行と管理 −Cloud Essentials− グループ演習 / 2日間	

資格 ITIL® 認定資格

ITIL®［Information Technology Infrastructure Library］は、英国政府が作成したITサービスマネジメントのベストプラクティスがまとめられた書籍です。
ITIL®は、システム運用管理を中心とした幅広い分野で広く利用され、現在、ITサービスマネジメントの世界的な業界標準として普及しています。
ITIL®認定資格は、ITIL®をベースとしたITサービスマネジメントに関するスキルを証明する資格です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/itil.html

PDU ：PMP®資格更新に必要なポイント（PDU）を取得できます。3年間で60PDUが必要です。

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード ITV017

ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き）【バーチャル・クラスルーム】 PDU

レクチャ 2日間

ITIL®4は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：14ポイント）の取得が可能です。
※認定試験はご自身で試験センターへお申し込みいただきます。
※受講後に配布される受験バウチャーチケットの利用可能範囲は日本国内限定です。

到達目標
- ITサービスマネジメントの主要なコンセプトを説明できる。
- 組織が、従うべき原則の支援を受けながらどのようにITIL®サービスマネジメントを適用し、適応できるかを説明できる。
- ITIL®サービスマネジメントの4つの側面を説明できる。
- ITIL®サービスバリューシステムの目的と構成要素、サービスバリューチェーンの活動、ならびにそれらの関連性を説明できる。
- 継続的改善の主要なコンセプトを説明できる。
- ITIL®プラクティスについて学び、それらがバリューチェーンの活動にどう貢献するかを説明できる。

対象者
- サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したいと考えている、ITおよび事業部門双方の方。
- 旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について学びたいと考えている方。
- ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. サービスマネジメント・主要なコンセプト
2. 従うべき原則
3. サービスマネジメントの4つの側面
4. サービス・バリューシステム
5. 継続的改善
6. ITIL®プラクティスの概要

受講料 ¥144,100

---

eラーニング コースコード ITE010 Renewal

<eラーニング>（PDU）ITIL®4ファンデーション（受験バウチャーチケット付き） PDU

eラーニング 10時間

ITIL®4は、ITサービスマネジメントのベストプラクティスです。このコースでは、用語や概念からITIL®4のコアコンセプトを学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：10ポイント）の修得が可能です。

到達目標
- ITサービスマネジメントの主要なコンセプトを説明できる。
- 組織が、従うべき原則の支援を受けながらどのようにITIL®サービスマネジメントを適用し、適応できるかを説明できる。
- ITIL®サービスマネジメントの4つの側面を説明できる。
- ITIL®サービスバリューシステムの目的と構成要素、サービスバリューチェーンの活動、ならびにそれらの関連性を説明できる。
- 継続的改善の主要なコンセプトを説明できる。
- ITIL®プラクティスについて学び、それらがバリューチェーンの活動にどう貢献するかを説明できる。

対象者
- サービスマネジメント分野において第一歩を踏み出したいと考えている、ITおよび事業部門双方の方。
- 旧来のITIL®や類似したベストプラクティスについて知識を有しており、ITIL®4について学びたいと考えている方。
- ITIL®ファンデーション資格の取得をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. コースの概要
2. ITIL®4の背景と主要なコンセプト
3. ITIL®4の主要コンポーネントと4つの側面
4. サービスバリュー・システムと従うべき原則
5. ITIL®サービスバリュー・チェーン
6. 継続的改善
7. ITIL®プラクティス

受講料 ¥107,800

---

eラーニング コースコード ITE008

<eラーニング>運用管理概説

eラーニング 6時間

システム運用管理の必要性や、管理項目を学習します。また、各担当の役割や各運用管理の作業内容を、演習を通して理解を深めます。

到達目標
- ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。
- 運用管理の体制と各担当の作業概要を説明できる。
- システム運用の管理項目の種類や作業概要を説明できる。

対象者
- これから運用業務に携わる方。
- システムサービスの企画/設計に携わる方で、運用管理の知識が必要な方。

前提知識 ITの基本用語を知っていること。

内 容
1. ITサービスマネジメント概要
   (1)サービスとは
   (2)ITサービスとITシステム
2. 運用管理概要
   (1)運用管理の目的
   (2)有用性、保証
3. 運用管理の活動
   (1)安定したサービスを提供するための活動
   (2)サービスを安全に変更するための活動
   (3)より良いサービスを提供するための活動
4. 修了試験

受講料 ¥18,700

オンライン コースコード ITV010 Renewal

情報システム運用入門 −運用からITサービスへ−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

システム運用の必要性、作業項目、体制について、基本的な考え方を講義と演習を通して学習します。演習を通して、システム運用を行ううえで必要な活動への理解を深めます。

到達目標
- システム運用の管理項目の種類や役割を説明できる。
- ITサービスとITシステムの運用管理の必要性の関係を理解し、説明できる。

対象者
- これから情報システムの運用業務に携わる方。
- システムサービスの企画・設計に携わる方で運用管理の知識が必要な方。

前提知識 ITの基本用語ついて知識があること。

内 容
1. ITサービスマネジメント概説
   (1)サービスとITサービス
   ・サービスとは
   ・ITサービスとは
   ・サービスの有用性と保証
   (2)ITサービスの管理
   ・ITサービスのライフサイクル
2. 運用管理概説
   (1)運用管理の目的
   (2)運用管理の対象
   (3)運用管理の体制
3. 運用管理の活動
   (1)安定したITサービスを提供するための活動
   ・日常の活動
   ・障害発生時の対応
   ・障害対策
   ・災害対策
   (2)ITサービスを安全に変更するための活動
   ・変更管理、リリース・展開管理
   ・資産・構成管理
   (3)より良いITサービスを提供するための活動
   ・運用改善サイクル、ナレッジ管理

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード SPV033

保守開発におけるトラブル対策の考え方【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 1日間

既存システムの修正や改良といった“保守開発”におけるトラブル対策の実践的知識を学習します。保守開発を進めるうえで留意すべきトラブル対策のポイントを、講師による解説とグループ演習を通して理解することができます。

到達目標
- 保守開発の現状と課題が説明できる。
- 保守開発プロセスにおいて強化すべき改善ポイントが提言できる。
- 保守開発で発生したシステムトラブルの原因分析と対策立案を実践できる。

対象者 プロジェクトマネージャ、保守開発担当者、品質管理担当者、内部監査担当者の方。

前提知識 情報化に関する基礎知識があること。

内 容
1. 今なぜ保守開発のトラブル対策なのか
   (1)保守開発の現状
   (2)保守開発プロセスが抱える課題
2. 保守開発マネジメント概論
   (1)保守開発に関連するガイドライン
   (2)トラブル防止に向けた取り組み
3. 保守開発プロセスの改革提言
   (1)保守開発段階での品質管理とは
   (2)保守開発計画と工数見積りのレベルアップ
   (3)開発環境とテスト環境の強化ポイント
4. 保守開発トラブルのマネジメント
   (1)トラブル関連情報の収集と傾向分析
   (2)ヒューマンファクタ分析の応用
   演習：保守開発におけるトラブルの事例研究
5. まとめ
   講師：前橋システムコンサルティング株式会社 代表取締役 前橋雅夫氏（公認システム監査人）

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード ITV004

システム運用の現状分析・設計力養成ワークショップ【バーチャル・クラスルーム】

グループ演習 2日間

システム運用管理において、現状の課題分析を行い、運用管理ツール（JP1）の導入による運用改善の策定を通して、システム運用設計のスキルを修得します。

到達目標
- システム運用の課題を認識し、解決策を考えることができる。
- ITサービスの改善プロセスを理解し実行できる。

対象者 運用業務に携わる方、運用を考慮したシステム企画・設計を行う方。

前提知識 「運用管理概説」eラーニングコースを修了しているか、または運用管理の知識があること。

内 容
1. オリエンテーション
   (1)サービス改善のアプローチ
2. 現状の運用理解と運用課題の洗い出し
   (1)システムにより提供されるサービスの目的を確認
   (2)現状の運用を確認
3. 運用管理の改善
   (1)サービスで提供すべきゴール（KPI）を設定
4. 改善後の運用設計
   (1)ゴールを達成するための運用の設計
   (2)ゴール達成度の評価方法の設計（測定項目と測定基準）

受講料 ¥83,600

コースの詳細（開催時間や注意事項など）・最新情報・お申し込みは ▶▶▶https://www.hitachi-ac.co.jp/

オンライン　コースコード ITV009

グループ演習 1日間

IT運用におけるヒューマンエラー予防【バーチャル・クラスルーム】

IT運用現場で起こり得るヒューマンエラーについて、講義と演習を通して学習します。トラブル・事故事例から、ヒューマンエラーの影響と発生のメカニズムを理解します。演習では、自職場での効果的なヒューマンエラー防止策を立案します。

到達目標
- IT運用の現場で起こるヒューマンエラーについて理解できる。
- ヒューマンエラーが起こるメカニズムを理解し、未然に防ぐ方法を理解できる。
- 効果的なヒューマンエラー防止策を実施できる。
- チームのヒューマンエラーを無くすための指導やプロセス改善を考えることができる。

対象者 IT運用に携わっている方、IT運用の部署のチームリーダまたはリーダになる方。

前提知識 IT運用の基礎知識があること。IT運用の実務経験があることが望ましい。

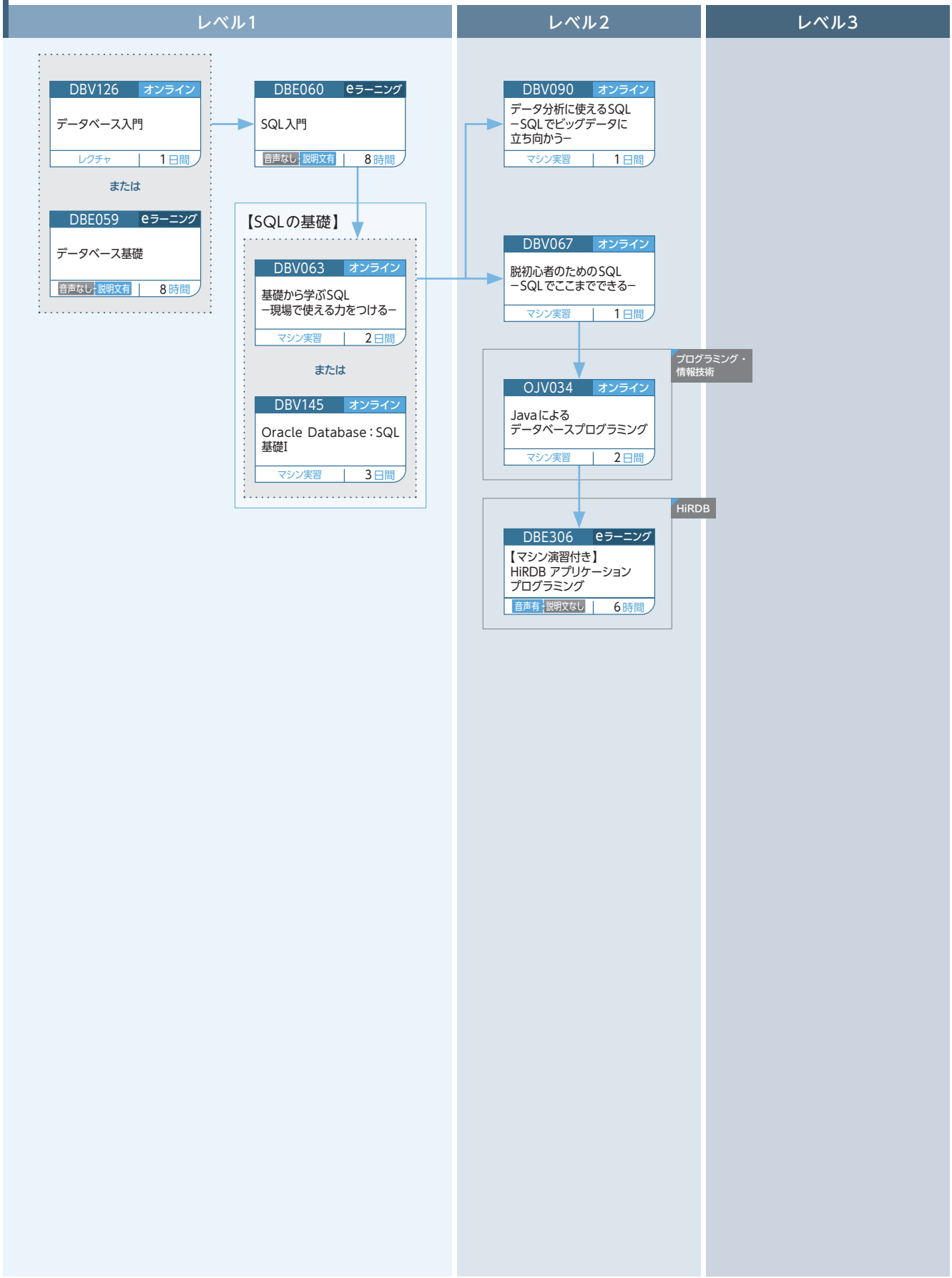
内　容
1. IT運用の事故・トラブル
2. ヒューマンエラーとは
3. ヒューマンエラーの防止策

受講料 ¥44,000

基盤製品（データベース）

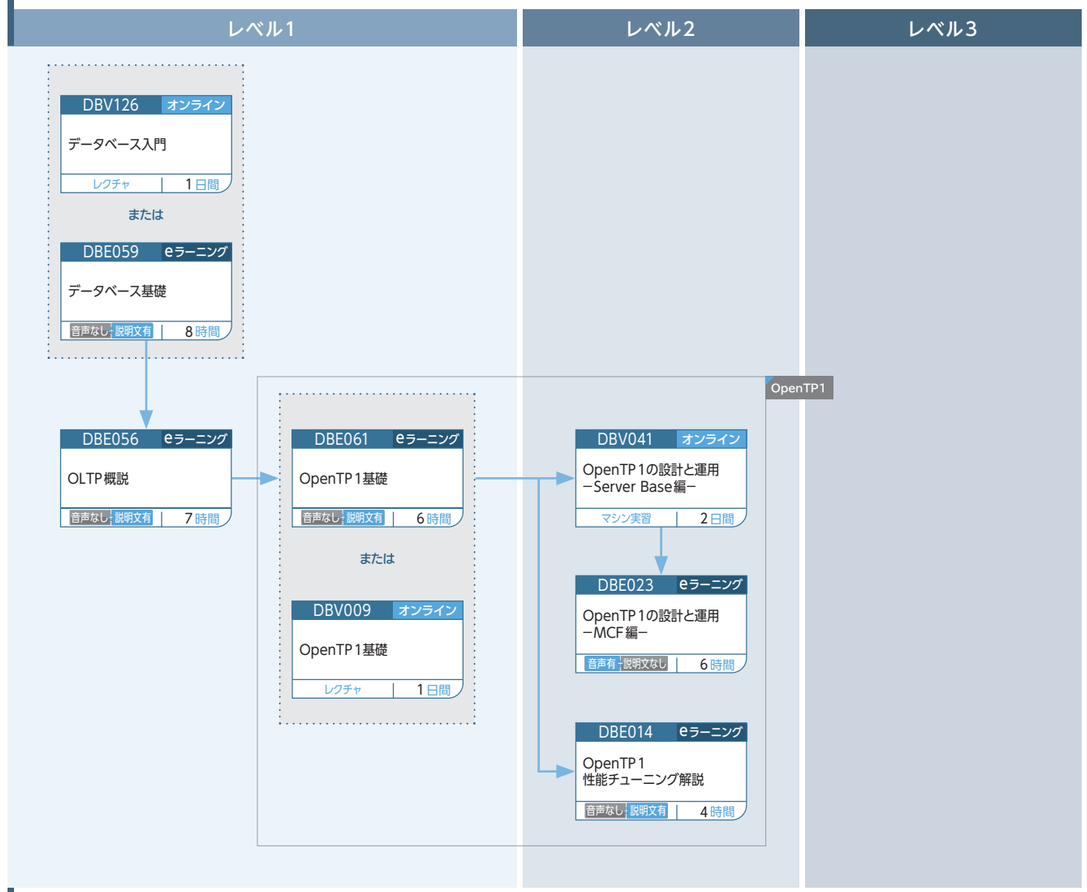
データベースの概念を理解し、データベースシステムを構築するための技術が修得できます。

データベースプログラミング

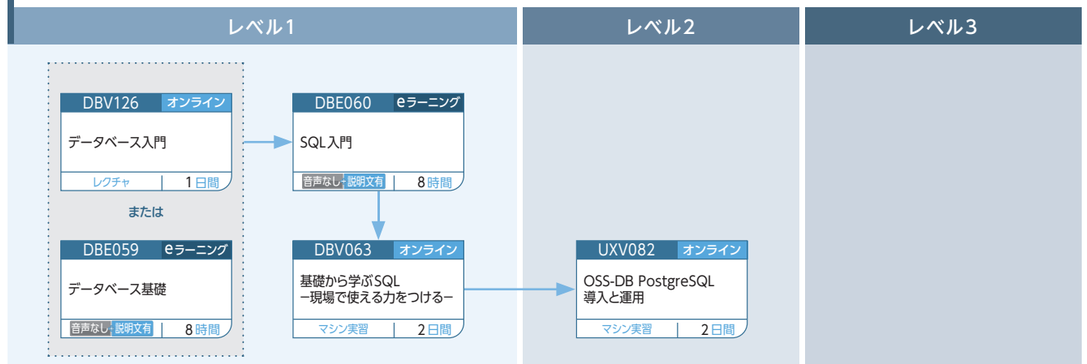


レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

OLTP

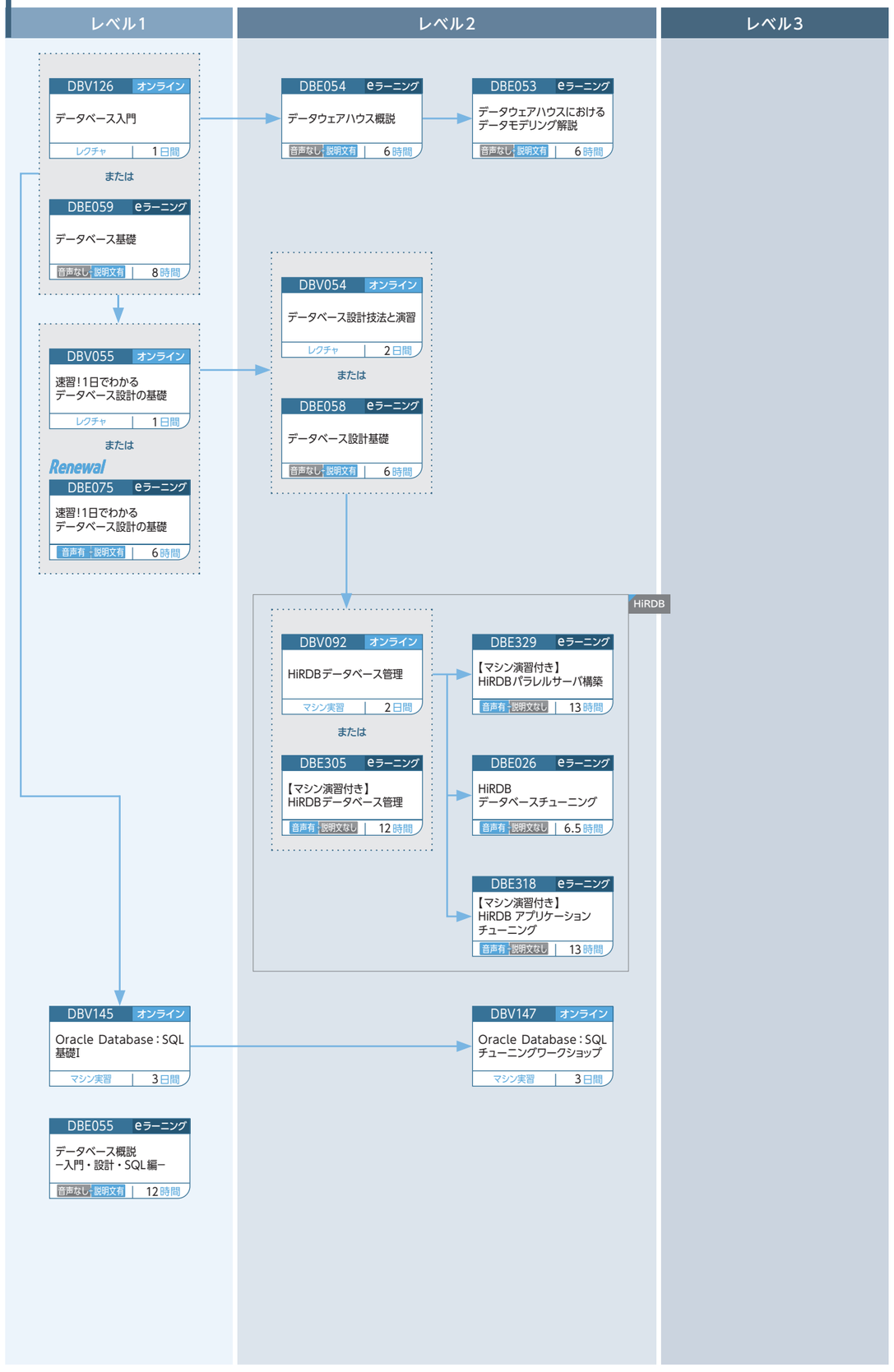


PostgreSQL



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

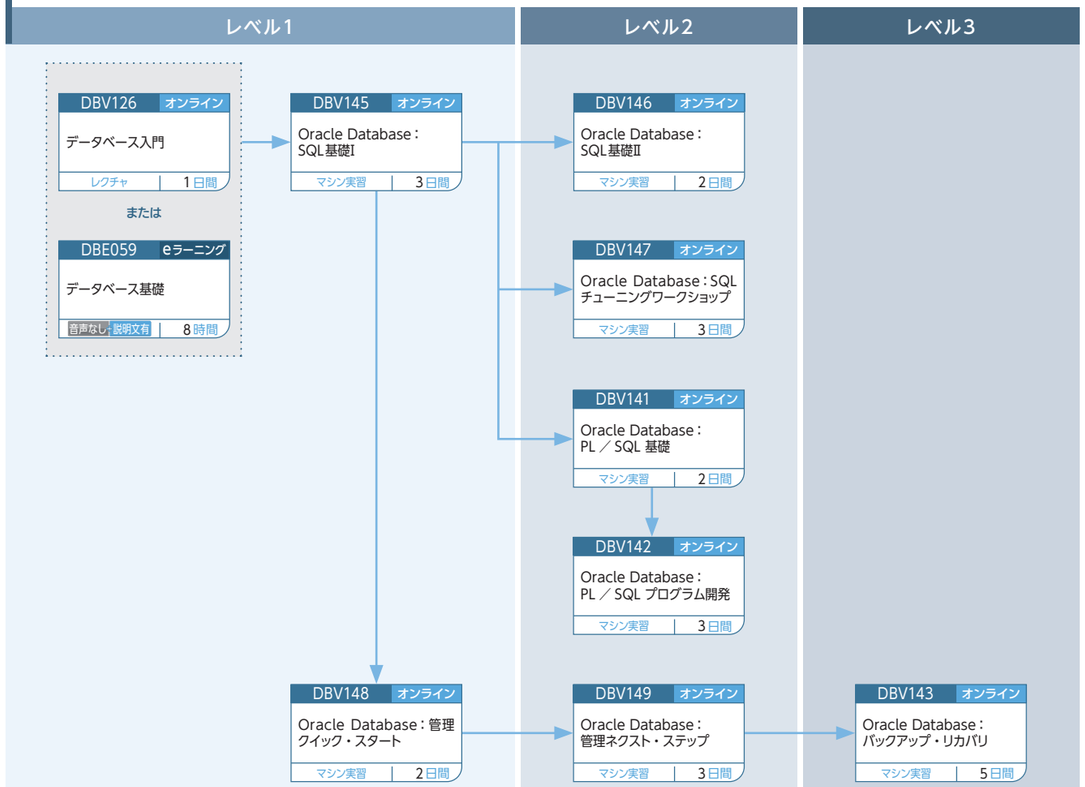
論理設計、物理設計、パフォーマンスチューニング



音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

プロダクト(IT)
基盤製品（データベース）
基盤製品（ネットワーク）
ミドル・アプリケーション製品
RPA製品

Oracle



ブロックチェーン



資格 オラクル認定技術者制度

オラクル認定技術者制度とは、日本オラクル社が世界で高い評価を受けているOracle製品に関する技術者を認定する制度です。認定を受けるためには、日本オラクル社の試験に合格する必要があり、合格した試験科目の組み合わせにより認定技術資格を取得できます。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。

https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/oramas.html

ORACLE APPROVED EDUCATION PROVIDER

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード DBV126

データベース入門【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

データベースの基礎知識やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
・DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者 IT業界の社員として、データベースの基礎知識を修得したい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データベースとデータモデル
2. DBMSの基本機能
(1)データ独立性
(2)データの機密保護
(3)トランザクション
(4)同時実行制御
(5)整合性制約
(6)障害回復
(7)インデックス

受講料 ¥33,000

eラーニング コースコード DBE059

<eラーニング> データベース基礎

eラーニング 8時間

データベースの基礎やDBMSの基本機能を学習します。

到達目標 ・データベースとデータモデルを理解し説明できる。
・DBMSの基本機能を理解し説明できる。

対象者 データベースにアクセスするアプリケーションを開発する方。データベースを管理、運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. データベースの概念
2. DBMS基本機能
3. データモデル
4. データベース設計
5. 修了試験

受講料 ¥18,700

eラーニング コースコード DBE060

<eラーニング> SQL入門

eラーニング 8時間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQLの基礎を学習します。

到達目標 ・データ操作をするSQLについて、基本的な機能と文法を説明できる。
・データ定義をするSQLについて、基本的な機能と文法を説明できる。
・トランザクション制御をするSQLについて、基本的な機能と文法を説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースを管理・運用する方リレーショナルデータベースのアプリケーションを開発する方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リレーショナル・データベースとSQL
(1)リレーショナル・データベースとは
(2)SQLとは
(3)SQLの特長
(4)SQLの分類
2. データ操作文（DML）
(1)検索処理
(2)追加処理
(3)更新処理
(4)削除処理
3. データ定義文（DDL）
(1)表の定義
(2)参照制約
(3)ビュー表
4. データ制御文（DCL）
(1)データの確定
(2)データの取り消し
5. 修了試験

受講料 ¥17,600

オンライン コースコード DBV063

基礎から学ぶSQL −現場で使える力をつける−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

リレーショナルデータベースを操作するためのSQL、トランザクションを制御するためのSQL、オブジェクトを作成するためのSQLの文法と機能を学習します。

到達目標 ・リレーショナルデータベースの表の検索ができる。
・リレーショナルデータベースに行の追加、削除、値の更新ができる。
・SQLを用いてトランザクションの制御ができる。
・リレーショナルデータベース上にオブジェクトの作成ができる。

対象者 SQLの知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. リレーショナルデータベースとSQLの概要
2. SQLによるデータ検索
(1)全件検索
(2)探索条件
(3)結合
(4)集合関数
(5)グループ化
(6)並び替え
(7)集合演算
(8)副問合せ
3. SQLによるデータ追加/更新/削除
4. SQLによるトランザクションの制御
5. SQLによるデータ定義
(1)表の定義
(2)ビューの定義
(3)インデックスの定義

受講料 ¥66,000

オンライン コースコード DBV090

データ分析に使えるSQL −SQLでビッグデータに立ち向かう−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

高度なSQL文やSQL分析関数を使用して、データベースに格納されたデータを分析する手法を、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・SQLによるデータ分析の概要を説明できる。
・高度なSQL文・SQL分析関数の文法を理解し説明できる。
・高度なSQL文・SQL分析関数を利用したデータ集計・分析を理解し説明できる。

対象者 SQLを用いたデータ分析手法を修得したい方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. データ分析概要
2. 高度なSQL文
(1)CASE式
(2)相関副問合せ
3. SQL分析関数
(1)ウィンドウ関数
(2)レポート関数
(3)LAG/LEAD関数
(4)中間データの加工 - 副問合せと共通表式（WITH句）-

受講料 ¥44,000

オンライン コースコード DBV067

脱初心者のためのSQL −SQLでここまでできる−【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

ショッピングサイトを題材にして、システムに実装済みのSQL文を、性能、可読性、保守性の観点から改善することにより、CASE式や自己結合といった、高度なSQL文の使いどころを学習します。

到達目標 ・EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
・NOT EXISTS述語の使用方法を理解し説明できる。
・相関副問合せの使用方法を理解し説明できる。
・自己結合の使用方法を理解し説明できる。
・CASE式の使用方法を理解し説明できる。

対象者 高度なSQL文の知識を修得したい方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL−現場で使える力をつける−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. 演習環境概要
2. 高度なSQL文
(1)EXISTS述語を使用した存在チェック
(2)相関副問合せを使用したランキング表示
(3)分析関数を使用したランキング表示
(4)CASE式を使用したSELECT句での条件分岐
(5)自己結合を使用した組み合わせ表示
(6)NOTEXISTS述語と相関副問合せを使用した更新処理

受講料 ¥44,000

プロダクト(IT)
基盤製品（データベース）
基盤製品（ネットワーク）
ミドル・アプリケーション製品
RPA製品

eラーニング　コースコード DBE056

<eラーニング> OLTP概説

7時間

OLTP（オンライントランザクション処理）の基本的な概念や機能、および分散トランザクションシステムを実現するために必要なソフトウェアとAPIを規定した、DTPモデルについて学習します。

到達目標
・トランザクションのACID特性について理解し、説明できる。
・さまざまなOLTPシステム構成について理解し、説明できる。
・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し、説明できる。

対象者
・オンライントランザクションシステムを構築する方。
・分散トランザクションやDTPモデルの知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. トランザクション処理とは
2. トランザクション処理の変遷
3. OLTPの特長
4. OLTPのシステム要件
5. OLTPのシステム構成
6. The Open Group DTPモデル
7. OLTPシステムの基本機能

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード UXV082

OSS-DB PostgreSQL 導入と運用【バーチャル・クラスルーム】

2日間

これからPostgreSQLを使用したシステム構築を行う開発者や管理者の方を対象に、PostgreSQLのインストールや基本的な設定、基本的な使い方について解説します。更にバックアップやリストア、PITRなどの運用管理、性能チューニング、障害対応について解説します。

到達目標 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行うことができる。

対象者 PostgreSQLを用いたデータベースシステムの構築や管理作業を行う方。

前提知識 「基礎から学ぶSQL－現場で使える力をつける－」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. オープンソースデータベースの一般的特長
2. インストール
3. 標準付属ツール
4. トランザクションとスキーマ
5. アーキテクチャ
6. セキュリティ
7. メンテナンス
8. 実行計画
9. 性能分析
10. 性能改善
11. 障害対応
12. PITR
13. Streaming Replication

受講料 ¥88,000

eラーニング　コースコード DBE054

<eラーニング> データウェアハウス概説

6時間

データウェアハウスの概念やデータウェアハウスの設計・構築方法および利用方法の基礎を学習します。

到達目標
・データウェアハウスの概念を理解し説明できる。
・データウェアハウスの利用方法について理解し説明できる。
・データウェアハウスに適する設計方法を理解し説明できる。

対象者 DSSシステムの管理者として、基本的な知識を必要とする方。

前提知識 「データベース基礎」eラーニングコースまたは「データベース入門」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データウェアハウス登場の背景
2. 意思決定支援システムにおけるデータウェアハウス
3. データウェアハウスとは
4. OLAPとデータマイニング

受講料 ¥19,800

eラーニング　コースコード DBE053

<eラーニング> データウェアハウスにおけるデータモデリング解説

6時間

基幹系データベース設計との相違点をふまえながら、データウェアハウスの設計手順について学習します。

到達目標
・トランザクションのACID特性について理解し説明できる。
・さまざまなOLTPシステム構成について理解し説明できる。
・DTPモデルの各種ソフトウェアの役割とAPIについて理解し 説明できる。

対象者 データウェアハウスの設計・構築を行うための知識を必要とする方。

前提知識 「データウェアハウス概説」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データウェアハウス概要
2. 基幹系データベース設計との相違点
3. データウェアハウスの概念設計

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード DBV055

速習！1日でわかるデータベース設計の基礎【バーチャル・クラスルーム】

1日間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データベース設計の概要
2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
   (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
   (2)正規化
   (3)ER図の作成
   (4)確認作業 - トップダウンアプローチの観点からの確認 -
3. データベース物理設計
   (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成
   (2)領域配置図の作成
4. データベース性能設計
   (1)インデックス設計

受講料 ¥33,000

eラーニング　コースコード DBE075　Renewal

<eラーニング> 速習！1日でわかるデータベース設計の基礎

6時間

具体的な業務を想定しながら、リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に必要な基礎知識を、机上演習を通して学習します。

到達目標 リレーショナルデータベースの論理設計、物理設計、性能設計に関する基礎的な手法を理解し説明できる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計に関する知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データベース設計の概要
2. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計
   (1)ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計の流れ
   (2)正規化
   (3)ER図の作成
   (4)確認作業-トップダウンアプローチの観点からの確認-
3. データベース物理設計
   (1)テーブル関連図とテーブル定義書の作成
   (2)領域配置図の作成
4. データベース性能設計
   (1)インデックス設計

受講料 ¥27,500

eラーニング　コースコード DBE055

<eラーニング> データベース概説 －入門・設計・SQL編－

12時間

データベースの入門として、データベース分野全般の概要を学習します。さらに、データベース設計、およびSQLを用いたデータベース操作について、具体的な例を用いて学習します。

到達目標
・データベース全般の基礎的な知識・技術について理解ができる。
・ニーズに応じたデータベースを適切に設計し、構築したデータベース上でデータを操作できる。

対象者 データベースのデータを活用するにあたり、データベース分野全般の基礎知識について効率よく学習したい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. データベースの基礎知識
2. データベース設計
3. SQLの操作法
4. 修了試験

受講料 ¥36,300

オンライン　コースコード DBV054

データベース設計技法と演習【バーチャル・クラスルーム】

2日間

演習を通し、データベース論理構造の適切な設計手順について学習します。

到達目標
・データベース設計技法について理解し説明できる。
・データベースの論理構造の設計ができる。

対象者 データベースシステムの設計・構築をする方、または予定している方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データモデル
   (1)データモデルとは
   (2)ERモデル
   (3)リレーショナルモデル
2. 正規化
   (1)正規化のねらい
   (2)正規化理論の前提知識
   (3)正規化手順
3. 論理構造の設計手順
   (1)論理構造の設計手順概要
   (2)トップダウンアプローチ例題
   (3)ボトムアップアプローチ例題
4. RDBMSへの実装および性能を考慮した変形操作
   (1)RDBMSへ実装可能な形式への変形
   (2)非正規化

受講料 ¥72,600

eラーニング　コースコード DBE058

<eラーニング> データベース設計基礎

6時間

データベース設計手順についての基礎理論を、eラーニングでの演習を通して学習します。

到達目標
・基本的なデータベース設計手順を理解し説明できる。
・設計手順に基づいて、簡単なデータベース設計ができる。

対象者 リレーショナルデータベースの設計の知識を必要とする方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. データベース設計概要
2. ERモデルとER図
3. 正規化
4. ボトムアップアプローチによるデータベース論理設計例題
5. トップダウンアプローチによるデータベース論理設計例題

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード DBV145

Oracle Database：SQL基礎Ⅰ【バーチャル・クラスルーム】

3日間

リレーショナル・データベースの概念、SQLによるデータ操作およびスキーマ・オブジェクトの作成方法について学習します。

到達目標
・SQL関数（TO_CHAR、SUBSTR、SUMなど）でデータを加工して取得できる。
・複数の表の結合や、副問合せでデータを取得できる。
・INSERT文、UPDATE文、DELETE文を使用できる。
・表を作成、管理できる。

対象者
・Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方。
・ORACLE MASTER Silver DBA 2019、およびORACLE MASTER Silver SQL 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「データベース入門」コース、または「データベース基礎」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. SQL SELECT文を使用したデータの取得
3. データの制限とソート
4. 単一行関数を使用した出力のカスタマイズ
5. 変換関数と条件式の使用方法
6. グループ関数を使用した集計データのレポート
7. 結合を使用した複数の表のデータの表示
8. 集合演算子の使用
9. DML文を使用した表の管理
10. データ定義言語の概要

受講料 ¥247,500

オンライン　コースコード DBV146

Oracle Database：SQL基礎Ⅱ【バーチャル・クラスルーム】

2日間

SQLの拡張機能の使用方法を理解して、データベース内のデータを問い合せたり、操作する方法を学習します。オブジェクト・レベルおよびシステム・レベルでの権限の制御方法や、問合せやレポート作成など高度な技術を修得できます。

到達目標
・データベース管理のための各種の情報を検索できる。
・データベース・オブジェクト（順序、シノニム、ビュー）の作成、管理ができる。
・副問合せを使用してデータの取得や操作ができる。
・ユーザアクセスの制御ができる。
・タイムゾーンの管理ができる。

対象者
・Oracleデータベースを使用し、かつSQL文の知識を必要とする方。
・ORACLE MASTER Silver DBA 2019、およびORACLE MASTER Silver SQL 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database: SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. データ・ディクショナリ・ビューの紹介
3. 順序、シノニムおよび索引の作成
4. ビューの作成
5. スキーマ・オブジェクトの管理
6. 副問合せを使用したデータの取得
7. 副問合せを使用したデータの操作
8. ユーザー・アクセスの制御
9. データの操作
10. さまざまなタイムゾーンのデータの管理

受講料 ¥181,500

オンライン　コースコード DBV147

Oracle Database：SQLチューニングワークショップ【バーチャル・クラスルーム】

3日間

自動SQLチューニング・コンポーネント、EXPLAIN、SQL Trace、TKPROF、SQL*Plus AUTOTRACE等のOracleの診断ツール・機能を用い、SQLをチューニングするための知識やノウハウについて学習します。

到達目標
・効率の悪いSQL文を識別できる。
・SQL文を最適に実行するために改良できる。
・アプリケーション・トレースを使用できる。
・オプティマイザ・ヒントを効果的に使用できる。

対象者 Oracleデータベースにおいて、SQL文のチューニングに対する知識を必要とする方。

前提知識 「Oracle Database: SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Oracle Databaseアーキテクチャの検討
2. SQLチューニングの概要
3. オプティマイザの概要
4. オプティマイザ演算子
5. 実行計画の解釈
6. ケース・スタディ：スター型変換
7. オプティマイザ統計
8. バインド変数の使用
9. オプティマイザ・ヒントの使用
10. アプリケーション・トレース
11. SQLチューニングの自動化

受講料 ¥247,500

オンライン　コースコード DBV141

マシン実習 2日間

Oracle Database：PL／SQL 基礎【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、PL/SQLプログラミング言語について説明します。ストアド・プロシージャ、ストアド・ファンクション、および複数のフォームやデータ管理アプリケーションで共有可能なアプリケーション・コード・ブロックの作成方法を学習します。受講者は、この強力なプログラミング言語の利点と実用的なシナリオを理解することができます。

到達目標
- 単純なストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成と実行できる。
- PL/SQLの機能および構文の説明ができる。
- 効率的に実行されるPL/SQL無名ブロックの設計ができる。
- PL/SQLプログラミングの構成要素および条件付き制御コード・フロー(ループ、制御構造および明示カーソル)の使用ができる。
- ランタイム・エラーの処理ができる。
- データベースに接続するPL/SQLコードの記述ができる。

対象者 Oracleデータベースにおいて PL/SQLを用いて開発を行う方。

前提知識 「Oracle Database: SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. PL/SQLの概要
3. PL/SQL変数の宣言
4. 実行文の記述
5. PL/SQLブロック内でのSQL文の使用
6. 制御構造の記述
7. コンポジット・データ型の処理
8. 明示カーソルの使用
9. 例外の処理
10. ストアド・プロシージャおよびストアド・ファンクションの作成

受講料 ¥181,500

オンライン　コースコード DBV142

マシン実習 3日間

Oracle Database：PL／SQL プログラム開発【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、ストアド・プロシージャ、ファンクション、パッケージおよびデータベース・トリガーの開発方法を説明し、受講者のスキルを強化します。PL/SQLプログラム・ユニットの管理およびオラクルが提供するパッケージの使用方法を理解することができます。

到達目標
- ストアド・プロシージャおよびファンクションの作成と実行ができる。
- PL/SQLパッケージの設計および使用ができる。
- オーバーロードされたパッケージのサブプログラムの作成による柔軟性の向上ができる。
- アプリケーション開発でのオラクルが提供するパッケージの使用ができる。
- トリガーの作成によるビジネス上の課題の解決ができる。
- SQL文の動的な作成および実行ができる。
- PL/SQLサブプログラムおよびトリガーの管理ができる。
- PL/SQLコンパイラの理解および調整ができる。
- 依存性の管理ができる。

対象者 Oracleデータベースにおいて PL/SQLを用いて開発を行う方。

前提知識 「Oracle Database: PL/SQL 基礎」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. ストアド・プロシージャの作成
3. ファンクションの作成およびサブプログラムのデバッグ
4. パッケージの作成
5. パッケージの使用
6. アプリケーション開発でのオラクル社が提供するパッケージの使用
7. 動的SQLの使用
8. PL/SQLコードの設計上の考慮事項
9. トリガーの作成
10. 複合トリガー、DDLトリガーおよびイベント・データベース・トリガーの作成
11. PL/SQLコンパイラの使用
12. 依存性の管理

受講料 ¥247,500

オンライン　コースコード DBV148

マシン実習 2日間

Oracle Database：管理クイック・スタート【バーチャル・クラスルーム】

Oracle Database管理の基礎を2日間で固めることができます。Oracle Databaseのアーキテクチャを理解し、データベースの日常的な運用の基本を修得します。

到達目標
- Oracleデータベースをインストールしデータベースを作成できる。
- データベース記憶域構造、ユーザーおよびセキュリティの管理ができる。
- Oracle SQL Developerを用いてスキーマ・オブジェクトの作成と管理ができる。
- バックアップの作成ができる。
- データベースの監視、およびアドバイザの使用について説明できる。
- マルチテナント・コンテナ・データベースおよびプラガブル・データベースの管理ができる。

対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Bronze DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database: SQL 基礎Ⅰ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. Oracle Databaseの概要
2. Oracle Databaseのインストールおよびデータベースの作成
3. Database管理ツールの使用
4. Oracleネットワーク環境の構成
5. Oracleインスタンスとは
6. データベース記憶域構造の表示
7. ユーザーおよびセキュリティの管理
8. スキーマ・オブジェクトの管理
9. バックアップの作成
10. データベースの監視およびアドバイザの使用
11. マルチテナント・コンテナ・データベースおよびプラガブル・データベース

受講料 ¥181,500

eラーニング　コースコード UXE008

eラーニング 6時間

<eラーニング> ブロックチェーンの基礎と日立の取り組み

ブロックチェーンは、暗号資産（仮想通貨）のみならず、金融・物流・ヘルスケアなど多くの産業分野での利活用が広がっています。このコースでは、ビットコインとHyperledger Fabricを中心に、ブロックチェーンの基本技術やアーキテクチャについて解説します。また、ブロックチェーンに関する日立独自の取り組みと活用事例を紹介します。

到達目標
- ブロックチェーンの概要を説明できる。
- ブロックチェーンに関する基本アーキテクチャを説明できる。
- ブロックチェーンに関する日立の取り組みと活用事例を説明できる。

対象者 ブロックチェーンに関する技術全般を知ることで、ビジネスに活用するヒントを得たい初級システムアーキテクト、ソフトウェア開発者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. ブロックチェーンの概要
   (1)ビットコインとの関係性
   (2)ブロックチェーンを支える基礎技術
   (3)ブロックチェーンの価値と適用が期待される分野
   (4)よくある質問
2. ブロックチェーンの代表的な基盤の特長と違い
   (1)代表的な基盤と選択方法
   (2)ビットコインのアーキテクチャ
   (3)Hyperledger Fabricのアーキテクチャ
3. ブロックチェーンに対する日立の取り組みと活用事例
   (1)Hyperledgerコミュニティへの参画
   (2)日立の提供するソリューション・サービスと活用事例
4. 補足情報
   (1)日立以外での活用事例
   (2)関連サイトの紹介

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード DBV149

マシン実習 3日間

Oracle Database：管理ネクスト・ステップ【バーチャル・クラスルーム】

大規模データベースの運用管理に必要となるOracle Databaseのアーキテクチャへのより深い理解と、効率的なデータベース管理方法について学習します。

到達目標
- Oracle Databaseインスタンスの管理ができる。
- 記憶域構造の作成および管理ができる。
- データベースの監視とパフォーマンスの管理ができる。
- バックアップの取得と簡単な障害からのリカバリができる。
- データベース・リソース・マネージャの管理ができる。
- 監査管理ができる。

対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Silver DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：管理クイック・スタート」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. はじめに
2. Oracleインスタンスの構造
3. Oracle Databaseの管理ツール
4. 初期化パラメータおよびインスタンスの起動/停止
5. サーバー側の構成
6. ユーザーの管理
7. 制御ファイル、REDOログ・ファイル、データファイル
8. 領域管理その1
9. UNDOデータの管理
10. データ同時実行性の管理
11. Oracle Data Pump
12. データベース・パフォーマンスの監視
13. パフォーマンスの管理:SQLチューニング
14. メモリー管理
15. マルチテナント・コンテナ・データベースおよびプラガブル・データベース
16. バックアップおよびリカバリ: 概念と構成
17. バックアップの作成
18. データベース・リソース・マネージャの使用
19. 監査

受講料 ¥247,500

オンライン　コースコード DBV143

マシン実習 5日間

Oracle Database：バックアップ・リカバリ【バーチャル・クラスルーム】

DBAの最も重要な仕事であるバックアップとリカバリについてより深く理解します。バックアップとリカバリの概念とアーキテクチャ、およびさまざまな方法と状況での実装について詳しく説明します。データの重複を含むさまざまなバックアップ、障害、復元、および回復のシナリオのためのRecovery Manager（RMAN）コマンドラインインターフェイスの知識を修得します。

到達目標
- ビジネス・ニーズに応えるための適切なバックアップおよびリカバリ手順の立案ができる。
- バックアップおよびリカバリ設定の実装とディスクおよびテープへのバックアップ操作の実行ができる。
- OracleDatabaseリカバリ手順を使用したメディアおよびその他の障害からのリカバリができる。
- データ障害の診断および修復ができる。
- フラッシュバック・テクノロジおよびデータ複製を使用したバックアップおよびリカバリ手順の補完ができる。
- 適切なバックアップおよびリカバリ計画によるデータベースの可用性の確保ができる。

対象者
- Oracleデータベースを運用する方。
- ORACLE MASTER Gold DBA 2019の資格取得をめざす方。

前提知識 「Oracle Database：管理ネクスト・ステップ」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. バックアップおよびリカバリの構成
2. Recovery Manager(RMAN)の使用
3. バックアップ計画
4. データベース・バックアップの作成
5. オプションのバックアップ機能の使用
6. RMANのバックアップ・パフォーマンスのチューニング
7. リカバリ・カタログの概要
8. リカバリ・カタログの作成
9. ターゲット・データベース・レコードの管理
10. ストアド・スクリプトの使用
11. 仮想プライベート・カタログの作成および使用
12. リストアおよびリカバリの概要
13. 障害の診断
14. 完全リカバリの実行
15. Point-in-timeリカバリの実行
16. ブロック・メディア・リカバリの実行
17. 追加のリカバリ操作の実行
18. フラッシュバック・テクノロジ：概要
19. 論理的フラッシュバック機能の使用
20. フラッシュバック・データベースの使用
21. PDBスナップショットの使用
22. データベース複製の概要
23. バックアップベースの複製データベースの作成

受講料 ¥401,500

eラーニング　コースコード UXE007

eラーニング 35時間

<eラーニング> Hyperledger Fabric管理

このコースでは、Hyperledger Fabricネットワークの理解と、チェーンコードの管理と対話、ピアの管理、基本的なCAレベルの機能の操作方法について学びます。Hyperledger Fabricのネットワークトポロジ、チェーンコードの操作、IDの管理、アクセス許可、コンポーネントのログを構成する方法と場所などを理解できます。Certified Hyperledger Fabric Administrator（CHFA）認定資格の対策コースとして最適です。

到達目標
- Hyperledger Fabricのネットワークトポロジを説明できる。
- チェーンコードの操作、IDの管理、アクセス許可、コンポーネントのログを構成する方法と場所を説明できる。
- Certified Hyperledger Fabric Administrator（CHFA）認定資格を取得する知識を高めることができる。

対象者
- Hyperledger Fabric環境の管理方法について詳しく学びたいという方。
- 管理および開発のバックグラウンドを持つ方。

前提知識 Linuxコマンドライン、bash、Dockerとコンテナ、NoSQL、CouchDB、ブロックチェーンと分散型台帳の基本的な知識があること。

内　容
1. コース紹介
2. ブロックチェーンと分散台帳テクノロジー
3. Hyperledger Fabricの概要
4. メンバーシップサービス、MSP、およびチャネル
5. 認証局の詳細
6. Hyperledger Fabric トランザクション
7. トランザクションのライフサイクル
8. ネットワーク作成資産
9. チェーンコードのライフサイクルとプライベートデータ
10. サービス ディスカバリ
11. 診断とトラブルシューティング

受講料 ¥36,300

マシン実習　マシンを使用しながらの研修
グループ演習　グループ演習を中心とした研修
レクチャ　座学による研修
eラーニング　インターネット接続による自己学習
自習テキスト　自習書による独習

基盤製品（ネットワーク）

ネットワークの構成を理解し、LANおよびWANに接続したシステム設計・構築・運用管理に関する技術が修得できます。

ネットワーク基礎、設計、構築

レベル1

NWV103 オンライン
ネットワーク基礎
レクチャ 2日間

または

NWE034 eラーニング
ネットワーク基礎Ⅰ
−イーサネットの仕組み−
音声なし 説明文有 12時間

NWE035 eラーニング
ネットワーク基礎Ⅱ
−TCP/IPの仕組み−
音声なし 説明文有 12時間

レベル2

NWJ099 集合
TCP/IPプロトコル解析
マシン実習 2日間

NWE038 eラーニング
TCP/IP機能概説
−ルーティング編−
音声なし 説明文有 8時間

NWE040 eラーニング
WANの技術
−VPNサービスへの変遷−
音声なし 説明文有 8時間

NWE039 eラーニング
LANの技術
−高可用ネットワーク−
音声なし 説明文有 8時間

NWV146 オンライン
ネットワーク設計基礎と演習
レクチャ 1日間

NWE028 eラーニング
ネットワーク設計基礎
音声なし 説明文有 4時間

NWJ084 集合
ネットワークトラブル解決
マシン実習 2日間

Renewal
NWV153 オンライン
ネットワークインフラ構築
−基礎編−
マシン実習 1日間

NWJ138 集合
ネットワークインフラ構築
−ルータ編−
マシン実習 2日間

休講
NWJ133 集合
ネットワークインフラ構築
−スイッチ編−
マシン実習 2日間

NWJ120 集合
ネットワークインフラ構築
−冗長化・負荷分散編−
マシン実習 2日間

NWE037 eラーニング
ネットワーク管理解説
音声有 説明文なし 6時間

NWE036 eラーニング
IPv6の基礎と移行技術
音声なし 説明文有 12時間

レベル3

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

オンライン コースコード NWV103

レクチャ 2日間

ネットワーク基礎【バーチャル・クラスルーム】

コンピュータネットワークで利用される技術や、コンピュータネットワークの構築に必要な基礎知識を総合的に学習します。

到達目標
- LANの構成要素（ハード/ソフト）について説明できる。
- OSI基本参照モデルに対応したネットワークの基本動作を説明できる。
- イーサネット、IPv4、TCP/UDPの基本について説明できる。

対象者
- ネットワーク技術者をめざす方。
- 業務の中でネットワークの基礎知識を必要とする方。
- 小規模なネットワークを構築・運用する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークインタフェース層
4. インターネット層
5. トランスポート層
6. アプリケーション層
7. ネットワーク機器
8. インターネット

受講料 ¥55,000

eラーニング コースコード NWE034

eラーニング 12時間

<eラーニング> ネットワーク基礎Ⅰ −イーサネットの仕組み−

ネットワークの階層構造および、各階層におけるプロトコルの概要、LANで使われる基礎技術についてイーサネットを中心に学習します。

到達目標
- ネットワークの階層構造、プロトコルの役割について説明できる。
- イーサネットの基礎技術、機器について説明できる。

対象者 ネットワークに関する基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. ネットワークの基礎知識
2. プロトコル
3. ネットワークの通信例
4. アプリケーションプロトコル
5. TCP/UDP
6. IP
7. 伝送媒体
8. イーサネット
9. LANデバイス
10. 修了試験

受講料 ¥38,500

eラーニング コースコード NWE035

eラーニング 12時間

<eラーニング> ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−

TCP/IPの概要をインターネット層、トランスポート層、アプリケーション層を中心に解説します。

到達目標
- TCP/IPの基礎的な説明ができる。
- IP関連プロトコルの基礎的な説明ができる。
- TCP/IP上のアプリケーションの基礎的な説明ができる。

対象者 TCP/IPの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎Ⅰ−イーサネットの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. TCP/IPの概要
2. IP
3. アドレス解決（ARP）
4. ICMP
5. TCP/UDP
6. IP関連技術
7. リモート・ログイン（Telnet）
8. ファイル転送（FTP）
9. 名前解決（DNS）
10. WWW（HTTP）
11. 電子メール
12. IPv6
13. 修了試験

受講料 ¥38,500

集合 コースコード NWJ099

マシン実習 2日間

TCP/IPプロトコル解析

LANアナライザを用いてTCP/IPのシーケンスを視覚的にとらえることにより、TCP/IPの内部的な動作を学習します。

到達目標 TCP/IPの内部的な動作を説明できる。

対象者 TCP/IPについてネットワーク内部での動作を把握し、知識を深めたい方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. TCP/IPの構造
2. TCP/IPのデータの流れ
3. 各プロトコルヘッダの構造
4. ICMPメッセージの種類
   (1) EchoRequest、EchoReply
   (2) Redirect
   (3) TimeExceeded
5. 各アプリケーションの動作
   (1) ftp
   (2) telnet
6. シーケンス確認（演習）
   (1) TCP/IPレベルのシーケンス
   (2) アプリケーションのシーケンス

受講料 ¥77,000

eラーニング コースコード NWE038

eラーニング 8時間

<eラーニング> TCP/IP機能概説 −ルーティング編−

TCP/IPでのルーティングの仕組みやルーティングプロトコル（RIP、OSPF、BGP）を学習します。

到達目標
- 小規模ネットワークにおけるルーティングに必要な各種設定および項目を説明できる。
- ルーティングプロトコル各種の特性を説明できる。

対象者 ネットワーク技術者をめざす方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容
1. ルーティング
2. スタティックルーティング
3. ルーティングアルゴリズム
4. RIP
5. OSPF
6. BGP
7. 修了試験

受講料 ¥19,800

eラーニング コースコード NWE040

eラーニング 8時間

<eラーニング> WANの技術 −VPNサービスへの変遷−

VPNをはじめとするWANサービスの概要と、サービスを構成する基礎技術を学習します。

到達目標
- 代表的なWANサービスの基礎技術を説明できる。
- VPN（広域イーサネット、IP-VPN、インターネットVPN）について技術とサービスの特性を説明できる。

対象者 WANサービスの基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ−TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内 容 序章. WANサービスの変遷
1. WANの利用
2. 伝送技術とデータリンク層プロトコル
3. 専用線
4. PSTN・ISDN
5. xDSL・FTTH
6. 無線アクセス回線
7. 広域イーサネット
8. IP-VPN
9. インターネットVPN

受講料 ¥19,800

eラーニング　コースコード NWE039

<eラーニング> LANの技術 −高可用ネットワーク−

8時間

VLAN、無線LAN、負荷分散装置など、LANを構築するうえで必要な知識を学習します。

到達目標 ・VLAN、無線LANの基礎を説明できる。
・負荷分散装置、冗長化技術の基礎について説明できる。

対象者 LAN技術の基礎的な知識を必要とする方、またはLAN技術の基礎的な知識を必要とする方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. LANの構築
2. リンクアグリゲーション
3. STP
4. VRRP
5. 負荷分散
6. VLAN
7. ネットワーク・ストレージ
8. 無線LAN
9. LANデバイス
10. 修了試験

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード NWV146

ネットワーク設計基礎と演習 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

ネットワークシステムの計画・設計において必要な基礎知識を学習します。

到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。

対象者 ・職種共通、若年層ネットワークシステムの計画、設計をする方。
・ネットワークシステムの設計を依頼する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ネットワーク設計・構築の全体像
2. LANの設計
3. 拠点間接続の設計
4. インターネットの接続設計
5. 拠点ネットワークの設計演習
6. 全社ネットワークの設計演習

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード NWE028

<eラーニング> ネットワーク設計基礎

4時間

ネットワークシステムの計画、設計において必要な基礎知識を学習します。

到達目標 ネットワークシステムの計画、設計工程に必要な基礎知識を説明できる。

対象者 ネットワークシステムの計画、設計をする方、ネットワークシステムの設計を依頼する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ネットワーク設計・構築の全体像
2. LANの設計
3. 拠点間接続の設計
4. インターネット接続の設計
5. 修了試験

受講料 ¥11,000

集合　コースコード NWJ133

ネットワークインフラ構築 −スイッチ編−

2日間

L3スイッチを使ったマシン演習を通し、VLAN、リンクアグリゲーション、STP、ルーティング、フィルタリング、運用管理について学習します。

到達目標 L3スイッチによるネットワークを構築できる。

対象者 LANスイッチを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. スイッチの概要
2. スイッチの基本操作（コンフィギュレーション、ミラーポート）
3. VLAN（ポートVLAN、タグVLAN、VLAN間ルーティング）
4. リンクアグリゲーション
5. STP（RSTP、MSTP）
6. パケットフィルタリング（ACL）
7. 運用管理（SNMP、Syslog）

受講料 ¥81,400

集合　コースコード NWJ120　休講

ネットワークインフラ構築 −冗長化・負荷分散編−

2日間

高可用ネットワークを実現するための冗長化技術および負荷分散技術について、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・冗長化技術を用いたネットワークを設計・構築できる。
・負荷分散技術を用いたネットワークを設計・構築できる。

対象者 ネットワークインフラを設計、構築、管理する方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ースイッチ編ー」および「ネットワークインフラ構築ールータ編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. L2冗長化・負荷分散（STP、RSTP、MSTP）
2. L3冗長化・負荷分散（OSPF、RIP）
3. ゲートウェイ冗長化（VRRP）
4. ロードバランサによる負荷分散
5. NIC冗長化（チーミング）
6. 総合演習

受講料 ¥81,400

eラーニング　コースコード NWE037

<eラーニング> ネットワーク管理解説

6時間

ネットワークの運用管理の対象となる項目（構成管理・性能管理・障害管理等）と、ネットワーク運用管理において利用するプロトコル、各種管理ツールの特長について学習します。

到達目標 ・ネットワークの管理項目（構成管理/性能管理/障害管理等）について説明できる。
・各種管理ツールの利用方法/特長について説明できる。
・SNMPによるネットワーク管理の構成要素と、要素の概要を説明できる。

対象者 情報システムにおけるネットワークの運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築ー基礎編ー」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ネットワーク管理の概要
2. 資産・構成管理
3. 性能管理
4. 障害管理
5. ネットワーク管理ツール
6. SNMPを用いたネットワーク管理

受講料 ¥19,800

オンライン　コースコード NWV153　Renewal

ネットワークインフラ構築 −基礎編− 【バーチャル・クラスルーム】

1日間

PC、LANスイッチ、ルータの基本的な操作を通して、ネットワークの基礎知識、またネットワーク構築の基礎技術の理解を深めます。

到達目標 PC、LANスイッチ、ルータの基礎的な設定ができる。

対象者 ネットワークを構築・管理する方。
ネットワーク機器の操作を通じてネットワーク技術の知識を深めたい方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. LANとは
   (1) OSI基本参照モデル
   (2) イーサネット
   (3) TCP/IP
2. ネットワーク機器の基本操作
   (1) モード
   (2) 基本コマンド
   (3) インタフェースの設定
3. スイッチを用いたLANの構築
   (1) スイッチの機能
   (2) VLAN
4. ルータを用いたLANの構築
   (1) ルータの機能
   (2) スタティックルーティング
   (3) ダイナミックルーティング

受講料 ¥44,000

集合　コースコード NWJ084

ネットワークトラブル解決

2日間

ネットワークにおけるトラブルシュートについて、マシン実習を通して学習します。

到達目標 ・トラブルシュートの基礎的な考え方について説明できる。
・トラフィック解析ツールを利用したトラブルシュートができる。

対象者 ネットワークを構築・管理する方、トラブルの切り分けを行う方。

前提知識 「ネットワークインフラ構築-基礎編-」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ネットワーク概要
2. トラブル解析手順
   (1)ネットワークトラブルに対する考え方
   (2)トラブルシュートで必要なこと
   (3)トラブルの絞り込み
3. ルータの基本操作
4. スイッチの基本操作
5. LANアナライザの使用方法
6. トラブルシューティング演習

受講料 ¥81,400

集合　コースコード NWJ138

ネットワークインフラ構築 −ルータ編−

2日間

LANでのルーティング技術について、ルータを使ったマシン実習を通して学習します。

到達目標 小規模ネットワークにおけるルーティング設定ができる。

対象者 ルータを使用したネットワークを構築、管理する方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. ルータの基本操作
2. ルーティングの基礎
3. スタティックルーティング
4. ダイナミックルーティング（シングルエリアOSPF）
5. ダイナミックルーティング（マルチエリアOSPF）
6. ダイナミックルーティング（BGP）
7. 経路再配布

受講料 ¥77,000

eラーニング　コースコード NWE036

<eラーニング> IPv6の基礎と移行技術

12時間

IPv6プロトコルに関連する基礎技術（アドレス、ヘッダ、ICMP等）と移行技術を学習します。

到達目標 ・IPv6の概要を説明できる。
・IPv6移行技術の概要を説明できる。

対象者 IPv6の基礎的な知識を必要とする方、ネットワークの設計、構築、運用管理を行う方。

前提知識 「ネットワーク基礎」コース、または「ネットワーク基礎Ⅱ −TCP/IPの仕組み−」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IPv4の問題点とIPv6の特長
2. IPv6の仕様（プロトコルスタックやアドレスなど）
3. ICMPv6の仕様（アドレス解決やステートレスアドレス自動設定など）
4. IPv6への移行（移行形態やアドレス設計例など）
5. 修了試験

受講料 ¥38,500

ミドル・アプリケーション製品

ビジネスユーザーによるデータ活用やローコードでのDXを支援するアプリケーション・サービスや、サーバ仮想化製品の基礎知識、操作、技術が修得できます。

Pentaho

Pentahoを使用してデータ操作・参照したい方

レベル1	レベル2	レベル3
休講 PDV001 オンライン (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール マシン実習 1日間 ＜Pentaho認定コース＞		

PentahoのBI機能を使用したデータ分析をしたい方

レベル1	レベル2	レベル3
PTV001 オンライン Pentahoによるデータの可視化・分析 マシン実習 0.5日間 ＜日立アカデミーオリジナルコース＞	休講 PDV003 オンライン (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス データモデリング マシン実習 2日間 ＜Pentaho認定コース＞ 休講 PDV002 オンライン (Pentaho認定) ビジネスアナリティクス レポートデザイナー マシン実習 2日間 ＜Pentaho認定コース＞ 休講 PDV004 オンライン (Pentaho認定) CToolsの基本 マシン実習 2日間 ＜Pentaho認定コース＞	

Pentahoを使用してデータ統合をしたい方

レベル1	レベル2	レベル3
PTV002 オンライン データ加工・統合入門 －Pentahoを用いて－ マシン実習 1日間 ＜日立アカデミーオリジナルコース＞	休講 PDV005 オンライン (Pentaho認定) データ統合の基本 マシン実習 3日間 ＜Pentaho認定コース＞	

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

Power Platform

Microsoft Power Platformを使用して業務アプリケーションの構築・運用する方

レベル1	レベル2	レベル3
	RPV021 オンライン Power Platform入門 (Power Automate DesktopによるRPA活用編) マシン実習 1日間 休講 RPV020 オンライン※ Power Platform入門 (Power Appsによるローコードアプリ活用編) マシン実習 1日間 RPV019 オンライン Power Platform入門 (Power BI Desktopによるデータ活用編) マシン実習 1日間 休講 RPV022 オンライン※ Power Platform入門 (Power Automateによるクラウドフロー活用編) マシン実習 1日間	

※RPV022およびRPV020の個別開催については別途お問い合わせください。

Tableau

レベル1	レベル2	レベル3
	DBV139 オンライン Tableauトレーニング －Desktop Ⅰ：Fundamentals（初級～中級）－ マシン実習 2日間 DBV140 オンライン Tableauトレーニング －Desktop Ⅱ：Intermediate（中級）－ マシン実習 2日間	

音声有・説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有・説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし・説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン コースコード PDV001 休講

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス ユーザーコンソール【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 1日間

ビジネス上の意思決定にビジネスインテリジェンスを利用するユーザーに対して、Pentaho製品の円滑なスタートを提供します。また、このコースはすべてのビジネス・アナリティクスとデータ統合の学習のための出発点となり、より高度なトピックのための前提条件となります。

到達目標 インタラクティブレポート、アナライザ、レポートデザイナー、およびダッシュボードデザイナーの主な機能を説明できる。

対象者 ビジネスユーザーの方、ビジネスアナリストをめざす方、データアナリスト・Pentaho管理者・Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. インタラクティブレポートによるレポート作成
3. アナライザによるレポート作成
4. ダッシュボードデザイナーによるダッシュボード作成

受講料 ¥110,000

オンライン コースコード PTV001

Pentahoによるデータの可視化・分析【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 0.5日間

Pentahoのアナライザーレポート機能などを用いた、データの可視化および分析について学習します。

到達目標
- データ分析の処理方法であるOLAP（Online Analytical Processing）の概要を説明できる。
- Pentahoを用いてデータを可視化、分析できる。

対象者 Pentahoによるデータの可視化、分析について学びたい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。

内 容
1. Pentahoのデータ可視化、分析機能概要
   (1)概要
   (2)アナライザーレポート機能
   (3)その他のレポート機能
2. アナライザーレポート機能による可視化、分析
   (1)OLAP分析の概要
   (2)グラフ種別
   (3)データ分析操作
3. データ分析演習
   (1)仮説の作成
   (2)分析と仮説の検証

受講料 ¥38,500

オンライン コースコード PDV003 休講

（Pentaho認定）ビジネスアナリティクス データモデリング【バーチャル・クラスルーム】

マシン実習 2日間

Pentahoメタデータエディターやスキーマワークベンチを使って、インタラクティブレポートやアナライザーで使用するデータモデルの作成を行います。

到達目標
- データソースウィザードを使用してCSVファイルからデータモデルを作成できる。
- Pentahoメタデータエディターを使って、複雑なDBテーブルやレポートデータに対するセキュリティパラメータの設定をするためのビジネス言語定義が行える。
- OLAP、ROLAP、ディメンジョナル・モデリングを説明できる。
- Mondrianスキーマの機能と目的を説明できる。
- Pentahoアナライザーの基本的なキューブを作成するために、スキーマワークベンチを使える。
- ヒエラルキー、レベル、計算メンバーを含むスタースキーマを作成するために、スキーマワークベンチを使える。
- スキーマワークベンチ内でMondrianスキーマをテストするために基本的なMDXクエリーを書ける。
- Mondrianスキーマへのアクセスを管理するため、どのようにスキーマワークベンチのロールを使うか説明できる。

対象者 ビジネスアナリスト、データアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. Pentahoによるデータソースの働き
3. OLAP/ROLAPとディメンジョナル・モデリング
4. スキーマワークベンチの使用

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード PDV002 / 休講

マシン実習 2日間

(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス レポートデザイナー【バーチャル・クラスルーム】

Pentahoレポートデザイナーにより、レポートのデザイン、作成、パブリッシュ方法を修得します。また、データソースへのアクセスからデザイン要素の追加までビジネスレポート作成に必要なすべてのステップを学習できます。

到達目標
- レポートデザイナーの主要な特長を説明できる。
- データソースに接続してクエリーデザインツールによりレポートのためのクエリーが書ける。
- さまざまなデータを使用して要素をデザインできる。
- レポート要素をフォーマットして、条件フォーマットをレポート要素に適用できる。
- ハイパーリンクとパラメーターをレポートに追加できる。
- レポートデザイナーでチャートとサブレポートを使える。
- レポート内でリソースファイルを使うことができる。
- レポートウィザードを使ってレポートを作成できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方、Pentahoサポートを担当する方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Pentahoビジネスアナリティクス入門
2. レポートデザイナーによるレポート作成
3. 高度なレポーティングトピック
4. レポートウィザードによるレポート作成

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード PDV004 / 休講

マシン実習 2日間

(Pentaho認定) CToolsの基本【バーチャル・クラスルーム】

リッチなユーザー体験を提供するピクセルパーフェクトなダッシュボードの作成方法について学習します。

到達目標
- ダッシュボードデザインのためのトップ - ボトムアプローチが説明できる。
- DCFのようなダッシュボードフレームワークの目的を説明できる。
- コアのCTools（CDA、CDE、CCC）が使えて、その目的が説明できる。
- CToolsの中で使用されるテクノロジーが説明できる。
- CToolsトレーニング環境が説明できる。
- CDEを使ったダッシュボードのためのレイアウトが作成できる。
- CDEのライフサイクルの背景となる主要コンセプトが説明できる。
- CDEデータソースパースペクティブが説明できる。
- Mondrianデータソースをダッシュボードに追加できる。
- CCCとCCC2が説明できる。
- チャートや表がダッシュボードに追加できる。
- チャートカスタマイズのための拡張ポイントを見つけるためドキュメントを使える。
- パラメータコンポーネントをダッシュボードに追加できる。
- セレクターやウィジェットをダッシュボードに追加できる。

対象者 ビジネスアナリストをめざす方。

前提知識 「(Pentaho認定)ビジネスアナリティクス」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内 容
1. ダッシュボードデザイン
2. CToolsのアーキテクチャ
3. CDF/CDE入門
4. CDAによるダッシュボードデータソースの作成
5. ダッシュボードへのコンポーネント追加
6. CCCによるチャートの設定
7. コンポーネント間の相互利用
8. CGGとCDAのエクスポート機能

受講料 ¥209,000

オンライン / コースコード PTV002

マシン実習 1日間

データ加工・統合入門 −Pentahoを用いて−【バーチャル・クラスルーム】

データ統合で必要なETL処理について、データ加工の考え方やポイントを学習します。また、PentahoのPDI（Pentaho Data Integration）機能を使用した、ETL処理の定義・実行操作を学習します。

到達目標
- データ統合を目的としたETL（Extract/Transform/Load）処理のポイントを説明できる。
- Pentahoを用いてETL処理を定義・実行できる。

対象者
- 業務でデータ統合を実現する方法を学びたい方。
- Pentahoを使用したシステムの提案、導入を担当する営業、SEの方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作についての知識があること。

内 容
1. ETL概要
   (1)ETLとは
   (2)ETLにおけるデータ加工のポイント
2. Pentaho概要
   (1)Pentahoの概要と構成
   (2)PDIの用語・概念
3. データの名寄せ
   (1)名寄せとは
   (2)名寄せのポイント
   (3)PDIでの設定・実行例
   (4)演習
4. データのクレンジング
   (1)クレンジングとは
   (2)クレンジングのポイント
   (3)PDIでの設定・実行例
   (4)演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード PDV005 / 休講

マシン実習 3日間

(Pentaho認定)データ統合の基本【バーチャル・クラスルーム】

Pentahoデータ統合を活用し、生産性を向上させるスキルを修得できます。また、Pentahoのデータ統合機能を使用して、さまざまなアプリケーションにデータを配信する方法を学習できます。

到達目標
- ステップやホップを含む基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行ができる。
- データ変換の結果をメトリクスビューやログビューで確認できる。
- 基本的なセキュリティを含むPentahoエンタープライズレポジトリを設定できる。
- Pentahoエンタープライズレポジトリを使用できる。
- データ変換ステップのためのエラーハンドリングができる。
- データベース接続を作成してデータベース探索が行える。
- データ変換の作成が行える。
- ストリーム上での複雑な計算を行うデータ変換の作成できる。
- パラメータや環境変数を使った繰り返しのデータ変換を作成できる。
- データ補正データクレンジングにPentahoデータ統合を使用できる。
- 異なるデータソースへデータをロードできる。
- ジョブを作成できる。
- データ変換やジョブのためのログを設定し、結果を検証できる。
- Pentahoデータ統合、Pentahoエンタープライズコンソールから、スケジュールしてモニタリングできる。

対象者 データアナリストをめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 基本的なデータ変換の作成、プレビュー、実行
2. メトリクスビューやログビュー
3. Pentahoエンタープライズレポジトリ
4. エラーハンドリング
5. データベース接続
6. 各種データ変換
7. データ統合
8. ジョブの作成

受講料 ¥308,000

オンライン / コースコード RPV020 / 休講

マシン実習 1日間

Power Platform入門（Power Appsによるローコードアプリ活用編）【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、Microsoft社のPower Appsによるローコードアプリケーション開発について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- Power Appsの概要が説明できる。
- キャンバスアプリの作成ができる。
- Microsoft Dataverseの利用ができる。
- モデル駆動型アプリの作成ができる。

対象者 Power Appsによる基本的なアプリケーション開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. Power Appsの概要
2. キャンバスアプリの作成
3. Microsoft Dataverseの利用
4. モデル駆動型アプリの作成

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV022 / 休講

マシン実習 1日間

Power Platform入門（Power Automateによるクラウドフロー活用編）【バーチャル・クラスルーム】

このコースは、Microsoft社のPower Automateによるクラウドフロー活用（クラウドサービスを利用した業務を自動化するためのフロー開発）について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- Power Automateのクラウドフロー概要が説明できる。
- クラウドフローの主要機能が説明でき、操作できる。
- クラウドフローによるフロー開発によりクラウドサービスの業務を効率化できる。

対象者 Power Automateによる基本的なクラウドフローの開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft 365の基本的な操作経験があること。

内 容
1. Power Automateクラウドフロー概要
2. クラウドフローの主要機能
3. クラウドフロー作成演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV021

マシン実習 1日間

Power Platform入門（Power Automate DesktopによるRPA活用編）【バーチャル・クラスルーム】

Microsoft社のPower Automate DesktopによるRPA活用（業務を自動化するためのデスクトップフロー開発）について、マシン演習を通じて学習します。

到達目標
- RPAの概要や活用事例が説明できる。
- Power Automateの製品概要が説明できる。
- Power Automate Desktopの主要機能が説明でき、操作できる。
- Power Automate Desktopによるロボット開発（デスクトップフロー作成）により業務を自動化できる。

対象者 Power Automate Desktopによる基本的なデスクトップフローの開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内 容
1. RPA概要
   (1)RPAとは
   (2)業務のRPAの考え方
2. Power Automateの紹介
   (1)Power Platform概要
   (2)Power Automate Desktop概要
   (3)Power Automate Desktopの主要機能
   (4)Power Automate Desktopの基本操作
3. 業務自動化フロー作成演習
   (1)演習で扱う業務内容の紹介
   (2)プラウザ操作の自動化
   (3)表形式データ取得・ファイルへのデータ書き込みの自動化
   (4)ファイル内のデータ操作の自動化
   (5)フローのエラー処理の実装

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード RPV019

マシン実習 1日間

Power Platform入門（Power BI Desktopによるデータ活用編）【バーチャル・クラスルーム】

Power Platform製品の中でデータ活用を支援するPower BIについて、Power BI Desktopを用いたデータの可視化や分析の機能・操作をマシン演習を通じて学習します。また、データ活用のための加工や可視化におけるポイントを学習します。

到達目標
- データの可視化や分析、データの加工におけるポイントを説明できる。
- Power BI Desktopのデータ加工・レポート作成機能を用いて可視化・分析を行える。

対象者
- データ活用に必要となるデータの加工や可視化・分析について学びたい方。
- Power BI Desktopを用いたビジュアルなレポート作成やそのためのモデル構築を行いたい方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Power Platform/Power BI概要
   (1)Power Platform概要
   (2)Power BI概要
   (3)Power BI Desktop概要
2. データ活用、データ分析の概要
   (1)データ活用とは
   (2)データ分析の考え方
3. Power BI Desktopによるデータの加工とモデル構築
   (1)データ加工のポイント
   (2)Power BI Desktopでのモデル構築層操作
4. Power BI Desktopによるデータの可視化・分析
   (1)Power BI Desktopの可視化・分析機能
   (2)Power BI Desktopでの可視化・分析操作
5. データ分析演習

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード DBV139

マシン実習 2日間

Tableauトレーニング −Desktop I：Fundamentals（初級〜中級）−【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、各トピックの主な概念を取り上げたワークブックを使って実習を行いながらスキルや知識を学習します。

到達目標
- データに接続してデータソースを編集できる。
- データの並べ替え、フィルタリング、グループ化ができる。
- Tableauワークスペースを使用してピジュアライゼーションを作成できる。
- 基本的な各種のチャートタイプを分析用に構築できる。
- 簡単な表計算など、基本的な計算を作成できる。
- インタラクティブなダッシュボードを構築して、データインサイトを表面化ができる。
- ビジュアライゼーションを共有およびパブリッシュする方法を説明できる。

対象者 これからTableauをご利用する方、Tableauの導入を検討する方。
このコースは、Tableauを初めて使用する作成者、アナリスト、設計者、データサイエンティスト、管理者にとっての出発点となるコースです。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. Tableauの基礎
2. Tableau のワークフロー
3. 接続とデータソースを設定する
4. データを簡素化して並べ替える
5. データを整理する
6. 特定の値を表示する
7. 日付でデータをスライスする
8. 1つのビューで複数のメジャーを使用する
9. 数値間の関係性を表示する
10. データをカスタマイズする
11. 簡易表計算でデータを分析する
12. 全体の内訳を表示する
13. ビューを使用できるようにする

受講料 ¥220,000

オンライン / コースコード DBV140

マシン実習 2日間

Tableauトレーニング −Desktop II：Intermediate（中級）−【バーチャル・クラスルーム】

このコースでは、Tableau のパワーユーザーになるために必要な技能を修得します。データへの接続、計算の使用、ビジュアライゼーションの構築、パラメーターなどの分析の適用、ダッシュボードのカスタマイズなどに関して、より高度な手法を学習します。

到達目標
- 結合、ユニオン、関係を使用して、複数の表からのデータを統合ができる。
- 抽出を使用してパフォーマンスを向上させることができる。
- Bar in Bar やブレットグラフなどの高度なチャートタイプを構築できる。
- 高度な計算と表計算を使用し、分析用に必要に応じてデータを修正できる。
- 統計テクニックを用いてデータを分析できる。
- パラメーターと入力コントロールを使用して、オーディエンス分析を支援ができる。
- 誘導形式の分析機能、インタラクティブなダッシュボード設計、ピジュアライゼーションのベストプラクティスなどのテクニックを用いて、より良いダッシュボードを構築ができる。

対象者 より高度なスキルの修得をめざすTableauに習熟したユーザーの方。

前提知識 「Tableau Desktop I: Fundamentals（初級〜中級）」コースを修了しているか、または 3 か月以上の製品使用経験があること。

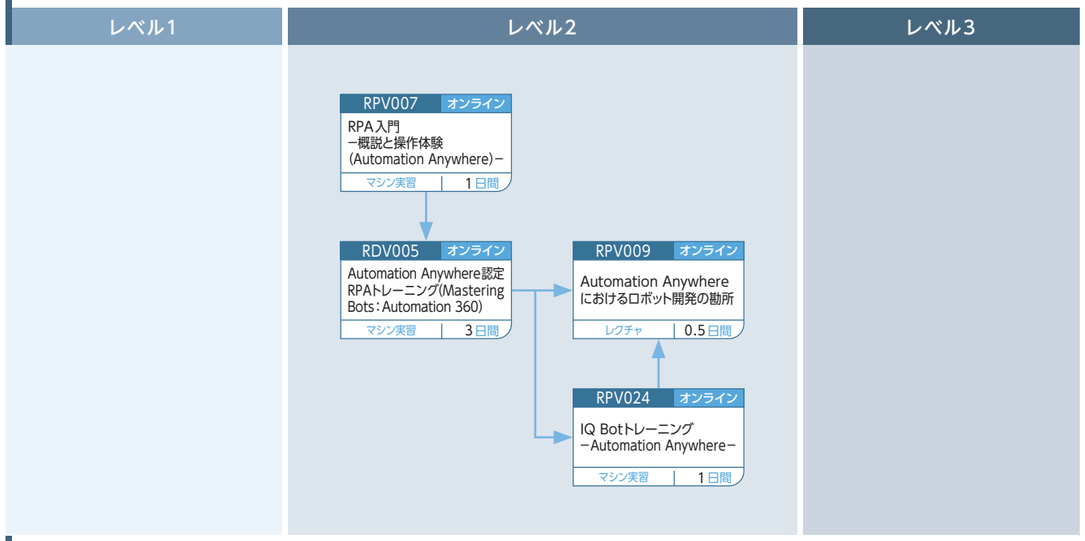
内 容
1. Tableau Desktop II: Intermediate（中級）の概要
2. データソースを作成して接続する
3. データ抽出
4. Tableau で計算を使用する
5. メジャーを比較する
6. 分布を表示する
7. ビンとヒストグラム
8. 高度な表計算
9. パラメーターを作成して使用する
10. データのサブセットを定義する
11. ダッシュボード

受講料 ¥220,000

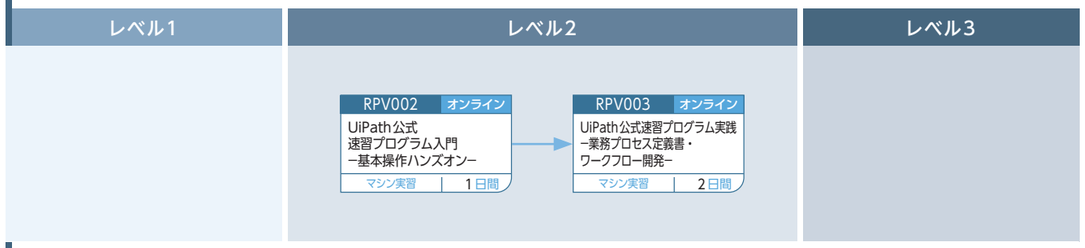
RPA製品

RPA（Robotic Process Automation）製品を使用して業務自動化のロボットを開発するために必要な基礎知識と技術が修得できます。

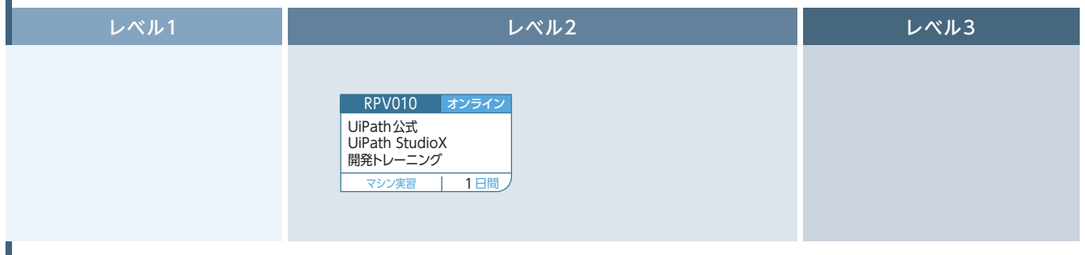
Automation Anywhereを使用して業務自動化のロボットを開発する方



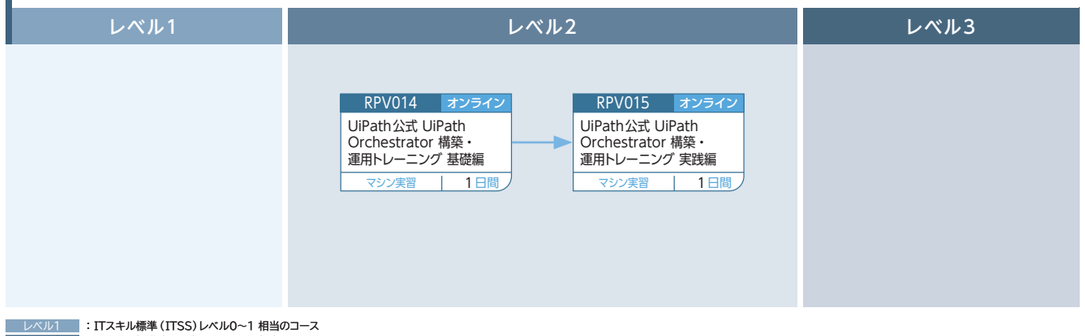
UiPath Studioを使用して業務自動化のロボットを開発する方



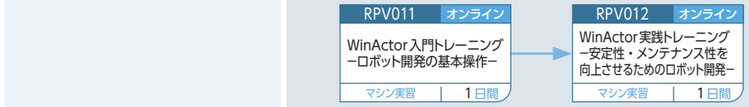
UiPath Studio Xを使用して業務自動化のロボットを開発する方



UiPath Orchestratorをロボットを管理・監視する方



WinActorを使用して業務自動化のロボットを開発する方



レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン　コースコード RPV007

マシン実習 1日間

RPA入門−概説と操作体験（Automation Anywhere）−【バーチャル・クラスルーム】

RPA（Robotic Process Automation）の基礎について学習し、RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）によるロボット開発を体験します。

到達目標
- RPAの概要や導入事例が説明できる。
- RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）の概要が説明できる。
- RPA製品（Automation Anywhere Enterprise）を使用して基本的な業務自動化ロボットの作成・実行ができる。

対象者 RPAの導入を検討している方、RPAの基礎から学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. Automation Anywhere Enterpriseの紹介
3. 業務自動化ロボット開発体験

受講料 ¥66,000

オンライン　コースコード RDV005

マシン実習 3日間

Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）【バーチャル・クラスルーム】

RPA（Automation 360）を実際に使用することで、単純なものからやや複雑な業務を自動化するためのボット開発方法について、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- Automation 360のプラットフォーム、アーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- 単純なタスク、ボットを作成するためのレコーダー、エディター、さまざまな基本アクションについて説明できる。
- 中高程度の複雑なボットを自身で開発できる。
- RPAとそのユースケースについて説明できる。

対象者 RPA製品（Automation 360）を使用して業務の省力化・自動化をする方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。

内　容
1. 概要
2. データ入力
3. CSVにデータ抽出
4. Excelにデータ抽出
5. サブタスク、エラーハンドリング
6. ファイル結合

受講料 ¥242,000

オンライン　コースコード RPV009

レクチャ 0.5日間

Automation Anywhereにおけるロボット開発の勘所【バーチャル・クラスルーム】

RPAで必要なロボットの安定稼働と品質をテーマに、ロボットの開発・管理・運用という 観点でマニュアルでは紹介されないノウハウ（ロボット開発のコツ、安定稼働のための構成）を学習します。

到達目標
- 高品質なロボットの開発ができる。
- ロボットのエラーから不具合個所の特定ができる。
- ロボットを安定稼働させることができる。

対象者
- Automation Anywhereでロボット開発をされる方。
- Automation Anywhereのシステムを運用管理される方。

前提知識
- 「Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。
- Automation Anywhereでロボット開発の経験がある、またはそれと同等の知識があること。

内　容
1. Automation Anywhereの概要（おさらい）
2. 初心者によくある勘違い、陥りやすい罠
3. よくあるエラーと解決法（事例をベースに）
4. 質疑応答（実際に困っていることに対するQ&A）

受講料 ¥38,500

オンライン　コースコード RPV024

マシン実習 1日間

IQ Botトレーニング −Automation Anywhere−【バーチャル・クラスルーム】

Automation Anywhere EnterpriseおよびIQ Botを実際に使用することで、非構造データを構造化データに変換しボットにて登録する一連のプロセスについて、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- Automation Anywhere IQ Botのアーキテクチャ、コンポーネントについて説明できる。
- IQ BotとRPAを使用した連携プロセスを、IQ Botの基本機能を使用し開発できる。
- IQ Botとそのユースケースについて説明できる。

対象者
- Automation Anywhereでロボット開発される方。
- Automation Anywhereでロボットの運用管理される方。

前提知識 RPAについて基礎的な知識があること。また、「Automation Anywhere認定RPAトレーニング（Mastering Bots：Automation 360）」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. IQ Bot概要
2. IQ Bot設定、開発
3. RPA設定、処理

受講料 ¥88,000

オンライン　コースコード RPV002

マシン実習 1日間

UiPath公式速習プログラム入門 −基本操作ハンズオン−【バーチャル・クラスルーム】

UiPath Studioの基本操作を学習し、UiPathの特長であるセレクター、処理の制御方法を理解し、UiPathと業務のRPA化につなげます。

到達目標
- UiPath Studioの基本操作について理解できる。
- ワークフロー、UiPath Studio上の処理に対する制御を理解できる。
- レコーディング機能を使用したワークフローの作成方法について理解できる。
- ワークフローにおいてアクティビティの操作方法について理解できる。
- セレクターについて理解できる。
- データスクレイピング機能のについて理解できる。

対象者 UiPath Studioによるロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. UiPath Studioの紹介
3. 制御構造の基礎
4. ワークフローの変更
5. セレクターとは
6. レコーディング機能
7. データスクレイピング機能

受講料 ¥49,500

オンライン　コースコード RPV003

マシン実習 2日間

UiPath公式速習プログラム実践 −業務プロセス定義書・ワークフロー開発−【バーチャル・クラスルーム】

RPA開発までのフェーズごとに必要なことと、業務改善手法の基礎、業務可視化のための業務フロー図の作成を学習します。また、RPA開発においてコミュニケーションの要ともなる「業務プロセス定義書」の作成、活用方法を学習します。次に、メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発、Configファイルの概念を学習します。

到達目標
- 業務改善手法の基礎・業務可視化の重要性を理解できる。
- 業務プロセス定義書の作成・活用ができる。
- ビジネス例外、アプリケーション例外の違いが説明できる。
- 既知のビジネス例外をリストアップできる。
- RPA化する業務プロセス、RPA化しない業務プロセスを選定できる。
- メンテナンス性が高く、効率的なワークフロー開発方法の基礎が理解できる。

対象者
- RPA化対象の業務プロセス定義書の作成方法を修得したい方。
- メンテナンス性に優れたワークフローの開発方法を修得したい方。

前提知識 「UiPath公式速習プログラム入門−基本操作ハンズオン−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. UiPath公式速習プログラム入門の復習
2. 業務プロセス定義書の活用・作成方法
3. メンテナンス性に優れた安定的なワークフロー開発方法
4. ワークフロー作成演習

受講料 ¥99,000

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

オンライン　コースコード RPV010

マシン実習 1日間

UiPath公式 UiPath StudioX 開発トレーニング【バーチャル・クラスルーム】

UiPath StudioXによる業務プロセス自動化について、マシン実習を通して修得します。

到達目標
- RPAについて理解できる。
- UiPath StudioXを使用した自動化に適した作業を選別できる。
- Excel・Outlook・Windows OS上のフォルダーなどを使用した簡単な自動化プロジェクトを開発できる。
- 自動化プロジェクトを実行できる。

対象者 UiPath StudioXによるロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPAと私たちの働き方と未来
2. UiPathのRPAツールの紹介
3. Studio Xの自動化に適した業務
4. UiPath StudioXのインストール方法
5. UiPath StudioXのUI
6. 基本操作
7. プロジェクト ノートブック
8. 条件によって処理を変更する方法
9. 繰り返し処理を実行する方法
10. Excel作業の自動化
11. Outlook作業の自動化
12. ファイル・フォルダー操作の自動化
13. ユーザーインターフェイスの自動化
14. データ抽出の自動化
15. 開発のルール
16. 自動化プロジェクトのパブリッシュ方法
17. ロボットによるプロセスの実行方法

受講料 ¥49,500

オンライン　コースコード RPV014

マシン実習 1日間

UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 基礎編【バーチャル・クラスルーム】

UiPath Orchestratorの必要性を理解し、お客さまに導入のメリットを説明するための知識について学習します。また、UiPath Orchestratorを操作することで、UiPath Orchestratorの機能を学習します。

到達目標
- 3つの観点からRPA製品のUiPath Orchestratorの役割を理解し、実際のユースケースで必要な機能・メリットを理解できる。
- UiPath Orchestratorを実際に操作することで基本機能を理解できる。
- UiPath Orchestratorの構成を理解し、可用性と拡張性の要件を整理した上で、必要な構成の見積もりができる。

対象者
- UiPath Orchestratorの基礎を学習したい方。
- UiPath Orchestratorの提案をする方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. UiPath Orchestrator概要
2. UiPath Orchestratorの基本操作（ハンズオン）
3. UiPath Orchestratorの構成
4. UiPath Orchestrator提案ワークショップ

受講料 ¥71,500

オンライン　コースコード RPV015

マシン実習 1日間

UiPath公式 UiPath Orchestrator 構築・運用トレーニング 実践編【バーチャル・クラスルーム】

RPA製品のUiPath Orchestratorの導入および運用における実践的なスキルについて学習します。

到達目標
- UiPath Orchestratorの設計・構築・運用に必要な情報を収集し、インフラ設計ができる。
- UiPath Orchestratorのインフラ構築ができる。
- UiPath Orchestratorのインフラ構築後の運用に必要な手順を理解し、メンテナンスができる。

対象者 UiPath Orchestratorのインフラを設計・構築・運用する方。

前提知識 「UiPath公式 UiPath Orchestrator構築・運用トレーニング 基礎編」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. UiPath Orchestratorのインフラ設計
2. UiPath Orchestratorのインフラ構築
3. UiPath Orchestratorのインフラ運用

受講料 ¥71,500

オンライン　コースコード RPV011

マシン実習 1日間

WinActor入門トレーニング −ロボット開発の基本操作−【バーチャル・クラスルーム】

RPAツール「WinActor」の業務を自動化するためのロボット開発（シナリオ作成）について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- RPAの概要や導入事例が説明できる。
- WinActorの製品概要が説明できる。
- WinActorによるロボット開発（シナリオ作成）の基本操作ができる。
- 自動記録機能によりシナリオを作成できる。
- 条件分岐や繰り返し処理を行うシナリオを作成できる。
- Excel操作を自動化するシナリオを作成できる。
- Webシステムへのデータ入力を自動化するシナリオを作成できる。

対象者 WinActorによる基本的なロボット開発手法を学習したい方。

前提知識 Microsoft Windowsの基本的な操作経験があること。

内　容
1. RPA概要
2. WinActorの紹介
3. WinActorの主要機能による基本操作

受講料 ¥66,000

オンライン　コースコード RPV012

マシン実習 1日間

WinActor実践トレーニング −安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発−【バーチャル・クラスルーム】

RPAツール「WinActor」の安定性・メンテナンス性を向上させるためのロボット開発（シナリオ作成）について、マシン実習を通して学習します。

到達目標
- シナリオのエラー対処ができる。
- 安定性を向上させるためのシナリオ作成ができる。
- メンテナンス性を向上させるためのシナリオ作成ができる。

対象者 WinActorによる安定性やメンテナンス性に優れたロボット開発（シナリオ作成）手法を修得したい方。

前提知識 「WinActor入門トレーニング−ロボット開発の基本操作−」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. RPA・WinActor概要
2. WinActorシナリオ作成の主要機能
3. シナリオのエラー対処
4. 安定性を向上させるためのシナリオ作成
5. メンテナンス性を向上させるためのシナリオ作成

受講料 ¥66,000

電気・計測制御

電気系技術者･技能者の知識や技能の拡大ができます。
若手技術者のための基礎技術や熟練技術者ための
リスキリングで技術が修得できます。

電気・電子共通基礎講座

レベル1	レベル2	レベル3
OTV024 オンライン 初心者のための エレクトロニクス入門 レクチャ　2日間		
OTJ016 集合 電気が苦手な人のための 電気回路入門−リレーシーケンスと トラブルシューティングから学ぶ− マシン実習　2日間		
OTJ023 集合 センサ活用技術の基礎 レクチャ　2日間		

制御・ドライブシステム

レベル1	レベル2	レベル3
	OTV007 オンライン ブラシレスモータ制御の プログラミング入門 マシン実習　2日間	

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

オンライン　コースコード OTV024

レクチャ 2日間

初心者のための エレクトロニクス入門【バーチャル・クラスルーム】

電気の専門知識を必要とする、非電気系出身者や、基礎を復習したい電気系出身者を対象とした入門講座です。

到達目標 電気の概要および基礎知識を修得できる。

対象者 電気の専門知識を必要とする、非電気系出身者や、基礎を復習したい電気系出身者および新入社員の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 電気と安全
2. 直流 電気の概要、単位の定義と電気の法則
3. 交流 RLCの働き、インピーダンスと周波数特性
4. 三相交流の基礎
5. 過渡応答
6. 半導体、トランジスタ回路の基礎

受講料 ¥110,000

集合　コースコード OTJ016

マシン実習 2日間

電気が苦手な人のための電気回路入門 −リレーシーケンスとトラブルシューティングから学ぶ−

このコースは、電気の基礎・シーケンス制御・リレー回路・テスターの使い方・トラブル診断の基礎を学びます。また、電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につけていきます。

到達目標 電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につける。

対象者
・電気がどうしても苦手な方。
・電気を楽しみながら感覚的に理解したい方。
・新人・若手の技術者・技能者、電気の初学者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方など。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 制御と電気と安全
2. 電気回路の基礎
3. リレー回路の配線
4. リレーシーケンス入門
5. トラブルシューティング基礎
6. 終了課題（故障診断予備実習）

受講料 ¥110,000

集合　コースコード OTJ023

レクチャ 2日間

センサ活用技術の基礎

センサ内蔵製品、計測、生産システムに適用するセンシング技術を修得したい方にお薦めです。このコースでは、センサ種類と原理を学ぶと共に、光・温度センサを用いた実験を通して構成、動作を学びます。各検出対象に応じた最適なセンシング技術の基礎を修得できます。
（※センサネットワークの講習ではありません）

到達目標 センサは自動化には不可欠であり、その特質を生かした利用法がセンシングの要になります。このコースでは、その基本となるセンサの基礎特性と動作原理について、実験を通じて学びます。

対象者 次のような業務に携わり、センサの基礎を修得しようとする技術者の方。
(1)センサを内蔵する製品の設計・検査
(2)センサを用いた自動生産システムや自動検査装置の開発・設計・検査
(3)センサを用いた計測システムの設計

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. センサの種類と動作原理
2. 歪みセンサ
3. 自動車用センサ
4. センサ動作確認実験 - 光センサと温度センサを用いて -
5. 実験報告書纏め、発表

受講料 ¥99,000

オンライン　コースコード OTV007　休講

マシン実習 2日間

ブラシレスモータ制御のプログラミング入門【バーチャル・クラスルーム】

RX23T搭載低電圧モータ制御評価システムと三相ブラシレス・モータを使って、センサレス制御のプログラム例を解説します。また、ブラスレス・モータの制御を、通電方法、速度/電流制御をホール・センサ付とベクトル制御で行う方法についてプログラムを解説し、さらに実験で確認して理解を深めます。

到達目標
・ブラシレス・モータ制御の基礎を120度通電で理解する。
・センサ付モータ制御に必要となる機能と制御法を理解できる。
・ベクトル制御の考え方を理解できる。
・センサ付で始動する考え方を理解できる。
・PID制御のパラメータの意味と設定方法を理解できる。

対象者
・ブラシレス・モータを制御したい方。
・ベクトル制御の考え方を理解したい方。

前提知識 C言語の基礎知識があること（演習で必要とします）。

内　容
1. イントロダクション
   ・モータの種類と駆動方法の概要、種類、ブラシレスモータの駆動方法
2. モータ制御システムの構成
   ・永久磁石同期モータと制御マイコン、フィードバック制御、120度と180度通電
3. モータ制御で使用する主なマイコンの機能
   ・インバータ駆動用PWM出力タイマ、ロータの位置センサ用位相計数、電流センサ用A/Dコンバータ
4. 120度通電ホールセンサ付制御
   ・制御方法、演習
5. ベクトル制御・永久磁石同期モータのモデル、ベクトル制御、線間変調、弱め界磁
6. ロータリエンコーダによるベクトル制御
   ・制御方法、演習
7. センサレスベクトル制御
   ・制御方法、演習
8. モータの始動制御
   ・制御方法、演習

受講料 ¥143,000

機械・設計技法

機械系技術者･技能者の知識や技能の拡大ができます。
若手技術者のための基礎技術や熟練技術者ための
リスキリングで技術が修得できます。

構造強度

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ | 1日間		

熱流体

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ | 1日間		
OTV012 オンライン 伝熱工学+CAE解析+ 機械学習の取り入れた 最適化技術 グループ演習 | 0.5日間 ＋事前学習(eラーニング) 6時間		

機械力学（振動・騒音）

レベル1	レベル2	レベル3
OTV008 オンライン 機械四力の基礎 レクチャ | 1日間		

レベル1：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

設計技法（機械）

レベル1	レベル2	レベル3
	OTE002 eラーニング 公差設計の基礎 音声有 説明文なし | 4時間	
	OTE001 eラーニング 幾何公差の基礎 音声有 説明文なし | 6時間	
	OTV011 オンライン 3次元CADによる 図面レス時代で高品質を 維持する組織検図 グループ演習 | 1日間	
	OTV020 オンライン 成熟を打破する 顧客価値の捉え方と イノベーション構想の描き方 グループ演習 | 1日間	OTV009 オンライン 未来を起点とした技術の 構造化と評価の実践 レクチャ | 1日間
	OTV021 オンライン 新価値創造のための技術の 棚卸と組み合わせによる ビジネス創生 レクチャ | 1日間	
	OTV022 オンライン 「設計力」こそが ダントツコンセプトを生み出す グループ演習 | 1日間	OTV010 オンライン 「超常識思考」による顧客価値創造 −技術者だからこそ実現できる イノベーションの世界− グループ演習 | 1日間

音声有 説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

オンライン / コースコード OTV008

レクチャ 1日間

機械四力の基礎【バーチャル・クラスルーム】

機械四力(材料力学、機械力学、流体力学、熱力学)の基礎を学習します。

到達目標 機械四力(材料力学、機械力学、流体力学、熱力学)の基礎をマスタできる。

対象者 製品開発の 全技術者、研究/開発/設計/生産/品質管理/調達などの全ての部門の技術者、管理者の方。

前提知識 工学的な知識があること。

内 容
1. 機械力学の基礎
2. 流体力学の基礎
3. 熱力学の基礎
4. 材料力学の基礎

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV012

グループ演習 0.5日間

伝熱工学+CAE解析+機械学習の取り入れた最適化技術【eラーニング(事前学習)+バーチャル・クラスルーム】

このコースは、基礎知識を事前動画(6時間)にて学習いただき、研修当日(0.5日間)は演習中心に進めます。
モノづくり、ハードウェア製品を早期に適正に設計できる、基礎+数値解析+機械学習を紹介します。

到達目標 基礎+数値解析+機械学習で、ベーシックな事象について、デジタルツイン等を活用できる。

対象者 モノづくり、ハードウェア製品の設計に従事している中堅技術者の方。

前提知識 1年以上の業務経験があるか、または同等の知識があること。

内 容 【事前学習 eラーニング(標準学習時間:6時間)】
1. 伝熱工学
2. CAE解析
3. 機械学習

【研修:0.5日】
事前学習での疑問点を即答解決します。
1. まとめ説明
2. 業務上の課題解決
3. Q&A

受講料 ¥110,000

eラーニング / コースコード OTE002

eラーニング 4時間

<eラーニング>公差設計の基礎

初めて公差設計を学ぶ方へ、公差設計の概要からグローバル図面で必要な幾何公差の最新情報、公差の計算方法等を解説します。各章の演習問題により、理解度を確認できます。

到達目標 製品の品質向上とコスト低減を実現させる公差設計の考え方と手法を修得できる。

対象者
- 設計・開発・生産技術・製造・検査・品質管理およびその方々を指導される方。
- 初めて公差設計を学ぶ方。
- 品質向上、コストダウン設計を考えている方。
- 図面に課題を持たれている方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 公差設計の概要
2. 公差設計と幾何公差(GD&T)
3. 正規分布と工程能力指数
4. 統計的取り扱いと公差の計算
5. 公差設計の実践レベル

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード OTE001

eラーニング 6時間

<eラーニング>幾何公差の基礎

グローバルものづくりのためには世界中のどこでも同じ品質の製品を作る必要があります。このためにはグローバル図面が必要であり、そのキー技術が幾何公差です。このeラーニングでは幾何公差の基礎を自由な時間に自分のペースで学ぶことができます。

到達目標 グローバル図面には欠かせない「幾何公差」について、その考え方と具体的な表記方法を修得できる。

対象者 グローバル図面に係わる技術者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 幾何公差の基本
2. 幾何公差の図示方法
3. 幾何公差の計測技術

受講料 ¥49,500

オンライン / コースコード OTV011

グループ演習 1日間

3次元CADによる図面レス時代で高品質を維持する組織検図【バーチャル・クラスルーム】

グローバル市場で勝ち抜くために、求められている設計スキルを学び、修得できます。図面における製図法の誤りや誤記の検出を「検図」と思っていませんか?それは学生アルバイトの仕事です。このコースは、真の検図を伝授します。トラブルの94%が設計責任と分析されている中で、このコースでは設計ミス防止に役立つ情報を提供します。技術者に、今すぐに必要なものは、軽くて簡単な「電卓レベル」のポカミス防止策と最終関門である検図、その能力の向上と検図システムの構築です。

到達目標 日々のポカミス防止活動と日々の検図行為が、実は、社告・リコールなどのトラブル防止策に繋がることを学びます。また、目前に迫ってきた「図面レス」時代。図面がない状況での検図のあり方を解説します。以下のコンセプトで進行します。
(1)商品企画⇒設計⇒設計審査⇒5検図⇒試作⇒量産まで、商品設計・生産設備設計の全域に渡ってポカミス防止策を指導する。
(2)日々のポカミスを予防する方策、および技術者の最終関門となる「検図」の効果的なやり方を、個人演習を通して解説する。
コンセプトは以下のとおりです。
(A)3次元CAD図面を含めた真の検図方法を修得する。
(B)日々のポカミス防止が、社告・リコールを防止する。
(C)図面がない「図面レス時代」に備えた検図方法を修得する。

対象者 機械系の全技術者。研究/開発/設計/生産/品質管理/調達などの全ての部門の技術者、管理者の方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 設計のポカミス撲滅でトラブルを防止する
2. 企画段階におけるポカミスを防止する
3. 設計段階:ポカミス防止で後戻りを回避する
4. 試作段階:ポカミス防止でトラブル再発防止
5. ここまでくれば楽チン検図(機能検図編)
6. 図面レス時代を迎えた検図(生産検図編)
7. 企業の壁を越えた検図の10
8. グループ実習

受講料 ¥55,000

オンライン / コースコード OTV020

グループ演習 1日間

成熟を打破する顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方【バーチャル・クラスルーム】

近年の大ヒット製品を事例として紐解きながら、成熟を打破する顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方について、株式会社ケミストリーキューブが開発したフレームワークを交えて解説します。

到達目標 成熟市場から大ヒット製品が産まれてきています。顧客価値の捉え方とイノベーション構想の描き方を修得できる。

対象者 研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、ならびにシステム、製品の企画・戦略部門の管理者、スタッフの方。

前提知識 成熟市場に新たな成長領域をつくりだすためには、これまでの製品の概念とアーキテクチャーを大胆に進化させ、既存製品とは異なる顧客価値の創造が必要であり、そのための組織能力をR&D現場に戦略的につくり込む経験があること。

内 容
1. R&Dへの期待と現場の悩み
2. 成熟を打破したイノベーション事例に学ぶ
3. 成熟を打破する顧客価値の捉え方
4. 成熟を打破するイノベーション構想の描き方
5. 継続的にイノベーションを生み出すR&Dをつくるために
6. 質疑&ディスカッション

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV021

レクチャ 1日間

新価値創造のための技術の棚卸と組み合わせによるビジネス創生【バーチャル・クラスルーム】

一般的に行われている技術の棚卸がなぜうまくいかないのかを紐解きながら、実践手法をもとに、その効果的な進め方について学習します。

到達目標 自社技術を構造的に見える化するプロセスをとおして、現場の技術者、研究者のイノベーションマインドを高め、組織・分野の壁を越えた共創と技術の融合を促進する戦略的な仕掛けを修得できる。

対象者 研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者画・戦略部門の管理者、スタッフの方。

前提知識 技術を開発、または技術を管理した経験があること。

内 容
1. 企業を取り巻く変化とR&Dの課題
   (1)イノベーションの時代
   (2)変化するR&Dのミッションと現場の悩み
   (3)技術イノベーション・マネジメントの実践
2. なぜ技術の棚卸はうまくいかないのか
   (1)技術マネジメントの難しさ
   (2)技術の棚卸の考え方
   (3)技術の棚卸の実践メソッド
3. 技術の棚卸の実践
   (1)価値コンセプトの設定
   (2)技術の洗い出しと噛み砕き
   (3)コア技術の設定
   (4)iMap(アイマップ)の活用
4. 技術の棚卸がR&D現場を変える
5. 事例の紹介

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV022

グループ演習 1日間

「設計力」こそがダントツコンセプトを生み出す【バーチャル・クラスルーム】

世界の競合に勝つことを命題とし「先行開発段階をやりきる(設計力)」をテーマに掲げます。ダントツコンセプト実現の(プロセス)、「ダントツ目標の満たすべき要件」、その実現を「阻害する要因の打破」などを取り上げます。ダントツ目標への取り組みは身近にある例、世界一製品の開発例、ダントツスピードの開発例など、さまざまな切り口から事例を紹介します。世界一製品への取り組みに必要な開発設計者のあるべき姿についても取り上げます。

到達目標 「先行開発をやりきる7つの設計力」に関して、修得できる。

対象者 開発設計部門の管理者・マネージャーや、それらのポジションをめざす設計者、世界一の開発設計をめざす方。

前提知識 技術環境がいかに変わろうと、お客さまの(信頼)を得ること、競合メーカーに対し(優位性)を保ち続けることは普遍的に取り組まねばならない課題です。開発設計段階が品質・コストの80%を決めるとの現実を踏まえ、これら普遍的な課題をやりきるにふさわしい(設計力)を備えていること。

内 容
1. 先行開発は「優位性」を実現し、量産設計で「信頼」を達成する
2. 実例を追うダントツコンセプトを実現する先行開発の流れ
3. ダントツ目標が満たす4要件21世紀の新たな日本流ものづくりを考える
4. ダントツコンセプトをめざした取り組み事例
5. 淘汰の時代に生き残る設計者像・10通りの超常識思考技術
6. 超常識思考活用事例の紹介
7. グループ討議
8. まとめと質疑応答

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV010

グループ演習 1日間

「超常識思考」による顧客価値創造 ―技術者だからこそ実現できるイノベーションの世界―【バーチャル・クラスルーム】

このコースには、下記の特長があります。
(1)理論だけでなく実践的なイノベーション手法が学べる
(2)コンセプトを創造する「4つの創造思考ステップ」のオリジナル性
(3)理想の姿を追求する「10通りの超常識思考技術」のオリジナル性
(4)知識、見識、胆識の3つのステップによる複合型研修
上記の特長により、実践的な創造思考技術を学び、世界一製品のコンセプトづくりを修得できます。課題を含んだ具体的事例の演習・討議を通じて、設計者起点での新事業創生の思考方法を体験できます。

到達目標 設計段階の取り組みが品質・コストの8割を決めるという現実があります。競合メーカーに対して優位性を保つためには、それにふさわしい設計段階の取り組みが必要です。「世界No.1製品」を生み出し、生産するための開発設計プロジェクトの実践方法を伝授します。「競合に勝つ」ことを命題とし、その活動として「世界No.1製品の達成」を4つの特長を体験できる。さらに、グループワークを通じてコンセプトづくりを修得できる。

対象者 開発設計部門の管理者・マネージャーや、それらのポジションをめざす設計者、開発設計部門を導く経営層など、開発設計を改革して世界一の開発設計をめざす方。

前提知識 特に必要としません。

内 容
1. 時代の大きな変化を知る
2. 21世紀の新たな日本流ものづくりを考える
3. 事業と価値について
4. 超常識思考を実現する4つの思考ステップ
5. 理想の姿を描く超常識思考技術
6. 超常識思考活用事例の紹介
7. 超常識思考技術による将来ビジョンづくりの演習・討議
8. 超常識思考技術の活用による新事業創出の演習・討議
9. まとめと質疑応答

受講料 ¥60,500

オンライン / コースコード OTV009

レクチャ 1日間

未来を起点とした技術の構造化と評価の実践【バーチャル・クラスルーム】

イノベーションを生み出す"面"の技術構想を実践するための効果的な進め方について、技術構造化手法をもとに学習します。

到達目標 自社が実現する未来の価値と技術の全体像を構造的に捉えると同時に、技術の戦略的意味を事業視点で評価し、その獲得シナリオを描く"面"の技術構想プロセスの構築と、実践する一人ひとりの技術者、研究者のマインドとスキルの向上させ、技術開発のイノベーションを生み出す力を高めることができる。

対象者 研究開発・技術開発・商品開発部門の管理者、技術者、研究者、企画・戦略部門の管理者、スタッフの方。

前提知識 技術の開発、または技術の管理をおこなった経験があること。

内 容
1. R&D現場の悩みとイノベーション戦略
   (1)イノベーションの時代
   (2)変化するR&Dのミッションと現場の悩み
   (3)イノベーション戦略のすすめ重要性
2. 技術構想のコンセプト
   (1)技術に対する理解~技術の特性と捉え方~
   (2)技術構想のフレームワーク
3. 技術構想の実践
   (1)未来価値コンセプトの構想
   (2)未来技術の構想
   (3)コア技術の構想
4. イノベーションを生み出すR&Dの力を高めるために
5. 事例の紹介

受講料 ¥60,500

生産・サプライチェーン エンジニアリング

No.1プロダクトを支える生産およびサプライチェーンに関わる必要な技術、管理能力が修得できます。

現場管理

レベル1	レベル2	レベル3
HSV126 オンライン 報連相のための ビジネスコミュニケーション 基礎 グループ演習 1日間	HSV232 オンライン コーチング基礎 −基本の6種スキルと GROWモデル− グループ演習 1日間	
PDU HSV221 オンライン (PDU)自分を知り他者を知る コミュニケーションマネジメント −DiSCモデルによる− グループ演習 2日間		

チームで働く力

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

製造・モノづくり基盤技術

デジタル化推進に必要な技術、広くモノづくりに携わるエンジニア技術、リスキリングで技術、管理能力が修得できます。

モノづくり体験

レベル1	レベル2	レベル3
OTJ013 集 合 1度は経験！溶接日帰り体験 マシン実習 1日間		
OTJ020 集 合 今こそ体験！ 1日 機械加工体験 マシン実習 1日間		
OTJ021 集 合 今こそ体験！ NCプログラミング体験 マシン実習 2日間		
OTJ022 集 合 今こそ体験！ 1日 NCマシニングセンタ 加工体験 マシン実習 1日間		

自動化システム

レベル1	レベル2	レベル3
New OTJ025 集 合 産業用ロボット特別安全教育 （教示） マシン実習 2日間	OTJ024 集 合 産業用ロボットの教示と 基本操作習得 マシン実習 3日間	
OTJ014 集 合 リレーシーケンスの基礎と トラブル診断 マシン実習 2日間	OTJ015 集 合 リレーシーケンスの基礎と PLC入門 マシン実習 3日間	

生産設備・プロセス

レベル1	レベル2	レベル3
	OTJ018 集 合 設備稼動率向上研修（初級） （TPM入門） レクチャ 5日間	休 講 OTJ019 集 合 設備稼働率向上研修 （中級：故障予知編） レクチャ 4日間

レベル1 ：対応する専門技術を初めて学ばれる方　（目安）未経験あるいは関連業務経験：おおむね3年以下。
レベル2 ：業務上必要な基礎知識・技術の修得を期待されている方　（目安）関連業務経験おおむね5年以下。
レベル3 ：対応する専門分野において基礎知識・技術を理解しており、 さらに高い業務遂行能力を期待されている方。

集合 コースコード OTJ013

マシン実習 1日間

1度は経験！溶接日帰り体験

溶接を1度は体験してみませんか？皆さんが会社で手がける製品やサービス、使用している設備、通勤に使用している乗り物などなど、溶接はさまざまなところに使用されていますが、実際に溶接を体験したことが有る方は殆どいらっしゃらないかと思います。「身近」なのに「身近じゃない」技術ですが、これからの会社生活で、実際に溶接を体験しておく事は、あなたの「財産」になります、日立キャンパスでは、工場の第一線で活躍してきたプロの講師が安全に本物の溶接を指導し、体験出来る機会を用意しております。

到達目標 溶接を体験する事により、モノづくりへの理解を深める。

対象者 溶接を体験してみたい方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. MAG溶接練習
2. 被覆アーク溶接練習
3. MAG溶接での容器作成・性能試験

受講料 ¥55,000

集合 コースコード OTJ020

マシン実習 1日間

今こそ体験！1日 機械加工体験

工作機械の種類や加工方法を学び、その後、実際の機械（旋盤，フライス盤，ボール盤，マシニングセンタ）の動作および操作を見学・体験します。さらに穴明け，タップ加工，ダイス加工を体験し、実際に締められるネジ加工を体験します。

到達目標 工作機械の種類、動作を体験し、どのような機械がどのような加工を行えるかを実体験する。

対象者 どなたでも受講可能です。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 工作機械についての学習
2. 旋盤加工体験
3. フライス盤加工体験
4. ボール盤加工体験
5. マシニングセンタ動作見学
6. タップ加工体験
7. ダイス加工体験

受講料 ¥55,000

集合 コースコード OTJ021

マシン実習 2日間

今こそ体験！NCプログラミング体験

マシニングセンタのNCプログラミングを基礎から学べます。NCプログラムの考え方や仕組み、コードを学習し、演習課題のプログラムを作成し、シミュレーターで確認します。このコースで作成した、NCプログラムの実加工は、「今こそ体験！1日 NC マシニングセンタ加工体験」研修にて実施します。

到達目標 NCプログラムの基礎を学び、シミュレーターの操作方法も含め修得する。

対象者 どなたでも受講可能です。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. NCプログラムの基礎
2. 加工設備の見学
3. プログラム作成演習
4. シミュレーターの操作方法演習
5. 課題加工プログラムの作成

受講料 ¥88,000

集合 コースコード OTJ022

マシン実習 1日間

今こそ体験！1日 NCマシニングセンタ加工体験

「今こそ体験！NC プログラミング体験」研修で作成したプログラムを使用し、実機マシニングセンタにて実加工を実施します。

到達目標 マシニングセンタでの実加工を体験し、作成したプログラムの実動作を体験できる。

対象者 「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースを受講済みの方。

前提知識 「今こそ体験！NC プログラミング体験」コースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容
1. マシニングセンタ操作説明
2. 実機を使用した課題プログラムの動作確認
3. 作成プログラムでの実加工
4. 寸法確認
5. 改善点，要修正点の確認・指導

受講料 ¥55,000

集合 コースコード OTJ025 New

マシン実習 2日間

産業用ロボット特別安全教育（教示）

産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する労働者全員に対して、労働安全衛生法第59条第3項に基づき、特別教育を行うことが法令で義務付けされている、ロボット特別安全教育を実施します。労働安全衛生法第59条第3項に基づいた、特別教育となります。法令に沿った学科教育と、実習を実施しますが、実習に関しては、外部主催の同教育と比較し、多めに設定しておりますので、ロボット初心者の方にも安心して受講いただけます。

到達目標 ロボット操作時に必要な知識を修得できる（合格者には修了証を発行します）

対象者 産業用ロボットの教示・検査等に係る業務に従事する方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 産業用ロボットに関する知識
2. 関係法令
3. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識
4. 産業用ロボットの操作方法について
5. 産業用ロボットの教示等の作業方法

受講料 ¥55,000

集合 コースコード OTJ024

マシン実習 3日間

産業用ロボットの教示と基本操作習得

法令で義務付けられている、産業用ロボットの特別安全教育（教示）の受講に加え、基本的なロボットの操作方法を、実習をメインに修得できます。

到達目標 産業用ロボットの特別安全教育（教示）の受講修了証の発行と共に、基本的なロボットの操作方法を修得する。

対象者 ロボットをこれから使用・監視・導入しようとする部門の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 産業用ロボットに関する知識 産業用ロボットの種類
2. 各部の機能および取扱いの方法
3. 産業用ロボットの教示等の作業に関する知識
4. 教示等の作業の方法
5. 関係法令
6. 産業用ロボットの操作の方法
7. 産業用ロボットの教示等の作業の方法
8. メーカ，ロボット形状による操作方法の違いの体験実習
9. 外部機器との接続体験実習

受講料 ¥165,000

集合 コースコード OTJ014

マシン実習 2日間

リレーシーケンスの基礎とトラブル診断

電気の基礎、シーケンス制御、リレー回路、テスターの使い方、トラブル診断の基礎を学びます。さらに、学んだ基礎知識を使ってトラブルシューティングを実習で体験する2日間の研修となっています。

到達目標 電気と安全に関する基礎知識を学び、実際の器材を用いた配線とトラブル原因の診断をゲーム感覚で体系的に身につける。

対象者 新人・若手の技術者・技能者、電気の初学者、初めて電気機器、自動機を扱う方、営業職の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 自動制御の概要
2. 電気の基礎と安全
3. シーケンス制御回路の基礎
4. トラブルシューティング基礎

受講料 ¥110,000

集合 コースコード OTJ015

マシン実習 3日間

リレーシーケンスの基礎とPLC入門

電気の基礎と安全・シーケンス制御・リレー回路・テスターの使い方・配線とトラブル診断・PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できるように実習します。

到達目標 電気の基礎と安全/シーケンス制御/リレー回路/テスターの使い方/配線とトラブル診断/PLCの基本機能と役割、実装配線、運転操作とプログラミングの基礎、および活用のポイント等に関し、電気を苦手とする方でも一通りのことが理解できる。

対象者
- 自動機，電気機器に関わる部署の新人、設備の保守改善業務に従事する方。
- プログラマブルコントローラ（PLC）の操作や活用のための知識を必要とする初心者の方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 制御と電気と安全
2. 電気回路の基礎
3. リレー回路の配線
4. PLCの構成と配線
5. PLCの基本操作
6. 基本回路要素の働き
7. プログラミング演習

受講料 ¥165,000

集合 コースコード OTJ018

レクチャ 5日間

設備稼動率向上研修（初級）（TPM入門）

稼働率向上の第一歩は「清掃は点検なり」を全員に習慣化させることから始まります。設備機械の6大系統の点検方法と修理・改善について体系的に学習し、実践によって体得できます。また、メカニズム系統の実習を中心に、誰にでもできる設備の点検法を学ぶことができます。

到達目標
- 設備機械の6大系統の点検方法と修理・改善について体系的に学習し、実践によって体得できる。
- TPM先進事業所の実務担当者の講義により、具体的な展開と問題の解決法を修得できる。
- メカニズム系統の実習を中心に、誰にでもできる設備の点検法を修得できる。

対象者 製造設備を使用している全技能者でTPM活動についてグループの中核となる方。

前提知識 自職場内設備点検内容、点検状況等現状の把握していること。

内　容
1. TPMの基礎と社内外の実例
2. 清掃点検のポイント
3. チョコ停ゼロの進め方
4. 故障ゼロの進め方
5. 潤滑、油圧、電装系統の点検
6. 締結、駆動、伝達系統の点検
7. 空圧機器

受講料 ¥247,500

集合 コースコード OTJ019 休講

レクチャ 4日間

設備稼働率向上研修（中級：故障予知編）

故障予知による設備機械の稼働率向上を図るため、各種診断機器を用いて振動診断を中心に原因追求とメンテナンスを実習できます。

到達目標
- 振動を利用した簡易診断手法、および精密診断手法を修得できる。
- 油分析キットを利用し、油分析による診断技術を修得できる。

対象者 設備診断を担当される方。TPMグループリーダ、または「設備稼働率向上（初級）」コースを受講した方。

前提知識 自職場内設備の点検内容、点検状況等現状および問題点を把握していること。

内　容
1. 設備診断入門
2. 故障予知のための診断機器と活用法
3. 潤滑油、作動油の設備診断実習
4. 設備診断装置による故障予知実習（簡易診断，精密診断）
5. TPMにおける保全活動
6. 設備稼働率向上のための設備管理システム

受講料 ¥198,000

情報処理技術者試験対策

情報処理技術者試験の資格取得に向け、知識や解答の考え方が修得できます。

春秋期実施試験対策

【IP】【FE】【AP】を分野別に対策したい方

レベル1	レベル2	レベル3

セキュリティ

SCE013 eラーニング
情報技術者に求められる
セキュリティの基礎
ー要素技術（暗号、認証）編ー
音声有 説明文有 | 6時間

基盤製品（ネットワーク）

NWE034 eラーニング
ネットワーク基礎Ⅰ
ーイーサネットの仕組みー
音声なし 説明文有 | 12時間

NWE035 eラーニング
ネットワーク基礎Ⅱ
ーTCP/IPの仕組みー
音声なし 説明文有 | 12時間

基盤製品（データベース）

DBE059 eラーニング
データベース基礎
音声なし 説明文有 | 8時間

【IP】ITパスポート試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJE314 eラーニング
集中演習
ITパスポート試験【IP】
音声なし 説明文有 | 70時間

【FE】基本情報技術者試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJV012 オンライン
基本情報技術者試験【FE】
対策講座（試験直前に
模擬試験で得点をUPする）
レクチャ | 1日間

SJE315 eラーニング
集中演習
基本情報技術者試験【FE】
音声なし 説明文有 | 140時間

【AP】応用情報技術者試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJV002 オンライン
応用情報技術者試験【AP】
対策講座（合格に必要な
知識と解答力を養う）
レクチャ | 3日間

Renewal

SJV016 オンライン
応用情報技術者試験【AP】
対策講座（試験直前に
模擬試験で得点をUPする）
レクチャ | 1日間

SJE304 eラーニング
集中演習
応用情報技術者試験【AP】
音声なし 説明文有 | 162時間

【SG】情報セキュリティマネジメント試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJE302 eラーニング
集中演習
情報セキュリティマネジメント
試験【SG】
音声なし 説明文有 | 162時間

【SC】情報安全確保支援士試験対策

レベル1	レベル2	レベル3

SJV006 オンライン
情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座（合格に
必要な知識と解答力を養う）
レクチャ | 3日間

SJV007 オンライン
情報処理安全確保支援士試験
【SC】対策講座（試験直前に
模擬試験で得点をUPする）
レクチャ | 1日間

SJE312 eラーニング
集中演習
情報処理安全確保支援士試験
【SC】
音声なし 説明文有 | 162時間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

春期実施試験対策

【NW】ネットワークスペシャリスト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		休講 SJV008 オンライン ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う） レクチャ 3日間 → 休講 SJV009 オンライン ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） レクチャ 1日間
		休講 SJE308 eラーニング 集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】 音声なし 説明文有 162時間

【ST】ITストラテジスト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV013 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ 1日間 → 休講 SJV015 オンライン 高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ 2日間
		休講 SJE305 eラーニング 集中演習 ITストラテジスト試験【ST】 音声なし 説明文有 162時間

【SA】システムアーキテクト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV013 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ 1日間 → 休講 SJV015 オンライン 高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ 2日間
		休講 SJE306 eラーニング 集中演習 システムアーキテクト試験【SA】 音声なし 説明文有 162時間

【SM】ITサービスマネージャ試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV013 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ 1日間 → 休講 SJV015 オンライン 高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ 2日間
		休講 SJE310 eラーニング 集中演習 ITサービスマネージャ試験【SM】 音声なし 説明文有 162時間

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0〜1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2〜3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

秋期実施試験対策

【DB】データベーススペシャリスト試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV004 オンライン データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う） レクチャ 3日間 → SJV005 オンライン データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする） レクチャ 1日間
		SJE309 eラーニング 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】 音声なし 説明文有 162時間

【PM】プロジェクトマネージャ試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV013 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ 1日間 → SJV014 オンライン 高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ 2日間
		SJE307 eラーニング 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】 音声なし 説明文有 162時間

【AU】システム監査技術者試験対策

レベル1	レベル2	レベル3
		SJV013 オンライン 高度試験受験者向け 論文の書き方−問題文の読み方から論文構成方法まで− レクチャ 1日間 → SJV014 オンライン 高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する− レクチャ 2日間
		SJE311 eラーニング 集中演習 システム監査技術者試験【AU】 音声なし 説明文有 162時間

音声有 説明文有 ：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし ：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有 ：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

情報処理
技術者試験対策

ITリテラシ

ITリテラシを高めたい方

レベル1	レベル2	レベル3

プログラミング・情報技術

SJE030 eラーニング
コンピュータ基礎
ーソフトウェア編ー
音声なし 説明文有 | 8時間

SJE031 eラーニング
コンピュータ基礎
ーハードウェア編ー
音声なし 説明文有 | 8時間

SJE032 eラーニング
コンピュータ基礎
ー情報の基礎理論編ー
音声なし 説明文有 | 4時間

SJE033 eラーニング
コンピュータ基礎
ー情報システム編ー
音声なし 説明文有 | 4時間

資格 情報処理技術者試験・情報処理安全確保支援士試験

情報処理技術者試験、および情報処理安全確保支援士試験は、「情報処理の促進に関する法律」に基づき、
情報処理に関する一定水準以上の「知識・技能」を持っていることを、経済産業省が認定する国家試験です。

詳しくは、日立アカデミーのWebサイトにてご確認ください。
https://www.hitachi-ac.co.jp/service/opcourse/license/hcom.html

レベル1 ：ITスキル標準（ITSS）レベル0～1 相当のコース
レベル2 ：ITスキル標準（ITSS）レベル2～3 相当のコース
レベル3 ：ITスキル標準（ITSS）レベル4以上 相当のコース

eラーニング コースコード SJE314
70時間
<eラーニング> 集中演習 ITパスポート試験【IP】

2022年4月からのiパス6.0に対応したコース内容です。eラーニングを使用し、ITパスポート試験【IP】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ134分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標 ・職業人が共通に備えておくべき情報技術に関する基礎的な知識を持ち、担当業務に対して情報技術を活用できる。
・ITパスポート試験【IP】に合格できる実力を身につけることができる。
対象者 ITパスポート試験【IP】合格をめざす方。
前提知識 情報技術の基礎知識があること。
内 容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト
受講料 ¥8,800

オンライン コースコード SJV012
1日間
基本情報技術者試験【FE】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標 ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。
対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。
前提知識 上位指導者のもと、基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。
内 容 1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答と解説
受講料 ¥38,500

eラーニング コースコード SJE315
140時間
<eラーニング> 集中演習 基本情報技術者試験【FE】

2023年4月からの新形式の試験に対応したコース内容です。eラーニングを使用し、基本情報技術者試験【FE】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ366分、自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標 ・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・基本情報処理技術者試験【FE】に合格できる実力を身につけることができる。
対象者 基本情報技術者試験【FE】合格をめざす方。
前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。
内 容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト
受講料 ¥18,700

オンライン コースコード SJV002
3日間
応用情報技術者試験【AP】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）【バーチャル・クラスルーム】

応用情報技術者試験【AP】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 応用情報技術者試験【AP】に出題される重点テーマの知識から応用問題を解答できる。
対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。
前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。
内 容 1. 基礎理論について
2. コンピュータシステムについて
3. 技術要素について
4. 開発技術について
5. 組込みシステムについて
6. マネジメント/ストラテジ系について
受講料 ¥115,500

オンライン コースコード SJV016 Renewal
1日間
応用情報技術者試験【AP】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達をめざして学習します。

到達目標 ・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。
対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。
前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格された方、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事している方。
内 容 1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
受講料 ¥38,500

eラーニング コースコード SJE304
162時間
<eラーニング> 集中演習 応用情報技術者試験【AP】

eラーニングを使用し、応用情報技術者試験【AP】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ264分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標 ・高度IT人材となるために必要な応用的知識・技能を持ち、高度IT人材としての方向性を確立できる。
・応用情報技術者試験【AP】に合格できる実力を身につけることができる。
対象者 応用情報技術者試験【AP】合格をめざす方。
前提知識 基本情報技術者試験【FE】に合格しているか、あるいは基本戦略立案やITソリューション・製品・サービスを実現する業務に従事していること。
内 容 1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト
受講料 ¥18,700

情報処理技術者試験対策

eラーニング / コースコード SJE302

<eラーニング>
集中演習
情報セキュリティマネジメント試験【SG】

162時間

eラーニングを使用し、情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ186分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材となるために必要な基本知識・技能を持ち、実践的な活用能力を身につけることができる。
・情報セキュリティマネジメント試験【SG】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報セキュリティマネジメント試験【SG】の合格をめざす方。

前提知識 ITパスポート試験【IP】に合格しているか、または同等の知識/技術があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥11,000

オンライン / コースコード SJV006

情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 3日間

情報処理安全確保支援士試験【SC】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 情報処理安全確保支援士試験【SC】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、セキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 午前II対策・演習
 (1)セキュリティについての基本知識の確認
2. 午後、午後II対策・演習
 (1)情報セキュリティシステムの企画/開発/運用/保守に関すること
 (2)情報セキュリティの運用に関すること
 (3)情報セキュリティ技術に関すること
 (4)情報セキュリティ関連の法的要求事項に関すること

受講料 ¥115,500

オンライン / コースコード SJV007

情報処理安全確保支援士試験【SC】対策講座
(試験直前に模擬試験で得点をUPする)
【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 模擬試験(iTECまたはTAC模擬試験を使用)
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項およびアドバイス

受講料 ¥38,500

---

eラーニング / コースコード SJE312

<eラーニング>
集中演習
情報処理安全確保支援士試験【SC】

162時間

eラーニングを使用し、情報処理安全確保支援士試験【SC】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ282分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報セキュリティ技術の専門家として情報セキュリティ管理を支援できる。
・情報処理安全確保支援士試験【SC】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 情報処理安全確保支援士試験【SC】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはセキュリティ機能の企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SJV008 休講

ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座
(合格に必要な知識と解答力を養う)
【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 3日間

ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格に向けて、必要な知識や解答方法を問題演習を中心として学習します。

到達目標 ネットワークスペシャリスト試験【NW】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 午前II対策・演習
 (1)ネットワークについての基本知識の確認
2. 午後、午後II対策・演習
 (1)ネットワークシステムの設計、構築に関すること
 (2)ネットワークの技術、運用、保守に関すること
 (3)ネットワークサービスに関すること

受講料 ¥115,500

オンライン / コースコード SJV009 休講

ネットワークスペシャリスト試験【NW】対策講座
(試験直前に模擬試験で得点をUPする)
【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達に向けて学習します。

到達目標
・試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認できる。
・現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用できる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 模擬試験(iTECまたはTAC模擬試験を使用)
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項およびアドバイス

受講料 ¥38,500

eラーニング / コースコード SJE308 休講

<eラーニング>
集中演習 ネットワークスペシャリスト試験【NW】

162時間

eラーニングを使用し、ネットワークスペシャリスト試験【NW】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ449分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、ネットワーク技術の専門家として、情報システムへの技術支援を行うことができる。
・ネットワークスペシャリスト試験【NW】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ネットワークスペシャリスト試験【NW】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはネットワークシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン / コースコード SJV013

高度試験受験者向け 論文の書き方
ー問題文の読み方から論文構成方法までー
【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

講師による面談を踏まえながら論述をするために必要な基盤(テーマ、論述内容)を学習します。講義終了後、実際に論文を1本書き、提出いただきます。後日返却される講師による添削結果を確認し、合格論文を書くためのポイントを確認できます。

到達目標
・各試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確にできる。

対象者 高度試験の午後II(論述式)の基盤作りをしたい方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 各試験区分の求められるスキルとは
2. 「論文の書き方」共通部分
3. 採点者の視点
4. 問題文の読み方と論文構成
5. 論文演習
6. 個別面談

受講料 ¥66,000

オンライン / コースコード SJV015 休講

高度試験【SM】【SA】【ST】対策講座
実践!論文を書く-添削指導で合格するための
論述力を養成する-【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 2日間

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。講義の1日目と2日目終了後に論文を書き、提出いただきます。1回目の添削で内容面、論文構成面を講師が添削指導いたします。2回目は1回目の添削指導に沿って書き直し、もう一度講師が添削して合格レベルに引き上げます。

到達目標
・試験区分において、求められるスキルを説明できる。
・問題文の読み方から論文を構成できる。
・各設問において、論述する内容を明確できる。
・論述することができる。

対象者 高度試験【SM】【SA】【ST】の午後II(論述式)の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、あるいは同等の知識・業務経験があること。また「高度試験受験者向け 論文の書き方ー問題文の読み方から論文構成方法までー」を受講された方。

内 容
1. 論文解答攻略のポイント解説
2. 過去問題を題材にした論文解答実践
3. 講師が個人面談指導
4. 添削
5. 1日目の論文をブラッシュアップ
6. 時間内に書き上げるためのステップ
7. 個別にて論文添削

受講料 ¥99,000

---

eラーニング / コースコード SJE305 休講

<eラーニング>
集中演習 ITストラテジスト試験【ST】

162時間

eラーニングを使用し、ITストラテジスト試験【ST】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ178分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、企業の経営戦略に基づいて、情報システムの基本戦略を策定・提案・推進することができる。
・ITストラテジスト試験【ST】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITストラテジスト試験【ST】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

---

eラーニング / コースコード SJE306 休講

<eラーニング>
集中演習
システムアーキテクト試験【SA】

162時間

eラーニングを使用し、システムアーキテクト試験【SA】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ137分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムの開発に必要となる要件定義・アーキテクチャ設計・開発主導を行うことができる。
・システムアーキテクト試験【SA】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システムアーキテクト試験【SA】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

---

eラーニング / コースコード SJE310 休講

<eラーニング>
集中演習
ITサービスマネージャ試験【SM】

162時間

eラーニングを使用し、ITサービスマネージャ試験【SM】の合格に必要な知識を学習します。
※このコースでご紹介している時間数は、動画コンテンツ119分と自己学習時間を合わせた推奨時間です。

到達目標
・高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システム全体について、安全性と信頼性の高いサービスの提供を行うことができる。
・ITサービスマネージャ試験【SM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 ITサービスマネージャ試験【SM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験(SC/DB/NW/その他の高度)に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内 容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード SJV004

データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（合格に必要な知識と解答力を養う）【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 3日間

データベーススペシャリスト試験【DB】合格に向けて、必要な知識や解答方法を学習します。

到達目標 データベーススペシャリスト試験【DB】に出題される重点テーマの知識から記述問題攻略法を知ることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. データベースシステムの設計・構築に関すること
2. データベースシステムの運用・保守に関すること
3. データベース技術に関すること

受講料 ¥115,500

オンライン　コースコード SJV005

データベーススペシャリスト試験【DB】対策講座（試験直前に模擬試験で得点をUPする）【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 1日間

模擬試験により、積み重ねた学習成果を再確認し、知識を定着させ、合格ライン到達にむけて学習します。

到達目標
- 試験対策の総仕上げとして、重要ポイントを再確認することができる。
- 現状から得点をUPできる知識、解答技法を本試験に活用することができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 模擬試験（iTECまたはTAC模擬試験を使用）
2. 解答&解説
3. 本試験での注意事項およびアドバイス

受講料 ¥38,500

eラーニング　コースコード SJE309

<eラーニング> 集中演習 データベーススペシャリスト試験【DB】

eラーニング 162時間

eラーニングを使用し、データベーススペシャリスト試験【DB】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
- 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、データベース技術の専門家として情報システムへの技術支援できる。
- データベーススペシャリスト試験【DB】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 データベーススペシャリスト試験【DB】合格をめざす方。

前提知識 応用情報技術者試験【AP】に合格しているか、あるいはデータベースシステムの企画・要件定義・開発・運用・保守を推進・支援する業務に従事していること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

オンライン　コースコード SJV014

高度試験【PM】【AU】対策講座 実践！論文を書く−添削指導で合格するための論述力を養成する−【バーチャル・クラスルーム】

レクチャ 2日間

講師による面談を踏まえながら、合格するための論述力を学習します。講義の1日目と2日目終了後に合計2本の論文を書き、提出いただきます。それぞれの論文について後日返却される講師による添削結果を確認し、合格論文を書くためのポイントを学習します。

到達目標
- 試験区分において、求められるスキルを説明できる。
- 問題文の読み方から論文を構成できる。
- 各設問において、論述する内容を明確にできる。
- 論述することができる。

対象者 高度試験【PM】【AU】の午後II（論述式）の論述を実践したい方。

前提知識 情報処理技術者試験（SC/DB/NW/その他の高度）に合格しているか、あるいは同等の知識・業務経験があること。また「高度試験受験者向け 論文の書き方-問題文の読み方から論文構成方法まで-」コースを修了しているか、同等の知識があること。

内　容
1. 論文解答攻略のポイント解説
2. 過去問題を題材にした論文解答実践
3. 講師が個人面談指導
4. 添削
5. 1日目の論文をブラッシュアップ
6. 時間内に書き上げるためのステップ
7. 個別にて論文添削

受講料 ¥99,000

eラーニング　コースコード SJE307

<eラーニング> 集中演習 プロジェクトマネージャ試験【PM】

eラーニング 162時間

eラーニングを使用し、プロジェクトマネージャ試験【PM】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
- 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、システム開発プロジェクトの責任者として、プロジェクトを管理・運営することができる。
- プロジェクトマネージャ試験【PM】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 プロジェクトマネージャ試験【PM】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験高度試験に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

eラーニング　コースコード SJE311

<eラーニング> 集中演習 システム監査技術者試験【AU】

eラーニング 162時間

eラーニングを使用し、システム監査技術者試験【AU】の合格に必要な知識を学習します。

到達目標
- 高度IT人材として確立した専門分野を持ち、情報システムに関するリスクおよびコントロールを総合的に点検評価し、改善を勧告することができる。
- システム監査技術者試験【AU】に合格できる実力を身につけることができる。

対象者 システム監査技術者試験【AU】合格をめざす方。

前提知識 情報処理技術者試験高度試験に合格しているか、または同等の知識・業務経験があること。

内　容
1. 基礎事項の学習
2. 問題演習
3. 小テスト

受講料 ¥18,700

マシン実習 マシンを使用しながらの研修
グループ演習 グループ演習を中心とした研修
レクチャ 座学による研修
eラーニング インターネット接続による自己学習
自習テキスト 自習書による独習

グローバル

グローバルでビジネスを進めるうえで必要となるスキル（グローバルマインドセット、各国の動機付け要因、反発要因など）が修得できます。

テクニカルスキル

担当者クラス	主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
PDU GBE024 eラーニング (PDU) インドビジネスの鉄則 音声有 説明文なし | 10時間			

ヒューマンスキル

担当者クラス	主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
GBE027 eラーニング シミュレーションゲームで学ぶ異文化コミュニケーション（基礎編） 音声有 説明文有 | 2時間			
GBE028 eラーニング シミュレーションゲームで学ぶ異文化コミュニケーション（マネジメント編） 音声有 説明文有 | 2時間			

グローバルマインドセット

担当者クラス	主任クラス	課長クラス	部長クラス以上
PDU GBE010 eラーニング (PDU)グローバルビジネスの基礎−ビジネスルールと多様性−（基本セット） 音声なし 説明文有 | 4時間			
GBE025 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）A. アジア編 音声なし 説明文有 | 3時間			
GBE026 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）B. ロシア、インド、イスラム編 音声なし 説明文有 | 3時間			
GBE008 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）C.ヨーロッパ編 音声なし 説明文有 | 3時間			
GBE009 eラーニング 多様性の理解（グローバルナビゲーター）D.アメリカ、オセアニア編 音声なし 説明文有 | 3時間			

音声有 説明文有：説明画面と説明文（音声あり）で学習するタイプのeラーニングです。（説明文を音声で聞くことも可能です）
音声有 説明文なし：収録した講義画面と講師の音声で、集合研修に参加しているような臨場感ある受講ができるタイプのeラーニングです。（音声再生環境が必須です）
音声なし 説明文有：説明画面と説明文（音声なし）で学習するタイプのeラーニングです。（音声再生環境は不要です）

eラーニング / コースコード GBE024

<eラーニング>（PDU）インドビジネスの鉄則 PDU

10時間

インドは近年、その人口による巨大な市場と経済発展から、世界的な存在感を高めています。また一方で古くから日本との交流があり、近年でも各分野において経済提携が進んでいます。しかし、ビジネスを交流させるに至るまでの理解に至っていない場合も多く見ることができます。このコースではインドにビジネス進出をするために必要な考え方（歴史・文化・宗教等）について学習します。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：6ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- インドにおいてビジネスを展開する場合に必要な、文化的背景や歴史、現在のインド事情について説明できる。
- インドへ進出してビジネスを成功させるにおいて必要なポイントについて理解を深める。
- インド人との交渉の方法、インド人の考え方、などについて日本人が誤解しがちな注意点に言及し、インドビジネスを成功に導く戦略的思考を理解できる。

対象者 インドとのビジネスに現在および将来関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. インドの紹介、歴史
2. インドの各地域の文化とビジネスの関係
3. インドの宗教とビジネスの関係
4. インドの優秀な人材を作る、教育制度
5. 日印関係
6. インドの国際関係
7. 実際の手順とケーススタディ

受講料 ¥33,000

eラーニング / コースコード GBE027

<eラーニング>シミュレーションゲームで学ぶ異文化コミュニケーション（基礎編）

2時間

このコースは、外国籍社員もしくは海外の方など異なる文化的背景を持つ方と仕事をする際に起こる異文化コミュニケーションシチュエーションを仮想的に体験するゲームです。あなたは主人公になってストーリーに沿ってロールプレーし、選択の場面が出てきた際、選択肢を選んでください。あなたの選択によってストーリー展開が変わっていきます。異文化コミュニケーションを疑似体験することによって、異文化の中でよく遭遇する「違い」について理解し、対処法を学ぶことができます。

到達目標
- ゲームによる疑似体験をを通して学習することにより、異文化コミュニケーションスキルを、より実践的に、楽しく学習することができる。
- ゲームの中の外国籍の方々のコメントから、現実ではなかなか遭遇することができない本音も知ることができ、より深く相手の考え方を理解することができる。また、単なる国籍による違いだけでなく、世代・性別・宗教などの違いへの対応についても、学ぶことができ、日本人同士でのコミュニケーション力向上もはかることができる。

対象者 外国籍社員、または海外の方など自分と異なる文化的背景（国籍・世代・性別など）を持つ方と仕事をしている方、もしくは将来その予定がある方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 異文化理解・異文化コミュニケーション
   （1）『違い』の意味
   （2）『異文化適応のUカーブ』
   （3）外国人と話すコツおよび非言語コミュニケーション　など
2. 異文化マネジメント（役割・キャリア・フィードバック・モチベーションなど）

受講料 ¥24,200

eラーニング / コースコード GBE028

<eラーニング>シミュレーションゲームで学ぶ異文化コミュニケーション（マネジメント編）

2時間

このコースは、外国籍社員もしくは海外の方など異なる文化的背景を持つ方と仕事をする際に起こる異文化コミュニケーションシチュエーションを仮想的に体験するゲームです。あなたは主人公になってストーリーに沿ってロールプレーし、選択の場面が出てきた際、選択肢を選んでください。あなたの選択によってストーリー展開が変わっていきます。異文化コミュニケーションを疑似体験することによって、多様な背景・働き方の社員とコミュニケーションを図り、マネジメントをしていく上で求められるテクニックを学ぶことができます。ジョブ型雇用と日本型組織のメンバーシップ型雇用の特長や違いを学習することができます。

到達目標
- ゲームによる疑似体験をを通して学習することにより、異文化コミュニケーションスキルを、より実践的に、楽しく学習することができる。
- ゲームの中の外国籍の方々のコメントから、現実ではなかなか遭遇することができない本音も知ることができ、より深く相手の考え方を理解することができる。また、ジョブ型雇用に関するマインドを早期整えることができる。

対象者 外国籍社員、または海外の方など自分と異なる文化的背景（国籍・世代・性別など）を持つ方をマネージしている方、もしくは将来その予定がある方。ジョブ型雇用の特長や日本組織のメンバーシップ型雇用との違いを知りたい方にもお薦めです。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. 日本型組織の日常とは
2. ダイバーシティの種類
3. 組織文化とコミュニケーション
4. 多様な働き方
5. ジョブ型雇用の特長
6. 日本人とのコミュニケーションで外国人の悩む
7. ダイバーシティマネジメント
8. 変化に対応する組織

受講料 ¥24,200

eラーニング / コースコード GBE010

<eラーニング>（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット） PDU

4時間

グローバル化モデルの7つの思考パターンを理解し、身につけるとともに、多様な人たちの心の構図を読み解く土台となる「文化の世界地図」、各国別の動機付け要因、反発要因に関する辞書を身につけます。このコースは、PMP®資格更新に必要なポイント（PDU：4ポイント）の取得が可能です。

到達目標
- 1990年代に起こった世界のグローバル市場化の意味合いを理解し、そこで生きていくためのルールがわかる。
- 民族のアイデンティティや文化のDNAを把握できるようになる。
- グローバル人材度のチェックを行い、今後の修得必要分野を知る。

対象者 グローバルビジネスに関わる方。

前提知識 特に必要としません。

内　容
1. グローバル時代のモデルチェンジ
   - 新しい方程式へのコペルニクス的転換を！ -
2. グローバルマインドの設定
   世界市場で競争力を持つ7つの思考パターンを身につける
3. 文化の世界地図
   70億の多様な人たちの心の構図を読み解く
4. グローバルナビゲーター
   国別理解による事例の分析 - 心の中の世界地図に具体性を持たせる -
   （1）米国
   （2）中国
   （3）日本
5. グローバル人材度アセスメント
   30問のアセスメントでグローバル人材度をセルフチェック（解説付き）

受講料 ¥22,000

eラーニング / コースコード GBE025

<eラーニング>多様性の理解（グローバルナビゲーター）A. アジア編

3時間

日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーの史的文化層や動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容 日本、中国、台湾、香港、韓国、フィリピン、ベトナム、シンガポール、タイ、ミャンマーそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

eラーニング / コースコード GBE026

<eラーニング>多様性の理解（グローバルナビゲーター）B. ロシア、インド、イスラム編

3時間

ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容 ロシア、インド、インドネシア、マレーシア、ブルネイ、カザフスタン、パキスタン、サウジアラビア、UAEそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

eラーニング / コースコード GBE008

<eラーニング>多様性の理解（グローバルナビゲーター）C.ヨーロッパ編

3時間

ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスの史的文化層、動機付け要因、反発、要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容 ドイツ、スイス、フランス、イタリア、オーストリア、ポーランド、オランダ、スペイン、イギリスそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

eラーニング / コースコード GBE009

<eラーニング>多様性の理解（グローバルナビゲーター）D.アメリカ、オセアニア編

3時間

カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの文化/思想/価値観/習慣等について学習します。このコースは「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコース（コースコード：GBE010）のオプションです。

到達目標 カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドの史的文化層、動機付け要因、反発要因をふまえて行動できる。

対象者 グローバルビジネスに現在または将来関わる方。

前提知識 「（PDU）グローバルビジネスの基礎－ビジネスルールと多様性－（基本セット）」eラーニングコースを修了しているか、または同等の知識があること。

内　容 カナダ、米国、アルゼンチン、ブラジル、メキシコ、オーストラリア、ニュージーランドそれぞれについての、
1. 史的文化層
2. カルチュラル・モティベータ
3. カルチュラル・ディモティベータ

受講料 ¥5,500

研修会場

東京地区

東 京（大 森）

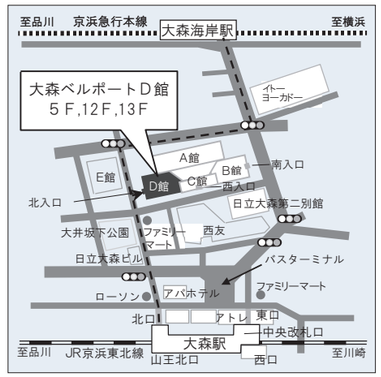
大森ベルポートD館5階・12階・13階

（株）日立アカデミー
大森キャンパス

品川区南大井6丁目26番3号（〒140-0013）
電 話（03）5471-8962
FAX（03）5471-2564

●JR京浜東北線 大森駅北口（改札を出て右）より徒歩約3分
●京浜急行線 大森海岸駅より徒歩5分

※当ビル西入口、または北入口、南入口よりアトリウムに入り、D館入口のエレベータにてご来場ください。
※エレベータは、7:30～9:30、12:00～13:00の時間帯は特別運転となりますので、ご入館の際にはご注意くださいますようお願いします。
■12階/13階へお越しの方 ▶D館正面入口の左側エレベータをご利用ください。
■ 5階へお越しの方 ▶D館正面入口の右側エレベータをご利用ください。
※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



日立地区

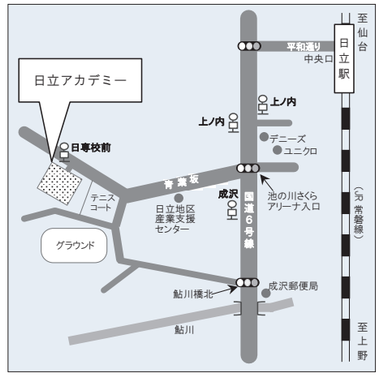
日 立

（株）日立アカデミー
日立キャンパス

日立市西成沢町2丁目17番1号（〒316-0032）
電 話（0294）28-5019
FAX（0294）28-5394

●JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅下車
日立電鉄バス（兎平方面行き）乗り換え、
日専校前下車 徒歩1分
または成沢、上ノ内下車 徒歩10分
●JR常磐線 日立駅または常陸多賀駅より
タクシー約10分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



勝田地区

勝 田

日立システムプラザ勝田5階

（株）日立アカデミー
勝田キャンパス

ひたちなか市堀口832-2（〒312-0034）
電 話（029）219-7990
FAX（029）219-7991

●JR常磐線 勝田駅から徒歩5分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



東京地区

提携コースの研修会場

※提携先により研修会場またはオンライン配信に変更になる場合がございます。その場合は、事前に当社よりご連絡いたします。

開催地区	住所・会場名
新宿（SHIFT）	〒151-0053　東京都渋谷区代々木3-22-7　新宿文化クイントビル20階 （株）SHIFT

大阪地区

大 阪

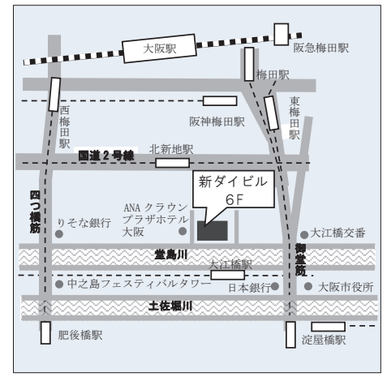
新ダイビル6階

（株）日立アカデミー
大阪キャンパス

大阪市北区堂島浜1丁目2番1号（〒530-0004）
電 話（06）4797-7360
FAX（06）4797-7361

●京阪中之島線 大江橋駅より徒歩約2分
●地下鉄御堂筋線／京阪本線 淀屋橋駅より徒歩約5分
●JR東西線 北新地駅より徒歩約5分
●地下鉄四つ橋線 肥後橋駅より徒歩約7分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



名古屋地区

名古屋

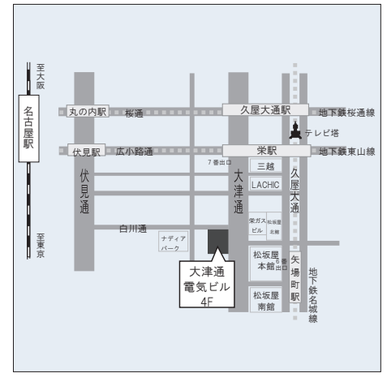
大津通電気ビル4階

（株）日立アカデミー
名古屋キャンパス

名古屋市中区栄3丁目17番12号（〒460-8435）
電 話（052）263-0051
FAX（052）261-8276

●地下鉄名城線 矢場町駅 6番出口から西へ徒歩2分
●地下鉄東山線 栄駅 サカエチカ7番出口から南へ
徒歩5分

※受付は研修室で行いますので、直接研修室にお入りください。
※駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。



お申込方法

日立講習会 バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）のお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1. **概要と接続環境の確認** お申し込み前に必ずご確認ください。
2. **お申し込み** 日立講習会窓口にて受付



3. **受講案内の受取り（受講日約１週間前までにメール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。
4. **事前通知（接続情報）の受取り（受講日１～２営業日前 メール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。
5. **ご受講** 開始時間までにログインしてください。
6. **請求書の受取り（受講月月末頃お届け）** お申込責任者へ郵送いたします。(注1)
7. **お支払い（日立アカデミー口座へ）** 原則、受講月翌月末が振込期限です。

お問い合わせ・お申込先

地区	TEL
東京地区	03-5471-8962
大阪地区	06-4797-7360
名古屋地区	052-263-0051
広島地区	082-546-6172
福岡地区	092-844-7522

URL https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

個人のお客さま

（注1）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の１０営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのWebサイト(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。Webサイトをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容・接続環境・バーチャル・クラスルームのサービス仕様書(上記Webサイトに掲載)および以下についてご確認ください。
■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
■IT／ビジネス研修
・「IT／ビジネス研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
●お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、受講月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　（株）日立アカデミー（ヒタチアカデミー）

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講案内」といいます。)を、お申込責任者および受講者へメールでお送りいたします。
●「受講案内」には、開催日時等を記載しておりますので、内容を必ずご確認ください。
●「受講案内」は、講習会開始日の1週間前までにメール配信いたします。配信が確認できない場合は、お申し込みの受付窓口までお問い合わせください。
●「受講案内」配信後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
●「講習会開始日1～2営業日前にご受講者へWebexログイン情報（接続先URL、ユーザID、パスワード、セッション番号）と電子教材情報（接続先URL、ユーザID、パスワード）をメールにてご通知いたします。お申込責任者様にも写しとして同様の情報をメールにてお送りいたします。
●Webexへの接続は開始時刻20分前から接続可能です。
開始時刻10分前までにマイク / スピーカの動作確認を完了してください。
音声が聞こえない場合、質問はチャットで受付いたします。
●電子教材は講習会で使用するテキストです。受講前までにメールでお知らせしたユーザID、パスワードでログインしてください。
●受講者が本サービスを受けるために要す通信料金、環境の設定費用やその他費用は、受講者の負担とします。利用環境の設定については、受講者の責任において実施していただくものとします。
インターネットを含むネットワークの過負荷など様々な影響により、映像や音声が乱れる場合がございます。このような事態に対応するために、研修（投影資料、音声）を録画いたします。お申込み時点で、録画・録音に承諾いただいたものとみなします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。
＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	講習会開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての申請はお受けいたしかねます。ご受講いただけない場合でも受講料を全額請求させていただきます。既に受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。別日程での受講をご希望の方は、改めて新規にお申し込みください。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・事前課題／事前学習ありコース
・提携先提供コース
・COBOLプログラミング研修

講習会開催時間

●Webサイトのコース詳細ページの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前にメールでお送りいたします「受講案内」をご確認ください。
●講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。

日立講習会 集合研修のお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1. **お申し込み**
日立講習会窓口にて受付



2. **受講案内の受取り（受講日約１週間前までにメール配信）**
お申込責任者、メールアドレス登録のご受講者へメールでお送りいたします。
3. **ご受講**
入館受付手続きはございません。直接会場にお入りください。
4. **請求書の受取り（受講月月末頃お届け）**(注1)
お申込責任者へ郵送いたします。
5. **お支払い（日立アカデミー口座へ）**
原則、受講月翌月末が振込期限です。

お問い合わせ・お申込先

地区	TEL
東京地区	03-5471-8962
大阪地区	06-4797-7360
名古屋地区	052-263-0051
広島地区	082-546-6172
福岡地区	092-844-7522

URL https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

個人のお客さま

（注1）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の１０営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのWebサイト(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、ご受講希望地区の上記受付窓口までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。Webサイトをご利用できない場合は、ご受講希望地区の上記受付窓口までお問い合わせください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容および以下についてご確認ください。
■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
■IT／ビジネス研修
・「IT／ビジネス研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします。
●お申し込みの受付は、先着順にしておりますので、定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご希望の講習会が最少開催人数に達しない場合には、やむを得ず中止にさせていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として受講月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、受講月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　（株）日立アカデミー（ヒタチアカデミー）

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、「日立講習会受講ご案内」(以下、「受講案内」といいます。)を、お申込責任者および受講者へメールでお送りいたします。
●「受講案内」には、お申込地区の地図や会場（研修室）、開催時間等を記載しておりますので、内容を必ずご確認ください。
●「受講案内」を講習会開始日の1週間前までにメール配信いたします。配信が確認できない場合は、お申し込みの受付窓口までお問い合わせください。
●「受講案内」配信後に諸事情により講習会の開催を中止させていただく場合がありますので、あらかじめご承知おきください。
●講習会で使用するテキスト教材等は、当日会場にてお渡ししております。事前のお渡しは行っておりません。
●駐車場はありませんので、車でのご来場はご遠慮ください。
●お電話でのお取り次ぎはできませんので、あらかじめご了承ください。また、ご受講中に研修室内での携帯電話等の使用は、他のお客さまへのご迷惑となりますので、ご遠慮いただいております。
●研修会場内での撮影または録音は、禁止させていただきます。
●あらかじめ体調をご確認のうえ、講習会にご参加いただくようお願いいたします。インフルエンザなどの感染が懸念される場合は参加をお控えくださいますようお願いいたします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。
＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	講習会開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての申請はお受けいたしかねます。ご受講いただけない場合でも受講料を全額請求させていただきます。既に受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。別日程での受講をご希望の方は、改めて新規にお申し込みください。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・事前課題／事前学習ありコース
・提携先提供コース
・COBOLプログラミング研修

講習会開催時間

●Webサイトのコース詳細ページの備考欄に開催時間をご案内しています。正式には、ご受講前にメールでお送りいたします「受講案内」をご確認ください。
●講習会の進捗により終了時間が予定時刻を超える場合があります。あらかじめご了承ください。

日立講習会 e ラーニングのお申し込みからご受講までの流れ

法人のお客さま

1. **動作環境確認とサービス仕様書のご承諾**
   お申し込み前に必ずご確認ください。
2. **お申し込み**
   日立講習会窓口にて受付
3. **受講案内の受取り（講習会開始日当日までにメール配信）**(注1)
   お申込責任者、ご受講者にメールでログイン情報（ユーザID/パスワード）をお送りいたします。
4. **ご受講**
   講習会開始日当日からご利用いただけます。
   お申し込み責任者の方は、受講者の受講状況や学習理解度を随時確認できます。
5. **請求書の受取り（講習会開始月月末頃お届け）**(注2)
   お申込責任者へ郵送いたします。
6. **お支払い（日立アカデミー口座へ）**
   原則、講習会開始月翌月末が振込期限です。

■ お問い合わせ・お申込先

TEL	03-5471-8962
URL	https://www.hitachi-ac.co.jp/
E-Mail	hiac.info-kensyu.vq@hitachi.com

（注1）以下提携コースeラーニングは、お申込責任者への「ユーザID」と「パスワード」の通知はありません。
また、進捗状況を把握できません。あらかじめご了承ください。
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
・SBI大学院　eラーニング
・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
・STANDARD社　eラーニング
・プラーナー社　eラーニング
・Study-AI社　E資格　eラーニング
・ITプレナーズ社　ITIL®4ファンデーション　eラーニング
・Aidemy社　eラーニング

個人のお客さま

（注2）個人のお客さまの場合
・お申し込み後、請求書を発行いたしますので、講習会開始日の10営業日前までに受講料をお振込みください。
・受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセル扱いとさせていただきます。

お申し込み

●お申込責任者の方は、(株)日立アカデミーのWebサイト(URL >>> https://www.hitachi-ac.co.jp/)からお申し込みいただくか、または「日立講習会お申込書」をダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、上記のお申込先までメール、または日立営業経由にてお申し込みください。
なお、お申し込みの前には必ずコース内容、動作環境、eラーニングサービス仕様書（上記Webサイトに掲載）、および以下についてご確認ください。
■日立製品研修
・「日立製品研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
■IT／ビジネス研修
・「IT／ビジネス研修受講規約」
・「電子教材利用規約」
・「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」
上記についてお申込責任者および受講される本人が同意のうえお申し込みください。
動作環境はコースによって異なりますので、上記Webサイトから各コースの動作環境をご確認ください。
●お申し込みは、原則として講習会開始日の10営業日前までにお願いいたします（個人申し込みの場合は、15営業日前まで）。一部のコースにおきましては、人数制限がありますので定員になり次第締め切らせていただきます。
●ご受講にあたって、ご受講者とお申込責任者の方のE-Mailアドレスが必須となりますので、ご了承ください。

受講料お支払い

●法人のお客さまの場合は、原則として講習会開始月の月末締めで、請求書をお申込責任者の方にお送りいたします。請求書に記載のお振込み口座、期限（原則、講習会開始月の翌月末）までにお振込みください。
●個人のお客さまの場合は、お申し込み後、請求書を発行いたします。講習会開始日の10営業日前までに請求書に記載の口座にお振込みください。受講料のお振込みが確認できない場合はキャンセルとさせていただくことがございます。
●お振込手数料は、お客さまのご負担でお願いいたします。
●ご入金の確認ができなかった場合、やむを得ずご利用を停止させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。
●eラーニングの中止・変更等、(株)日立製作所および(株)日立アカデミーの責に帰すべき場合は、お振込みいただいた受講料を返金いたします。

振込先銀行：三菱 UFJ 銀行　大森駅前支店
普通預金口座　口座番号　1105485
口座名称　（株）日立アカデミー（カ　ヒタチアカデミー）

※日立製品研修は(株)日立製作所が提供する研修サービスです。
(株)日立アカデミーは(株)日立製作所からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については(株)日立製作所の代理人として対応します。

ご受講にあたって

●お申し込み受付後、講習会開始日の当日までに、ご受講者とお申込責任者の方へ「ユーザ ID」と「パスワード」をメールにてご通知いたします。
送信元アドレス：notice@learningpark.jp
メールタイトル：【日立アカデミー】eラーニング利用開始のご案内
ー接続情報のご連絡ー
日立講習会eラーニングは、株式会社ライトワークスに委託し、株式会社ライトワークスのサービスを利用し、提供します。
お申し込みいただいたコースの実施および株式会社ライトワークスからのメール送信に必要となる、ご受講者とお申込責任者の個人情報（お名前、E-Mailアドレスなど）を株式会社 ライトワークスへ提供いたします。
●「ユーザ ID」と「パスワード」の通知が届かない場合は、早急に上記のお申込先までお問い合わせください。
●お申込責任者の方は、受講者の進捗状況を随時確認できます。
なお、以下提携コース eラーニングにつきましては、お申込責任者への「ユーザ ID」と「パスワード」の通知はありません。
また、進捗状況を確認できません。あらかじめご了承ください。
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニング
・SBI大学院　eラーニング
・ライトワークス社　Microsoft Officeシリーズ　eラーニング
・STANDARD社　eラーニング
・プラーナー社　eラーニング
・Study-AI社　E資格　eラーニング
・ITプレナーズ社　ITIL®4ファンデーション　eラーニング
・Aidemy社　eラーニング
●eラーニングのご利用に際して通信に関わる費用は、お客さまのご負担でお願いいたします。
●演習用データ、テキストサンプル等のWeb教材、プラグインソフトのダウンロードは、お客さまの責任で実施するものであり、その結果生じる障害や損害はお客さまのご負担でお願いいたします。

変更・キャンセル

●ご都合により、受講者・受講日を変更、もしくはキャンセルされる場合は「日立講習会変更／キャンセル連絡票」をWebサイトからダウンロードいただき、必要事項をご記入のうえ、講習会開始日の10営業日前までに、お申し込みの受付窓口までメールにてご連絡ください。
＜キャンセル規定＞

学習形態	受講者、受講日変更およびキャンセル締切日
集合研修	講習会開始日の10営業日前
バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）	講習会開始日の10営業日前
eラーニング	講習会開始日の10営業日前

●変更・キャンセル締切日を過ぎての申請はお受けいたしかねます。ご受講いただけない場合でも受講料を全額請求させていただきます。既に受講料をお支払いいただいている場合は、受講料は返金いたしません。別日程での受講をご希望の方は、改めて新規にお申し込みください。
また、下記コースは個別に変更・キャンセル締切日を設定しております。詳細はWebサイトのコース詳細ページの備考に明記しておりますのでご確認ください。
・アイテック社　情報処理技術者試験対策　eラーニングコース
・【マシン演習付き】COBOL研修　eラーニングコース

基本動作環境

●eラーニングをご利用の場合には、パソコン、Web環境が必要となります。
詳細につきましては、(株)日立アカデミーのWebサイトに各コースの動作環境を掲載しておりますので、お申し込みの前には必ずご確認ください。

5 受講規約

日立講習会のうち、日立製品研修（株式会社日立製作所（以下、「日立」といいます。）が発行する研修サービスガイド（以下、「日立製品研修ガイド」といいます。）の日立製品研修に指定されているコース群）は、日立が提供する研修サービスです。株式会社日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は日立からの委託を受けて日立製品研修の実施・運営を行い、また、日立製品研修の申込み受付、請求書発行および受講料の受領については日立の代理人として対応します。日立製品研修のご受講に際しては、「株式会社日立製作所個人情報保護に関して（保護方針と要旨）」、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、「電子教材利用規約」、および本規約の「1 日立製品研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

日立講習会のうち、IT／ビジネス研修（当社が発行する研修サービスガイド（以下、「IT／ビジネス研修ガイド」といいます。）のIT／ビジネス研修に指定されているコース群）は、当社が提供する研修サービスです。IT／ビジネス研修のご受講に際しては、「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」、「電子教材利用規約」、および本規約のうち「2 IT／ビジネス研修受講規約」をご了承のうえ、お申し込みください。

1 日立製品研修受講規約

1－1　日立製品研修

日立製品研修は、日立が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）およびeラーニング等の総称であり、日立製品研修ガイドに記載されたもの、またはその他日立が指定するものに限られます。ただし、日立は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）とは、Web会議の仕組み等を用い、パソコンやスマートデバイス等を通じて、当社が指定する研修会場へ集合せずに受講できる研修をさします。

1－2　お申し込み・開催延期／中止

日立製品研修の受講お申し込みについては日立製品研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。日立製品研修は日立製品研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、日立がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講案内）に記載する別の日程で開催するものとします。日立はお申し込み済のお客さまに対して少なくとも5営業日前の予告をもって日立製品研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

1－3　受講料・消費税

日立製品研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。日立製品研修の受講料は開始日における日立所定の受講料が適用されます。お客さまのお申し込みを当社がお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客さまが当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料には日立製品研修で使用する教材の代金およびご利用機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費（宿泊費が受講料に含まれるコースを除きます。）は含みません。日立製品研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客さまのご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、日立製品研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

1－4　受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客さまは日立製品研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客さまはご受講前のお支払い（前払い）になります。日立製品研修の受講料は、お客さまが当社からの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客さまでお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客さまのご負担とします。日立製品研修が、日立の責に帰すべき事由での中止や提供できなかった場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）においては、研修当日にお客さまのネットワーク環境など不具合に起因し学習できなかった場合は、録画・録音した学習内容を提供することで研修サービスを提供したこととし、受講料を請求いたします。

1－5　キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。
キャンセル料発生日はお申し込みいただいたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

1－6　責任の制限

日立は、日立製品研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）で日立製品研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「日立製品研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、日立は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、日立製品研修教材等もしくは日立製品研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つように努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、日立はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。日立は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、日立および当社の責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

1－7　著作権・その他知的財産権

日立が日立製品研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「日立製品研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて日立または当社、または日立がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、日立製品研修ガイドに記載する第三者に帰属しております。これらは受講者ご本人の学習のためにご利用いただけますが、その範囲を超えるいかなる形態においても日立製品研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並びに改変を行ってはならず、また日立製品研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

1－8　損害賠償

日立製品研修に関してお客さまが被った損害に対する日立の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客さまに当該日立製品研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。日立は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等について、一切責任を負わないものとします。なお、日立は、当該損害賠償責任に代えて、日立が合理的と判断した日立製品研修の再提供を行うことができるものとします。

1－9　暴力団等の排除

日立は、お客さままたはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客さまへ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。
①日立および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
③日立または日立の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかかわりを持つ者であることが判明したとき。
⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
⑥その他、お客さまが日立製品研修を利用することについて不適切と日立が判断した場合。

1－10　受講規約の変更

日立は、本規約その他の日立製品研修に関するお客さまと日立との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客さまへの通知をもって変更の効力が適用されることとします。また、日立は、本規約に別に定める場合を除き、日立製品研修ガイドを予告なしに変更できるものとします。

1－11　その他

・当事者の一方に、本規約その他の日立製品研修に関するお客さまと日立との契約上の不履行がある場合には、書面による通知により日立製品研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
・日立は、日立製品研修の受講により、お客さまが特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、日立製品研修がお客さま保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客さまの責任で決定いただきたくお願いいたします。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は日立担当営業にお問い合わせください。
・日立製品研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

2 IT／ビジネス研修受講規約

2－1　IT／ビジネス研修

IT／ビジネス研修は、当社が指定する研修施設・設備を利用して開催する集合研修、バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）およびeラーニング等の総称であり、IT／ビジネス研修ガイドに記載されたもの、またはその他当社が指定するものに限られます。ただし、当社は、これらを予告なしに追加、変更または廃止することがあります。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）とは、Web会議の仕組み等を用い、パソコンやスマートデバイス等を通じて、当社が指定する研修会場へ集合せずに受講できる研修をさします。

2－2　お申し込み・開催延期／中止

IT／ビジネス研修の受講お申し込みについてはIT／ビジネス研修ガイド「お申込方法」に定めるとおりとしますので、ご参照ください。IT／ビジネス研修はIT／ビジネス研修ガイド「開催スケジュール」に記載されている日程で開催されますが、当社がこの日程で都合のつかない場合には「日立講習会受講ご案内」（受講案内）に記載する別の日程で開催するものとします。当社はお申し込み済のお客さまに対して少なくとも5営業日前の予告をもってIT／ビジネス研修の開催を延期または中止をする権利を留保します。

2－3　受講料・消費税

IT／ビジネス研修ガイドに記載されている受講料は、少なくとも開始日の10営業日前までに書面（電子メールを含みます。）による通知で変更される場合があります。IT／ビジネス研修の受講料は開始日における当社所定の受講料が適用されます。お客さまのお申し込みを当社がお受けした後に、受講料が変更され新受講料が発効される場合は、お客さまが当該お申し込みを、少なくとも開始日の5営業日前に書面により取り消さない限り、新受講料が適用されます。受講料にはIT／ビジネス研修で使用する教材の代金およびご利用機械使用料を含みますが、ご受講者の交通費および宿泊費（宿泊費が受講料に含まれるコースを除きます。）は含みません。IT／ビジネス研修の受講料に課せられる消費税等の租税公課は、お客さまのご負担とします。なお、消費税率等が変更になった場合は、IT／ビジネス研修の開始日時点の新税率を適用した金額となります。

2－4　受講料のお支払いおよび返金

受講料につきましては法人のお客さまはIT／ビジネス研修ご受講後のお支払い（後払い）、個人のお客さまはご受講前のお支払い（前払い）になります。IT／ビジネス研修の受講料は、お客さまが当社からの請求書を受領後、お振込指定期日までにお支払いいただくこととします。前払いのお客さまでお振込指定期日までにご入金の確認ができなかった場合は、ご受講できないことがあります。お振込手数料は、お客さまのご負担とします。IT／ビジネス研修が、当社の責に帰すべき事由での中止や提供できなかった場合で、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合には、お振込みいただいた受講料を返金いたします。バーチャル・クラスルーム（オンライン研修）においては、研修当日にお客さまのネットワーク環境など不具合に起因し学習できなかった場合は、録画・録音した学習内容を提供することで研修サービスを提供したこととし、受講料を請求いたします。

2－5　キャンセル料

キャンセル料発生日前日までにご受講お申し込みのキャンセルお申し出があった場合は、キャンセル料は発生いたしません。また、すでに前払いにて受講料をお支払いいただいている場合は、お支払いいただいている受講料からお振込手数料を差し引いた金額を返金いたします。キャンセル料発生日以降にキャンセルのお申し出があった場合はキャンセル料が発生いたします。前払いの場合はお支払いいただいた受講料は返金いたしません。また、後払いの場合は受講料全額を請求いたします。
キャンセル料発生日はお申し込みいただいたコースによって異なりますので、詳しくは「5. お申込方法」の「変更・キャンセル」の項をご覧ください。

2－6　責任の制限

当社は、IT／ビジネス研修ガイドに記載された範囲（講座の内容等）でIT／ビジネス研修に関するテキスト教材、eラーニングコンテンツ等（以下、「IT／ビジネス研修教材等」といいます。）の更新と提供を行います。ただし、当社は、これらのサービスの有用性、目的適合性、正確性その他一切の結果を保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修教材等もしくはIT／ビジネス研修における質疑応答の内容を合理的範囲で正確性を保つように努力するものとしますが、すべての誤りが訂正されることを保証するものではありません。また、当社はサービスを提供するにあたり、インターネット、データセンター、クラウドサービス等を利用しています。当社は、商慣習において合理的な努力を払って本サービスを提供しており、当社の責に帰すことができない事由によるサービス提供の停止については、損害賠償その他いかなる責任も負わないものとします。

2－7　著作権・その他知的財産権

当社がIT／ビジネス研修で提供または使用を許諾する文書・印刷物・ソフトウェア・Webサイト・コンテンツ等（以下「IT／ビジネス研修提供資料等」といいます。）の著作権またはその他知的財産権は、すべて当社、または当社がテキスト教材、eラーニングコンテンツ、IT／ビジネス研修ガイドに記載する第三者に帰属しております。これらは受講者ご本人の学習のためにご利用いただけますが、その範囲を超えるいかなる形態においてもIT／ビジネス研修提供資料等の全部、または一部について転載および複製並び改変を行ってはならず、またIT／ビジネス研修提供資料等を第三者へ開示または提供（貸与や使用許諾を含みます）もしくは譲渡してはならないものとします。

2－8　損害賠償

IT／ビジネス研修に関してお客さまが被った損害に対する当社の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態のいかんにかかわらず、お客さまに当該IT／ビジネス研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。当社は、いかなる場合にも逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、一切責任を負わないものとします。なお、当社は、当該損害賠償責任に代えて、当社が合理的と判断したIT／ビジネス研修の再提供を行うことができるものとします。

2－9　暴力団等の排除

当社は、お客さまたはその関係者が次の各号のいずれか一つに該当したときは、お客さまへ何ら催告することなく、直ちに本契約を解除することができるものとします。
①当社および講師等の指示に従わないとき、または他の受講者に迷惑になるような行為、言動を行ったとき。
②公序良俗に違反、または犯罪に結びつくおそれのある言動を行ったとき。
③当社または当社の利害関係者へ誹謗中傷をしたと認められる事実があるとき。
④暴力団員、準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力団その他これに準じる者、またはこれらの者と密接なかかわりを持つ者であることが判明したとき。
⑤自ら、または第三者を利用して、暴力的な要求行為、法的責任を超える不当な要求行為、詐欺・脅迫行為、業務妨害行為その他これに準じる行為を行ったとき。
⑥その他、お客さまがIT／ビジネス研修を利用することについて不適切と当社が判断した場合。

2－10　受講規約の変更

当社は、本規約その他のIT／ビジネス研修に関するお客さまと当社との契約を必要に応じて変更できるものとし、お客さまへの通知をもって変更の効力が適用されることとします。本規約に別に定める場合を除き、IT／ビジネス研修ガイドは予告なしに変更できるものとします。

2－11　その他

・当事者の一方に、本規約の不履行がある場合には、書面による通知によりIT／ビジネス研修のお申し込みを取り消すことができるものとします。
・当社は、IT／ビジネス研修の受講により、お客さまが特定の知識や技術等を修得されることを保証するものではありません。また、IT／ビジネス研修がお客さま保有の特定の目的に対し、適合・有益・最適等であることを保証するものではありません。これらはお客さまの責任で決定いただきたくお願いいたします。
・本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。また、本製品とは、研修で取り扱った知識・技術、スキル、テキスト教材および相当資料、eラーニングコンテンツとします。なお、ご不明な場合は当社担当営業にお問い合わせください。
・IT／ビジネス研修ガイドに記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

電子教材利用規約

研修にお申し込みの際、電子教材および電子教材提供システムのご利用について、必ず以下の内容をお読みください。内容に同意いただいたお客さまのみ研修にお申込みいただけます。

第１条．定義

電子教材とは、当社が提供、または使用を許諾する電子資料、ソフトウェア、データなどを言います。また、当社研修において作成されたお客さまの電子資料、ソフトウェア、データなどの成果物を含みます。（以下、「電子教材」）。
また、電子教材提供システムとは、当社が電子教材を提供するシステムを言います（以下、「電子教材提供システム」）。

第２条．利用目的

お客さまからのお申込みに基づき、当社が提供または使用を許諾する電子教材は、利用目的を研修受講に関する利用に限り、それ以外の目的での販売、再配布および開発での利用を禁止します。
また、電子教材提供システムの利用目的は研修に限り、それ以外の目的での資料、ソフトウェア、データなどの参照、アップロード、ダウンロードを禁止します。

第３条．利用条件

(1)利用資格
当社が提供または使用を許諾する電子教材および電子教材提供システムは、研修をお申込みの受講者ご本人のみが利用できるものとします。

(2)利用規約への同意
利用者は、研修の申込みに当たり、電子教材および電子教材提供システムの利用においては、本規約すべての記載内容について同意し、契約したものとみなされます。また、お客さまが電子教材および電子教材提供システムを将来引き続き利用する場合は、その時点での本規約に同意しているとみなされます。

(3)利用規約の変更
当社は以下の場合に、当社の裁量により、利用規約を変更することができます。
①利用規約の変更が、利用者の一般の利益に適合するとき。
②利用規約の変更が、契約をした目的に反せず、かつ、変更の必要性、変更後の内容の相当性、変更の内容その他の変更に係る事情に照らして合理的なものであるとき。

(4)利用規約の発効
当社は前項による利用規約の変更にあたり、変更後の利用規約の効力発生日の1か月前までに、利用規約を変更する旨および変更後の利用規約の内容とその効力発生日を以下のURLの当社Webサイトに掲示し、または利用者に電子メールで通知します。
URL：https://www.hitachi-ac.co.jp/guide/flow/e-text_contract.html
変更後の利用規約の効力発生日以降に利用者が本サービスを利用したときは、利用者は、利用規約の変更に同意したものとみなします。

(5)利用の制限
当社の電子教材は、すべて当社または当社指定の第三者が著作権その他の権利を有しており、お客さまは当社の承諾なしには、いかなる形態においてもその全部もしくは一部について複製、改変、二次的著作物の作成、または第三者への再許諾、貸与、転載、公衆送信その他の利用を禁止します。

(6)情報の取り扱い
電子教材および電子教材提供システムにおける当社の個人情報の取り扱いは「株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して」に準じます。
電子教材提供システムには、お客さまが所属する組織、関連する他組織の機密情報を記載した資料、ソフトウェア、データなどのアップロードを禁止します。
また、電子教材提供システム上にアップロードされたお客さま個人を特定できる情報は、研修以外の目的で使用することを禁止します。
電子教材提供システムを介して知りえた他者の個人情報、他組織の情報を複製、販売、出版、公開、その他の方法で、研修以外の目的で使用することを禁止します。

第４条．損害賠償

電子教材および電子教材提供システムの利用関して、お客さまが被った損害に対する当社の損害賠償責任は、債務不履行、法律上の瑕疵担保責任、不当利得、不法行為、その他請求原因・訴訟形態の如何にかかわらず、お客さまに当該研修の受講料としてお支払いいただいた金額を限度とします。当社は、当社に故意又は重大な過失がある場合を除き、逸失利益、無体物に生じた損害、第三者からお客さまに対してなされた損害賠償請求に基づく損害、特別損害等については、損害を賠償する責任を負いません。なお、当社は、当該損害賠償責任に代えて、当社が合理的と判断した研修の再提供を行うことができるものとします。
また、電子教材および電子教材提供システムの利用に関して、お客さまが本規約に違反することにより当社または他者、他組織に損害が発生した場合は、お客さまがその損害賠償責任を負うものとし、当社は一切責任を負わないものとします。

第５条．輸出管理

お客さまは、電子教材を日本国外に持ち出す際には、日本国又は外国の輸出入規制を受ける可能性があることを理解し、お客さまの費用と責任で所定の許可の取得その他の手続を行うものとします。

第６条．利用規約の適用範囲

本規約の内容と、当社が提示する本規約以外における説明等の内容が異なる場合は、本規約の規定に優先して適用すると明示しない限り、本規約の規定が優先して適用されるものとします。

株式会社日立製作所　個人情報保護に関して（保護方針と要旨）
Privacy Notice Highlights

制定日 2005 年 4 月 1 日
改定日 2021 年 6 月 23 日
株式会社 日立製作所 代表執行役 執行役社長
小島　啓二

1．個人情報保護に関する当社の考え方

株式会社日立製作所（以下「当社」といいます。）は、トータルソリューションを提供できるグローバルサプライヤーとして、当社の技術情報や、お客さまからお預かりする情報をはじめ様々な情報を取扱っております。このことから、当社ではこれら情報価値を尊重するために、情報管理体制の確立とその徹底に努めて参りました。

このような経緯を踏まえ、当社における個人情報保護について、規則の制定および管理体制の確立を図ると共に、個人情報保護方針を定め、役員および従業員に周知させるとともに、一般の方が、容易に入手できる措置を講じるものとします。

そして、この方針に従い個人情報の適切な保護に努めます。

2．個人情報保護方針

(1) 個人情報管理規則の策定および個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善

当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報管理規則を策定し、個人情報保護マネジメントシステムを着実に実施します。更に、維持し、継続的に改善します。

(2) 個人情報の収集・利用・提供および目的外利用の禁止

当社は、事業活動において、個人情報をお預かりしていることを考慮し、それぞれの業務実態に応じた個人情報保護のための管理体制を確立すると共に、個人情報の収集、利用、提供において所定の規則に従い適切に取扱います。また、目的外利用は行わない、およびそのための措置を講じます。

(3) 安全対策の実施並びに是正

当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏洩、滅失またはき損の防止に努めます。
また、安全対策上の問題が確認された場合など、その原因を特定し、是正措置を講じます。

(4) 法令・規範の遵守

当社は、個人情報の取扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守します。また、当社の個人情報管理規則を、これらの法令および指針その他の規範に適合させます。

(5) 個人情報に関する本人の権利尊重

当社は、個人情報に関して本人から情報の開示、訂正もしくは削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたとき、および苦情、相談の申し出を受けたときは、個人情報に関する本人の権利を尊重し、誠意をもって対応します。

3．プライバシーマークについて



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

4．適用範囲

当社が事業で取扱う全ての個人情報に関する取扱いを定めるものです。

適用範囲
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#scope

5．個人情報保護の取組み

当社は、「個人情報保護に関する当社の考え方」および「個人情報保護方針」に基づき、個人情報を取り扱っている部門ごとに管理責任者を設置し、個人情報について細心の注意と最大限の努力をもって、保護、管理を行っております。

この取扱い要旨において「個人情報」とは、次の各号に該当する情報のうち、ご本人さまを識別することができる情報をいうものとします。

1.「お問い合わせ入力フォーム」その他の方法で入力され、ご本人さまから当社に提供された情報
2. 前号の他、当社がご本人さまから提供を受けた情報

個人情報の定義と保護の取組み
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#definition

6．個人情報の取扱い方針（取得・利用目的、第三者提供）

1. 当社は、電機機械器具・情報通信機械器具・電子部品製造業および情報サービス業を主とした事業活動に関して、個人情報を各号の目的の達成に必要な範囲でのみ取得し、利用するものとします。また、ご本人さまに個人情報を提供いただく場合には事前にその使用目的を明示し、ご本人さまに同意をいただくものとします。
2. 当社は、特定の条件のものを除き、あらかじめご本人さまの事前の同意を得ないで、ご本人さまの個人情報を第三者に提供しません。
3. 当社は、当社のグループ会社と共同して事業活動を行う場合に必要となる、お名前並びに職場およびご自宅の住所、電話番号、FAX 番号、電子メールアドレス等のご本人さまの個人情報につき、当該グループ会社に提供することがあります。

その他詳細
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#purpose

7．個人情報の開示等の請求、または苦情のお申し出

当社が保有しているご本人さまの個人情報について、開示、訂正、追加、削除、利用停止、第三者提供の停止、若しくは利用目的の通知、又は第三者提供記録の開示 (以下「開示等」といいます。) を請求される場合または苦情をお申し出になる場合は、所定の手続きに則り請求をお願い致します。

詳細について
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#contact

8．その他重要事項

1. 安全管理のために講じた措置、外国における個人情報の保護に関する制度について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#safety
2. ご本人さまからの個人情報の提供、事前同意の取得等について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#request
3.「個人情報保護に関して」に関する連絡事項について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#note
4. ウェブサイトにおけるクッキーおよび Web ビーコンの利用について
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#cookie
5. 当社が提供している個々の個人情報取扱いサイトについて
   https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#personal
6. ご本人さまが当社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を録音させていただくことがあります。

9．認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体※は、下記となります。

認定個人情報保護団体の名称
一般財団法人日本情報経済社会推進協会

苦情の解決の申出先
認定個人情報保護団体事務局

住所
〒106-0032 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル内

電話番号
03-5860-7565 ／ 0120-700-779

※個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。
当社の商品・サービスに関する問い合わせ先ではございません。

10．連絡先

個人情報の開示等の請求および苦情のお申し出を除く、本取扱要旨に関するご質問・お問い合わせは、下記の方法にてご連絡ください。
本ページは日本法に基づくものとします。
日本国外の日立グループに対するご質問・お問い合わせ又は日本国外の法制度等に基づくご質問・お問い合わせは、それぞれの地域のホームページをご確認ください。

Hitachi Group Global Network
https://www.hitachi.com/global/index.html

詳細について
https://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index2.html#inquiry

お問い合わせ入力フォームを利用したご連絡
https://www8.hitachi.co.jp/inquiry/privacy/jp/form.jsp

郵送によるご連絡
〒101-8608　東京都千代田区外神田一丁目 18 番 13 号
株式会社日立製作所 情報セキュリティリスク統括本部 データ保護マネジメント本部

株式会社日立製作所　個人情報保護に関して（保護方針と要旨）詳細は当社ホームページ
http://www.hitachi.co.jp/utility/privacy/index.html
をご覧ください。

株式会社日立アカデミー個人情報保護に関して

制定年月日 2004 年 6 月 23 日
最終改定年月日 2022 年 4 月　1 日
株式会社 日立アカデミー
取締役社長　迫田　雷蔵



当社は、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より、個人情報の適切な取扱いを行う事業者に付与されるプライバシーマークの付与認定を受けています。

個人情報保護の理念

株式会社 日立アカデミー（以下、「当社」といいます。）は人財育成のためのトータルソリューションの提供を通じて社会に貢献してまいります。
そうした中で、当社は氏名、生年月日のような個人を特定できる情報（以下、「個人情報」と総称します。）が従業員のみならずお客さまにとりまして重要な情報であり、適切に扱われるべき情報であると認識しております。又、これら個人情報を利用し、保護することが当社の社会的責任であり、当社の事業の基本であると考えております。
当社では個人情報を適切に取扱うべく役員、従業員に「個人情報保護方針」の周知徹底を図り、その実行、維持、改善に努めます。

株式会社 日立アカデミー 個人情報保護方針

1. 個人情報の取得・利用・提供
当社は、事業活動において、お客さまの情報をお預かりしていることを考慮し、各事業に応じた個人情報保護のための管理体制を確立します。又、個人情報の取得、利用、提供において、特定された利用目的の達成に必要な範囲を超えた個人情報の取扱いを行わないための適切な措置を講じます。

2. 法令・規範の遵守
当社は、個人情報の取扱いにおいて、当該個人情報の保護に適用される法令および国が定める指針その他の規範を遵守します。又、これらの法令および指針その他の規範に適合した、当社の個人情報管理規則を作成し、遵守いたします。

3. 安全対策の実施
当社は、個人情報の正確性および安全性を確保するため、当社の情報セキュリティに関する諸規則に則り、個人情報へのアクセス管理、個人情報の持ち出し手段の制限、外部からの不正アクセスの防止等の対策を実施し、個人情報の漏えい、滅失又はき損の防止および是正に努めます。

4. 個人情報に関する本人の権利尊重
当社は、個人情報に関するご本人さまから求められる開示、内容の訂正、追加又は削除、又は苦情および相談を求められた時は、個人情報に関するご本人さまの権利を尊重し、誠意を持って対応いたします。

5. 個人情報保護マネジメントシステムの確立および継続的改善
当社は、役員および従業員に個人情報保護の重要性を認識させ、個人情報を適切に利用し、保護するための個人情報保護マネジメントシステムを確立し、これを着実に実施します。更に、これを維持し、継続的に改善いたします。

事業者の氏名または名称

株式会社日立アカデミー

個人情報保護管理者（本登録申込情報に関する責任者）

株式会社日立アカデミー　情報セキュリティ統括責任者
〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階

個人情報の利用目的

当社は、次の利用目的の範囲内で利用するため、個人情報を収集させていただく場合がございます。

個人情報	利用目的
(1) お客さまに関する個人情報	• お客さまへの連絡のため • 研修サービス業務の運用・実施のため （受講案内・請求書発行、名簿・名札作成等の事務処理、ロイヤリティ支払いの確証、ご案内冊子送付） • 修了判定や理解度を測るため（研修受講時に提出する課題、テスト回答） • 各種研修サービスご案内のための DM や電子メール等の発送のため （商品 / サービス / 展示会等の情報や宣伝物等のご案内。委託先会社が独自に企画・開催するものも含む） • 教材販売業務の運用のため (教材発送、請求書発行) • チケット販売業務の運用のため (チケット発送、請求書発行) • より良い商品・サービス開発、サービス品質維持・改善のための調査・分析のため • お客さまとの交渉、契約履行のため 上記の目的に必要な範囲で、お客さまの自社窓口部署または各種施策の取纏め部署に提供することがあります。
(2) お取引先、提携先に関する個人情報	• お取引先、提携先への連絡のため • お取引先、提携先との各種研修サービスの運用・実施のため • お取引先、提携先との交渉、契約履行のため • お取引先、提携先との事業協力のため
(3) お取引先から委託を受けた個人情報	• お取引先への連絡のため • お取引先から受託した各種研修サービスの運用・実施のため • お取引先との契約履行のため
(4) イベント、展示会等で取得した個人情報	• 連絡、イベントの関連情報のご提供 • 商品またはサービスのご案内 • お取引先から委託を受けた調査、分析、宣伝、広告業務の遂行等 上記の目的に必要な範囲で、当社の関係会社、販売店、お取引先などに提供することがあります。
(5) 当社へ入社を希望される皆様に関する個人情報	• 連絡、情報のご提供および採用選考 • 採用選考に関わる業務委託
(6) 当社に派遣入場している皆様に関する個人情報	• 構内秩序の維持、当社の財産又は営業秘密の管理上、本人特定するため • 法令に定められた義務を履行するため
(7) 上記以外の個人情報	• 防犯のための監視カメラによる撮影と録画

Web サイトでの情報の取扱い

当社が運営する Web サイト（以下、「本 Web サイト」という。）を利用される方に関わる情報を以下の通り取扱います。

A. 本 Web サイトへアクセスしたことを契機として機械的に取得される情報

当社は、閲覧された本 Web サイトのセキュリティ確保・ユーザビリティ向上のため、アクセスログおよび Cookie により、閲覧された方の情報を取得します。
・取得した個人情報は、当社規定に基づき厳重な管理を行います。
・取得する個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。
・取得した個人情報は、利用目的に応じて保存期間を設定し、保存期間終了後は速やかに削除、廃棄します。

B. クッキーおよび Web ビーコンの利用について

本 Web サイトの一部では、ご本人さまがより便利にご利用いただくために、クッキー (Cookie)*1 や Web ビーコン (クリア GIF)*2 を利用しております。
ご本人さまは、ウェブブラウザの設定を変更することにより、クッキーの受け取りを拒否し、または、クッキーを受け取った場合に警告を表示させることができます。詳しくは、ご使用のブラウザの説明をご覧ください。また、ご本人さまは、クッキーの受け取りを拒否することによって、Web ビーコンを拒否することができます。
しかし、クッキーの受け取りを拒否された場合には、本 Web サイトにて提供するサービスの全部または一部がご利用できなくなる場合もございますので、ご了承ください。
また、お客さまへお送りするメールマガジンと Web ビーコンを組み合わせて使用することにより、お客さまにお送りしたメールが開封されたかどうか、お客さまがどのウェブページを訪問されたかといった情報を収集させていただく場合があります。当社では収集したそれらの情報につき、サービスの向上のために利用させていただきます。収集させていただいた情報の具体的な利用範囲等につきましては、上記「取得・利用目的・第三者提供」をご確認ください。

C. Google Analytics の利用について

本 Web サイトでは、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握するために Google 社のサービスである Google Analytics を利用しています。
Google Analytics では、当社が発行するクッキーをもとにして、Google 社がお客さまの本 Web サイトの訪問履歴を収集、記録、分析します。
当社は、Google 社からその分析結果を受け取り、お客さまの本 Web サイトの訪問状況を把握します。
お客さまは、ブラウザのアドオン設定で Google Analytics を無効にすることにより、当社の Google Analytics 利用によるお客さまの情報の収集を停止することも可能です。
また、Google Analytics により収集された情報は、Google 社のプライバシーポリシーに基づいて管理されます。

Google Analytics によるクッキーの使用に関する説明およびクッキーにより収集される情報は、Google Analytics の利用規約およびプライバシーポリシーをご確認ください。
Google Analytics の利用規約
http://www.google.com/analytics/terms/jp.html
Google のプライバシーポリシー
http://www.google.com/intl/ja/policies/privacy/
Google Analytics オプトアウトアドオン
https://tools.google.com/dlpage/gaoptout?hl=ja

D. Google の行動ターゲティング広告利用について

個人を特定しない属性情報・行動履歴の取得および利用について

本 Web サイトでは、広告配信事業者が提供するプログラムを利用し、特定のサイトにおいて行動ターゲティング広告（サイト閲覧情報などをもとにユーザーの興味・関心にあわせて広告を配信する広告手法）を行っております。その際、ユーザーのサイト訪問履歴情報を採取するため Cookie を使用しています（ただし、個人を特定・識別できるような情報は一切含まれておりません）
広告配信事業者は 当該 Cookie を使用して本 Web サイトへの過去のアクセス情報に基づいて広告を配信します。この広告の無効化を希望されるユーザーは 広告配信事業者のオプトアウトページにアクセスして、Cookie の使用を無効にできます。ブラウザの変更、Cookie の削除および新しい PC へ変更等の場合には再度設定が必要となります。
ユーザーは広告のオプトアウトページで Google の Cookie を使用しないよう設定できます（また、Network Advertising Initiative のオプトアウトページでも第三者配信事業者の Cookie の使用を無効にできます）。
オプトアウトを行っていない場合、Google 他、第三者配信事業者または広告ネットワークの Cookie も使用される可能性があります。Network Advertising Initiative のオプトアウト ウェブサイトでは、一部の Cookie（全てではありません）をまとめて無効にできます。

E. 本 Web サイトで利用してるソーシャルメディアサービスについて

当該サイトのうち他のソーシャルメディア（SNS）のボタン等が設置されているページを閲覧した際、当該 SNS に閲覧者に関する情報が送信されることがあります。
当該サイトで利用している他の SNS 等のサービスのプライバシーポリシー等は、各事業者のサイト等でご確認ください。
Facebook「データに関するポリシー」https://www.facebook.com/privacy/explanation
YouTube「ポリシーとセキュリティ」https://www.youtube.com/intl/ja/yt/about/policies/#community-guidelines

F. 本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイト

本 Web サイトからリンクされている当社外の Web サイトにおけるご本人さまの個人情報の安全性確保については、当社では責任を負いかねますので、ご承知おきください。
当社では、より良い個人情報保護を実現するために、また、法令、政省令、およびその他の規範の制改定に伴い、本ページに掲載いたしております個人情報保護方針を改定することがございます。定期的に当社の Web サイトにてご確認いただきますようお願いいたします。
本ページの内容は、掲載日以降に適用されるものといたします。

用語説明
*1 **クッキー：**ウェブサイトを管理するウェブサーバとお客さまのウェブブラウザとの間で相互にやりとりされる情報のことをいいます。クッキーは、お客さまのコンピュータのディスクにファイルとして格納されることがあります。クッキーをご利用になりますと、ウェブサーバは特定のコンピュータがウェブサイト中のどのページを訪れたか等を記録することが可能となります。但し、お客さまがお客さまご自身の個人情報をウェブサイト上で入力されない限り、当社はお客さまを特定、識別することはできません。
*2 **Web ビーコン：**クッキーと一緒に機能し、ご本人さまが特定のページに何回アクセスされたかを知ることができる技術のことをいいます。但し、ご本人さまが、ご自身の個人情報をクッキーの受け取り時に入力されない限り、当社はご本人さまを特定、識別することはできません。

個人情報の第三者提供

取得した個人情報は、お客さまの承諾がない限り、および以下のいずれかに該当する場合を除き、利用目的の範囲を超えて利用したり、第三者へ開示または提供しません。
・法令に基づく場合
・人の生命、身体又は財産の保護のために必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
・公衆衛生の向上又は児童の健全な育成の推進のために特に必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることが困難であるとき
・国の機関若しくは地方公共団体又はその委託を受けた者が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、ご本人さまの同意を得ることにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき

個人情報の取扱いの委託

利用目的を達成するために、個人情報の取扱いを外部に委託する場合があります。その場合も、十分な個人情報保護水準を有する会社を選定するとともに、個人情報保護の覚書等を締結し、必要な管理・監督を行います。

安全管理のために講じた措置

当社では、個人情報の適正な取り扱いの確保について組織として取り組むために、トップマネジメントが個人情報保護方針を策定、この基本方針に従った個人情報管理規則やガイドラインなどの社内規定を策定しています。また、社内規程が法令、プライバシーマーク準拠規程である JIS Q 15001 に適合しているかを確認、評価する仕組みを整備しています。このような規程の整備とともに、実際に個人情報を取り扱うにあたり、4 つの側面（組織的、人的、物理的、技術的）から具体的な安全管理措置を講じています。
情報セキュリティ報告書※
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi.co.jp/sustainability/download/pdf/securityreport.pdf）をご覧ください。

外国における個人情報の保護に関する制度

当社では、個人情報取扱業務の一部について、業務委託等で個人情報を外国にある第三者へ提供する場合があります。当該国における個人情報保護に関する制度は個人情報保護委員会のウェブサイトをご覧ください
• https://www.ppc.go.jp/personalinfo/legal/kaiseihogohou/#gaikoku（個人情報保護委員会）

開示・利用停止等手続きのご案内

個人情報に関して開示等の求め（利用目的の通知、開示、内容の訂正、追加または削除、利用の停止、消去および第三者への提供の停止）は、ご本人さまによる場合のほか、代理人による場合も受けさせていただきます。

A. 開示等の求めのお申し出先

下記窓口宛に所定の申請書および必要書類を添付のうえ、郵送にてお送りいただきますようお願い申し上げます。
(1) お申し出先窓口　〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階
株式会社日立アカデミー　統括窓口責任者
(2) 当社所定の申請書
・個人情報の開示等の請求書※
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv01.pdf）をご覧ください。
(3) ご本人さま確認のため、以下の書類を (2) 申請書とともに (1) に郵送ください。
・運転免許証、パスポート等の写真でご本人さま確認ができるものの写し（開示等の求めをするご本人さまの名前および住所が記載されているもの）
・住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
(4) 代理人の方が手続きをされる場合は、(2) 申請書、(3) ご本人さま確認書類に加え、以下の書類も郵送してください。
・代理人を証明する書類、代理人の運転免許証、パスポート等の写真で代理人確認ができるものの写し（開示等の求めをする代理人の名前および住所が記載されているもの）
・代理人の住民票の写し（開示等の求めをする日前 30 日以内に作成されたもの）
・代理人が弁護士の場合は、登録番号のわかる書類
・代理を示す旨の委任状

B. 開示等の求めに対するその他の注意事項

・個人情報保護法上対応を要しない場合、所定の書類に不備があった場合等には、開示等の求めに対応できないこともあります。
・開示等の求めにともない取得した個人情報は、開示等の求めに必要な範囲でのみ取り扱うものとします。開示等の求めに際しご提出いただきました書面は返却致しかねます。
・申請書の記載住所（日本国内）の請求者（代理人宛の場合は代理人）ご本人さま宛に書面によってご回答させていただきます。
・お問い合わせの内容によっては回答にお時間をいただく場合もございます。
・個人情報の消去の求めの場合において、当該個人情報を消去させていただいたときでも、個人情報の消去の求めの申請書、ご本人さま確認の書面、回答書の写しは保管させていただきます。
・個人情報の利用停止もしくは消去、または第三者への提供停止の求めの結果、当該の個人情報に対するサービス等はご利用いただけなくなることをあらかじめご承知おきください。

認定個人情報保護団体

当社を管掌する認定個人情報保護団体＊は、下記となります。

認定個人情報保護団体の名称	一般財団法人日本情報経済社会推進協会
苦情の解決の申出先	認定個人情報保護団体事務局
住所	〒 106-0032 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル内
電話番号	03-5860-7565 ／ 0120-700-779

＊個人情報保護法で規定されている、個人情報に関する苦情処理や情報提供を行う第三者機関。

個人情報に関するお問い合わせ

A. 個人情報の取扱いに関する苦情のお申出に関して

個人情報の取扱いに関する苦情のお申出に関しては「個人情報の取扱いに関する苦情申出書※」に必要事項をご記入いただき、郵送にてお問い合わせください。
※：当社 Web サイト（https://www.hitachi-ac.co.jp/pdf/utility/privacy/priv02.pdf）をご覧ください。
（郵送先）〒 110-0015　東京都台東区東上野二丁目 16 番 1 号　上野イーストタワー 18 階
株式会社日立アカデミー　統括窓口責任者

B. 個人情報に関するお問い合わせ（個人情報保護管理者）

当社の個人情報の取扱い全般に関するお問い合わせは、お問い合わせ入力フォーム※からご連絡ください。
※：お問い合わせ入力フォーム（https://www.hitachi-ac.co.jp/inquiry/index.html#06）

雇用関係助成金のご案内

人材開発支援助成金

人材開発支援助成金は、事業主等が雇用する労働者に対して、職務に関連した専門的な知識及び技能の習得を目的とした職業訓練等を計画に沿って実施した場合に、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。

●人材開発支援助成金

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html
（厚生労働省 Web サイト）

※上記は2023年12月現在の内容です。
最新情報は、日立アカデミーのWebサイトをご覧ください。https://www.hitachi-ac.co.jp/support/crjo.html

他社所有商標に対する表示

・Adobe、Adobeロゴ、Adobe Flash Player、Adobe Reader、Flash、Flex、MXML、ActionScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
・アマゾン ウェブ サービス、Amazon Web Services、Amazon EC2 およびAmazon Web Services ロゴは、Amazon.com, Inc.またはその関連会社の商標です。
・Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。
・Automation Anywhere、Bot Insight、IQ BotはAutomation Anywhere, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・BABOK®およびBusiness Analysis Body of Knowledge®、CCBA®、CBAP®は、International Institute of Business Analysisの登録商標です。
・BizRobo！は、RPA テクノロジーズ株式会社の登録商標です。
・Blue Prismは、Blue Prism Limitedの登録商標です。
・CMMI、Capability Maturity Modelは、米国カーネギーメロン大学及びその他の国における商標または登録商標です。
・CoreExplorer、SynVizは株式会社日立ソリューションズ東日本の登録商標です。
・DataStageは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。
・EQI®は（株）アドバンテッジリスク マネジメントの登録商標です。
・Ethernet/イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。
・Ethernetは、米国Xerox Corp.の商品名称です。
・Getting Things Done®とGTD®は、David Allen Companyの登録商標です。
・Hadoopは、Apache Software Foundationの米国およびその他の国における商標です。
・HP-UXは、米国Hewlett-Packard Companyのオペレーティングシステムの名称です。
・IBM、IBMロゴ、ibm.com、AIXは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。
・ITIL®、PRINCE2は、AXELOS Limitedの登録商標です。The Swirl logo はAXELOS社の商標です。
・iPhone、iPad、iOS、iBooks、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
・JP1、HiRDB、Cosminexus、BladeSymphony、Hitachi Storage Solutions、Groupmax、GEMPLANET、HIPACE、e-CANDO、EP8000、OpenTP1、XDM、Hitachi Command Suite、Hitachi Advanced Data Binder、Hitachi Virtual File Platform は株式会社日立製作所の商標または登録商標です。
・Jtestは、米国ParaSoft Corporationの商標または登録商標です。
・Linuxは、Linus Torvalds氏の日本およびその他の国における登録商標または商標です。
・Microsoft、Azure、Visual Basic、Visual C++、Visual Studio、Windows、Windows Server、Windows PowerShell、SQL Server、Active Directory、Hyper-V、Excel、PowerPoint、Word、Outlook、Access、SharePoint、Internet Explorer、Silverlight、Power Platform、Power Apps、Power Automate、Power BIは、米 国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標あるいは登録商標です。
・Netscreenは米国Juniper Networks, Inc.の商標です。
・NVIDIAは、米国NVIDIA Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
・Pentahoは、Hitachi Vantara Corporationの日本及びその他の国における商標または登録商標です。
・OCUP、オーカップ、UML技術者資格試験は、（株）UML教育研究所の商標、または登録商標です。
・OMG、UML、Unified Modeling Language、UMLロゴ、UML Certificationロゴ、MDA、Model Driven Architectureは、Object Management Group Inc.の商標または登録商標です。
・Oracle、Oracle Database 11g、Oracle Database 12c、Java、JavaScript、Solarisは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・PMI®、PMP®、*PMBOK®ガイド*、OPM3®、CAPM®、PgMP®、PMI-ACP®、PMI-SP®、PMI-RMP®、PM Network®、PMI Today®、PMCDF®、R.E.P.ロゴはプロジェクトマネジメント協会（Project Management Institute, Inc.）の登録商標です。
・Red Hat、Red Hat Enterprise Linux、JBossは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc.の登録商標です。
・Salesforce、Salesforce ロゴは、米国その他の国における米国 salesforce.com, inc. の登録商標または商標です。
・SAPは、SAP AGのドイツおよびその他の国における登録商標または商標です。
・SEIは、カーネギーメロン大学のサービスマークです。
・Sixseconds、シックスセカンズ、SEI、SEI360、SEI-YV、Vital Signs、OVS、TVS、LVS、EQプラクティショナー、SEIアセッサー、EQエデュケーター、EQコーチ、CreatePositiveChangeはシックスセカンズジャパン株式会社およびグループの日本、その他の国における登録商標または商標です。
・Tableau、記載されているすべてのTableau製品は、Tableau Software Inc.の商標または登録商標です。
・TOEIC®は、Educational Testing Service（ETS）の登録商標です。
・UiPathは、UiPath 株式会社の登録商標です。
・UNIXは、The Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
・VMware、VMware vSphere、ESXi、VMware vCenter、VMware View は、VMware, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・WinActorは、NTTアドバンステクノロジの登録商標です。
・7つの習慣®、5つの選択®、スピード・オブ・トラスト®は、米国フランクリン・コヴィーまたはフランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社の登録商標です。
・秘文、活文は株式会社日立ソリューションズの登録商標です。
その他記載されている会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制並びに米国輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認の上、必要な手続きをお取りください。
なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。

© Hitachi Academy Co.,Ltd. & Hitachi, Ltd. 2024. All Rights Reserved.


VEGETABLE
OIL INK